

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価 担当	局名	政策局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	政策課
	施策		高松ブランドの向上		電話番号	087-839-2135
	取組方針		シティプロモーションの強化		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		官民共創推進事業			

事業概要	様々な分野の地域課題の解決に取り組むため、東京事務所等を活用し、事業者と相互に資源やアイデア、ノウハウ、技術等を持ち寄りながら、最適な課題解決手法を検討して、実践する官民共創に取り組む。
------	--

8年度 概要	東京事務所等によるビジネス交流会等の開催 官民共創デスクの設置・運用 東京圏における官民共創・シティプロモーションの推進				
	重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	3-	関連根拠法令

対象（何を）	民間事業者や大学等の多様な主体 東京圏を中心とした大都市圏の事業者、在住者
意図（どのような状態にしたいか）	市内中小企業や東京圏、関西圏を中心とした大都市圏の事業者等との官民共創を推進し、質の高い市民サービスの提供、効果的・効率的な行政の推進、地域経済の活性化を目指す。

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
官民共創・プロモーションイベント実施・参加回数	回	0	65	104	75	75

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	東京事務所等の活動により実現した官民共創の事業件数	件	目標値 実績値	0 0	10 10	12 20	20	20
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	東京圏を始めとした大都市圏でのビジネス交流会等につながった事業者との課題解決策の実装化に向けた協議や、にぎわい創出に向けた本市に所縁のある事業者等との連携まで、東京事務所等が積極的に活動したことにより、令和7年度は、新たに20件の官民共創事業を実施した。		(目標達成度) 166.7%	(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)	(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	29,437	40,942	35,902
(事業費)	[千円]	0	13,225	18,553	13,513
(職員人件費)	[千円]	0	16,212	22,389	22,389

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	官民共創マッチング コワーキングスペース入居企業・他市との連携強化イ ベント 大都市圏でのビジネス交流会ブース出展 東京事務所の運営 都内コワーキングスペースの利用	5 , 0 0 0 千円 8 4 0 千円 9 8 千円 1 1 , 4 4 5 千円 1 , 1 7 0 千円	総額	18,553	
			特定財源	国	2,974
				県	0
				市債	0
				他	437
			一般財源	15,142	
令和 8 年度	東京事務所等によるビジネス交流会等の開催 官民共創デスクの設置・運用 東京圏における官民共創・シティプロモーションの推進	5 1 3 千円 9 7 1 千円 1 2 , 0 2 9 千円	総額	13,513	
			特定財源	国	478
				県	0
				市債	0
				他	240
			一般財源	12,795	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

大都市圏でのビジネス交流会への参加、他市東京事務所等と連携したプロモーションイベント、他課のプロモーション活動のサポート、市内企業向けに課題発信イベント等により、令和7年度は、官民共創・プロモーションイベントや首都圏学生の受入等を104件実施及び参加することで、新たに、20件の官民共創事業を実施したが、今後、事業実施の効果を高めるためには、互いに資源を持ち寄り、最適な解決手法を実施する、より効果的な官民共創の仕組みが必要である。

本市の抱える課題と民間事業者の持つアイデアやノウハウをマッチングする官民共創マッチング支援事業と、官民共創サポートデスク、東京事務所の活動を組み合わせることで、これまで以上に、大都市圏事業者の本市進出や、交流人口・関係人口の創出・拡大等による、本市の活性化や税収増加につなげるほか、住民福祉の向上に貢献することができるように取り組んでいくとともに、他課が実施するプロモーション活動に、より積極的に関わることで、類似事業との統合や連携を加速させ、行政コストの削減を目指す。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	政策課
	施策	定住人口の拡大		電話番号	087-839-2135
	取組方針	定住の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	政策コンテスト開催事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市の将来を支える若者のアイデアを本市の政策に取り入れるとともに、若者の地元への愛着を深めるため、出場者の理想とするまちづくりを事業化まで含めた政策として考える政策コンテストを開催する。				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト	3-	関連根拠法令	なし

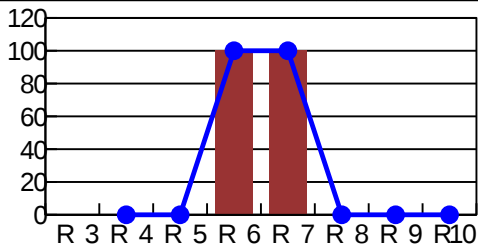
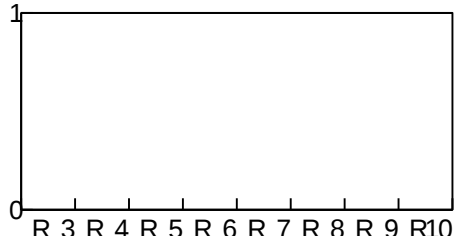
【事業の目的】

対象（何を）	高松市に興味のある小学生から39歳以下の者
意図（どのような状態にしたいか）	本市が将来も若者から選ばれるまちであるために、将来を支える若者のアイデアを、本市の政策に取り入れるとともに、若者の地元への愛着を深めることを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
政策コンテスト参加チーム数	チーム	0	7	4	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	アンケート結果による愛着が高まったとする割合	%	目標値 実績値	0 0	100 100	100 100	0	0
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	愛着が高まったとする割合が100%であり、目標を達成できた。			（目標達成度） 100.0%				
				（得点） 35点				
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				（目標達成度）				
				（得点）				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	10,374	10,548	10,640	0
(事業費)	[千円]	3,600	3,600	3,444	0
(職員人件費)	[千円]	6,774	6,948	7,196	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	政策コンテスト開催 政策アイデアの事業化の検討	3 , 4 4 4 千円 0 千円	総額	3,444	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,444	
令和 8 年度			総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

提案された政策アイデアについて、出産に伴う産前産後の不安解消を目的とした動画を作成し、「高松ムービーチャンネル」に掲載した。

引き続き、提案された政策アイデアについて、事業化に向けた検討を行うとともに、シビックプライドの醸成を図りながら、若者からの積極的な政策立案を促すなど、政策立案とそのアイデアの事業化の両立に向けて取り組む必要がある。

シビックプライドの醸成につながる政策アイデアの立案とその事業化の両立に向けて、令和7年度から新設したコンテスト内でのフィールドワークの実施支援について、一定の効果が期待できることから、支援を継続するとともに、民間でも実施されている類似のコンテストとの差別化などについても検討する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

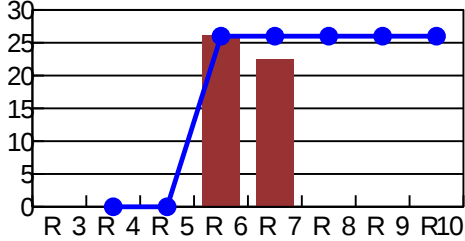
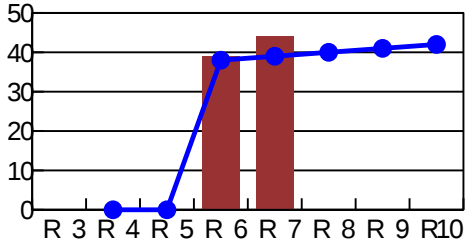
総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	政策課
	施策	連携の推進		電話番号	087-839-2135
	取組方針	多様な主体との連携の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	多様な主体との連携推進事業			

【事業全体概要】						
事業概要	人口減少、少子・超高齢社会の進行による人口構造の変化により、複雑化・高度化する地域課題に的確に対応するため、大学や企業等の多様な主体との連携を図りながら、多分野・多面的に課題解決に取り組む。					
8年度概要	キャンパスメンバーズ制度の運営 市長と学長・校長との懇談会の開催 香川大学・高松市連絡協議会の開催 大学・地域共創プラットフォーム香川への参画 多様な主体との地域課題の解決に向けた取組の検討・実施					
重点取組事業		市長マニフェスト	3-	関連根拠法令	大学や企業等との連携協力に関する協定	

【事業の目的】	
対象（何を）	大学、企業等
意図（どのような状態にしたいか）	本市の行政課題への迅速かつ的確な対応のため、大学・企業等との連携協力を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
大学等との連絡協議会・懇談会開催回数	回	0	2	2	2	2

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	包括連携協定を結ぶ県内大学等入学生の本市出身者割合	%	目標値	0	26	26	26	26
			実績値	0	26.2	22.5		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	包括連携協定を結んでいる県内大学等入学者数2,676人に対し、市内出身者の入学者数は603人であり、目標を下回った。		（目標達成度） 86.9% （得点） 30点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	包括連携協定を結んでいる企業との連携・協力事業数	件	目標値	0	38	39	40	40
			実績値	0	39	44		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	包括連携協定を結んでいる企業等との連携協力事業数が44事業となり、目標を上回った。		（目標達成度） 112.8% （得点） 35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	2,634	5,869	4,634	4,812
(事業費)	[千円]	0	465	236	414
(職員人件費)	[千円]	2,634	5,404	4,398	4,398

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	キャンパスメンバーズ制度の運営 市長と学長・校長との懇談会の開催 香川大学・高松市連絡協議会の開催 大学・地域共創プラットフォーム香川への参画 多様な主体との地域課題の解決に向けた取組の検討・実施	1 5 7 千円 2 9 千円 0 千円 5 0 千円 0 千円	総額	236	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	157
			一般財源	79	
令和 8 年度	キャンパスメンバーズ制度の運営 市長と学長・校長との懇談会の開催 香川大学・高松市連絡協議会の開催 大学・地域共創プラットフォーム香川への参画 多様な主体との地域課題の解決に向けた取組の検討・実施	1 9 6 千円 1 6 8 千円 0 千円 5 0 千円 0 千円	総額	414	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	196
			一般財源	218	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	85 / 100 (85 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

香川大学連絡協議会や市長と学長・校長との懇談会で、「若者から選ばれるまちづくり・大学づくり」について意見交換を行ったほか、大学・地域共創プラットフォーム香川で、県内大学の魅力の発信や企業説明会の開催等を実施した。また、地域の安全・安心・災害対策や、子育て支援等に関して、新たに４者と包括連携協定を締結した。包括連携協定を結ぶ大学や企業等との連携状況を随時確認し、新たな連携事業を検討する必要がある。

複雑化・高度化する地域課題に対応するため、「大学・地域共創プラットフォーム香川」や香川大学連絡協議会、市長と学長・校長との懇談会を活用し、「知」の拠点である大学等の知見をいかした取組を進めていくとともに、包括連携協定を締結した後も企業等と定期的に意見交換を行いながら、新たな取組について検討する。

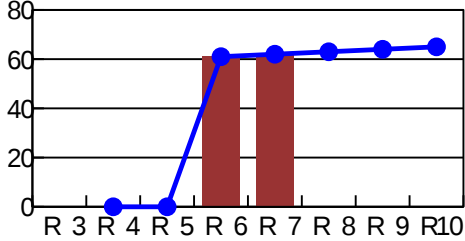
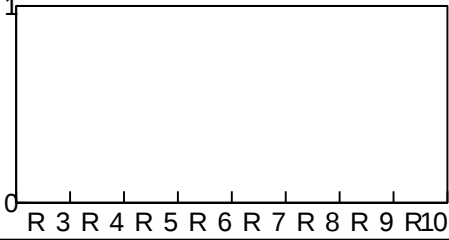
令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	政策課
	施策	連携の推進		電話番号	087-839-2135
	取組方針	連携中枢都市圏の活性化		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン推進事業			

【事業全体概要】						
事業概要	人口減少、少子・超高齢社会にあっても、経済を持続可能なものとし、より住民が安心して暮らしを営んでいけるようにするため、瀬戸・高松広域定住自立圏から国が進める新たな広域連携制度の連携中枢都市圏へ平成28年度から発展的に移行し、圏域全体の更なる活性化と魅力ある都市圏域の形成を図る。 また、本市が中心となって、圏域における人口流出の抑制、維持に貢献できるよう、圏域の経済を活性化するとともに、住民の生活環境の利便性を維持向上させる連携事業の実施に努める。					
8年度概要	ビジョン懇談会（1回）の開催 連携中枢都市連絡会議出席 ポータルサイト保守					
重点取組事業		市長マニフェスト	3-	関連根拠法令	地方自治法、連携中枢都市圏構想推進要綱	

【事業の目的】						
対象（何を）	本市及び近隣連携自治体					
意図（どのような状態にしたいか）	圏域における人口流出の抑制、維持に貢献できるよう、本市が中心となって圏域の経済を活性化するとともに、圏域住民の生活環境の利便性を維持向上させる施策・事業を推進する。					

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）			単位	R 5	R 6	中期目標 R 8
ビジョン懇談会の開催回数			回	0	1	1

【事業の成果】						
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	中期目標 R 8
	圏域で取り組む連携事業の数	事業	目標値	0	61	63
			実績値	0	61	62
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					
	圏域全体の経済成長のけん引に係る連携分野について1事業を追加し、連携事業数の合計が62事業となり、目標を達成した。		（目標達成度） 100.0% （得点） 35点			
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	中期目標 R 8
			目標値			
			実績値			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					
			（目標達成度） （得点）			

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	5,604	9,606	5,823	5,860
(事業費)	[千円]	335	342	386	423
(職員人件費)	[千円]	5,269	9,264	5,437	5,437

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	ビジョン懇談会（１回）の開催 連携中枢都市連絡会議出席 ポータルサイト保守	1 2 4 千円 3 1 千円 2 3 1 千円	総額	386	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	386	
令和 8 年度	ビジョン懇談会（１回）の開催 連携中枢都市連絡会議出席 ポータルサイト保守	1 2 8 千円 3 2 千円 2 6 3 千円	総額	423	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	423	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

圏域全体の経済成長のけん引に係る連携分野について新規 1 事業を追加し、6 2 事業の連携に取り組んだ。圏域全体の人口は、当初の目標である令和 1 0 年度想定値 5 6 . 0 万人に対し、令和 7 年度に約 5 5 万人と、予定よりも減少しており、圏域の活性化のためには、構成自治体のより一層の連携推進に向けた取組の充実が必要である。

「第2期瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進ビジョン」に基づき、人口減少、少子・超高齢社会においても活力ある社会経済を維持するため、連携市町と連携・協力し、「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」や「生活関連機能サービスの向上」に資する取組を推進するとともに、より一層の取組の充実を図るため、既存事業の進捗管理や、新規・拡充事業について協議を行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

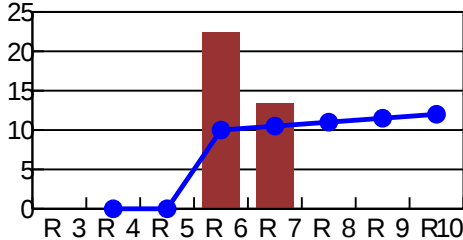
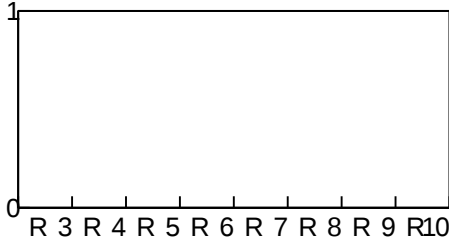
総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	自立的で推進力のある行財政運営の確立		課(室)名	政策課
	施策	行財政運営の基盤強化		電話番号	087-839-2135
	取組方針	効率的・効果的な行政運営の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	自治推進事業			

【事業全体概要】					
事業概要	高松市の自治の基本理念や自治運営の基本原則などを定めた「高松市自治基本条例」に基づき、市民、議会、行政が連携・協力してまちづくりに取り組み、自治を推進することができるよう、周知広報に努めるとともに、自治の運営状況を把握し、検証する。				
8年度概要	高松市自治推進審議会 (自治の推進状況及び条例の見直し等の検討) 条例パンフレットの配布 高松市自治基本条例逐条解説及び手引きの作成				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	高松市自治基本条例	高松市自治推進審議会

【事業の目的】	
対象（何を）	市民（事業者、NPO、通勤通学者等含む）、議会、行政
意図（どのような状態にしたいか）	自治の担い手である市民、議会、行政が連携・協力して地域の個性や自立性を尊重した、市民主体の活力のあるまちづくりを推進する。

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
審議会等の回数	回	0	1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	パブリックコメント1件当たりの意見数	件	目標値	0	10	10.5	11	11
			実績値	0	22.4	13.4		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	パブリックコメント1件当たりの意見数は平均13.4件となっており、目標を上回った。		(目標達成度)	127.6%				
(得点)			35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)					
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	1,505	1,596	1,965	1,985
(事業費)	[千円]	0	52	46	66
(職員人件費)	[千円]	1,505	1,544	1,919	1,919

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	高松市自治推進審議会 (自治の推進状況及び条例の見直し等の検討) 条例パンフレットの配布 高松市自治基本条例逐条解説及び手引きの作成	4 6 千円 0 千円 0 千円	総額	46	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	46	
令和 8 年度	高松市自治推進審議会 (自治の推進状況及び条例の見直し等の検討) 条例パンフレットの配布 高松市自治基本条例逐条解説及び手引きの作成	6 6 千円 0 千円 0 千円	総額	66	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	66	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

高松市自治基本条例について、社会情勢が急速に変化している現状を踏まえ、同条例の規定について検討を行い、逐条解説を見直した。また、市民主体のまちづくりの推進に向けた取組について自治推進審議会に諮り、意見を聴取した。さらに、市民への周知啓発のため、本市ホームページでの逐条解説の公開、パンフレットの配布を行うとともに、職員の意識向上のため、研修等を実施した。理念浸透と市民参画を促すため、様々な場で、意見を取り入れられるような機会づくりが必要である。

引き続き、自治の基本原則に基づく自治運営が行えるよう庁内の各種事業の検証を行い、事業の見直しを行う。理念浸透と市民参画を促すため、様々な場で、意見を取り入れられるような機会づくりに取り組むとともに、職員向けの研修を行うなど、意識啓発を行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

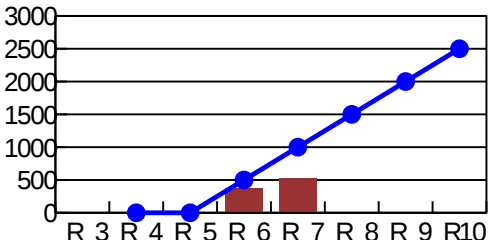
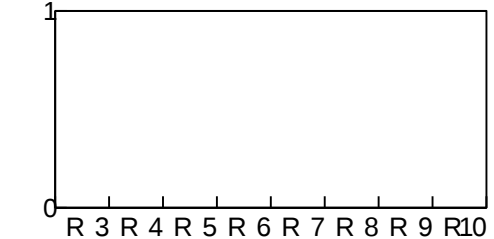
総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	地域活力推進室
	施策	高松ブランドの向上		電話番号	087-839-2143
	取組方針	関係人口の創出・拡大		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	関係人口創出・拡大事業			

【事業全体概要】					
事業概要	東京圏を始めとした大都市圏からの交流人口や関係人口、移住者の増加につなげるため、関係人口コミュニティの運営、地域イベント等における関係人口の受入体制の構築支援などに取り組む。				
8年度概要	オンライン高松ファンコミュニティの運営 地域イベント等での関係人口受入支援				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	1-	関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	地域課題の解決や地方移住に興味を持つ人
意図（どのような状態にしたいか）	本市に関心を持ち、継続的に関わりを持とうとする人の創出と拡大を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
オンライン高松ファンコミュニティPRイベント回数	回	0	6	7	8	8

【事業の成果】									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	オンライン高松ファンコミュニティサイト登録者数	人	目標値	0	500	1,000	1,500	1,500	
			実績値	0	380	521			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	オンライン高松ファンコミュニティサイト登録者数を増やすため、PRのためのイベントを数多く開催し、1年間で140人以上増加したが、目標値1,000人を下回った。				(目標達成度) 52.1%				
				(得点) 18点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値						
			実績値						
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
					(目標達成度)				
				(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	13,708	18,012	14,996
(事業費)	[千円]	0	5,988	10,016	7,000
(職員人件費)	[千円]	0	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	関係人口コミュニティの運営 地域イベント等での関係人口受入支援 短期就労型関係人口の創出・拡大	3 , 9 9 9 千円 1 , 0 1 7 千円 5 , 0 0 0 千円	総額	10,016	
			特定財源	国	2,500
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	7,516	
令和 8 年度	オンライン高松ファンコミュニティの運営 地域イベント等での関係人口受入支援	5 , 0 0 0 千円 2 , 0 0 0 千円	総額	7,000	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	7,000	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	C	総合点 (率)	58 / 100 (58 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

オンライン高松ファンコミュニティサイトを運営し、会員同士の親睦を深めるＰＲイベントを開催するとともに、関係人口創出に取り組む４つの地域が開催したイベント等の費用の一部を補助したが、今後、高松に関心のある人同士の交流が多面で展開されるよう支援するとともに、高松の魅力をより多角的に発信することで、イベント参加やふるさと納税、ビジネスマッチングなどライトな関係人口の拡大を図る必要がある。

引き続き、自走化に向けて取り組むオンライン高松ファンコミュニティサイトの運営の支援や地域での関係人口受入体制構築の支援を行うほか、新たな取組として、県外在住の短期就労希望者に対し、本市域内での短期就労を支援する制度を開始し、短期就労者に対して観光、地域の住民や団体との交流を促し、短期就労、観光、地域交流というサイクルを繰り返すことで、関係人口の創出・拡大を図ることとする。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	政策局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	地域活力推進室
	施策		定住人口の拡大		電話番号	087-839-2143
	取組方針		移住の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		移住促進事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市への移住者の増加を図るため、本市の特性や強みである「生活のしやすさ」、「仕事のしやすさ」、「子育てのしやすさ」を効果的に情報発信するなど、移住促進の取組を推進する。				
8年度概要	大都市圏における移住相談窓口の運営、 移住促進に関する情報発信、 香川県移住・定住推進協議会としての取組、 お試し移住の促進、 東京圏UＪＩターン移住支援金、 地方就職支援金				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	1-	関連根拠法令	たかまつ創生総合戦略

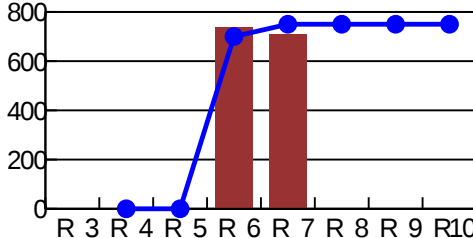
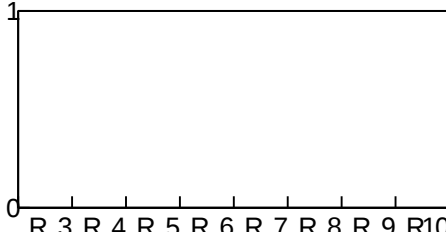
【事業の目的】

対象（何を）	市外に居住しており、地方への移住を考えている人
意図（どのような状態にしたいか）	地方への移住を考えている人に対し、本市の魅力を効果的に発信することなどにより、本市への移住を促進し、人口減少の抑制を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
対面及びW e bの移住相談実施回数	回	0	62	76	75	75

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	年間移住者数		人	目標値	0	700	750	750	750
				実績値	0	736	710		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	オンライン移住相談の常設化など移住希望者の多様なニーズに対応し、移住相談実施回数は増加したが、転入者に対して実施しているアンケートの手法が変更となったこと等により目標値には達することができなかった。		(目標達成度)		94.7%				
(得点)			33点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			(目標達成度)						
(得点)									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	49,266	43,668	41,808	34,798
(事業費)	[千円]	34,965	29,000	29,494	22,484
(職員人件費)	[千円]	14,301	14,668	12,314	12,314

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	大都市圏における移住相談窓口の運営、 移住促進に関する情報発信、 香川県移住・定住推進協議会としての取組、 お試し移住の促進、 東京圏ＵＪＩターン移住支援金、 地方就職支援金、 テレワーク移住補助金	1, 0 0 8 千円 6, 3 0 4 千円 1, 2 6 2 千円 3 7 0 千円 1 9, 9 5 0 千円 0 千円 6 0 0 千円	総額	29,494	
			特定財源	国	1,309
				県	14,962
				市債	0
				他	300
			一般財源	12,923	
令和 8 年度	大都市圏における移住相談窓口の運営、 移住促進に関する情報発信、 香川県移住・定住推進協議会としての取組、 お試し移住の促進、 東京圏ＵＪＩターン移住支援金、 地方就職支援金	1, 1 6 2 千円 3, 9 3 5 千円 1, 2 2 1 千円 4 5 1 千円 1 5, 0 0 0 千円 7 1 5 千円	総額	22,484	
			特定財源	国	0
				県	11,786
				市債	0
				他	0
			一般財源	10,698	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	84 / 100 (84 %)	今後の方向性	改善
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

オンライン移住相談や大都市圏における移住相談会の開催、お試し移住など、社会情勢の変化に対応し多方面からの取組を行ったことにより、移住の促進に寄与した。

今後の社会情勢を見極めながら東京圏一極集中の拡大傾向に対応した、更なる取組の強化が必要である。

関係人口創出やシティプロモーションの取組、東京事務所の活動等とも連携しながら、各種取組を展開するとともに、周辺市町と連携した移住相談会やイベントなど、他市町と連携した取組を積極的に実施する。また、国の動向や社会情勢の変化等を把握し、定住促進施策と併せて移住施策の見直しの検討を行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	地域活力推進室
	施策	定住人口の拡大		電話番号	087-839-2143
	取組方針	定住の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	定住促進事業			

【事業全体概要】

事業概要	県外の大学等に進学した学生のUターン就職を促進するため、奨学金返還支援による経済的な負担の軽減を行うほか、地元出身かつ関西圏に進学した学生に直接接して地元企業の情報を提供するなど、若年層が本市での居住や就業を検討し、継続しやすくなる環境づくりに取り組む。				
8年度概要	高松市奨学金返還支援 関西圏進学者を中心としたUターン就職による定住促進				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	1-	関連根拠法令	

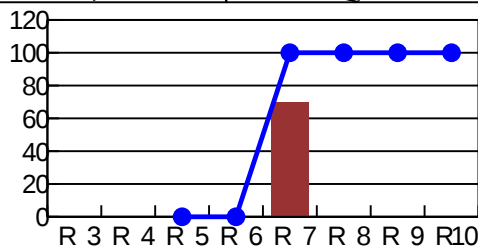
【事業の目的】

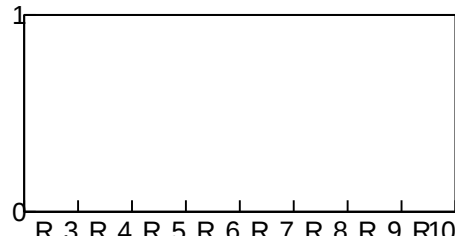
対象（何を）	県外進学した学生、本市に移住した人
意図（どのような状態にしたいか）	奨学金返還支援制度や地元出身かつ関西圏に進学した学生に直接接して地元企業の情報を提供するなど の取組により、県外に進学した学生のUターン就職を促進し、若年層の流出を抑制するとともに、移住者同士の交流を促進することで、本市への定着促進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
高松市奨学金返還支援制度の周知件数	件	0	12	18	12	12
移住者交流会開催回数	回	0	1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	Uターン就職の意識が高まった参加者の割合		%	目標値 実績値	0 0	0 0	100 70	100	100
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	主に関西圏にある大学の就活支援カフェで実施した学生対象の少人数制交流イベントでは、地元企業や地元就職後の生活に関する情報提供を積極的に行ったが、目標値に達することはできなかった。								
				(目標達成度) 70.0%					
				(得点) 25点					

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値 実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
				(目標達成度)					
				(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	7,172	12,641	7,356
(事業費)	[千円]	0	996	7,044	1,759
(職員人件費)	[千円]	0	6,176	5,597	5,597

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	高松市奨学金返還支援 関西圏進学者を中心としたＵターン就職による定住促進 わがまち未来会議	6 0 0 千円 5 , 7 8 4 千円 6 6 0 千円	総額	7,044	
			特定財源	国	2,750
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	4,294	
令和 8 年度	高松市奨学金返還支援 関西圏進学者を中心としたＵターン就職による定住促進	1 , 2 0 0 千円 5 5 9 千円	総額	1,759	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,759	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～ 100%)	B	総合点 (率)	72 / 100 (72 %)	今後の方向性	改善
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

ことでん瓦町駅周辺で移住者交流会を開催し、地元の方と移住者が親睦交流を図ったほか、香川県公式LINE「UDONターン@かがわ」等で奨学金返還支援制度を周知したものの、奨学金返還支援は、交付決定が4件にとどまったことから、今後、採用担当者に直接、奨学金返還支援制度を周知するなどさらなる周知方法の検討が必要である。また、県外に進学した学生に対しては、Uターン就職の利点をアピールする機会を引き続き創出することが必要である。

引き続き、移住者交流会を開催して、移住者の定着を図るとともに、県内企業や社会福祉法人等の採用担当者に直接、奨学金返還支援制度を周知し、採用活動への活用を働き掛けるとともに、関西圏に進学した学生を中心に、就職活動前の早い段階から地元企業の情報や地元で実現できる多様なライフスタイル、奨学金返還支援制度をアピールすることで、Uターン就職の促進に取り組む。

また、香川県が令和８年度に実施する奨学金返還支援事業の動向を踏まえながら定住施策の見直しを検討する。

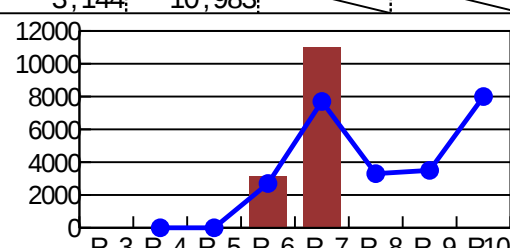
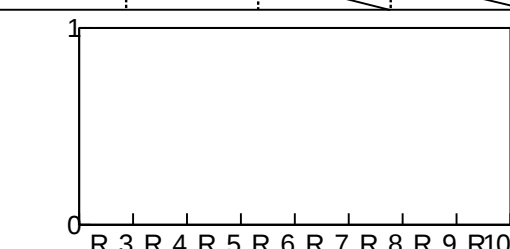
令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	地域活力推進室
	施策	離島の振興		電話番号	087-839-2143
	取組方針	多様な交流の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	大島振興方策推進事業			

【事業全体概要】					
事業概要	大島におけるこれまでのハンセン病療養所としての歴史等を後世に伝えていくとともに、瀬戸内国際芸術祭を契機として育まれた、芸術関係者を始めとする島外の人々との交流を更に活性化するなど、大島の振興を図るため、「大島振興方策」に掲げる具体的施策・事業を実施する。				
8年度概要	大島の将来的な在り方についての検討				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	離島振興法、ハンセン病問題基本法

【事業の目的】	
対象（何を）	市民等（住民、島への渡航者）
意図（どのような状態にしたいか）	ハンセン病療養所としての歴史の伝承、住民と島外の人々との交流の活性化

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
市内小中学校等の大島学習への支援	回	0	2	2	2	2

【事業の成果】										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	大島交流イベント参加者数(年間総数)			人	目標値	0	2,700	7,700	3,300	3,300
					実績値	0	3,144	10,983		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	目標値7,700人のところ、瀬戸内国際芸術祭での来島者数の増加により実績値10,983人となり、目標値を上回った。									
					(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
					目標値					
					実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
					(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	9,785	6,176	7,497	7,525
(事業費)	[千円]	0	0	1,260	1,288
(職員人件費)	[千円]	9,785	6,176	6,237	6,237

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	市内小学校による大島学習実施の支援 大島の将来的な在り方についての検討 「おおしまっぷ」の作成	0 千円 3 8 2 千円 8 7 8 千円	総額	1,260	
			特定財源	国	438
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	822	
令和 8 年度	大島の将来的な在り方についての検討	1 , 2 8 8 千円	総額	1,288	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,288	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

庵治支所ギャラリーでの大島学習の展示などとともに、令和7年度は大島への交流人口や関係人口の拡大を図るため、教育委員会と連携しながら、手に取り理解しやすい「おおしまっぷ」を作成した。また、入所者自治会等の関係団体と連携しながら、大島青松園の将来構想・永続化と大島振興方策の見直しを一体的に考えるため「大島を未来へつなぐ会」を設置し、継続して協議を行っている。

若年層の大島やハンセン病に対する関心を高め、大島への交流人口や関係人口の拡大を図るため、教育委員会と連携しながら、手に取り、理解しやすい「おおしまっぷ」を作成したことから、市内小中学校等に対して、人権学習等での活用を働き掛ける。

また、令和７年度に設置した「大島を未来へつなぐ会」にて、委員から大島の未来について活発な意見をいただきながら継続して協議を行い、国と連携を図りながら令和８年度末を目途に大島青松園の将来構想・永続化の具体化と大島振興方策の見直しを行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	地域活力推進室
	施策	離島の振興		電話番号	087-839-2135
	取組方針	多様な交流の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	離島等振興事業			

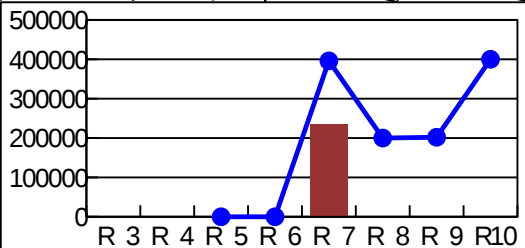
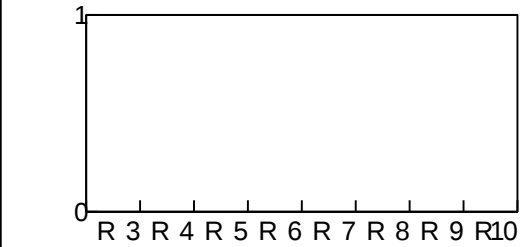
【事業全体概要】					
事業概要	離島・過疎地域の振興及びコミュニティの活性化を目的とした事業を実施する。				
8年度概要	香川県離島振興協議会や全国過疎地域連盟等への参画 離島救急患者輸送費補助 ローカル10,000プロジェクトや実証事業等離島振興のための現地協議				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	離島振興法、高松市離島救急患者輸送費補助

【事業の目的】	
対象（何を）	離島等の住民（離島等を訪れる人）
意図（どのような状態にしたいか）	離島等住民及び離島等を訪れる人の負担の軽減、離島住民等の福祉の向上

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
実証事業実施フィールドとしての離島等地域の視察件数	回	0	0	2	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	女木・男木・塩江観光施設等利用者数	人	目標値	0	0	396,000	200,000	200,000
			実績値	0	0	233,993		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	瀬戸内国際芸術祭の開催に伴う女木島・男木島の来島者の増加等により施設利用者の増加を見込んでいたが、男木灯台資料館の改修による閉館(令和7年12月～)等の影響もあり目標値を下回った。			(目標達成度) 59.1%				
			(得点) 21点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
			(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	9,837	6,960	2,058	2,173
(事業費)	[千円]	805	784	779	894
(職員人件費)	[千円]	9,032	6,176	1,279	1,279

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	香川県離島振興協議会や全国過疎地域連盟等への参画 離島救急患者輸送費補助 ローカル10,000プロジェクトや実証事業等離島振興のための現地協議	768千円 0千円 11千円	総額	779	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	779	
令和 8 年度	香川県離島振興協議会や全国過疎地域連盟等への参画 離島救急患者輸送費補助 ローカル10,000プロジェクトや実証事業等離島振興のための現地協議	791千円 40千円 63千円	総額	894	
			特定財源	国	0
				県	20
				市債	0
				他	0
			一般財源	874	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	60 / 100 (60%)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
香川県離島振興協議会等で離島地域の活性化に向けた協議を行うとともに、「こども図書館船ほんのもり号」の寄港調整や官民共創の実証事業実施フィールドとしての活用、産学官金の連携による地域資源を活用した創業支援を行う「ローカル10,000プロジェクト」の活用に向けて、離島・過疎地域の住民や事業者と継続的に協議を実施していく。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
「こども図書館船ほんのもり号」寄港受入れや官民共創の実証フィールドとしての活用、産学官金の連携による地域資源を活用した創業支援を行う「ローカル10,000プロジェクト」の活用の働き掛けを行うことにより、離島等のにぎわい増加に向けて取り組む。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション
	施策	高松ブランドの向上		電話番号	087-839-2161
	取組方針	シティプロモーションの強化		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	シティプロモーション推進事業			

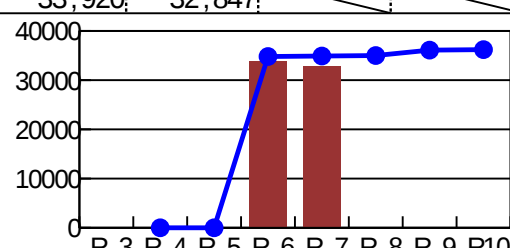
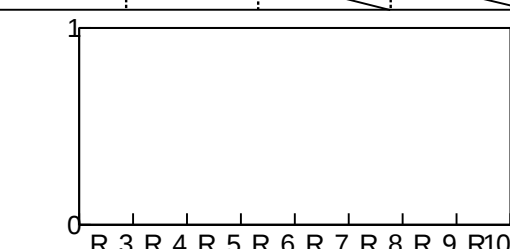
【事業全体概要】					
事業概要	本市の認知度向上とシビックプライドの醸成を図るため、「高松市シティプロモーション推進ビジョン」に基づく、新しいロゴマーク「TKMT」を活用したPRや本市の魅力の発信のほか、映像コンテンツの活用や、東京圏を始めとした大都市圏でのプロモーション活動、官民連携による情報発信などを行う。				
8年度概要	ノベルティグッズ作成等 ポスター作成等 TKMTサイトの保守 大都市圏での営業活動・情報収集活動 シティプロモーションプロデューサーの委嘱				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	市民、本市を認知していない人や事業者
意図（どのような状態にしたいか）	市外、特に東京圏での本市の認知度向上と、市民の本市に対する誇りと愛着（シビックプライド）の醸成を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
大都市圏でのプロモーション・情報収集活動回数	回	0	1,003	1,114	1,000	1,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	市公式ホームページ、市公式観光サイトへの アクセス数	千件	目標値	0	34,800	34,900	35,000	35,000
			実績値	0	33,920	32,847		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	市公式ホームページ及び市公式観光サイトへのアクセス合計 数は32,847,081件であり、目標件数を下回った。		(目標達成度) 94.1%					
			(得点) 33点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	11,517	80,574	68,336	54,673
(事業費)	[千円]	3,990	46,606	33,154	15,493
(職員人件費)	[千円]	7,527	33,968	35,182	39,180

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	シティプロモーション推進ビジョン、ロゴマーク策定 P R 等 シティプロモーション動画等の P R 大都市圏でのプロモーション・情報収集活動 シティプロモーションプロデューサーの委嘱 万博への出展 T G C への参加 人的ネットワークの運営	7 , 1 2 5 千円 8 7 0 千円 7 4 6 千円 1 , 1 8 5 千円 4 , 3 4 8 千円 1 5 , 8 9 5 千円 2 , 9 8 5 千円	総額	33,154	
			特定財源	国	0
				県	2,699
				市債	0
				他	1,000
			一般財源	29,455	
令和 8 年度	ノベルティグッズ作成等 ポスター作成等 T K M T サイトの保守 大都市圏での営業活動・情報収集活動 シティプロモーションプロデューサーの委嘱 地域活性化起業人の受入れ	1 , 4 2 7 千円 1 , 7 7 3 千円 7 3 4 千円 1 , 4 7 9 千円 1 , 0 8 0 千円 9 , 0 0 0 千円	総額	15,493	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	15,493	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

「TGC 香川 2025」に参画し、市民モデルの募集やステージ上でのロゴマークのPR等を行ったほか、大阪・関西万博において、自治体催事等に参画し、本市の魅力や多様性を国内外にPRした。また、アドバイザリー業務を実施し、体系的に本市のシティプロモーションを推進するための行動目標の策定に取り組んだほか、シティプロモーション動画を更に活用するため、インフルエンサーを活用し、本市の魅力を発信した。今後、その行動目標等に基づき、効果的なシティプロモーションの推進を図る必要がある。

令和7年度にアドバイザー業務で整理した行動指針に基づき、東京事務所やシティプロモーションプロデューサーとの連携強化を図りながら、効果的なロゴマークのPR等を行う。また、地域活性化起業人の活用により、民間の知見やノウハウをいかながら、より戦略的なシティプロモーションを行う。また、シティプロモーションは、あらゆる事業において持つべき視点であることから、職員のマインド醸成を図るため、階層別に研修を行うほか、若手職員を中心に組織横断的にシティプロモーション施策を検討するシティプロミューティングを活性化させるなど、インナープロモーションにも力を入れていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策		地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション課
	施策		参画・協働の推進		電話番号	087-839-2161
	取組方針		市民参画の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		吹奏楽団事業			

【事業全体概要】

事業概要	・楽団の演奏活動を通じて親しまれる市役所とともに、市民との協力関係の強化を目指す。 ・市民主体のまちづくりのために、地域のイベントや小学校への訪問演奏などを行い、音楽を通じて地域の活性化や一体感の醸成に取り組む。				
8年度概要	吹奏楽団事業 定期演奏会（年１回）を始め、市民の依頼や楽団企画による演奏会実施				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

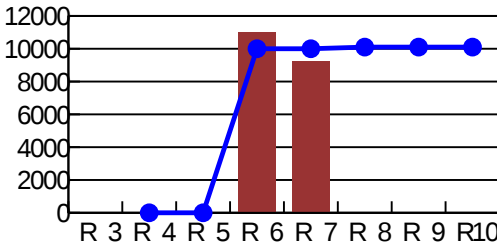
【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	吹奏楽団の広報活動によって、親しまれる市役所を目指すとともに、市民の市政への理解を深め、市政への参画を促す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
市民からの依頼や楽団企画に基づく活動回数（年間）	回	0	26	34	22	22

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	聴衆者数（参加者数）		人	目標値	0	10,000	10,000	10,100	10,100	
				実績値	0	11,010	9,260			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	昨年度と比較して、出張演奏等の回数は増えたものの、大規模なイベントでの演奏が減少したため、聴衆者数は微減となった。			(目標達成度) 92.6%						
(得点) 32点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
				(目標達成度)						
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	6,914	5,535	5,043	5,804
(事業費)	[千円]	1,645	1,675	1,845	2,606
(職員人件費)	[千円]	5,269	3,860	3,198	3,198

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	吹奏楽団事業 定期演奏会（年 1 回）を始め、市民の依頼や楽団企画による演奏会の実施	楽団嘱託員報酬 7 3 7 千円 定期演奏会 6 8 6 千円 楽器等購入・修繕 1 7 3 千円 事務費等 2 4 9 千円	総額	1,845	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	396
			一般財源	1,449	
令和 8 年度	吹奏楽団事業 定期演奏会（年 1 回）を始め、市民の依頼や楽団企画による演奏会実施	楽団嘱託員報酬 1, 0 0 6 千円 定期演奏会 5 9 4 千円 楽器等購入・修繕 1 9 3 千円 事務費等 8 1 3 千円	総額	2,606	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	281
			一般財源	2,325	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

出張演奏機会が、昨年度以上に増加した。 定期演奏会についても、満席程度の観客を迎え入れた。 今後、更に演奏機会の増加が見込まれる。

地域でのイベントや学校への訪問演奏などを通じて、市民との交流に努め、親しまれる市役所を目指すとともに、地域の活性化や一体感の醸成など、市政への理解や参画を推進するため、事業を継続して実施する。

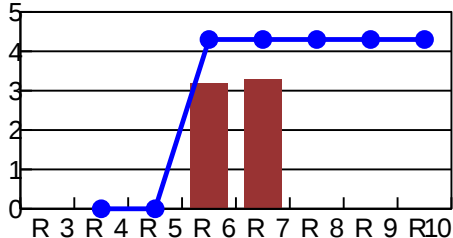
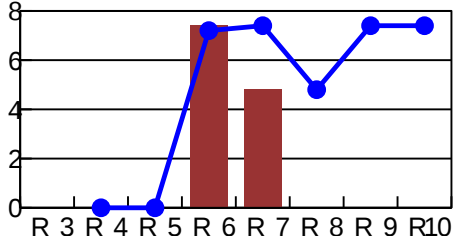
令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2161
	取組方針	市民参画の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	テレビ放送等広報事業			

【事業全体概要】					
事業概要	市政に対する関心と理解を深めるため、市政の重要施策や制度など市民生活に関わりの深い事業やイベント、ニュース、市民の多彩な活動の様子などを、市民に分かりやすく伝える番組を作成し、民放テレビやケーブルテレビ、動画配信サイト「高松ムービーチャンネル」、FMラジオ放送などの広報媒体を活用して効果的に伝える。				
8年度概要	・民放テレビ放送 年16回 ・ケーブルテレビ 年24回 ・FMラジオ（市政情報） 週7回 ・シティプロモーション広報動画 年6回				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	市民及び周辺住民
意図（どのような状態にしたいか）	市政情報や市の魅力を発信し、市政への理解を促すとともにシビックプライドの醸成を図る。

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
民放テレビ広報番組制作数	本	0	35	14	16	16

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	民放テレビ広報番組視聴率（年平均）	%	目標値	0	4.3	4.3	4.3	4.3
			実績値	0	3.2	3.3		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	年間平均視聴率は3.3%と目標値を下回ったものの、放送回によっては最高視聴率が5.1%となっている。今後とも市民生活に役立つ情報を効果的に発信する。							
			（目標達成度）	76.7%				
			（得点）	27点				
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	CATV市政広報番組視聴率	%	目標値	0	7.2	7.4	4.8	4.8
			実績値	0	7.4	4.8		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	3年ごとに実施する「広報活動アンケート」において、CATV市政情報番組を「よく見ている」、「ときどき見ている」と回答した人の割合は、全体の4.8%であった。今後とも、幅広い年齢層の視聴者に番組を継続して視聴してもらえるよう内容の充実を図る。							
			（目標達成度）	64.9%				
			（得点）	23点				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	28,947	24,005	19,961	21,543
(事業費)	[千円]	13,140	12,425	10,366	11,948
(職員人件費)	[千円]	15,807	11,580	9,595	9,595

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・民放テレビ放送 年14回 ・ケーブルテレビ 年24回 ・FMラジオ(市政情報) 週7回 ・シティプロモーション広報動画 年7回	民法テレビ放送広報 3,828千円 ケーブルテレビ広報 2,322千円 ラジオ放送等広報 1,711千円 広報動画 2,359千円 有線放送 146千円	総額	10,366	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	10,366	
令和 8 年度	・民放テレビ放送 年16回 ・ケーブルテレビ 年24回 ・FMラジオ(市政情報) 週7回 ・シティプロモーション広報動画 年6回	民法テレビ放送広報 4,475千円 ケーブルテレビ広報 3,158千円 ラジオ放送等広報 1,710千円 広報動画 2,392千円 有線放送 147千円 委員報酬 66千円	総額	11,948	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	11,948	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

親しみやすい広報番組を目指し、民放・ケーブルテレビにおいて、広報番組を制作・放映した。また、市の魅力を発信する広報動画を制作し配信することで、市民のシビックプライド醸成に取り組んだ。一方、情報媒体が多様化する中、情報収集の方法は、世代によって異なるとともに変化していることから、必要な情報を必要な人に届けるため、対象となるターゲットや発信内容に応じて各媒体の特性をいかした情報提供が必要である。
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
テレビやラジオなどの広報媒体を活用し、市政情報や市の歴史・文化など、市の魅力を効果的に発信することで、市政への理解とシビックプライドの醸成を図る。
また、広報高松とSNSなどを連携させるメディアミックスを活用し、より効果的な情報発信を行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2161
	取組方針	市民参画の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	ホームページ等管理運営事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市の広報媒体の中で、速報性が高く、より広範囲に情報を発信できるホームページを通じて、本市の施策や取組、観光情報などの市政情報を、タイムリーに発信するとともに、民間ソーシャルメディアを活用した動画配信サイトを開設し、写真や文字だけでは伝えることができなかった情報を映像で効果的に発信していく。				
8年度概要	・ホームページ管理運営 ・SNSによる情報発信（X、Facebook、LINE） ・広報動画配信サイト管理運営 ・公式LINE管理運営等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

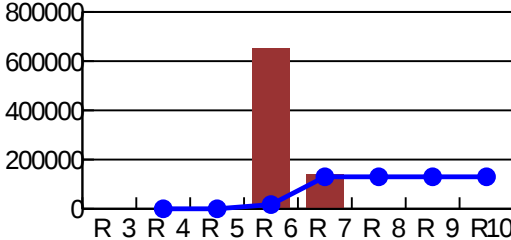
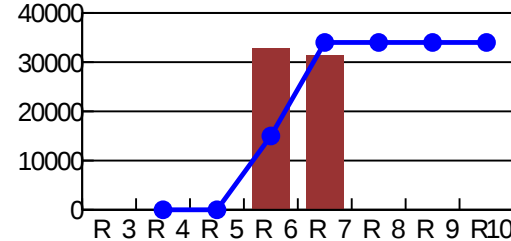
【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	市からの各事業のお知らせや地域の身近な情報を配信し、市民の市政への理解・協力を深めてもらうとともに、行政と市民との協働の強化、市政への参画を促す。また、本市の持つ様々な魅力ある資源や情報を積極的に国内外へ発信し、市のPRを行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
情報更新件数（新着件数／年）	件	0	4,404	4,188	4,500	4,500
インターネット広報動画配信件数	本	0	178	143	150	150

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	インターネット広報動画再生件数	回	目標値	0	17,100	130,000	130,000	130,000
			実績値	0	652,318	141,825		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	一昨年度は、シティプロモーション動画「高松からうどんが消えた」が、約30万回再生されていたが、昨年度は、同規模の映像制作を行っていないことから再生回数は減少となったが、目標再生回数は達成した。	(目標達成度)	109.1%					
	(得点)	35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	市ホームページ(サイト全体)へのアクセス数	千件	目標値	0	15,000	34,000	34,000	34,000
			実績値	0	32,769	31,449		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	サイト全体のアクセス件数は、昨年度から減少しており、目標数値も達成できていない状況である。近年の検索エンジンに搭載されているAI検索の導入等により、必要な情報が市ホームページにたどり着く前に得られる環境となったことなどが要因と考えられる。	(目標達成度)	92.5%					
	(得点)	32点						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	20,273	17,492	16,176	14,043
(事業費)	[千円]	9,735	11,316	8,180	8,446
(職員人件費)	[千円]	10,538	6,176	7,996	5,597

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・ホームページ管理運営 ・SNSによる情報発信 (X、Facebook、LINE) ・広報動画配信サイト管理運営 ・公式LINE管理運営等	ホームページ管理運営 6,644千円 インターネット動画広報 219千円 公式LINE管理運営 1,317千円	総額	8,180	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	446
			一般財源	7,734	
令和 8 年度	・ホームページ管理運営 ・SNSによる情報発信 (X、Facebook、LINE) ・広報動画配信サイト管理運営 ・公式LINE管理運営等	ホームページ管理運営 6,982千円 インターネット動画広報 219千円 公式LINE管理運営等 1,245千円	総額	8,446	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	343
			一般財源	8,103	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	91 / 100 (91 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

スマートフォンが生活インフラとして機能している中で、ホームページやSNSなどのデジタルツールを活用した情報発信の重要性は、ますます高まっている。

ホームページは、即時性に優れ、情報量が多く、広範囲に情報発信できることから、「広報高松」と並び本市の中心的な広報媒体である。今後は、市公式LINEや などの各広報媒体の特性をいかながら、ターゲットや発信する内容に応じて、最も効果的な広報媒体で情報提供を行う。また、令和9年度のホームページリニューアルに向けて取り組むとともに、広報動画とSNSを連携するメディアミックスや広報高松から市ホームページへ誘導するクロスコミュニケーションといった手法を一層活用し、より効果的な情報発信を図れるよう取り組んでいく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策		地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション課
	施策		参画・協働の推進		電話番号	087-839-2161
	取組方針		市民参画の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		広報高松等発行事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市の制度や取組など、様々な市政情報を市民に分かりやすく提供することにより、市民生活の利便性を向上させるとともに、市政に対する関心と理解を深め、情報の共有化を進める。				
8年度概要	・広報高松発行（毎月１日発行、年１２回） ・点字等広報発行（毎月１０日発行、年１２回） ・声の広報発行（毎月１日発行、年１２回）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

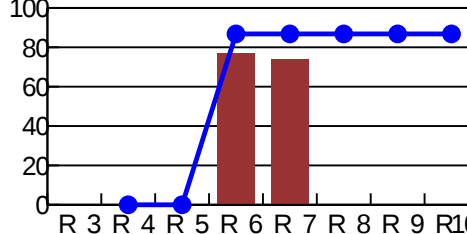
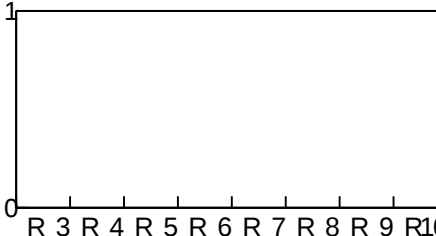
【事業の目的】

対象（何を）	市内全世帯
意図（どのような状態にしたいか）	市民に対し、市の施策・事業の目的を始め、市民が利用できる行政サービスや参加できる行事等の情報を提供し、市政についての理解や協力を得るとともに、市民の市政（まちづくり）への積極的な参画を促す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	広報高松発行部数	千部	0	2,408	2,408	2,400	2,400
	広報高松配布部数	千部	0	2,359	2,362	2,364	2,364

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	広報高松を読んでいる人の割合		%	目標値	0	86.8	86.8	86.8	86.8
				実績値	0	76.8	73.9		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	3年ごとに実施する「広報活動アンケート」において「広報高松」を「全ページ読む」、「必要な記事を読む」と答えた人の割合が73.9%であった。今後とも、若者から高齢者までより幅広い年齢層の市民に親しまれる紙面づくりに努める。		(目標達成度)	85.1%					
			(得点)	30点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
			(目標達成度)						
			(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	100,175	98,443	99,776	140,927
(事業費)	[千円]	88,132	86,863	78,986	123,336
(職員人件費)	[千円]	12,043	11,580	20,790	17,591

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・ 広報高松発行 (毎月 1 日発行、年 1 2 回) ・ 点字等広報発行 (毎月 1 0 日発行、年 1 2 回) ・ 声の広報発行 (毎月 1 日発行、年 1 2 回)	広報高松発行費等 7 7 , 4 4 8 千円 点字広報発行費等 1 , 5 3 8 千円	総額	78,986	
			特定財源	国	414
				県	207
				市債	0
				他	4,640
			一般財源	73,725	
令和 8 年度	・ 広報高松発行 (毎月 1 日発行、年 1 2 回) ・ 点字等広報発行 (毎月 1 0 日発行、年 1 2 回) ・ 声の広報発行 (毎月 1 日発行、年 1 2 回)	広報高松発行費等 1 2 1 , 7 3 0 千円 点字広報発行費等 1 , 6 0 6 千円	総額	123,336	
			特定財源	国	799
				県	399
				市債	0
				他	4,218
			一般財源	117,920	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

市民により読んでもらえるよう、特集記事の拡充など内容や構成等の見直しを行った。

広報高松は、市政情報を発信する上での基幹媒体であり、市民に役立つ市の施策や制度・イベント情報等を発信するとともに、歴史や文化、特色ある地域資源などの市の魅力を伝える情報を発信することで、シビックプライドの醸成を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション課
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2111
	取組方針	市民参画の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	市民相談事業			

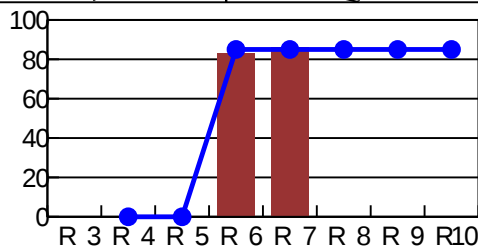
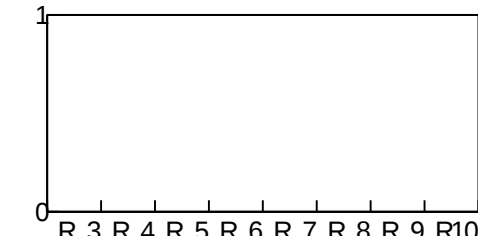
【事業全体概要】					
事業概要	メールや電話・来訪等で寄せられる市民の意見・相談・苦情・要望など、広聴広報・シティプロモーション課市民相談コーナー（市役所 1 階）で受け付けるもので、問題の内容によって関係機関と検討の上、早期解決に努めている。 相談業務としては、市政相談、一般相談、専門相談を、広聴業務としては、市長への提言、市政出前ふれあいトーク、市長まちかどトーク事業などを実施している。				
	相談業務実施予定 専門相談（弁護士相談 9 4 回、司法書士相談 2 3 回） 市政相談、一般相談 通年 広聴業務実施予定 市長への提言等 通年、市政出前ふれあいトーク 3 0 0 回、市長まちかどトーク 5 回				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令		

【事業の目的】	
対象（何を）	市民及び周辺住民
意図（どのような状態にしたいか）	相談業務を通して、市政に対する意見、要望、疑問、苦情等を把握し、庁内担当部署や他機関、そのほか弁護士、司法書士など専門家による相談を案内する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
市民相談コーナーでの市政・一般・専門相談件数	件	0	5,924	5,329	5,000	5,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	法律相談利用者の満足度	%	目標値	0	85	85	85	85
			実績値	0	83	86		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	法律相談アンケートの回答では、「満足」「やや満足」は 86% となり、前年度に比べ 3 ポイント増加した。「不満」「やや不満」は、前年度と同じく 5% で、理由としては時間が短いなどであった。		(目標達成度) 101.2%					
			(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	33,651	31,211	32,548	40,635
(事業費)	[千円]	12,049	14,227	14,957	15,048
(職員人件費)	[千円]	21,602	16,984	17,591	25,587

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	相談業務 専門相談（弁護士相談 9 6 回、司法書士相談 2 4 回） 市政相談、一般相談 通年 広聴業務 市長への提言等 3 2 0 件、市政出前ふれあいトーク 3 0 4 回、市長まちかどトーク 2 回	3 , 9 0 3 千円 ・ 1 1 , 0 5 4 千円	総額	14,957	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	14,957				
令和 8 年度	相談業務実施予定 専門相談（弁護士相談 9 4 回、司法書士相談 2 3 回） 市政相談、一般相談 通年 広聴業務実施予定 市長への提言等 通年、市政出前ふれあいトーク 3 0 0 回、市長まちかどトーク 5 回	3 , 9 6 7 千円 ・ 1 1 , 0 8 1 千円	総額	15,048	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	15,048				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

市政に対する市民の声を聴くとともに、日常生活における様々な問題を解決するため、各種相談事業を実施してきた。
市民満足度の向上と市民の市政参画の推進を図るため、今後とも、より相談体制の充実に努めながら継続して事業を実施する必要がある。

市政に対する市民の声を聴き、市民サービスの向上を図るとともに、日常生活における様々な問題解決寄与のため、各種相談事業を実施している。

今後とも、市民満足度の向上と市民の市政参画の推進を図るため、より相談体制の充実に努めながら継続して事業を実施する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2161
	取組方針	市民参画の推進		事業期間	令和 年度～令和 年度
	事務事業	デジタル広報推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松市が提供する行政サービスを、市民が調べるための最も重要なツールである市公式ホームページをリニューアルし、市民の利便性向上を図る。				
8年度概要	システム開発 スマートマップ移行 プロポーザル審査委員報酬				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	

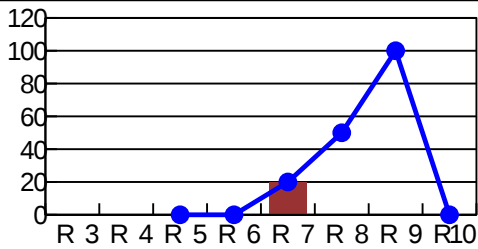
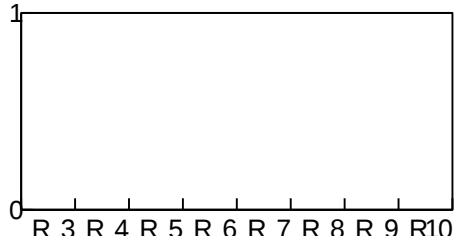
【事業の目的】

対象（何を）	市民・職員
意図（どのような状態にしたいか）	市民（ユーザー）が、知りたい情報にストレスなく容易にアクセスできるホームページとし、かつ、ページ更新や管理を行う市職員の作業負担を軽減できるホームページ更新システムを導入する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
ホームページ再構築プロジェクトチームの会議開催件数	件	0	0	7	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	ホームページリニューアルの進捗率	%	目標値 実績値	0 0	0 0	20 20	50 50	50
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	プロジェクトチームを発足し、現状のホームページの課題を抽出するとともに、その課題に対して、現在のデジタル技術を活用した対策方針を固め、業者選定のための仕様書を作成した。			（目標達成度） 100.0%				
				（得点） 35点				
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				（目標達成度）				
				（得点）				

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	自立的で推進力のある行財政運営の確立		課(室)名	コンプライアンス推進課
	施策	行財政運営の基盤強化		電話番号	087-839-2155
	取組方針	職員力の向上		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	コンプライアンス推進事務			

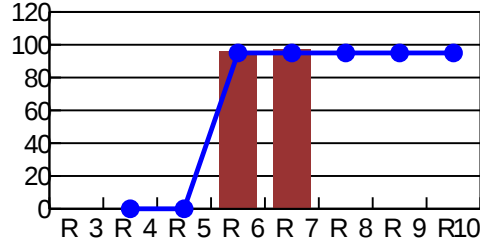
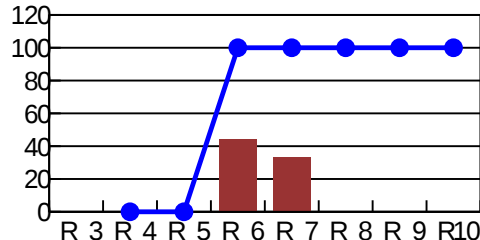
事業概要	高松市職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に関する条例に基づき、内部公益通報や不当要求行為に対応することなどにより、職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に努める。また、「高松市職員のためのコンプライアンス推進施策」に基づき、職員の意識改革に主眼を置いた各種取組を進めるとともに、行政執行過程で生じる諸問題に対応するため、行政問題法律相談を実施するなど、職員のコンプライアンス意識や法的知識の向上に努め、不祥事の撲滅と市民の信頼確保、さらには市民サービスの向上に取り組んでいる。				
8年度概要	・各種職員研修の実施 ・行政問題法律相談の実施 ・内部公益通報及び不当要求行為等への対応 ・その他「高松市職員のためのコンプライアンス推進施策」に基づく各種取組の推進				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に関

【事業の目的】	
対象（何を）	全職員
意図（どのような状態にしたいか）	市職員としてのコンプライアンスについて理解した上で、職務を遂行する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
コンプライアンス推進施策における実施・着手施策数	施策	0	25	25	25	25

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	コンプライアンスを理解している職員の割合	%	目標値	0	95	95	95	95
			実績値	0	96.2	97.2		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	「高松市職員のためのコンプライアンス推進施策」に基づき、各種研修を中心とした職員の意識改革に主眼を置いた各種取組を進めた結果、前年度比1.0ポイント上昇し、97.2%となった。		(目標達成度) 102.3% (得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	懲戒処分者数の減少率(対平成26年度比)	%	目標値	0	100	100	100	100
			実績値	0	44.4	33.3		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	平成27年度からコンプライアンス推進の各種取組に着手した結果、懲戒処分者数は着手前(26年度)の9人から、令和7年度は6人、減少率33.3%となった。		(目標達成度) 33.3% (得点) 12点					

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	災害・パンデミックに強い社会の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	取組方針	防災・危機管理体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	災害時緊急物資備蓄事業			

【事業全体概要】

事業概要	災害時に必要な緊急物資を備蓄する事業				
8年度概要	消耗品 緊急物資（定期更新分） 手数料 毛布クリーニング				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市災害時緊急物資備蓄計画

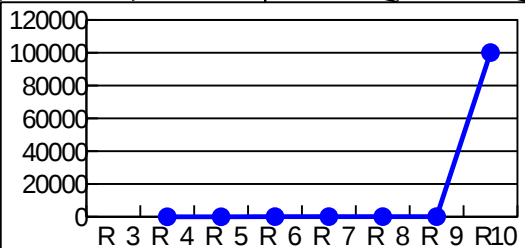
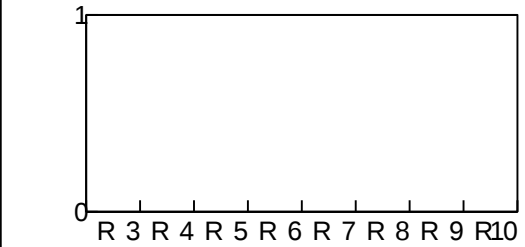
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	災害時に必要な備蓄物資を市民に配布する必要があることから、備蓄計画に基づき滞りなく備蓄を行い、賞味期限のある備蓄物資についても、期限が切れる1年前に入替えを行い、大規模災害に備える。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
賞味期限切れ前備蓄物資の入替率	%	0	0	100	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	備蓄計画に対して確保している物資数の割合			%	目標値	0	100	100	100	100
					実績値	0	100	100		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	賞味期限切れの備蓄について全て入れ替えることができた。			(目標達成度) 100.0%						
(得点) 35点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
					目標値					
					実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
				(目標達成度)						
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	10,777	28,327	43,233	26,372
(事業費)	[千円]	8,293	16,747	31,239	14,378
(職員人件費)	[千円]	2,484	11,580	11,994	11,994

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	消耗品 緊急物資（定期更新分・令和6年能登半島地震を踏まえた増量） 手数料 毛布クリーニング	31,239千円 0千円	総額	31,239	
			特定財源	国	0
				県	9,000
				市債	0
				他	0
			一般財源	22,239	
令和 8 年度	消耗品 緊急物資（定期更新分） 手数料 毛布クリーニング	14,360千円 18千円	総額	14,378	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	14,378	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

今後も滞りなく備蓄物資の入替えを行うことにより、災害時の備えを万全にする必要がある。

今後も滞りなく備蓄物資の入替えを行うことにより、災害時の備えを万全にする必要がある。また、物価上昇やさらなる備蓄の増強といったコストの増加が想定されるため、保存期限の長い物資に変更するなど、長期的な視点でのコスト削減を検討していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	災害・パンデミックに強い社会の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	取組方針	防災・危機管理体制の充実		事業期間	令和 年度～令和 13年度
	事務事業	防災行政無線再整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市では、防災情報を市民に伝達するためにデジタル式同報系防災行政無線を整備しているが、システムの老朽化・旧式化が進んでいる。また、災害時の内部の連絡用としてMC無線機を配備しているが、令和11年でサービス終了予定となっていることから、これらについて今後の方針を検討する必要がある。 当該事業は、既存の防災情報伝達システムの再評価を行うとともに、今後の防災情報伝達システムのあり方を調査・検討し、本市に最適な防災情報伝達システムを構築していくものである。				
8年度概要	令和8年度から南海トラフ地震等総合対策事業に統合				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	災害対策基本法第56条

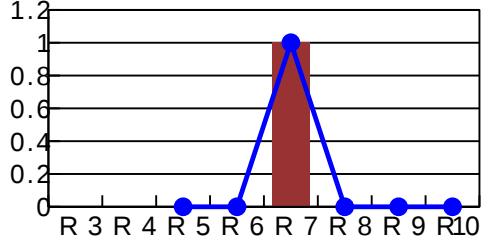
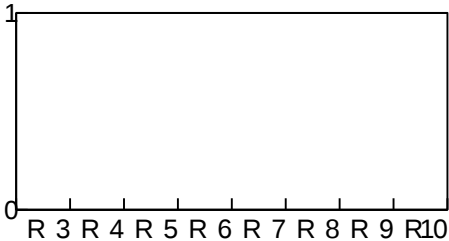
【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	本市では、防災情報を市民に伝達するためにデジタル式同報系防災行政無線等を整備しているが、システムの老朽化・旧式化が進んでいるため、既存の防災情報伝達システムの再評価を行うとともに、今後の防災情報伝達システムのあり方を調査・検討することで、本市に最適な防災情報伝達システムを構築していく。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R5	R6	R7	R8	中期目標R8
調査業務の契約件数	件	0	0	1	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R5	R6	R7	R8	中期目標R8
	整備方針案の作成件数	件	目標値 実績値	0 0	0 0	1 1	0	0
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	高松市における災害時の情報伝達システムのあり方についてコンサル業者に基礎調査を委託し、整備方針案を作成することができた。	（目標達成度） 100.0%						
		（得点） 35点						
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R5	R6	R7	R8	中期目標R8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		（目標達成度）						
		（得点）						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	0	14,123	0
(事業費)	[千円]	0	0	6,127	0
(職員人件費)	[千円]	0	0	7,996	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	災害時の情報伝達システムの在り方についての基礎調査業務委託	6 , 1 2 7 千円	総額	6,127	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	4,700
			一般財源	1,427	
令和 8 年度	令和 8 年度から南海トラフ地震等総合対策事業に統合		総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

作成した災害時の情報伝達システムの案を実現するため、関係機関や地域との調整を図っていく必要がある。

市民、関係機関との調整を図ったうえで、令和 7 年度に作成した整備方針案に基づき、次世代の災害時情報伝達システムを構築していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	総務局
	政策		災害・パンデミックに強い社会の形成		課(室)名	危機管理課
	施策		防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	取組方針		地域防災力の向上		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		市民防災力向上推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松防災合同庁舎（危機管理）センター 1 階たかまつ防災プラザ等を拠点に、防災の情報を効果的に発信するとともに、地元ラジオ局での防災啓発番組において防災の情報を効果的に発信し、市民の防災意識の向上を図る。				
8年度概要	定期的な「ぼうさいまちカフェ」の開催やパネル展示など、防災情報の発信 講師謝金 防災プラザ等消耗品 防災啓発ラジオ番組制作委託業務 講演会場使用料				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市地域防災計画

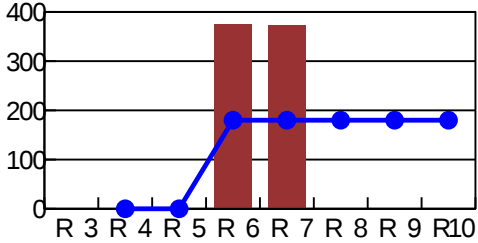
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	高松市防災合同庁舎（危機管理センター）1階「たかまつ防災プラザ」等を拠点に、香川大学の協力のもと「ぼうさいまちカフェ」の定期的な開催、パネル展示や大型モニターによる動画放送を行うとともに、地元ラジオ局での防災啓発番組により防災の情報を効果的に発信し、市民の防災力の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
ぼうさいまちカフェ年間実施回数	回	0	11	12	12	12
防災啓発ラジオ番組作成・放送数	回	0	12	11	12	12

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																			
	ぼうさいまちカフェ年間参加人数 (Web視聴含む)		人	目標値	0	180	180	180	180																			
				実績値	0	374	373																					
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)					 <table><caption>参加人数の推移 (推定値)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>参加人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 3</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>374</td></tr><tr><td>R 7</td><td>373</td></tr><tr><td>R 8</td><td>180</td></tr><tr><td>R 9</td><td>180</td></tr><tr><td>R10</td><td>180</td></tr></tbody></table>					年度	参加人数	R 3	0	R 4	0	R 5	0	R 6	374	R 7	373	R 8	180	R 9	180	R10	180
	年度	参加人数																										
R 3	0																											
R 4	0																											
R 5	0																											
R 6	374																											
R 7	373																											
R 8	180																											
R 9	180																											
R10	180																											
年間の参加者は延べ373人となり、目標を上回った。		(目標達成度)	207.2%																									
		(得点)	35点																									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																			
				目標値																								
				実績値																								
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)																											
			(目標達成度)																									
(得点)																												

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	2,473	8,417	8,470	8,683
(事業費)	[千円]	2,247	2,241	2,073	2,286
(職員人件費)	[千円]	226	6,176	6,397	6,397

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	定期的な「ぼうさいまちカフェ」の開催やパネル展示など 、防災情報の発信 講師謝金 防災プラザ等消耗品 防災啓発ラジオ番組制作委託業務 講演会場使用料	8 8 千円 1 0 千円 1 , 9 6 0 千円 1 5 千円	総額	2,073	
			特定財源	国	0
				県	690
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,383	
令和 8 年度	定期的な「ぼうさいまちカフェ」の開催やパネル展示など 、防災情報の発信 講師謝金 防災プラザ等消耗品 防災啓発ラジオ番組制作委託業務 講演会場使用料	8 9 千円 3 0 千円 2 , 1 3 9 千円 2 8 千円	総額	2,286	
			特定財源	国	0
				県	760
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,526	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

香川大学と連携しながら、市民の興味関心の高いテーマで実施するとともに、夏休み期間中には、ヨット競技場で小学生向けの出張まちカフェを実施、3月には防災まち歩きを実施し、幅広い年代に御参加いただいた。

ぼうさいまちカフェや防災啓発ラジオ番組は、南海トラフ地震などの大規模災害に対する備えや、水害時の避難の在り方など、市民の防災力を向上させるために必要な情報発信ツールであり、より広い世代に興味を持ってもらえるような工夫を検討しながら、引き続き積極的に情報発信し、より一層の防災力の向上を推進する。

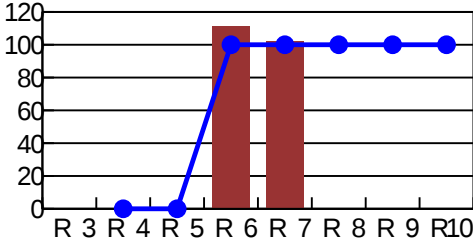
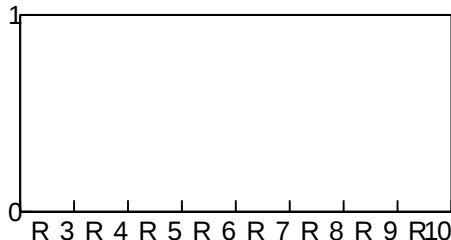
令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	災害・パンデミックに強い社会の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	取組方針	地域防災力の向上		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	地域防災対策事業			

【事業全体概要】					
事業概要	高松市地域防災計画に基づき、防災活動の習熟及び防災関係機関との連携強化、市民の防災意識の高揚等を図るため、総合防災訓練を隔年で実施し、地域の防災力の向上を目的に、毎年、市民向けの防災講演会の実施や、防災士の資格取得に係る補助や家具類転倒防止器具の購入・設置に係る補助を実施している。				
8年度概要	市民防災講演会講師謝金等 C M S 災害用監視カメラ 防災士資格取得助成制度 家具類転倒防止対策事業補助				
重点取組事業		市長マニフェスト	4-	関連根拠法令	高松市地域防災計画

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	本市地域防災計画に基づき、総合防災訓練を実施し、災害対策活動の習熟及び防災関係機関との連携強化、市民の防災意識の高揚等を図る。地域防災力の向上を図るため、防災士の資格取得助成や研修会等を実施し、各地域において防災リーダーを養成する。

【事業の活動】							
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	防災士助成申込数	人	0	19	17	20	20
	高松市民防災講演会開催回数	回	0	1	1	1	1

【事業の成果】										
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	高松市民防災講演会参加人数（W e b視聴含む）			人	目標値	0	100	100	100	100
					実績値	0	111	102		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	高松市民防災講演会は各地域コミュニティ協議会からの代表者、県防災士会及び一般市民に対して行いW E B会議システムも併用し、参加人数の目標を達することができた。				（目標達成度） 102.0%					
（得点） 35点										
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
					目標値					
					実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
					（目標達成度）					
（得点）										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	11,603	38,048	14,070	12,381
(事業費)	[千円]	2,571	27,240	2,876	1,187
(職員人件費)	[千円]	9,032	10,808	11,194	11,194

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	市民防災講演会講師謝金等 総合防災訓練 C M S 災害用監視カメラ 防災士資格取得助成制度 家具類転倒防止対策事業補助 避難所停電監視システム保守 災害時等応急用井戸普及促進事業	7 千円 1 , 3 9 8 千円 7 千円 2 5 7 千円 5 9 8 千円 5 8 4 千円 2 5 千円	総額	2,876	
			特定財源	国	0
				県	855
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,021	
令和 8 年度	市民防災講演会講師謝金等 C M S 災害用監視カメラ 防災士資格取得助成制度 家具類転倒防止対策事業補助	1 5 千円 1 2 千円 3 6 0 千円 8 0 0 千円	総額	1,187	
			特定財源	国	0
				県	524
				市債	0
				他	0
			一般財源	663	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

広島市落合学区自主防災会連合会から講師を迎え、市民防災講演会を開催した。会場とWebのハイブリッド開催とし、出席者が計画を上回った。また、家具類転倒防止対策推進のため、ホームセンター等への補助制度の周知を行った。

防災士の育成を図ることで、地域の防災リーダーを養成し、自助・共助を促進していく。また、家具類の転倒防止対策や感震ブレーカーの設置に係る費用の助成を継続することで、市民の減災対策を推進する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	災害・パンデミックに強い社会の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	取組方針	地域防災力の向上		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	自主防災組織等育成事業			

【事業全体概要】

事業概要	大規模災害時等の被害を少しでも防ぐために「自分たちの地域は、自分たちで守る。」という自助・共助の意識の醸成と高揚を図るとともに、結成された自主防災組織の活動を推進するための防災訓練を支援する等の育成指導を行い、地域防災力の向上を図る。				
8年度概要	令和 8 年度から南海トラフ地震等総合対策事業に統合				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	4-	関連根拠法令	災害対策基本法

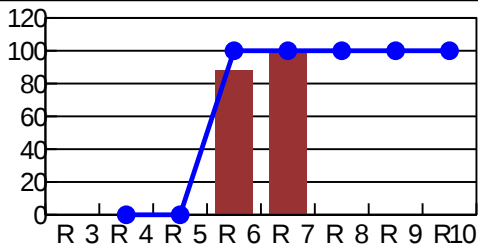
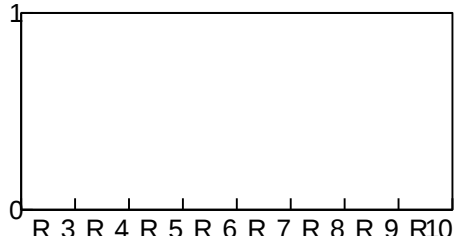
【事業の目的】

対象（何を）	地域コミュニティ、自主防災組織
意図（どのような状態にしたいか）	防災訓練等の実施を呼びかけ支援することにより、自主防災組織の活動を強化して、地域防災力の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
非常食品助成率	%	0	68	68.2	80	80
周知ポスター等の掲載媒体数	件	0	1	1	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	地域における住民参加型の防災訓練の実施率	%	目標値 実績値	0 0	100 88	100 100	100	100
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	包括的自主防災組織に対し、地域防災訓練連絡会の開催、資機材の貸し出し、災害時指定職員の派遣、香川大学との連携、訓練内容の相談を行ったことにより、42地区において住民参加型訓練が実施された。なお、地域における防災訓練自体は44地区で実施されている。			(目標達成度) 100.0%				
				(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
				(得点)				

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	自立的で推進力のある行財政運営の確立		課(室)名	デジタル戦略課
	施策	スマートシティの推進		電話番号	087-839-2172
	取組方針	地域デジタルトランスフォーメーション(ＤＸ)の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	スマートシティたかまつ推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	産学民官の多様な主体が参画する「スマートシティたかまつ推進協議会」と連携しながら、ＩＣＴやデータを活用し、本市が抱える様々な分野での地域課題の解決を図る。					
8年度概要	I oT 共通プラットフォーム運用・保守 スマートシティたかまつ推進協議会の運営（ワーキンググループ含む） たかまつK I D S プログラミングコンテストの開催 デジタルデバイド対策 かがわD X L a b 負担金					
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	6-	関連根拠法令	デジタル社会形成基本法、官民データ活用	

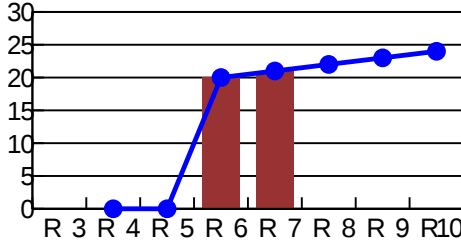
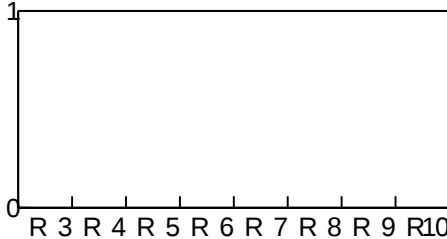
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民等
意図（どのような状態にしたいか）	多様な主体と連携しながらデジタル技術やデータを活用し、地域課題を解決する

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	スマートシティ推進協議会・WG等の開催件数	件	0	11	11	15	15
	デジタルデバйд対策事業実施地区数	地区	0	4	4	4	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																			
	デジタル活用により解決に向け取り組んだ課題数		件	目標値	0	20	21	22	22																			
				実績値	0	20	21																					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					 <table><caption>達成率推移表</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 3</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>20</td></tr><tr><td>R 7</td><td>21</td></tr><tr><td>R 8</td><td>22</td></tr><tr><td>R 9</td><td>23</td></tr><tr><td>R 10</td><td>25</td></tr></tbody></table>					年度	達成率 (%)	R 3	0	R 4	0	R 5	0	R 6	20	R 7	21	R 8	22	R 9	23	R 10	25
	年度	達成率 (%)																										
R 3	0																											
R 4	0																											
R 5	0																											
R 6	20																											
R 7	21																											
R 8	22																											
R 9	23																											
R 10	25																											
かがわDXLabへの参画を継続するとともに、協議会内にワーキンググループを新設し、「生成AIを活用した買い物サービス」の実証事業に向けた検討を進めるなど、地域課題の解決に向けた体制強化と取組の推進を図ることができた。		(目標達成度)																										
		(得点)	35点																									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																			
				目標値																								
				実績値																								
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）																											
			(目標達成度)																									
(得点)																												

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	109,064	93,503	81,469	68,167
(事業費)	[千円]	81,967	56,447	50,285	37,782
(職員人件費)	[千円]	27,097	37,056	31,184	30,385

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	I oT 共通プラットフォーム運用・保守 スマートシティたかまつ推進協議会の運営（ワーキンググループ含む） たかまつKIDSプログラミングコンテストの開催 デジタルデバイド対策 かがわDXLab負担金 デジタル田園都市国家構想推進事業 オープンデータサイト運用・保守 旅費	15,741千円 0千円 134千円 3,000千円 1,327千円 28,380千円 1,650千円 53千円	総額	50,285	
			特定財源	国	14,190
				県	0
				市債	0
				他	1,374
			一般財源	34,721	
令和 8 年度	I oT 共通プラットフォーム運用・保守 スマートシティたかまつ推進協議会の運営（ワーキンググループ含む） たかまつKIDSプログラミングコンテストの開催 デジタルデバイド対策 かがわDXLab負担金 デジタル田園都市国家構想推進事業 オープンデータサイト運用・保守 旅費	17,657千円 1,007千円 138千円 3,007千円 1,428千円 12,423千円 1,650千円 472千円	総額	37,782	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	6,274
			一般財源	31,508	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

かがわDXLabへの参画を継続するとともに、スマートシティたかまつ推進協議会と連携し、たかまつKIDSプログラミングコンテスト等の「スマートシティたかまつ」の実現に寄与する事業を行った。

また、国のデジタル田園都市国家構想交付金（地方創生タイプ）の採択を受け、放課後 FACT-ory事業を実施した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

引き続き、産学民官の多様な主体で構成するスマートシティたかまつ推進協議会と連携しながら、地域課題の解決に繋がる取組を着実に推進する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策		自立的で推進力のある行財政運営の確立		課(室)名	デジタル戦略課
	施策		スマートシティの推進		電話番号	087-839-2172
	取組方針		自治体デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		自治体DX推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	市民の利便性の向上や庁内業務の効率化を図るため、行政手続のデジタル化やデジタル人材の育成等に取り組む。				
8年度概要	DX推進に係る人材育成 行政手続デジタル化促進 ぴったりサービス接続環境整備 汎用電子申請フォームの運用 その他（協議会会費） 窓口DX推進事業 キャッシュレス推進事業 RPAの運用等				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	6-	関連根拠法令	

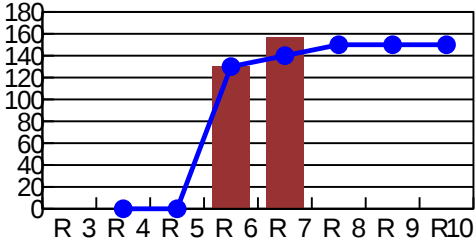
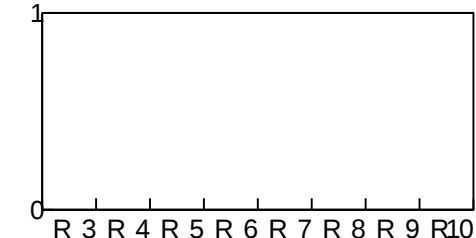
【事業の目的】

対象（何を）	庁内手続
意図（どのような状態にしたいか）	本市における行政手続に関する市民の利便性向上及び庁内の業務効率化を進める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
デジタル人材育成のための研修等開催回数	回	0	9	11	5	5
窓口 B P R に取り組んでいる所属数	件数	0	1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	行政手続のデジタル化実施件数	件	目標値	0	130	140	150	150
			実績値	0	130	157		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	デジタル人材育成のための研修等の実施や、庁内各課からの各種ツールの利用に関する問合せに対する継続的な支援によって、汎用電子申請フォームやぴったりサービスの活用が図られることにより、目標を達成することができた。	(目標達成度) 112.1%						
		(得点) 35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)					
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	18,154	56,604	79,467	263,303
(事業費)	[千円]	3,100	19,548	24,295	208,930
(職員人件費)	[千円]	15,054	37,056	55,172	54,373

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	D X 推進にかかる人材育成 行政手続デジタル化促進 ぴったりサービス接続環境整備 汎用電子申請フォームの運用 その他（窓口 D X の推進、協議会会費等） R P A の運用等	1 , 6 8 3 千円 1 4 0 千円 1 0 , 0 0 6 千円 4 , 1 1 9 千円 1 , 1 9 7 千円 7 , 1 5 0 千円	総額	24,295	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	24,295	
令和 8 年度	D X 推進に係る人材育成 行政手続デジタル化促進 ぴったりサービス接続環境整備 汎用電子申請フォーム の運用 その他（協議会会費） 窓口 D X 推進事業 キャッシュレス推進事業 R P A の運用等	3 , 6 8 0 千円 3 0 3 千円 1 0 , 1 6 3 千円 3 , 3 6 6 千円 1 0 千円 1 7 7 , 8 9 4 千円 5 , 1 9 7 千円 8 , 3 1 7 千円	総額	208,930	
			特定財源	国	86,768
				県	0
				市債	69,300
				他	89
				一般財源	52,773

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

職員を対象とした生成 A I や E x c e l のツール研修、汎用電子申請フォームの実務研修を実施することにより、職員のデジタルリテラシーとスキルの向上を図ることができた。

また、本市の窓口における現状と課題を踏まえ、「行かない、書かない、待たない窓口」の実現を目指し、市民及び職員にとって、より良い窓口の理想像を描き、令和 8 年度における窓口 D X の具体的な取組について、検討を進めることができた。

令和8年4月に策定した「高松市DX人材育成方針」に基づき、DXサポーターを育成するほか、全職員を対象としたマインドセット研修を行うなど、更なる住民の利便性向上と行政運営の効率化を図る。また、市民課を始めとした窓口部門において、BPRを継続して実施することで、業務フロー等の顕在化した課題を分析し、課題に対応した適切なソリューションの導入を検討し、窓口DXを推進していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	財政局
	政策	自立的で推進力のある行財政運営の確立		課(室)名	ファシリティマネジメント
	施策	行財政運営の基盤強化		電話番号	087-839-2262
	取組方針	効率的・効果的な行政運営の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	ファシリティマネジメント推進事業			

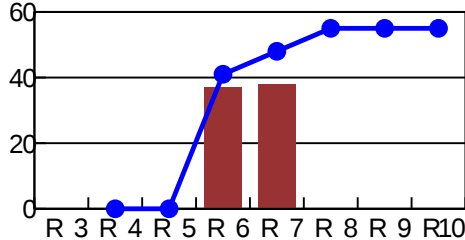
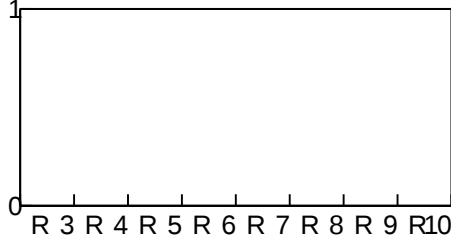
【事業全体概要】					
事業概要	本市の公共施設・公用施設は、老朽化が急速に進展しているが、今後の財政状況を考慮すると、全ての施設を現状のまま維持・更新することはできず、施設の保有総量を削減するなど、施設に係る経費の削減に取り組む。また、公共施設サービスの維持を図るため、ファシリティマネジメントの考え方を取り入れ、経営的な観点から、施設の用途転用や共用化による有効活用の促進、配置の見直し、複合化、未利用スペースの貸出しなどに取り組む。				
8年度概要	公の施設指定管理者選定委員会委員報酬 非常勤嘱託職員報酬及び社会保険料 F M推進支援専門員報償費及び旅費 システム委託料 その他				
重点取組事業		市長マニフェスト	2-	関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	市が保有する全ての公共施設（F M推進基本方針で対象外としている施設は除く。）を対象とする。
意図（どのような状態にしたいか）	中長期保全計画等の策定を行い、効率的・効果的な維持保全や長寿命化対策により、適切な維持管理を行うことで、財政負担の軽減や平準化に努めるとともに、市有施設の保有総量（延床面積）の最適化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
庁内プロジェクトチーム開催回数	回	0	1	1	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	再編整備実施計画策定済みの施設数	施設	目標値	0	41	48	55	55
			実績値	0	37	38		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	施設所管課との情報共有・情報提供を更に進めながら、再編整備実施計画の早期策定に向けた支援を行う。		(目標達成度)	79.2%				
(得点)			28点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度)					
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	57,382	55,457	64,162	73,096
(事業費)	[千円]	4,693	9,137	16,186	17,124
(職員人件費)	[千円]	52,689	46,320	47,976	55,972

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	公の施設指定管理者選定委員会委員報酬 非常勤嘱託職員報酬及び社会保険料 F M推進支援専門員報償費及び旅費 システム委託料 その他	1 4 , 2 9 7 千円 4 8 4 千円 0 千円 8 1 0 千円 5 9 5 千円	総額	16,186	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	16,186	
令和 8 年度	公の施設指定管理者選定委員会委員報酬 非常勤嘱託職員報酬及び社会保険料 F M推進支援専門員報償費及び旅費 システム委託料 その他	1 4 , 2 9 7 千円 6 0 9 千円 6 4 1 千円 8 3 4 千円 7 4 3 千円	総額	17,124	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	17,124	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	80 / 100 (80 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

1 施設において「高松市公共施設再編整備実施計画」が策定され、合計 38 施設となったが、残りの 31 施設の施設所管課は、今後の利活用の検討や関係機関（者）との調整に時間を要している。

施設の維持・更新に係る経費の縮減と平準化を図ることで、財政負担の軽減を目指すため、「高松市公共施設再編整備計画」において廃止等の方向性にある施設は、「高松市公共施設再編整備実施計画」の早期策定に向け、助言等の支援を行う。

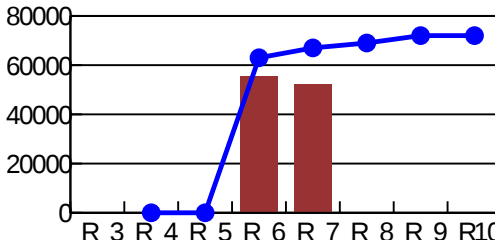
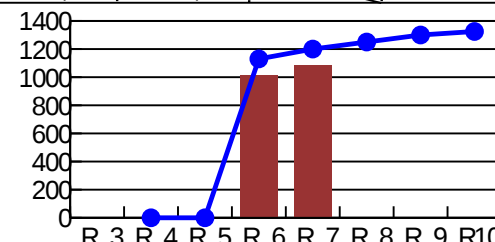
令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	財政局
	政策	自立的で推進力のある行財政運営の確立		課(室)名	納税課
	施策	行財政運営の基盤強化		電話番号	087-839-2224
	取組方針	健全な財政運営の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	ふるさと高松応援寄附促進事業			

【事業全体概要】					
事業概要	ふるさと納税制度の趣旨を踏まえ、ふるさと高松応援寄附制度を魅力あるものとし、より多くの方々から応援・寄附していただけるよう努める。				
8年度概要	・ 寄附申込サイト、返礼品配送管理運営業務委託 ・ 寄附受領証明書発行、ワンストップ処理事務委託 ・ 広告業務委託等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	ふるさと高松応援寄附条例

【事業の目的】	
対象（何を）	ふるさと納税制度を活用し、高松市に対して寄附をした人
意図（どのような状態にしたいか）	高松市が取り組んでいくまちづくりを応援していただけるよう、寄附金対象事業を積極的にPRすることで、寄附者を増やしていく。

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
ふるさと高松応援寄附金受付専用ポータルサイト採用数	件	0	17	27	16	16

【事業の成果】									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	ふるさと納税寄附件数	件	目標値	0	63,000	67,000	69,000	69,000	
			実績値	0	55,378	52,182			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	令和5年度の制度改正に伴い寄附金額を引き上げたことにより、一人当たりの寄附単価は上がったものの、前年度より寄附件数は減少したため、目標値には達しなかった。			(目標達成度) 77.9%					
			(得点) 27点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	ふるさと納税寄附金額	百万円	目標値	0	1,130	1,200	1,250	1,250	
			実績値	0	1,012	1,082			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	新たなポータルサイトへの掲載や新規返礼品の開発、イベントへの出展などに取り組むことにより、昨年度より寄附金額を増やすことができたものの、目標で見込んだ伸び率を下回ったため、目標値には達しなかった。			(目標達成度) 90.2%					
			(得点) 32点						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	612,570	486,940	550,603	675,773
(事業費)	[千円]	589,989	462,545	526,615	651,785
(職員人件費)	[千円]	22,581	24,395	23,988	23,988

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・ 寄附申込サイト、返礼品配送管理運営業務委託 ・ 寄附受領証明書発行、ワンストップ処理事務委託 ・ 広告業務委託等	ふるさと高松応援促進費 旅 費 3 1 9 千円 需用費 1 2 8 千円 役務費 1 , 5 3 6 千円 委託料 5 2 4 , 6 3 2 千円	総額	526,615	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	526,615	
令和 8 年度	・ 寄附申込サイト、返礼品配送管理運営業務委託 ・ 寄附受領証明書発行、ワンストップ処理事務委託 ・ 広告業務委託等	ふるさと高松応援促進費 報 酬 7 千円 旅 費 5 9 1 千円 需用費 4 4 4 千円 役務費 2 , 8 0 0 千円 委託料 6 4 7 , 9 4 3 千円	総額	651,785	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	651,785	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	85 / 100 (85 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）	
新たなポータルサイトへの掲載や新規返礼品の開発、イベントへの出展などに取り組むことにより、前年度より寄附金額を増やすことができた。	
制度改正に伴う寄附金額の引き上げによる影響を受けていることから、寄附件数が大きく減っているものについて、金額や内容量の見直しを行い、寄附金額が落ち込まないよう対応していく必要がある。	

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

ふるさと納税制度の趣旨を踏まえた上で、返礼品の見直しや新たな返礼品の開拓を行い、ふるさと高松応援寄附事業を魅力あるものとしていく。また、より多くの人に情報を発信するために、広報やイベントへの出展などのプロモーション活動を強化するとともに、新たなふるさと納税ポータルサイトへの掲載について検討を行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	協働コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	取組方針	コミュニティ活動の支援の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	コミュニティ推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	一般社団法人高松市コミュニティ連合会への運営補助金の交付、地域コミュニティに携わる人材育成を目的とした人材養成事業の実施、コミュニティ活動備品の整備などを行い、地域コミュニティの自立と活性化を図るもの。				
8年度概要	一般社団法人高松市コミュニティ連合会の活動支援等 地域コミュニティ人材育成研修等の開催 コミュニティ活動備品の整備等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市補助金等交付規則

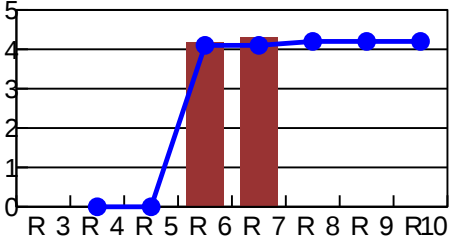
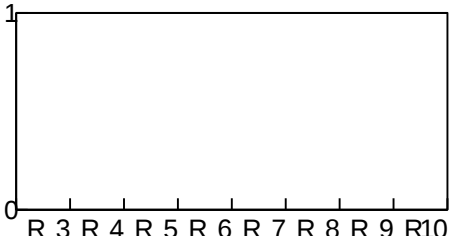
【事業の目的】

対象（何を）	一般社団法人高松市コミュニティ連合会、各地域コミュニティ協議会、地域コミュニティ関係者
意図（どのような状態にしたいか）	地域コミュニティ協議会及びその連合体である一般社団法人高松市コミュニティ連合会の組織を強化し、地域コミュニティの自立と活性を図るほか、一般社団法人高松市コミュニティ連合会と連携し、地域コミュニティの人材育成に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
地域コミュニティ関係者を対象とした研修等の参加人数	人	0	686	605	530	530

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	参加者の研修等への満足度	点	目標値	0	4.1	4.1	4.2	4.2
			実績値	0	4.18	4.3		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	令和4年度より、コミュニティ連合会と連携し、地域コミュニティの人材育成を目的に、役職別研修や協議会事務に係る研修などを実施し、3年目となり目標値を達成することができた。							
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							

令和 8年度（ 7年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

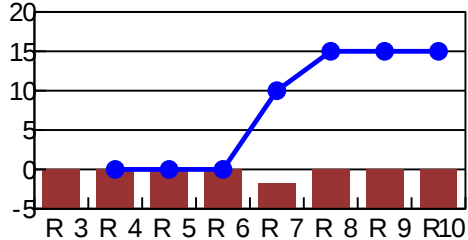
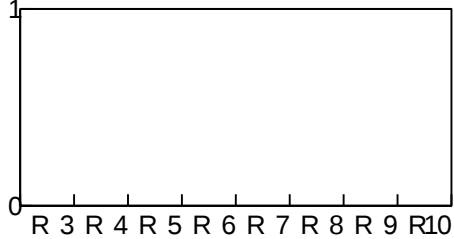
総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	協働コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	取組方針	コミュニティ活動の支援の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	自治会再生支援事業			

【事業全体概要】					
事業概要	地域コミュニティの中心的役割を担う自治会の活動を支援することで、地域の連帯感を取り戻し、地域みずからのまちづくりを目指す。 自治会の在り方等検討プロジェクトチームで検討された自治会支援策を踏まえて、地域と行政とで共に自治会再生に向けた新たな取組を実施し、自治会のみならず、地域コミュニティの再生を目指す。				
8年度概要	自治会に関する研修や自治会PR、企業表彰 マイタウン・サポートリーダー事業 自治会チャレンジ事業 マンション事業者等と自治会加入促進に関する協定の締結 自治会の新しい在り方検討事業に係る伴走支援				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	3-	関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	各地区（校区）連合自治会及び単位自治会、各地域コミュニティ協議会、高松市コミュニティ連合会
意図（どのような状態にしたいか）	単位自治会の再生、各地区（校区）連合自治会及び単位自治会の活性化

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
地縁力向上のための新たな取組を実施する協議会数	協議会	0	0	2	2	2

【事業の成果】										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8		
	新たな取組を実施する協議会の自治会加入率 の上昇率	%	目標値	0	0	10	15	15		
			実績値	0	0	-1.7				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	新たな取組を実施する協議会を支援する「自治会の新しい在り方検討事業に係る伴走支援」は令和6年度に制度設計を行い、7年度はモデル地区となる2地区で伴走支援を行った。地域で実施する事業内容の検討及び準備を行ったため、7年度は自治会加入率の上昇につながらなかった。			(目標達成度) 0.0%						
(得点) 0点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8		
			目標値							
			実績値							
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
				(目標達成度)						
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	18,951	11,320	14,633	17,021
(事業費)	[千円]	886	126	240	2,628
(職員人件費)	[千円]	18,065	11,194	14,393	14,393

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	自治会に関する研修や自治会 P R、企業表彰 マイタウン・サポートリーダー事業 自治会チャレンジ事業 マンション事業者等と自治会加入促進に関する協定の締結 自治会の新しい在り方検討事業に係る伴走支援	0 千円 1 5 5 千円 4 6 千円 0 千円 0 千円 その他 3 9 千円	総額	240	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	240	
令和 8 年度	自治会に関する研修や自治会 P R、企業表彰 マイタウン・サポートリーダー事業 自治会チャレンジ事業 マンション事業者等と自治会加入促進に関する協定の締結 自治会の新しい在り方検討事業に係る伴走支援	5 1 千円 3 4 7 千円 5 0 0 千円 0 千円 1 , 7 3 0 千円	総額	2,628	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,628	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	C	総合点 (率)	28 / 100 (28 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

自治会の在り方等検討プロジェクトチームの最終報告書に基づく新たな自治会再生支援施策として、マイタウンサポートリーダー事業や新しく事業を実施する自治会に補助をする自治会チャレンジ事業を実施した。また、国分寺北部校区と栗林校区をモデル地区として、自治会の新しい在り方を伴走支援しながら検討を進めた。今後は支援施策を実施する地域を増やし、自治会の新規結成の促進を含め、自治会加入率の増加に向けた新しい取組について、地域と行政が協働で検討していく必要がある。

地域での防犯・防災対策や高齢者・子どもの見守り活動など、地域コミュニティを支える重要な役割を担う自治会の必要性を周知するなど、自治会加入を啓発するとともに、従来の自治会に対しては、現状に沿った運営に見直すよう周知を行う。また、モデル地域に対し伴走支援をしながら、地域の特性に合った自治会の在り方を考え、地域の地縁力の向上を目指し、地域とともに事業を推進していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策		地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	協働コミュニティ推進課
	施策		地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	取組方針		コミュニティ活動の支援の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		地域まちづくり活性化支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	地域コミュニティ協議会が主体的に行うまちづくり活動を支援し、住民自治及び市民と行政との協働による地域自らのまちづくりを推進するため、地域コミュニティ協議会に対して、地域の各種事業・団体に交付される補助金を一元化して交付する。主体的・積極的なまちづくりの促進とコミュニティ活動を担保するための新たな財源とし、使途について地域に裁量権を付与することで、「地域自らのまちづくり」の機運を醸成し、地域の自立を促進するものである。平成26年度には、交付算定基準を変更するとともに、敬老会事業の在宅者分事業費を一元化した。29年度には、課題解決応援加算を創設した。令和6年度から、事務局体制支援事業補助金を統合した。				
8年度概要	均等割、人口割、面積割等、地域まちづくり交付金交付要綱に基づく地域まちづくり交付金を交付 地域コミュニティ協議会事務局に係る人件費を補助				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市地域まちづくり交付金交付要綱

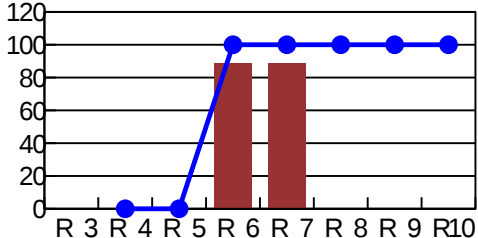
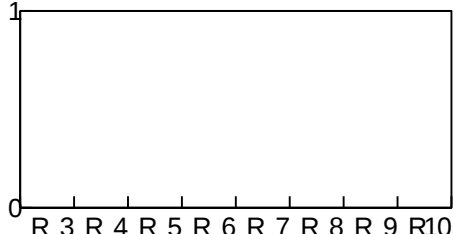
【事業の目的】

対象（何を）	市内全域の４４地域コミュニティ協議会
意図（どのような状態にしたいか）	一元化した交付金を地域コミュニティ協議会に交付することによって、地域コミュニティ協議会の裁量で交付金を配分し、主体的に地域の課題に取り組むことができる。Ｒ6からは事務局事務が円滑かつ継続的に見える体制を整えるための事務局人件費についても対象経費とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助金交付地域コミュニティ協議会数	協議会	0	44	44	44	44

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	コミュニティプランの見直し率		%	目標値	0	100	100	100	100
				実績値	0	88.6	88.6		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	各地域コミュニティ協議会における課題や特性に合った事業が実施できるよう、コミュニティプラン見直しの支援に努めたことにより、見直しの実施に至った地域があった一方、会議等を開催できず、見直しが進まなかった地域もあり、目標達成に至らなかった。	(目標達成度)	88.6%						
(得点)		31点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
		(目標達成度)							
(得点)									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	754,565	763,676	867,577
(事業費)	[千円]	0	743,757	747,684	851,585
(職員人件費)	[千円]	0	10,808	15,992	15,992

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	均等割、人口割、面積割等、地域まちづくり交付金交付要綱に基づく地域まちづくり交付金を交付 地域コミュニティ協議会事務局に係る人件費を補助	7 4 7 , 6 8 4 千円	総額	747,684	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	4,500
				他	119,000
			一般財源	624,184	
令和 8 年度	均等割、人口割、面積割等、地域まちづくり交付金交付要綱に基づく地域まちづくり交付金を交付 地域コミュニティ協議会事務局に係る人件費を補助	8 5 1 , 5 8 5 千円	総額	851,585	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	5,100
				他	138,000
			一般財源	708,485	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	3	一部結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	80 / 100 (80 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

今後、地域にとってより使いやすい交付金制度によるよう、地域コミュニティ協議会や関係各所の意見を踏まえながら検討していくとともに、令和５年度事務局体制強化支援事業補助金を見直し、同交付金に統合することで常勤職員人件費を一元化したこともあり、引き続き、各地域の事業の実施状況などを共有する機会を設けていく。また、会計処理や事業内容について、今後も市が行う検査や指導を通して適切な支援を継続して行っていく。

今後、地域コミュニティ協議会や関係各所の意見を踏まえつつ、地域側の成熟度の向上を見据え、地域にとってより使いやすい、地域が住民に説明責任を果たせる交付金制度を検討していく必要がある。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

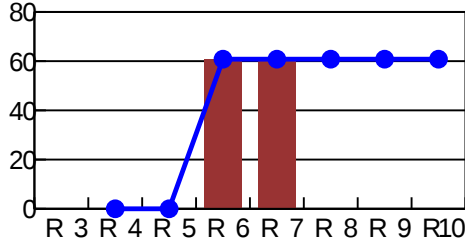
総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	協働コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	取組方針	コミュニティ活動拠点の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	コミュニティセンター整備事業			

【事業全体概要】					
事業概要	地域住民によるまちづくり活動の拠点として、また、生涯学習及び地域福祉の推進に資するため、新コミュニティセンター整備計画等に基づき施設ごとに整備の方向性をまとめた上で、コミュニティセンターの整備を行う。				
8年度概要	花園コミセン整備 女木コミセン整備				
重点取組事業		市長マニフェスト	3-	関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	新コミュニティセンター整備計画等に該当するコミュニティセンター計23館（昭和56年以前に建設された旧耐震基準に基づく施設）
意図（どのような状態にしたいか）	施設の改築等を行い、コミュニティセンターの安全性の確保と環境改善を図る。

【事業の活動】							
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	コミュニティセンター中期整備指針に基づく整備箇所数	館	0	14	14	14	14

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	施設整備進捗割合	%	目標値 実績値	0 0	60.8 60.8	60.8 60.8	60.8	60.8
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	施設を改修あるいは改築することで、コミュニティセンターの安全性の確保と利用環境の改善を図ることができ、目標を達成することができた。							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	138,002	20,719	39,232	969,978
(事業費)	[千円]	128,217	11,301	9,007	939,753
(職員人件費)	[千円]	9,785	9,418	30,225	30,225

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	花園コミセン整備 (地質調査等)	9 , 0 0 7 千円	総額	9,007	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	3,400
				他	2,000
			一般財源	3,607	
令和 8 年度	花園コミセン整備 女木コミセン整備	9 3 3 , 7 1 6 千円 6 , 0 3 7 千円	総額	939,753	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	913,400
				他	25,000
			一般財源	1,353	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
新コミュニティセンター整備計画等に基づき、花園コミュニティセンターの整備に向け、地質調査等を実施し、地域のまちづくり拠点づくりに努めた。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
施設の老朽化に伴い、雨漏り等の修繕が年々増加していることから、改築、改築まで健全な状態で施設利用を可能とするため長寿命化の観点に基づいた計画的な保全、これらを２本の柱とした整備計画について、施設整備を行う。 そのほか、事業費の適正化・縮減とともに、財源確保にも努める。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	協働コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	取組方針	コミュニティ活動拠点の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	自治会集会所整備支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	地域のコミュニティ活動の場となっている自治会集会所の改修等を行う場合に、必要な経費の一部を補助することによって、自治会活動、コミュニティ活動を促進するものである。				
8年度概要	自治会集会所改修等補助金				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市自治会集会所改修等補助規程等

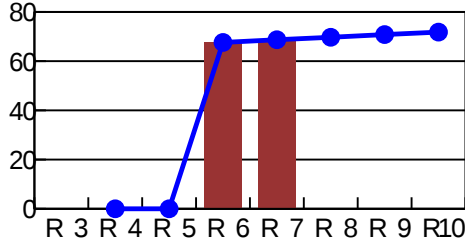
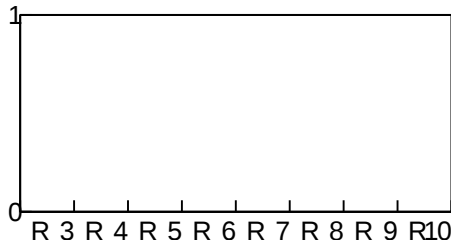
【事業の目的】

対象（何を）	自治会（認可地縁団体）
意図（どのような状態にしたいか）	集会所の改修等を促進し、地域住民の福祉の向上を図ることを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助件数	件	0	8	6	8	8

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	自治会集会所改修率	%	目標値 実績値	0 0	67.6 67.6	68.7 68.5	69.7	69.7	
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	自治会集会所の改修について、地域からの要望に応じた補助 件数を実施することができた。			（目標達成度） 99.7%					
				（得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値 実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
				（目標達成度）					
				（得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	12,916	15,596	19,013	21,285
(事業費)	[千円]	3,884	4,402	4,620	6,892
(職員人件費)	[千円]	9,032	11,194	14,393	14,393

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	自治会集会所改修等補助金	4 , 6 2 0 千円 補助対象事業費の 5 0 パーセント以内を補助	総額	4,620	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	15
			一般財源	4,605	
令和 8 年度	自治会集会所改修等補助金	6 , 8 9 2 千円 補助対象事業費の 5 0 パーセント以内を補助	総額	6,892	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	12
			一般財源	6,880	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
自治会集会所の改修を希望する自治会に対し補助することができた。また、令和7年度から集会所の耐震診断に係る費用の一部の補助を開始した。自治会活動の拠点となる集会所は、災害時の一時避難所としても活用されており、今後も継続的な支援が必要である。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
自治会集会所の耐震性を確保するため、耐震診断に係る補助制度を周知するほか、緊急性の高い改修工事を優先するなど、集会所改修等の更なる推進に努める。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策		地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	協働コミュニティ推進課
	施策		参画・協働の推進		電話番号	087-839-2277
	取組方針		市民との協働の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		市民活動センター管理運営事業			

【事業全体概要】

事業概要	中間支援組織として、市民と行政が共に考え、共に活動する協働の場として設置している市民活動センターを管理運営し、センター事業を実施する。				
8年度概要	市民活動センター管理運営事業実施				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市市民活動センター条例

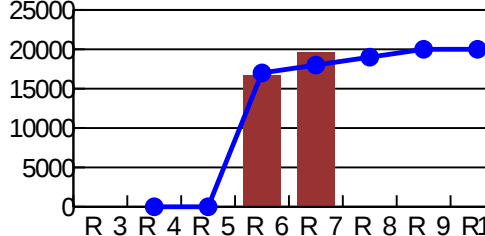
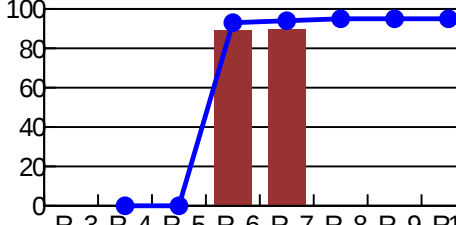
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民及び市民活動団体、地域コミュニティ協議会など
意図（どのような状態にしたいか）	中間支援組織である市民活動センターとしての事業を実施することにより、市民と行政のパイプ役としての協働推進機能を充実し、市民活動団体等の活動の支援強化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
市民活動センター講座等数	回	0	41	36	36	36

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	市民活動センター総利用者数	人	目標値	0	17,000	18,000	19,000	19,000
			実績値	0	16,681	19,651		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	指定管理者制度の導入により、SNS等を活用した積極的な情報発信により、目標値を上回った。	(目標達成度) 109.2%						
	(得点) 35点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	活動支援講座参加者の満足度	%	目標値	0	93	94	95	95
			実績値	0	89.2	89.6		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	満足度は9割に達したものの、未回答者も複数いたため、目標を達成できなかった。	(目標達成度) 95.3%						
	(得点) 33点							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	30,947	44,724	40,720	44,564
(事業費)	[千円]	20,786	25,810	26,327	30,171
(職員人件費)	[千円]	10,161	18,914	14,393	14,393

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	市民活動センター管理運営事業実施	報酬等 0 千円 需用費 0 千円 委託料 2 5 , 4 0 0 千円 使用料及び賃借料 8 9 6 千円 その他 3 1 千円	総額	26,327	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	461
			一般財源	25,866	
令和 8 年度	市民活動センター管理運営事業実施	報酬等 2 7 千円 需用費 1 0 千円 委託料 (指定管理料含む) 2 9 , 1 7 1 千円 使用料及び賃借料 9 0 7 千円 役務費 5 6 千円	総額	30,171	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	477
			一般財源	29,694	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

市民活動の中間支援組織としての機能を拡充するため、令和7年度に指定管理者制度を導入した。今後も継続して、市民活動センターの周知啓発の充実を図り、市民活動を促進するとともに、中間支援組織としての機能の充実を図ることが求められる。

地域課題が多種多様化する中、市民活動団体等が担う社会的役割は大きくなっていることから、多様化するニーズへの対応、多様な主体とのコーディネート力等、市民活動の中間支援組織としての機能を高めるため、令和7年度から指定管理者制度を導入した。今後も、センター事業の充実や効果的な情報発信を行い、市民活動団体の活動の促進とセンターの利用促進を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策		地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	協働コミュニティ推進課
	施策		参画・協働の推進		電話番号	087-839-2277
	取組方針		市民との協働の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		ボランティア・市民活動推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市における市民活動の促進と協働の推進を図るため、高松市協働づくり懇談会による協働推進施策・コミュニティ施策についての意見聴取や、協働推進員への人材養成研修を行うなど、多様なパートナーシップによるまちづくりを推進する。				
8年度概要	特定非営利活動法人認証等事務 高松市協働づくり懇談会等開催 所属担当・地域担当協働推進員研修等開催 市民活動保険 市職員協働研修開催				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

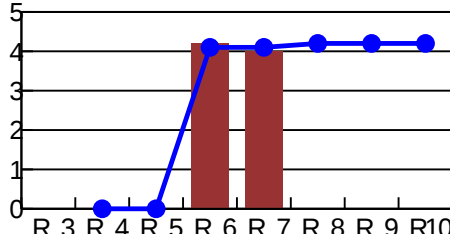
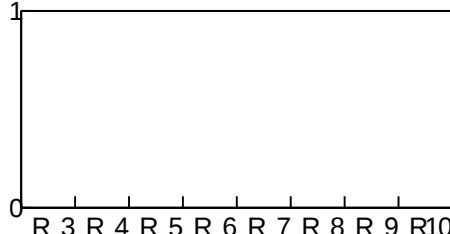
【事業の目的】

対象（何を）	高松市職員、市内に主たる活動拠点がある市民活動団体等
意図（どのような状態にしたいか）	市民活動の促進と協働の推進を図る。また、研修を通して、地域コミュニティ活動に関わる職員の協働への意識改革を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
協働に関する研修の参加者数	人	0	475	483	426	426

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	参加者の研修理解度	点	目標値		0	4.1	4.1	4.2	4.2	
			実績値		0	4.2	4			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	市職員に対し、外部講師を招いて協働の基礎的な内容の研修を行い、同研修動画を活用して、協働推進員にも自席で配信による研修を行うなど、研修方法を工夫したものの、動画の視聴環境や長さに対する不満があり、研修の理解度を若干低下させてしまったため、目標を少し下回った。	(目標達成度)		97.6%						
(得点)		34点								
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値							
			実績値							
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
		(目標達成度)								
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	5,274	20,150	17,839	20,802
(事業費)	[千円]	5	1,236	3,446	6,409
(職員人件費)	[千円]	5,269	18,914	14,393	14,393

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	特定非営利活動法人認証等事務 高松市協働づくり懇談会等開催 所属担当・地域担当協働推進員研修等開催 市民活動保険 市職員協働研修開催	旅費・需用費 1 0 3 千円 役務費 3 千円 報償費 9 2 千円 日額旅費 2 千円 講師謝金 0 千円 保険料 3 , 2 0 6 千円 講師謝金 4 0 千円 講師旅費 0 千円	総額	3,446	
			特定財源	国	0
				県	98
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,348	
令和 8 年度	特定非営利活動法人認証等事務 高松市協働づくり懇談会等開催 所属担当・地域担当協働推進員研修等開催 市民活動保険 市職員協働研修開催	旅費・需用費 1 3 0 千円 役務費 9 千円 報償費 9 8 千円 日額旅費 4 3 千円 講師謝金 6 千円 保険料 6 , 0 6 4 千円 講師謝金 5 5 千円 講師旅費 4 千円	総額	6,409	
			特定財源	国	0
				県	3,562
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,847	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

行政との協働事業の経験が豊富な市民活動団体の代表者を講師に招き、協働の事例を含めた基礎的な研修を実施し、市職員の協働に対する意識の向上に寄与した。次年度以降も更なる意識の向上を目指し研修等を進めていく。

協働推進員の人材養成研修の実効性を高めることで、市民活動団体等と多様なパートナーシップを構築できるよう能力を養成し、協働を推進するとともに、協働推進員以外の市職員に対しても研修を実施することで、協働意識のボトムアップを図る。また、中間支援組織同士の連携のもと、市民活動団体等や地域の人たちにも、協働に対する理解を深めてもらう機会をつくり、協働意識の向上を目指す。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

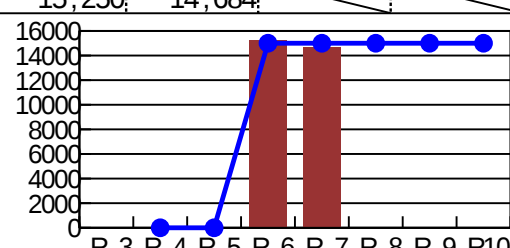
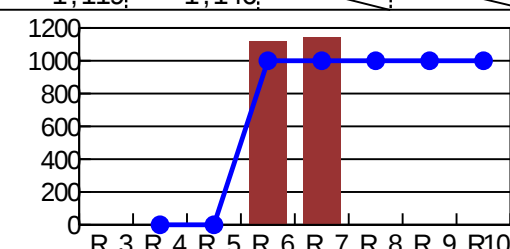
総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	くらし安全安心課
	施策	安全・安心な暮らしの確保		電話番号	087-839-2555
	取組方針	交通安全対策の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	交通安全教育等推進事業			

【事業全体概要】					
事業概要	幼稚園、保育所、こども園、小学校、支援学校等において、歩行教室や自転車安全運転教室などの交通安全教室を開催するほか、高齢者等を対象とした参加・体験型の交通安全教室を開催する。 また、交通安全意識の向上を図るため、関係機関・団体等と連携して、交通安全運動の展開や街頭キャンペーンなど交通安全の啓発活動を実施する。				
8年度概要	交通指導員、事務員人件費 交通安全都市推進協議会補助金、交通安全母の会連絡協議会ほか1団体 補助金 香川県高速道路交通安全協議会 負担金 交通安全教育費（幼、保、こ、小・支援学校等交通安全教室、高齢者等交通安全教室の開催など） その他事務費				
重点取組事業		市長マニフェスト	4-	関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	幼稚園、保育所、こども園、小学校、支援学校等の幼児、児童、生徒 地域の交通安全指導者
意図（どのような状態にしたいか）	幼児、児童、生徒に交通安全の基礎知識を身に付けてもらう。 地域の交通安全指導者に交通安全や街頭指導の知識を習得してもらい、指導者を通じて地域へ波及させる。 高齢者に交通安全の知識を身に付けてもらう。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
市内幼保、小学校、支援学校等の交通安全教室開催数	回	0	234	240	250	250
高齢者交通安全教室等の開催数	回	0	447	435	450	450

【事業の成果】									
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	市内幼保、小学校、支援学校等の交通安全教室参加人数	人	目標値	0	15,000	15,000	15,000	15,000	
			実績値	0	15,250	14,684			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	市内幼保、小学校、支援学校等の交通安全教室を実施し、学校と協働で交通安全啓発活動を積極的に行った結果、目標値には及ばなかったものの、概ね達成することができた。		（目標達成度） 97.9%						
		（得点） 34点							
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	高齢者交通安全教室等参加者数	人	目標値	0	1,000	1,000	1,000	1,000	
			実績値	0	1,119	1,146			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	市政出前ふれあいトークや、企業との協働による高齢者向けの交通安全啓発活動を積極的に行った結果、目標値を達成することができた。		（目標達成度） 114.6%						
		（得点） 35点							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	46,440	53,516	42,815	41,716
(事業費)	[千円]	27,622	34,216	33,220	33,720
(職員人件費)	[千円]	18,818	19,300	9,595	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	交通指導員、事務員人件費 交通安全都市推進協議会補助金、交通安全母の会連絡協 議会ほか1団体 補助金 香川県高速道路交通安全協議会 負担金 交通安全教育費（幼、保、こ、小・支援学校等交通安全 教室、高齢者等交通安全教室の開催など） その他事務費	27,614千円 4,698千円 20千円 809千円 79千円	総額	33,220	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	33,220	
令和 8 年度	交通指導員、事務員人件費 交通安全都市推進協議会補助金、交通安全母の会連絡協 議会ほか1団体 補助金 香川県高速道路交通安全協議会 負担金 交通安全教育費（幼、保、こ、小・支援学校等交通安全 教室、高齢者等交通安全教室の開催など） その他事務費	27,920千円 4,795千円 20千円 712千円 273千円	総額	33,720	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	33,720	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

昨年度は、企業等と協働で、子どもから高齢者等に対して、様々な交通安全啓発事業を行い、大変好評だったので、今後も継続していく予定である。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	くらし安全安心課
	施策	安全・安心な暮らしの確保		電話番号	087-839-2555
	取組方針	交通安全対策の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	高齢者等交通安全啓発推進事業			

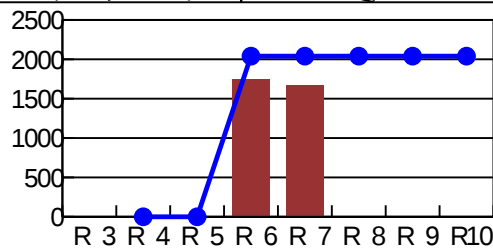
【事業全体概要】						
事業概要	高齢者の自主的な運転免許証返納の促進策として、関係機関へ自主返納に関する啓発チラシの発送やＩＣカード乗車券を交付することにより、高齢者が関係する交通事故の減少を図る。					
	8年度概要 高齢者運転免許証返納促進事業 ことでんイルカカード、ＪＲイコカカード、タクシー現金チケット（１万円×１，４７１件）など					
重点取組事業		市長マニフェスト	4-	関連根拠法令	交通安全対策基本法、高松市交通安全計画	

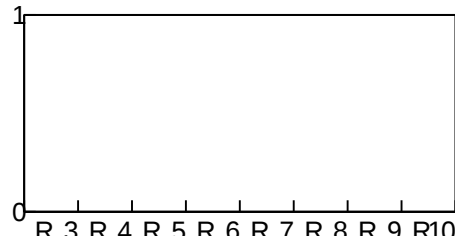
【事業の目的】						
対象（何を）	高松市の高齢者（６５歳以上）					
意図（どのような状態にしたいか）	運転免許証の自主返納により、高齢者が当事者となる交通事故が減少する。					

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	プラチナ世代への啓発チラシ発送件数	件	0	380	570	400	400

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	6 5 歳以上の運転免許証自主返納者数	人	目標値	0	2,040	2,040	2,040	2,040
			実績値	0	1,750	1,668		
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)							
	令和 7 年度の運転免許証自主返納者数は、目標値の約 8 2 % に留まった。							
			(目標達成度)					
			(得点)					

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	18,616	17,499	23,225	26,704
(事業費)	[千円]	14,852	13,639	12,830	14,710
(職員人件費)	[千円]	3,764	3,860	10,395	11,994

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	高齢者運転免許証返納促進事業 ことでのんイルカカード、ＪＲイコカカード、タクシー現金チケット(１万円×１,２８３件)など	１２,８３０千円	総額	12,830	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	12,830				
令和 8 年度	高齢者運転免許証返納促進事業 ことでのんイルカカード、ＪＲイコカカード、タクシー現金チケット(１万円×１,４７１件)など	１４,７１０千円	総額	14,710	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	14,710				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	80 / 100 (80 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

自主返納の普及チラシを窓口や関係団体等へ配布した。
高齢者の運転免許証の自主返納を更に促すため、長寿福祉課と連携して、関係団体へ啓発チラシを配布するなど効果的な周知啓発に努めた。

今後も高齢者の運転免許証の自主返納を促すため、長寿福祉課と連携して、関係団体へ啓発チラシを配布するなど効果的な周知啓発に努めるほか、他機関との連携を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

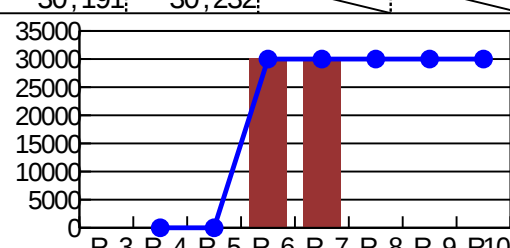
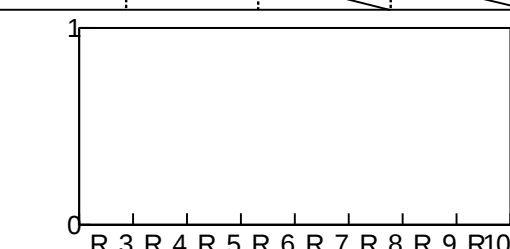
総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	くらし安全安心課
	施策	安全・安心な暮らしの確保		電話番号	087-839-2555
	取組方針	防犯対策の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	防犯組織・環境整備事業			

【事業全体概要】					
事業概要	夜間における犯罪の防止と通行の安全を図るため、地域の単位自治会が所有する防犯灯の新設、移設及び補修並びに電気料金の助成を一般社団法人高松市コミュニティ連合会に対して行っている。また、防犯協会の行う防犯活動事業に対する助成を行うとともに、公益財団法人香川県暴力追放運動推進センター・公益社団法人かがわ被害者支援センターへの負担金を支出している。				
8年度概要	防犯灯新設等助成金 各地区防犯協会補助金 犯罪被害者支援負担金 香川県暴力追放センター負担金				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市防犯灯新設等助成金交付規程、高松市

【事業の目的】	
対象（何を）	全市民
意図（どのような状態にしたいか）	防犯灯の維持管理が適切に行われることで、市民の夜間通行の安全を確保する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
防犯灯新規設置費補助灯数	灯	0	94	50	50	50

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	総防犯灯数	灯	目標値	0	30,000	30,000	30,000	30,000
			実績値	0	30,191	30,232		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	防犯灯数は、環境の変化により不要となった防犯灯を撤去する必要性もあり、総合的に判断する必要がある。令和7年度については、助成制度の活用により、目標値を達成することができた。			（目標達成度） 100.8% （得点） 35点				
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				（目標達成度） （得点）				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	85,917	91,015	93,990	95,605
(事業費)	[千円]	82,153	87,155	85,194	84,011
(職員人件費)	[千円]	3,764	3,860	8,796	11,594

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	防犯灯新設等助成金 各地区防犯協会補助金 犯罪被害者支援負担金 香川県暴力追放センター負担金 その他事務費	7 0 , 6 3 4 千円 1 0 , 0 8 5 千円 5 4 0 千円 4 0 7 千円 3 , 5 2 8 千円	総額	85,194	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	85,194	
令和 8 年度	防犯灯新設等助成金 各地区防犯協会補助金 犯罪被害者支援負担金 香川県暴力追放センター負担金	7 2 , 9 6 0 千円 1 0 , 0 9 3 千円 5 5 0 千円 4 0 8 千円	総額	84,011	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	84,011	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

全ての防犯灯新設の要望に対応することはできなかったが、助成制度の活用により、50灯の防犯灯が新設された。
また、防犯灯の助成に係る自治会の費用負担の見直しを図り、令和7年度から、更新の費用負担を廃止するほか、既存の防犯灯の適正配置を促進するため、移設の費用負担を廃止し、新設については、工事費の2分の1相当額の費用負担を設けた。併せて、自治会未加入エリアにおいては、一定の要件を満たした場合、電気料金の助成を行った。

防犯灯の助成に係る自治会の費用負担の見直しによる効果を検証していく中で、防犯灯の設置・管理の適正化に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	くらし安全安心課
	施策	安全・安心な暮らしの確保		電話番号	087-839-2555
	取組方針	防犯対策の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	防犯活動推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	地域コミュニティ協議会等が実施する防犯活動に要する費用の一部を助成するなど、犯罪の未然防止や犯罪をさせない安全で安心なまちづくりを推進する。また、高松市犯罪被害者等支援条例に基づき、犯罪被害者等への経済的支援等を図る。				
8年度概要	安全で安心なまちづくり推進協議会開催 犯罪被害者等支援事業 防犯対策事業 防犯カメラ設置費等補助事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市安全で安心なまちづくりに関する条例

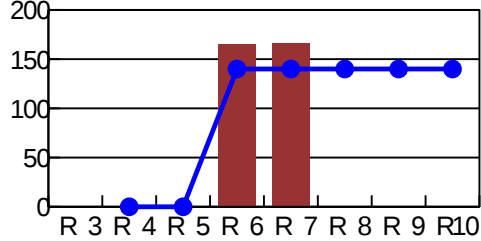
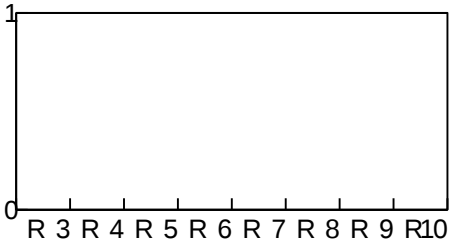
【事業の目的】

対象（何を）	全ての地域コミュニティ協議会及び連合自治会
意図（どのような状態にしたいか）	地域における防犯活動の促進及び防犯意識の向上。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
防犯カメラ設置費補助件数	件	0	10	3	9	9

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	防犯カメラ設置箇所数（総数）	箇所	目標値	0	140	140	140	140
			実績値	0	165	166		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	防犯カメラの設置補助もあり、年々防犯カメラの設置は増加している。		（目標達成度） 118.6% （得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度） （得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	4,227	5,698	11,482	15,837
(事業費)	[千円]	1,969	3,382	1,887	3,443
(職員人件費)	[千円]	2,258	2,316	9,595	12,394

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	安全で安心なまちづくり推進協議会開催 犯罪被害者等支援事業 防犯カメラ設置費等補助事業	7 3 千円 4 3 6 千円 1 , 3 7 8 千円	総額	1,887	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	100
			一般財源	1,787	
令和 8 年度	安全で安心なまちづくり推進協議会開催 犯罪被害者等支援事業 防犯対策事業 防犯カメラ設置費等補助事業	8 0 千円 1 , 0 2 0 千円 8 4 千円 2 , 2 5 9 千円	総額	3,443	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,443	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

3 団体に対し、防犯カメラの設置費に対する補助を実施し、犯罪の未然防止を図った。
--

防犯カメラ設置費等補助事業やみまもり自動販売機の活用を促すことにより、地域の防犯活動をより一層推進していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	市民局
	政策		安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	くらし安全安心課
	施策		安全・安心な暮らしの確保		電話番号	087-839-2067
	取組方針		消費生活の安定と向上		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		消費者団体支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	市民の消費生活に関する各種の調査・研究の諸活動や啓発活動を推進するとともに、市民の消費生活の安定と向上及び加入団体相互の交流を図るため、消費者団体への支援を行う。				
8年度概要	市民の消費生活に関する各種の調査・研究の諸活動や啓発活動を推進するとともに、市民の消費生活の安定、向上及び加入団体相互の交流を図るため、消費者団体への支援を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	消費者基本法

【事業の目的】

対象（何を）	消費者の地域リーダー的役割をもつ高松市消費者団体連絡協議会構成団体
意図（どのような状態にしたいか）	消費者団体を支援・育成し、消費者の地域リーダー的役割を果たす消費者を増やす。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
高松市消費者団体連絡協議会主催事業の開催回数	回	0	25	31	12	12

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	高松市消費者団体連絡協議会主催事業の参加者数		人	目標値	0	210	210	210	210
				実績値	0	363	548		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	積極的に消費者問題の研究を行うとともに、学校や団体等に資源の活用やくらしの情報を伝える活動を実施したことにより目標を上回った。		(目標達成度) 261.0%						
(得点) 35点									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			(目標達成度)						
(得点)									

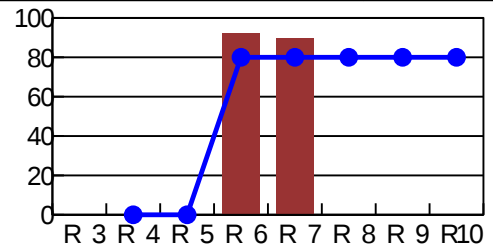
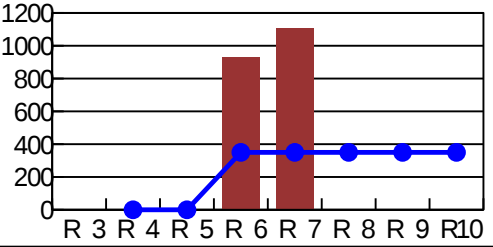
令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	くらし安全安心課
	施策	安全・安心な暮らしの確保		電話番号	087-839-2067
	取組方針	消費生活の安定と向上		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	消費者啓発事業			

【事業全体概要】					
事業概要	賢い消費者の育成とともに、質の高い消費生活の実現や消費生活の安定・向上を図るため、消費者月間事業、消費生活啓発パネル展などを開催し、環境、食生活、省資源、省エネルギーなど暮らしの問題について、消費者が考える機会を提供する。				
8年度概要	・第42回消費者ウィーク・第47回暮らしをみなおす市民のつどい（5 / 下旬） ・夏休み親子消費者教室（8 / 初旬） ・消費生活出前講座（一般）開催 10件 ・消費生活教育出前講座（小学校5・6年生、中学生及び高校生）開催 10件 ・啓発用冊子等作成				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	消費者基本法

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	自立した賢い消費者として、自覚と責任を持って健全な消費生活を営むことができるようにする。

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
消費者啓発事業の開催回数	回	0	23	20	20	20

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	消費者月間事業の満足度	%	目標値	0	80	80	80	80
			実績値	0	92.3	89.5		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	高松市消費者団体連絡協議会との啓発行事で、アンケートを取っており、その結果に基づいている。		（目標達成度） 111.9% （得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	消費者啓発講座の参加者数	人	目標値	0	350	350	350	350
			実績値	0	931	1,109		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	例年実施している小学校での消費生活教育出前講座に加え、成年年齢の引下げにより高校や中学校を対象としたことや、特殊詐欺被害の拡大により一般講座の参加者が増加した。		（目標達成度） 316.9% （得点） 35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	4,732	4,997	6,726	7,023
(事業費)	[千円]	968	1,137	729	1,026
(職員人件費)	[千円]	3,764	3,860	5,997	5,997

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・第41回消費者ウイーク・第46回暮らしをみなおす市民のつどい(5/17~18) ・親子消費者教室(8/4、3/8) ・消費生活出前講座(一般)開催 12件 ・消費生活教育出前講座(小学校5・6年生、中学生及び高校生)開催 4件 ・啓発用冊子等作成	つどい負担金 397千円 啓発用冊子等作成事務経費 332千円	総額	729	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	729				
令和 8 年度	・第42回消費者ウイーク・第47回暮らしをみなおす市民のつどい(5/下旬) ・夏休み親子消費者教室(8/初旬) ・消費生活出前講座(一般)開催 10件 ・消費生活教育出前講座(小学校5・6年生、中学生及び高校生)開催 10件 ・啓発用冊子等作成	つどい負担金 482千円 啓発用冊子等作成事務経費 267千円 エシカル消費啓発事業 277千円	総額	1,026	
			特定財源	国	0
				県	173
				市債	0
				他	0
一般財源	853				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
相対件数は29年度をピークに減少傾向であったが、AI等のデジタル技術の急速な進展による取引やサービスの多様化から増加に転じている。詐欺等の被害を防ぐためには、今後も出前講座や啓発事業を継続する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入） インターネット等を利用した消費者トラブルの増加や、民法改正による成年年齢の引下げなど、消費者行政を取り巻く環境の多様化や深刻化に対応するため、関係機関等との連携強化や、SNSなど新たなツールを活用した相談体制の構築など、消費者支援の充実強化を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	市民局
	政策		安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	市民やすらぎ課
	施策		生活衛生の向上		電話番号	087-839-2273
	取組方針		生活衛生対策の推進		事業期間	令和 7年度～令和 9年度
	事務事業		合葬式墓地整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	既存の合葬式墓地の申込件数が増加し、今後、新規の受け入れが困難になることが見込まれるため、新たな合葬式墓地を整備するもの。				
8年度概要	測量調査及び実施設計（令和7年度からの繰越） 整備工事（補正要求予定）				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	墓地、埋葬等に関する法律

【事業の目的】

対象（何を）	合葬式墓地
意図（どのような状態にしたいか）	墓地に対する市民ニーズが変化中、既存の合葬式墓地の申込件数が増加し、今後、新規の受け入れが困難になることが見込まれるため、新たな合葬式墓地を整備するもの。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
合葬式墓地単年度整備率	%	0	0	10	90	90

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	合葬式墓地整備進捗率		%	目標値	0	0	20	100	100	
				実績値	0	0	20			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	合葬式墓地の新規整備事業の実施に係る地質調査及び基本設計業務について、令和7年度中に実施完了となり、目標値を達成することができた。		(目標達成度)		100.0%					
(得点)			35点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	0	20,612	15,992
(事業費)	[千円]	0	0	4,620	0
(職員人件費)	[千円]	0	0	15,992	15,992

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	地質調査及び基本設計	平和公園墓園整備費 4 , 6 2 0 千円	総額	4,620	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	4,620
			一般財源	0	
令和 8 年度	測量調査及び実施設計（令和7年度からの繰越） 整備工事（補正要求予定）		総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

地質調査及び実施設計については、昨年度中に実施完了した。

昨年度に引き続き、測量調査及び実施設計（令和7年度からの繰越）並びに整備工事（補正要求予定）を実施する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策		自立的で推進力のある行財政運営の確立		課(室)名	市民課
	施策		スマートシティの推進		電話番号	087-839-2287
	取組方針		自治体デジタルトランスフォーメーション(ＤＸ)の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		社会保障・税番号制度推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	社会保障・税番号制度を効率的かつ円滑に推進し、行政の効率化や市民の利便性向上を図るため、その基盤となるマイナンバーカードの普及促進を行う。				
8年度概要	会計年度任用職員人件費 マイナンバーカード交付・更新関係				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	番号法

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	個人番号制度の円滑な導入・推進を図り、デジタル社会の実現と効率的な行政運営をめざすため、その基盤となるマイナンバーカードの普及促進を図るとともに、市民の利便性を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
普及促進キャンペーン年間実施回数	回	0	2	1	11	11

【事業の成果】

	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	マイナンバーカード保有枚数率	%	目標値 実績値	0 0	0 0	81 81.7	83 83	83 83
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	商業施設において、マイナンバーカードの出張申請を積極的に行ったことによりマイナンバーカードの保有率が81.7%となり目標値を達成した。			(目標達成度) 100.9%				
				(得点) 35点				
	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
				(得点)				

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

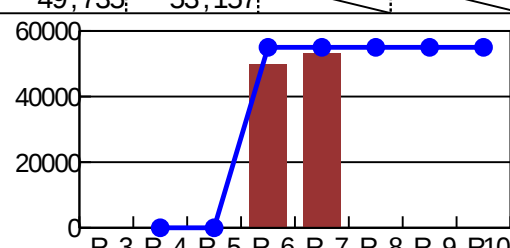
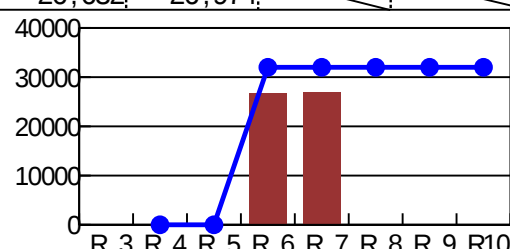
総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	多様性を尊重する社会の確立		課(室)名	人権・男女共同参画推進課
	施策	人権尊重・平和意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2292
	取組方針	人権啓発の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	隣保館・児童館管理運営事業			

【事業全体概要】					
事業概要	文化センター・児童館は、地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権問題の解決のための各種事業を行うとともに、健全な遊び等を通して、児童の健康を増進するなど、児童の健全育成を図る。				
8年度概要	文化センター・児童館の管理、運営等 文化祭及び交流事業等 各種研修会への参加等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	社会福祉法，児童福祉法

【事業の目的】	
対象（何を）	地域住民
意図（どのような状態にしたいか）	1 文化センターが、地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となるよう各種事業を総合的に行う。 2 児童の健康を増進し、情操を豊かにする。

【事業の活動】							
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	各種事業実施回数	回	0	3,563	3,438	3,000	3,000
	児童館開館日数	日	0	1,468	1,465	1,476	1,476

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	隣保館利用者数	人	目標値	0	55,000	55,000	55,000	55,000
			実績値	0	49,735	53,157		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	コロナ禍前の水準に近づくよう、教養・文化活動の各種講座を行ったが、目標値を下回った。		(目標達成度) 96.6% (得点) 34点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	児童館利用者数	人	目標値	0	32,000	32,000	32,000	32,000
			実績値	0	26,632	26,974		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	コロナ禍前の水準に近づくよう児童館事業を開催したが、利用者は目標値を下回った。		(目標達成度) 84.3% (得点) 30点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	190,329	200,786	204,431	207,814
(事業費)	[千円]	41,294	47,930	46,110	49,493
(職員人件費)	[千円]	149,035	152,856	158,321	158,321

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	文化センター・児童館の管理、運営等 文化祭及び交流事業等 各種研修会への参加等	4 3 , 8 1 9 千円 1 , 1 8 5 千円 1 , 1 0 8 千円	総額	46,110	
			特定財源	国	3,254
				県	0
				市債	0
				他	36
			一般財源	42,820	
令和 8 年度	文化センター・児童館の管理、運営等 文化祭及び交流事業等 各種研修会への参加等	4 5 , 9 8 1 千円 1 , 4 0 9 千円 1 , 3 8 9 千円	総額	49,493	
			特定財源	国	32,451
				県	0
				市債	0
				他	11
			一般財源	17,031	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

新型コロナ前の水準に近づくよう教養・文化活動などの各種講座の開催、利用者からの相談等には随時適切に対応した。

さらに多くの人に来館してもらえるよう、各種事業の見直しなどを行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	市民局
	政策		多様性を尊重する社会の確立		課(室)名	人権・男女共同参画推進課
	施策		人権尊重・平和意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2292
	取組方針		人権啓発の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		人権啓発推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	基本的人権を尊重する社会を確立するため、同和問題を始めとする様々な人権問題の解決に向け、研修講座や講演会の開催など、各種啓発事業を行う。				
8年度概要	人権啓発推進員（コミュニティ協議会選出）の支援 人権・同和問題指導者研修講座の開催等 ハンセン病を正しく理解する講演会、パネル・作品展の開催 人権フェスティバルの開催 民間と連携した啓発活動、企業等への啓発				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、

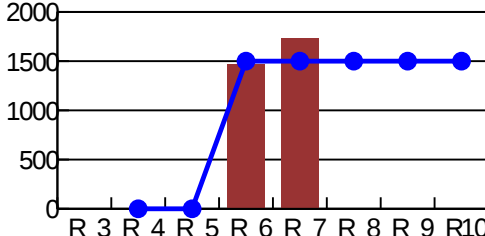
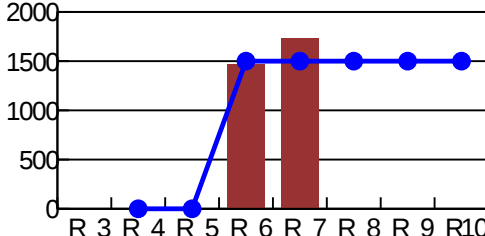
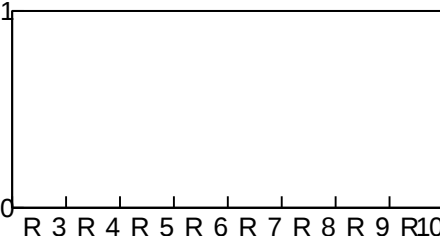
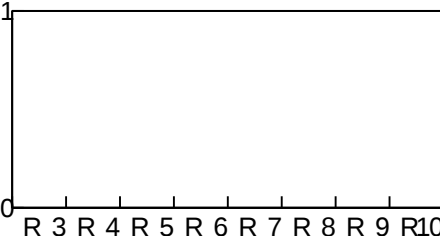
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民のあらゆる人権問題に関する啓発を行い、市民の人権に対する理解を深める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
講演会等の開催回数	回	0	5	5	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	参加人数(人権啓発推進員による啓発事業、講演会等)		人	目標値	0	1,500	1,500	1,500	1,500
				実績値	0	1,466	1,732		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	人権啓発推進員の工夫により様々な形態での啓発事業を実施し、広く市民の人権意識の普及・高揚に努め、目標値を達成できた。		(目標達成度) 115.9%						
(得点) 35点									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
			(目標達成度)						
(得点)									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	61,156	64,730	63,486	67,301
(事業費)	[千円]	38,575	41,570	39,498	43,313
(職員人件費)	[千円]	22,581	23,160	23,988	23,988

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	人権啓発推進員（コミュニティ協議会選出）の支援 人権・同和問題指導者研修講座の開催等 ハンセン病を正しく理解する講演会、パネル・作品展の開催 人権フェスティバルの開催 民間と連携した啓発活動、企業等への啓発	1 , 4 1 5 千円 0 千円 7 1 1 千円 8 9 8 千円 3 6 , 4 6 5 千円	総額	39,498	
			特定財源	国	0
				県	1,606
				市債	0
				他	362
			一般財源	37,530	
令和 8 年度	人権啓発推進員（コミュニティ協議会選出）の支援 人権・同和問題指導者研修講座の開催等 ハンセン病を正しく理解する講演会、パネル・作品展の開催 人権フェスティバルの開催 民間と連携した啓発活動、企業等への啓発	1 , 4 1 5 千円 0 円 1 , 1 7 4 千円 1 , 9 9 3 千円 3 8 , 7 3 1 千円	総額	43,313	
			特定財源	国	0
				県	2,994
				市債	0
				他	112
			一般財源	40,207	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 開催回数を重ねることで着実に事業が定着している。新型コロナウイルス感染症の流行による中止を経て、オンラインによる開催など、啓発方法を工夫しながら啓発活動を実施することで、人権意識の普及・高揚に努めた。今後も啓発活動を継続し、更なる啓発に努める。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
高松市人権施策推進懇談会の意見を聴取し、各種啓発事業に反映する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	市民局
	政策		多様性を尊重する社会の確立		課(室)名	人権・男女共同参画推進課
	施策		人権尊重・平和意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2292
	取組方針		人権啓発の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		隣保館・児童館整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	地域における福祉の向上や人権啓発のための「住民交流の拠点」である文化センターと、健康増進や情操教育など、児童の健全育成を図るための児童館の適切な管理運営のため、「文化センター・児童館改修計画」に基づき、施設の計画的な修繕・改修等を行う。				
8年度概要	上天神文化センター大規模改修 上天神文化センター仮施設設賃借等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	文化センター・児童館改修計画

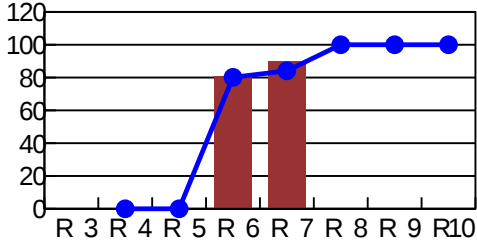
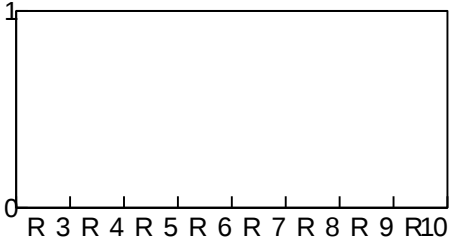
【事業の目的】

対象（何を）	文化センター・児童館の各施設
意図（どのような状態にしたいか）	地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となっている文化センター及び児童の健康を増進し、情操を豊かにする児童館の修繕、改修を行うことで、各種事業の円滑な実施を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	隣保館・児童館改修計画に基づく改修施設数	館	0	0	0	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	隣保館・児童館改修進捗率（事業費）	%	目標値	0	80.13	84.1	100	100
			実績値	0	80.87	89.82		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	上天神文化センター改修については、計画に基づき設計等を実施しており、進捗率は達成できた。	(目標達成度)	106.8%					
(得点)		35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	132,165	44,825	130,131	278,449
(事業費)	[千円]	117,111	29,385	114,139	262,457
(職員人件費)	[千円]	15,054	15,440	15,992	15,992

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	上天神文化センター大規模改修 上天神文化センター仮施設賃借等	2 3 , 4 0 4 千円 5 , 9 7 1 千円	総額	114,139	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	88,700
				他	0
			一般財源	25,439	
令和 8 年度	上天神文化センター大規模改修 上天神文化センター仮施設賃借等	2 2 5 , 4 9 7 千円 3 6 , 9 6 0 千円	総額	262,457	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	200,300
				他	24,000
			一般財源	38,157	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

改修計画に基づき、地元との協議を適宜実施し、計画通り進めた。

各施設の地元関係者との協議を適宜実施し、計画年度内の完了を目指す。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	多様性を尊重する社会の確立		課(室)名	人権・男女共同参画推進課
	施策	人権尊重・平和意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2292
	取組方針	人権啓発の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	L G B T 啓発等推進事業			

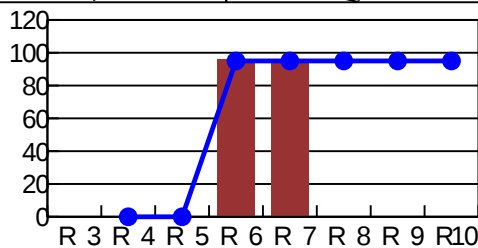
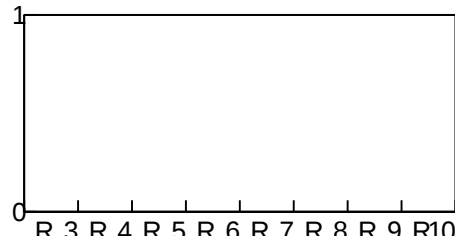
【事業全体概要】					
事業概要	L G B T 啓発講演会等を実施するとともに、ポスター・パンフレットを作成し、市民に対して L G B T への認知度の向上と理解の促進を図ることにより、当事者を含め全ての人が暮らしやすい環境を整備する。				
8年度概要	啓発講演会 LGBT展の開催 啓発ポスター作成				
重点取組事業		市長マニフェスト	5-	関連根拠法令	L G B T 理解増進法

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	一人一人の多様性が尊重される社会の実現を目指し、L G B T に対する差別や偏見が解消される取組を進めていく。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
講演会等の開催回数	回	0	3	3	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	講演会等で理解が深まった人の割合	%	目標値	0	95	95	95	95
			実績値	0	96.2	95.2		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	当事者を講師として招へいし、講演会や研修を実施することで、市民や市職員の L G B T に対する関心の高まりも見られ、目標を達成することができた。			(目標達成度) 100.2%				
			(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
				(得点)				

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	市民局
	政策		多様性を尊重する社会の確立		課(室)名	人権・男女共同参画推進課
	施策		人権尊重・平和意識の普及・高揚		電話番号	087-833-2211
	取組方針		平和意識の普及啓発		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		平和啓発推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	戦争の悲惨さと平和の尊さを訴えるとともに、平和意識の啓発・普及を図るため、「平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭」、「高松市戦争遺品展」、「教職員のための平和教育講演会」等の行事を開催する。また、子どもたちが戦争を知り、自ら平和について考える場を提供するため、こども未来館学習と連携して、市内の小学校4年生などを対象に平和学習を実施する。 なお、平和記念室の閉館に伴い、平成24年3月から収蔵品等の常設展示は休止していたが、28年11月の平和記念館開館により再開している。	
8年度概要	平和記念館の維持管理と平和意識の啓発・普及事業の開催、平和記念館常設展示、平和記念だよりの発行、平和学習の実施（小学校4年生など） 平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、小中学生のための平和講演会、高松空襲展、高松市戦争遺品展、原爆パネル展、教職員のための平和教育講演会、収蔵品巡回展などの開催	
重点取組事業	市長マニフェスト	関連根拠法令

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭などの開催、小学校４年生などを対象とした平和学習の実施により、市民に戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和意識の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
平和意識の啓発事業の回数	回	0	8	8	8	8

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	平和意識の啓発事業の参加者数	人	目標値	0	8,250	8,250	8,250	8,250
			実績値	0	8,107	8,595		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	高松市平和を願う市民団体協議会との共催による原爆展の開催及び小中学校での平和講演会を開催した結果、参加者数が前年度に比べ増加し、目標値を達成できた。	(目標達成度) 104.2%		(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
		(目標達成度)		(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	21,797	24,202	24,515	25,469
(事業費)	[千円]	13,517	15,710	15,719	16,673
(職員人件費)	[千円]	8,280	8,492	8,796	8,796

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	平和記念館の維持管理と平和意識の啓発・普及事業の開催、平和記念館常設展示、平和記念だよりの発行、平和学習の実施(小学校4年生など) 平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、小中学生のための平和講演会、高松空襲展、高松市戦争遺品展、原爆展、教職員のための平和教育講演会、収蔵品巡回展などの開催	14,732千円 927千円	総額	15,719	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	15,719				
令和 8 年度	平和記念館の維持管理と平和意識の啓発・普及事業の開催、平和記念館常設展示、平和記念だよりの発行、平和学習の実施(小学校4年生など) 平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、小中学生のための平和講演会、高松空襲展、高松市戦争遺品展、原爆パネル展、教職員のための平和教育講演会、収蔵品巡回展などの開催	15,721千円 952千円	総額	16,673	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	16,673				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

全体の参加者数は前年度に比べ増加した。

事業内容等を検討し、更に多くの方が平和啓発事業に参加できるようにする。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	多様性を尊重する社会の確立		課(室)名	人権・男女共同参画推進課
	施策	誰もが活躍できる環境の形成		電話番号	087-839-2292
	取組方針	男女共同参画の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	男女共同参画社会推進事業			

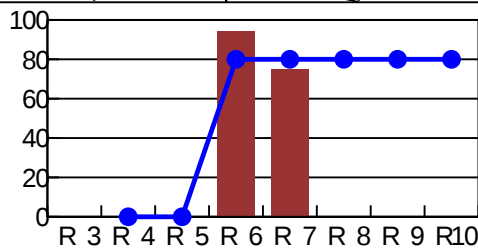
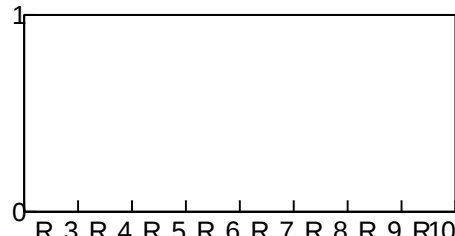
【事業全体概要】						
事業概要	男女共同参画都市宣言（平成9年12月18日）の趣旨を踏まえ、社会のあらゆる分野に男女が共に参画し、個性豊かで充実した人生を送ることができる男女共同参画社会づくりを目指し、関係機関や関係団体と連携・協力して各種行事を実施するなど啓発活動を行う。					
8年度概要	男女共同参画週間啓発行事 男女共同参画推進懇談会 男女共同参画市民フェスティバル					
重点取組事業		市長マニフェスト	3-	関連根拠法令	男女共同参画社会基本法	

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	男女共同参画社会に関する理解を深める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
男女共同参画週間事業の開催日数	日	0	7	7	7	7

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	男女共同参画週間事業に対する満足度(アンケート等)	%	目標値 実績値	0 0	80 94.4	80 75	80	80
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	事業実施の際に行ったアンケートにおいて、「よかった」、「とてもよかった」と回答した人の割合は、75.0%となり、目標を達成することができなかった。			(目標達成度) 93.8%				
				(得点) 33点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	5,393	3,961	4,014	4,343
(事業費)	[千円]	877	873	816	1,145
(職員人件費)	[千円]	4,516	3,088	3,198	3,198

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	男女共同参画週間啓発行事 男女共同参画推進懇談会 男女共同参画市民フェスティバル	7 8 千円 1 4 0 千円 5 9 8 千円	総額	816	
			特定財源	国	0
				県	78
				市債	0
				他	0
			一般財源	738	
令和 8 年度	男女共同参画週間啓発行事 男女共同参画推進懇談会 男女共同参画市民フェスティバル	9 0 千円 2 5 7 千円 7 9 8 千円	総額	1,145	
			特定財源	国	0
				県	90
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,055	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）	
パネル展は、男女共同参画センターとI K O D E 瓦町の2か所で実施し、啓発グッズの配布等により周知啓発に努めた。また昨年度からは、ハンセン病啓発パネル展と同時開催することで、来場者の増加につながった。今後も、より多くの方々に男女共同参画について理解を深めていただけるよう事業内容等を検討していく必要がある。	

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

今後においても、市民活動団体等と連携し、男女共同参画社会づくりのため、効果的な事業の実施に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	多様性を尊重する社会の確立		課(室)名	人権・男女共同参画推進課
	施策	誰もが活躍できる環境の形成		電話番号	087-839-2292
	取組方針	男女共同参画の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	女性団体育成事業			

【事業全体概要】

事業概要	女性の人権や社会的地位の向上を目指して、相互理解の下にネットワークを形成し、女性を取り巻く諸環境の変化に対応した各種事業を行うことで、男女共同参画の視点から、地域社会の発展に寄与することを目的とする女性団体を組織する団体の活動を支援する。				
8年度概要	高松市内の女性団体を組織する団体の活動支援				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	男女共同参画社会基本法

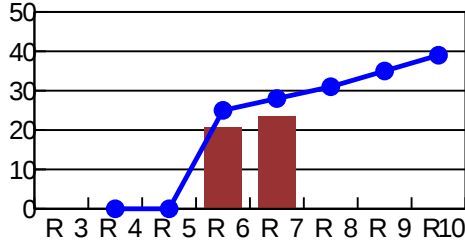
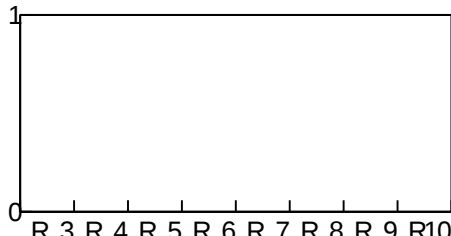
【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の女性
意図（どのような状態にしたいか）	女性の社会参画の促進、団体交流による地域活動の充実・活性化及び地域を支える人づくりの促進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助金交付団体数	団体	0	1	1	1	1
団体活動回数	回	0	19	19	20	20

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	コミュニティ協議会における正副会長のうち女性の割合		%	目標値	0	25	28	31	31	
				実績値	0	20.8	23.5			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	昨年度よりは、割合が上昇したものの、目標は達成できなかった。		（目標達成度） 83.9%							
（得点） 29点										
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			（目標達成度）							
（得点）										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	2,245	2,224	1,879	1,879
	(事業費)	740	680	680	680
	(職員人件費)	1,505	1,544	1,199	1,199

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	高松市内の女性団体を組織する団体の活動支援	補助金 6 8 0 千円	総額	680	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	680	
令和 8 年度	高松市内の女性団体を組織する団体の活動支援	補助金 6 8 0 千円	総額	680	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	680	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	78 / 100 (78 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

補助金交付団体と連携しながら、男女共同参画を推進した。

補助金交付団体に対し、本来の目的がより効果的に達成できるよう、引き続き協力していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	市民局
	政策		多様性を尊重する社会の確立		課(室)名	人権・男女共同参画推進課
	施策		誰もが活躍できる環境の形成		電話番号	087-839-2292
	取組方針		男女共同参画の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		女性の活躍促進事業			

【事業全体概要】

事業概要	市内企業での積極的な女性の活躍促進やワーク・ライフ・バランスの推進を図るため、企業等のトップや管理職、女性社員、学生等を対象とした各種セミナーや講座等を開催する。				
8年度概要	女性の活躍促進事業 (各種セミナー等の開催、企業認定) デジタルリスキリング事業 第6次男女共同参画プラン策定等業務				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	女性活躍推進法

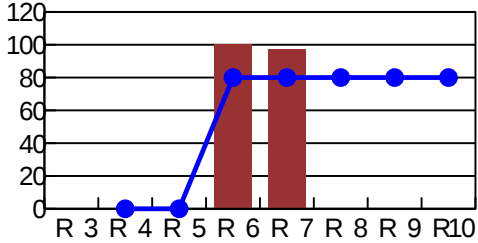
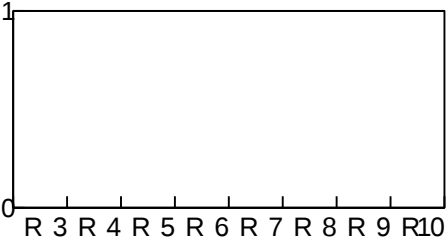
【事業の目的】

対象（何を）	市内の企業、企業経営者、働く女性等
意図（どのような状態にしたいか）	企業経営者等を対象とした各種セミナーの開催等を行うことにより、女性の職業生活における活躍を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	各種セミナー開催件数	件	0	3	4	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	各種セミナーに対する満足度（アンケート等）	%	目標値	0	80	80	80	80
			実績値	0	100	97.4		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	事業実施の際に各セミナー等で行ったアンケートにおいて、満足度は97.4%となった。	(目標達成度)	121.8%					
(得点)		35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
(得点)								

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	市民局
	政策		多様性を尊重する社会の確立		課(室)名	人権・男女共同参画推進課
	施策		誰もが活躍できる環境の形成		電話番号	087-839-2292
	取組方針		ユニバーサルデザインの普及啓発		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		ユニバーサルデザイン推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	平成25年5月に策定した「高松市ユニバーサルデザイン基本指針」に基づき、誰もが安心して快適に生活することのできる、ユニバーサルデザイン社会の実現を目指すため、様々な主体が協働して取り組む。 また、国が進める共生社会ホストタウンへの登録を契機として、その考え方や方向性について明らかにし、本市が率先して実践、啓発を行うことで、市民や事業者等にもユニバーサルデザインの考え方を広め、市全体で更なるユニバーサルデザインのまちづくりを推進する。				
8年度概要	ユニバーサルデザインマップの運用保守 心のユニバーサルデザイン啓発事業（1校×3万円） ユニバーサルデザイン展の開催等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市ユニバーサルデザイン基本指針

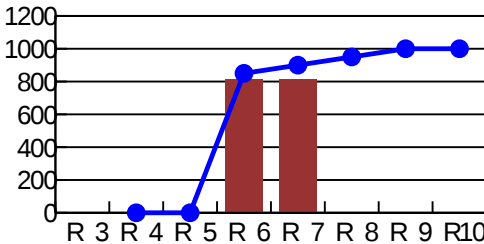
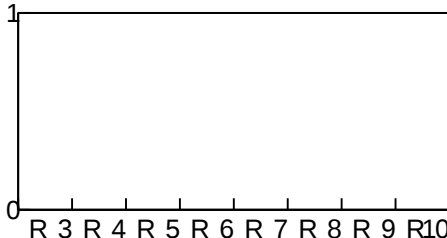
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民（事業者、市民活動団体、市職員含む）
意図（どのような状態にしたいか）	ハード事業、ソフト事業の両面にユニバーサルデザインの考え方を取り入れるとともに、ユニバーサルデザインについての知識と理解を持つ人材の育成を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
講座実施回数	回	0	4	4	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	たかまつユニバーサルデザインマップの登録 件数	件	目標値 実績値	0 0	850 814	900 814	950	950
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	登録件数は 8 1 4 件となっており、目標値に対し、9 0 . 4 %の達成度となった。	(目標達成度) 90.4%						
	(得点) 32点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
	(得点)							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	5,218	5,326	1,901	3,491
(事業費)	[千円]	702	694	702	692
(職員人件費)	[千円]	4,516	4,632	1,199	2,799

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	ユニバーサルデザインマップの運用保守 心のユニバーサルデザイン啓発事業 ユニバーサルデザイン展の開催等	5 9 4 千円 1 0 0 千円 8 千円	総額	702	
			特定財源	国	0
				県	100
				市債	0
				他	0
			一般財源	602	
令和 8 年度	ユニバーサルデザインマップの運用保守 心のユニバーサルデザイン啓発事業 (1 校 × 3 万円)) ユニバーサルデザイン展の開催等	5 9 4 千円 9 0 千円 8 千円	総額	692	
			特定財源	国	0
				県	90
				市債	0
				他	24
			一般財源	578	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

昨年度は、日本財団パラスポーツサポートセンターに委託し、心のユニバーサルデザイン啓発事業を市職員向けに実施した。広報たかまつにおいて、施設掲載の募集をする等したが、結果的に増加しなかった。今後も、マップへの施設の登録件数の増加や内容の充実に取り組む必要がある。

今後においても、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりをより一層進める必要があるため、引き続き、ユニバーサルデザインマップの充実や、研修等による職員の意識の醸成を図るとともに、市民等に対しても、各種事業を通してユニバーサルデザインの考え方を継続的に啓発していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	地域共生社会推進課
	施策	地域共生社会の構築		電話番号	087-839-2372
	取組方針	包括的な支援体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	ほっとかんまち高松づくり事業（高松型地域共生社会構築事業）			

【事業全体概要】

事業概要	子ども・高齢者・障がい者など全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現のため、まるごと福祉相談員を配置し、地域の拠点や複合的課題を抱えた世帯等を訪問し、支援につなぐとともに、総合センター等につながる福祉相談窓口を設置し、分野別の「縦割り」を超えた相談支援を実施し、「参加支援事業」により、社会とのつながりを必要とする方への支援も行う。				
8年度概要	「まるごと福祉相談員」による支援等 社会とのつながり回復への支援 制度の周知啓発等				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	5-	関連根拠法令	社会福祉法

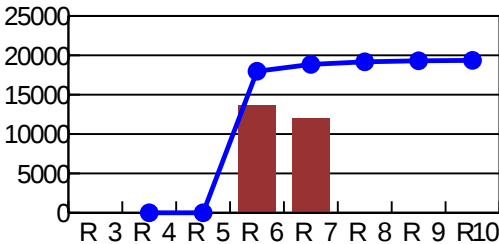
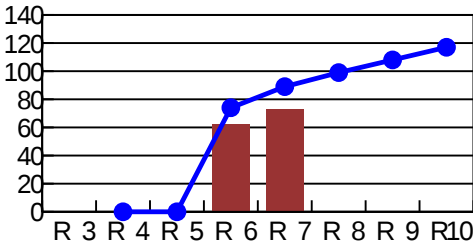
【事業の目的】

対象（何を）	高松市内在住の複合的課題を抱える高齢者・子ども・障がい者など支援を要する方・関係行政機関・団体、市域の企業、NPO、自治会その他の関係者など
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者・子ども・障がい者等の分野に関わらず、多くの地域生活課題について「まるごと福祉相談員」や地域の身近な拠点である総合センター等で福祉の相談を受け付け、支援をコーディネートすることでワンストップサービスの向上を目指すとともに、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる活動を推進する

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
まるごと福祉相談員の配置	人	0	5	5	5	5
相談対応人数（参加支援、アウトリーチ、多機関）	人	0	720	622	1,278	1,278

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	アウトリーチ（地域での情報収集・戸別訪問等）件数		件	目標値	0	17,972	18,844	19,172	19,172
				実績値	0	13,678	11,992		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	潜在的な相談者を見つけ、つながりの形成に向けた支援を行うために積極的に地域に出向いたが、目標達成には至らなかった。		(目標達成度)	63.6%					
(得点)			22点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	支援プラン策定数（参加支援、アウトリーチ、多機関）		件	目標値	0	74	89	99	99
				実績値	0	62	73		
	成果指標の達成率（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	新規のプラン策定人数が想定よりも少なかったことなどから、目標達成には至らなかった。		(目標達成度)	82.0%					
(得点)			29点						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	126,665	67,832	75,453	71,936
(事業費)	[千円]	96,331	45,444	49,066	45,549
(職員人件費)	[千円]	30,334	22,388	26,387	26,387

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	まると福祉相談員の配置等 参加支援事業の委託 事業周知啓発チラシの作成 消耗品購入等	3 1 , 2 2 7 千円 1 7 , 7 4 9 千円 0 円 9 0 千円	総額	49,066	
			特定財源	国	24,533
				県	12,266
				市債	0
				他	0
			一般財源	12,267	
令和 8 年度	「まると福祉相談員」による支援等 社会とのつながり回復への支援 制度の周知啓発等	3 1 , 2 7 3 千円 1 3 , 9 4 6 千円 3 3 0 千円	総額	45,549	
			特定財源	国	22,774
				県	11,387
				市債	0
				他	0
			一般財源	11,388	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	79 / 100 (79 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

引き続き、国の「重層的支援体制整備事業」を活用し、高松型地域共生社会構築事業を実施した。
事業について、市職員や関係機関等に認識してもらい、実践していく必要があり、複合化・複雑化する課題に対する支援策や、新たな課題についての支援検討などが考えられ、関係機関等と連携しながら対応していく。

福祉施策の縦割りの壁を超え、包括的な形で、市民・行政・関係機関が助け合う人的ネットワークを確立して、高松型の地域共生社会を構築する。

今後も、国の動向を注視しながら、事業内容の充実を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	地域共生社会推進課
	施策	地域共生社会の構築		電話番号	839-2372
	取組方針	地域福祉を支える環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	小規模法人のネットワーク化による協働推進事業			

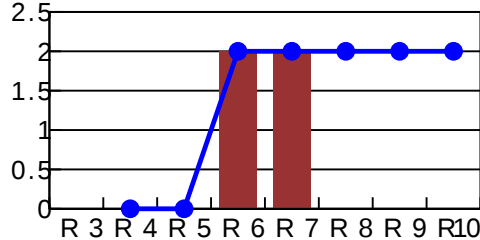
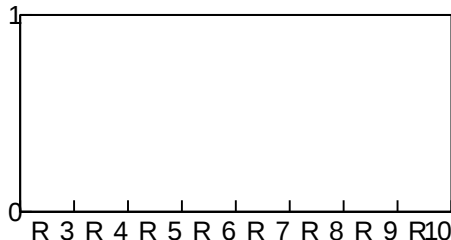
【事業全体概要】					
事業概要	社会福祉法において、社会福祉法人が実施することが責務化されている「地域における公益的な取組」について、職員体制の脆弱性等から、単独で実施することが困難な小規模法人が、複数参画し、ネットワークを構築するとともに、各法人それぞれの強みを活かした地域貢献のための協働事業を実施するもの。				
	複数の小規模法人等の連携による地域貢献のための協働事業の立ち上げに係る取組（2事業）				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	同事業実施要綱	

【事業の目的】	
対象（何を）	小規模法人（1の法人において1の施設又は事業所のみを運営しているような法人）
意図（どのような状態にしたいか）	小規模な法人を含め、地域の様々な福祉サービス提供機関が連携し、地域貢献のための取組が促進されるよう、その環境整備を図ることを通じて、地域における福祉サービスの充実とともに、重層的な支援体制の構築を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
参画小規模法人数	法人	0	51	18	58	58

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	ネットワークにおいて実施した事業数	件	目標値 実績値	0 0	2 2	2 2	2	2
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	目標 2 事業に対して 2 事業実施し、目標を達成した。		(目標達成度) 100.0%					
			(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	14,022	14,176	14,397	14,397
(事業費)	[千円]	8,000	8,000	8,000	8,000
(職員人件費)	[千円]	6,022	6,176	6,397	6,397

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	複数の小規模法人等の連携による地域貢献のための協働事業の立ち上げに係る取組（２事業）	委託料 ８，０００千円 （４，０００千円×２事業）	総額	8,000	
			特定財源	国	8,000
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	
令和 8 年度	複数の小規模法人等の連携による地域貢献のための協働事業の立ち上げに係る取組（２事業）	委託料 ８，０００千円 （４，０００千円×２事業）	総額	8,000	
			特定財源	国	8,000
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）	
緊急一時的支援事業は、法人間で、「食」や「もの」の収集や管理の協力（フードバンクの設置等）を行いながら、そのシステム化を図り、相談支援の充実も図る計画を立案した。	
新規人材確保・定着支援事業は、就職フェアへの合同参加や研修会の開催を行う計画を立案した。また、法人同士の採用に関するネットワークづくりについては、引き続きの課題として継続的に検討を行う。	

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

社会環境等の変化により、地域の福祉ニーズが多様化する中、今後の福祉サービスのさらなる充実を図るため、引き続き、複数の小規模法人等が連携し、参画するネットワークの構築を支援する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	地域共生社会推進課
	施策		地域共生社会の構築		電話番号	087-839-2372
	取組方針		地域福祉を支える環境の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		共助の基盤づくり事業			

【事業全体概要】

事業概要	重層的支援体制整備事業の柱となる「共助の基盤づくり事業」として、地域サービスの担い手を確保し、インフォーマル活動の活性化を図る事業を実施する。地域サービスの担い手により運営できる世代や属性にとらわれない、新たな地域の交流・集いの場を創出する。					
8年度概要	地区社会福祉協議会が主体となり、多方面のボランティアが、交流・イベント・会食等の様々な活動を行う、共助の基盤づくり事業を各地区で実施する。また、地域のボランティア活動を発展させるため、高松市社会福祉協議会に地域の担い手養成業務を委託する。					
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	5-	関連根拠法令	重層的支援体制整備事業交付金交付要綱	

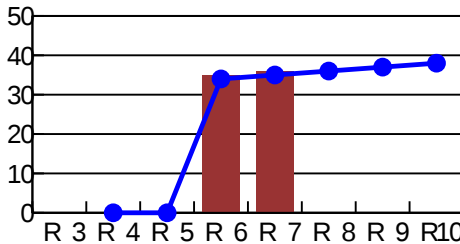
【事業の目的】

対象（何を）	地域ボランティア等と地域の住民
意図（どのような状態にしたいか）	地域サービスを支える基盤となる組織を育成する観点から、地域づくりや地域サービスに欠かせない、地域ボランティアの確保・育成支援に取り組むことにより、福祉の向上や地域住民の支え合いによる、共助の基盤づくりに努める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	事業実施回数	回	0	252	272	245	245

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																			
	共助の基盤づくり事業実施箇所数		箇所	目標値	0	34	35	36	36																			
				実績値	0	35	36																					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)					 <table border="1"><caption>達成率データ (R3-R10)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 3</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>35</td></tr><tr><td>R 7</td><td>36</td></tr><tr><td>R 8</td><td>37</td></tr><tr><td>R 9</td><td>38</td></tr><tr><td>R 10</td><td>39</td></tr></tbody></table>					年度	達成率 (%)	R 3	0	R 4	0	R 5	0	R 6	35	R 7	36	R 8	37	R 9	38	R 10	39
	年度	達成率 (%)																										
R 3	0																											
R 4	0																											
R 5	0																											
R 6	35																											
R 7	36																											
R 8	37																											
R 9	38																											
R 10	39																											
活動実施箇所が増加し、目標を達成できた。		(目標達成度)	102.9%																									
		(得点)	35点																									

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																			
				目標値																								
				実績値																								
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)					 <table border="1"><caption>達成率データ (R3-R10)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 3</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>0</td></tr><tr><td>R 7</td><td>0</td></tr><tr><td>R 8</td><td>0</td></tr><tr><td>R 9</td><td>0</td></tr><tr><td>R 10</td><td>0</td></tr></tbody></table>					年度	達成率 (%)	R 3	0	R 4	0	R 5	0	R 6	0	R 7	0	R 8	0	R 9	0	R 10	0
	年度	達成率 (%)																										
R 3	0																											
R 4	0																											
R 5	0																											
R 6	0																											
R 7	0																											
R 8	0																											
R 9	0																											
R 10	0																											
		(目標達成度)																										
		(得点)																										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	15,949	10,817	16,272	18,851
(事業費)	[千円]	6,164	6,725	6,837	9,416
(職員人件費)	[千円]	9,785	4,092	9,435	9,435

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	地区社会福祉協議会が主体となり、多方面のボランティアが、交流・イベント・会食等の様々な活動を行う、共助の基盤づくり事業を各地区で実施する。また、地域のボランティア活動を発展させるため、高松市社会福祉協議会に地域の担い手養成業務を委託する。	担い手養成業務 7 9 5 千円 活動運営助成金 6 , 0 4 2 千円	総額	6,837	
			特定財源	国	3,418
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,419	
令和 8 年度	地区社会福祉協議会が主体となり、多方面のボランティアが、交流・イベント・会食等の様々な活動を行う、共助の基盤づくり事業を各地区で実施する。また、地域のボランティア活動を発展させるため、高松市社会福祉協議会に地域の担い手養成業務を委託する。	担い手養成業務 8 1 6 千円 活動運営助成金 8 , 6 0 0 千円	総額	9,416	
			特定財源	国	4,708
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	4,708	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

地域に応じた事業を円滑に進められるよう、高松市社会福祉協議会と連携を図りながら指導・助言を行うことにより、地域におけるボランティア活動の継続・活性化を図る。

各実施団体の活動内容等を情報共有することにより、幅広い活動につなげられるよう検討する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	地域共生社会推進課
	施策		地域共生社会の構築		電話番号	087-839-2372
	取組方針		地域福祉を支える環境の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		社会福祉団体活動助成事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松市社会福祉協議会及び社会福祉諸団体に対し、行政では対応し難い福祉需要への多様な取組に対し、社会福祉法に基づく財政支援を行い、地域福祉の推進を図る。				
8年度概要	社会福祉の向上を図るため、高松市社会福祉協議会及び社会福祉諸団体（３団体）の事業に対し、補助金を交付するとともに、たすけ合い金庫資金を貸し付ける。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	社会福祉法、高松市社会福祉法人助成条例等

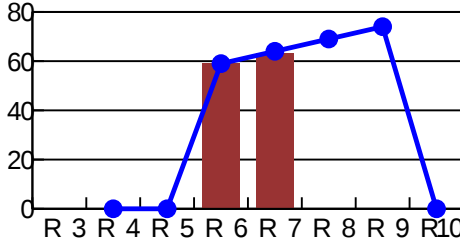
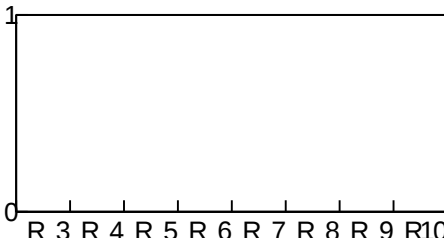
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	地域住民の日常生活上の諸問題の解消、軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助金交付団体数	団体	0	4	4	4	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	法人成年後見事業受任件数		件	目標値	0	59	64	69	69
				実績値	0	59	63		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	令和7年度の法人成年後見事業受任件数は、6年度の59件から63件に増加したものの、目標値の64件には到達しなかった。		(目標達成度)	98.4%					
				(得点)	34点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			(目標達成度)						
				(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	132,492	130,413	133,603	144,568
(事業費)	[千円]	127,976	125,781	121,009	125,378
(職員人件費)	[千円]	4,516	4,632	12,594	19,190

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	社会福祉の向上を図るため、高松市社会福祉協議会及び社会福祉諸団体(3団体)の事業に対し、補助金を交付するとともに、たすけ合い金庫資金を貸し付ける。	高松市社会福祉協議会事業交付金等 108,015千円 社会福祉諸団体事業補助金 4,494千円 高松市たすけ合い金庫資金貸付金 8,500千円	総額	121,009	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	8,500
			一般財源	112,509	
令和 8 年度	社会福祉の向上を図るため、高松市社会福祉協議会及び社会福祉諸団体(3団体)の事業に対し、補助金を交付するとともに、たすけ合い金庫資金を貸し付ける。	高松市社会福祉協議会事業交付金等 112,504千円 社会福祉諸団体事業補助金 4,374千円 高松市たすけ合い金庫資金貸付金 8,500千円	総額	125,378	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	8,500
			一般財源	116,878	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

地域福祉推進のための事業を実施する高松市社会福祉協議会に対して補助金を交付することにより、地域福祉活動の充実に寄与した。また、社会福祉団体に補助金を交付することにより、地域福祉を支える基盤づくりに寄与した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

厳しい財政事情を踏まえ、補助金の削減について各団体と検討していく。高松市社会福祉協議会については、昨年度、経営状況等を踏まえ、定率補助を10年度まで3年間継続することとし、介護人材を確保し安定的に事業を実施できるよう、引き続き事務の効率化等の経営改善策を検討するよう同協議会に働きかける。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

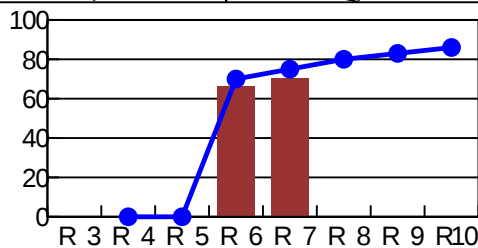
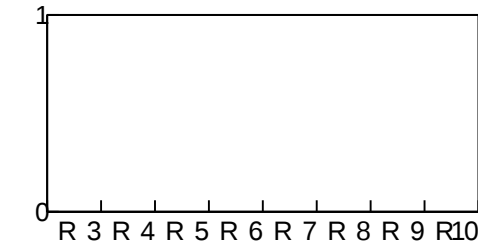
総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	地域共生社会推進課
	施策	地域共生社会の構築		電話番号	087-839-2372
	取組方針	地域福祉を支える環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	災害援護事業			

【事業全体概要】					
事業概要	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業				
	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業 福祉避難所を設置・運営する際に必要となる施設改修や資機材整備を行う社会福祉施設等に対する補助金の交付				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	災害対策基本法

【事業の目的】	
対象（何を）	要介護認定3～5の人など災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者の方などの避難行動要支援者。
意図（どのような状態にしたいか）	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者の人など（避難行動要支援者）に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く、安全に行われる体制づくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
避難行動要支援者名簿登録者数	人	0	7,072	7,111	7,500	7,500
個別避難計画作成者数	人	0	4,684	5,003	6,000	6,000

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	個別避難計画作成率	%	目標値	0	70	75	80	80
			実績値	0	66.2	70.4		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	令和7年度の計画作成率は、6年度の66.2%から70.4%に上昇したものの、目標値の75.0%には到達しなかった。		(目標達成度) 93.9%					
		(得点) 33点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)					
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	16,040	23,600	33,893	44,090
(事業費)	[千円]	3,244	8,932	15,342	27,298
(職員人件費)	[千円]	12,796	14,668	18,551	16,792

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和7年度	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業 福祉避難所を設置・運営する際に必要となる施設改修や資機材整備を行う社会福祉施設等に対する補助金の交付	援護資金貸付金 8千円	総額	15,342	
		小規模災害援護費 460千円	特定財源	国	0
		避難行動要支援者名簿整備費 3,818千円		県	6,199
		避難支援者に対する保険加入費 688千円		市債	0
		福祉避難所体制整備支援事業補助金 10,368千円		他	0
				一般財源	9,143
令和8年度	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業 福祉避難所を設置・運営する際に必要となる施設改修や資機材整備を行う社会福祉施設等に対する補助金の交付	援護資金貸付金 1,513千円	総額	27,298	
		小規模災害援護費 610千円	特定財源	国	0
		避難行動要支援者名簿整備費 6,151千円		県	10,911
		避難支援者に対する保険加入費 1,024千円		市債	1,500
		福祉避難所体制整備支援事業補助金 18,000千円		他	0
				一般財源	14,887

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

避難行動要支援者名簿・個別避難計画を地域支援組織に提供する際に、各地区での取組状況について聞き取り、情報提供や意見交換を行ったほか、名簿等を実効性のあるものとするため、他地区での先進的な取組事例を紹介し資料提供を行うなど、地域支援を行った。また、市内全地区の民生委員児童委員協議会代表者が出席するブロック別地区民児協会長会で、名簿・計画の作成に関する取組について市職員が説明し、質疑応答・意見交換を行い、地域での名簿の作成・更新・活用が促進されるよう取り組んだ。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

引き続き地域コミュニティ協議会など、地域支援組織と連携しながら、避難行動要支援者名簿の情報更新と併せて、要支援者にとって、より登録・作成し易いものとなるよう、調査票の見直しや登録方式等の改善を図るほか、未登録の要支援者へ再度、登録等を促す案内を送付する等、計画作成率の向上等に向けて取り組む。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	地域共生社会推進課
	施策		地域共生社会の構築		電話番号	087-839-2372
	取組方針		地域福祉を支える環境の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		若者育成支援推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	社会生活を円滑に営む上での困難を有する若者を支援するため、高松市若者支援協議会を設置し、協議会を構成する関係機関の情報交換を行うとともに、相互に協力・連携することで、若者それぞれの置かれた状況等にきめ細やかに対応できる支援体制を構築する。				
8年度概要	協議会の開催 代表者会議 1回 / 年 実務者会議 1回 / 年				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	子ども・若者育成支援推進法

【事業の目的】

対象（何を）	社会生活を円滑に営む上で、ひきこもり・ニート・貧困等の困難を有する、おおむね１５歳以上４０歳未満の若者及びその家族
意図（どのような状態にしたいか）	ひきこもり・ニート・貧困等の困難を有する若者が、健やかに成長し、持てる能力を生かし自立・活躍することができるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
協議会等の開催回数	回	0	1	1	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	協議会の構成団体数	団体	目標値	0	24	24	24	24
			実績値	0	24	24		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	高松市若者支援協議会代表者・実務者全体会議において、6つの分野の24団体に関係機関として協議会に参加いただき、若者支援に係るネットワークを強化した。		(目標達成度) 100.0%					
			(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	11,074	4,794	11,353	11,722
(事業費)	[千円]	85	85	79	448
(職員人件費)	[千円]	10,989	4,709	11,274	11,274

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	協議会の開催 代表者・実務者全体会議 1回/年	会議開催経費 報償金 79千円	総額	79	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	79	
令和 8 年度	協議会の開催 代表者会議 1回/年 実務者会議 1回/年	会議開催経費 報償金 129千円 たかまつ若者サポートブック 印刷製本費 319千円	総額	448	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	448	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
協議会の協議対象者を「中学・高校・大学の新卒者、中退者で、所属を失い支援が途切れた、社会生活上の困難を有する者」とし、それらの者がひきこもり状態になる前、若しくは、ひきこもり状態になった後の早期の支援について協議することとした。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
困難を有する若者とその家族のニーズを把握するとともに、特に孤独・孤立支援を中心に、支援機関の意見等も聴きながら、より効果的な支援施策を検討していく。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	地域共生社会推進課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2372
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業			

【事業全体概要】

事業概要	支援が必要な高齢者のニーズに対応するため、国のガイドラインに基づき、サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす「生活支援コーディネーター」の設置やコーディネーターとサービス提供主体が参画する「協議体」での情報共有・連携強化等を通じて、多様な主体による様々なサービスの提供体制を構築する。 また、市民等への周知・広報を行う。				
8年度概要	協議体開催（2回） 第2層生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）配置 市民等への周知・広報				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	介護保険法

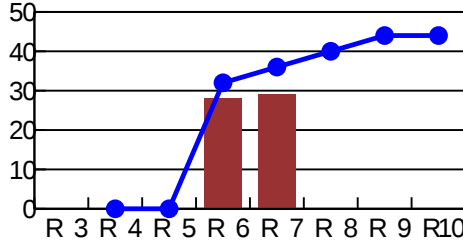
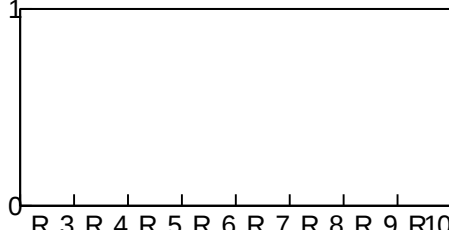
【事業の目的】

対象（何を）	高松市内在住高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	多様な主体による様々なサービスが提供される体制を構築し、高齢者が、介護や支援が必要な状態になっても、住み慣れた地域社会で安心して安全に暮らすことができるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
地域福祉ネットワーク会議開催回数	回	0	200	193	260	260

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	住民主体によるサービスを提供している地区数	地区	目標値 実績値	0 0	32 28	36 29	40	40	
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	住民主体によるサービスの提供は、平成28年10月から実施し、令和7年度には合計で29地区（訪問27地区、通所6地区）で実施されている。			(目標達成度) 80.6%					
				(得点) 28点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値 実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
				(目標達成度)					
				(得点)					

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	介護保険課
	施策		高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2326
	取組方針		生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		介護保険補助金等事業			

【事業全体概要】

事業概要	介護サービスを利用する（している）高齢者の安心や安全を確保するため、利用者及び介護サービス事業者に対し助成事業を行う。				
8年度概要	介護保険利用者負担軽減事業費 地域密着型サービス施設等整備事業費補助金				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	介護保険事業費補助金交付要綱など

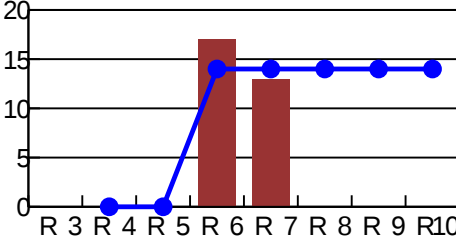
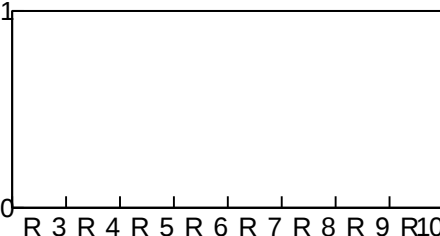
【事業の目的】

対象（何を）	介護サービスの利用者及び介護サービス事業者
意図（どのような状態にしたいか）	介護サービス利用者が安心・安全に暮らせるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
離島介護サービス提供促進事業補助金交付件数 / 人	件	0	9.5	11.3	10	10

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	離島への介護サービス提供事業所数		箇所	目標値	0	14	14	14	14	
				実績値	0	17	13			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	引き続き、対象事業所に対し協力依頼を行った結果、制度への理解が行き届き、概ね目標を達成することができた。		(目標達成度)	92.9%						
(得点)			33点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	69,570	4,280	42,380	71,673
	(事業費)	54,516	4,280	42,380	71,673
	(職員人件費)	15,054	0	0	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	介護保険利用者負担軽減事業費 地域密着型サービス施設等整備事業費補助金	4 , 6 5 9 千円 3 7 , 7 2 1 千円	総額	42,380	
			特定財源	国	7,730
				県	30,831
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,819	
令和 8 年度	介護保険利用者負担軽減事業費 地域密着型サービス施設等整備事業費補助金	8 , 0 9 5 千円 6 3 , 5 7 8 千円	総額	71,673	
			特定財源	国	0
				県	66,020
				市債	0
				他	0
			一般財源	5,653	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

第9期高松市高齢者保健福祉計画に基づき施設整備事業を実施した。また、離島での介護サービス提供事業者に補助金を交付したほか、社会福祉法人等における介護サービス利用者のうち、生活困難者に対して利用額を軽減することにより、介護サービスを利用する高齢者の安心と安全を確保することができた。

引き続き、助成の対象と成り得るもの、又は希望するものには、本市から直接若しくは介護サービス事業者を通じて周知を図り適正に事業を実施していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	介護保険課
	施策		高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2326
	取組方針		生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		介護サービス相談員派遣事業			

【事業全体概要】

事業概要	一定の研修を受けた登録相談員を介護サービス事業所等に派遣して、利用者等の話を聞き、相談に応じるなどにより、利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、派遣を受けた事業所における介護サービスの質的な向上を図るもの。				
8年度概要	相談員派遣 10人・22施設 連絡会議の開催（月1回）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	介護保険法

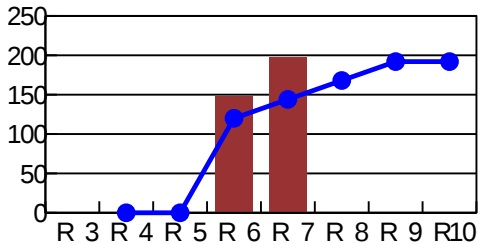
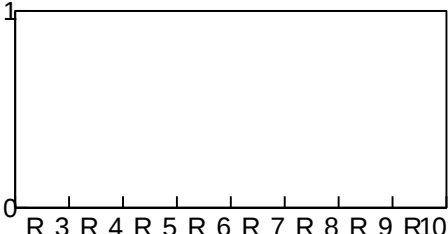
【事業の目的】

対象（何を）	介護サービス相談員の派遣を希望する介護保険サービス事業所
意図（どのような状態にしたいか）	介護サービス利用者の日常的な不平、不満又は疑問に対応して、苦情に至る事態を未然に防止するとともに、派遣を受けた事業所における介護サービスの質的な向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
介護サービス相談員派遣受入事業所数	箇所	0	18	20	22	22

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8		
	介護サービス相談員が受けた相談件数		件	目標値	0	120	144	168	168		
				実績値	0	148	197				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）										
	介護サービス事業所に対する介護サービス相談員の派遣を実施し、当初の目標値を達成することができた。		(目標達成度)	136.8%							
(得点)			35点								
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8		
				目標値							
				実績値							
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）										
			(目標達成度)								
(得点)											

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	7,980	1,573	1,416	2,187
(事業費)	[千円]	453	1,573	1,416	2,187
(職員人件費)	[千円]	7,527	0	0	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	相談員派遣 10人・20施設 連絡会議の開催(月1回)	報償費 1,302千円 その他 114千円	総額	1,416	
			特定財源	国	520
				県	260
				市債	0
				他	363
			一般財源	273	
令和 8 年度	相談員派遣 10人・22施設 連絡会議の開催(月1回)	報償費 1,888千円 その他 299千円	総額	2,187	
			特定財源	国	841
				県	420
				市債	0
				他	506
			一般財源	420	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

介護サービス相談員が20事業所を訪問し、利用者の疑問や相談等に応じた。また、事業所職員と意見交換を行うことにより、介護サービスの質的な向上に寄与した。

相談員及び受入事業所数の増加に向けて、引き続き事業内容の周知啓発に取り組む。
--

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	介護保険課
	施策		生活におけるセーフティネットの確保		電話番号	087-839-2326
	取組方針		公的保険制度の適正な運営		事業期間	令和 年度～令和 3年度
	事務事業		介護人材確保対策事業			

【事業全体概要】

事業概要	地域包括ケアシステムを支える介護人材の確保と介護サービスの質の向上を図るため、介護従事者の処遇や介護サービス事業者の職場環境の改善に取り組む。				
8年度概要	・ 介護職員初任者研修及び介護支援専門員研修の受講支援 ・ 介護現場におけるカスタマーハラスメント防止を目的とした啓発 ・ 介護サービス事業所に対するＩＣＴ化による業務効率化の促進				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	介護保険法

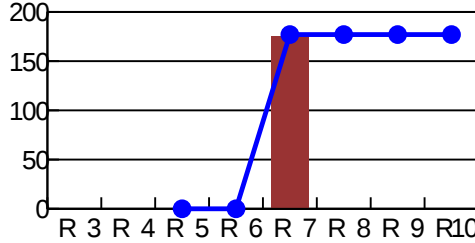
【事業の目的】

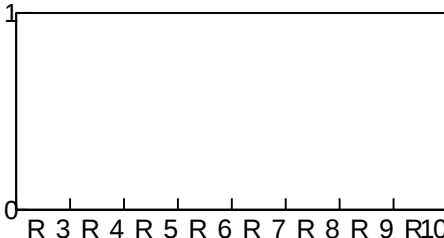
対象（何を）	介護従事者を雇用する市内の介護サービス事業者
意図（どのような状態にしたいか）	介護従事者の研修受講や職場環境の改善などを促進することで介護サービス事業者の人材確保や介護の質の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
介護支援専門員研修受講支援補助金補助対象従業者数	人	0	0	44	50	50

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																			
	指定居宅介護支援事業所数		件	目標値	0	0	177	177	177																			
				実績値	0	0	175																					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					 <table><caption>達成率推移表</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R3</td><td>0</td></tr><tr><td>R4</td><td>0</td></tr><tr><td>R5</td><td>0</td></tr><tr><td>R6</td><td>0</td></tr><tr><td>R7</td><td>98.9</td></tr><tr><td>R8</td><td>98.9</td></tr><tr><td>R9</td><td>98.9</td></tr><tr><td>R10</td><td>98.9</td></tr></tbody></table>					年度	達成率 (%)	R3	0	R4	0	R5	0	R6	0	R7	98.9	R8	98.9	R9	98.9	R10	98.9
	年度	達成率 (%)																										
R3	0																											
R4	0																											
R5	0																											
R6	0																											
R7	98.9																											
R8	98.9																											
R9	98.9																											
R10	98.9																											
介護支援専門員の資質の向上やスキルアップ等が図れたが、居宅介護支援事業所数の増加にはつながらず、目標を達成できなかった。		(目標達成度)	98.9%																									
		(得点)	35点																									

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	0	1,110	11,156
(事業費)	[千円]	0	0	1,110	11,156
(職員人件費)	[千円]	0	0	0	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和7年度	・介護支援専門員研修助成 のべ44名 ・介護職員初任者研修助成 のべ2名 ・ケアプランデータ連携システム導入支援研修実施	負担金、補助及び交付金 771千円 その他 339千円	総額	1,110	
			特定財源	国	0
				県	254
				市債	0
				他	0
			一般財源	856	
令和8年度	・介護職員初任者研修及び介護支援専門員研修の受講支援 ・介護現場におけるカスタマーハラスメント防止を目的とした啓発 ・介護サービス事業所に対するICT化による業務効率化の促進	負担金、補助及び交付金 6,420千円 委託料 4,728千円 その他 8千円	総額	11,156	
			特定財源	国	11,156
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

介護サービス事業者に対し、職員の研修受講費用の一部を支援するとともに、ケアプランデータ連携システム導入を支援する内容の研修を実施し、人材確保や業務効率化に寄与した。

介護サービス事業者の人材確保や介護サービスの質向上に向け、研修助成については、介護サービス事業者に対し、更に活用を働きかけるほか、ケアプランデータ連携システム導入支援については、個別支援に重点を置くなど、より効果的に取り組む。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	国保・高齢者医療課
	施策	生活におけるセーフティネットの確保		電話番号	087-839-2371
	取組方針	公的保険制度の適正な運営		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	国民健康保険保健事業			

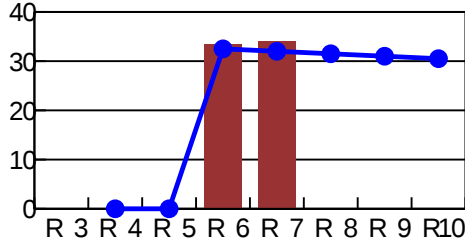
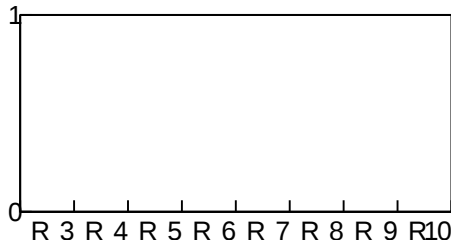
【事業全体概要】					
事業概要	第3期高松市データヘルス計画（第4期高松市国民健康保険及び介護保険の保険給付費適正化計画）に基づき保健事業を実施する。 生活習慣病の早期発見、重症化予防及び健康保持・増進を図ることを目的として、特定健康診査、特定保健指導、糖尿病重症化予防等の事業を実施する。 医療費通知、後発医薬品使用促進、重複・頻回受診対策等を実施し、医療の効率的な提供の推進を図る。				
	8年度概要 保険者努力支援制度関連事業である特定健康診査受診率向上事業、後発医薬品使用促進事業、糖尿病性腎症重症化予防事業をはじめ、重複・頻回受診者対策事業及び人間ドック助成事業など、保健事業に積極的に取り組み、生活習慣病の早期発見、重症化予防及び、保険給付費の適正化を図る。				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	国民健康保険法・高齢者の医療の確保に関する	

【事業の目的】	
対象（何を）	国民健康保険の被保険者
意図（どのような状態にしたいか）	保健事業にこれまで以上に積極的に取り組み、被保険者の健康保持・増進を図ることで、保険給付費の抑制に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
特定健診対象者への受診票送付率	%	0	100	100	100	100
特定保健指導対象者に対する参加勧奨通知の送付率	%	0	100	100	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	特定健診受診者のうち、メタボ該当者及び予備群の割合	%	目標値	0	32.5	32	31.5	31.5
			実績値	0	33.4	34		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	特定健康診査等の受診率の向上、重症化予防対策事業等、保健事業に積極的に取り組み、保険給付費の上昇抑制を図ったが、目標を達成することができなかった。	(目標達成度)						
(得点)								
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	425,468	389,630	375,416	416,256
(事業費)	[千円]	384,295	389,630	373,417	414,257
(職員人件費)	[千円]	41,173	0	1,999	1,999

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	保険者努力支援制度関連事業である特定健康診査受診率向上事業、後発医薬品使用促進事業、糖尿病性腎症重症化予防事業をはじめ、重複・頻回受診者対策事業及び人間ドック助成事業など、保健事業に積極的に取組み、生活習慣病の早期発見、重症化予防及び、保険給付費の適正化を図る。	健康推進費 86,504千円、国民健康保険運営安定化事業費 0千円、特定健診事業費 250,433千円、特定保健指導事業費 35,784千円・696千円、人件費 1,999千円	総額	373,417	
			特定財源	国	0
				県	261,105
				市債	0
				他	707
			一般財源	111,605	
令和 8 年度	保険者努力支援制度関連事業である特定健康診査受診率向上事業、後発医薬品使用促進事業、糖尿病性腎症重症化予防事業をはじめ、重複・頻回受診者対策事業及び人間ドック助成事業など、保健事業に積極的に取組み、生活習慣病の早期発見、重症化予防及び、保険給付費の適正化を図る。	健康推進費 117,141千円、国民健康保険運営安定化事業費 307千円、特定健診事業費 251,090千円、特定保健指導事業費 44,884千円・835千円	総額	414,257	
			特定財源	国	0
				県	100,292
				市債	0
				他	835
			一般財源	313,130	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

生活習慣病予防のため、特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率の向上を図る。

生活習慣病予防のため、特定保健指導対象者への未受診者勧奨通知を行うほか、若いうちからの健診受診や健康への意識づけが重要であるため、引き続き、若年層対策健康診査を実施するとともに、特定健康診査受診率向上のため、ＳＭＳを利用した受診勧奨など、さらなる保健事業の推進を図り、被保険者の健康保持・増進、保険給付費の抑制に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

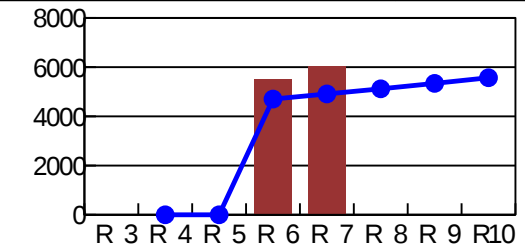
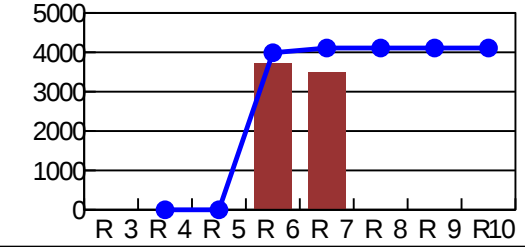
総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者福祉の充実		電話番号	087-839-2333
	取組方針	自立の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	障がい者地域生活支援推進事業			

【事業全体概要】					
事業概要	障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域生活への移行や定着を支援するため、障害福祉サービス事業所と連携ネットワークを構築するなど、地域支援のための機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受入れ・対応、専門性、地域の体制づくり）を強化し、様々な支援を切れ目なく提供する。				
8年度概要	中核拠点・地域拠点委託料 緊急時受入先確保事業 合理的配慮の提供支援助成金 建物建設経費一部負担金 コスモス園運営委託				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支

【事業の目的】	
対象（何を）	障がい者
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、様々な支援を切れ目なく提供できるサービスを提供し、また、合理的配慮の提供に要する費用の一部を助成することで、障がい者の地域生活への移行や定着を支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
基幹相談支援センター相談件数（中核拠点）	件	0	1,206	794	1,360	1,360

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	障害福祉サービス利用者数	人	目標値	0	4,703	4,911	5,119	5,119
			実績値	0	5,496	6,037		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	相談支援を通じて適切な障害福祉サービスの利用につなげたことで、福祉サービス利用者数は増加し、目標を達成できた。		（目標達成度） 122.9% （得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	基幹相談支援センター相談件数	件	目標値	0	3,989	4,109	4,109	4,109
			実績値	0	3,722	3,505		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	地域における相談支援体制の中核的な役割を果たす機関として機能しているものの、目標を達成しなかった。		（目標達成度） 85.3% （得点） 30点					

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	中核拠点・地域拠点委託料 緊急時受入先確保事業 合理的配慮の提供支援助成金 建物建設経費一部負担金 コスモス園運営委託	7 8 , 0 8 4 千円 1 , 0 4 4 千円 2 0 0 千円 1 2 , 2 9 8 千円 2 5 , 9 1 8 千円	総額 117,544		
			特定財源	国	21,728
				県	10,864
				市債	0
				他	229
			一般財源 84,723		
令和 8 年度	中核拠点・地域拠点委託料 緊急時受入先確保事業 合理的配慮の提供支援助成金 建物建設経費一部負担金 コスモス園運営委託	9 0 , 3 4 1 千円 1 , 0 4 4 千円 1 , 0 0 0 千円 1 2 , 7 6 0 千円 2 6 , 9 5 9 千円	総額 132,104		
			特定財源	国	45,170
				県	22,585
				市債	0
				他	227
			一般財源 64,122		

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	3	一部結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	87 / 100 (87 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
重層の支援体制整備事業（令和４年度～）の趣旨を踏まえ、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域生活への移行や定着を支援するため、基幹相談支援センター（中核拠点及び地域拠点）及びコスモス園の効率的な運営を行っている。
民間事業者に対する合理的配慮提供の義務化に伴い、助成事業を含めた周知啓発に努めている。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

引き続き、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域生活への移行や定着を支援するため、基幹相談支援センター（中核拠点及び地域拠点）及びコスモス園の効率的な運営を行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策		障がい者福祉の充実		電話番号	087-839-2333
	取組方針		自立の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		障がい者就労支援促進事業			

【事業全体概要】

事業概要	障がいのある方の就労促進と社会的・経済的な自立促進を図るため、市役所1階の元喫茶スペースにおいて、障害福祉サービス事業所が授産品や飲料等の販売を行う「障がい者就労訓練の場」を提供し、知的障がい者・精神障がい者等の一般就労へ向けた支援を行う。				
8年度概要	公共施設内の「障がい者就労訓練の場」開設支援				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	一般就労を目指す障がい者
意図（どのような状態にしたいか）	一般就労を目指す障がい者の雇用を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	「障がい者就労訓練の場」参加事業所数	事業所	0	0	26	28	28

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	「障がい者就労訓練の場」における訓練者数	人	目標値 実績値	0 0	36 33	38 34	40	40
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	就労訓練生の受入れについては、継続的に実施することができたが、目標を達成しなかった。	(目標達成度)		89.5%				
		(得点)		31点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	12,685	12,878	9,914	9,914
(事業費)	[千円]	5,158	5,158	1,918	1,918
(職員人件費)	[千円]	7,527	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	公共施設内の「障がい者就労訓練の場」開設支援	1 , 9 1 8 千円	総額	1,918	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,918	
令和 8 年度	公共施設内の「障がい者就労訓練の場」開設支援	1 , 9 1 8 千円	総額	1,918	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,918	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

市役所内における「就労訓練の場」提供事業は、引き続き、障がい者の社会就労支援に詳しいNPO法人に事業を委託することにより、効率的に実施した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

障がいのある方の就労促進と社会的・経済的な自立促進を図るため、市役所内における「就労訓練の場」提供事業は、引き続き実施する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策		障がい者福祉の充実		電話番号	087-839-2333
	取組方針		自立の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		補装具費・日常生活用具支給等事業			

【事業全体概要】

事業概要	障がい者（児）の自立した生活や社会参加を促進するため、障がいにより失われた身体部位や損なわれた身体機能を代償・補完するための補装具を支給する。				
8年度概要	補装具支給 居住サポート 日常生活用具 訪問入浴サービス 紙おむつの支給				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支

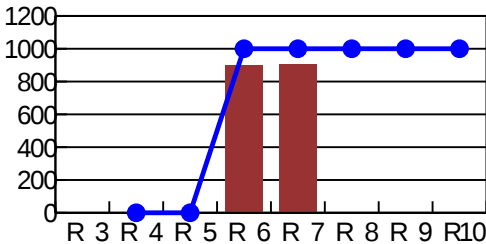
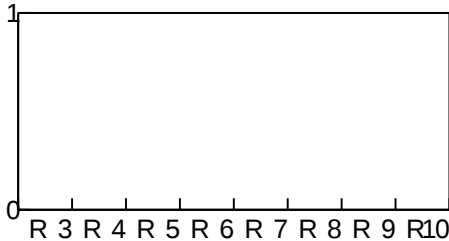
【事業の目的】

対象（何を）	日常生活用具及び補装具を必要とする身体障がい者（児）
意図（どのような状態にしたいか）	失われた身体部位、損なわれた身体機能を代償、補完、及び日常生活の利便性を向上する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補装具支給申請受付人数	人	0	925	925	1,000	1,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	補装具給付件数		件	目標値	0	1,000	1,000	1,000	1,000	
				実績値	0	902	904			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	必要とする身体障がい者（児）に対し、障がいにより失われた身体部位や損なわれた身体機能を代償・補完するための補装具を支給したものの、目標を達成しなかった。		（目標達成度） 90.4%							
（得点） 32点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			（目標達成度）							
（得点）										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	257,879	266,995	292,232	327,690
(事業費)	[千円]	236,803	245,379	269,843	305,301
(職員人件費)	[千円]	21,076	21,616	22,389	22,389

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	補装具支給 居住サポート 日常生活用具 訪問入浴サービス 紙おむつの支給 福祉電話等貸与	1 1 5 , 3 0 2 千円 0 千円 1 3 1 , 5 6 0 千円 5 , 3 3 7 千円 1 6 , 9 4 7 千円 6 9 7 千円	総額	269,843	
			特定財源	国	91,292
				県	45,959
				市債	0
				他	0
			一般財源	132,592	
令和 8 年度	補装具支給 居住サポート 日常生活用具 訪問入浴サービス 紙おむつの支給 福祉電話等貸与	1 4 1 , 7 9 8 千円 1 2 5 千円 1 4 2 , 4 8 5 千円 7 , 1 1 7 千円 1 3 , 0 5 8 千円 7 1 8 千円	総額	305,301	
			特定財源	国	145,048
				県	72,710
				市債	0
				他	0
			一般財源	87,543	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

用具・装具の助成は日常生活を営む上で不可欠な事業である。

日常生活用具に係る選定や耐用年数の設定等について、調査及び研究を行い、市民の要望及び時代に合った制度に整えていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策		障がい者福祉の充実		電話番号	087-839-2333
	取組方針		自立の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		障害者相談支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	障がい者及びその家族等の不安を解消し、生活の利便を図るため、福祉サービスの手続きやその他の困りごとに関して相談員が相談に乗り、その解決に向けて支援を行う相談支援体制を整備する。 ・障害者相談員設置事業 ・障害者相談支援事業 ・相談支援・充実強化事業				
8年度概要	障害者相談員の設置 障害者相談支援事業の委託 （身体：2箇所、知的：2箇所、精神：7箇所） 高松圏域自立支援協議会への委託				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支

【事業の目的】

対象（何を）	生活の支援を必要とする身体障害者、知的障害者、精神障害者及びこれらの家族で、市内に住所を有する方
意図（どのような状態にしたいか）	福祉サービスの手続きやその他の困りごとに関して相談員が相談に乗り、その解決に向けて支援することにより障がい者及びその家族等の不安解消、生活の利便を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
障害者相談支援事業所開所日数	日	0	3,094	3,083	3,100	3,100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	障害者相談件数	件	目標値	0	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	0	901	942		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	障がい者及びその家族等に対し、福祉サービスの手続きやその他の困りごとに関して相談員が相談に乗り、その解決に向けて支援を行ったものの、目標を達成しなかった。	(目標達成度) 94.2%		(得点) 33点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
		(目標達成度)		(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)	
トータルコスト	[千円]	133,849	103,523	103,785	103,967	
	(事業費)	[千円]	124,817	94,259	94,190	94,372
	(職員人件費)	[千円]	9,032	9,264	9,595	9,595

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	障害者相談員の設置 障害者相談支援事業の委託 (身体：2箇所、知的：2箇所、精神：7箇所) 高松圏域自立支援協議会への委託	1,581千円 91,609千円 1,000千円	総額	94,190	
			特定財源	国	162
				県	81
				市債	0
				他	31,148
			一般財源	62,799	
令和 8 年度	障害者相談員の設置 障害者相談支援事業の委託 (身体：2箇所、知的：2箇所、精神：7箇所) 高松圏域自立支援協議会への委託	1,762千円 91,610千円 1,000千円	総額	94,372	
			特定財源	国	365
				県	182
				市債	0
				他	30,121
			一般財源	63,704	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

障がいに係る専門的な相談窓口の需要は多く、今後も必要な事業である。

今後、さらに相談支援を充実させる必要があるため、当面の間は、事業者等と協議しながら、より効果の高い相談体制の構築に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者福祉の充実		電話番号	087-839-2333
	取組方針	自立の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	障害者権利擁護事業			

【事業全体概要】

事業概要	判断能力が不十分な障がい者等の権利擁護を推進するため、法定後見制度である市長による後見等開始審判請求が妥当であるものについて家庭裁判所に審判請求を行うとともに、必要な費用を負担し、後見人等が行った援助活動等に対する報酬支払いができない者に助成を行う。 また、障がい者の権利擁護のため、障がい者虐待の防止や養護者に対する支援等を行う。				
8年度概要	成年後見人制度利用事業 障害者虐待防止対策事業 障害者差別解消推進事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市成年後見制度における市長が行う審判

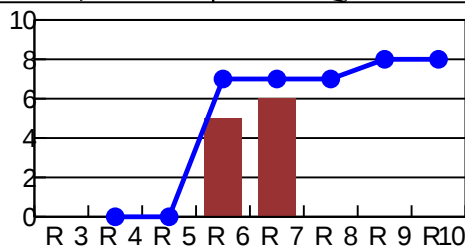
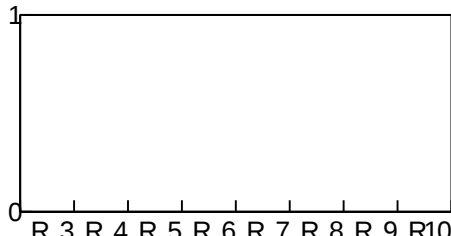
【事業の目的】

対象（何を）	市内在住の障がい者等で判断能力が不十分な方
意図（どのような状態にしたいか）	市内在住の障がい者等で、判断能力が不十分な人について、障害者虐待防止法に基づく措置や、成年後見人制度の利用促進を図る等により、権利擁護を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
成年後見市長申立件数	件	0	7	6	7	7

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	成年後見人申立決定人数	人	目標値 実績値	0 0	7 5	7 6	7	7
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	成年後見制度の認知拡大に伴い問合せは増加しているが、決定人数は目標を達成しなかった。			(目標達成度) 85.7%				
				(得点) 30点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	18,649	18,916	23,063	21,781
(事業費)	[千円]	5,853	5,792	9,470	8,188
(職員人件費)	[千円]	12,796	13,124	13,593	13,593

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	成年後見人制度利用事業 障害者虐待防止対策事業 障害者差別解消推進事業	9 , 1 8 5 千円 2 0 8 千円 7 7 千円	総額	9,470	
			特定財源	国	1,811
				県	905
				市債	0
				他	6
			一般財源	6,748	
令和 8 年度	成年後見人制度利用事業 障害者虐待防止対策事業 障害者差別解消推進事業	7 , 8 7 1 千円 1 9 0 千円 1 2 7 千円	総額	8,188	
			特定財源	国	3,948
				県	1,973
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,267	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

成年後見制度の利用、障がい者の虐待案件に対する支援等を行ったことにより、障がい者の権利擁護の促進に寄与した。

引き続き、法令・要綱に基づき適正に事務を行うとともに、虐待防止・差別解消・成年後見制度の利用促進に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

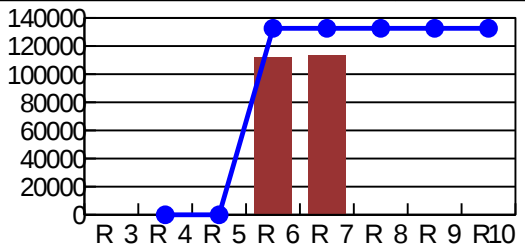
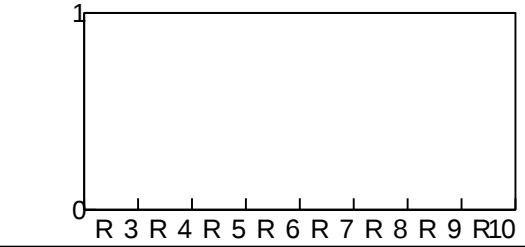
総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者福祉の充実		電話番号	087-839-2333
	取組方針	自立の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	障害者手帳交付事業			

【事業全体概要】						
事業概要	障害福祉サービス等を提供することにより、自立支援を図るため、障がいのある方からの手帳交付申請に基づき、適正な障害認定を行い、障害者手帳の交付を行う。 身体的、地理的条件等により通院することができない在宅の重度の身体障がい者を有する市民に対し、身体障害者手帳交付申請時に必要な審査を行うため、医師の派遣を行う。					
	手帳交付等事務費 障害者診断書作成料助成事業 在宅重度障害者訪問診査事務費等					
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	身体障害者福祉法、精神保健及び精神障害者		

【事業の目的】	
対象（何を）	住民票が高松市内にあり、身体や精神に障がいがある方
意図（どのような状態にしたいか）	身体や精神に障がいのある市民に対し、障害者手帳を発行することにより、内容に応じた福祉サービスを受けてもらうことで、障がい者福祉の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
身体障害者手帳交付件数	件	0	2,001	1,894	2,200	2,200

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	サービス提供による決算額	千円	目標値	0	132,603	132,603	132,603	132,603
			実績値	0	111,700	113,247		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	制度の改善、市民への周知、事務の円滑な執行等により障がい者福祉の向上を図ったが、目標を達成しなかった。		（目標達成度） 85.4% （得点） 30点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度） （得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	221,257	165,372	149,369	141,154
(事業費)	[千円]	203,192	139,124	122,183	113,968
(職員人件費)	[千円]	18,065	26,248	27,186	27,186

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	手帳交付等事務費 障害者診断書作成料助成事業 在宅重度障害者訪問診査 事務費等	1 2 , 5 7 2 千円 1 1 , 0 0 2 千円 5 2 千円 9 8 , 5 5 7 千円	総額	122,183	
			特定財源	国	0
				県	1,185
				市債	0
				他	8,940
			一般財源	112,058	
令和 8 年度	手帳交付等事務費 障害者診断書作成料助成事業 在宅重度障害者訪問診査 事務費等	4 , 9 9 6 千円 1 2 , 0 4 7 千円 6 8 千円 9 6 , 8 5 7 千円	総額	113,968	
			特定財源	国	0
				県	1,567
				市債	0
				他	0
			一般財源	112,401	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

身体障害者福祉法等に基づいて適正に事務を行った結果、概ね目標どおりであった。

引き続き、身体障害者福祉法等に基づいて市が実施する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者福祉の充実		電話番号	087-839-2333
	取組方針	自立の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	障害者医療費助成事業			

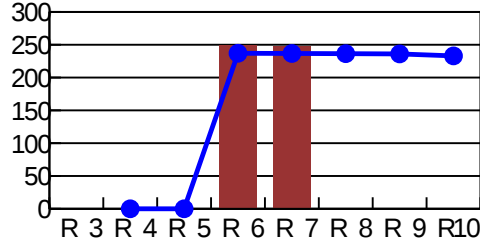
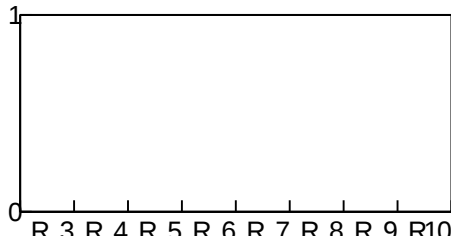
【事業全体概要】					
事業概要	障がい者の医療費に係る経済的な負担を軽減し、障がい者の保健の向上や福祉の増進を図るため、障がい者の医療費（保険診療の自己負担額（高額療養費及び入院時食事（生活）療養費に係る標準負担額は除く。））の全部又は一部を助成する。				
	障害者医療費助成事業				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	高松市医療費助成条例	

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市に住所があり、身体障害者手帳（１～４級）・療育手帳・戦傷病者手帳（特別～第７項症）のいずれかの手帳を所持し、健康保険証に記載され、生活保護を受けていない方（年齢制限・所得制限あり）
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者の医療費に係る経済的な負担の軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
助成件数	件	0	208,131	205,178	273,433	273,433

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	受診率	%	目標値	0	237	236.7	236.4	236.4
			実績値	0	248.97	247.3		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	おおむね目標を達成した。			(目標達成度) 104.5%				
			(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	1,515,467	1,487,843	1,477,221	1,431,680
(事業費)	[千円]	1,485,359	1,456,963	1,445,237	1,399,696
(職員人件費)	[千円]	30,108	30,880	31,984	31,984

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	障害者医療費助成事業		総額	1,445,237	
			特定財源	国	0
				県	493,528
				市債	0
				他	13,050
			一般財源	938,659	
令和 8 年度	障害者医療費助成事業		総額	1,399,696	
			特定財源	国	0
				県	476,949
				市債	0
				他	13,611
			一般財源	909,136	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%- 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%- 79%)					
	C (0%- 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
おおむね目標値どおりとなった。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
障がい者の医療費は、より高額になる傾向にあるため、障がい者の負担軽減を目的に、事業を継続する。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策		障がい者福祉の充実		電話番号	087-839-2333
	取組方針		自立の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		障害児放課後支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	障がい児の健全な育成を図るため、特別支援学校に通う児童のうち、放課後帰宅しても就労等により保護者の監護を受けられない児童に対して、放課後児童会を開設し、監護及び遊びの場を提供する。				
8年度概要	放課後児童会の開設（2箇所）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	放課後子どもプラン推進事業

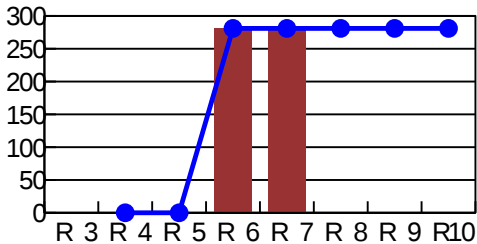
【事業の目的】

対象（何を）	特別支援学校に通う児童
意図（どのような状態にしたいか）	帰宅しても保護者の就労等のため、その監護を受けられない障がい児に対して、適切な遊び及び生活の場を提供する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
放課後児童会開設場所	数	0	2	2	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	放課後支援事業利用日数		日	目標値	0	281	281	281	281
				実績値	0	281	281		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	利用日数目標 2 8 1 日に対し、2 8 1 日であり目標を達成できた。		(目標達成度) 100.0%						
(得点) 35点									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
			(目標達成度)						
(得点)									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	16,724	17,791	19,089	20,119
(事業費)	[千円]	15,971	17,019	18,289	19,319
(職員人件費)	[千円]	753	772	800	800

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	放課後児童会の開設（ 2 箇所）	1 8 , 2 8 9 千円	総額	18,289	
			特定財源	国	4,810
				県	4,810
				市債	0
				他	900
			一般財源	7,769	
令和 8 年度	放課後児童会の開設（ 2 箇所）	1 9 , 3 1 9 千円	総額	19,319	
			特定財源	国	6,139
				県	6,139
				市債	0
				他	900
			一般財源	6,141	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

身体障がい児及び知的障がい児に対する放課後児童クラブを運営し、保護者と児童の日常生活の向上に大きく貢献した。

近年、民間の支援サービスも充実してきており、選択肢の一つとして利用者の利便性に合致した柔軟な対応に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者福祉の充実		電話番号	087-839-2333
	取組方針	自立の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	発達障害者サポート事業			

【事業全体概要】

事業概要	発達障がい者については、これまで、乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した支援体制の整備を図ってきたが、人材育成の観点から、発達障害者サポーター養成講座、ペアレントトレーニング等を加え、事業拡充を図っている。 【事業】・発達障害支援コーディネーターの配置による各種相談・サポート委員会の運営・個別支援計画の作成・発達障がいの理解のための啓発活動及び研修等の実施・発達障害者サポーター養成講座の実施・ペアレントトレーニング、ペアレントメンターの実施				
8年度概要	社会福祉法人に委託して実施 5,452千円×1か所/年 【事業実施内容】 ・発達障害支援コーディネーターの配置による各種相談 ・サポート委員会の運営				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	発達障害者支援法、障害者総合支援法

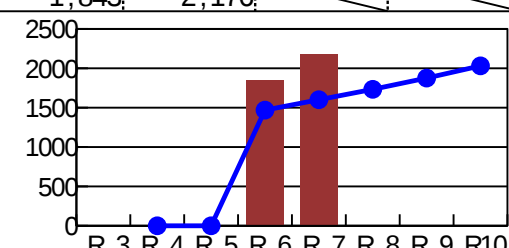
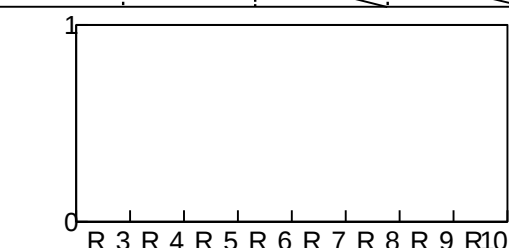
【事業の目的】

対象（何を）	発達障がい児者
意図（どのような状態にしたいか）	乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した支援体制の整備をさらに図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
各種相談受付件数	件	0	22	16	650	650
研修等開催回数	回	0	5	5	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	障害児通所サービス受給者数	人	目標値	0	1,469	1,601	1,733	1,733
			実績値	0	1,843	2,176		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	発達障がい児の早期発見、早期支援に伴い、障害児通所サービス受給者数が見込みを大きく上回り、目標を達成できた。		（目標達成度） 135.9%					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度）					
			（得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	9,613	9,312	9,450	9,450
(事業費)	[千円]	8,108	5,452	5,452	5,452
(職員人件費)	[千円]	1,505	3,860	3,998	3,998

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	社会福祉法人に委託して実施 5 , 4 5 2 千円 × 1 か所 / 年 【事業実施内容】 ・発達障害支援コーディネーターの配置による各種相談 ・サポート委員会の運営 ・個別支援計画表の作成 ・発達障がい理解のための啓発活動及び研修の実施 ・発達障害者サポーター養成講座の実施 ・ペアレントトレーニング、ペアレントメンターの実施	委託料 5 , 4 5 2 千円	総額	5,452	
			特定財源	国	1,681
				県	840
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,931	
令和 8 年度	社会福祉法人に委託して実施 5 , 4 5 2 千円 × 1 か所 / 年 【事業実施内容】 ・発達障害支援コーディネーターの配置による各種相談 ・サポート委員会の運営 ・個別支援計画表の作成 ・発達障がい理解のための啓発活動及び研修の実施 ・発達障害者サポーター養成講座の実施 ・ペアレントトレーニング、ペアレントメンターの実施	委託料 5 , 4 5 2 千円	総額	5,452	
			特定財源	国	1,930
				県	964
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,558	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

研修会については、会場受講だけでなくオンライン受講やその他の方法により受講できるようにしていることにより、受講できる方の数を確保することができた。

障害児通所サービス受給者数についても、増加している状況であり、当事者への支援と周囲への理解を広げる活動を継続していきたい。

発達障がい児者の早期発見、早期支援のため、今後も事業を継続する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策		障がい者福祉の充実		電話番号	087-839-2333
	取組方針		社会活動への参加促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		障がい者アートリンク事業			

【事業全体概要】

事業概要	芸術活動を通じて障がい者の感性・創造力を育み、障がい者の社会参加の促進を図るため、希望する障害福祉サービス事業所等へアーティストを派遣し、創造性の芽を持つ障がい者とアーティストが、長期継続的に関わることで生まれる新しい概念をかたちにする創作活動を支援する。				
8年度概要	派遣先事業所 18か所 報告展：年1回開催 報告書作成：年1回				
重点取組事業		市長マニフェスト	7-	関連根拠法令	障害者による文化芸術活動の推進に関する法

【事業の目的】

対象（何を）	障がい者（児）
意図（どのような状態にしたいか）	芸術活動を通じて障がい者の感性・想像力を育み、障がい者の社会参加の促進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	アートリンク実施事業所数	事業所	0	16	17	17	17

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
成果指標	アートリンクに参加した障がい者(児)延べ人数	人	目標値	0	3,400	3,500	3,600	3,600
			実績値	0	4,268	4,630		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	参加延べ人数は、前年度より増加し、目標を達成できた。			(目標達成度)	132.3%			
				(得点)	35点			
成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
成果指標			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	17,527	17,720	17,996	18,196
(事業費)	[千円]	10,000	10,000	10,000	10,200
(職員人件費)	[千円]	7,527	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	派遣先事業所 17 か所 報告展：年 1 回開催 報告書作成：年 1 回	10,000千円	総額	10,000	
			特定財源	国	2,600
				県	1,299
				市債	0
				他	0
			一般財源	6,101	
令和 8 年度	派遣先事業所 18 か所 報告展：年 1 回開催 報告書作成：年 1 回	10,200千円	総額	10,200	
			特定財源	国	5,100
				県	2,550
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,550	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

実施事業所数及び参加延べ人数は、共に目標値を達成できた。

情報発信の強化、アーティストの派遣先である事業所の増加や入替え、実施方法の工夫や他事業との協働など、より効果的に事業を実施する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策		障がい者福祉の充実		電話番号	087-839-2333
	取組方針		社会活動への参加促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		手話言語・障がい者コミュニケーション手段の普及促進事業			

【事業全体概要】

事業概要	言語としての手話に対する理解の増進と、障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段の普及及び利用の促進のため、必要な施策を策定し、及び実施する。				
8年度概要	手話研修講師等謝金・UDトークアプリ及びタブレット通信費 手話通訳者育成研修・小、中、高等学校での出前講座（手話等、視覚） 障がいのある方のための災害対応のてびき及び障がいのある方をサポートする時の災害対応のてびき作成 手話リンク				
重点取組事業		市長マニフェスト	5-	関連根拠法令	高松市手話言語及び障害のある人のコミュニ

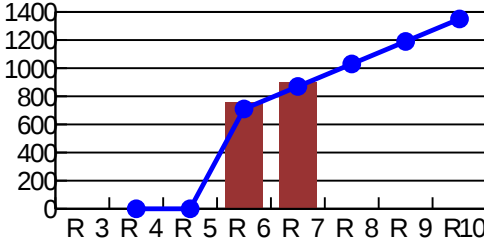
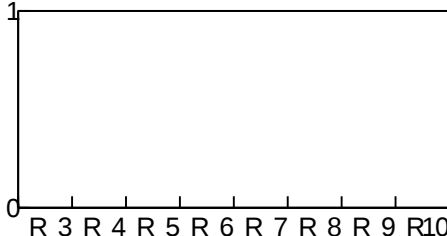
【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	言語としての手話に対する理解の増進並びに障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段の普及及び利用の促進により、障がいのある人もない人も分け隔てられることなく、お互いに人格と個性を尊重し合いながら、笑顔で暮らすことのできる、障壁のない地域共生社会の実現に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
手話通訳者等育成研修（職員向を含む）開催回数	回	0	12	12	12	12

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	手話通訳者育成に向けた研修参加者数（累計）		人	目標値	0	710	870	1,030	1,030	
				実績値	0	756	902			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	予定通り実施し、目標を達成することができた。		(目標達成度)	103.7%						
(得点)			35点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	8,073	7,228	6,938	7,594
(事業費)	[千円]	4,309	3,368	2,940	3,596
(職員人件費)	[千円]	3,764	3,860	3,998	3,998

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和7年度	手話研修講師等謝金 UDトークアプリ及びタブレット通信費 手話通訳者育成研修 小、中、高等学校での出前講座(手話等、視覚) 障がいのある方をサポートする時の災害対応のてびき作成 ヘルプカード作成	19千円 2,163千円 115千円 400千円 215千円 28千円	総額	2,940	
			特定財源	国	57
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,883	
令和8年度	手話研修講師等謝金・UDトークアプリ及びタブレット通信費 手話通訳者育成研修・小、中、高等学校での出前講座(手話等、視覚) 障がいのある方のための災害対応のてびき及び障がいのある方をサポートする時の災害対応のてびき作成 手話リンク	37千円 2,238千円 104千円 940千円 145千円 127千円 5千円	総額	3,596	
			特定財源	国	52
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,544	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 災害時に障がいがある方を地域で支援するために、障がいのある方のための災害対応のてびきを作成したほか、援助や配慮を必要としていることを周囲へ知らせるためのヘルプカードを追加作成し、希望者に配付した。 視覚障がいに関する出前講座及び手話学習の出前講座等は、予定どおり実施することができた。
--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

市民や事業所を含め市全体に条例の趣旨の理解が深まるよう努めることが、市の責務として求められることから、特に周知啓発に軸足を置いた事業を展開する。

また、言語としての手話に対する理解の増進と、障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段の普及及び利用の促進のために、障壁のない地域共生社会の実現に寄与する施策を引き続き実施する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

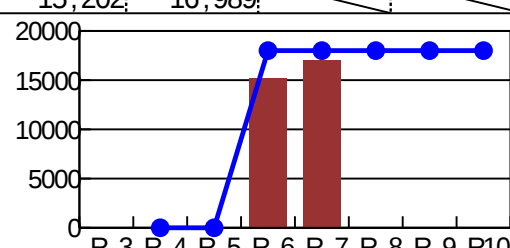
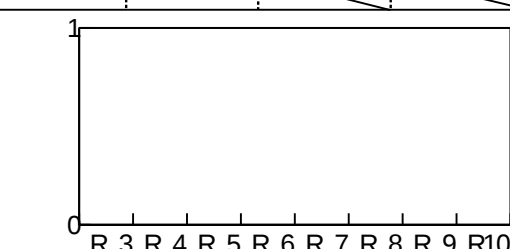
総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者福祉の充実		電話番号	087-839-2333
	取組方針	社会活動への参加促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	障害者地域活動支援事業			

【事業全体概要】					
事業概要	障がい者の地域活動を促進するため、雇用されることが困難な障がい者への創作的活動及び生産活動の機会の提供や、意思疎通支援者の派遣などの事業を実施する。 ・地域活動支援センター事業 ・意思疎通支援事業（意思疎通支援者派遣及び養成事業等）				
	8年度概要 地域活動支援センター コミュニケーション支援				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支	

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市在住の障がい者
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者の自立した日常生活又は社会生活を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
地域活動支援センター 型事業所の開所日数	日	0	926	926	930	930

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	地域活動支援センター 型事業所の利用者数	人	目標値	0	18,000	18,000	18,000	18,000
			実績値	0	15,202	16,989		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	障がい者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供や社会との交流促進に取り組んだものの、目標を達成しなかった。	（目標達成度） 94.4%						
		（得点） 33点						
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		（目標達成度）						
		（得点）						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	114,594	109,078	108,153	118,099
(事業費)	[千円]	107,067	101,358	100,157	110,103
(職員人件費)	[千円]	7,527	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	地域活動支援センター コミュニケーション支援	8 5 , 8 7 0 千円 1 4 , 2 8 7 千円	総額	100,157	
			特定財源	国	15,891
				県	7,661
				市債	0
				他	9,502
			一般財源	67,103	
令和 8 年度	地域活動支援センター コミュニケーション支援	8 6 , 8 8 1 千円 2 3 , 2 2 2 千円	総額	110,103	
			特定財源	国	29,011
				県	13,448
				市債	0
				他	8,235
			一般財源	59,409	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

精神障がい者の自己表現の場として大きく貢献している。

あらゆる分野と機会を積極的に活用し、障がい者の社会参加に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

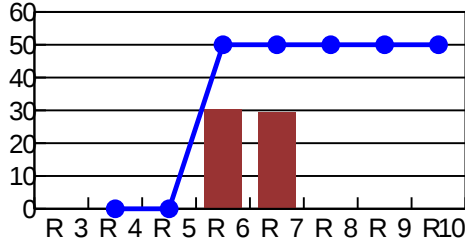
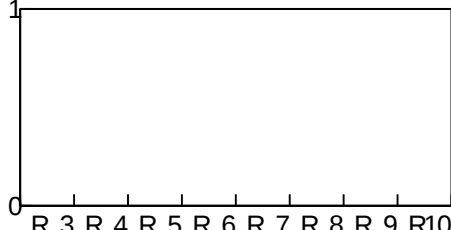
総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者福祉の充実		電話番号	087-839-2333
	取組方針	社会活動への参加促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	障害者福祉タクシー事業			

【事業全体概要】					
事業概要	障がい者の社会活動の範囲を広げ、社会参加を促進するため、タクシー料金の一部助成を行う。				
8年度概要	障害者福祉タクシー助成券の交付				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市障害者福祉タクシー助成事業実施要綱

【事業の目的】	
対象（何を）	身体障害者・療育・精神障害者保健福祉手帳の重度・最重度等級所持者、身体障害者手帳を所持する、補装具等による車いす・電動車いす利用者（18歳以上の場合は、本人と配偶者が市民税非課税であること）
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者の社会活動の範囲を広げ、もって障がい者の福祉の増進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
タクシー助成券交付者数	人	0	2,895	2,825	4,000	4,000

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	タクシー助成券使用率	%	目標値 実績値	0 0	50 30.3	50 29.3	50	50
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	身体障がい者等の助成対象者に対し、本市ホームページや広報高松などを活用して、本事業について、広く周知したものの、目標を達成しなかった。	（目標達成度） 58.6%						
		（得点） 21点						
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		（目標達成度）						
		（得点）						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策		障がい者福祉の充実		電話番号	087-839-2333
	取組方針		社会活動への参加促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		障害者社会活動支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	障がい者（児）の社会参加を促進し、交流や親睦を深めることで福祉の向上を図るため、障がい者（児）団体等に対し支援を行い、スポーツ大会の開催などの事業を実施する。				
8年度概要	障がい者団体への支援 障がい児団体への支援 障がい者の社会参加への促進（身体障害者スポーツ大会の開催） 障がい者の社会参加への促進（手話奉仕員養成事業） 障がい者の社会参加への促進（自動車改造費等の助成）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市補助金等交付規則

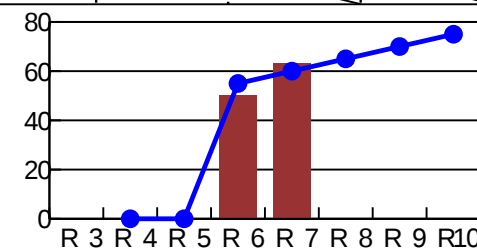
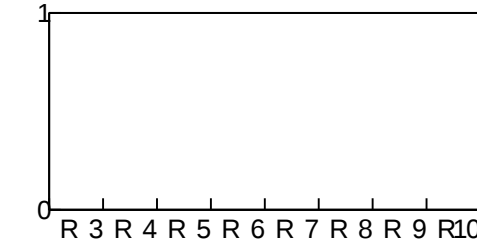
【事業の目的】

対象（何を）	高松市在住の障がい者
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者（児）の社会参加を促し、交流や親睦を深める事で福祉の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	補助金交付件数	件	0	7	7	9	9

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	障害者社会参加促進事業における参加者数		人	目標値	0	55	60	65	65	
				実績値	0	50	63			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	障がい者が、機能の回復と、体力の維持等のための競技を行う身体障害者スポーツ大会（ボール送り競技、魚釣り競技、ビンバッグ投げ競技、玉入れ競技等）を実施したところ、63人の参加があり、目標を上回った。		(目標達成度) 105.0%							
(得点) 35点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	12,212	14,103	14,263	15,088
(事業費)	[千円]	2,427	4,067	3,868	4,693
(職員人件費)	[千円]	9,785	10,036	10,395	10,395

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	障がい者団体への支援 障がい児団体への支援 障がい者の社会参加への促進（身体障害者スポーツ大会の開催） 障がい者の社会参加への促進（手話奉仕員養成事業） 障がい者の社会参加への促進（自動車改造費等の助成）	2 , 0 2 3 千円 2 0 千円 3 0 0 千円 8 2 5 千円 7 0 0 千円	総額	3,868	
			特定財源	国	311
				県	155
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,402	
令和 8 年度	障がい者団体への支援 障がい児団体への支援 障がい者の社会参加への促進（身体障害者スポーツ大会の開催） 障がい者の社会参加への促進（手話奉仕員養成事業） 障がい者の社会参加への促進（自動車改造費等の助成）	2 , 2 5 3 千円 2 0 千円 3 2 5 千円 8 9 5 千円 1 , 2 0 0 千円	総額	4,693	
			特定財源	国	610
				県	305
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,778	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

障がい者の社会活動への参加につながるため、継続実施する。

各団体と協議の上、今後の事業方針を含め、障がいに対する理解を深める機会を増やし、共生社会の形成に向けた環境整備を推進する取組について検討を行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策		障がい者福祉の充実		電話番号	087-839-2333
	取組方針		社会活動への参加促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		福祉のまちづくり推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	障がい者の社会活動への参加を促進するため、香川県福祉のまちづくり条例に基づき、市民の誰もが安全かつ円滑に利用できるよう、公共的建築物等の福祉的環境整備を行う。				
8年度概要	特定施設新築等届出書の受付審査				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	香川県福祉のまちづくり条例

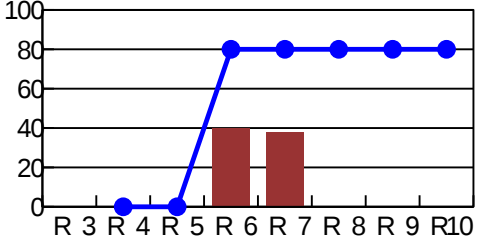
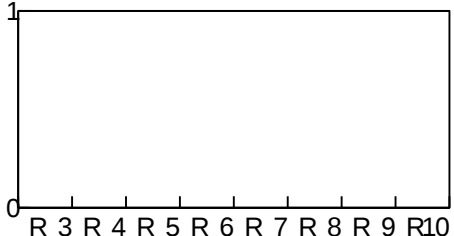
【事業の目的】

対象（何を）	市内に特定施設を整備する方
意図（どのような状態にしたいか）	公共的建築物等の福祉環境の整備を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
特定施設新築等届出書等の審査件数	件	0	47	33	65	65

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	特定施設整備主に対する指導及び助言数	件	目標値	0	80	80	80	80
			実績値	0	40	38		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	届出があった施設の特定施設整備主に対し、香川県福祉のまちづくり条例の整備基準に基づく必要な指導及び助言を行ったものの、目標を達成しなかった。				(目標達成度) 47.5%			
				(得点) 17点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
					(目標達成度)			
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	761	792	820	819
	(事業費)	8	20	20	19
	(職員人件費)	753	772	800	800

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	特定施設新築等届出書の受付審査	2 0 千円	総額	20	
			特定財源	国	0
				県	20
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	
令和 8 年度	特定施設新築等届出書の受付審査	1 9 千円	総額	19	
			特定財源	国	0
				県	19
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	60 / 100 (60 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
障がい者の住みやすいまちづくりに大きく貢献している。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
制度の更なる周知を行うなど、条例の趣旨について継続して啓発に努める。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策		高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針		介護予防の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		高齢者居場所づくり事業			

【事業全体概要】

事業概要	高齢者が生きがいを持って地域で元気に暮らせるよう、高齢者が気軽に集い、介護予防や健康づくりを行う環境を整備するとともに、子どもたちを交えた世代間交流ができる居場所づくりを支援する。					
8年度概要	高齢者の居場所に対する運営支援					
重点取組事業		市長マニフェスト	5-	関連根拠法令	介護保険法、老人福祉法、社会福祉法	

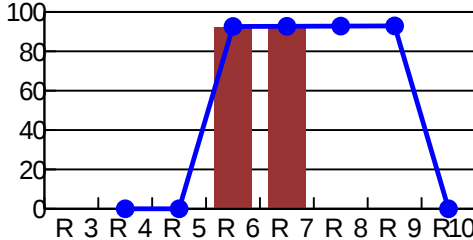
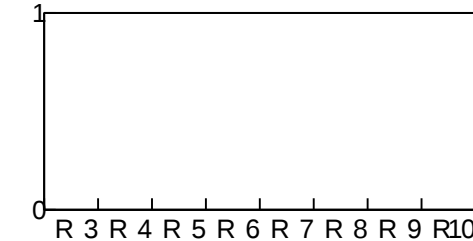
【事業の目的】

対象（何を）	おおむね 65 歳以上の高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者が心身機能の衰えに伴い閉じこもりがちとなり、社会との接点をなくして孤立することなどを防ぐため、高齢者等が気軽に集える居場所の開設・運営を行う個人や団体を支援することにより、高齢者の介護予防と健康増進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	高齢者居場所数	箇所	0	185	184	230	230

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	主観的健康感の維持向上率	%	目標値 実績値	0 0	92.6 92.3	92.7 92.1	92.8	92.8	
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	高齢者の居場所で日々実施している介護予防のための運動や医師・歯科医師、医療系大学等の学生、民間事業者などが居場所に出向いて健康教育を実施したことにより、前年度比較では0.2パーセントの減少となっているものの、高い水準を維持しており、ほぼ目標を達成することができた。	(目標達成度)		99.4%					
		(得点)		35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値 実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
		(目標達成度)							
		(得点)							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	20,166	24,157	24,650	25,399
(事業費)	[千円]	9,628	9,489	9,458	10,207
(職員人件費)	[千円]	10,538	14,668	15,192	15,192

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	高齢者の居場所に対する運営支援	運営助成金 7 , 6 2 5 千円 子どもとのふれあい活動加算 6 7 千円 その他 1 , 7 6 6 千円	総額	9,458	
			特定財源	国	2,496
				県	1,140
				市債	0
				他	4,728
			一般財源	1,094	
令和 8 年度	高齢者の居場所に対する運営支援	運営助成金 8 , 1 5 0 千円 子どもとのふれあい活動加算 9 3 千円 その他 1 , 9 6 4 千円	総額	10,207	
			特定財源	国	2,529
				県	1,275
				市債	0
				他	5,102
			一般財源	1,301	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
参加者の高齢化等に伴い、居場所の開設数が減少傾向にあるため、これまで居場所に参加したことがない高齢者へのアプローチと活動の継続支援が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

より多くの高齢者に居場所活動に参加してもらえるよう、介護予防教室の案内の際にチラシを同封するとともに、ホームページや広報高松などを活用し、高齢者居場所づくり事業について積極的に周知する。

また、高松市内３医師会連合会、高松市歯科医師会、医療系大学及び民間事業者との連携事業により、活動内容の充実を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	介護予防の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	65歳からのプラチナ世代元気応援事業			

【事業全体概要】

事業概要	高齢者のフレイル予防に向け、地域の身近な場所で貯筋運動教室を開催する団体を対象に、開催経費の一部を支援する。				
8年度概要	貯筋運動を普及するための教室の開設及び運営を行う団体等への支援				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	介護保険法

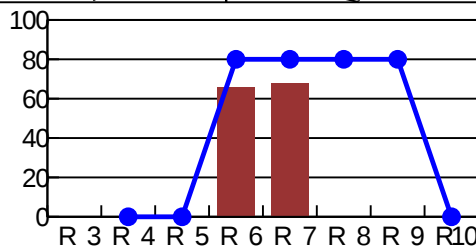
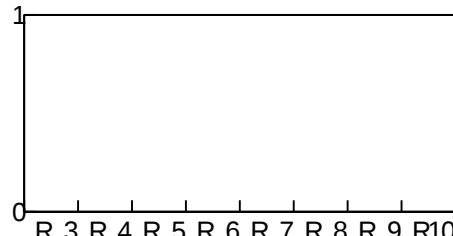
【事業の目的】

対象（何を）	65歳以上の高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者が自主的に介護予防に取り組むことができるようになる。また、自宅にいても孤立することなく、介護予防に取り組むことができる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R5	R6	R7	R8	中期目標 R8
貯筋運動教室新規開設数	箇所	0	3	2	10	10

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	教室参加前後で、下肢筋力が改善した者の割合	%	目標値 実績値	0 0	80 65.6	80 68	80	80
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	目標は達成できなかったものの、貯筋運動教室で立ち座りや歩くといった日常の基本動作に必要な下半身の筋肉の運動を継続的に行った結果、参加者の6割以上で下肢筋力が改善した。			(目標達成度) 85.0%				
				(得点) 30点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
				(得点)				

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策		高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針		介護予防の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		介護予防推進等事業			

【事業全体概要】

事業概要	健康寿命の延伸を図るため、介護予防教室・講座を開催する。また、地域で健康づくりや介護予防の自主的な活動の定着を図るため、介護予防ボランティア「元気を広げる人」などを養成し、介護予防の取組を広げる。				
8年度概要	介護予防教室・講座の開催、「元気を広げる人」養成講座の開催等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	介護保険法

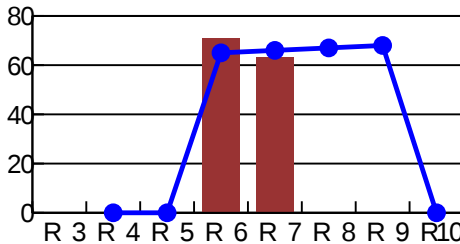
【事業の目的】

対象（何を）	一般介護予防事業対象者
意図（どのような状態にしたいか）	身近な場所で介護予防教室・講座を開催することにより、高齢者が自主的に介護予防に取り組めるようになる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
元気アップ教室参加者数	人	0	350	332	420	420

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	教室参加者のうち週に1回以上運動をしている者の割合	%	目標値	0	65	66	67	67
			実績値	0	71.1	63.3		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	元気アップ教室に参加することにより、参加前と比較して継続的に運動している者は増加したものの、目標は達成できなかった。	(目標達成度)	95.9%					
(得点)		34点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
		(目標達成度)						
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	36,722	34,392	36,299	39,366
(事業費)	[千円]	17,904	34,392	36,299	39,366
(職員人件費)	[千円]	18,818	0	0	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	介護予防教室・講座の開催、「元気を広げる人」養成講座の開催等	介護予防把握事業費 6,598千円 介護予防普及啓発事業費 24,574千円 地域介護予防活動支援事業費 302千円 地域リハビリテーション活動 支援事業費 0千円 一般介護予防事業評価事業費 4,825千円	総額	36,299	
			特定財源	国	9,137
				県	4,519
				市債	0
				他	18,118
			一般財源	4,525	
			令和 8 年度	介護予防教室・講座の開催、「元気を広げる人」養成講座の開催等	介護予防把握事業費 7,000千円 地域介護予防活動支援事業費 439千円 介護予防普及啓発事業費 27,115千円 地域リハビリテーション活動 支援事業費 173千円 一般介護予防事業評価事業費 4,639千円
特定財源	国	9,755			
	県	4,918			
	市債	0			
	他	19,770			
一般財源	4,923				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 参加前と比較して継続的に運動しているものが増加し、介護予防の取組に一定の効果があるものの、成果指標の目標が達成できなかったことから、引き続き、参加者の増加に向け、高齢者の健康寿命の延伸に取り組む必要がある。
--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

介護予防教室・講座を開催し、介護予防の推進に取り組む。また、介護予防ボランティア「元気を広げる人」の養成・支援を継続して実施する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

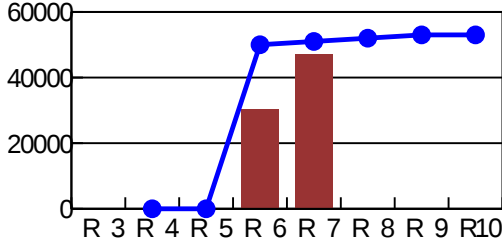
総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	介護予防の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	瓦町健康ステーション事業			

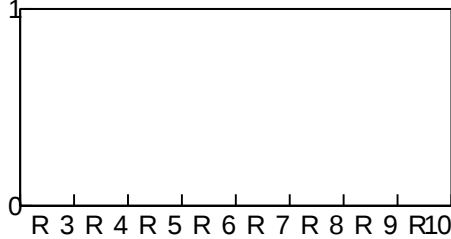
【事業全体概要】					
事業概要	高松市瓦町健康ステーションにおいて、市民の「健康づくり」や「生きがいづくり」の事業を推進し、福祉の増進を図る。				
8年度概要	瓦町FLAG8階IKODE瓦町に設置している高松市瓦町健康ステーションの運営を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市に居住する人
意図（どのような状態にしたいか）	市民の健康づくりの場として、誰もが利用しやすい環境を整える。

【事業の活動】							
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	瓦町健康ステーションの開館日数	日	0	358	359	358	358

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	瓦町健康ステーションの年間来場者数		人	目標値	0	50,000	51,000	52,000	52,000	
				実績値	0	30,199	47,140			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	昨年度に比べ、来場者数は大幅に増加したものの、目標を達成できなかった。		(目標達成度) 92.4%							
(得点) 32点										

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	31,205	36,822	38,689	39,992
(事業費)	[千円]	28,194	33,734	35,491	36,794
(職員人件費)	[千円]	3,011	3,088	3,198	3,198

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	瓦町FLAG8階IKODE瓦町に設置している高松市瓦町健康ステーションの運営を行う。	人件費 28,071千円 報償費 533千円 委託料 2,580千円 使用料 713千円 その他 3,594千円	総額	35,491	
			特定財源	国	6,600
				県	3,267
				市債	0
				他	13,761
			一般財源	11,863	
令和 8 年度	瓦町FLAG8階IKODE瓦町に設置している高松市瓦町健康ステーションの運営を行う。	人件費 28,326千円 報償費 548千円 委託料 2,636千円 使用料 790千円 その他 4,494千円	総額	36,794	
			特定財源	国	6,646
				県	3,351
				市債	0
				他	14,301
			一般財源	12,496	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

フィットネスルームの効率的な運営や健康相談などの周知を行ったことにより、利用者数は昨年度に比べ増加したが、更なる利用者数の確保に向けて、引き続き、各種講座等健康ステーション事業の実施や、会議室等の利用について周知する必要がある。

今後も、公共交通機関の結節点の機能を生かしながら、健康づくりのための講座などを充実するとともに、会議室やフィットネスルームの利用、各種講座について周知啓発を行うことで、利用者の増加や介護予防を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策		高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針		生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		在宅医療・介護連携推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	医療と介護の両方を必要とする高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進するため、在宅医療従事者等で構成する在宅医療介護連携推進会議を開催し、在宅医療と介護サービスを一体的に提供できるよう、情報の共有と連携の強化に向けた地域の実情に応じたネットワークづくりを推進する。				
8年度概要	(1) 地域における在宅医療・介護連携に関する現状分析・課題抽出・施策立案(計画) (2) 地域の在宅医療及び介護サービス事業者等の関係者の連携強化や地域住民に対する啓発のための対応策の実施 (3) 対応策の評価及び改善の実施				
重点取組事業		市長マニフェスト	5-	関連根拠法令	介護保険法

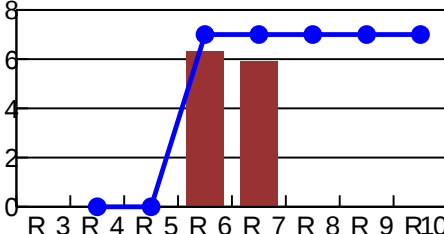
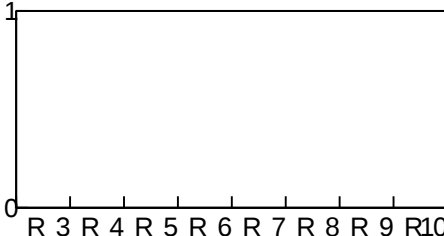
【事業の目的】

対象（何を）	65歳以上の高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	医療と介護が連携することで、安心して在宅で生活できる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
在宅医療介護連携推進会議の開催数	回	0	6	6	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	多職種連携構築度評価平均得点	点	目標値	0	7	7	7	7	
			実績値	0	6.3	5.9			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	情報共有や交流機会の創出のため、多職種の専門職が参加する研修会等において、独居高齢者支援などをテーマに研修や意見交換などを行ったところ、多職種による連携だけでは課題解決が困難なことが確認され、多職種連携の構築度における評価得点に影響したことで、目標を達成できなかった。	(目標達成度)	84.3%						
(得点)		30点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値						
			実績値						
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
		(目標達成度)							
(得点)									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	30,687	33,058	33,776	34,118
(事業費)	[千円]	12,848	14,762	14,825	15,167
(職員人件費)	[千円]	17,839	18,296	18,951	18,951

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	(1) 地域における在宅医療・介護連携に関する現状分析・課題抽出・施策立案 (計画) (2) 地域の在宅医療及び介護サービス事業者等の関係者や地域住民に対する対応策の実施 (3) 対応策の評価及び改善の実施	委託料 7, 3 7 4 千円 在宅医療支援センター運営費 7, 4 5 1 千円	総額	14,825	
			特定財源	国	5,450
				県	2,726
				市債	0
				他	3,782
			一般財源	2,867	
令和 8 年度	(1) 地域における在宅医療・介護連携に関する現状分析・課題抽出・施策立案 (計画) (2) 地域の在宅医療及び介護サービス事業者等の関係者の連携強化や地域住民に対する啓発のための対応策の実施 (3) 対応策の評価及び改善の実施	委託料 7, 3 9 2 千円 在宅医療支援センター運営費 7, 7 7 5 千円	総額	15,167	
			特定財源	国	5,839
				県	2,919
				市債	0
				他	3,490
			一般財源	2,919	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

地域包括ケアシステムの実現に向け、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築のため、在宅医療コーディネーターの効果的な活用や将来的なＩＣＴの活用のための情報収集、身寄りのない高齢者等の支援など、国や県等の動向を踏まえながら検討を行う必要がある。

在宅医療サービスと介護サービスを一体的に提供するための、さらなる連携体制の強化に向け、高松市在宅医療介護連携推進会議において課題を検討しながら、医療・介護関係者間の顔の見える関係づくりの推進に取り組む。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	高齢者見守り事業			

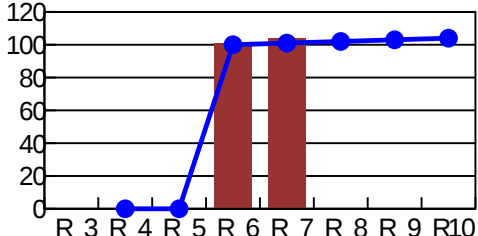
【事業全体概要】					
事業概要	高齢者が地域で安心して暮らし続けられる環境を整備するため、定期的な訪問・配食サービスによる安否確認や、日常生活の不安を相談できる専用ダイヤルの開設などを行う。また、認知症等行方不明高齢者等の早期発見につなげるため、警察や民生委員等で構成する高松市認知症等行方不明高齢者保護ネットワークを活用し、電子メール配信システムの運用により、関係機関や捜索協力員への迅速な情報提供を行う。				
8年度概要	【見守り事業】特別あんしん見守り事業、地域で支えあう見守り協定事業、介護相談専用ダイヤル事業を推進し、地域における見守り体制を強化する。【認知症等行方不明高齢者家族支援事業】GPSを普及し電子メール配信等により行方不明高齢者の早期発見・保護に努める。【あんしん通報サービス事業】24時間365日相談できる窓口を開設する。【配食見守りサービス事業】配食にあわせて、安否確認等を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト	5-	関連根拠法令	老人福祉法 介護保険法

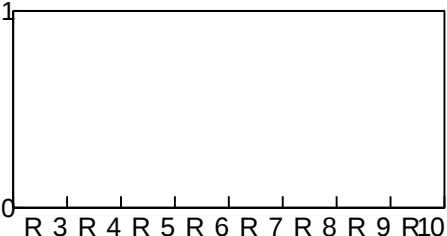
【事業の目的】	
対象（何を）	65歳以上高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者の在宅における日常生活を支援するとともに、事故の未然防止や早期対応を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
見守り協定に基づく通報件数	件	0	72	62	70	70
配食見守り事業利用者数	人	0	1,015	999	1,000	1,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	見守り協定締結事業者数	事業者	目標値	0	100	101	102	102
			実績値	0	101	104		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	見守り協定に関する広報活動等を積極的に行ったことにより、新規の事業者との協定締結につながったことから、目標を達成した。	(目標達成度) 103.0%						
(得点) 35点								

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	61,808	59,285	54,751	56,006
(事業費)	[千円]	51,270	51,565	46,755	48,010
(職員人件費)	[千円]	10,538	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	【見守り事業】特別あんしん見守り事業、地域で支えあう見守り協定事業、介護相談専用ダイヤル事業を推進し、地域における見守り体制を強化する。【認知症等行方不明高齢者家族支援事業】GPSを普及し電子メール配信等により行方不明高齢者の早期発見・保護に努める。【あんしん通報サービス事業】24時間365日相談できる窓口を開設する。【配食見守りサービス事業】配食にあわせて、安否確認等を行う。	見守り事業費 6,240千円 認知症等行方不明高齢者家族支援事業費 771千円 あんしん通報サービス事業費 28,012千円 配食見守りサービス事業費 11,732千円	総額	46,755	
			特定財源	国	15,009
				県	7,502
				市債	0
				他	10,416
			一般財源	13,828	
令和 8 年度	【見守り事業】特別あんしん見守り事業、地域で支えあう見守り協定事業、介護相談専用ダイヤル事業を推進し、地域における見守り体制を強化する。【認知症等行方不明高齢者家族支援事業】GPSを普及し電子メール配信等により行方不明高齢者の早期発見・保護に努める。【あんしん通報サービス事業】24時間365日相談できる窓口を開設する。【配食見守りサービス事業】配食にあわせて、安否確認等を行う。	見守り事業費 7,914千円 認知症等行方不明高齢者家族支援事業費 796千円 あんしん通報サービス事業費 27,791千円 配食見守りサービス事業費 11,509千円	総額	48,010	
			特定財源	国	16,183
				県	8,090
				市債	0
				他	9,677
			一般財源	14,060	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

特別あんしん見守り事業では、老人介護支援センター等の見守り訪問員により、効果的な安否確認や相談等ができています。あんしん通報サービス事業や配食見守り事業については、施設入所等により利用者が減少した。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策		高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針		生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		高齢者住宅等安心確保事業			

【事業全体概要】

事業概要	高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）への生活援助員の派遣や関係機関等との連携及び各種資源を活用することにより、高齢者の安心を確保する。また、毎年1回、高齢者住宅等安心確保連絡協議会を開催し、生活援助員の質の向上に努めている。				
8年度概要	高齢者の安否確認や生活相談等を実施するための計画づくりを行い、高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）への生活援助員の派遣や関係機関等との連携及び各種資源を活用することにより、高齢者の安心を確保する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市高齢者住宅等安心確保事業実施要綱

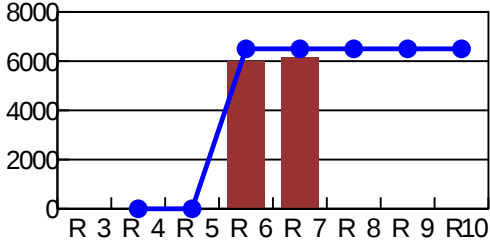
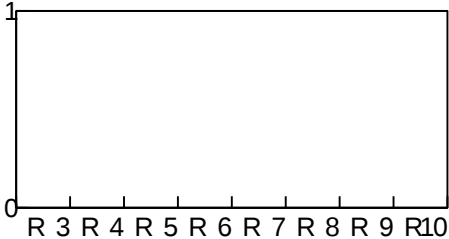
【事業の目的】

対象（何を）	シルバーハウジングの入居者
意図（どのような状態にしたいか）	シルバーハウジングの入居者が、自立して安全かつ快適な生活を営むことができる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
生活援助員勤務日数	日	0	896	921	896	896

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	生活援助員への相談件数	件	目標値	0	6,500	6,500	6,500	6,500
			実績値	0	6,002	6,143		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	生活援助員による入居者への生活相談等を実施することにより、概ね目標を達成できた。	(目標達成度)		94.5%				
(得点)		33点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	20,524	19,237	19,942	20,377
(事業費)	[千円]	8,481	6,885	7,148	7,583
(職員人件費)	[千円]	12,043	12,352	12,794	12,794

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	高齢者の安否確認や生活相談等を実施するための計画づくりを行い、高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）への生活援助員の派遣や関係機関等との連携及び各種資源を活用することにより、高齢者の安心を確保する。	・ 高齢者住宅等安心確保事業委託料 生活援助員常駐（平日の日中）：社会福祉法人 緊急通報装置対応：警備保障会社 ・ 通信費（切手代）	総額	7,148	
			特定財源	国	2,627
				県	1,314
				市債	0
				他	1,824
			一般財源	1,383	
令和 8 年度	高齢者の安否確認や生活相談等を実施するための計画づくりを行い、高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）への生活援助員の派遣や関係機関等との連携及び各種資源を活用することにより、高齢者の安心を確保する。	・ 高齢者住宅等安心確保事業委託料 生活援助員常駐（平日の日中）：社会福祉法人 令和6年度から時間を短縮（8 H → 6 H） 緊急通報装置対応：警備保障会社 ・ 通信費（切手代）	総額	7,583	
			特定財源	国	2,753
				県	1,376
				市債	0
				他	2,078
			一般財源	1,376	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

高齢者世話付住宅へ生活援助員を派遣し、日常生活の相談・指導、安否確認、緊急時の対応等のサービスを入居者に提供することにより、高齢の入居者が自立して安全かつ快適に生活できる場を確保することができた。

地域包括ケアの観点から、高齢者の住宅を確保し、生活を支援する必要があるため、今後とも効果的な事業の実施に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策		高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針		生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		軽費老人ホーム事務費補助事業			

【事業全体概要】

事業概要	社会福祉法人に対し、軽費老人ホームを運営するために必要な職員の給料、修繕費、委託料等の一部を補助する。				
8年度概要	社会福祉法人に対し、軽費老人ホームを運営するために必要な職員の給料、修繕費、委託料等を対象経費の一部を補助する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	軽費老人ホームの利用料等に係る取扱指針に

【事業の目的】

対象（何を）	軽費老人ホームの入所者及び入所希望者
意図（どのような状態にしたいか）	自立した日常生活を営むことについて不安を抱える高齢者が、収入に応じた低額な料金で、施設を利用できるようにすること。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助金を交付した施設数	施設	0	12	12	12	12

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	入所者実数	人	目標値	0	536	536	536	536
			実績値	0	512	490		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	軽費老人ホームを運営している全施設に対して補助金を交付することにより、入所者が収入に応じた低額な料金で施設を利用できたことなどから、目標を概ね達成できた。	(目標達成度)		91.4%				
		(得点)		32点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	211,720	216,094	215,302	230,283
(事業費)	[千円]	199,677	202,970	201,709	216,690
(職員人件費)	[千円]	12,043	13,124	13,593	13,593

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	社会福祉法人に対し、軽費老人ホームを運営するために必要な職員の給料、修繕費、委託料等を対象経費の一部を補助する。	補助額 = サービスに提供に要する費用 - 本人からの徴収	総額	201,709	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	201,709	
令和 8 年度	社会福祉法人に対し、軽費老人ホームを運営するために必要な職員の給料、修繕費、委託料等を対象経費の一部を補助する。	補助額 = サービスに提供に要する費用 - 本人からの徴収	総額	216,690	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	216,690	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

軽費老人ホームの運営に要する経費の一部を補助することで、自立した生活を営むことに不安のある高齢者が、収入に応じた低額な料金で利用できる施設を確保することができた。

運営補助については、他自治体の動向等を勘案しながら適切な水準を維持し、効果的な事業の実施に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策		高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針		生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		老人福祉施設整備支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	老人福祉施設の整備等に対して、高松市老人福祉施設整備費補助金交付要綱等に基づき算出された額を補助する。				
8年度概要	老人福祉施設の整備等に対して、高松市老人福祉施設整備費補助金交付要綱等に基づき算出された額を補助する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市社会福祉法人助成条例 高松市社会福

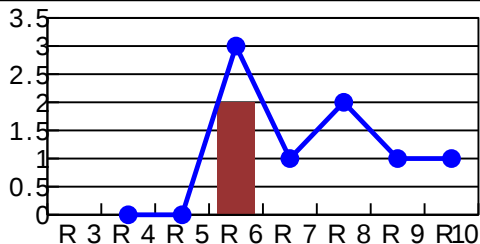
【事業の目的】

対象（何を）	老人福祉施設を設置する社会福祉法人等
意図（どのような状態にしたいか）	老人福祉施設の整備を促進し、入所者の生活環境の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
施設整備の募集・補助金の希望調査を行った回数	回	0	3	3	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	補助金により整備・改修が行われた老人福祉施設数	施設	目標値		0	3	1	2	2	
			実績値	0	2	0				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	各補助事業について希望調査を通じて周知を図ったが、年度内に制度を活用して整備改修を完了した施設はなく、目標を達成することはできなかった。		(目標達成度) 0.0%							
(得点) 0点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値							
			実績値							
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	222,238	13,481	13,673	245,974
(事業費)	[千円]	209,442	357	80	232,381
(職員人件費)	[千円]	12,796	13,124	13,593	13,593

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	老人福祉施設の整備等に対して、高松市老人福祉施設整備費補助金交付要綱等に基づき算出された額を補助する。	高松市老人福祉施設整備費補助金交付要綱等に定める額	総額	80	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	80	
令和 8 年度	老人福祉施設の整備等に対して、高松市老人福祉施設整備費補助金交付要綱等に基づき算出された額を補助する。	高松市老人福祉施設整備費補助金交付要綱等に定める額	総額	232,381	
			特定財源	国	0
				県	232,252
				市債	0
				他	0
			一般財源	129	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	C	総合点 (率)	24 / 100 (24 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

老人福祉施設の整備等に要する費用に対する補助金について、令和 7 年度に交付決定を 1 件行ったが、令和 8 年度に整備完了となる事案であることから、令和 7 年度の交付実績は 0 件だった。

高齢者保健福祉計画に沿った施設整備を進めるため、今後とも効果的な事業の実施に努めるとともに、施設改修等を検討している施設に対し、補助事業に関する情報提供を積極的に行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策		高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針		生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		敬老事業			

【事業全体概要】

事業概要	100歳及び市内男女最高齢の方へ祝品、88歳の方へ祝品と市長直筆のメッセージカードを贈呈する。また、各地域が行う敬老事業を支援する。				
8年度概要	88歳、100歳及び男女最高齢者へ祝品を贈呈する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	老人福祉法

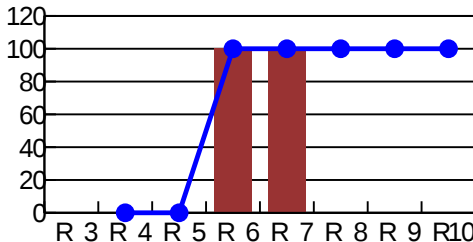
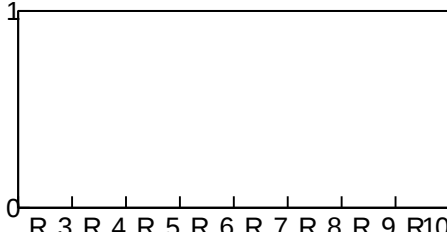
【事業の目的】

対象（何を）	高齢者等
意図（どのような状態にしたいか）	敬老祝品を贈呈することにより、高齢者の長寿と健康を祝うとともに敬意を表す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
敬老祝品贈呈件数	件	0	2,693	2,489	2,800	2,800

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	4 4 地域のうち敬老事業を実施した地域の割合		%	目標値	0	100	100	100	100
	合			実績値	0	100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	全地域で記念品等を配布しており、目標を達成できた。			(目標達成度) 100.0%					
(得点) 35点									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
				(目標達成度)					
(得点)									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	18,045	20,960	18,772	19,916
(事業費)	[千円]	10,518	11,696	9,177	10,321
(職員人件費)	[千円]	7,527	9,264	9,595	9,595

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	88歳、100歳及び男女最高齢者へ祝品を贈呈する。	祝品 敬老会9,091千円 86千円	総額	9,177	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	144
			一般財源	9,033	
令和 8 年度	88歳、100歳及び男女最高齢者へ祝品を贈呈する。	祝品 敬老会10,213千円 108千円	総額	10,321	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	10,321	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

各地域における敬老事業を支援することで、全ての地域が事業を実施できているものの、民生委員などの事業に携わる人の不足に課題がある。

高齢者の増加に伴う事業費の増加や平均寿命の延伸を踏まえ、将来的に敬老事業の在り方を検討する必要がある。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	在宅高齢者家族支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	在宅で高齢者を介護している方に、各種サービス（老人短期入所事業・介護見舞金支給事業）の提供をし、高齢者の住み慣れた在宅での生活を支援する。				
8年度概要	在宅で高齢者を介護している方に、各種サービス（老人短期入所事業・介護見舞金支給事業）の提供をし、高齢者の住み慣れた在宅での生活を支援する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市高齢者短期入所事業実施要綱、高松市

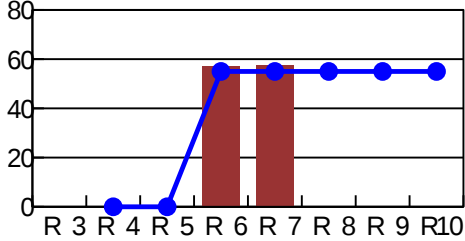
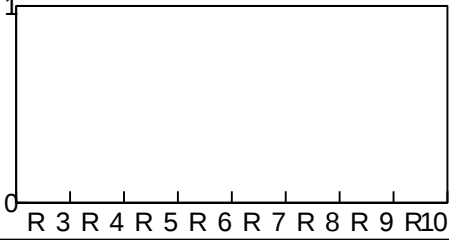
【事業の目的】

対象（何を）	介護保険要介護認定者等
意図（どのような状態にしたいか）	老人短期入所事業などの利用により、家族介護の負担軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
在宅寝たきり高齢者等介護見舞金支給人数	人	0	724	715	760	760

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	在宅認定者率（要介護4、5）	%	目標値 実績値	0 0	55 56.9	55 57.4	55	55
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	介護者に対する日常生活の負担軽減を図り、在宅での生活を支援したため、目標を達成できた。		（目標達成度） 104.4%					
			（得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度）					
			（得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	59,815	59,914	61,459	59,036
(事業費)	[千円]	44,761	42,930	43,868	41,445
(職員人件費)	[千円]	15,054	16,984	17,591	17,591

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	在宅で高齢者を介護している方に、各種サービス（老人短期入所事業、介護見舞金支給事業）の提供をし、高齢者の住み慣れた在宅での生活を支援する。	短期入所 6 , 8 9 0 千円 介護見舞金 3 6 , 9 7 8 千円	総額	43,868	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	43,868	
令和 8 年度	在宅で高齢者を介護している方に、各種サービス（老人短期入所事業、介護見舞金支給事業）の提供をし、高齢者の住み慣れた在宅での生活を支援する。	短期入所 8 , 0 4 0 千円 介護見舞金 3 3 , 4 0 5 千円	総額	41,445	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	41,445	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

社会的な事情を背景とした短期入所の増加により、短期入所の利用日数が超過傾向となっている。

老人短期入所事業については、利用期間内に生活の再建に向け、関係機関と連携しながら支援体制を検討する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価 担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策		高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針		生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		寝たきり高齢者等支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	寝たきり又は認知症等の高齢者に紙おむつを定期的に対象者宅に配布する。				
8年度概要	寝たきり又は認知症等の高齢者に紙おむつを定期的に対象者宅に配布する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業実

【事業の目的】

対象（何を）	寝たきり等の高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	要介護認定を受けている高齢者などを対象に、紙おむつ等の支給を通して、在宅での生活を支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
紙おむつ給付登録者数	人	0	2,212	2,339	1,997	1,997

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	紙おむつ給付延べ件数	件	目標値	0	23,763	24,925	26,047	26,047
			実績値	0	23,232	23,980		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	紙おむつの給付により、在宅高齢者の日常生活を支援したため、概ね目標を達成できた。	(目標達成度)		96.2%				
		(得点)		34点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
		(得点)						

【コストの推移】

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	106,015	111,754	127,502	143,026
	(事業費)	98,488	102,490	117,907	133,431
	(職員人件費)	7,527	9,264	9,595	9,595

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費	
令和 7 年度	寝たきり又は認知症等の高齢者に紙おむつを定期的に対象者宅に配布する。	紙おむつ 1 1 7 , 9 0 7 千円	総額	117,907
			特定財源	国 0
				県 0
				市債 0
				他 117,907
			一般財源	0
令和 8 年度	寝たきり又は認知症等の高齢者に紙おむつを定期的に対象者宅に配布する。	紙おむつ 1 3 3 , 4 3 1 千円	総額	133,431
			特定財源	国 0
				県 0
				市債 0
				他 133,431
			一般財源	0

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
年々紙おむつの給付対象者が増加しており、給付内容の見直しが必要。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
紙おむつの給付対象者の増加により、事業費が年々増加しており、新たな給付内容の見直しを検討する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	軽度生活援助事業			

【事業全体概要】

事業概要	在宅の一人暮らし高齢者等に対し生活を支援する者を派遣し、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止することを目的とする。事業は、公益社団法人高松市シルバー人材センターに委託して実施する。				
8年度概要	シルバー人材センターに委託し65歳以上の一人暮らし高齢者の軽易な日常生活上の援助を行う。市は利用者の利用時間に基づいて、委託料として、委託先の高松市シルバー人材センターに支払う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市軽度生活援助事業実施要綱

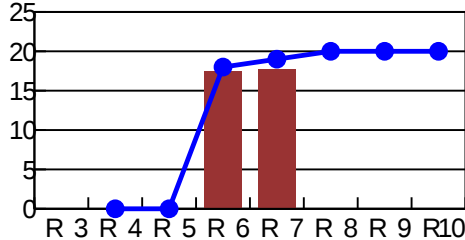
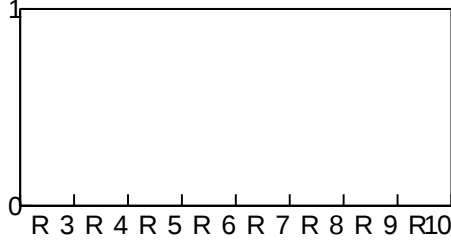
【事業の目的】

対象（何を）	65歳以上の一人暮らしの高齢者等
意図（どのような状態にしたいか）	自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止することを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R5	R6	R7	R8	中期目標 R8
軽度生活援助事業登録者数	件	0	1,525	1,508	1,600	1,600

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	軽度生活援助利用率		%	目標値 実績値	0 0	18 17.5	19 17.7	20	20
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	広報紙等を活用し周知したことにより、目標を概ね達成できた。			(目標達成度) 93.2%					
				(得点) 33点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
				(目標達成度)					
				(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	23,250	22,396	24,050	27,089
(事業費)	[千円]	20,239	19,308	20,852	23,891
(職員人件費)	[千円]	3,011	3,088	3,198	3,198

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	シルバー人材センターに委託し 6 5 歳以上の一人暮らし高齢者の軽易な日常生活上の援助を行う。市は利用者の利用時間に基づいて、委託料として、委託先の高松市シルバー人材センターに支払う。	1 人当たり月 2 回で 1 回につき 3 時間まで又は月 3 回で 1 回につき 2 時間まで。 委託料 1 時間当たり、 生活保護世帯 1 , 1 6 4 円 その他の世帯 8 1 4 円 振込手数料相当額 1 件当たり 1 7 1 円	総額	20,852	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	20,852	
令和 8 年度	シルバー人材センターに委託し 6 5 歳以上の一人暮らし高齢者の軽易な日常生活上の援助を行う。市は利用者の利用時間に基づいて、委託料として、委託先の高松市シルバー人材センターに支払う。	1 人当たり月 2 回で 1 回につき 3 時間まで又は月 3 回で 1 回につき 2 時間まで。 委託料 1 時間当たり、 生活保護世帯 1 , 2 4 8 円 その他の世帯 8 9 8 円 振込手数料相当額 1 件当たり 1 7 1 円	総額	23,891	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	23,891	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

登録者数の減少等により、利用者数、利用時間数が減少傾向にあり、支援を必要としている高齢者への周知等が課題である。また、昨今の人件費の高騰により委託料が上昇していることから、受益者負担の見直しを検討する。

高齢者が経験と知識を生かし、生きがいを持って就業できるため、引き続き、シルバー人材センターに委託して実施する。今後は、支援を必要としている高齢者へ事業内容の周知等を行うとともに、持続可能な事業運営に向けて、適宜、受益者負担の見直しを行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策		高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針		生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		高齢者福祉タクシー助成事業			

【事業全体概要】

事業概要	外出することが難しい在宅の高齢者からの申請により、年度内有効のタクシー助成券15枚を交付することにより、外出支援を図ることを目的とする。				
8年度概要	外出が困難な高齢者の外出支援のためタクシー券を給付する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市高齢者福祉タクシー助成事業要綱

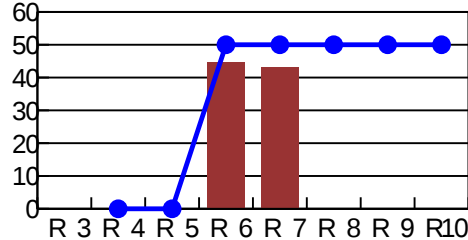
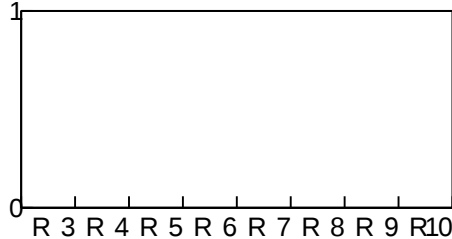
【事業の目的】

対象（何を）	外出することが難しい在宅で生活している高齢者で、要介護１～５の認定を受けている・本人及び配偶者の市民税が非課税である・一人暮らしまたは高齢者のみの世帯である等の要件を満たす者
意図（どのような状態にしたいか）	外出することが難しい、在宅で生活している高齢者の外出を支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
タクシー助成券交付者数	人	0	2,183	2,155	2,130	2,130

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	タクシー助成券利用率		%	目標値	0	50	50	50	50	
				実績値	0	44.5	43.1			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	制度利用の周知を図ることで、概ね目標を達成することができた。		(目標達成度)	86.2%						
(得点)			30点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	老人クラブ活動助成事業			

【事業全体概要】

事業概要	地域を豊かにする社会活動等を通じて、高齢者の生きがいづくりや健康づくりを促進する老人クラブの運営や活動を支援する。				
8年度概要	老人クラブ活動を積極的に推進したと認められた方に、感謝状等を贈呈する。 高松市内の単位老人クラブが行う活動事業費の一部や単位老人クラブをサポート等する高松市老人クラブ連合会事務局の運営費及び活動費の一部を補助する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	老人福祉法

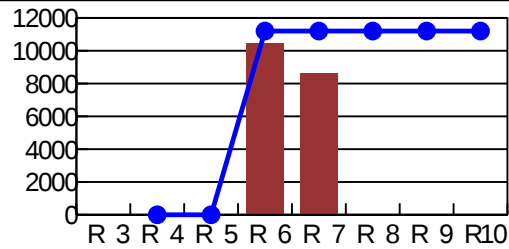
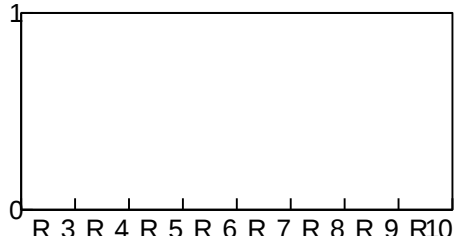
【事業の目的】

対象（何を）	市内居住60歳以上の高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者ができる限り自立し、生きがいを持ち、安心して暮らせるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助金交付件数（単位クラブ）	件	0	216	182	225	225

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	老人クラブ会員数	人	目標値	0	11,200	11,200	11,200	11,200
			実績値	0	10,457	8,608		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	後継者不足等により、一部の老人クラブが解散したため、単位クラブ数、会員数は減少した。		（目標達成度） 76.9% （得点） 27点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度） （得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	29,825	28,815	27,017	26,846
(事業費)	[千円]	24,556	23,411	21,420	21,249
(職員人件費)	[千円]	5,269	5,404	5,597	5,597

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	老人クラブ活動を積極的に推進したと認められた方に、感謝状等を贈呈する。 高松市内の単位老人クラブが行う活動事業費の一部や単位老人クラブをサポート等する高松市老人クラブ連合会事務局の運営費及び活動費の一部を補助する。	功労者記念品購入費 6千円 功労者丸筒等購入費 3千円 功労者感謝状筆耕料 22千円 単位老人クラブ活動助成金等 21,391千円	総額	21,420	
			特定財源	国	5,675
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	15,745	
令和 8 年度	老人クラブ活動を積極的に推進したと認められた方に、感謝状等を贈呈する。 高松市内の単位老人クラブが行う活動事業費の一部や単位老人クラブをサポート等する高松市老人クラブ連合会事務局の運営費及び活動費の一部を補助する。	功労者記念品購入費 7千円 功労者丸筒等購入費 2千円 功労者感謝状筆耕料 28千円 単位老人クラブ活動助成金等 21,212千円	総額	21,249	
			特定財源	国	6,102
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	15,147	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～ 100%)	B	総合点 (率)	76 / 100 (76 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

老人クラブの会員数減少を受け、未加入高齢者への活動内容の周知等が必要である。また、後継者不足などでクラブ数が減少したため、新たな単位クラブの立ち上げ支援や、働きかけを検討する必要がある。

高松市老人クラブ連合会と連携しながら、老人クラブ活動の活性化に向けて運営等を支援する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	シルバー人材センター運営補助事業			

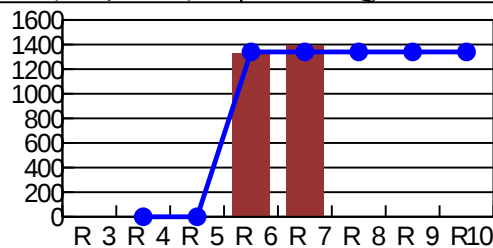
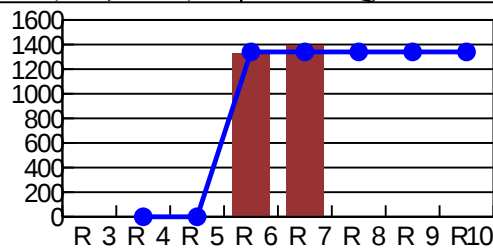
【事業全体概要】					
事業概要	就業を通じて、高齢者の生きがいづくりと社会活動への参加を促進するシルバー人材センターの運営等を支援する。				
8年度概要	シルバー人材センターの運営等を支援することで、高齢者の就業機会を確保し、高齢者の生きがいづくりと社会活動への参加を促進する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	シルバー人材センター運営補助金交付要綱

【事業の目的】	
対象（何を）	市内に居住する60歳以上の高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者の就業機会を確保し、高齢者の生きがいづくりと社会活動への参加を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助金交付件数	件	0	1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	シルバー人材センター会員数	人	目標値	0	1,340	1,340	1,340	1,340
			実績値	0	1,325	1,394		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	シルバー人材センターにおいて、補助金等を活用し、会員確保策等を工夫したことにより、会員が大幅に増加し目標を達成した。	(目標達成度)	104.0%					
		(得点)	35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度)					
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	19,137	19,188	19,271	20,879
(事業費)	[千円]	16,879	16,872	16,872	18,480
(職員人件費)	[千円]	2,258	2,316	2,399	2,399

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	シルバー人材センターの運営等を支援することで、高齢者の就業機会を確保し、高齢者の生きがいづくりと社会活動への参加を促進する。	施設修繕料 0千円 香川県シルバー人材センター 連合会賛助会員会費 3口×10千円 全国シルバー人材センター事 業協会賛助会員会費 5口×10千円 シルバー人材センター運営補 助金16,792千円	総額	16,872	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	16,872	
令和 8 年度	シルバー人材センターの運営等を支援することで、高齢者の就業機会を確保し、高齢者の生きがいづくりと社会活動への参加を促進する。	香川県シルバー人材センター 連合会賛助会員会費 3口×10千円 全国シルバー人材センター事 業協会賛助会員会費 5口×10千円 シルバー人材センター運営補 助金18,400千円	総額	18,480	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	18,480	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

シルバー人材センターの運営等を支援することで、会員数が増加し高齢者の就業機会が確保された。高齢者の生きがいがづくりや就労機会が多様化していることから、更なる会員の確保に向けて様々な機会を捉えた広報活動等への支援が必要である。

引き続き、シルバー人材センターについての事業内容を、より広く知ってもらえるよう、様々な機会や方法で広報活動を支援する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		支え合う福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策		高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2346
	取組方針		生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		高齢者福祉施策推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種取組の実施の機会を通じて、高齢者福祉サービスについて広く周知する。				
8年度概要	第9期高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種取組を実施するとともに、高齢者福祉サービスについて広く周知する。併せて、令和9年度からの3年間の計画とする「第10期高松市高齢者保健福祉計画」の策定を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	社会福祉法・高松市社会福祉審議会条例・老

【事業の目的】

対象（何を）	65歳以上の高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者が住み慣れた地域社会で、健康で生きがいを持って生活を送ることができるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
高齢者向けガイドブック発行部数	部	0	30,000	30,000	30,000	30,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	高齢者向けガイドブック配布部数	部	目標値	0	28,500	29,000	29,500	29,500
			実績値	0	29,209	26,775		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種取組の実施機会を通じ、高齢者福祉サービスについて広く周知することで、概ね目標を達成できた。	(目標達成度) 92.3%		(得点) 32点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
		(目標達成度)		(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	54,278	60,790	61,814	63,250
(事業費)	[千円]	30,192	36,086	36,227	37,663
(職員人件費)	[千円]	24,086	24,704	25,587	25,587

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	第9期高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種取組を実施するとともに、高齢者福祉サービスについて広く周知する。	通信運搬費、運営協議会委員報酬費、事務費全般	総額	36,227	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	36,227				
令和 8 年度	第9期高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種取組を実施するとともに、高齢者福祉サービスについて広く周知する。併せて、令和9年度からの3年間の計画とする「第10期高松市高齢者保健福祉計画」の策定を行う。	通信運搬費、運営協議会委員報酬費、委託料、事務費全般	総額	37,663	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	1,379
一般財源	36,284				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

第9期高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種取組を実施するとともに、第10期計画策定に向け、基礎調査となるアンケート調査や令和8年度の計画策定の業務支援を行う事業者をプロポーザルを行い決定した。アンケート調査は、要介護認定者を除いた4,000人を対象者とし、取りまとめた結果について3月末に冊子を作成した。

令和８年度は、第９期高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種取組を実施するとともに、次期計画（第１０期）策定に向けて、令和７年度に実施したアンケート調査を分析し、国や県の動向も踏まえながら、計画策定を行う。

また、市政出前ふれあいトークや高齢者のためのあんしんガイドブックの配布、高齢者の居場所づくり事業などの様々な機会を活用し、市民への周知も継続して行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2354
	取組方針	妊娠期からの子育て支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	子育て支援対策推進事業			

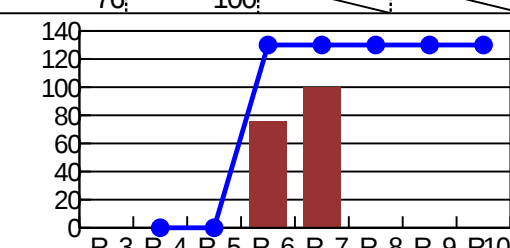
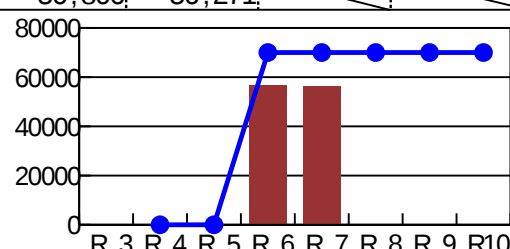
【事業全体概要】						
事業概要	子育て支援総合情報発信事業、こども未来ネットワーク会議、高松市こども計画進捗管理、子ども・子育て支援会議（計画に関する審議）、動物とのふれあい事業を実施し、子ども・子育て家庭への切れ目ない支援を総合的・計画的に推進します。					
8年度概要	子育て支援総合情報発信事業委託（子育てに関する様々な情報提供） こども未来ネットワーク会議の開催（子育て支援団体のネットワーク化） 高松市こども計画進捗管理 子ども・子育て支援会議の開催（こども保育教育課分含む） 動物とのふれあい事業					
重点取組事業		市長マニフェスト	1-	関連根拠法令	高松市こども計画進捗管理	

【事業の目的】						
対象（何を）	子どもと子育て家庭					
意図（どのような状態にしたいか）	家庭や地域における子育て支援体制を整備する。					

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
こども未来ネットワーク会議開催回数	回	0	4	4	4	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	ネットワーク会議参加者総数	人	目標値	0	130	130	130	130
			実績値	0	76	100		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	参加型のアート体験ワークショップを取り入れるなど研修会の内容の工夫に努めた結果、前年度より参加者は増加したが、目標を達成できなかった。		(目標達成度) 76.9% (得点) 27点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	らっこネットアクセス件数	件	目標値	0	70,000	70,000	70,000	70,000
			実績値	0	56,806	56,271		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	子育て家庭の情報収集方法が SNS 等に移行していることに伴い、アクセス件数が減少し、目標を達成できなかった。		(目標達成度) 80.4% (得点) 28点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	21,388	26,467	14,226	10,937
(事業費)	[千円]	10,173	18,747	6,230	2,941
(職員人件費)	[千円]	11,215	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	子育て支援総合情報発信事業委託 こども未来ネットワーク会議の開催 子ども・子育て支援推進計画最終評価、高松市こども計画の指標設定 子ども・子育て支援会議の開催(こども保育教育課分含む) 動物とのふれあい事業 児童援護等事務費	1,089千円	総額	6,230	
		0千円	特定財源	国	0
		288千円		県	0
		950千円		市債	0
		3,903千円		他	0
		総計 6,230千円	一般財源	6,230	
令和 8 年度	子育て支援総合情報発信事業委託(子育てに関する様々な情報提供) こども未来ネットワーク会議の開催(子育て支援団体のネットワーク化) 高松市こども計画進捗管理 子ども・子育て支援会議の開催(こども保育教育課分含む) 動物とのふれあい事業	1,133千円	総額	2,941	
		10千円	特定財源	国	0
		798千円		県	0
		1,000千円		市債	0
		総計 2,941千円		他	0
		一般財源	2,941		

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	77 / 100 (77 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

こども未来ネットワーク会議を開催し、関係機関と情報交換・共有ができたほか、子ども・子育て支援会議を開催し、各種取組や計画の進捗状況について検討することができた。

らっこネットのアクセス件数が低下しているため、効果的な情報発信の方法を検討する必要がある。

こども未来ネットワーク会議を開催し、関係機関と情報交換・共有を行う。
タイムリーに情報を随時更新できるネットの特性を生かし、子育て世帯に必要な情報が行き届くような様々な機会 で周知を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2354
	取組方針	妊娠期からの子育て支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	地域子育て支援拠点事業			

【事業全体概要】

事業概要	常設の地域子育て支援拠点を開設し、主として概ね3歳未満の児童及びその保護者を対象として、子育て親子の交流の場の提供のほか、交流の促進・子育て等に関する相談、援助・地域の子育て関連情報の提供等を実施し、地域の子育て支援機能の充実を図るとともに、子どもの健やかな育ちを促進する。 併せて、子どもとその保護者等が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、地域子育てコーディネート事業を4か所で実施する。				
8年度概要	・委託継続27か所（うち、子ども保育教育課分：16か所、子育て支援課分：11か所）NPO法人、医療機関、社会福祉法人、子育て支援団体）利用者支援事業4か所含む。 ・直営2か所（各キッズセンター）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	児童福祉法第21条の9

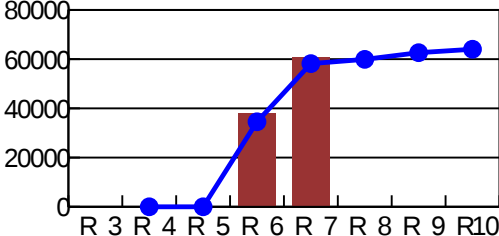
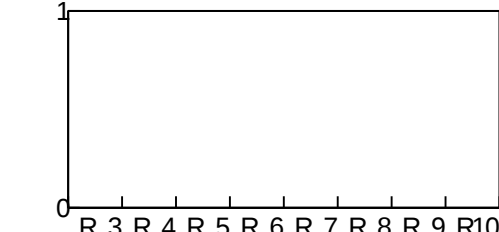
【事業の目的】

対象（何を）	乳幼児及びその保護者
意図（どのような状態にしたいか）	子育て家庭の育児への負担感の緩和を図り、安心して子育て・子育てができる環境を整備し、地域の子育て支援機能の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
地域子育て支援拠点事業の開催日数	日	0	3,344	7,259	7,200	7,200

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	利用者数(子ども)		人	目標値	0	34,548	58,183	59,913	59,913	
				実績値	0	37,935	60,559			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	感染症予防に留意して事業を実施することに加え、夕方の時間帯の利用者が増加し、目標値を達成した。 令和7年度決算分より子ども保育教育課と子育て支援課の当該事業を合算して評価しており、実績値についても令和7年度分より合算値を用いることとなった。				(目標達成度) 104.1%					
(得点) 35点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
					(目標達成度)					
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	159,571	163,944	347,183	366,574
(事業費)	[千円]	141,506	152,364	331,191	350,582
(職員人件費)	[千円]	18,065	11,580	15,992	15,992

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・委託継続 11 か所 (NPO 法人、医療機関、社会福祉法人、子育て支援団体) 利用者支援事業 3 か所含む。 ・直営 2 か所 (各キッズセンター)	こども保育教育課分) 172,519 千円 子育て支援課分) 158,672 千円 合計 331,191 千円	総額	331,191	
			特定財源	国	122,956
				県	104,102
				市債	0
				他	0
			一般財源	104,133	
令和 8 年度	・委託継続 27 か所 (うち、子ども保育教育課分：16 か所、子育て支援課分：11 か所) NPO 法人、医療機関、社会福祉法人、子育て支援団体) 利用者支援事業 4 か所含む。 ・直営 2 か所 (各キッズセンター)	子ども保育教育課分) 172,930 千円 子育て支援課分) 177,652 千円 合計 350,582 千円	総額	350,582	
			特定財源	国	130,029
				県	110,269
				市債	0
				他	0
			一般財源	110,284	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

感染症予防に留意し、安全性を確保しながら実施したことにより、夕方の時間帯の利用者数が増加し、前年度と比べて利用者数が増加した。

・感染症予防に留意し、利用者の安全性の確保に努め、地域子育て支援拠点事業を実施することにより、子育て支援機能の充実を目指す。

・施設間で利用人数や活動内容に差が生じているため、ネットワーク会議等による積極的な情報共有や、市職員の定期的な訪問による助言・指導を実施し、改善を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	子育て支援課
	施策		子育て支援の充実		電話番号	087-839-2354
	取組方針		子育て環境の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		病児保育事業			

【事業全体概要】

事業概要	児童が、病氣回復期（病後児）又は病氣の回復期には至らないが当面症状の急変が認められない場合で、まだ集団保育ができず、保護者も仕事等の理由により家庭で育児ができない場合に、医院等に付設された専用スペースで一時的に預かることにより、保護者の子育てと仕事の両立、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図り、安心して子育てができる環境を整備する。 また、予約システムの導入により、利用者や施設の負担軽減、利便性の向上に努める。				
8年度概要	委託施設（医療機関7か所）（病児対応型） トビウメ小児科・西岡医院・小林内科小児科医院・へいわこどもクリニック・しづや小児科・わき外科内科・いきなりキッズクリニック 利用者への給付（幼児教育・保育の無償化の一環）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	児童福祉法第21条の9

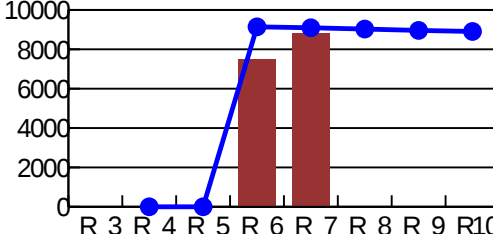
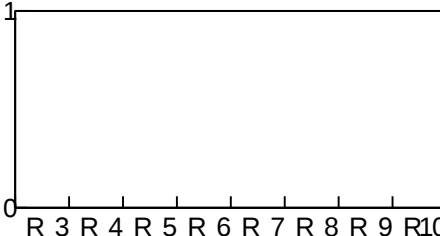
【事業の目的】

対象（何を）	小学校 6 年生までの児童とその保護者
意図（どのような状態にしたいか）	子育てと仕事の両立、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の推進を図り、安心して子育てができる環境を整備する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
開設延べ日数	日	0	1,530	1,639	1,750	1,750

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	病児・病後児保育事業利用者数			人	目標値	0	9,141	9,094	9,029	9,029
					実績値	0	7,479	8,819		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	前年度に比べて、感染症の流行により利用者数は増加したものの、目標を達成できなかった。				(目標達成度)	97.0%				
(得点)					34点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
					目標値					
					実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
					(目標達成度)					
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	140,580	140,920	172,923	183,063
(事業費)	[千円]	134,558	138,218	170,124	175,067
(職員人件費)	[千円]	6,022	2,702	2,799	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	委託施設(医療機関7か所)(病児対応型) トビウメ小児科・西岡医院・小林内科小児科医院・へいわ こどもクリニック・しづや小児科・わき外科内科・いきなり キッズクリニック 利用者への給付(幼児教育・保育の無償化の一環)	病児保育事業: 170,124千円 幼児教育無償化給費等: 実績なし	総額	170,124	
			特定財源	国	52,980
				県	60,238
				市債	0
				他	0
			一般財源	56,906	
令和 8 年度	委託施設(医療機関7か所)(病児対応型) トビウメ小児科・西岡医院・小林内科小児科医院・へいわ こどもクリニック・しづや小児科・わき外科内科・いきなり キッズクリニック 利用者への給付(幼児教育・保育の無償化の一環)	病児保育事業: 175,059千円 幼児教育無償化給費等: 8千円	総額	175,067	
			特定財源	国	54,984
				県	62,449
				市債	0
				他	0
			一般財源	57,634	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

令和7年度は、実施施設が1箇所増加したことや感染症の流行もあり、利用者数が増加した。今後においても、ニーズ量に応じた受入れ体制を確保していく必要がある。

- ・感染症予防に留意しながら、必要な家庭が利用できるよう、受入れ体制を整える。
- ・予約システムの運用など、利用者や施設の負担軽減、利便性の向上に努める。
- ・利用料免除制度により、生活困窮世帯の経済的負担を軽減する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	子育て支援課
	施策		子育て支援の充実		電話番号	087-839-2354
	取組方針		子育て環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		放課後児童クラブ事業			

【事業全体概要】

事業概要	保護者が就労等により昼間家庭に居ない、小学校に就学している児童に対して、授業の終了後等に、小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るとともに、運営の一部を民間委託した公設民営の事業を補完するため、学童保育を実施する社会福祉法人等に対して補助金を交付し、事業運営を支援する。				
8年度概要	公立放課後児童クラブ（104教室）運営の一部民間委託に要する経費 公立放課後児童クラブ（104教室）運営の直営実施に要する経費 放課後児童健全育成事業補助金（民間放課後児童クラブへの運営補助） 43教室 公立放課後児童クラブ施設整備に要する経費				
重点取組事業		市長マニフェスト	1-	関連根拠法令	児童福祉法、放課後児童健全育成事業の設備

【事業の目的】

対象（何を）	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童
意図（どのような状態にしたいか）	児童にとっての安全な居場所を確保するとともに、遊びを通して自主性、社会性、創造性を向上させ、児童の健全育成を推進する。また、これによって保護者にとって安心して就労できる環境を整える。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	受入可能児童数	人	0	5,588	5,700	6,067	6,067

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	放課後児童クラブ入会率		%	目標値	0	98.6	98.9	99	99
				実績値	0	97.6	97.8		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	民間放課後児童クラブ2教室を増室したことにより、受入可能児童数が増加したが、それを上回る利用希望があったため、目標を達成できなかった。		(目標達成度)	98.9%					
(得点)			35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			(目標達成度)						
(得点)									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	1,166,535	1,495,671	1,675,774	1,717,647
(事業費)	[千円]	1,121,373	1,453,211	1,624,760	1,666,633
(職員人件費)	[千円]	45,162	42,460	51,014	51,014

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	公立放課後児童クラブ(104 教室) 運営の一部民間委託に要する経費 公立放課後児童クラブ(104 教室) 運営の直営実施に要する経費 放課後児童健全育成事業補助金(41 教室) 公立放課後児童クラブ施設整備に要する経費	939,575 千円 47,839 千円 632,702 千円 4,644 千円	総額	1,624,760	
			特定財源	国	458,159
				県	451,527
				市債	4,100
				他	240,363
			一般財源	470,611	
令和 8 年度	公立放課後児童クラブ(104 教室) 運営の一部民間委託に要する経費 公立放課後児童クラブ(104 教室) 運営の直営実施に要する経費 放課後児童健全育成事業補助金(民間放課後児童クラブへの運営補助) 43 教室 公立放課後児童クラブ施設整備に要する経費	939,717 千円 59,600 千円 661,433 千円 5,883 千円	総額	1,666,633	
			特定財源	国	470,279
				県	470,155
				市債	5,200
				他	244,998
			一般財源	476,001	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

公立クラブにおける放課後児童支援員等の人材確保の状況が改善しているため、学校施設外での整備手法も含めて、公立クラブの確保方策を検討・実施するとともに、複数校区の児童の受入れが可能な民間事業者の参入を促進しているものの、令和8年5月1日現在において、待機児童の解消には至っていない。

令和6年度からの公立クラブの民間委託化により、公立クラブの更なる増室に対応できるよう、受託者に対して安定的な職員体制の確保を要請するほか、校区ごとの量の見込みの増加に対応するため、公立クラブの整備に当たっては、学校施設の活用による整備を基本としつつ、学校施設外での整備手法も含めて、具体的な確保方策を検討・実施する。公設での対応が難しい地域については、民間事業者による整備を推進するなど、必要とする教室数を確保することにより、引き続き、待機児童の解消を目指す。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2354
	取組方針	子育て環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	ファミリー・サポート・センター事業			

【事業全体概要】

事業概要	仕事と育児の両立を支援するため、地域において育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、育児について相互に助け合う会員（有償ボランティア）組織をつくり、その拠点となる「たかまつファミリー・サポート・センター」を設置し、会員組織の運営管理や相互援助活動の調整・支援などを行う。援助活動内容としては、保育施設への送迎、保育時間前後の子どもの預かり、保護者の病気や急用時、冠婚葬祭、上の子どもの学校行事など外出時の子どもの預かりなどがある。事業運営は、公募により、開設当初から特定非営利活動法人に委託して実施している。				
8年度概要	登録会員数見込：2,500人（依頼会員1,850人、提供会員580人、両方会員70人） 援助活動件数見込：10,469件 会員養成講座：年3回、会員スキルアップ講座：年2回、会員交流会：年2回開催 ファミサポ通信：40・41号発行 利用者への給付（幼児教育・保育の無償化の一環）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	児童福祉法第21条の9

【事業の目的】

対象（何を）	育児などの援助を必要とする人と援助を行いたい人
意図（どのような状態にしたいか）	子育て家庭が仕事等と育児を両立できる環境を整備し、地域ぐるみの子育て支援・児童健全育成を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
マッチング件数	件	0	137	192	150	150

【事業の成果】

	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	件	目標値 実績値	0 0	10,102 8,095	10,303 10,475	10,469	10,469
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	広報誌の発行や交流会の開催など、制度の周知に努め、目標を達成した。			（目標達成度） 101.7%				
				（得点） 35点				
	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	ファミリー・サポート・センター登録会員数	人	目標値 実績値	0 0	2,500 2,619	2,500 2,707	2,500	2,500
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	広報誌の発行や登録会の開催など、制度の周知に努め、目標を達成した。			（目標達成度） 108.3%				
				（得点） 35点				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	18,891	13,647	13,682	26,425
(事業費)	[千円]	12,869	12,875	12,882	22,427
(職員人件費)	[千円]	6,022	772	800	3,998

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	登録会員数：2,619人(依頼会員1,956人、提供会員589人、両方会員74人) 援助活動件数：10,475件 会員養成講座：年3回、会員スキルアップ講座：年2回、 会員交流会：年2回開催 ファミサポ通信：38・39号発行 利用者への給付(幼児教育・保育の無償化の一環)	委託料 12,858千円 給付費 24千円 三木町・綾川町負担金収入 437千円	総額	12,882	
			特定財源	国	4,297
				県	4,291
				市債	0
				他	437
			一般財源	3,857	
令和 8 年度	登録会員数見込：2,500人(依頼会員1,850人、提供会員580人、両方会員70人) 援助活動件数見込：10,469件 会員養成講座：年3回、会員スキルアップ講座：年2回、 会員交流会：年2回開催 ファミサポ通信：40・41号発行 利用者への給付(幼児教育・保育の無償化の一環)	事業運営委託料 21,547千円 多子世帯利用料助成金 800千円 給付費 80千円 三木町・綾川町負担金収入 819千円	総額	22,427	
			特定財源	国	6,152
				県	7,782
				市債	0
				他	819
			一般財源	7,674	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

前年度と比べ依頼会員数、提供会員数が共に増加しており、利用件数も増加しているが、提供会員の実稼働数も上げる必要がある。

利用料の助成と報酬の増額を開始することで、保護者の経済的な負担を軽減するとともに、今後も提供会員の確保に努めていく。また、講習会及び交流会を定期的を開催し、提供会員の質の向上を図り、必要とする時に支援を受けられる安定したサービスの提供に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	子育て支援課
	施策		子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2354
	取組方針		心身の成長への支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		年長児童の赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業			

【事業全体概要】

事業概要	家庭での親子のふれあいや地域における様々な人との出会い・コミュニケーションを活性化し、児童の健全な育成及び次代の親づくりを促進するため、中学生を対象に、乳幼児やその保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとかかわり方の学習及び安全な抱き方・遊び方などの体験学習を行う。				
8年度概要	中学生を対象に乳幼児やその保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとかかわり方の学習及び安全な抱き方・遊び方などの体験学習を行う。 対象校：中学校19校 各校の1学年の全クラスで事業開催 (事前授業1時間、ふれあい授業1時間)				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市こども計画

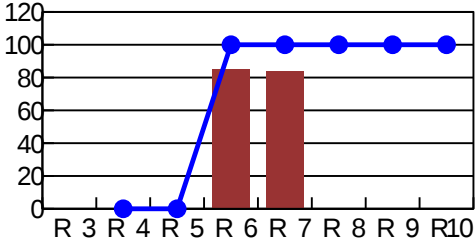
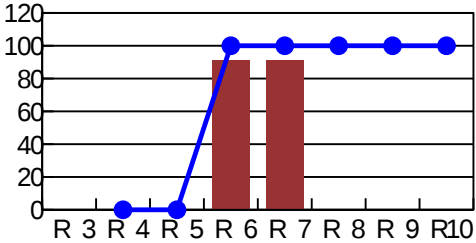
【事業の目的】

対象（何を）	中学生
意図（どのような状態にしたいか）	家庭での親子のふれあいや地域における様々な人との出会い・コミュニケーションを活性化し、児童の健全な育成及び次代の親づくりを促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
ふれあい体験参加生徒数	人	0	2,793	2,987	2,600	2,600

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																		
	ライフデザインを考えるきっかけとなった生徒の割合	%	目標値	0	100	100	100	100																		
			実績値	0	85	84																				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）				 <table><caption>達成率（ライフデザイン）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 3</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>84</td></tr><tr><td>R 7</td><td>84</td></tr><tr><td>R 8</td><td>100</td></tr><tr><td>R 9</td><td>100</td></tr><tr><td>R10</td><td>100</td></tr></tbody></table>				年度	達成率 (%)	R 3	0	R 4	0	R 5	0	R 6	84	R 7	84	R 8	100	R 9	100	R10	100
	年度	達成率 (%)																								
R 3	0																									
R 4	0																									
R 5	0																									
R 6	84																									
R 7	84																									
R 8	100																									
R 9	100																									
R10	100																									
目標達成には至らなかったが、約 8 割の生徒にとって、結婚や子育てに対する理解が深まる機会となった。	(目標達成度)	84.0%																								
	(得点)	29点																								
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																		
	乳幼児に関心を持つようになった生徒の割合	%	目標値	0	100	100	100	100																		
			実績値	0	91	91																				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）				 <table><caption>達成率（乳幼児に関心）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 3</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>91</td></tr><tr><td>R 7</td><td>91</td></tr><tr><td>R 8</td><td>100</td></tr><tr><td>R 9</td><td>100</td></tr><tr><td>R10</td><td>100</td></tr></tbody></table>				年度	達成率 (%)	R 3	0	R 4	0	R 5	0	R 6	91	R 7	91	R 8	100	R 9	100	R10	100
	年度	達成率 (%)																								
R 3	0																									
R 4	0																									
R 5	0																									
R 6	91																									
R 7	91																									
R 8	100																									
R 9	100																									
R10	100																									
目標達成には至らなかったが、約 9 割の生徒が乳幼児に関心を持つ機会となった。	(目標達成度)	91.0%																								
	(得点)	32点																								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	4,771	4,674	4,989	3,998
(事業費)	[千円]	2,513	2,744	2,990	0
(職員人件費)	[千円]	2,258	1,930	1,999	3,998

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	中学生を対象に乳幼児やその保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとのかかわり方の学習及び安全な抱き方、遊び方などの体験学習を行う。 対象校：中学校20校 各校の1学年の全クラスで事業開催 (事前授業1時間、ふれあい授業1時間)	委託料 2,990千円 (20校99クラス)	総額	2,990	
			特定財源	国	0
				県	2,242
				市債	0
				他	0
			一般財源	748	
令和 8 年度	中学生を対象に乳幼児やその保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとのかかわり方の学習及び安全な抱き方、遊び方などの体験学習を行う。 対象校：中学校19校 各校の1学年の全クラスで事業開催 (事前授業1時間、ふれあい授業1時間)	委託料 2,890千円 (19校99クラス)	総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	89 / 100 (89 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

20校の中学校がふれあい体験事業を実施し、多くの生徒が命の大切さや子育てに関心を持つ機会になった。

事業を実施する学校及び委託団体の意向を尊重した上で、実施方法を検討し、事業を継続する。また、新たに事業を実施する学校及び委託団体を募集し、事業の拡充に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	子育て支援課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2354
	取組方針	心身の成長への支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	放課後子ども教室事業			

【事業全体概要】

事業概要	放課後等に子どもたちの安心安全な活動場所を確保するため、地域の協力を得ながら、各校区に、コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターなどを配置し、学び、スポーツ、文化活動、地域の方々との交流活動等を行う。 対象：小学校1年生～6年生 実施場所：小学校の余裕教室、体育館、運動場、図書室、コミュニティセンター等 実施時間：平日 放課後～午後5時、土曜日・日曜日等 午前9時～正午				
8年度概要	放課後子ども教室事業の実施 37校区 / 46校区 継続 34校区 新規 3校区 放課後子ども総合プラン運営委員会開催 1回 子どもの居場所づくり指導者養成事業（研修会）開催 5回				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市放課後子ども教室実施要領

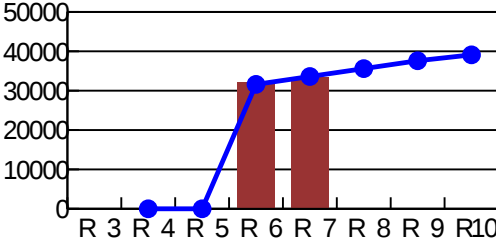
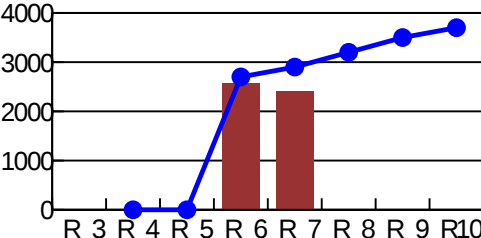
【事業の目的】

対象（何を）	小学校の1年生から6年生の児童
意図（どのような状態にしたいか）	子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
開設延べ日数（放課後子ども教室）	日	0	1,391	1,402	1,525	1,525
放課後子ども教室実施校区数	校	0	35	34	40	40

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	参加児童数	人	目標値	0	31,600	33,600	35,600	35,600
			実績値	0	32,105	33,409		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	未実施校区に対して新規開設に向けた働きかけを行ったものの、年度内の新規開設には至らなかった。しかしながら、子ども教室のプログラムに複数回参加する児童が増えたことで、目標をほぼ達成することができた。	(目標達成度)	99.4%					
(得点)		35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	登録児童数	人	目標値	0	2,700	2,900	3,200	3,200
			実績値	0	2,566	2,412		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	未実施校区に対して新規開設に向けた働きかけを行ったものの年度内の新規開設には至らず、目標には達しなかった。	(目標達成度)	83.2%					
(得点)		29点						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	24,261	23,081	23,588	27,165
(事業費)	[千円]	16,734	17,291	17,591	21,168
(職員人件費)	[千円]	7,527	5,790	5,997	5,997

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	放課後子ども教室事業の実施 34校区 / 46校区 継続 34校区 新規 0校区 放課後子ども総合プラン運営委員会開催 1回 子どもの居場所づくり指導者養成事業(研修会)開催 5回	実施委託料等 17,493千円 委員会・研修会開催経費 98千円	総額	17,591	
			特定財源	国	5,858
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	11,733	
令和 8 年度	放課後子ども教室事業の実施 37校区 / 46校区 継続 34校区 新規 3校区 放課後子ども総合プラン運営委員会開催 1回 子どもの居場所づくり指導者養成事業(研修会)開催 5回	実施委託料等 20,955千円 新規開設校区消耗品購入費 105千円 委員会・研修会開催経費 108千円	総額	21,168	
			特定財源	国	7,054
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	14,114	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	84 / 100 (84 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

実践的かつ多様な研修を実施することにより人材の育成を図り、事業の充実に努めた。

また、各校区の実態（活動内容や人材確保策等）を把握するための調査にも着手した。今後、目標達成に向け、引き続き、実態調査を行い、調査で把握した好事例等の横展開を図ることにより、新規開設校区の増加に取り組む必要がある。

実践的かつ多様な研修を実施し、人材を育成することにより、事業の充実を図るとともに、未実施校区の現状の把握に努めながら、関係団体に対し、独自財源で実施している類似事業を放課後子ども教室として実施することを提案するなど、教室開設の働き掛けを継続し、新規開設校区の増加を図る。また、地域の現状や課題を踏まえ、放課後児童クラブとの連携型実施校区の増加も図っていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

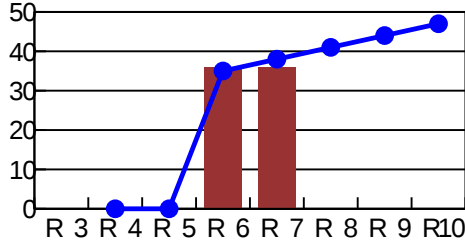
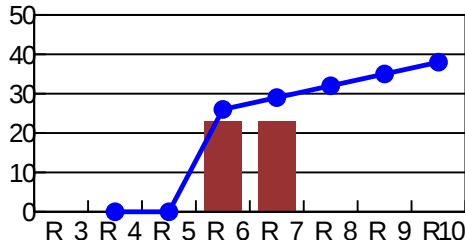
総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	子育て支援課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2354
	取組方針	心身の成長への支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	子ども食堂等支援事業			

【事業全体概要】					
事業概要	核家族や共働き、ひとり親家庭などの増加に伴い、一人で食事をする「孤食」となる子どもが増えている中、子どもの孤食を防止するほか、安らげる場所を確保するため、子どもたちに無料又は安価で温かく栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、地域住民とのつながりの強化や生活環境等についての相談支援、学習・生活習慣についての支援も行う「子ども食堂」の開設や運営に係る費用の一部を補助する。 また、子ども食堂実施団体の基盤・体制の強化を図るため、「たかまつ子ども食堂ネットワーク」と連携を図りながら、企業・個人等とのマッチングや寄附・食材提供等の受け入れなどを促進する。				
8年度概要	・子ども食堂運営補助等（初期経費、運営補助、学習支援加算、相談支援加算、フードパントリー加算） ・子ども食堂ネットワーク事業委託（1団体）				
重点取組事業		市長マニフェスト	1-	関連根拠法令	こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市内の全ての子どもや地域住民など
意図（どのような状態にしたいか）	子ども食堂の開設及び継続的・安定的な運営の確保を促進することで孤食の防止や安心できる居場所を提供する。また、フードパントリーの実施を通じて、生活環境が厳しい子育て家庭などと支援を結びつけるつながりの場を提供する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
子ども食堂助成箇所数	箇所	0	26	27	30	30

【事業の成果】									
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	子ども食堂箇所数	箇所	目標値	0	35	38	41	41	
			実績値	0	36	36			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	子ども食堂の開設や運営に係る費用の一部を助成することで、子ども食堂の新規開設を促したものの、目標には達しなかった。								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	たかまつ子ども食堂ネットワーク参加団体数	団体	目標値	0	26	29	32	32	
			実績値	0	23	23			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	新規開設団体等に参加を促進したものの、参加団体数は横ばいで、目標には達しなかった。								
				（目標達成度）					
				94.7%					
				（得点）					
				33点					
				（目標達成度）					
				79.3%					
				（得点）					
				28点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	10,739	16,803	17,445	24,016
(事業費)	[千円]	9,986	12,943	13,447	16,020
(職員人件費)	[千円]	753	3,860	3,998	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・子ども食堂運営補助等（初期経費、運営補助、学習支援加算、相談支援加算、フードパントリー加算） ・子ども食堂ネットワーク事業委託（１団体）	【子ども食堂】 開設支援：２か所 運営支援：２７か所	総額	13,447	
			特定財源	国	8,959
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	4,488	
令和 8 年度	・子ども食堂運営補助等（初期経費、運営補助、学習支援加算、相談支援加算、フードパントリー加算） ・子ども食堂ネットワーク事業委託（１団体）	【子ども食堂】 開設支援：３か所 運営支援：３０か所	総額	16,020	
			特定財源	国	10,673
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	5,347	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	89 / 100 (89 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

子ども食堂が、子どもの孤食を防止し、地域住民の繋がりや学習支援の場となる意義を有することを、引き続き周知・啓発することで、地域住民、福祉関係者や教育関係者等の理解と協力を促す必要がある。

また、子ども食堂実施団体の基盤・体制の強化を図り、継続的・安定的な運営を支援するため、「たかまつ子ども食堂ネットワーク」と連携を図りながら、企業・個人等とのマッチングや寄附・食材提供等の受入れなどを促進する。

子ども食堂ネットワークへの加入を促進し、加入団体と連携しながら、安定的・継続的運営を支援し、各実施団体の基盤・体制の強化を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども家庭課
	施策		子育て支援の充実		電話番号	087-839-2353
	取組方針		妊娠期からの子育て支援		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		子ども医療費助成事業			

【事業全体概要】

事業概要	18歳到達後最初の3月31日までの間にある子どもを対象に保険診療に係る高額療養費までの自己負担分を県内現物、県外償還で助成。 県費補助対象額の1/2				
8年度概要	18歳到達後最初の3月31日までの間にある子どもを対象に保険診療に係る高額療養費までの自己負担分を県内現物、県外償還で助成。 県費補助対象額の1/2				
重点取組事業		市長マニフェスト	1-	関連根拠法令	高松市医療費助成条例

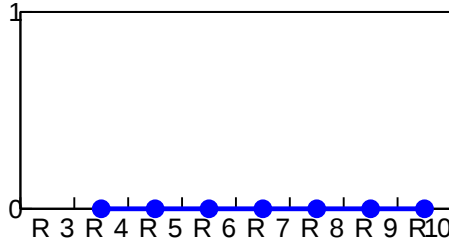
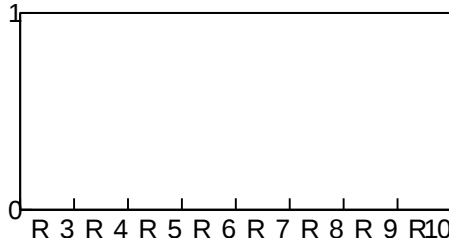
【事業の目的】

対象（何を）	18歳到達後最初の3月31日までの間にある子ども
意図（どのような状態にしたいか）	医療費に係る経済的な負担の軽減を図る

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	支払件数	千件	0	960	1,135	1,033	1,033

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	成果指標設定なし		件	目標値	0	0	0	0	0	
				実績値	0	0	0	0	0	
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	保険診療の自己負担分を助成する事業であるため、成果指標の設定は困難である。		(目標達成度)							
(得点)										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	2,333,055	2,401,278	2,594,347	2,368,757
(事業費)	[千円]	2,314,237	2,381,978	2,574,357	2,348,767
(職員人件費)	[千円]	18,818	19,300	19,990	19,990

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	18歳到達後最初の3月31日までの間にある子どもを対象に保険診療に係る高額療養費までの自己負担分を県内現物、県外償還で助成。 県費補助対象額の1/2	医療費助成金 2,499,106千円 医療機関手数料 56,510千円 その他 18,741千円	総額	2,574,357	
			特定財源	国	0
				県	596,534
				市債	0
				他	1,581
			一般財源	1,976,242	
令和 8 年度	18歳到達後最初の3月31日までの間にある子どもを対象に保険診療に係る高額療養費までの自己負担分を県内現物、県外償還で助成。 県費補助対象額の1/2	医療費助成金 2,278,122千円 医療機関手数料 54,380千円 その他 16,265千円	総額	2,348,767	
			特定財源	国	0
				県	604,268
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,744,499	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	26 / 30 (87 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

幼児教育の無償化に対する国からの財政措置により、確保できる財源を活用し、18歳到達後最初の3月31日までの間にある子どもの保険診療にかかる高額療養費までの入院・通院医療費無償化の実施。

財政的に厳しい状況の中、令和５年度８月から拡充した制度内容での継続が妥当である。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども家庭課
	施策		子育て支援の充実		電話番号	087-839-2353
	取組方針		妊娠期からの子育て支援		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		ひとり親家庭等医療費助成事業			

【事業全体概要】

事業概要	母子家庭の母と子、父子家庭の父と子、両親のいない子及び両親のいない子（子は原則18歳年度末まで）を扶養する配偶者のない兄・姉等を対象に県内現物、県外償還で保険診療に係る高額療養費までの自己負担分を助成 県費補助対象額の1/2（県制度は自己負担有）				
8年度概要	母子家庭の母と子、父子家庭の父と子、両親のいない子及び両親のいない子を扶養する配偶者のない兄・姉等を対象に県内現物、県外償還で保険診療に係る高額療養費までの自己負担分を助成 県費補助対象額の1/2（県制度は自己負担有）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市医療費助成条例

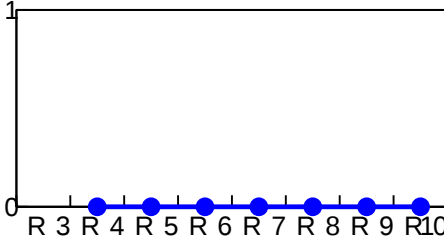
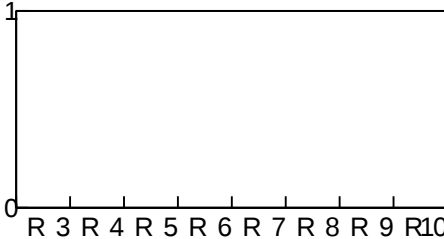
【事業の目的】

対象（何を）	高松市内在住で保険証を持っている方で母子家庭の母と子、父子家庭の父と子、両親のいない子、両親のいない子を扶養する配偶者のいない兄・姉等
意図（どのような状態にしたいか）	医療費に係る経済的な負担の軽減を図る

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	支払件数	千件	0	138	139	134	134

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	成果指標設定なし		件	目標値	0	0	0	0	0	
				実績値	0	0	0			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	保険診療の自己負担分を助成する事業であるため、成果指標の設定は困難である。		(目標達成度)							
(得点)										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

【コストの推移】

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	458,160	451,247	465,658	456,858
	(事業費)	439,342	431,947	445,668	436,868
	(職員人件費)	18,818	19,300	19,990	19,990

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費	
令和 7 年度	母子家庭の母と子、父子家庭の父と子、両親のいない子及び両親のいない子を扶養する配偶者のない兄・姉等を対象に県内現物、県外償還で保険診療に係る高額療養費までの自己負担分を助成 県費補助対象額の 1 / 2 (県制度は自己負担有)	医療費助成金 4 3 5 , 1 7 9 千円 医療機関手数料 8 , 0 5 9 千円 その他 2 , 4 3 0 千円	総額	445,668
			特定財源	国 0
				県 199,719
				市債 0
				他 364
			一般財源	245,585
令和 8 年度	母子家庭の母と子、父子家庭の父と子、両親のいない子及び両親のいない子を扶養する配偶者のない兄・姉等を対象に県内現物、県外償還で保険診療に係る高額療養費までの自己負担分を助成 県費補助対象額の 1 / 2 (県制度は自己負担有)	医療費助成金 4 2 5 , 9 2 3 千円 医療機関手数料 8 , 2 7 7 千円 その他 2 , 6 6 8 千円	総額	436,868
			特定財源	国 0
				県 196,903
				市債 0
				他 0
			一般財源	239,965

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	26 / 30 (87 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

本事業の実施により、ひとり親等の医療費に係る経済的な負担を軽減している。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

所得制限も実施されており、財政的に厳しい状況の中、現状維持が妥当である。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども家庭課
	施策		子育て支援の充実		電話番号	087-839-2353
	取組方針		妊娠期からの子育て支援		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		ひとり親家庭自立支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	ひとり親家庭等の相談に応じ、その自立に必要な情報提供及び指導を行うため、自立支援相談事業として、母子・父子自立支援員を配置する。 また、ひとり親家庭の総合的支援のため、窓口強化事業として「たかまつひとり親家庭サポートブック」を作成し、関係各所に設置すると共に、「ひとり親家庭ウェブサイト」の運営委託事業を行う。				
8年度概要	母子・父子自立支援員（会計年度任用職員）3人及び母子・父子自立支援員等補助職員（会計年度任用職員）1人により自立支援相談を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	母子及び父子並びに寡婦福祉法

【事業の目的】

対象（何を）	ひとり親家庭の親、離婚予定の親等
意図（どのような状態にしたいか）	ひとり親家庭等の親からの相談に応じ、必要な情報提供及び指導を行い、ひとり親家庭の自立を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
母子自立支援相談件数	件	0	1,269	1,187	1,000	1,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	母子自立支援相談解決件数	件	目標値	0	900	900	900	900
			実績値	0	881	931		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	令和4年度から養育費確保支援事業を開始し、債務名義取得促進事業における問い合わせが一定数あると考えられる。母子福祉資金等貸付金償還業務の外部委託により、納付相談の回数は以前に比べ減少しているが、新たに償還を開始する人等への、きめ細やかな対応を行っている。		(目標達成度) 103.4%	(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度)	(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	15,815	19,100	19,310	23,460
(事業費)	[千円]	12,051	15,240	15,312	19,462
(職員人件費)	[千円]	3,764	3,860	3,998	3,998

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	母子・父子自立支援員（会計年度任用職員）3人により自立支援相談（離婚手続き、養育費、他機関の制度周知等）を行う。	給料 8,067千円 職員手当等 3,397千円 共済費 2,139千円 旅費 0千円 役務費 60千円 委託料 1,647千円 負担金 2千円	総額	15,312	
			特定財源	国	853
				県	0
				市債	0
				他	0
				一般財源	14,459
			令和 8 年度	母子・父子自立支援員（会計年度任用職員）3人及び母子・父子自立支援員等補助職員（会計年度任用職員）1人により自立支援相談を行う。	報酬 2,166千円 給料 8,068千円 職員手当等 4,235千円 共済費 3,118千円 旅費 137千円 役務費 61千円 委託料 1,675千円 負担金 2千円
特定財源	国	3,370			
	県	0			
	市債	0			
	他	0			
	一般財源	16,092			

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

相談者の相談内容が複合的であることが多いので、関係課との連携が必要となっている。

・母子父子自立支援員は、県やその他機関の実施する研修に参加し、担当課以外の知識を深め、スキルアップを図り、関係課との情報共有に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども家庭課
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2353
	取組方針	妊娠期からの子育て支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	母子家庭等就業・自立支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	・「母子家庭等就業・自立支援センター事業」では、NPO法人に業務委託し、離れて暮らす親と子どもの面会交流のための連絡・調整、子どもの受け渡し、付き添い、見守りを行う支援を実施する。 ・「ひとり親家庭等日常生活支援事業」では、就職活動や疾病等の事由に対し、家庭生活支援員を派遣し、短期間を限度として一時的な家事・介護等のサービス提供事業を、母子・父子福祉団体等に委託する。 ・「養育費確保支援事業」は、公正証書等の債務名義取得をした方への費用補助を行う事業等を実施している。				
8年度概要	親子（面会）交流支援事業（委託先 NPO法人親子交流支援センター香川） ひとり親家庭等日常生活支援事業（委託先 高松市社会福祉協議会） 養育費等支援事業（弁護士個別相談） 養育費等支援事業（債務名義取得） 養育費等支援事業（保証契約） 就労支援に関するイベントの開催				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

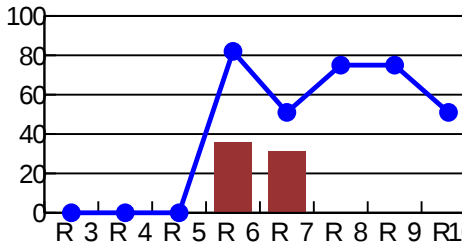
対象（何を）	ひとり親家庭の親
意図（どのような状態にしたいか）	ひとり親家庭の親の自立支援を図る。

【事業の活動】

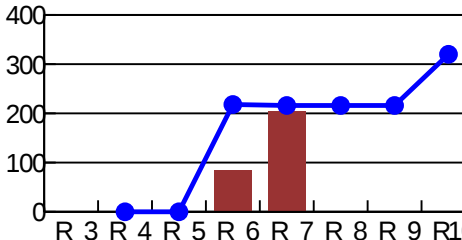
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
養育費に関する相談件数	件	0	131	58	130	130
日常生活支援事業に関する相談件数	件	0	16	11	10	10

【事業の成果】

成果指標

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
債務名義取得促進事業補助件数	件	目標値	0	82	51	75	75
		実績値	0	36	31		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
離婚前相談等で養育費に関する相談を受け付けた際に、補助事業があることを伝え、債務名義を取得しやすくなるよう支援を行っている。事業開始後、制度の周知が進み、補助対象者の増加につながるかと予想していたが、目標の数値には届かなかった。			(目標達成度)	60.8%			
			(得点)	21点			

成果指標

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
家庭生活支援員派遣回数	回	目標値	0	218	216	216	216
		実績値	0	85	204		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
定期利用者を中心に利用回数が伸び、おおむね目標を達成した。			(目標達成度)	94.4%			
			(得点)	33点			

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	6,579	6,411	7,488	9,244
(事業費)	[千円]	2,089	2,551	3,490	5,246
(職員人件費)	[千円]	4,490	3,860	3,998	3,998

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和7年度	親子(面会)交流支援事業(委託先 NPO法人親子交流支援センター香川) ひとり親家庭等日常生活支援事業(委託先 高松市社会福祉協議会) 養育費等支援事業(弁護士個別相談) 養育費等支援事業(債務名義取得) 養育費等支援事業(保証契約) 就労支援に関するイベントの開催	委託料 1,663千円 委託料 1,063千円 委託料 0千円 補助及び交付金 551千円 補助及び交付金 30千円 報償費、需用費、役務費 183千円	総額	3,490	
			特定財源	国	1,725
				県	0
				市債	0
				他	37
			一般財源	1,728	
令和8年度	親子(面会)交流支援事業(委託先 NPO法人親子交流支援センター香川) ひとり親家庭等日常生活支援事業(委託先 高松市社会福祉協議会) 養育費等支援事業(弁護士個別相談) 養育費等支援事業(債務名義取得) 養育費等支援事業(保証契約) 就労支援に関するイベントの開催	委託料 1,690千円 委託料 1,621千円 委託料 188千円(3,483×54回) 補助及び交付金 1,530千円(30千円×51件) 補助及び交付金 50千円(50千円×1件) 報償費、需用費、役務費 167千円	総額	5,246	
			特定財源	国	2,600
				県	0
				市債	0
				他	43
			一般財源	2,603	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	78 / 100 (78 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

令和４年度から、養育費確保支援事業を実施している。養育費の確保に関する３つのメニューのうち、「債務名義取得促進事業」は実績が横ばいであるが、「保証契約」は数年ぶりに実績があった。

・養育費確保支援事業は、事業の周知を行う関係機関を拡大し、周知啓発を行うと共に、将来的には国の推奨する取組みの導入や本市独自の取組みの検討を行う必要がある。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども家庭課
	施策		子育て支援の充実		電話番号	087-839-2353
	取組方針		妊娠期からの子育て支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		ひとり親家庭無料職業紹介事業			

【事業全体概要】

事業概要	・自立支援プログラム策定事業 ひとり親家庭（離婚前を含む）の父母の個々の状況等に対応した自立支援プログラムを策定し、これに基づき、決め細やかで継続的な就労支援を実施する。 ・ひとり親家庭無料職業紹介事業 こども家庭課内に、職業安定法第33条の4第1項の規定による無料職業紹介所を開設し、児童扶養手当資格者に対し、職業紹介や求人情報の提供などを行う。
8年度概要	母子・父子自立支援プログラム策定員兼就業支援専門員2人（会計年度任用職員）を配置し、ひとり親家庭（離婚前を含む）の父母を対象に就労に係るプログラム策定を行う。 また、サポーター企業からの求人を紹介、斡旋するひとり親家庭無料職業紹介を行う。
重点取組事業	市長マニフェスト 関連根拠法令 母子自立支援プログラム策定事業実施要綱（

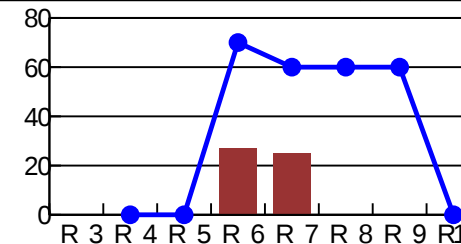
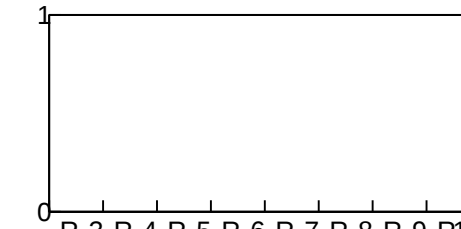
【事業の目的】

対象（何を）	ひとり親家庭の親、離婚予定の親等
意図（どのような状態にしたいか）	就職が困難なひとり親家庭の生活の安定と福祉の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	就労相談件数	件	0	738	409	750	750

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	自立支援プログラム策定件数	件	目標値	0	70	60	60	60
			実績値	0	27	25		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	労働市場が売り手市場であることや、スマートフォン等で手軽に職探しができる環境が整ってきていることなどにより、支援対象数が減少したため、目標に達しなかった。			(目標達成度)				
				41.7%				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
				(得点)				

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	母子・父子自立支援プログラム策定員兼就業支援専門員2人(会計年度任用職員)を配置し、ひとり親家庭(離婚前を含む)の父母を対象に就労に係るプログラム策定を行う。 また、サポーター企業からの求人を紹介、斡旋するひとり親家庭無料職業紹介を行う。	給料 2,902千円 職員手当等 1,289千円 共済費 845千円 需用費 237千円	総額	5,273	
			特定財源	国	749
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	4,524	
令和 8 年度	母子・父子自立支援プログラム策定員兼就業支援専門員2人(会計年度任用職員)を配置し、ひとり親家庭(離婚前を含む)の父母を対象に就労に係るプログラム策定を行う。 また、サポーター企業からの求人を紹介、斡旋するひとり親家庭無料職業紹介を行う。	給料 2,690千円 職員手当等 1,242千円 共済費 882千円 需用費 568千円 役務費 17千円 負担金 13千円	総額	5,412	
			特定財源	国	1,397
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	4,015	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	1	低下している
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%～ 100%)	C	総合点 (率)	52 / 100 (52 %)	今後の方向性	改善
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

就労相談件数としては、令和６年度実績７３８件に対し、４０９件と減少した。プログラム策定件数が減少したのは、労働市場が売り手市場であり、スマートフォン等で就労先を探せるようになってきているため、支援の必要なく希望者が就労できていること、また、離職時及び離婚時に既に就労していて、就職活動する必要がない人が増加したことなどが考えられる。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

売り手市場であったとしても、就労においては不利になる可能性があるひとり親家庭の親の就労支援については一定の需要があるため、事業継続は必要である。人員配置の見直しなど、コスト削減に向けた取組を検討する必要がある。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども家庭課
	施策		子育て支援の充実		電話番号	087-839-2353
	取組方針		妊娠期からの子育て支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		ひとり親家庭子育て支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	ひとり親家庭子育て支援事業 生後6か月から小学校6年生までの子どもを養育するひとり親家庭を対象に、たかまつファミリー・サポート・センターの利用料金の一部を助成する。 ひとり親家庭福祉増進事業 ひとり親家庭の心身の健全な発達に寄与する事業を支援する団体に対して補助金を交付する。			
8年度概要	たかまつファミリー・サポート・センターの利用会員のうち、ひとり親家庭を対象に利用料金（1時間700円）の一部を助成する。 助成額 1時間当たり400円（子ども2人目以降は1時間当たり200円。1か月8,000円を上限に助成。） 市内に事業所又は拠点をもち、ひとり親家庭の心身の健全な発達の向上に寄与する自主的な団体への支援を行う。			
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	高松市ひとり親家庭子育て支援事業補助金交

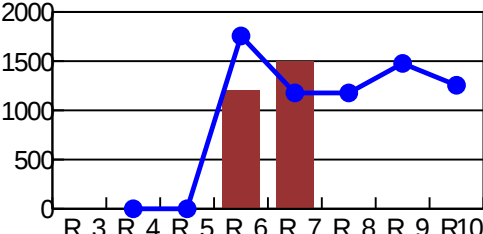
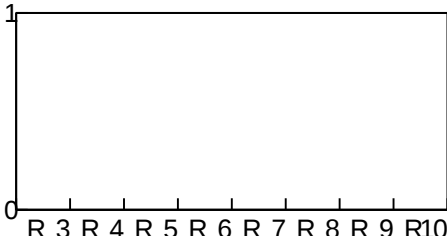
【事業の目的】

対象（何を）	ひとり親家庭の親
意図（どのような状態にしたいか）	ひとり親家庭子育て支援事業　ひとり親及び養育者の就労の支援及び育児の負担の軽減を図る。 ひとり親家庭福祉増進事業　民間団体が実施するひとり親家庭の子どもの心身の健全な発達に寄与する事業を支援することにより、ひとり親家庭の福祉の増進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	利用登録者数	人	0	57	62	62	62

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	利用時間数	時間	目標値	0	1,756	1,177	1,177	1,177
			実績値	0	1,206	1,495		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	本事業の登録者数、総利用時間数共に増加した結果、目標値を300時間以上上回った。	(目標達成度) 127.0%						
	(得点) 35点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
	(得点)							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	4,733	4,664	4,838	5,163
(事業費)	[千円]	969	804	840	1,165
(職員人件費)	[千円]	3,764	3,860	3,998	3,998

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	たかまつファミリー・サポート・センターの利用会員のうち、ひとり親家庭を対象に利用料金(1時間700円)の一部を助成する。 助成額1時間当たり400円(子ども2人目以降は1時間当たり200円。1か月8,000円を上限に助成。) 市内に事業所又は拠点を持ち、ひとり親家庭の心身の健全な発達の向上に寄与する自主的な団体への支援を行う。	562千円	総額	840	
		1314.5時間×400円	特定 財源	国	0
		180.5時間×200円		県	0
		2団体に補助金を支出		市債	0
		278千円		他	278
				一般財源	562
令和 8 年度	たかまつファミリー・サポート・センターの利用会員のうち、ひとり親家庭を対象に利用料金(1時間700円)の一部を助成する。 助成額1時間当たり400円(子ども2人目以降は1時間当たり200円。1か月8,000円を上限に助成。) 市内に事業所又は拠点を持ち、ひとり親家庭の心身の健全な発達の向上に寄与する自主的な団体への支援を行う。	565千円	総額	1,165	
		1255時間×400円	特定 財源	国	0
		312時間×200円		県	0
		3団体に補助金を支出		市債	0
		600千円(200千円×3団体)		他	0
				一般財源	1,165

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

・ひとり親家庭子育て支援事業は、市単独の事業で実施しており、ロゴフォームを利用しての登録（継続）申請の受付を開始することで、来課する手間を省き、より利用しやすい体制を整えた結果、当該事業の登録者及び利用者が増加した。

・ひとり親家庭福祉増進事業は、３団体への補助を予定していたところ、２団体に補助金を交付した。補助団体数は横ばいではあるものの、民間団体の自主的な活動に対する支援であるので、いかに現状を維持するかが課題である。

- ・ひとり親家庭子育て支援事業は、補助事業の利用者数が増加するよう窓口、関係機関に周知を行う。
- ・ひとり親家庭福祉増進事業は、補助団体が実施する事業に参加する市民が増加するよう内容を広報するなど、実施団体の活動が継続できるよう支援する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども保育教育課
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2358
	取組方針	妊娠期からの子育て支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	多子世帯保育料等減免事業			

【事業全体概要】

事業概要	人口減少・少子化の流れを食い止め、若い世代が2人目、3人目の子どもを持ちたいと思えるような施策を推進するため、市独自の幼稚園・保育所等の利用料の第2子以降の多子世帯への上乗せ減免等を実施する。				
8年度概要	○ 保育所・幼稚園・認定こども園・地域型保育事業 0歳～2歳児の子どもが同時に在園する第2子及び18歳未満の第3子以降の無料化を実施				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

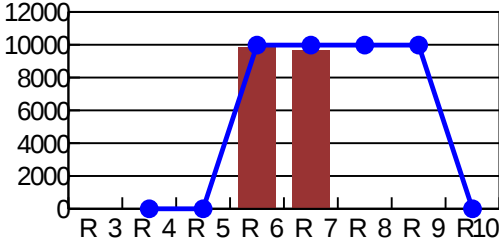
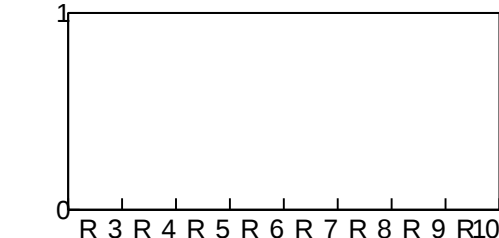
【事業の目的】

対象（何を）	保育所等に同時に在園する第2子及び18歳未満の第3子以降（無料）
意図（どのような状態にしたいか）	子育て世帯の経済的負担を軽減することで、2人目、3人目の子どもを持ちたいと思えるような子育て環境を整備し、出生率の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
減免者数（３月３１日時点）	人	0	7,843	7,260	8,295	8,295

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	入所者数		人	目標値	0	9,978	9,978	9,978	9,978
				実績値	0	9,860	9,638		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	出生率低下に伴い、入園児童数も低下している。		(目標達成度)	96.6%					
			(得点)	34点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			(目標達成度)						
			(得点)						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども保育教育課
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2358
	取組方針	子育て環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	保育士確保対策事業			

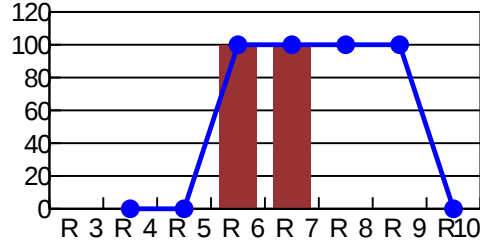
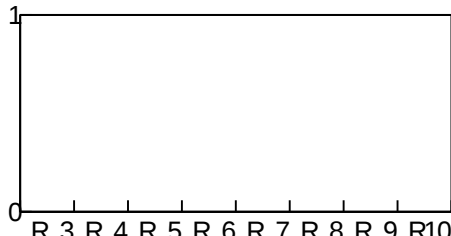
【事業全体概要】					
事業概要	待機児童解消に向けて、公募による認定こども園への移行等を進めているところであるが、一方で保育士の不足により、定員まで児童を受入できない保育所等もある。特に保育士不足傾向にある私立保育所等において、保育士の確保が図られることが喫緊の課題となっていることから、本市独自の保育士確保対策を実施する。				
8年度概要					
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	保育所等利用待機児童
意図（どのような状態にしたいか）	保育士確保が図られることにより、待機児童の確実な解消につなげることができる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助金交付人数	人	0	7	11	13	13

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	待機児童とならなかった人の割合(4月1日現在)	%	目標値	0	100	100	100	100
			実績値	0	99.97	100		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	「高松市こども計画」に基づき、保育所の創設等による受け皿の整備や保育士確保に係る支援策に取り組むことで、目標を達成できた。			(目標達成度) 100.0%		(得点) 35点		
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)		(得点)		

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	8,762	59,224	27,569	0
(事業費)	[千円]	8,009	58,452	26,769	0
(職員人件費)	[千円]	753	772	800	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	保育士就職一時金支給事業 ICT化推進等事業補助金 (国庫補助 1 / 2、事業主負担 1 / 4) 保育士宿舍借上げ支援事業 (国庫補助 1 / 2、事業主負担 1 / 4) 市立保育所等におけるDXの推進	補助金 1, 1 0 0 千円 補助金 1 5 3 千円 事業費 4, 1 1 0 千円 事業費 2 1, 4 0 6 千円	総額	26,769	
			特定財源	国	2,107
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	24,662	
令和 8 年度			総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
成果目標である待機児童とならなかった人の割合は、100%となっており、待機児童減少に繋がっている。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

依然として、年度都途中には待機児童が発生しており、年度を通じた待機児童の解消のため、引き続き、保育士確保に取り組む。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

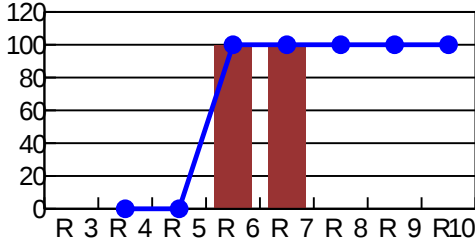
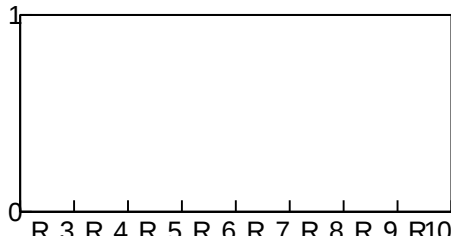
総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども保育教育課
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2358
	取組方針	子育て環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	私立保育所等運営支援事業			

【事業全体概要】					
事業概要	私立保育所等に対し、公定価格に見込まれていない費用等を補助することにより、運営を支援する。				
8年度概要	主な事業内容				
	1 報償費（事務謝金） 2 補助金（保育体制強化事業、使用済み紙おむつ処分費補助） 3 補助金（市単独）				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	児童福祉法、子ども・子育て支援法、香川県	

【事業の目的】	
対象（何を）	私立保育所、私立認定こども園及び地域型保育事業所
意図（どのような状態にしたいか）	私立保育所等に対する補助によって保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
保育体制強化事業及び使用済み紙おむつ処分費補助金	件	0	130	135	160	160

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	待機児童とならなかった人の割合（4月1日現在）	%	目標値 実績値	0 0	100 99.97	100 100	100	100
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	「高松市こども計画」に基づき、保育所の創設等による受け皿の整備や保育士確保に係る支援策に取り組むことで、目標を達成することができた。			（目標達成度） 100.0%				
				（得点） 35点				
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				（目標達成度）				
				（得点）				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	4,495,813	110,725	112,249	127,391
(事業費)	[千円]	4,489,791	103,005	104,253	119,395
(職員人件費)	[千円]	6,022	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	主な事業内容 1 報償費（事務謝金） 2 補助金（保育体制強化事業、使用済み紙おむつ処分費補助） 3 補助金（市単独）	報償費 3 8 , 6 6 4 千円 補助金 6 5 , 5 8 9 千円	総額	104,253	
			特定財源	国	0
				県	37,574
				市債	0
				他	2,165
			一般財源	64,514	
令和 8 年度	主な事業内容 1 報償費（事務謝金） 2 補助金（保育体制強化事業、使用済み紙おむつ処分費補助） 3 補助金（市単独）	報償費 4 1 , 4 7 8 千円 補助金 7 7 , 9 1 7 千円	総額	119,395	
			特定財源	国	0
				県	43,815
				市債	0
				他	0
			一般財源	75,580	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

補助金の交付件数は、保育体制強化事業が4施設、使用済み紙おむつ処分費補助金が1施設、前年度から増加した。

私立保育施設等の状況把握に努め、保育士の負担軽減や保育環境の改善により、保育水準及び入所児童の福祉の向上に取り組んでいく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

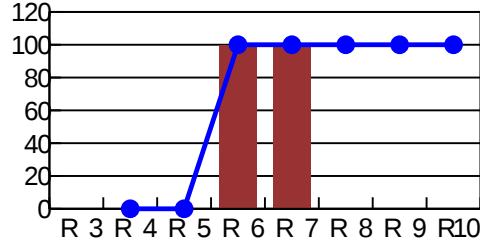
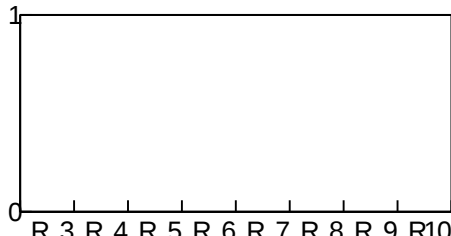
総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども保育教育課
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2358
	取組方針	子育て環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	認可外保育施設支援事業			

【事業全体概要】					
事業概要	認可外保育施設に入所している児童の福祉向上を図るとともに、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、施設に入所している第2子以降の児童の保護者に対して補助する。 また、一定の基準を満たす認可外保育施設を「高松市すこやか認定保育所」として認定し、補助することにより、認可外保育施設の保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。				
	認可外保育施設に入所している児童の福祉向上を図るとともに、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、施設に入所している第2子以降の児童の保護者に対して補助する。 また、一定の基準を満たす認可外保育施設を「高松市すこやか認定保育所」として認定し、補助することにより、認可外保育施設の保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令		

【事業の目的】	
対象（何を）	認可外保育施設、認可外保育施設へ入所している第2子又は第3子以降の児童の保護者
意図（どのような状態にしたいか）	認可外保育施設に対する補助によって、保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。 認可外保育施設へ入所している第2子又は第3子以降の児童の保護者の子育てに係る経済的負担の軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
認可外保育施設補助金交付件数	件	0	8	7	8	8

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	待機児童とならなかった人の割合（4月1日現在）	%	目標値	0	100	100	100	100
			実績値	0	99.97	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	「高松市こども計画」に基づき、保育所の創設等による受け皿の整備や保育士確保に係る支援策に取り組むことで、目標を達成することができた。			（目標達成度） 100.0%				
				（得点） 35点				
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				（目標達成度）				
				（得点）				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	119,451	59,617	60,378	60,875
(事業費)	[千円]	113,429	51,897	52,382	52,879
(職員人件費)	[千円]	6,022	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	認可外保育施設に対し補助することにより、認可外保育施設に入所している児童の福祉向上を図るとともに、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、施設に入所している第2子以降の児童の保護者に対して補助する。 また、一定の基準を満たす認可外保育施設を高松市すこやか認定保育所として認定し補助することにより、認可外保育施設の保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。	認可外保育施設助成(6施設) 5,050千円/すこやか認定保育所助成(2施設) 6,362千円/第2子等保育料助成金 40,724千円/その他 246千円	総額	52,382	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	52,382				
令和 8 年度	認可外保育施設に入所している児童の福祉向上を図るとともに、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、施設に入所している第2子以降の児童の保護者に対して補助する。 また、一定の基準を満たす認可外保育施設を「高松市すこやか認定保育所」として認定し、補助することにより、認可外保育施設の保育水準及び入所児童の福祉の向上を図る。	認可外保育施設助成(6施設) 5,393千円/すこやか認定保育所助成(2施設) 6,576千円/第2子等保育料助成金 40,410千円/その他 500千円	総額	52,879	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	52,879				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

補助金の交付した施設数は、すこやか認定保育所、認可外保育施設ともに、前年度と同数。事業費は、すこやか認定保育所は、ほぼ横ばい、認可外保育施設は、249千円と微増。
また、認可外保育施設入所第2子等保育料助成金の事業費は、315千円の微増。

今後も当該施策の状況を注視し、より効果的な事業となるよう取り組んでいく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども保育教育課
	施策		子育て支援の充実		電話番号	087-839-2358
	取組方針		子育て環境の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		私立幼稚園施設型給付事業			

【事業全体概要】

事業概要	子ども・子育て支援法第27条第1項に基づき、教育・保育給付認定子どもが私立幼稚園（施設型給付費）で特定教育・保育を受けるために要した費用について、施設型給付費を支給するもの。				
8年度概要	私立幼稚園（13施設）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	子ども・子育て支援法ほか

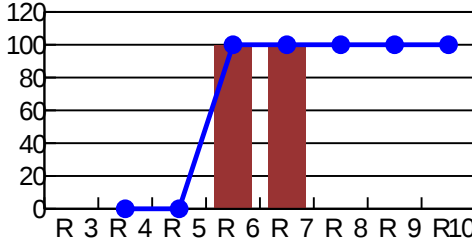
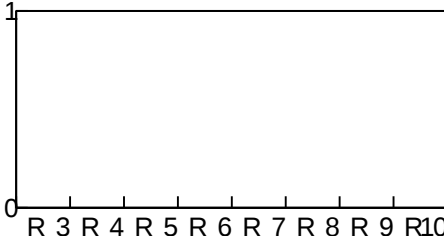
【事業の目的】

対象（何を）	特定教育・保育施設（私立幼稚園）
意図（どのような状態にしたいか）	子ども・子育て支援法第２７条第１項に基づき、教育・保育給付認定子どもが私立幼稚園（施設型給付費）で特定教育・保育を受けるために要した費用について、施設型給付費を支給する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
施設への給付件数	件	0	11	13	11	11

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	待機児童とならなかった人の割合(4月1日現在)		%	目標値	0	100	100	100	100	
				実績値	0	99.97	100			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	「高松市こども計画」に基づき、保育所の創設等による受け皿の整備や保育士確保に係る支援策に取り組むことで、目標を達成することができた。		(目標達成度) 100.0%							
(得点) 35点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	870,234	900,268	1,107,315	1,017,749
(事業費)	[千円]	869,481	895,636	1,102,517	1,012,951
(職員人件費)	[千円]	753	4,632	4,798	4,798

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	私立幼稚園施設型給付費（特別保育事業を含む）11施設	給付費 1,041,448千円 特別保育事業 61,069千円	総額	1,102,517	
			特定財源	国	400,392
				県	343,880
				市債	0
				他	0
			一般財源	358,245	
令和 8 年度	私立幼稚園（13施設）	1,012,951千円	総額	1,012,951	
			特定財源	国	374,791
				県	319,079
				市債	0
				他	0
			一般財源	319,081	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

人事院勧告に準じて公定価格に含まれる人件費が引き上げられたこと及び対象施設が 11 施設から 13 施設へ増えたことから、事業費は増加している。

各幼稚園における子どもの利用状況や国・県等の動向の把握等に努め、幼稚園が安定的な教育・保育を実施できるよう取り組んでいく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども保育教育課
	施策	子育て支援の充実		電話番号	
	取組方針	子育て環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	特別保育事業			

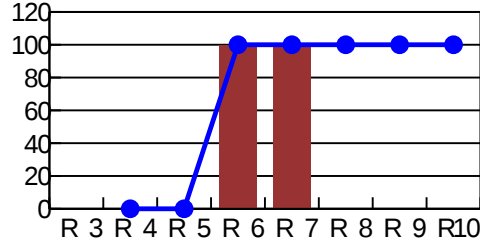
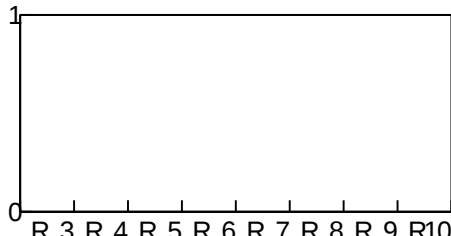
【事業全体概要】					
事業概要	私立保育施設等の子育て支援事業の充実と、未就学児の保護者の子育てと仕事の両立を図るため、延長保育や一時預かり等の特別保育を実施する。				
8年度概要	病児保育事業 延長保育事業 一時預かり事業（一般型・余裕活用型） 一時預かり事業（幼稚園型） 保育所等地域活動事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	児童福祉法、子ども・子育て支援法 ほか

【事業の目的】	
対象（何を）	私立保育所、私立認定こども園及び地域型保育事業所
意図（どのような状態にしたいか）	子育てと仕事の両立や私立保育所、私立認定こども園及び地域型保育事業所における子育て支援事業の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
特別保育の実施箇所数	箇所	0	76	76	79	79

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	待機児童とならなかった人の割合(4月1日現在)	%	目標値 実績値	0 0	100 99.97	100 100	100	100
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	「高松市こども計画」に基づき、保育所の創設等による受け皿の整備や保育士確保に係る支援策に取り組むことで、目標を達成できた。			(目標達成度) 100.0%				
				(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	287,282	187,532	322,224
(事業費)	[千円]	0	274,158	173,939	308,631
(職員人件費)	[千円]	0	13,124	13,593	13,593

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	病児保育事業 延長保育事業 一時預かり事業（一般型・余裕活用型） 一時預かり事業（幼稚園型） 保育所等地域活動事業 地域子育て支援事業	9 , 4 9 0 千円 7 2 , 5 0 4 千円 3 7 , 9 4 7 千円 3 3 , 5 6 0 千円 1 3 , 0 6 9 千円 7 , 3 6 9 千円	総額	173,939	
			特定財源	国	45,838
				県	45,838
				市債	0
				他	0
			一般財源	82,263	
			令和 8 年度	病児保育事業 延長保育事業 一時預かり事業（一般型・余裕活用型） 一時預かり事業（幼稚園型） 保育所等地域活動事業 地域子育て支援事業	9 , 4 4 0 千円 8 9 , 1 9 2 千円 4 2 , 6 2 9 千円 1 3 0 , 0 2 0 千円 2 1 , 1 5 0 千円 1 6 , 2 0 0 千円
特定財源	国	84,730			
	県	84,730			
	市債	0			
	他	0			
一般財源	139,171				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

国庫補助金の基準額の増加に伴い、事業費は増加傾向にある。

私立保育所等の状況や、未就学児の保護者のニーズ等を正確に把握することに努め、引き続き、子育て支援事業の充実と子育てと仕事の両立に取り組んでいく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

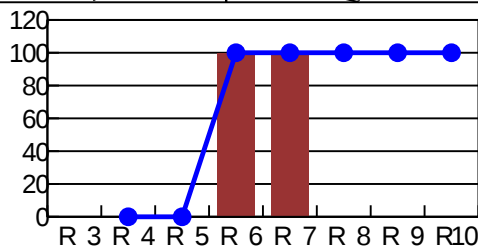
総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども保育教育課
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2358
	取組方針	子育て環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	施設等利用給付事業			

【事業全体概要】					
事業概要	こども園及び幼稚園に通園する園児の保護者に対する経済的負担の軽減を図る。				
8年度概要	市立こども園における預かり保育の無償化 私立こども園及び私立幼稚園における預かり保育の無償化 認可外保育施設利用における保育の無償化 一時預かりにおける無償化 市立幼稚園における預かり保育の無償化				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	施設等利用給付認定の認定を受けた者
意図（どのような状態にしたいか）	子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。

【事業の活動】							
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	年間の利用延べ人数	人	0	29,487	25,161	27,100	27,100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	待機児童とならなかった人の割合(4月1日現在)	%	目標値 実績値	0 0	100 99.97	100 100	100	100
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	「高松市こども計画」に基づき、保育所の創設等による受け皿の整備や保育士確保に係る支援策に取り組むことで、目標を達成することができた。			(目標達成度) 100.0%				
				(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	515,715	407,298	287,202
(事業費)	[千円]	0	500,275	391,306	271,210
(職員人件費)	[千円]	0	15,440	15,992	15,992

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	市立こども園における預かり保育の無償化 私立こども園における預かり保育の無償化 市立幼稚園における預かり保育の無償化 私立幼稚園における授業料及び預かり保育の無償化	9 8 千円 6 3 , 1 1 1 千円 1 , 0 2 8 千円 3 2 7 , 0 6 9 千円	総額	391,306	
			特定財源	国	204,943
				県	100,123
				市債	0
				他	0
			一般財源	86,240	
令和 8 年度	市立こども園における預かり保育の無償化 私立こども園及び私立幼稚園における預かり保育の無償化 認可外保育施設利用における保育の無償化 一時預かりにおける無償化 市立幼稚園における預かり保育の無償化 私立未移行幼稚園における預かり保育の無償化 未移行幼稚園における授業料の無償化	1 5 4 千円 6 0 , 7 6 1 千円 5 5 , 0 5 4 千円 4 0 2 千円 7 6 9 千円 1 5 , 2 4 1 千円 1 3 8 , 8 2 9 千円	総額	271,210	
			特定財源	国	138,162
				県	66,523
				市債	0
				他	0
			一般財源	66,525	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

幼児教育・保育の無償化による保育料、一時預かり事業の無償化を行った。

継続して、保育料及び預かり保育に対する給付を行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども保育教育課
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2358
	取組方針	子育て環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	子どものための教育・保育給付事業			

【事業全体概要】

事業概要	子ども・子育て支援法第27条第1項に基づき、教育・保育給付認定子どもが特定教育・保育施設で特定教育・保育を受けたとき、これに要した費用について施設型給付費及び地域型保育給付費等を支給するもの。				
8年度概要	私立保育所（30施設） 私立認定こども園（32施設） 地域型保育事業（21施設）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	児童福祉法、子ども・子育て支援法 ほか

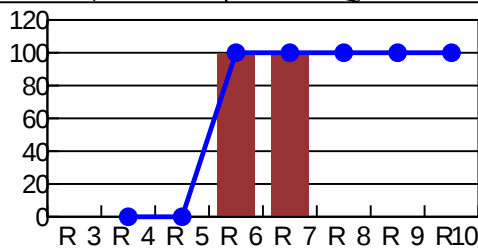
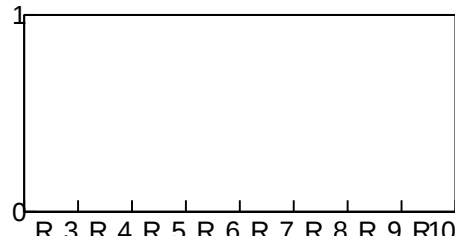
【事業の目的】

対象（何を）	特定教育・保育施設（私立保育所、私立認定こども園、地域型保育事業所及び私立幼稚園）
意図（どのような状態にしたいか）	子ども・子育て支援法第27条第1項に基づき、教育・保育給付認定子どもが特定教育・保育施設で特定教育・保育を受けたとき、これに要した費用について施設型給付費及び地域型保育給付費等を支給する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R5	R6	R7	R8	中期目標 R8
施設への給付件数	件	0	81	81	81	81

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	待機児童とならなかった人の割合（４月１日現在）		%	目標値	0	100	100	100	100
			実績値	0	99.97	100			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	「高松市こども計画」に基づき、保育所の創設等による受け皿の整備や保育士確保に係る支援策に取り組むことで、目標を達成することができた。		（目標達成度） 100.0%						
（得点） 35点									
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
			実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			（目標達成度）						
（得点）									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	10,061,651	10,429,481	11,648,642
(事業費)	[千円]	0	10,038,491	10,405,493	11,624,654
(職員人件費)	[千円]	0	23,160	23,988	23,988

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	私立保育所 (3 2 施設) 私立認定こども園 (2 8 施設) 地域型保育事業 (2 1 施設)	4 , 5 0 5 , 6 2 4 千円 4 , 8 4 3 , 0 0 8 千円 1 , 0 5 6 , 8 6 1 千円	総額	10,405,493	
			特定財源	国	5,242,989
				県	2,209,958
				市債	0
				他	396,922
			一般財源	2,555,624	
令和 8 年度	私立保育所 (3 0 施設) 私立認定こども園 (3 2 施設) 地域型保育事業 (2 1 施設)	4 , 3 6 2 , 6 6 8 千円 6 , 1 9 6 , 5 6 8 千円 1 , 0 6 5 , 4 1 8 千円	総額	11,624,654	
			特定財源	国	5,736,205
				県	2,532,764
				市債	0
				他	408,867
			一般財源	2,946,818	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

人事院勧告に準じ、公定価格上の人件費が引き上げられたことで、事業費が増加した。

各保育施設等における子どもの利用状況や国・県等の動向の把握等に努め、安定的な教育・保育を実施できるよう取り組んでいく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども保育教育課
	施策		子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2358
	取組方針		心身の成長への支援		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		保育所・幼稚園等への芸術士派遣事業			

【事業全体概要】

事業概要	子どもの創造性を育む指導や援助の在り方についての取組を進めるため、絵画や造形などの専門家である芸術士を保育所・こども園・幼稚園へ派遣し、それぞれの芸術分野をいかしながら、子どもが持っている感性や創造力を伸ばしていけるよう導く事業を実施する。 実事業期間 平成21年度～				
8年度概要	芸術士の保育所、幼稚園等への派遣 (派遣先施設 101か所) 内訳 公立保育所等 33か所 私立保育所等 43か所 公立幼稚園 16か所 私立幼稚園等 9か所				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内公私立保育所・こども園・幼稚園
意図（どのような状態にしたいか）	子どもの持つ豊かな感性や創造力を引き出す派遣事業に対して、保育所・こども園・幼稚園がその意義に対する認識を深め、日々の保育にいかせるようになる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
芸術士派遣施設数	施設	0	98	101	100	100

【事業の成果】

	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	芸術士派遣事業実施施設の満足度	%	目標値 実績値	0 0	100 96.938	100 95	100	100
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	施設における満足度は高く、概ね達成できた。			(目標達成度) 95.0%				
				(得点) 33点				
	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	36,354	36,421	34,732	35,275
(事業費)	[千円]	34,849	34,877	33,133	35,275
(職員人件費)	[千円]	1,505	1,544	1,599	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	芸術士の保育所、幼稚園等への派遣 (派遣先施設 1 0 1 か所) 内訳 公立保育所等 3 2 か所 私立保育所等 4 2 か所 公立幼稚園 1 6 か所 私立幼稚園等 1 1 か所 芸術士・保育士等懇談会 年 2 回	委託料 3 3 , 1 3 3 千円	総額	33,133	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	33,133	
令和 8 年度	芸術士の保育所、幼稚園等への派遣 (派遣先施設 1 0 1 か所) 内訳 公立保育所等 3 3 か所 私立保育所等 4 3 か所 公立幼稚園 1 6 か所 私立幼稚園等 9 か所 芸術士・保育士等懇談会 年 2 回	委託料 3 5 , 2 7 5 千円	総額	35,275	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	35,275	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

児童が持っている感性や創造力を伸ばすことができるよう、取り組んだ。

事業の成果を広く周知するとともに、創造性豊かな本市の特徴と、子ども・子育てが融合した取組により、未来を担う子ども達の無限の可能性を引き出ししていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	施設対策室
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2359
	取組方針	子育て環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	保育所・幼稚園等施設整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	子どもが健やかに育つ環境をつくるため、施設の老朽化の状況を踏まえ、認定こども園への移行に向けた、公立保育所・幼稚園の施設整備を実施する。 待機児童の解消を図るため、幼稚園等から認定こども園への移行、私立保育所等の創設等の施設整備に対して支援を行う。 また、保育環境の改善、保育施設の保持等を図るため、私立保育所が実施する大規模修繕等の施設整備に対して支援を行う。				
8年度概要	弦打地区幼保一体化 大規模改修工事及び設計業務委託 計画修繕等 児童福祉施設整備事業利子補給費 私立保育所改築工事補助				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	児童福祉法、学校教育法、子ども・子育て支

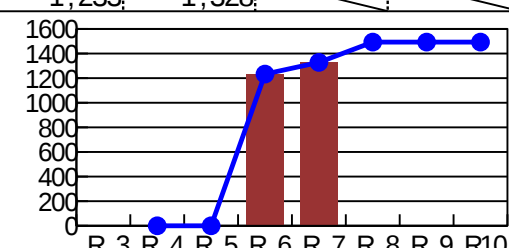
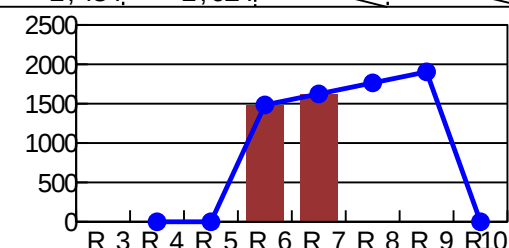
【事業の目的】

対象（何を）	・公立保育所・幼稚園・認定こども園施設 ・施設整備を実施する私立保育所等
意図（どのような状態にしたいか）	教育・保育環境の改善及び施設の保持等を図るため

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
認定こども園整備施設数	施設	0	5	6	7	7
大規模修繕等実施施設数	施設	0	12	14	17	17

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	認定こども園対象児童数	人	目標値	0	1,233	1,328	1,493	1,493
			実績値	0	1,233	1,328		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	幼稚園と保育所の機能や特徴を併せ持つ施設を整備することで、地域の子育て支援が提供できた。		（目標達成度） 100.0% （得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	大規模修繕実施施設対象児童数	人	目標値	0	1,484	1,624	1,764	1,764
			実績値	0	1,484	1,624		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	教育・保育環境の改善により、児童に安心安全な環境を提供できるように努めた。		（目標達成度） 100.0% （得点） 35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	537,171	570,991	1,308,520	522,905
(事業費)	[千円]	523,622	557,095	1,294,127	506,913
(職員人件費)	[千円]	13,549	13,896	14,393	15,992

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	大規模改修工事及び設計業務委託 計画修繕工事等 遊具改修 田井・大町地区幼保一体化 電気工作物改修 トイレ改修 児童福祉施設整備事業利子補給費 その他（消耗品等）	4 0 3 , 2 7 5 千円 8 2 , 8 8 7 千円 8 , 6 8 0 千円 7 8 1 , 9 6 2 千円 6 , 1 1 6 千円 7 , 6 4 3 千円 9 4 0 千円 2 , 6 2 4 千円	総額	1,294,127	
			特定財源	国	38,486
				県	0
				市債	1,058,700
				他	72,000
			一般財源	124,941	
令和 8 年度	弦打地区幼保一体化 大規模改修工事及び設計業務委託 計画修繕等 児童福祉施設整備事業利子補給費 私立保育所改築工事補助 立保育所大規模改修工事補助	6 6 , 7 2 4 千円 2 5 0 , 1 0 3 千円 1 1 9 , 2 7 9 千円 7 8 9 千円 3 3 , 5 6 4 千円 3 6 , 4 5 4 千円	総額	506,913	
			特定財源	国	69,180
				県	0
				市債	346,900
				他	36,000
			一般財源	54,833	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

--

子ども・子育て支援新制度の施行に伴う民間施設の動向により需給調整を図りつつ、幼保連携型認定こども園への移行に伴う整備項目を見直し、統廃合等の整備計画を進める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	運営支援室
	施策		子どもの成長への支援		電話番号	
	取組方針		心身の成長への支援		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		スポーツ士派遣事業			

【事業全体概要】

事業概要	保育施設等にスポーツ指導者を派遣し、就学前の子どもが遊びを通じて、体を動かす楽しさを味わいながら、体力向上と運動習慣の定着につなげる。				
8年度概要					
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	

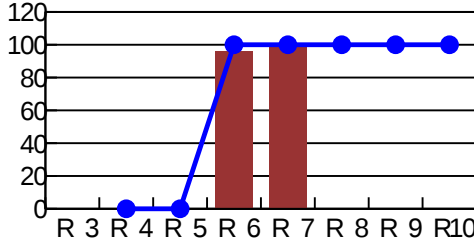
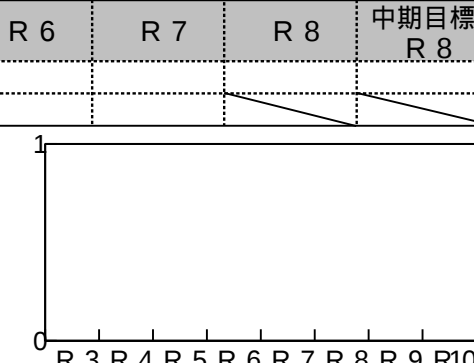
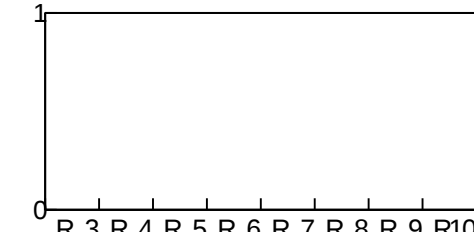
【事業の目的】

対象（何を）	高松市内公私立保育所・こども園、公立幼稚園
意図（どのような状態にしたいか）	スポーツ士を市内の保育施設に派遣し、園児との運動遊びや保育教育士等を対象とした実技指導研修、親子運動教室の実施などに取り組むことで、より質の高い保育の提供につながら、児童の運動習慣の定着や体力向上に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	スポーツ士派遣施設数	施設	0	18	22	30	30

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	児童の運動習慣の形成につながったと感じた割合	%	目標値	0	100	100	100	100
			実績値	0	96.2	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	本事業参加施設 37 施設の全施設が、「つながっている」、「ややつながっている」と回答しており、目標を達成した。	(目標達成度)	100.0%					
(得点)		35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	2,025	2,235	0
(事業費)	[千円]	0	481	636	0
(職員人件費)	[千円]	0	1,544	1,599	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	スポーツ士派遣施設 2 2 施設 親子運動教室参加施設 1 5 施設 保育教育士を対象とした指導方法の実技研修 2 日間実施	事業費 6 3 6 千円 内訳 民生費 5 0 7 千円 教育費 1 2 9 千円	総額	636	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	100
			一般財源	536	
令和 8 年度			総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

市全体の幼児に向け派遣施設の拡充や保育所等において幼児を指導できるスポーツ士の育成などが課題である。

スポーツの指導者不足から、スポーツ士の派遣を希望する全ての施設に派遣することができていないことから、関係団体とも情報共有を図りながら、新たな取り組みについても検討する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	運営支援室
	施策		子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2368
	取組方針		配慮を要する子どもへの支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		発達障がい児等支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	発達障がい等のあるケースに適切に対応するため、市内の公立保育所・こども園及び公立幼稚園に発達障がい児等支援員を配置し、早期に専門的な保育・教育支援や親子支援を行うとともに、専門家による継続した訪問支援を行い、具体的な指導を行うなど、関係機関と連携しながら適切な支援体制を整備する。				
8年度概要	公立保育所及びこども園 35 か所に 76 人、公立幼稚園 17 か所に 21 人、支援員を配置 発達障害児等支援体制構築事業 巡回支援員（専任）41 施設 123 回訪問 報告会の開催（4 回）教職員研修の実施 特別支援保育支援事業 発達障がい児等支援事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	市内の公立保育所・こども園及び公立幼稚園に在園する乳幼児
意図（どのような状態にしたいか）	主に、支援の必要性や緊急性の高い乳幼児を対象として、早期に対応し、生活上の介助や活動上の支援等を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	発達障がい児等支援員配置施設数	箇所	0	54	53	52	52
	発達障がい児等受入施設数（私立保育所等）	箇所	0	46	48	41	41

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	発達障がい児等支援員配置率	%	目標値	0	100	100	100	100
			実績値	0	100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	市内の公立保育所・こども園及び公立幼稚園において、すべての施設について支援員等を配置できている。	(目標達成度)	100.0%					
(得点)		35点						

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	発達障がい児等受入率（私立保育所等）	%	目標値	0	100	100	100	100
			実績値	0	100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	市内の発達障がい児受入可能な私立保育所、私立認定こども園及び地域型保育事業所において、当該施設に入所を希望する発達障がい児を受入れできている、	(目標達成度)	100.0%					
(得点)		35点						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	202,473	325,437	157,737	163,684
(事業費)	[千円]	200,968	323,893	156,138	162,085
(職員人件費)	[千円]	1,505	1,544	1,599	1,599

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	公立保育所及びこども園35か所に74人、公立幼稚園17か所に21人、支援員を配置 発達障害児等支援体制構築事業 巡回支援員(専任)41施設 122回訪問 報告会の開催(4回)教職員研修の実施 特別支援保育支援事業 発達障がい児等支援事業 保育環境充実支援事業	公立保育所等運営事業及び幼稚園管理運営等事業で計上5,500千円(民生費3,410千円、教育費2,090千円) 90,204千円 32,634千円 27,800千円	総額	156,138	
			特定財源	国	2,540
				県	15,170
				市債	0
				他	0
			一般財源	138,428	
令和 8 年度	公立保育所及びこども園35か所に76人、公立幼稚園17か所に21人、支援員を配置 発達障害児等支援体制構築事業 巡回支援員(専任)41施設 123回訪問 報告会の開催(4回)教職員研修の実施 特別支援保育支援事業 発達障がい児等支援事業 保育環境充実支援事業	公立保育所等運営事業及び幼稚園管理運営等事業で計上5,500千円(民生費3,410千円、教育費2,090千円) 85,670千円 24,815千円 46,100千円	総額	162,085	
			特定財源	国	2,560
				県	24,330
				市債	0
				他	0
			一般財源	135,195	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

各施設に支援員を配置し、関係機関等と連携を図りながら、早期に対応することで、支援を必要とする乳幼児一人ひとりのニーズに応じた教育・保育環境を提供することができた。

受入れ施設数は、昨年度４６施設から４８施設に増加した。

令和７年度からの新規事業であり、初年度の補助金を交付した施設数は２６施設であった。

当該事業のうち特に平成26年度から実施することになった発達障がい児等支援体制構築事業等の効果を分析し、より効率的な事業運営となるよう取り組みたい。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども未来館
	施策		子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2571
	取組方針		心身の成長への支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		こども未来館わくわく体験事業			

【事業全体概要】

事業概要	子どもを中心とした幅広い世代の人々の交流、子育てに係る支援並びに学習及び体験活動の場として、子どもの夢や想像力を育むとともに、健やかな成長に資するため、遊びや科学、アートなどの体験活動を提供するイベントプログラムや親子で参加できる体験イベント等の様々な魅力ある事業を提供し、継続的な利用を促進する。				
8年度概要	公募プログラム等：6日 開館記念日イベント：3日 遊び体験プログラム等（通年）：16日				
重点取組事業		市長マニフェスト	1-	関連根拠法令	

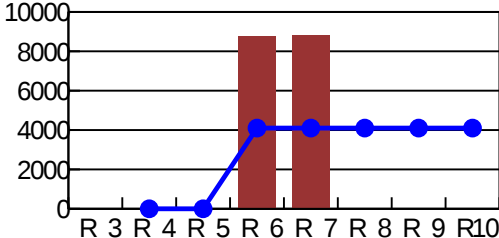
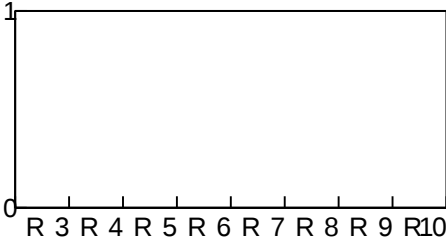
【事業の目的】

対象（何を）	子どもを中心とした幅広い世代の人々
意図（どのような状態にしたいか）	魅力あるイベントプログラムを提供することにより、子どもを中心とした幅広い世代の人々の来館を促すとともに、継続的な利用を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	わくわく体験事業開催日数	日	0	22	24	18	18

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	わくわく体験事業参加者数		人	目標値	0	4,100	4,100	4,100	4,100	
				実績値	0	8,750	8,794			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	わくわく体験事業参加者数は、目標の2.1倍に達した。		(目標達成度) 214.9%							
(得点) 35点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	13,177	13,598	13,916	13,930
(事業費)	[千円]	1,886	2,018	1,922	1,936
(職員人件費)	[千円]	11,291	11,580	11,994	11,994

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	公募プログラム等：6日 こども未来館まつり等 ・開館記念日（11月23日）イベント：1日 ・遊び体験プログラム等（通年）：17日	公募プログラム等：1,659千円 遊び体験プログラム等：263千円	総額	1,922	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	1,922				
令和 8 年度	公募プログラム等：6日 開館記念日イベント：3日 遊び体験プログラム等（通年）：16日	公募プログラム等：1,274千円 開館記念イベント、遊び体験プログラム等：662千円	総額	1,936	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	1,936				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

公募プログラム「ミライエマルシェでおつかい体験」では、おつかい体験を通じて、交通ルール、お金の使い方などを実施し、子どもたちの好評を得た。こども未来館まつりでは、宇宙をぼうけんしよう、バーチャルメーカー ルナシティ、身近なものでロケットを作ろうなど、デジタル技術を活用した宇宙体験ができるイベントを実施した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

今後も公募プログラム等、魅力ある体験型イベントを開催する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども未来館
	施策		子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2571
	取組方針		心身の成長への支援		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		子ども・子育て支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	みんなのひろばとプレイルームを子どもと保護者の居場所として提供するとともに、子ども・子育ての相談に対応する。また、専門相談が必要な場合は、適切な機関に取次ぎを行う。				
8年度概要	- 子ども・子育て支援事業 - 子育てに関する相談・事後対応 - 子どもと保護者の居場所提供事業				
重点取組事業		市長マニフェスト	1-	関連根拠法令	

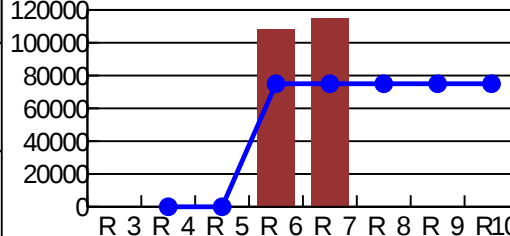
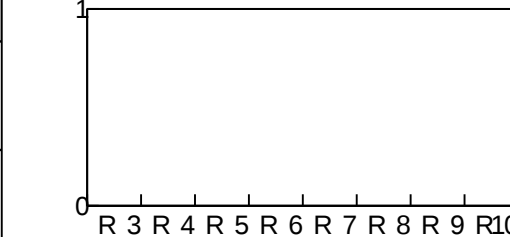
【事業の目的】

対象（何を）	小学校２年生までの子どもと保護者
意図（どのような状態にしたいか）	みんなのひろばとプレイルームを子どもと保護者の居場所として提供し、子どもと親がともに育ち合う子育て支援機能とふれあい・交流による多世代交流機能を果たすことを目的としている。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
みんなのひろば・プレイルームの開室日数	日	0	308	307	308	308

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	みんなのひろば・ブレイルーム利用者数		人	目標値	0	75,000	75,000	75,000	75,000
				実績値	0	108,278	114,869		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	みんなのひろば、ブレイルーム利用者数は、目標の1.5倍に達した。		(目標達成度) 153.2%						
			(得点) 35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			(目標達成度)						
			(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	32,581	44,901	42,097	44,504
(事業費)	[千円]	21,290	33,321	30,103	32,510
(職員人件費)	[千円]	11,291	11,580	11,994	11,994

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	- 子ども・子育て支援事業 - 子育てに関する相談・事後対応 - 子どもと保護者の居場所提供事業	月額・時給パートタイム報酬等29,184千円、遊具等保守点検委託料等412千円、その他需用費等507千円	総額	30,103	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	30,103	
令和 8 年度	- 子ども・子育て支援事業 - 子育てに関する相談・事後対応 - 子どもと保護者の居場所提供事業	月額・時給パートタイム報酬等29,465千円、遊具等保守点検委託料等417千円、その他需用費等2,628千円	総額	32,510	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	32,510	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

利用者が少ない時は利便性向上のため、入替を行わず運営している。今後、利用者が増えた場合、子どもの安全確保のため、状況に応じて入室制限を見直す必要がある。

引き続き、子どもと保護者が気軽にかつ自由に交流できる場として多くの人に利用される施設を目指す。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども未来館
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2571
	取組方針	心身の成長への支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	こども未来館学習体験事業			

【事業全体概要】

事業概要	子どもたちの想像力と探究心を育むことで、健やかな成長に資することを目的として、こども未来館の施設を利用した体験的な学習活動を実施する。また、こども教室の開催やプラネタリウムの投影など、楽しく学べる場所を提供する。				
8年度概要	●学修事業 ・こども未来館学習の実施 ・こども教室の実施 ●体験事業 ・不要品を使ったアート体験プログラムの実施				
重点取組事業		市長マニフェスト	1-	関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の小学校４年生、ただし、学校の状況により５年生以上、学校の希望により中学校を対象に実施できる。瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小・中学生も受け入れ可能。こども教室は小学生以下を対象。
意図（どのような状態にしたいか）	こども未来館の施設を活用した体験的な学習活動を通して、子どもたちの想像力と探究心を育むことで、健やかな成長に資することを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
こども未来館学習参加学校数	校	0	64	64	63	63

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
成果指標	こども未来館学習参加延べ人数	人	目標値	0	4,000	4,000	4,000	4,000
			実績値	0	4,853	4,384		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	6 4 校（瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小学校 1 3 校と市内中学校 4 校を含む）がこども未来館学習に参加し、参加延べ人数は、目標の約 1.1 倍に達した。		(目標達成度) 109.6%					
			(得点) 35点					
成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
成果指標			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)					
			(得点)					

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども女性相談課
	施策		子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2384
	取組方針		配慮を要する子どもへの支援		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		ヤングケアラー支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者（ヤングケアラー）」のうち、学業や交友関係への支障、進路への影響、体力・健康に不安が生じている者を把握し、必要な支援を行う。				
8年度概要	ヤングケアラー・コーディネーターの配置 訪問支援サービス（家事・育児・同行支援） 小中高校生へのリーフレット配布 関係機関への研修による周知啓発 配食見守り事業				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	5-	関連根拠法令	子ども・若者育成支援推進法 □ヤングケアラ

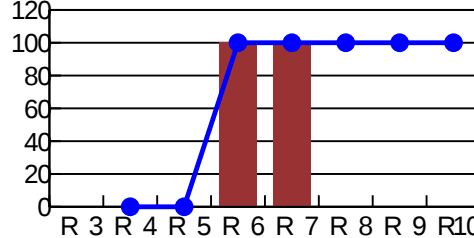
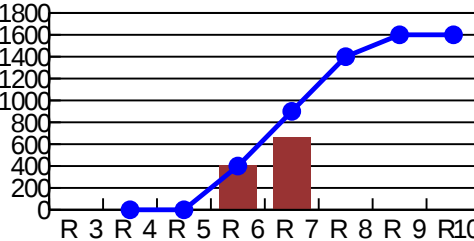
【事業の目的】

対象（何を）	家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者（ヤングケアラー）
意図（どのような状態にしたいか）	ケアが必要な家族がいる状況においても、子どもらしく生活できるよう、ヤングケアラーを早期に把握し支援につなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
周知啓発活動の回数	回	0	100	55	90	90
研修会等の参加数	人	0	665	458	300	300

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	ヤングケアラー対応率		%	目標値	0	100	100	100	100	
				実績値	0	100	100			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	成果指標の目標値を達成できた。		(目標達成度) 100.0%	(得点) 35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	訪問支援延べ回数		回	目標値	0	400	900	1,400	1,400	
				実績値	0	403	664			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	目標の 割となったが、必要な方については必要な回数を行っている。		(目標達成度) 73.8%	(得点) 26点						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	生活衛生課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-839-2865
	取組方針	生活衛生対策の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	害虫駆除事業			

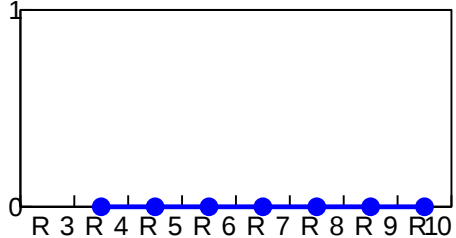
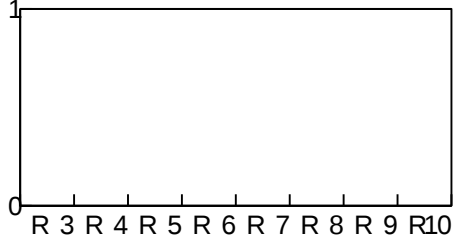
【事業全体概要】					
事業概要	・業務委託による駆除業務（5月中旬～9月末・車両3台 作業員8名） ・分室（直営）による駆除業務（通年・車両2台 作業員6名） ・男木島は分室（直営）による駆除業務（5月～9月） ・女木島は地元コミュニティ協議会に駆除を依頼（5月～9月） ・蚊等衛生害虫に悩まされている市民からの相談（電話・来訪）対応				
	・業務委託による駆除業務（5月中旬～9月末・車両3台 作業員8名） ・分室（直営）による駆除業務（通年・車両2台 作業員6名） ・男木島は分室（直営）による駆除業務（5月～9月） ・女木島は地元コミュニティ協議会に駆除を依頼（5月～9月） ・蚊等衛生害虫に悩まされている市民からの相談（電話・来訪）対応				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	伝染病予防法（全廃）・感染症の予防及び感	

【事業の目的】	
対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	・感染症の原因となる蚊の駆除を行うことにより、感染症の蔓延を未然に防止する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
委託業者作業箇所数	箇所	0	22,157	21,882	13,000	13,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	衛生害虫媒介感染症罹患患者数(海外渡航後発症者除く)	人	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	必要とする用水路等に効率よく作業を行うことにより、感染症患者発生の防ぎ、目標を達成することが出来た。		(目標達成度)	100.0%				
(得点)			35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度)					
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	37,139	41,660	42,837	45,050
(事業費)	[千円]	33,375	37,800	38,839	41,052
(職員人件費)	[千円]	3,764	3,860	3,998	3,998

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・業務委託による駆除業務(5月中旬～9月末・車両3台 作業員8名) ・分室(直営)による駆除業務(通年・車両2台 作業員6名) ・男木島は分室(直営)による駆除業務(5月～9月) ・女木島は地元コミュニティ協議会に駆除を依頼(5月～9月) ・蚊等衛生害虫に悩まされている市民からの相談(電話・来訪)対応	・衛生害虫駆除業務委託料 17,155千円 ・その他薬剤等 714千円 ・報酬等 20,934千円	総額	38,839	
			特定財源	国	18,138
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	20,701	
令和 8 年度	・業務委託による駆除業務(5月中旬～9月末・車両3台 作業員8名) ・分室(直営)による駆除業務(通年・車両2台 作業員6名) ・男木島は分室(直営)による駆除業務(5月～9月) ・女木島は地元コミュニティ協議会に駆除を依頼(5月～9月) ・蚊等衛生害虫に悩まされている市民からの相談(電話・来訪)対応	・衛生害虫駆除業務委託料 17,501千円 ・その他薬剤等 1,065千円 ・報酬等 22,486千円	総額	41,052	
			特定財源	国	18,620
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	22,432	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

感染症の蔓延を防止し、市民の快適な生活環境を維持できている。駆除の必要性の再検討や駆除箇所の精査等により、コストの削減及び事業規模の縮小化を図る。

市民が安全で安心して快適な生活環境を維持できるよう、今後も引き続き事業を継続して実施することとし、実施体制については、委託業者の作業箇所数を精査するなど、コストの削減及び事業規模の縮小化を検討していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	生活衛生課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-839-2865
	取組方針	生活衛生対策の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	公衆浴場施設改善事業等助成事業			

【事業全体概要】

事業概要	風呂のない家庭にとって、公衆浴場は日常生活で欠くことのできない施設であるが、その数は段々と減少しているため、経営の安定化を図るなどの必要な助成を実施することにより、公衆衛生の向上や増進、住民の福祉の向上を図る。				
8年度概要	・公衆浴場業者への水道料金助成 ・公衆浴場活性化事業等補助 ・公衆浴場施設改善事業補助				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	公衆浴場の確保のための特別措置に関する法

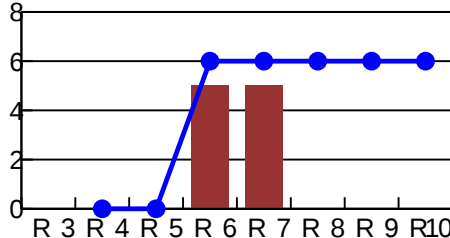
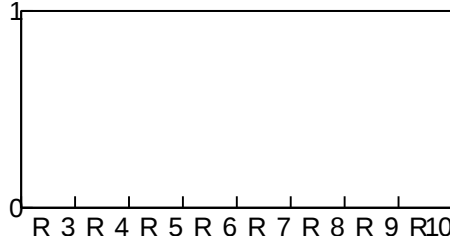
【事業の目的】

対象（何を）	香川県知事が指定する物価統制令により入浴料金が統制されている公衆浴場業者及び高松公衆浴場組合
意図（どのような状態にしたいか）	・公衆浴場業者の経営の安定化を図り、転廃業を防止する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助金交付件数	件	0	1	1	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	一般公衆浴場数（銭湯）	箇所	目標値	0	6	6	6	6	
			実績値	0	5	5			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	施設の老朽化が進んでいるが、補助を行うことにより、計画的に施設改善に取り組んでいる。ただし、一般公衆浴場については、経営者の高齢化に伴い、休止している施設があるため、目標の達成には至らなかった。	(目標達成度)							
(得点)									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値						
			実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
		(目標達成度)							
(得点)									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	12,737	8,831	8,502	8,075
(事業費)	[千円]	10,479	6,515	6,103	5,676
(職員人件費)	[千円]	2,258	2,316	2,399	2,399

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・公衆浴場業者への水道料金助成 ・公衆浴場活性化事業等補助 ・公衆浴場施設改善事業補助 ・一般公衆浴場施設緊急支援事業	・公衆浴場業者への水道料金助成 4,108千円 ・公衆浴場活性化事業等補助金 1,300千円 ・公衆浴場施設改善事業補助金 696千円	総額	6,103	
			特定財源	国	0
				県	348
				市債	0
				他	0
			一般財源	5,755	
令和 8 年度	・公衆浴場業者への水道料金助成 ・公衆浴場活性化事業等補助 ・公衆浴場施設改善事業補助	・公衆浴場業者への水道料金助成 4,376千円 ・公衆浴場活性化事業等補助金 1,300千円 ・公衆浴場施設改善事業補助金 0千円	総額	5,676	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	5,676	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	82 / 100 (82 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

一人でも多くの市民に公衆浴場を利用してもらえるよう毎月イベント事業を実施することで、活性化に取り組んでいる。しかし、経営者の高齢化に加え、燃料費等の高騰により、安定した収入が見込めない上に、後継者不足等により浴場数が減少傾向にあることが、今後の課題としてあげられる。

市民の公衆浴場の利用機会の確保のためには、利用しやすい入浴料金を設定しなければならない。また、物価統制令により入浴料金が統制されているため、値上げによる対応は困難であり、引き続き市の助成は必要である。一方、公衆浴場数の維持のためには、利用者の確保が必要であり、自家用風呂の保有者による利用を促すなど、さらなる利用者の拡大に向けて、公衆浴場組合による銭湯のイベント等において魅力ある事業を展開していく必要がある。今後は、公衆浴場施設経営者の意見や市民のニーズの把握などに努め、助成対象事業の内容を精査するなど、より効果的な事業を実施していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	生活衛生課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-839-2865
	取組方針	動物愛護管理の推進		事業期間	令和 6年度～令和 年度
	事務事業	犬猫一時保管施設整備事業			

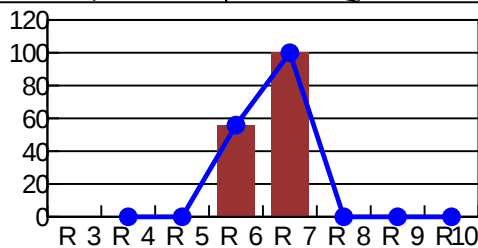
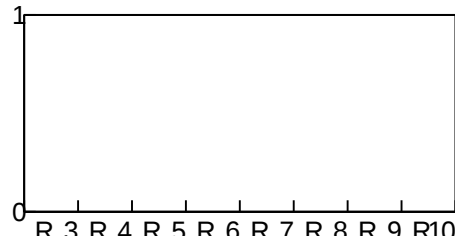
【事業全体概要】					
事業概要	犬・猫の殺処分数が全国ワーストである本市の現状を踏まえ、人と動物が共生できるまちづくりを推進するため、香川県と共同で整備したさぬき動物愛護センター「しっぽの森」を中心に、動物愛護の精神の普及啓発を図るとともに、犬・猫の殺処分数の減少に取り組めるように、犬・猫の一時保管施設を早急に整備する。				
8年度概要					
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	5-	関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	香川県と共同で整備したさぬき動物愛護センターでの譲渡事業につなげ、殺処分数を減らすために、収容した犬・猫の一時保管施設を早急に整備し、これら事業を着実に実施することにより、動物の命の大切さを尊重し、理解し合う「人と動物の調和のとれた共生社会」の実現に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
犬猫一時保管施設単年度整備率	%	0	25.9	100	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	犬猫一時保管施設整備進捗率	%	目標値 実績値	0 0	55.9 55.9	100 100	0	0
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	令和6年度に建設工事に着手し、スケジュール通りに工事が進み、3月に竣工したことにより、目標を達成できた。			(目標達成度) 100.0%				
				(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	47,707	209,429	310,629	27,186
(事業費)	[千円]	38,675	200,165	293,038	0
(職員人件費)	[千円]	9,032	9,264	17,591	27,186

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	犬・猫の殺処分率が全国ワーストである本市の現状を踏まえ、人と動物が共生できるまちづくりを推進するため、香川県と共同で整備したさぬき動物愛護センター「しっぽの森」を中心に、動物愛護の精神の普及啓発を図るとともに、犬・猫の殺処分率の減少に取り組めるように、動物管理ステーションを整備した。	建設設備工事監理業務委託 5 , 4 4 5 千円 建設工事等 2 6 5 , 8 0 1 千円 雑工事 2 6 1 千円 隣接農道舗装復旧工事 2 , 9 0 3 千円 備品購入 1 7 , 4 1 5 千円	総額	293,038	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	218,200
				他	41,859
			一般財源	32,979	
令和 8 年度			総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	完了
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

施設整備が完了したため、適切な運営管理を行っていく。

犬や猫の殺処分数が全国の中でも多い本市の現状を踏まえ、人と動物が共生できるまちづくりを推進するため、香川県と共同で整備した、さぬき動物愛護センター「しっぽの森」を中心に、動物愛護の精神の普及啓発に力を入れ、犬・猫の返還・譲渡をさらに推進する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	保健医療政策課
	施策		健康づくりの推進		電話番号	087-839-2860
	取組方針		健康増進のための環境整備		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		骨髄等移植ドナー支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	骨髄・末梢血幹細胞提供者の増加、及び骨髄等移植の推進を図ることを目的として、公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、ドナー及びドナーが勤務している事業所に対し、骨髄等の提供に要した費用の一部に相当する額を助成する。				
8年度概要	ドナー及びドナーが勤務している事業所への助成				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市骨髄等移植ドナー支援事業助成金交付

【事業の目的】

対象（何を）	20歳以上55歳以下の市民
意図（どのような状態にしたいか）	骨髄等を提供する者の増加及び多くの骨髄等移植の実現を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
ドナーへの助成件数	件	0	3	5	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	高松市のドナー登録者数(市と県の人口割合にて算出)	人	目標値 実績値	0 0	2,050 2,044	2,050 2,080	2,050	2,050
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	パネル展示やリーフレットの配布等を行い、積極的に周知啓発に取り組み、目標を達成した。	(目標達成度)		101.9%				
		(得点)		35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
		(目標達成度)						
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	899	2,566	2,841	3,599
(事業費)	[千円]	146	250	442	1,200
(職員人件費)	[千円]	753	2,316	2,399	2,399

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	ドナー及びドナーが勤務している事業所への助成	・ドナーへの助成 3 9 2 千円 ・ドナーが勤務している 事務所への助成 5 0 千円	総額	442	
			特定財源	国	0
				県	221
				市債	0
				他	0
			一般財源	221	
令和 8 年度	ドナー及びドナーが勤務している事業所への助成	・ドナーへの助成 1 , 0 0 0 千円 ・ドナーが勤務している 事務所への助成 2 0 0 千円	総額	1,200	
			特定財源	国	0
				県	600
				市債	0
				他	0
			一般財源	600	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

ドナーに対する助成件数は4件、事業所に対する助成件数は1件であった。

今後とも、骨髄バンクドナー登録や骨髄等提供制度の普及啓発に取り組むほか、本市の骨髄等移植ドナーに係る助成制度の周知に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	保健医療政策課
	施策		医療体制の充実		電話番号	087-839-2860
	取組方針		地域医療体制の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		災害時医療救護事業			

【事業全体概要】

事業概要	災害時の医療救護体制を確保するため、災害時に応急救護所等で使用する医療資機材及び医薬品等を備蓄するとともに、高松市内３医師会連合会及び高松市歯科医師会が自主事業として実施する、災害時医療救護体制の確保を目的とした活動に対して助成する。				
8年度概要	・災害時に避難所、応急救護所等で使用する薬品等の備蓄 ・災害時の医療救護体制の確保を目的とした活動を行っている、高松市内３医師会連合会及び高松市歯科医師会に対する助成				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

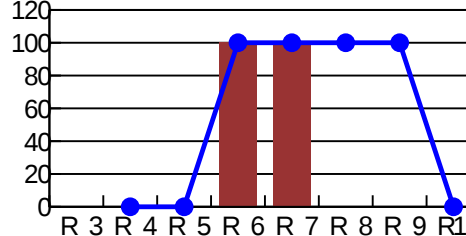
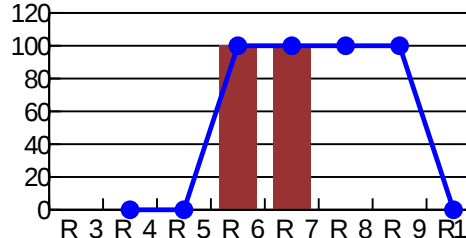
【事業の目的】

対象（何を）	災害時の医療救護体制
意図（どのような状態にしたいか）	災害時の医療救護体制を確保する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
医療救護活動助成件数	件	0	2	2	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	備蓄医薬品のうち有効期限内である医薬品の割合	%	目標値	0	100	100	100	100
			実績値	0	100	100		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	災害時の備蓄医薬品については、計画的に更新を行うことにより、全て有効期限内で適切に管理することができている。	(目標達成度) 100.0%	(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	医療救護活動の実施率	%	目標値	0	100	100	100	100
			実績値	0	100	100		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	災害時の医療救護体制の確保に係る活動の実施率については、いずれの助成対象事業者も計画どおり実施することができた。	(目標達成度) 100.0%	(得点) 35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	2,242	2,246	2,290	2,454
(事業費)	[千円]	737	702	691	855
(職員人件費)	[千円]	1,505	1,544	1,599	1,599

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・災害時に避難所、応急救護所等で使用する薬品等の備蓄 ・災害時の医療救護体制の確保を目的とした活動を行っている、高松市内3医師会連合会及び高松市歯科医師会に対する助成	備蓄医療資機材等 491千円 災害時医療救護活動事業補助金 200千円	総額	691	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	691	
令和 8 年度	・災害時に避難所、応急救護所等で使用する薬品等の備蓄 ・災害時の医療救護体制の確保を目的とした活動を行っている、高松市内3医師会連合会及び高松市歯科医師会に対する助成	備蓄医療資機材等 600千円 災害時医療救護活動事業補助金 200千円 対策会議委員報償費 55千円	総額	855	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	855	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

災害時の医療救護体制の確保を目的として活動を行っている、高松市内3医師会連合会及び高松市歯科医師会に対して助成を行った。また、災害時に応急救護所等で使う医薬品等を備蓄し、随時更新を行い、適切な管理を行っている。

なお、医療救護活動や医薬品の備蓄について、具体的な運用方法を検討する必要がある。

今後とも、災害時に応急救護所等で使用する医療資機材及び医薬品等を備蓄するとともに、高松市内 3 医師会連合会及び高松市歯科医師会が自主事業として実施する、災害時の医療救護体制の確保に係る活動に対して助成し、災害時の医療救護班の派遣体制を確保する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	保健医療政策課
	施策		医療体制の充実		電話番号	087-839-2860
	取組方針		地域医療体制の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		医療安全推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	医療における安全や信頼の確保に加え、医療の質の向上を図るため、医療法に基づき、医療安全支援センターを設置し、医療相談の対応や医療安全推進会議を開催するほか、病院、診療所等の医療監視等を実施する。				
8年度概要	医療安全支援センターの運営（医療相談への対応、医療安全推進会議の開催） 医療機関への立入検査の実施 医療法等に基づく許可申請及び届出への対応 衛生検査所への立入検査の実施 医療関係従事者等からの免許申請及び交付				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	医療法

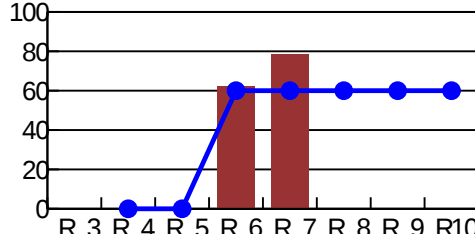
【事業の目的】

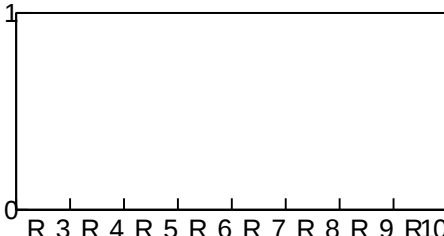
対象（何を）	医療を受ける市民、市内の医療機関
意図（どのような状態にしたいか）	市民の医療への安全の意識及び医療への信頼を高める。 医療機関が法令を遵守した良質な医療を提供できるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
医療相談受付件数	件	0	212	272	250	250

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	相談者の納得度「納得した」の割合	%	目標値	0	60	60	60	60
			実績値	0	62	78.3		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	医療相談に適切に対応した結果、その対応に納得した相談者の割合は、目標を達成した。	(目標達成度)	130.5%					
		(得点)	35点					

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
		(得点)						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	保健医療政策課
	施策	医療体制の充実		電話番号	087-839-2860
	取組方針	地域医療体制の充実		事業期間	令和 7年度～令和 13年度
	事務事業	医師等確保支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	医師や看護師等の医療人材を確保するため、看護師等の養成所や、産科医等に分娩手当を支給する医療機関に対する助成を行う。 また、大学に寄附講座を設置し、高松市立病院における専門性の高い診療科でのフィールドワークを通じて、医学生及び医師等の人材育成や高松地域における医療レベルの向上につなげるとともに、大学における研究開発を推進する。				
8年度概要	看護師等養成所の運営への補助 産科医等確保支援に係る補助 寄附講座の設置				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市産科医等確保支援事業補助金交付要綱

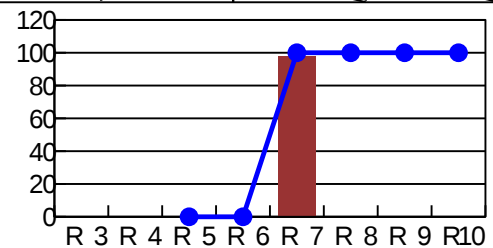
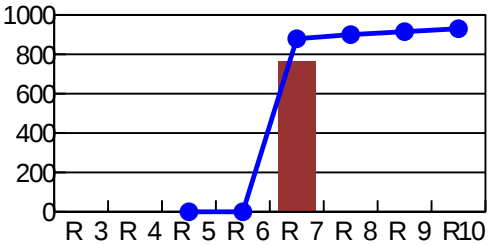
【事業の目的】

対象（何を）	医療を必要とする人
意図（どのような状態にしたいか）	質の高い医療を安定して提供する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
看護師等養成所への補助件数	件	0	0	2	2	2
産科医等に分娩手当を支給する医療機関への補助件数	件	0	0	3	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	看護師等養成所卒業生の資格取得率	%	目標値	0	0	100	100	100
			実績値	0	0	98		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	令和7年度において、養成所卒業生のうち看護師等の資格取得率は98%で、目標値はおおむね達成できた。							
			(目標達成度)	98.0%				
			(得点)	34点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	産科医等確保支援事業補助金助成施設の分娩件数	件	目標値	0	0	879	900	900
			実績値	0	0	762		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	対象医療機関における分娩件数については目標値879件に対し実績は762件で、達成できなかった。							
			(目標達成度)	86.7%				
			(得点)	30点				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)	
トータルコスト	[千円]	0	0	85,832	87,353	
	(事業費)	[千円]	0	0	81,034	82,555
	(職員人件費)	[千円]	0	0	4,798	4,798

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	看護師等養成所の運営への補助 産科医等確保支援に係る補助 寄附講座の設置	補助額 3 , 5 5 5 千円 補助額 7 , 4 1 9 千円 寄附額 7 0 , 0 6 0 千円	総額	81,034	
			特定財源	国	0
				県	5,564
				市債	0
				他	0
			一般財源	75,470	
令和 8 年度	看護師等養成所の運営への補助 産科医等確保支援に係る補助 寄附講座の設置	補助額 3 , 5 5 5 千円 補助額 1 0 , 0 0 0 千円 寄附額 6 9 , 0 0 0 千円	総額	82,555	
			特定財源	国	0
				県	7,500
				市債	0
				他	0
			一般財源	75,055	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

看護師等の養成所、産科医等に分娩手当を支給する医療機関に対する助成や、大学への寄附講座の設置を通じて、医師や看護師等の医療人材の確保に努めた。

今後も、医師や看護師等の医療人材の確保等を講じることにより、質の高い医療の安定した提供に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	保健医療政策課
	施策	医療体制の充実		電話番号	087-839-2860
	取組方針	救急医療体制の充実		事業期間	令和 年度～令和 13年度
	事務事業	救急医療体制確保支援事業			

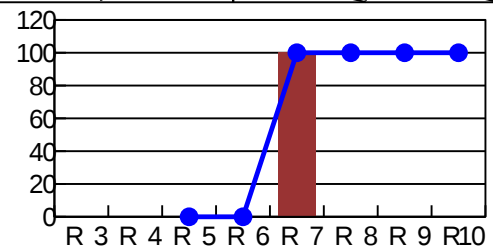
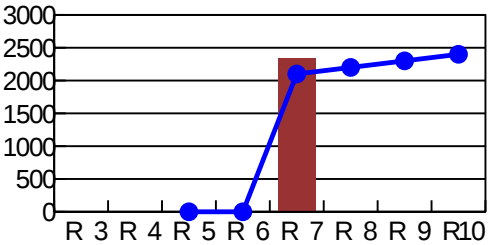
【事業全体概要】					
事業概要		休日・夜間における救急医療体制を確保するため、地区医師会への在宅当番医制の委託や、医療機関等が休日・夜間に診療を行うために必要な費用等に対する助成、夜間急病診療所の開設・運営を行う。			
8年度概要		在宅当番医制事業 病院群輪番制病院運営事業 夜間急病診療所指定管理料 高松市検診等保健医療事業推進補助金 高松市医師会在宅医療連絡協議会事業補助金 休日・夜間救急歯科診療事業補助金 病院群輪番制病院調整事業補助金 病院群輪番制病院設備整備費補助金 駐車場保守管理業務委託料 夜間調剤事業委託料 その他			
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	高松市休日・夜間救急歯科診療事業補助金交	

【事業の目的】	
対象（何を）	休日・夜間における急病患者
意図（どのような状態にしたいか）	休日・夜間において適切な医療を提供する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
病院群輪番制運営事業の補助対象病院件数	件	0	0	8	8	8
休日・夜間における救急歯科診療の補助件数	件	0	0	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	夜間における輪番病院の開設稼働率	%	目標値	0	0	100	100	100
			実績値	0	0	100		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	夜間において、輪番病院が確保できたことから、当初の計画どおり目標を達成することができた。		(目標達成度) 100.0% (得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	休日・夜間における救急歯科診療の延べ患者数	人	目標値	0	0	2,100	2,200	2,200
			実績値	0	0	2,346		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	休日・夜間における救急歯科診療の延べ患者数は、2,346人で目標を達成することができた。(休日歯科診療:1,336人、夜間歯科診療:1,010人)		(目標達成度) 111.7% (得点) 35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	0	338,842	360,125
(事業費)	[千円]	0	0	329,247	350,530
(職員人件費)	[千円]	0	0	9,595	9,595

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	在宅当番医制事業 病院群輪番制病院運営事業 夜 間急病診療所指定管理料 高松市検診等保健医療事業推 進補助金 高松市医師会在宅医療連絡協議会事業補助金 休日・夜間救急歯科診療事業補助金 病院群輪番制 病院調整事業補助金 病院群輪番制病院設備整備費補助 金 駐車場保守管理業務委託料 夜間調剤事業委託料 その他	12,138千円 62,444千円 188,836千円 11,102千円 127千円 12,000千円 900千円 16,071千円 2,587千円 22,000千円 1,042千円	総額	329,247	
			特定財源	国	0
				県	10,777
				市債	3,700
				他	129,223
			一般財源	185,547	
令和 8 年度	在宅当番医制事業 病院群輪番制病院運営事業 夜 間急病診療所指定管理料 高松市検診等保健医療事業推 進補助金 高松市医師会在宅医療連絡協議会事業補助金 休日・夜間救急歯科診療事業補助金 病院群輪番制 病院調整事業補助金 病院群輪番制病院設備整備費補助 金 駐車場保守管理業務委託料 夜間調剤事業委託料 その他	12,207千円 65,002千円 197,961千円 11,102千円 503千円 12,000千円 900千円 34,570千円 2,772千円 12,500千円 1,013千円	総額	350,530	
			特定財源	国	0
				県	23,297
				市債	0
				他	204,575
			一般財源	122,658	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

地区医師会への在宅当番医制の委託や、医療機関等が休日・夜間に診療を行うために必要な費用等に対する助成、夜間急病診療所の開設・運営を行うことにより、休日・夜間における適切な医療の提供につなげた。

引き続き、休日・夜間における救急医療体制を確保するとともに、適切な利用に繋がるよう周知・啓発等に努める必要がある。

今後も、休日・夜間における救急医療体制を確保し、適切な医療を提供するとともに、適切な利用に繋がるよう周知・啓発等に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	健康づくり推進課
	施策		子育て支援の充実		電話番号	087-839-2363
	取組方針		妊娠期からの子育て支援		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		不妊治療支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	令和4年4月からの不妊治療への保険適用開始後も、治療内容によっては従来より自己負担が増える場合がある等の課題を受け、令和4年8月から、保険適用開始後に受けた体外受精・顕微授精（生殖補助医療）の治療及び男性不妊治療に対し、本市独自の新たな助成事業「高松市こうのとり応援事業」を実施する。 また、不育症検査及び治療費用に対する助成を実施する。				
8年度概要	妻の年齢が42歳以下である夫婦が、保険適用開始後に受けた体外受精・顕微授精（生殖補助医療）の治療及び男性不妊治療について、治療費の一部を助成する。 また、不育症検査及び治療を受けた人に対し、費用の一部を助成する。				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	1-	関連根拠法令	高松市こうのとり応援事業実施要綱等

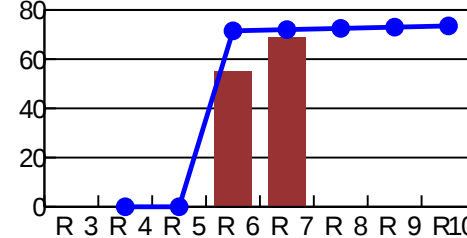
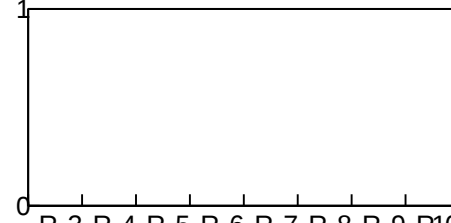
【事業の目的】

対象（何を）	令和４年度からの不妊治療への保険適用開始に伴い、保険適用開始後に体外受精・顕微授精（生殖補助医療）の治療及び男性不妊治療を受けた、妻の年齢が４２歳以下の夫婦。不育症の検査及び治療を受けた人。
意図（どのような状態にしたいか）	子どもを望む夫婦が、保険適用開始後に体外受精・顕微授精（生殖補助医療）等の治療を受けた場合、治療費の一部を助成することにより、また、不育症検査及び治療を受けた人に対し費用の一部を助成することにより、その経済的負担を軽減する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
各助成事業の助成件数	件	0	358	449	480	480

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	申請者アンケートで経済負担が減り助かると答えた割合	%	目標値 実績値	0 0	71.5 55	72 69	72.5	72.5
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	アンケート回答者のうち69%の方が、経済的負担が軽減したと回答しており、目標の達成には至らなかった。		(目標達成度) 95.8%					
			(得点) 34点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	36,620	34,821	38,615	35,578
(事業費)	[千円]	28,340	26,329	29,819	26,782
(職員人件費)	[千円]	8,280	8,492	8,796	8,796

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	妻の年齢が42歳以下の夫婦が保険適用開始後に受けた体外受精・顕微授精(生殖補助医療)の治療及び男性不妊治療に対して助成を行う「高松市こうのとりのり応援事業」を実施。 また、不育症検査及び治療を受けた夫婦に対し、費用の一部を助成する。	生殖補助医療費への助成 29,177千円 不育症検査への助成 72千円 不育症治療費等への助成 570千円	総額	29,819	
			特定財源	国	36
				県	2,833
				市債	0
				他	20,755
			一般財源	6,195	
令和 8 年度	妻の年齢が42歳以下である夫婦が、保険適用開始後に受けた体外受精・顕微授精(生殖補助医療)の治療及び男性不妊治療について、治療費の一部を助成する。 また、不育症検査及び治療を受けた人に対し、費用の一部を助成する。	生殖補助医療費への助成 26,440千円 不育症検査への助成 84千円 不育症治療費等への助成 258千円	総額	26,782	
			特定財源	国	42
				県	2,225
				市債	0
				他	0
			一般財源	24,515	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

不妊治療への保険適用に伴い、かえってこれまでより医療費の自己負担額が増えてしまうケース等への支援のため、本市独自の助成事業「高松市こうのとりの応援事業」を実施した。また、不育症治療費等助成制度については年齢条件を廃止し、対象範囲を拡大した。今後も申請者からのアンケート等によりニーズの把握に努め、施策の充実を図っていく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

不妊や不育症で悩む方のニーズ等を捉えて市の施策に反映するよう努める。今後とも、国における制度改革等に適切に対応しつつ、引き続き、子どもを望む夫婦への支援の充実を図っていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	健康づくり推進課
	施策		子育て支援の充実		電話番号	087-839-2363
	取組方針		妊娠期からの子育て支援		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		妊娠期からの子育て世代包括支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	子育て期にある若い世代が安心して妊娠、出産、子育てができる環境の実現を目指し、妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズの支援のために、総合的相談支援を提供するワンストップ拠点（こども家庭センター）を整備し、母子保健コーディネーターによる切れ目ない支援を実施する。 また、産後ケア事業、産婦健康診査、多胎妊産婦支援事業、妊婦のための支援給付、初回産科受診料助成事業の実施及び電子母子健康手帳の運用を行う。				
8年度概要	こども家庭センターの運営 産後ケア事業 産婦健康診査 電子母子健康手帳運用 多胎妊産婦支援事業 妊婦のための支援給付 初回産科受診料助成事業				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	1-	関連根拠法令	子ども・子育て支援法

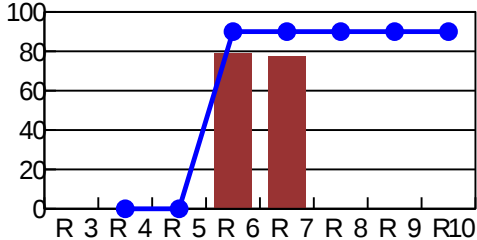
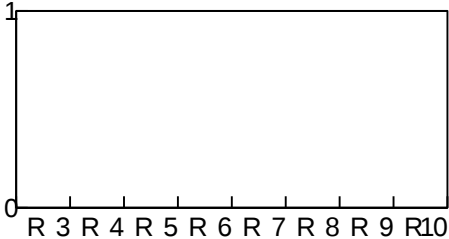
【事業の目的】

対象（何を）	妊娠期から子育て期にある子育て世代
意図（どのような状態にしたいか）	妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援を実施する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	母子保健相談件数	件	0	20,739	19,668	20,000	20,000
	母子保健コーディネート件数	件	0	9,647	12,168	8,700	8,700

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	ハイリスク妊婦支援率		%	目標値	0	90	90	90	90	
				実績値	0	79.2	77.5			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	支援が必要な妊婦の増加に伴い、連絡がつきにくい対象者や 転出ケースが増え、目標値に届かなかった。		(目標達成度)	86.1%						
(得点)			30点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	444,952	252,750	573,288	469,045
(事業費)	[千円]	377,209	183,270	501,324	397,081
(職員人件費)	[千円]	67,743	69,480	71,964	71,964

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	こども家庭センターの運営 ・総合的相談支援の実施、関係機関との連絡、調整 ・要支援妊婦における支援プランの作成及び実施 ・子育て世代包括支援ネットワーク会議の開催 産後ケア事業 産婦健康診査 電子母子健康手帳運用 多胎妊産婦支援事業 出産・子育て応援給付金、妊婦のための支援給付事業 初回産科受診料助成事業	139千円 50,974千円 25,713千円 660千円 556千円 423,272千円 10千円	総額	501,324	
			特定財源	国	383,173
				県	39,415
				市債	0
				他	400
			一般財源	78,336	
令和 8 年度	こども家庭センターの運営 産後ケア事業 産婦健康診査 電子母子健康手帳運用 多胎妊産婦支援事業 妊婦のための支援給付 初回産科受診料助成事業	159千円 57,267千円 24,959千円 660千円 477千円 313,519千円 40千円	総額	397,081	
			特定財源	国	342,896
				県	20,162
				市債	0
				他	0
			一般財源	34,023	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

今後の課題：こども家庭センターの設置により関係機関との更なる連携強化、産後ケア事業、妊婦のための支援給付、多胎妊産婦支援事業等の円滑な実施 事業方針：ニーズの把握に努め、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を目指す。
--

妊婦のための支援給付事業や伴走型相談支援で包括的に支援するとともに、こども家庭センターの設置により、母子保健コーディネーターと関係機関とが顔の見える関係を築き、お互いに情報共有しながら更なる連携強化に努め、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない相談支援を目指す。

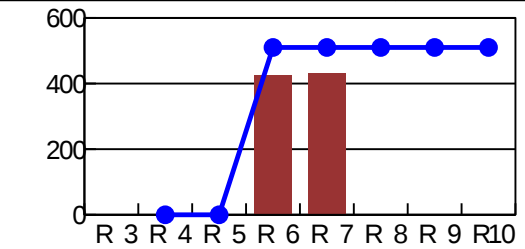
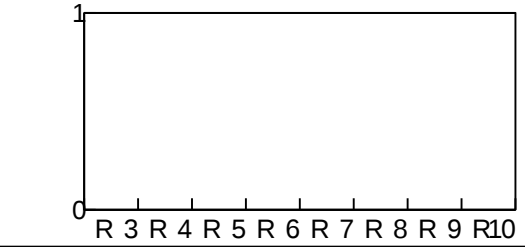
令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2363
	取組方針	妊娠期からの子育て支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	各種医療給付事業			

【事業全体概要】						
事業概要	小児慢性特定疾病対策事業、身体障害児童育成医療等給付事業、未熟児養育医療給付事業：各事業の対象疾患又は障害等により療養を必要とする児童の健全な育成を図るため、その治療に係る費用の一部を助成する。 妊娠高血圧症候群医療給付事業：母体保護と経済的負担を軽減するため、その治療に係る費用の一部を助成する。					
	小児慢性特定疾病対策事業、身体障害児童育成医療等給付事業、未熟児養育医療給付事業：対象者からの申請に基づき、申請書類等の内容を審査の上、医療受診券を交付し、現物給付を行う。 妊娠高血圧症候群医療給付：対象者からの申請に基づき、申請書類等の内容を審査の上、現物支給を行う。					
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	母子保健法、児童福祉法、総合支援法		

【事業の目的】						
対象（何を）	各医療給付事業の条件を満たす者。					
意図（どのような状態にしたいか）	小児慢性特定疾病対策事業、身体障害児童育成医療等給付事業、未熟児養育医療給付事業：各事業の対象疾患又は障害等による療養に必要な費用の一部を助成し、経済的負担を軽減する。 妊娠高血圧症候群医療給付事業：母体保護と経済的負担を軽減する。					

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
各事業の給付件数		件	0	4,018	4,059	4,900

【事業の成果】						
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	中期目標 R 8
	各事業の支給認定（決定）件数	件	目標値	0	510	510
			実績値	0	424	430
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					
	市ホームページ等により制度の周知を行っているが、目標の達成には至らなかった。		（目標達成度） 84.3% （得点） 30点			
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	中期目標 R 8
			目標値			
			実績値			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					
			（目標達成度） （得点）			

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	122,120	139,776	135,447	120,744
(事業費)	[千円]	107,819	125,108	120,255	105,552
(職員人件費)	[千円]	14,301	14,668	15,192	15,192

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	小児慢性特定疾病対策事業、身体障害児童育成医療等給付事業、未熟児養育医療給付事業：対象者からの申請に基づき、申請書類等の内容を審査の上、医療受診券を交付し、現物給付を行う。 妊娠高血圧症候群医療給付：対象者からの申請に基づき、申請書類等の内容を審査の上、現物支給を行う。	身体障害児童育成医療等給付費 9,204千円 未熟児養育医療給付費 30,184千円 小児慢性特定疾病医療助成費 80,841千円 妊娠高血圧症候群医療給付費 26千円	総額	120,255	
			特定財源	国	48,953
				県	7,762
				市債	0
				他	0
			一般財源	63,540	
令和 8 年度	小児慢性特定疾病対策事業、身体障害児童育成医療等給付事業、未熟児養育医療給付事業：対象者からの申請に基づき、申請書類等の内容を審査の上、医療受診券を交付し、現物給付を行う。 妊娠高血圧症候群医療給付：対象者からの申請に基づき、申請書類等の内容を審査の上、現物支給を行う。	身体障害児童育成医療等給付費 7,699千円 未熟児養育医療給付費 25,840千円 小児慢性特定疾病医療助成費 71,991千円 妊娠高血圧症候群医療給付費 22千円	総額	105,552	
			特定財源	国	48,501
				県	7,179
				市債	0
				他	0
			一般財源	49,872	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	80 / 100 (80 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

小児慢性特定疾病対策事業、身体障害児童育成医療等給付事業、未熟児養育医療給付事業：各事業の対象疾病又は障害等により療養を必要とする児童の健全な育成を図るため、その治療に係る費用の一部を助成した。

国等の制度内容を踏まえ、支給要件等の再確認を行うなど、適正な支給に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	健康づくり推進課
	施策		子育て支援の充実		電話番号	087-839-2363
	取組方針		妊娠期からの子育て支援		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		母子健康相談事業			

【事業全体概要】

事業概要	妊娠期から出産、乳幼児期を通し、適切な時期に、保健指導、健康相談、各種健康教室を実施することで、母子の健全な育成と安心・安全に育児できる環境を整える。				
8年度概要	妊娠期：はじめてのパパママ教室、さくらんぼ教室（マタニティ編） 乳幼児期：4か月児相談、乳児相談、ことば相談、のびのび教室、ひまわり個別相談、さくらんぼ教室（子育て編）等				
重点取組事業		市長マニフェスト	1-	関連根拠法令	母子保健法

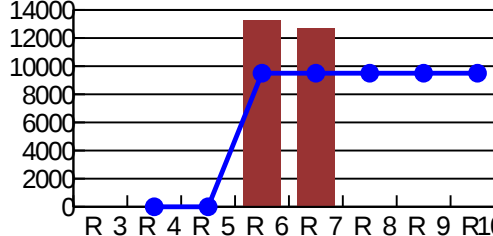
【事業の目的】

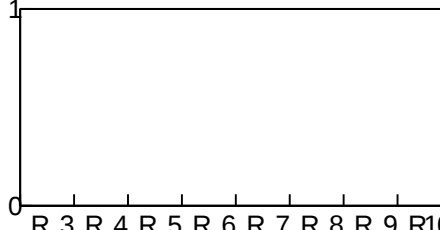
対象（何を）	妊産婦及び乳幼児
意図（どのような状態にしたいか）	妊産婦の育児不安感や負担等を軽減し、母子の健全育成を支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
各事業開催回数	回	0	3,431	3,619	3,300	3,300

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	各事業参加者数	人	目標値	0	9,500	9,500	9,500	9,500
			実績値	0	13,268	12,721		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	事業開催回数、参加者数ともに目標を上回った。	(目標達成度)	133.9%					
(得点)		35点						

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	54,876	56,176	56,318	62,248
(事業費)	[千円]	10,467	10,628	9,142	15,072
(職員人件費)	[千円]	44,409	45,548	47,176	47,176

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	妊娠期：はじめてのパパママ教室、さくらんぼ教室（マタニティ編） 乳幼児期：4か月児相談、乳児相談、ことば相談、のびのび教室、ひまわり個別相談、さくらんぼ教室（子育て編）等	母子健康教育費 278千円 母子相談指導費 6,400千円 母子栄養健康づくり費 2,464千円	総額	9,142	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	9,142	
令和 8 年度	妊娠期：はじめてのパパママ教室、さくらんぼ教室（マタニティ編） 乳幼児期：4か月児相談、乳児相談、ことば相談、のびのび教室、ひまわり個別相談、さくらんぼ教室（子育て編）等	母子健康教育費 283千円 母子相談指導費 12,450千円 母子栄養健康づくり費 2,339千円	総額	15,072	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	15,072	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

コロナ禍以降、事業の実施回数・参加人数は増加しているが、今後も事業内容や実施方法について、対象者のニーズを取り入れながら検討し、継続支援していく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
事業内容や方法について、対象者のニーズを取り入れながら検討し、継続支援していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2363
	取組方針	妊娠期からの子育て支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	こんにちは赤ちゃん事業（新生児訪問指導）			

【事業全体概要】

事業概要	乳児の健全な育成環境の確保を図るため、生後間もない乳児（生後4か月未満）がいる家庭を助産師や保健師などが家庭訪問し、専門的な立場から様々な悩みを聞き、子育て支援に関する情報の提供、母子の養育環境等の把握や助言を行うとともに、支援が必要な家庭に対し適切なサービスの提供につなげる。				
8年度概要	妊産婦及び新生児等のいる全家庭約2,700件を訪問し、地域の育児支援情報の提供等により育児不安等を軽減し、育児支援を実施する。				
重点取組事業		市長マニフェスト	1-	関連根拠法令	母子保健法、児童福祉法

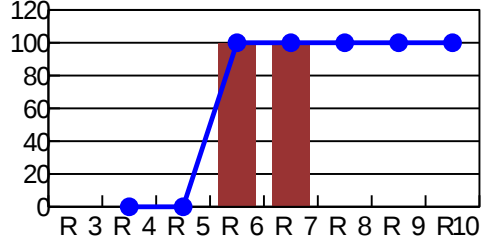
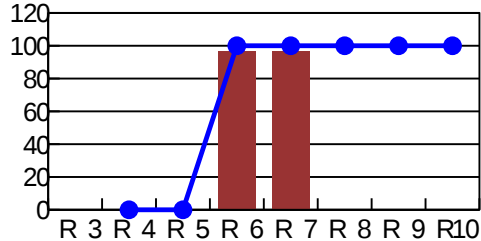
【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の新生児と産婦
意図（どのような状態にしたいか）	産婦の悩みを聞いたり、子育て支援に関する情報の提供、母子の養育環境等の把握や助言、支援を行うとともに適切なサービスの提供につなげ、子どもが健やかに生まれ育つ環境を整える。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
産婦訪問数	人	0	2,649	2,654	2,410	2,410
新生児訪問数	人	0	2,485	2,570	2,410	2,410

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	母子の状況把握率	%	目標値	0	100	100	100	100
			実績値	0	99.9	99.9		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	電話や訪問等での状況把握に努め、目標をほぼ達成できた。		（目標達成度） 99.9% （得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	訪問実施率	%	目標値	0	100	100	100	100
			実績値	0	96.5	96.7		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	母子健康手帳の交付時から事業の周知に努め、目標値に近い形で支援できた。		（目標達成度） 96.7% （得点） 34点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	37,315	40,366	42,151	42,945
(事業費)	[千円]	24,519	27,242	28,558	29,352
(職員人件費)	[千円]	12,796	13,124	13,593	13,593

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	妊産婦及び新生児等のいる全家庭約2,800件を訪問し、地域の育児支援情報の提供等により育児不安等を軽減し、育児支援を実施する。	助産師会委託料 9,538千円 嘱託保健師(報酬) 18,810千円 通信運搬費その他 210千円	総額	28,558	
			特定財源	国	6,853
				県	6,861
				市債	0
				他	0
一般財源	14,844				
令和 8 年度	妊産婦及び新生児等のいる全家庭約2,700件を訪問し、地域の育児支援情報の提供等により育児不安等を軽減し、育児支援を実施する。	助産師会委託料 10,244千円 嘱託保健師(報酬) 18,809千円 通信運搬費その他 299千円	総額	29,352	
			特定財源	国	7,160
				県	7,160
				市債	0
				他	0
一般財源	15,032				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	95 / 100 (95 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
費用対効果、貢献度共に変わらない。引き続き、訪問実施率 1 0 0 %を目指す。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりに有効な事業であるため、継続実施する。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	健康づくり推進課
	施策		健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	取組方針		健康増進のための環境整備		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		自殺対策推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	自殺者数は減少傾向にあるが、依然として高い水準にある。自殺予防対策として、うつ病やアルコール関連問題等のセミナーの開催や自殺予防についてリーフレットを配布するなど広く市民に啓発を行う。また、庁内連絡会の開催や職員研修の実施及び相談業務に従事する保健師等の人材育成を図るため、研修会を実施し、相談技術のスキルアップを図る。 ひきこもり対策を推進するため、ひきこもり相談、ひきこもり当事者のための居場所、ひきこもりサポーター派遣事業を実施する。				
8年度概要	自殺対策強化事業 こころの健康相談、若者啓発事業、自殺対策職員養成研修、家族教室、地域・職域啓発事業、自殺対策強化月間等啓発、自殺予防相談支援事業 ひきこもり対策事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	自殺対策基本法、生活困窮者自立支援法

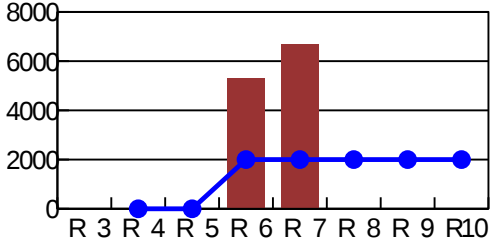
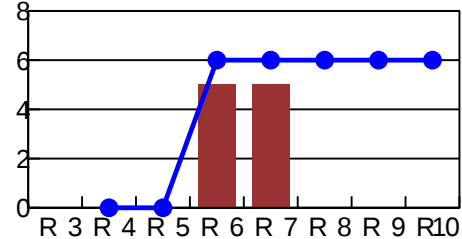
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民の心の健康や自殺についての関心を高め、心の不調に気づき、ゲートキーパーの役割が担える人を増やす。うつ病や休養、アルコールなどについての理解を深めるための啓発を実施し、自殺が減少する

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
啓発活動の実施回数	回	0	329	163	230	230
ひきこもりサポーター派遣回数	回	0	30	28	30	30

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	健康教育の参加者数		人	目標値	0	2,000	2,000	2,000	2,000	
				実績値	0	5,298	6,672			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	こころの健康・休養・睡眠・飲酒及びゲートキーパー等をテーマに、Youtubeや地域で大勢が集まる機会等で健康教育を行い、目標を達成した。		(目標達成度) 333.6%							
(得点) 35点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	ひきこもりサポーターが訪問支援した人数		人	目標値	0	6	6	6	6	
				実績値	0	5	5			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	昨年度から引き続きのケース5人に派遣を行った。目標には達しなかったが、派遣につながる可能性があるケースには積極的に情報提供し、支援につなげていく必要がある。		(目標達成度) 83.3%							
(得点) 29点										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	26,322	27,597	28,583	28,891
(事業費)	[千円]	5,246	5,981	6,194	6,502
(職員人件費)	[千円]	24,188	21,616	22,389	22,389

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	自殺対策強化事業 こころの健康相談、若者啓発事業、自殺対策職員養成研修、家族教室、地域・職域啓発事業、自殺対策強化月間等啓発、自殺予防相談支援事業 ひきこもり対策事業	5 , 1 7 7 千円 1 , 0 1 8 千円	総額	6,194	
			特定財源	国	508
				県	2,623
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,063	
令和 8 年度	自殺対策強化事業 こころの健康相談、若者啓発事業、自殺対策職員養成研修、家族教室、地域・職域啓発事業、自殺対策強化月間等啓発、自殺予防相談支援事業 ひきこもり対策事業	5 , 3 1 1 千円 1 , 1 9 1 千円	総額	6,502	
			特定財源	国	593
				県	2,705
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,204	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

第2期高松市自殺対策計画に基づき、庁内各課をはじめ関係機関・団体と連携し、自殺対策を推進していく。

令和6年3月に「第2期高松市自殺対策計画」が策定され、高松市をはじめ関係機関・団体と協働し自殺対策を推進していく。健康づくり推進課ではゲートキーパー、睡眠、アルコール依存症等についての啓発や若年層への啓発を重点的に行う。また、ひきこもりへの支援においては、関係機関との連携を図るとともに、「ひきこもり相談窓口」「ひきこもり当事者のための居場所」を事業委託し、ひきこもりサポーターを活用しながら実施する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	健康づくり推進課
	施策		健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	取組方針		健康増進のための環境整備		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		地域保健推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	地区組織の高松市保健委員会連絡協議会に対し、運営助成を行うなど、密接に連携を図りながら、地域に密着したきめ細やかな保健活動を推進する。「高松市民健康の日」に健康都市推進ビジョンの啓発を行い、健康づくりの意識啓発を行う。また、市民献血の推進と献血思想の普及啓発を行う。 また、地域及び企業等に健康運動指導士等を派遣して運動教室を開催する。				
8年度概要	保健委員会連絡協議会に対し補助金を交付し、研修会・ブロック会の開催、保健委員会だよりを発行し、健康づくりを主体的に取り組んでいくよう支援する。健康都市推進のため、組織を通じて健康づくりを支援する。 また、地域及び企業等に健康運動指導士を派遣して運動教室を開催する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	地域保健法

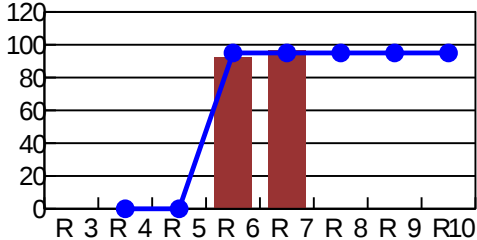
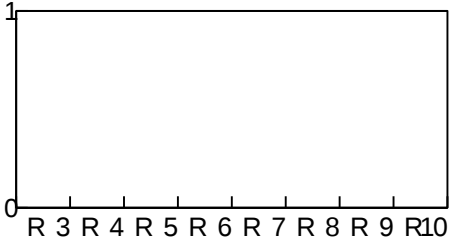
【事業の目的】

対象（何を）	市内の地区保健委員 市民
意図（どのような状態にしたいか）	地域保健組織の活性化を図り、地域での主体的な健康づくりを推進する。 市民に献血思想を普及する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
研修会・ブロック会等開催回数	回	0	274	271	290	290

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	研修会等参加者の満足度		%	目標値	0	95	95	95	95	
				実績値	0	92.6	96.8			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	アンケートを実施した研修会等参加者の満足度を平均すると96.8%で目標を達成した。		(目標達成度)	101.9%						
(得点)			35点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	7,696	8,030	8,243	8,401
(事業費)	[千円]	1,674	1,854	1,846	2,004
(職員人件費)	[千円]	6,022	6,176	6,397	6,397

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	保健委員会連絡協議会に対し補助金を交付し、研修会・ブロック会の開催、保健委員会だよりを発行し、健康づくりを主体的に取り組んでいくよう支援する。健康都市推進のため、組織を通じて健康づくりを支援する。 また、地域及び企業等に健康運動指導士を派遣して運動教室を開催する。	健康都市推進ビジョン推進事業 100千円 市長感謝状 5千円 保健委員会連絡協議会補助金 1,000千円 運動教室(派遣) 741千円	総額	1,846	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	740
			一般財源	1,106	
令和 8 年度	保健委員会連絡協議会に対し補助金を交付し、研修会・ブロック会の開催、保健委員会だよりを発行し、健康づくりを主体的に取り組んでいくよう支援する。健康都市推進のため、組織を通じて健康づくりを支援する。 また、地域及び企業等に健康運動指導士を派遣して運動教室を開催する。	健康都市推進ビジョン推進事業 139千円 市長感謝状 7千円 保健委員会連絡協議会補助金 1,000千円 運動教室(派遣) 858千円	総額	2,004	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	841
			一般財源	1,163	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

地域及び企業・事業所等の職域に対して健康運動指導士等を派遣する運動教室や、保健委員に向けた研修会等を274回実施した。参加者の満足度は高く好評を得た。

保健委員会組織に対して、地域で、より主体的な事業展開ができるように働きかけていく。また、地域や企業等に健康運動指導士等を派遣し、運動教室を開催することにより、運動するきっかけを作り健康づくりを推進していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

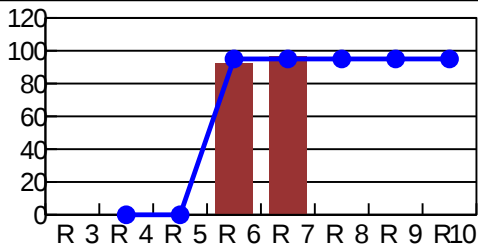
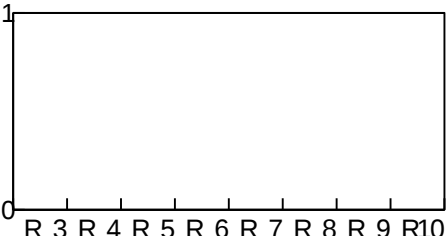
総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	取組方針	健康増進のための環境整備		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	保健活動事業			

【事業全体概要】					
事業概要	市民の健康づくりのため、保健師等が訪問指導・健康相談・事務所相談・健康診査・健康教育・地区組織活動などを実施する。				
8年度概要	保健師等が訪問指導・健康相談・事務所相談・健康診査・健康教育・地区組織活動などを実施する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	地域保健法

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	生涯を通じた市民の主体的な健康づくりを促す 健康寿命の延伸

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	保健師活動時間	時間	0	103,204	104,890	100,000	100,000

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	参加者の満足度	%	目標値 実績値	0 0	95 92.6	95 96.8	95	95
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	アンケートを実施した保健事業の参加者の満足度を平均すると96.8%で目標を達成した。			(目標達成度) 101.9%				
				(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	163,659	230,179	202,031	186,582
(事業費)	[千円]	22,904	85,815	52,506	37,057
(職員人件費)	[千円]	140,755	144,364	149,525	149,525

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	保健師等が訪問指導・健康相談・事務所相談・健康診査・健康教育・地区組織活動などを実施する。	保健師活動費 2 8 , 1 5 4 千円 保健活動事務費 2 4 , 3 5 2 千円	総額	52,506	
			特定財源	国	1,311
				県	405
				市債	0
				他	17,665
			一般財源	33,125	
令和 8 年度	保健師等が訪問指導・健康相談・事務所相談・健康診査・健康教育・地区組織活動などを実施する。	保健師活動費 3 5 , 2 7 4 千円 保健活動事務費 1 , 7 8 3 千円	総額	37,057	
			特定財源	国	78
				県	405
				市債	0
				他	600
			一般財源	35,974	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

保健師の活動時間の85.0%は家庭訪問及び健康相談等の現場業務であった。年度内において、保健師として稼働できる人員が減少しており（産休・育休等のため）、代替保健師の確保が難しい現状もある。サービス低下にならないよう状況に応じた対応が必要である。

地域コミュニティ協議会及び地区保健委員会と協働して事業を実施し、より効果的な活動体制を検討する必要がある。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	健康づくり推進課
	施策		健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	取組方針		健康増進のための環境整備		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		精神保健福祉普及啓発・相談事業			

【事業全体概要】

事業概要	こころの病気や治療などについて、こころの健康の正しい知識と理解を広めていくため、市民に啓発を行うとともに相談事業を実施する。				
年度概要	こころの健康についての啓発として、「こころの健康セミナー」（統合失調症・うつ病・不登校・発達障害・女性のアルコール依存症等）を開催する。家族教室としては「統合失調症家族教室」を実施する。また、こころの病気、アルコール・薬物、ひきこもり等の健康相談に電話及び来所、家庭訪問で応じる。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	精神保健福祉法

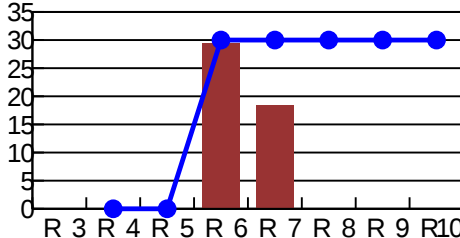
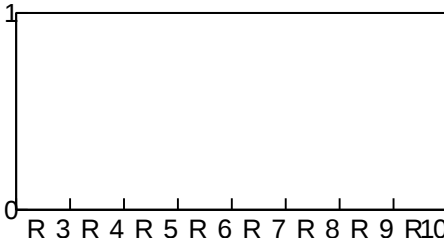
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民に対して心の健康についての正しい知識や理解、対応を学んでもらうために啓発事業を実施する。 家族教室として、統合失調症の方を持つ家族の方々が正しい知識と対応を学ぶために実施する。 こころの健康相談を実施し、相談者の支援を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
精神保健相談件数	件	0	7,602	7,340	8,000	8,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	精神保健相談のうち新規相談件数割合		%	目標値	0	30	30	30	30	
				実績値	0	29.4	18.4			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	新規相談件数割合は減少しており、より多くの人に対して相談を実施する目標は達成できなかった。		(目標達成度)	61.3%						
(得点)			21点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	351	4,941	5,158	5,237
(事業費)	[千円]	351	309	360	439
(職員人件費)	[千円]	0	4,632	4,798	4,798

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	こころの健康についての啓発として、「こころの健康セミナー」(統合失調症・思春期・うつ病・境界性パーソナリティ障害、ひきこもり等) を開催する。家族教室としては「統合失調症家族教室」を実施する。また、こころの病気、アルコール・薬物、ひきこもり等の健康相談に電話及び来所、家庭訪問で応じる。	こころの健康相談事業費 2 4 8 千円 精神保健啓発事業費 1 1 2 千円	総額	360	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	360				
令和 8 年度	こころの健康についての啓発として、「こころの健康セミナー」(統合失調症・うつ病・不登校・発達障害・女性のアルコール依存症等) を開催する。家族教室としては「統合失調症家族教室」を実施する。また、こころの病気、アルコール・薬物、ひきこもり等の健康相談に電話及び来所、家庭訪問で応じる。	こころの健康相談事業費 3 2 5 千円 精神保健啓発事業費 1 1 4 千円	総額	439	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	439				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	66 / 100 (66 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

教室及びセミナーのテーマや内容の充実と、広報たかまつ等を用いて市民に周知する。

こころの健康セミナーに、思春期や若年層の依存、女性のメンタル等、幅広い対象に向けた内容や、睡眠やこころの不調について等、広く対してのメンタルヘルスに対して周知啓発の取組を実施していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	取組方針	健康増進のための環境整備		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	精神障害者社会復帰支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	地域で生活している精神障害者は、偏見や病状のため孤立しやすく、社会復帰施設の整備も十分でないため、安心して暮らすことが難しい現状がある。このため、デイケアや当事者のための生活スキルアップセミナーにより、社会参加を促し、病気とのつきあい方などを学び、再発を防ぎ、安心して暮らせるスキルを身につけるためのグループ活動を実施する。 また、障害者を支えている家族が活発に活動することで、作業所などの社会資源の開発や病気の再発防止に繋がるため、家族会の運営補助を行う。				
8年度概要	デイケア及び当事者のための生活スキルアップセミナーを実施することにより、精神障害者の自立を促進する。 また、精神障害者家族会に対して、事業の補助を行い、支援する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	精神保健福祉法

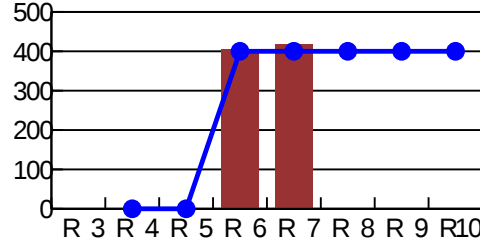
【事業の目的】

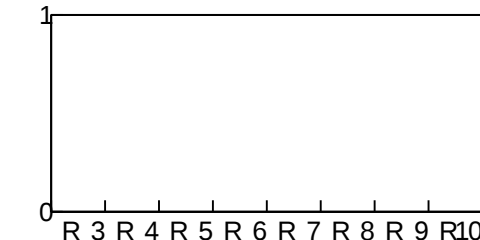
対象（何を）	在宅の精神障害者で精神科や心療内科に通院治療中の方
意図（どのような状態にしたいか）	地域で生活する精神障害者が、デイケアなど集団活動を通して、社会復帰の促進及び社会的自立への動機づけを図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
デイケア実施回数	回	0	48	44	45	45

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	デイケア参加者延べ数	人	目標値 実績値	0 0	400 406	400 417	400	400
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	参加者による作品展示や演奏発表等、日頃の成果を発表する機会や今後の生活を見すえた施設見学、参加者との交流等を通して、社会参加への意欲の向上につながり、目標を達成した。							
				(目標達成度) 104.3%				
				(得点) 35点				

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	8,068	9,028	9,301	9,317
(事業費)	[千円]	3,552	4,396	4,503	4,519
(職員人件費)	[千円]	7,529	4,632	4,798	4,798

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	デイケア及び当事者のための生活スキルアップセミナーを実施することにより、精神障害者の自立を促進する。 また、精神障害者家族会に対して、事業の補助を行い、支援する	精神障害者デイケア事業費（102千円）精神障害者のための生活スキルアップセミナー事業費（33千円）医療関係等事務費（17千円）精神障害者家族会運営補助金（323千円）会計年度保健師（4,028千円）	総額	4,503	
			特定財源	国	0
				県	66
				市債	0
				他	0
			一般財源	4,437	
令和 8 年度	デイケア及び当事者のための生活スキルアップセミナーを実施することにより、精神障害者の自立を促進する。 また、精神障害者家族会に対して、事業の補助を行い、支援する。	精神障害者デイケア事業費（108千円）精神障害者のための生活スキルアップセミナー事業費（36千円）医療関係等事務費（16千円）精神障害者家族会運営補助金（350千円）会計年度保健師（4,009千円）	総額	4,519	
			特定財源	国	0
				県	70
				市債	0
				他	0
			一般財源	4,449	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

引き続き、デイケア及び当事者のための生活スキルアップセミナーを実施し、精神障害者の自立を促進できるような関わりや取組を行う。

デイケアは、当事者の社会参加促進のため、様々なプログラムを体験できるよう働きかける。疾患についての講義や就労、生活に関する内容と交流会を行い、社会的自立に向けて取り組む。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	取組方針	健康増進のための環境整備		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	難病患者地域支援ネットワーク事業			

【事業全体概要】

事業概要	病気の原因が不明で治療法が確立していない難病患者やその家族に対して、関係機関との連携を図り、様々なニーズに応じた相談・支援を行う事で、患者・家族の生活の質の向上・精神的負担軽減を図る。				
8年度概要	訪問依頼のある難病患者への保健師・医療機関専門職の個別相談事業 難病医療相談会・交流会の開催 難病患者を支える専門職の研修会の開催				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	難病特別対策推進事業実施要綱

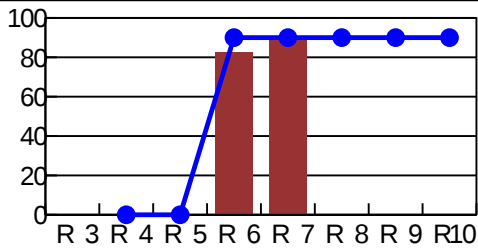
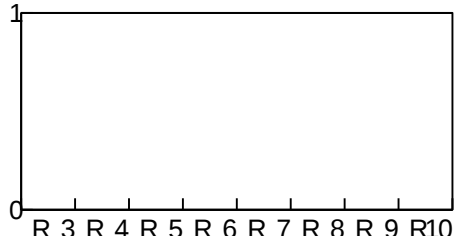
【事業の目的】

対象（何を）	難病患者とその家族 難病患者関係機関
意図（どのような状態にしたいか）	適切な支援を行うことにより、安定した療養生活の確保と難病患者及びその家族の生活の質の向上を図るとともに、地域の医療機関等の連携により生活の場を整備する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
難病訪問相談指導延べ回数	回	0	600	503	650	650
難病講演会・相談会・交流会開催回数	回	0	4	5	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	事業参加者の満足度	%	目標値 実績値	0 0	90 82.8	90 90.5	90	90
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	難病医療相談事業として「膠原病」、「皮膚の難病」、「重症筋無力症」、「パーキンソン病」のテーマで実施した。相談員育成事業として「難病患者の在宅における医療機器の停電対策」のテーマで実施した。アンケートの結果、参加者の満足度は90.5%であり、目標を達成した。		（目標達成度） 100.6% （得点） 35点					
	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
成果指標			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度）					
			（得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	8,447	8,673	8,980	9,031
(事業費)	[千円]	167	181	184	235
(職員人件費)	[千円]	8,280	8,492	8,796	8,796

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	訪問依頼のある難病患者への保健師・医療機関専門職の個別相談事業 難病医療相談会・交流会の開催 難病患者を支える専門職の研修会の開催	難病患者地域支援ネットワーク事業費 1 8 4 千円	総額	184	
			特定財源	国	92
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	92	
令和 8 年度	訪問依頼のある難病患者への保健師・医療機関専門職の個別相談事業 難病医療相談会・交流会の開催 難病患者を支える専門職の研修会の開催	難病患者地域支援ネットワーク事業費 2 3 5 千円	総額	235	
			特定財源	国	116
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	119	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

難病患者の支援については、患者及び家族の希望や医療機関からの連絡により対応し、関係機関が連携して必要なサービス利用につなげている。困難事例については、事例検討を開催して関係機関と連携強化を図り、支援につなげた。

難病患者及び家族のニーズを把握し、訪問相談を行うとともに、講演会や相談会、交流会を開催する。また、在宅患者を支える保健師等支援者の研修会を開催する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	健康づくり推進課
	施策		健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	取組方針		健康増進のための環境整備		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		8020(歯科保健)推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	「生涯を通じた歯の健康づくり」を図ることを目的とした8020運動推進の一環として、妊娠期～乳幼児期～成人期～老年期を通じ、それぞれのライフステージに応じた歯科保健事業を実施する。				
8年度概要	妊産婦及び成人歯科健診を市歯科医師会等と委託契約し、実施する。妊産婦歯科健康診査受診票は妊娠届出時に交付する。また、歯の健康について啓発をする。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	母子保健法、健康増進法

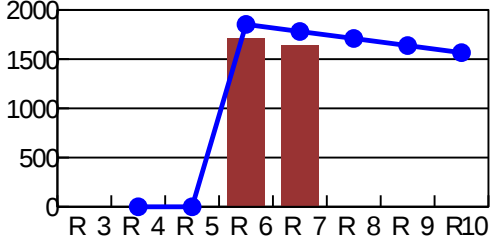
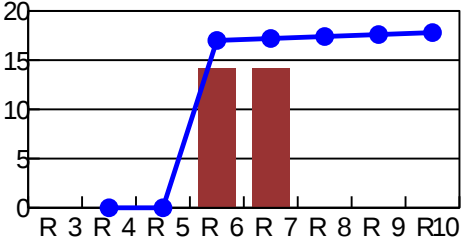
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	「生涯を通じた歯の健康づくり」を図ることを目的として、あらゆるライフステージにおいて、継続して歯科保健への意識を高める。 家庭での口腔管理（セルフケア）が実施できるようになる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	幼児歯科健康診査受診票の送付率	%	0	100	100	100	100
	成人歯科健康診査受診票の送付率	%	0	100	100	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	幼児歯科健康診査受診数		人	目標値	0	1,853	1,781	1,710	1,710	
				実績値	0	1,711	1,641			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	幼児健診や相談の機会に幼児歯科健康診査の受診啓発を実施したが、目標値には達していない。		(目標達成度)	92.1%						
(得点)			32点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	成人歯科健康診査受診率		%	目標値	0	17	17.2	17.4	17.4	
				実績値	0	14.2	14.2			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	ライフステージに応じた成人歯科健康診査の受診啓発を実施したが、目標値には達していない。		(目標達成度)	82.6%						
(得点)			29点							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	0	0	0
(事業費)	[千円]	0	0	0	0
(職員人件費)	[千円]	0	0	0	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	妊産婦及び成人歯科健診を市歯科医師会等と委託契約し、実施する。妊産婦歯科健康診査受診票は妊娠届出時に交付する。また、歯の健康について啓発をする。	(再掲)	総額	0	
		妊産婦歯科健康診査 7,984千円	特定財源	国	0
		幼児歯科健康診査 6,971千円		県	0
		成人歯科健康診査 26,867千円		市債	0
		成人歯科健康教育 209千円		他	0
		成人歯科健康相談 308千円		一般財源	0
		令和 8 年度	妊産婦及び成人歯科健診を市歯科医師会等と委託契約し、実施する。妊産婦歯科健康診査受診票は妊娠届出時に交付する。また、歯の健康について啓発をする。	(再掲)	総額
妊産婦歯科健康診査 8,020千円	特定財源			国	0
幼児歯科健康診査 9,071千円				県	0
成人歯科健康診査 27,313千円				市債	0
成人歯科健康教育 228千円				他	0
成人歯科健康相談 517千円				一般財源	0

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	85 / 100 (85 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

ライフステージに応じた歯科保健事業を実施し、歯と口腔の健康づくりを推進することができた。

健康無関心層対策の一環としても、働く世代層をターゲットとした歯と口の健康の保持増進として、歯科医師・歯科衛生士の歯科出前講座を事業所で実施する。成人歯科健診の受診の啓発を継続する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

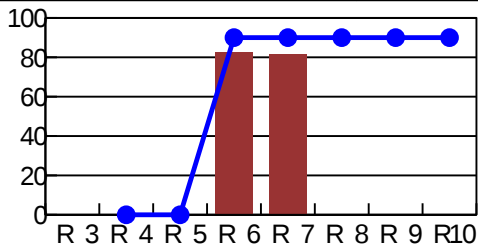
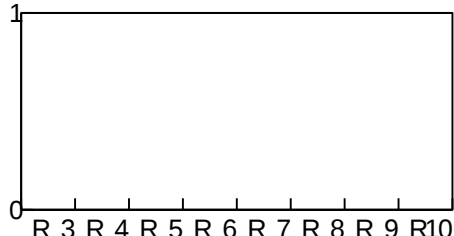
総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	取組方針	健康増進のための環境整備		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	地域食育推進事業			

【事業全体概要】					
事業概要	近年、食を大切にする意識が希薄になり、健全な食生活が失われつつあることから、個人だけでなく地域や社会をあげて食育に取り組み、健全な食生活を実践する人間を育てることが必要となっているため、食育の推進に取り組むもの。 ・地域で健康づくりや食育推進の活動をする高松市食生活改善推進協議会の育成、支援 ・「食」の大切さを伝えるフードスタート運動の実施等				
8年度概要	野菜摂取量増加を含めた健全な食生活の実践を促すための食育推進事業の実施 高松市食生活改善推進協議会の支援・育成 「食」の大切さを伝えるフードスタート運動の実施等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	食育基本法、健康増進法

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	「食育」への関心度を高め、地域や社会をあげて食育に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
伝達講習会、健康教室の実施回数	回	0	133	141	150	150
伝達講習会、健康教室参加者数	人	0	2,000	2,079	2,047	2,047

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	食育に関心を持つ人の割合	%	目標値	0	90	90	90	90
			実績値	0	82.8	81.5		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	デジタルを活用した食育啓発や地区の実情にあわせた食生活改善活動等を実施したが、昨年度より減少しており、目標に対して90.6%の達成度であった。		（目標達成度） 90.6% （得点） 32点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度） （得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	28,780	28,755	30,536	30,776
(事業費)	[千円]	1,683	1,735	1,750	1,990
(職員人件費)	[千円]	27,097	27,020	28,786	28,786

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	市民の野菜摂取量増加に向けた取組の実施 健全な食生活の実践を促すための食育推進事業の実施 高松市食生活改善推進協議会の支援・育成 「食」の大切さを伝えるフードスタート運動の実施等	食育啓発事業等 4 1 6 千円 自然に健康になれる環境整備 事業 9 5 千円 フードスタート運動 1 9 千円 ヘルシーたかまつ協力店 1 5 千円 研修事業 3 8 千円 食生活改善推進協議会 1 , 1 6 7 千円	総額	1,750	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	23
			一般財源	1,727	
令和 8 年度	野菜摂取量増加を含めた健全な食生活の実践を促すための 食育推進事業の実施 高松市食生活改善推進協議会の支援・育成 「食」の大切さを伝えるフードスタート運動の実施等	食育啓発事業等 4 4 3 千円 自然に健康になれる環境整備 事業 1 5 3 千円 up to you! 事業 1 0 6 千円 フードスタート運動 2 0 千円 ヘルシーたかまつ協力店 2 0 千円 研修事業 3 7 千円 食生活改善推進協議会 1 , 2 1 1 千円	総額	1,990	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	44
			一般財源	1,946	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
デジタルを活用した食育啓発や地区の実情にあわせた食生活改善事業を実施する等、工夫しながら食育啓発の推進に寄与したが、更なる取組みが必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

目標値の達成に向けて、啓発や周知等、より一層の効果的かつ広域的な取組を実施していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	取組方針	生活習慣病の予防対策の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	健康づくり推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	40歳以上の市民が、健やかで、こころ豊かに暮らすことができるように、生活習慣病の予防及び早期発見・早期治療の促進、寝たきり防止等のため、自主健康管理意識の啓発を行うとともに、健康教育・健康相談・健康診査の成人の健康づくり事業を実施し、壮年期の死亡の減少、健康寿命の延伸、生活の質の向上を図る。				
8年度概要	各地区及び保健センターにおいて、医師・歯科医師・保健師・歯科衛生士・栄養士等による健康教育・健康相談を実施する。 40歳以上の対象者に肝炎ウイルス検査及び健康診査、20歳以上の対象者に成人歯科健康診査を実施する。後期高齢者におけるCOPD治療中断者のうち受診勧奨後も医療機関を未受診かつフレイルリスクが高い対象者に保健指導を実施する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	健康増進法

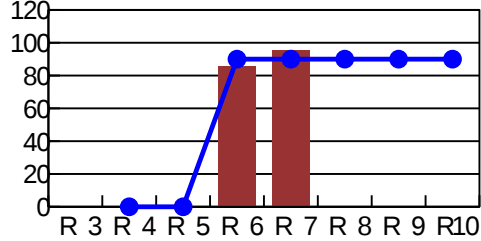
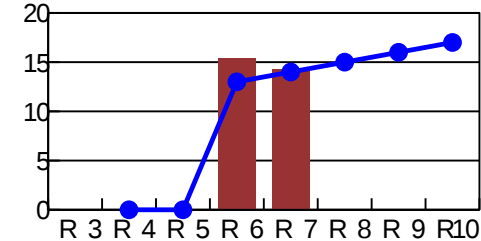
【事業の目的】

対象（何を）	40歳以上の市民（成人歯科健康診査は、20歳、30歳の市民を含む）
意図（どのような状態にしたいか）	市民一人一人が主体的に健康づくりに努め、生活習慣病の予防・早期発見に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R5	R6	R7	R8	中期目標 R8
健康教育の開催回数	回	0	447	392	370	370
COPD治療中断者への受診勧奨実施率	%	0	30	89	50	50

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R5	R6	R7	R8	中期目標 R8
	教室受講により健康に関する意識変容があった人の割合	%	目標値	0	90	90	90	90
			実績値	0	85.8	95.7		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	協会けんぽと連携した企業への出前講座の実施等、健康教育を実施した結果、回数、教室受講による健康に関する意識変容の割合は目標を達成した。		（目標達成度） 106.3% （得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R5	R6	R7	R8	中期目標 R8
	受診勧奨を行ったCOPD治療中断者の受診率	%	目標値	0	13	14	15	15
			実績値	0	15.4	14.3		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	COPD治療中断者に対して訪問または来所で受診勧奨を実施し、目標を達成した。		（目標達成度） 102.1% （得点） 35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)	
トータルコスト	[千円]	109,085	101,501	104,756	78,234	
	(事業費)	[千円]	67,686	70,621	72,772	78,234
	(職員人件費)	[千円]	41,399	30,880	31,984	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7年度	各地区及び保健センターにおいて、医師・歯科医師・保健師・歯科衛生士・栄養士等による健康教育・健康相談を実施する。 40歳以上の対象者に肝炎ウイルス検査及び健康診査、20歳以上の対象者に成人歯科健康診査を実施する。後期高齢者におけるCOPD治療中断者のうち受診勧奨後も医療機関を未受診かつフレイルリスクが高い対象者に保健指導を実施する。	健康教育費 10,524千円 健康相談費 12,458千円 健康診査費 49,460千円 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業費 330千円	総額	72,772	
			特定財源	国	0
				県	19,937
				市債	0
				他	330
			一般財源	52,505	
令和 8年度	各地区及び保健センターにおいて、医師・歯科医師・保健師・歯科衛生士・栄養士等による健康教育・健康相談を実施する。 40歳以上の対象者に肝炎ウイルス検査及び健康診査、20歳以上の対象者に成人歯科健康診査を実施する。後期高齢者におけるCOPD治療中断者のうち受診勧奨後も医療機関を未受診かつフレイルリスクが高い対象者に保健指導を実施する。	健康教育費 10,611千円 健康相談費 14,250千円 健康診査費 50,701千円 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業費 2,672千円	総額	78,234	
			特定財源	国	0
				県	23,741
				市債	0
				他	2,564
			一般財源	51,929	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

引き続き、住民の健康寿命の延伸に向け、健康相談・健康教育など健康づくり事業をより効果的に実施する。

協会けんぽの健康経営に取り組む企業と連携した健康づくりの推進とさらなる事業の活性化を図る。また、関係各課との共同を図り、効果的な事業実施を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	取組方針	生活習慣病の予防対策の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	がん対策推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	がんの早期発見・早期治療のため、大腸がん・胃がん・子宮頸がん・乳がん・前立腺がん検診の個別検診及び胃がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん集団検診の受診券を対象年齢の全市民に個人通知し、がん検診を受診しやすい環境づくりを行います。 また、働き盛り世代や女性の健康週間に合わせた啓発等様々な機会を捉えてがん予防についての正しい知識の普及・啓発を行います。				
8年度概要	・受診券等作成・送付、・各種がん検診（胃、肺、大腸、子宮頸、乳、子宮、前立腺）実施 ・前年度未受診者に対する検診の実施（WEB予約含む） ・検診未受診者・精密検査未受診者に対する受診勧奨 ・若年がん患者支援事業 ・がん患者等医療用補整具助成費				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	健康増進法、がん対策基本法

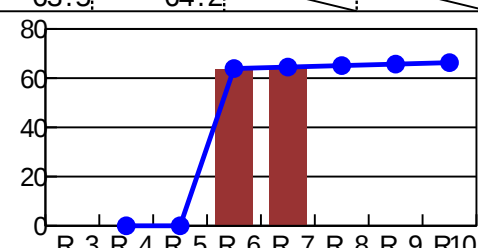
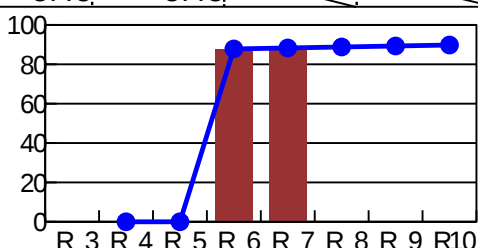
【事業の目的】

対象（何を）	がん検診の対象者
意図（どのような状態にしたいか）	がんの予防、早期発見・早期治療に努め、がんによる死亡率の減少を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
がん検診実施医療機関数	箇所	0	242	242	276	276

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	がん検診受診率（20歳～69歳）	%	目標値	0	63.9	64.5	65.1	65.1
			実績値	0	63.5	64.2		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	がん検診の積極的な受診勧奨により、各種がん検診のうち、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん検診は前年度受診率より増加した。		（目標達成度） 99.5% （得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	たばこを吸わない人の割合	%	目標値	0	87.8	88.3	88.8	88.8
			実績値	0	87.8	87.8		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	たばこの害や受動喫煙防止の積極的な啓発により、たばこを吸わない人の割合は、前年度と比較し横ばいであった。		（目標達成度） 99.4% （得点） 35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	546,329	393,743	392,383	402,695
(事業費)	[千円]	504,930	362,863	360,399	370,711
(職員人件費)	[千円]	41,399	30,880	31,984	31,984

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・受診券等作成・送付・各種がん検診（胃、肺、大腸、子宮頸、乳、子宮、前立腺）実施 ・前年度未受診者に対する検診の実施（WEB予約含む） ・検診未受診者・精密検査未受診者に対する受診勧奨 ・PHRの拡大（情報標準化整備） ・がん予防普及啓発	嘱託看護師等 30,551千円	総額	360,399	
		郵送料 30,316千円	特定財源	国	12,323
		委託料 294,262千円		県	1,472
		若年がん患者支援 2,973千円		市債	0
		その他 2,297千円		他	306
		一般財源	346,298		
令和 8 年度	・受診券等作成・送付・各種がん検診（胃、肺、大腸、子宮頸、乳、子宮、前立腺）実施 ・前年度未受診者に対する検診の実施（WEB予約含む） ・検診未受診者・精密検査未受診者に対する受診勧奨 ・若年がん患者支援事業 ・がん患者等医療用補整具助成費 ・がん予防普及啓発	嘱託看護師 31,545千円	総額	370,711	
		郵送料 31,822千円	特定財源	国	12,404
		委託料 301,593千円		県	1,440
		若年がん患者支援 2,934千円		市債	0
		がん患者以外 100千円		他	287
		その他 2,817千円	一般財源	356,580	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

受診率は横ばいである。国のがん対策方針に合わせたがん検診体制について検討するとともに、地域職域連携を深め、働く世代の受診率アップを図る。

市民が受診しやすい夜間・休日・セッ ト検診及びＷＥＢ予約の拡充を図り、働く世代が受診しやすい環境整備を継続する。また、職域と連携した啓発、ホームページやＳＮＳを活用した受診勧奨に取り組み、さらなる受診率向上を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	地域包括支援センター
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2811
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	地域ケア会議推進事業			

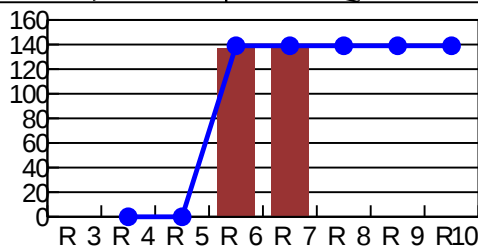
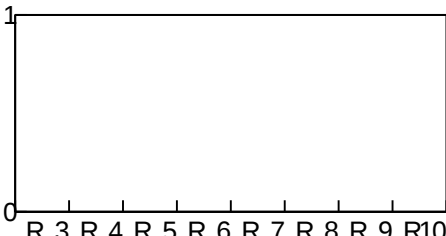
【事業全体概要】					
事業概要	高齢者が介護や支援が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、介護支援専門員に対する支援や助言を行うなど、地域の様々な機関等と連携・協力できる体制づくりを行う。 また、高齢者の自立支援に向けた個別ケアプランの検討や、複合化した問題を抱える高齢者の支援内容を検討し、課題解決を支援するとともに、地域課題の解決に向けた検討を行うことにより、地域包括ケアシステムの構築を図る。				
	8年度概要 ○地域ケア会議の開催 ○地域ケア小会議（地域課題、個別課題の検討）の開催 ○介護支援専門員を対象とした研修会・情報交換会の開催				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	介護保険法 115 条の 4 8	

【事業の目的】					
対象（何を）	高齢者保健福祉・介護保険制度運営協議会委員、地域福祉ネットワーク会議構成員、高齢者を支援する地域の関係者				
意図（どのような状態にしたいか）	多職種連携や地域とのネットワークを強化するとともに、個別ケースの検討によって把握・共有した地域課題を地域づくりや政策形成につなぐ。 介護支援専門員の実践力向上と介護支援専門員相互のネットワークを構築する。				

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
介護支援専門員からの相談実人員	人	0	1,165	1,139	1,150	1,150
介護支援専門員からの相談件数	件	0	2,135	1,986	2,300	2,300

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	地域ケア小会議（個別課題）における検討件数	件	目標値	0	139	139	139	139
			実績値	0	137	138		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	個別ケアプラン検討 11件、個別ケース検討 24件を検討し、概ね目標を達成できた。		(目標達成度) 99.3%					
		(得点) 35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)					
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	8,160	966	777	1,347
	(事業費)	633	966	777	1,347
	(職員人件費)	7,527	0	0	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	○地域ケア会議 年 1 回 ○地域ケア小会議（地域課題 1 8 9 回、個別課題 6 2 回 1 3 8 事例） ○介護支援専門員を対象とした研修会・情報交換会の開催 6 回	地域ケア会議推進事業費 7 7 7 千円	総額	777	
			特定財源	国	285
				県	142
				市債	0
				他	200
			一般財源	150	
令和 8 年度	○地域ケア会議の開催 ○地域ケア小会議（地域課題、個別課題の検討）の開催 ○介護支援専門員を対象とした研修会・情報交換会の開催	地域ケア会議推進事業費 1 , 3 4 7 千円	総額	1,347	
			特定財源	国	518
				県	259
				市債	0
				他	311
			一般財源	259	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

地域ケア会議や研修会、各エリアの情報交換会を実施し、自立支援に向けた介護支援専門員のスキルアップに寄与した。

引き続き、介護支援専門員の実践力向上と介護支援専門員相互のネットワーク構築を支援する。
また、個別ケースの背景にある課題の分析や、地域住民や介護支援専門員等専門職の声を拾い上げる中で地域課題を見出し、地域の関係者と地域課題への対応等を共有・検討しながら、地域づくりの推進を目指す。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	地域包括支援センター
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	087-839-2811
	取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	地域包括支援センター体制整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	人口減少、少子・超高齢社会においても、地域包括支援センターのサービス水準を維持するため、1圏域（香川）において、運営業務の民間委託を実施し、運営体制の強化に取り組む。				
8年度概要	1圏域の運営業務委託				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	介護保険法

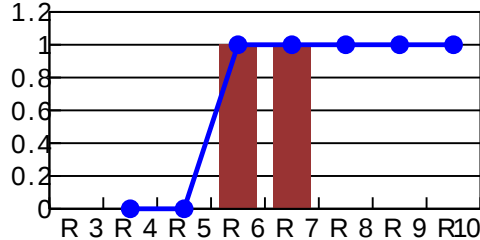
【事業の目的】

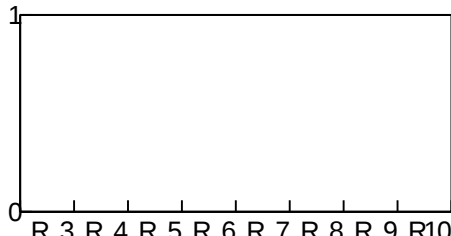
対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	人口減少、少子・超高齢社会においても、民間活力を活用することにより安定的な地域包括支援センターの運営を維持し、地域住民の心身の健康保持及び適切な支援を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
総合相談件数（対象圏域）	件	0	3,062	3,699	2,950	2,950
地域ケア会議における個別課題の検討件数（対象圏域）	件	0	16	15	15	15

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	民間委託を実施したサブセンター数		箇所	目標値	0	1	1	1	1
				実績値	0	1	1		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	1 圏域(香川)において、運営業務の民間委託を実施した。			(目標達成度) 100.0%					
			(得点) 35点						

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
				(目標達成度)					
			(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	38,902	38,690	42,856	42,030
(事業費)	[千円]	31,375	30,970	34,860	42,030
(職員人件費)	[千円]	7,527	7,720	7,996	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	1 圏域の運營業務委託	運營業務委託料 3 4 , 8 6 0 千円	総額	34,860	
			特定財源	国	12,024
				県	6,335
				市債	0
				他	8,027
			一般財源	8,474	
令和 8 年度	1 圏域の運營業務委託	運營業務委託料 4 2 , 0 3 0 千円	総額	42,030	
			特定財源	国	16,181
				県	8,090
				市債	0
				他	9,666
			一般財源	8,093	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

2年間のモデル事業実施を経て、令和7年4月から1圏域（香川）の社会福祉法人への委託を本格実施し、センターの体制強化を図った。

委託事業のモニタリングを行うとともに、人員体制や費用対効果、委託先となる事業所の調査を行い、令和 9 年度以降の他の圏域の委託の可否について検討を行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合う福祉社会の形成		課(室)名	地域包括支援センター
	施策	高齢者福祉の充実		電話番号	839-2811
	取組方針	認知症対策の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	認知症ケア推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	認知症になっても本人の意思が尊重され、希望を持ってできる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現を目指し、認知症に関する正しい知識及び理解を深めるための普及啓発活動や家族の介護負担の軽減、本人の生きがいつくり等総合的に取り組む。				
8年度概要	認知症初期集中支援チーム運営・検討委員会 認知症地域支援推進員設置 認知症普及啓発 認知症カフェ運営 チームオレンジの設置 認知症サポーター養成講座の開催 認知症サポーターステップアップ講座の開催 認知症の人を支える家族のつどいの開催				
重点取組事業		市長マニフェスト	5-	関連根拠法令	介護保険法 115条の45

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民等
意図（どのような状態にしたいか）	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の実現

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
認知症地域支援推進員が受けた認知症相談件数	件	0	232	602	400	400
認知症サポーター養成講座受講者数	人	0	3,078	2,752	3,000	3,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	チームオレンジ登録数	箇所	目標値	0	3	3	3	3
			実績値	0	1	9		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	チームオレンジについては、地区としては3地区、内 地区で7団体の登録に至った。		（目標達成度） 300.0% （得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	認知症サポーターボランティア数（累計）	人	目標値	0	85	105	135	135
			実績値	0	91	80		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	認知症サポーター養成講座受講者の増加や認知症への関心の高まりがあり、新規登録もあるものの、登録していたボランティアが高齢を理由に再登録を辞退する者もあり、昨年度より減少した。		（目標達成度） 76.2% （得点） 27点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	25,760	15,051	16,285	18,636
(事業費)	[千円]	14,469	15,051	16,285	18,636
(職員人件費)	[千円]	11,291	0	0	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	認知症初期集中支援チーム運営・検討委員会 認知症地域支援推進員設置 認知症普及啓発 認知症カフェ運営 チームオレンジの設置 認知症サポーター養成講座の開催 認知症サポーターステップアップ講座の開催 認知症の人を支える家族のつどいの開催	認知症総合支援事業費 8,765千円 認知症高齢者家族支援サービス事業費 7,520千円	総額	16,285	
			特定財源	国	5,987
				県	2,995
				市債	0
				他	4,154
			一般財源	3,149	
令和 8 年度	認知症初期集中支援チーム運営・検討委員会 認知症地域支援推進員設置 認知症普及啓発 認知症カフェ運営 チームオレンジの設置 認知症サポーター養成講座の開催 認知症サポーターステップアップ講座の開催 認知症の人を支える家族のつどいの開催	認知症総合支援事業費 10,352千円 認知症高齢者家族支援サービス事業費 8,284千円	総額	18,636	
			特定財源	国	7,115
				県	3,557
				市債	0
				他	4,253
			一般財源	3,711	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	3	一部結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

認知症地域支援推進員の各サブセンターへの設置や、認知症フェアの開催による普及啓発事業など、各種施策を実施することで認知症本人や家族が安心して暮らしていける地域づくりに寄与した。また、認知症サポーター養成講座については、地域の団体だけではなく、小・中学生や企業など幅広い対象が受講し、認知症に対しての市民の理解を高めることができた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

引き続き、各種に認知症施策に取り組んでいくことで、認知症になっても、希望を持って住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域づくりを推進していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	環境総務課
	施策	安全・安心な暮らしの確保		電話番号	087-839-2388
	取組方針	水の安定供給		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	生活用水等確保対策事業補助事業			

【事業全体概要】

事業概要	香川県広域水道企業団が実施する水道事業の給水対象外の区域に居住する人に対し、飲用水の安定的な確保を図るため、井戸など自家用給水装置の新設・改修に要する費用や、給水ホース・貯水用タンクの購入費用の一部を補助し、水の安定供給や公衆衛生の向上を図る。 ○生活用水確保対策事業 給水装置の新設・改修：対象事業の2分の1以内の額、30万円を上限 ○飲用水給水ホース等購入補助金 給水ホース：購入価格の9割以内の額、5万円を上限 貯水用タンク：購入価格の2分の1以内の額、2万円を上限				
8年度概要	高松市内における香川県広域水道企業団水道事業の給水対象外の区域に居住する人に対し、自家用給水装置等の費用の一部を補助し、自己の用に供する飲用水の安定的な確保を図る。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市生活用水確保対策事業補助金交付要綱

【事業の目的】

対象（何を）	給水対象外の区域に居住する人
意図（どのような状態にしたいか）	飲用水の安定的な確保を推進することで、水の安定供給や公衆衛生の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
生活用水確保対策事業補助件数	件	0	0	0	1	1
飲用水給水ホース等設置事業補助件数	件	0	0	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	生活用水確保対策事業補助累計数（21年度～）	件	目標値	0	17	18	19	19
			実績値	0	16	16		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	飲用水給水ホース等設置事業補助累計数（21年度～）	件	目標値	0	3	4	5	5
			実績値	0	2	3		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	補助金の交付申請は1件あったが、昨年度までの目標が未達であったため、累計としては未達成となった。		目標達成度					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	1,805	1,544	1,608	1,949
(事業費)	[千円]	300	0	9	350
(職員人件費)	[千円]	1,505	1,544	1,599	1,599

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	高松市内における香川県広域水道企業団水道事業の給水対象外の区域に居住する人に対し、自家用給水装置等の費用の一部を補助し、自己の用に供する飲用水の安定的な確保を図る。	生活用水確保対策事業補助金 0 円 飲用水給水ホース等設置事業 補助金 9 千円	総額	9	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	9	
令和 8 年度	高松市内における香川県広域水道企業団水道事業の給水対象外の区域に居住する人に対し、自家用給水装置等の費用の一部を補助し、自己の用に供する飲用水の安定的な確保を図る。	生活用水確保対策事業補助金 3 0 0 千円 飲用水給水ホース等設置事業 補助金 5 0 千円	総額	350	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	350	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	79 / 100 (79 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
昨年度は、生活用水確保対策事業補助金の申請はなかったが、飲用水給水ホース等設置事業補助金に 1 件申請があり、要件を満たしていたため補助を行った。例年、当事業に対する問い合わせはあるが、補助申請の件数は、減少傾向にある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
引き続き、広報紙等で当事業の周知を行い、給水対象外の区域に居住する人の飲用水の安定的な確保を図るものである。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	環境総務課
	施策	安全・安心な暮らしの確保		電話番号	087-839-2388
	取組方針	水の安定供給		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	水環境対策等推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	「持続可能な水環境の形成に関する条例」、「水環境基本計画」に基づき、市民や事業者、水に関する様々な主体との連携を図りながら、本市における持続可能な水環境を未来の子どもたちに引き継いでいくために必要な施策の実施と進行管理を行う。また、香川用水の水源である早明浦ダム周辺の高知県嶺北地域と、利水域である本市が連携し、令和6年1月に本市、土佐町及び本山町の3自治体が出資した、「一般財団法人もりとみず基金」が設立されたことに加え、嶺北地域と本市が、令和5年度に共同提案し、採択された国の交付金を活用した連携事業を、同財団の事業と一体的に実施する。					
8年度概要	節水型街づくり推進協議会及び香川中央地域地下水利用対策協議会への負担金支出等 水源学習・都市地域交流事業 啓発・普及用品の作成及び配布 もりとみず基金の運営支援負担金					
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	持続可能な水環境の形成に関する条例	水

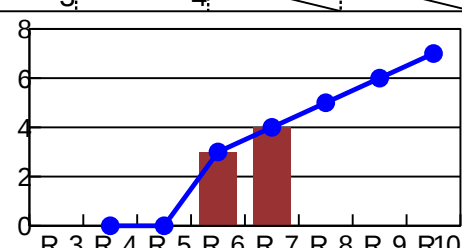
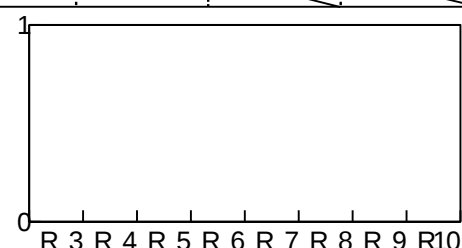
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	水に関わる関係者との連携協力により、持続可能な水利用及び管理手法が構築されることで、水の循環利用と節水の推進が図られる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
水源域交流イベントの開催回数	回	0	1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	水源域交流イベント参加団体等件数	件	目標値 実績値	0 0	3 3	4 4	5	5
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	昨年度は事業を大幅に拡大し、高松市民向けの高知県嶺北地域水源学習・都市地域交流バスツアーを開催した。また、嶺北地域の自治体・各訪問先と連携し、旅行企画からバスツアーの催行までを協力して行った結果、目標を達成することができた。			（目標達成度） 100.0%				
				（得点） 35点				
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				（目標達成度）				
				（得点）				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	3,024	6,628	10,711	6,787
(事業費)	[千円]	13	452	4,314	390
(職員人件費)	[千円]	3,011	6,176	6,397	6,397

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	節水型街づくり推進協議会及び香川中央地域地下水利用 対策協議会への負担金支出等 水源学習・都市地域交流事業 啓発・普及用品の作成及び配布 もりとみず基金の運営支援負担金 水源学習・都市地域交流事業に係る出張旅費	3 9 4 千円	総額	4,314	
		7 1 0 千円	特定財源	国	1,951
		5 0 0 千円		県	0
		2 , 7 0 0 千円		市債	0
		2 0 千円		他	0
				一般財源	2,363
令和 8 年度	節水型街づくり推進協議会及び香川中央地域地下水利用 対策協議会への負担金支出等 水源学習・都市地域交流事業 啓発・普及用品の作成及び配布 もりとみず基金の運営支援負担金	3 9 0 千円	総額	390	
		3 , 0 0 0 千円	特定財源	国	0
		5 0 0 千円		県	0
		2 , 4 0 0 千円		市債	0
				他	0
				一般財源	390

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

一般財団法人もりとみず基金や水源地域の自治体等と連携し、高松市民向けの高知県嶺北地域水源学習・都市地域交流バスツアーを開催した。また、もりとみず基金の普及・啓発のため、間伐材を使用したオリジナルマイボトルを作製し、関係者や市民等に配布した。今後も関係機関と連携し、事業効果を高めていく必要がある。

今後は、昨年度に実施したバスツアーやオリジナルマイボトルの配布による基金の周知・啓発効果等を検証し、昨年度の反省点を踏まえ、内容を改善・拡充しつつ事業展開していくこととなる。同財団事務局及び同財団が委託している本市域内での活動者の双方と、随時、連携・情報共有しながら、事業を推進していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

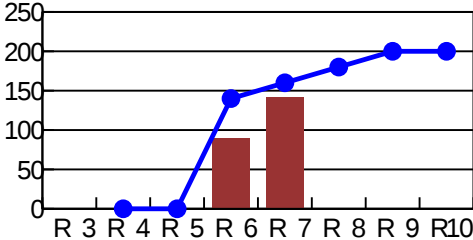
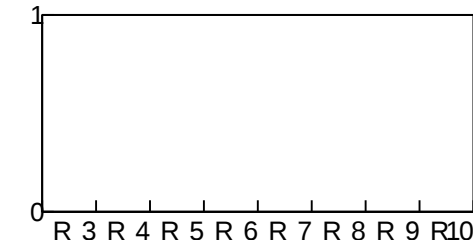
総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	環境総務課
	施策	ゼロカーボンシティの実現		電話番号	087-839-2388
	取組方針	脱炭素型ライフスタイルの普及促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	緑のカーテン事業			

【事業全体概要】					
事業概要	「高松市地球温暖化対策実行計画」において、適応策として積極的に推進することとしている「緑のカーテン」について、緑のカーテン講座の開催や周知啓発を行うほか、コミュニティセンターや学校などの公共施設における緑のカーテンの実施を推進する。				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	市内の住宅、事業所、学校、教育・保育施設、公共施設
意図（どのような状態にしたいか）	緑のカーテンを普及させることにより、省エネルギーの推進と温室効果ガス（二酸化炭素）の削減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
緑のカーテン説明会実施回数	回	0	5	5	9	9

【事業の成果】									
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	緑のカーテン講座受講者数	人	目標値	0	140	160	180	180	
			実績値	0	89	141			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	環境ワークショップ（主催講座）や出前講座において緑のカーテン講座を開催し、受講者数は増加したが目標の88.1%に留まった。		（目標達成度） 88.1%						
			（得点） 31点						
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値						
			実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			（目標達成度）						
			（得点）						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策		環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	環境総務課
	施策		循環型社会の形成		電話番号	087-839-2388
	取組方針		環境意識の醸成		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		環境保全推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	国が主唱する6月の環境月間に併せて環境展を開催し、環境問題を考える契機を提供するとともに、環境活動団体との協働による環境学習の実施により、環境活動団体の支援や、より一層の市民の環境意識の向上を図る。また、本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた高松市環境白書の発行を行う。				
8年度概要	環境展を開催するとともに、環境学習の実施により、市民に対し環境意識の向上を図り、環境問題全般に関する啓発を行う。 また、高松市脱炭素型都市推進会議と「サンポート高松中央通り等一斉清掃」等の美化活動、環境学習支援事業等を共催し、環境美化、脱炭素型ライフスタイルに対する意識啓発にも努める。 本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた高松市環境白書の発行を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

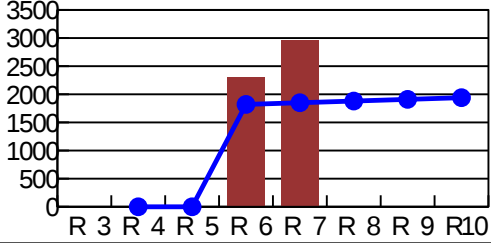
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	環境活動団体や関係機関と協力して環境学習講座の充実に努めるとともに、講座の開催等について市の広報紙やホームページ・SNS等の活用や、教育委員会等との連携により参加者の増加に努め、市民の環境意識の底上げを図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	環境学習講座実施回数	回	0	76	105	62	62

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																											
	環境学習講座参加者数	人	目標値	0	1,820	1,850	1,880	1,880																											
			実績値	0	2,298	2,952																													
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）				 <table><caption>環境学習講座参加者数 達成度</caption><thead><tr><th>期間</th><th>実績値</th><th>目標達成度 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 3</td><td>0</td><td>0%</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td><td>0%</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td><td>0%</td></tr><tr><td>R 6</td><td>2,298</td><td>159.6%</td></tr><tr><td>R 7</td><td>2,952</td><td>159.6%</td></tr><tr><td>R 8</td><td></td><td>159.6%</td></tr><tr><td>R 9</td><td></td><td>159.6%</td></tr><tr><td>R 10</td><td></td><td>159.6%</td></tr></tbody></table>				期間	実績値	目標達成度 (%)	R 3	0	0%	R 4	0	0%	R 5	0	0%	R 6	2,298	159.6%	R 7	2,952	159.6%	R 8		159.6%	R 9		159.6%	R 10		159.6%
	期間	実績値	目標達成度 (%)																																
R 3	0	0%																																	
R 4	0	0%																																	
R 5	0	0%																																	
R 6	2,298	159.6%																																	
R 7	2,952	159.6%																																	
R 8		159.6%																																	
R 9		159.6%																																	
R 10		159.6%																																	
環境学習講座実施回数が増加したことに伴い、参加者数も大幅に増加したことから目標値を達成しており、参加した市民を通して環境意識の向上が図られている。		(目標達成度)	159.6%																																
		(得点)	35点																																
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																											
			目標値																																
			実績値																																
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）																																		
			(目標達成度)																																
(得点)																																			

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	21,076	23,292	27,001	41,104
(事業費)	[千円]	6,022	7,852	11,009	13,118
(職員人件費)	[千円]	15,054	15,440	15,992	27,986

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	環境展を開催するとともに、環境学習の実施により、市民に対し環境意識の向上を図り、環境問題全般に関する啓発を行う。 また、本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた高松市環境白書の発行を行う。	環境保全推進費 7,827千円 環境白書発行 25千円	総額	11,009	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	11,009				
令和 8 年度	環境展を開催するとともに、環境学習の実施により、市民に対し環境意識の向上を図り、環境問題全般に関する啓発を行う。 また、高松市脱炭素型都市推進会議と「サンポート高松中央通り等一斉清掃」等の美化活動、環境学習支援事業等を共催し、環境美化、脱炭素型ライフスタイルに対する意識啓発にも努める。 本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた高松市環境白書の発行を行う。	環境保全推進費 10,283千円 環境白書発行 30千円 生物多様性地域戦略 2,805千円	総額	13,118	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	13,118				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
学校・コミュニティセンターからの依頼が増加したことより、環境学習講座の実施回数は令和6年度よりさらに増加し、参加者数も増加している。 実施回数を増やし続けることには限界があることから、引き続き、市民に身近な環境問題をテーマに環境学習講座の充実を図り、参加者数のみならず、満足度等の新指標の導入も検討する必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
環境問題に対する市民意識の高まりに対応するとともに、ゼロカーボンシティの実現に向けては、本市の温室効果ガスの排出量の約6割を家庭部門及び業務その他部門が占めていることから、市民一人一人のより一層の意識啓発を行う必要があることから、事業を継続する必要がある。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策		環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	環境総務課
	施策		循環型社会の形成		電話番号	087-839-2388
	取組方針		環境意識の醸成		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		環境美化推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	「高松クリーンデー“たかまつきれいでー”」、「サンポート高松・中央通り等一斉清掃」及び「環境美化推進運動功労者等表彰」等を、高松市環境美化都市推進会議と共催することにより、自治と連帯の精神に根ざした、清潔で美しいまちづくり活動の推進を支援してきた。 令和４年度末に高松市環境美化都市推進会議は発展的解消し、同会議が担ってきた「環境美化・緑化」に資する事業や理念を継承しながら、脱炭素型都市の推進を目指すために令和５年度に新たに発足した「高松市脱炭素型都市推進会議」と、これまで同様に共催事業を開催していく。				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

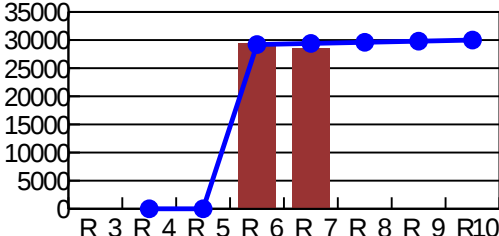
【事業の目的】

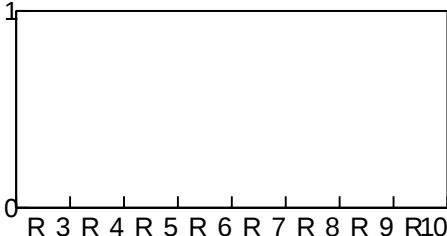
対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	「高松クリーンデー“たかまつきれいでー”」、「サンポート高松・中央通り等一斉清掃」等の環境美化活動に参加することによって、地域愛護や環境美化の意識を培うとともにポイ捨て禁止の意識啓発を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
高松クリーンデー等の清掃活動実施回数	回	0	15	15	16	16

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	高松クリーンデー参加者数		人	目標値	0	29,200	29,400	29,600	29,600	
				実績値	0	29,417	28,524			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	高松クリーンデー参加者数は、開会式当日の悪天候もあり目標値の97.0%の達成率となった。		(目標達成度)	97.0%						
(得点)			34点							

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	10,304	12,067	11,169	0
(事業費)	[千円]	519	2,031	774	0
(職員人件費)	[千円]	9,785	10,036	10,395	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費	
令和7年度	高松市脱炭素型都市推進会議と「サンポート高松中央通り等一斉清掃」や「高松クリーンデー“たかまつきれいでー”」等の美化活動、緑のカーテンコンテストや環境学習支援事業等を共催し、環境美化、脱炭素型ライフスタイルに対する意識啓発に努める。	環境保全推進費 2,031千円	総額	774
			特定財源	
			国	0
			県	0
			市債	0
			他	0
			一般財源	774
令和8年度			総額	0
			特定財源	
			国	0
			県	0
			市債	0
			他	0
			一般財源	0

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
環境美化都市宣言の精神に基づき、市民、企業、ボランティア、行政の協働による環境美化の事業を実施しており、これからも環境美化、脱炭素型ライフスタイルの推進に向けた事業を検討、実施していく。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
産学官民が連携した市民会議「高松市脱炭素型都市推進会議」と共催事業を開催することで、環境美化や脱炭素型ライフスタイルの推進に向けて効果的な啓発に取り組んでいく。						
なお本事業は令和8年度より事務事業「環境保全事業」に統合する						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	環境総務課
	施策	循環型社会の形成		電話番号	087-839-2388
	取組方針	環境意識の醸成		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	高松市環境衛生組合連合会活動推進事業			

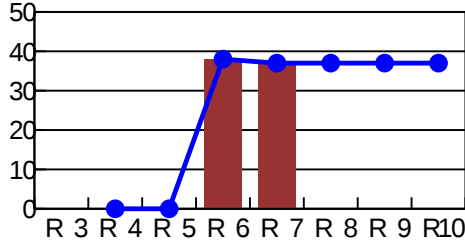
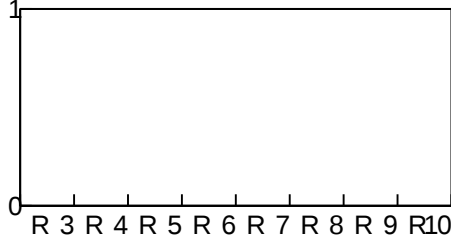
【事業全体概要】					
事業概要	高松市環境衛生組合連合会の運営等に対して、補助金を交付することで、地域住民の自主的な環境美化活動を支援し、自然環境の保全・環境美化の推進を図る。 (組織概要)同連合会は、環境衛生等に関する自主的実践活動を行う地区衛生組合協議会の連合体。 (活動内容)同連合会は、各地区での清掃活動の推進、環境美化に関する啓発活動など、組合員の自主的な実践活動を通じて、環境美化等の推進を図っている。				
8年度概要	高松市環境衛生組合連合会の運営、各地区衛生組合協議会の清掃活動参加者を対象にした啓発活動について、補助金を支出し、地域住民が主体となった環境美化活動やごみの適正排出等の活動を促進する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	衛生組合加入世帯
意図（どのような状態にしたいか）	地域住民が主体となって、生活環境の改善及び環境美化推進を図り、健康で住み良いまちづくりを実現する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
高松市環境衛生組合連合会運営に対する補助件数	件	0	1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	河川等清掃活動を実施する地区衛生組合協議会数	協議会	目標値 実績値	0 0	38 38	37 37	37	37
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	各地区衛生組合協議会において、住民主体の清掃活動が実施されており、自然環境の保全・環境美化の推進に貢献している。			(目標達成度) 100.0%				
				(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	7,357	7,520	7,542	7,572
(事業費)	[千円]	2,088	2,116	1,945	1,975
(職員人件費)	[千円]	5,269	5,404	5,597	5,597

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	高松市環境衛生組合連合会の運営、各地区衛生組合協議会の清掃活動参加者を対象にした啓発活動について、補助金を支出し、地域住民が主体となった環境美化活動やごみの適正排出等の活動を促進する。	環境衛生組合連合会運営補助金 1,592千円 脱炭素型まちづくり推進事業 啓発活動補助金 379千円	総額	1,945	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,945	
令和 8 年度	高松市環境衛生組合連合会の運営、各地区衛生組合協議会の清掃活動参加者を対象にした啓発活動について、補助金を支出し、地域住民が主体となった環境美化活動やごみの適正排出等の活動を促進する。	環境衛生組合連合会運営補助金 1,593千円 脱炭素型まちづくり推進事業 啓発活動補助金 379千円 視察研修宿泊手当 3千円	総額	1,975	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,975	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

当事業は、環境衛生組合連合会の活動を支援するもので、同連合会は、例年と同じく地域での清掃活動の推進や環境美化の啓発活動等を実施しており、全ての地区衛生組合協議会が住民全体の清掃活動を実施するなど、自然環境の保全・環境美化の推進に貢献している。

令和5年度に、衛生組合連合会の規約の改正があり、名称を「高松市衛生組合連合会」から「高松市環境衛生組合連合会」に変更した。今後においても、同団体の理念や事業内容は継承しながら、脱炭素型まちづくりの推進を図っていくことから、引き続き、同団体を支援していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策		環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進課
	施策		ゼロカーボンシティの実現		電話番号	087-839-2393
	取組方針		再生可能エネルギーの導入拡大		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		再生可能エネルギー普及促進事業			

【事業全体概要】

事業概要	エネルギーの地産地消による住宅の低炭素化・脱炭素化を推進するため、家庭への太陽光発電設備や住宅のZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）化の普及促進に取り組む。				
8年度概要	スマートハウス等普及促進補助 ・蓄エネルギー機器（蓄電システム又は電気自動車充電設備）：6万円・ZEH化：15万円・断熱リフォーム：15万円・断熱リフォーム（窓のみ）：5万円・（加算額）居住誘導：5万円 自家消費型家庭用太陽光発電設備等設置補助 ・太陽光発電設備：8万円/kW（上限45万円）・蓄電システム：対象経費の1/3（上限20万円）				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	2-	関連根拠法令	高松市スマートハウス等普及促進補助金交付

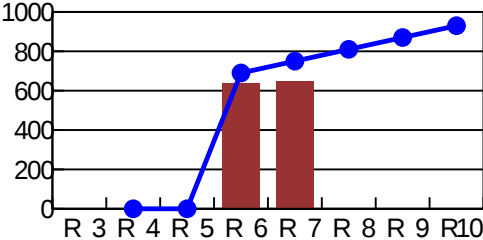
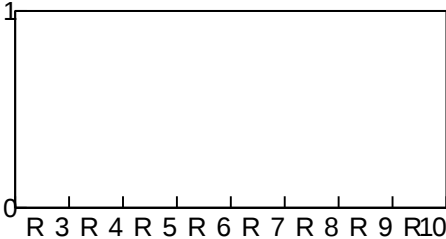
【事業の目的】

対象（何を）	太陽光発電設備等の未設置の住宅（新築を含む。）
意図（どのような状態にしたいか）	太陽光発電設備等の設置やZ E H化、断熱リフォーム等の普及により、家庭での温室効果ガスの排出削減と再生可能エネルギーの普及を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
Z E H化補助件数（累計）	件	0	157	237	285	285
スマートハウス等普及促進補助件数（累計）	件	0	812	975	1,324	1,324

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	Z E H 導入件数 (当該年度の 2 年度前の実績)	件	目標値	0	690	750	810	810
			実績値	0	640	649		
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)							
	(目標達成度)	86.5%						
(得点)	30点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)							
	(目標達成度)							
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	45,551	47,333	74,788	81,489
(事業費)	[千円]	31,250	31,893	61,595	60,300
(職員人件費)	[千円]	14,301	15,440	13,193	21,189

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	スマートハウス等普及促進補助 ・蓄エネルギー機器（蓄電システム又は電気自動車充給電設備）：6万円・蓄エネルギー機器＋ZEH化：21万円 ・断熱リフォーム：15万円・断熱リフォーム（窓のみ）：5万円・（加算額）居住誘導：5万円 自家消費型家庭用太陽光電設備等設置補助 ・太陽光発電設備：8万円／kW（上限45万円）・蓄電システム：対象経費の1/3（上限20万円）	26,778千円 34,817千円	総額	61,595	
			特定財源	国	0
				県	34,817
				市債	0
				他	2,000
			一般財源	24,778	
令和 8 年度	スマートハウス等普及促進補助 ・蓄エネルギー機器（蓄電システム又は電気自動車充給電設備）：6万円・ZEH化：15万円・断熱リフォーム：15万円・断熱リフォーム（窓のみ）：5万円・（加算額）居住誘導：5万円 自家消費型家庭用太陽光電設備等設置補助 ・太陽光発電設備：8万円／kW（上限45万円）・蓄電システム：対象経費の1/3（上限20万円）	27,800千円 32,500千円	総額	60,300	
			特定財源	国	0
				県	32,500
				市債	0
				他	0
			一般財源	27,800	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

固定価格買取制度の見直しや住宅の省エネ義務化など、再生可能エネルギーを巡る情勢が目まぐるしく変化していることから、エネルギーの地産地消の考え方を含め、時代のニーズに即したより効果的な再エネ導入の在り方を検討し、継続的な事業の見直しを図っていく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入） 国、県の補助事業を活用し、市民のニーズを把握しながら、本市の課題とリンクし、地域の特色に沿った再生可能エネルギー活用の実現化を検討、実施していく。
--

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策		環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進課
	施策		ゼロカーボンシティの実現		電話番号	087-839-2393
	取組方針		再生可能エネルギーの導入拡大		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		E Vカーシェアリング導入事業			

【事業全体概要】

事業概要						
8年度概要	情報収集 類似取組の状況確認					
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	低炭素移動手段の認知度を高め、脱炭素化	

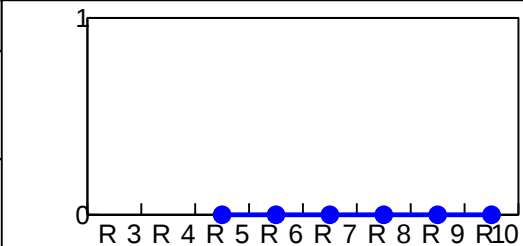
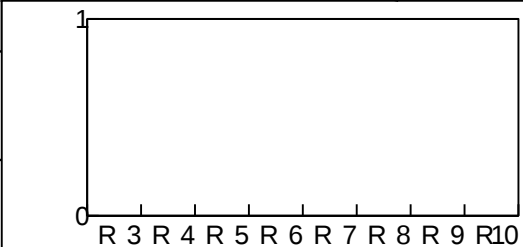
【事業の目的】

対象（何を）	公用車
意図（どのような状態にしたいか）	再生可能エネルギーを利用した公用車のカーシェアリングの導入について検討する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
活動指標設定なし	件	0	0	0	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	成果指標設定なし		件	目標値	0	0	0	0	0	
				実績値	0	0	0	0	0	
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

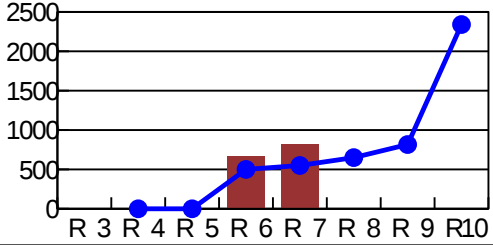
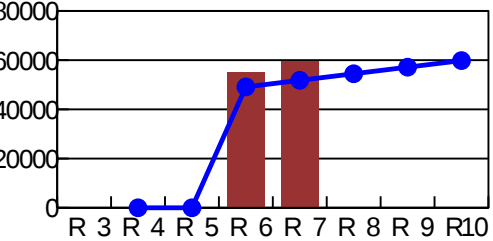
総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進課
	施策	ゼロカーボンシティの実現		電話番号	087-839-2393
	取組方針	脱炭素型ライフスタイルの普及促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	電気自動車等普及促進事業			

【事業全体概要】					
事業概要	市域における温室効果ガス排出量の抑制を図るため、公用車に電気自動車（ＥＶ）を率先的に導入するとともに、ＥＶ用充電器の設置拡大を図るなど、環境負荷の少ないＥＶの普及を促進する。				
8年度概要	環境展等でＥＶによるＣＯ２排出量の削減効果を紹介することで市民にＥＶへの理解を深めてもらう。また、民間活力を活用して、市内１７か所にある急速・普通充電設備の運用を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	環境に負荷の少ないＥＶを多くの市民に周知することにより、自動車の新規購入や買換えの際におけるＥＶ購入の意識付けを行う。また、市が設置した急速充電器の運営を行うとともに、市内の充電設備の設置を拡充することなどにより、ＥＶの普及を図る。

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
電気自動車（公用車）の走行距離	k m	0	77,448	69,669	104,000	104,000
公用車における電気自動車導入数（累計）	台	0	16	17	14	14

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	市内における電気自動車保有台数	台	目標値	0	500	550	650	650
			実績値	0	673	820		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	民間においてEV用の充電インフラが拡大しているため、目標を達成することができた。							
			(目標達成度)	149.1%				
			(得点)	35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	市内における次世代自動車保有台数	台	目標値	0	49,122	51,797	54,471	54,471
			実績値	0	55,213	59,464		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	特にハイブリッド自動車の普及が進んだため、目標を達成することができた。							
			(目標達成度)	114.8%				
			(得点)	35点				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	4,586	5,816	5,909	5,597
(事業費)	[千円]	1,199	798	312	0
(職員人件費)	[千円]	3,387	5,018	5,597	5,597

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	環境展等でＥＶによるＣＯ２排出量の削減効果を紹介することで市民にＥＶへの理解を深めてもらう。 また、市が設置した市内３か所にある道の駅の急速充電設備の運用を行う。	急速充電器維持管理費 3 1 2 千円	総額	312	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	92
			一般財源	220	
令和 8 年度	環境展等でＥＶによるＣＯ２排出量の削減効果を紹介することで市民にＥＶへの理解を深めてもらう。 また、民間活力を活用して、市内１７か所にある急速・普通充電設備の運用を行う。	急速充電器維持管理費 0 千円	総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
車体ラッピングを施した公用電気自動車を市内を走らせ、ゼロカーボンシティ展等で紹介することで市民に電気自動車への理解を深めた。 また、市が設置した１７か所（道の駅、スポーツ施設、コミュニティセンターなど）の急速・普通充電設備の運用を行うとともに、充電設備の情報をＨＰ等で提供した。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
市内における電気自動車等保有台数は増加してきており効果は出ている。今後、公用車への電気自動車の率先導入や急速充電器の再整備等を進め、さらなる普及拡大を図る。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策		環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進課
	施策		ゼロカーボンシティの実現		電話番号	087-839-2393
	取組方針		脱炭素型ライフスタイルの普及促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		脱炭素化推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	令和2年12月に「ゼロカーボンシティ」宣言を行い、本市の脱炭素社会の形成に資する施策を総合的・計画的に推進するため、脱炭素社会推進本部を設置し、全庁挙げて、市民や事業者・関係機関と連携を図りながら、脱炭素型ライフスタイルの普及促進や脱炭素化に向けた地域づくりに取り組む。				
8年度概要	デコ活の普及促進（あり方検討会、チャレンジシート製作等） エネルギー政策を中心に民間の専門的知見に基づくアドバイス業務を委託 中小企業の脱炭素経営促進 ブルーカーボン創出・グリーンカーボン普及促進 南部クリーンセンターの自家消費電力の環境価値をグリーン電力証書化				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	2-	関連根拠法令	地球温暖化対策の推進に関する法律

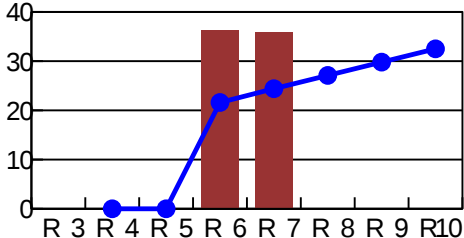
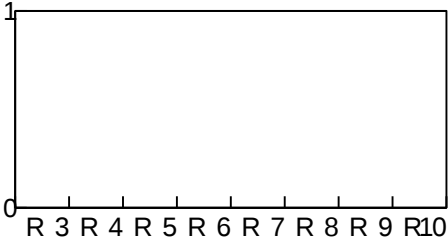
【事業の目的】

対象（何を）	市内の温室効果ガス
意図（どのような状態にしたいか）	高松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の２０３０年度の温室効果ガス排出量削減目標（４６％）を達成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
脱炭素型ライフスタイル推進リーダー延べ登録数	団体	0	112	124	390	390

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	本市域の温室効果ガス削減比率（２０１３年度比）		%	目標値	0	21.6	24.4	27.1	27.1
				実績値	0	36.2	35.8		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	啓発活動などによる市民や事業者の温暖化防止に対する意識の高まりなどから、温室効果ガスの削減比率（２０１３年度比）について１１．４ポイント目標値を上回った。		（目標達成度） 146.7%						
（得点） 35点									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			（目標達成度）						
（得点）									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	183,942	32,865	1,845,181	61,007
(事業費)	[千円]	168,888	3,915	1,819,194	24,625
(職員人件費)	[千円]	15,054	28,950	25,987	36,382

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	脱炭素型ライフスタイルの普及促進を促進する(リーダー養成講座、モデル事業など)。 市有施設の一斉LED化を実施する。 中小企業の脱炭素経営支援事業を実施する。	1,433千円 1,815,332千円 (うち繰越明許 440,150千円) 2,429千円	総額	1,819,194	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	1,633,700
				他	137,000
			一般財源	48,494	
令和 8 年度	デコ活の普及促進(あり方検討会、チャレンジシート製作等) エネルギー政策を中心に民間の専門的知見に基づくアドバイス業務を委託 中小企業の脱炭素経営促進 ブルーカーボン創出・グリーンカーボン普及促進 南部クリーンセンターの自家消費電力の環境価値をグリーン電力証書化	968千円 1,487千円 14,200千円 991千円 6,979千円	総額	24,625	
			特定財源	国	7,150
				県	0
				市債	0
				他	3,600
			一般財源	13,875	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

脱炭素型ライフスタイルの普及促進を図る各種事業、中小企業の脱炭素経営促進、市有施設ＬＥＤ化事業などを実施したが、温室効果ガス排出量が微増傾向にあることから、温室効果ガスの排出割合が最も多い民生部門（家庭・業務）の脱炭素化を一層進めていく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

ゼロカーボンシティの実現は、困難な課題ではあるが、市民や事業者と総力を挙げて取り組んでいく。まずは、意識啓発や市の率先実行の取組を進めながら、事業者等との連携のあり方を模索し、今後、国の交付金や補助金の活用を視野に、市として実施すべき取組を鋭意進めていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進課
	施策	循環型社会の形成		電話番号	087-839-2393
	取組方針	ごみの減量・資源化の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	プラスチックごみ対策事業			

【事業全体概要】

事業概要	世界的な問題となっているプラスチックごみを削減するため、国の「プラスチック資源循環戦略」に基づき、市民に対し、リデュース・リユースの2 Rを中心に、市民等に積極的な情報発信や学習機会の提供を行うほか、プラスチック資源循環促進法に基づく製品プラスチックの一括回収について、検討を進める。				
8年度概要	マイボトル利用促進啓発費用（P R 動画作成、S N S 広告配信費用等） 指定収集袋のレジ袋化実証費用（先進地視察旅費等）				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	2-	関連根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

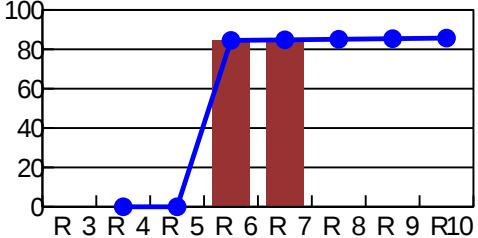
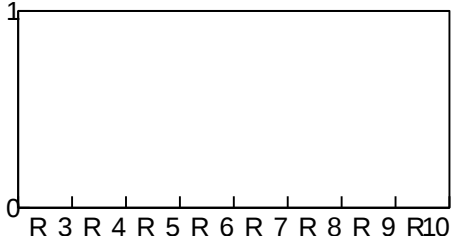
【事業の目的】

対象（何を）	市民、市内のスーパー、コンビニ、ドラッグストア等の小売店などの事業者
意図（どのような状態にしたいか）	使い捨てプラスチック製品の使用を削減するなど、プラスチック資源循環を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
プラごみに関する周知啓発イベント回数（累計）	件	0	0	7	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	プラスチック容器包装ごみの再資源化率（家庭ごみ）	%	目標値	0	84.5	84.8	85.1	85.1
			実績値	0	84.4	83.9		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	海ごみ清掃体験と環境学習を組み合わせたフィールドワークやカマタマール讃岐ホームタウンデーなどで啓発事業を実施し、意識向上を図った結果、おおむね目標を達成することができた。			(目標達成度) 98.9%				
(得点) 35点								
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	7,216	8,025	60,820	22,767
(事業費)	[千円]	3,829	305	44,828	1,977
(職員人件費)	[千円]	3,387	7,720	15,992	20,790

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	各種周知啓発 ・ 海岸でのフィールドワーク活動・給水機賃貸借料・啓発 イベント用贈答品 市有施設等への常設型給水機の設置費用 給水スポット協力店拡大等 (小学校) 給水機設置費用	2 5 2 千円 7 , 8 2 3 千円 1 , 5 9 5 千円 3 5 , 1 5 8 千円	総額	44,828	
			特定財源	国	21,456
				県	0
				市債	0
				他	100
			一般財源	23,272	
令和 8 年度	マイボトル利用促進啓発費用 (P R 動画作成、S N S 広 告配信費用等) 指定収集袋のレジ袋化実証費用 (先進地視察旅費等)	1 , 8 0 9 千円 1 6 8 千円	総額	1,977	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,977	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

高松シンボルタワーデックスギャラリーや男木交流館など、4か所に新たにマイボトル用の給水機を設置したほか、たかまつ給水スポット協力店の募集を行い、ペットボトルの削減に取り組んだ。また、市主催事業等で臨時給水機の設置に合わせ、啓発事業を実施し、プラスチックごみ削減に向けた意識啓発を推進した。

市有施設や市内中学校への給水機の設置を始め、給水スポットの協力店の登録拡大など、引き続き、給水スポットの設置拡大等に取り組むとともに、マイボトルの利用促進の動画製作やSNS発信を行うことにより更なるマイボトルの利用促進を図る。また、指定収集ごみ袋のレジ袋化の実証事業に向けての準備を行うほか、製品プラスチックの一括回収については、他自治体の情報収集、関係各課と必要な設備整備や収集に係る調整を行った上で、実施時期等を含め、慎重に検討する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策		環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進課
	施策		循環型社会の形成		電話番号	087-839-2393
	取組方針		ごみの減量・資源化の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		ごみ減量・資源化啓発事業			

【事業全体概要】

事業概要	ごみ分別ガイドブックの配布に加えて、ごみ分別アプリの配信等により、ごみの減量・リサイクルを推進する。また、家庭から出された缶・びん・ペットボトル、プラスチック、紙類等の資源ごみを、再資源化のための中間処理を行い、プラスチック、色つきのびんについては日本容器包装リサイクル協会に引渡し、缶・びん・ペットボトル、紙類など有価にて売払いは専門業者に売却する事業を行う。				
8年度概要	ごみ分別ガイドブック作成費用等 ごみ分別アプリ関係費用 収集した資源物を再資源化する経費（委託料等）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	ごみを排出する市内の全家庭
意図（どのような状態にしたいか）	ごみ分別ガイドブックを配布することにより、各家庭が正しいごみの分別方法を理解し、再資源化が行われるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
ごみ分別アプリ利用人数	人	0	0	51,030	57,600	57,600

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																												
	資源ごみの再資源化率（紙・布を除く）		%	目標値	0	75	75	75	75																												
			実績値	0	73.3	74.6																															
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					<table border="1"><caption>Resource Recycling Rate Achievement Data</caption><thead><tr><th>Year</th><th>Target (%)</th><th>Actual (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R3</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R4</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R5</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R6</td><td>75</td><td>73.3</td></tr><tr><td>R7</td><td>75</td><td>74.6</td></tr><tr><td>R8</td><td>75</td><td></td></tr><tr><td>R9</td><td>75</td><td></td></tr><tr><td>R10</td><td>75</td><td></td></tr></tbody></table>					Year	Target (%)	Actual (%)	R3	0	0	R4	0	0	R5	0	0	R6	75	73.3	R7	75	74.6	R8	75		R9	75		R10	75	
	Year	Target (%)	Actual (%)																																		
R3	0	0																																			
R4	0	0																																			
R5	0	0																																			
R6	75	73.3																																			
R7	75	74.6																																			
R8	75																																				
R9	75																																				
R10	75																																				
ガイドブックやアプリ配信等により正しい分別やリサイクルの推進を行い、市民や事業者の「ごみの減量と再資源化」に対する意識向上を図った結果、おおむね目標を達成することができた。		(目標達成度)	99.9%																																		
		(得点)	35点																																		
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																												
	1日1人当たりの家庭系ごみ排出量の減少率		%	目標値	0	0	4.4	5.9	5.9																												
			実績値	0	0	7.8																															
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					<table border="1"><caption>Household Waste Reduction Achievement Data</caption><thead><tr><th>Year</th><th>Target (%)</th><th>Actual (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R3</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R4</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R5</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R6</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R7</td><td>4.4</td><td>7.8</td></tr><tr><td>R8</td><td>5.9</td><td></td></tr><tr><td>R9</td><td>5.9</td><td></td></tr><tr><td>R10</td><td>5.9</td><td></td></tr></tbody></table>					Year	Target (%)	Actual (%)	R3	0	0	R4	0	0	R5	0	0	R6	0	0	R7	4.4	7.8	R8	5.9		R9	5.9		R10	5.9	
	Year	Target (%)	Actual (%)																																		
R3	0	0																																			
R4	0	0																																			
R5	0	0																																			
R6	0	0																																			
R7	4.4	7.8																																			
R8	5.9																																				
R9	5.9																																				
R10	5.9																																				
ガイドブックやアプリ配信等により正しい分別やリサイクルの推進を行い、市民や事業者の「ごみの減量と再資源化」に対する意識向上を図った結果、目標を達成することができた。		(目標達成度)	177.3%																																		
		(得点)	35点																																		

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

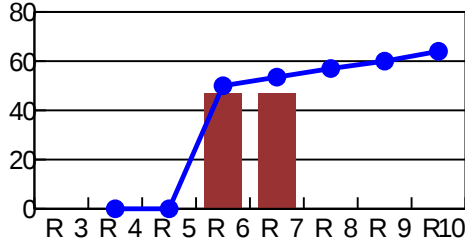
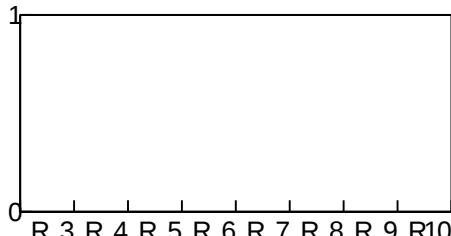
総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進課
	施策	循環型社会の形成		電話番号	087-839-2393
	取組方針	ごみの減量・資源化の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	食品ロス対策等推進事業			

【事業全体概要】					
事業概要	食品ロスの削減を始めとする食品廃棄物の減量・再資源化を推進するため、県と連携しながら、環境・身体・家計にかしいライフスタイルであるスマート・フードライフに関する市民意識の向上を図る。 食品ロスの実態及び取組状況を把握するとともに、食品ロス削減や「3きり」に関する周知・啓発により、市民の取組を促進するほか、事業者等とも連携した取組を推進する。				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト	2-	関連根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 食品ロ

【事業の目的】	
対象（何を）	食品ロスに対する市民意識及び食品廃棄物の発生量
意図（どのような状態にしたいか）	食品ロスに対する市民意識が向上し、食品廃棄物の発生量が減少する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
フードドライブや出前講座等周知啓発回数	回	0	0	8	6	6

【事業の成果】									
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	アンケートで食品ロスを出していないと回答した割合	%	目標値	0	50	53.5	57	57	
			実績値	0	46.8	46.8			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	フードドライブの実施等食品ロスの周知・啓発をしたものの、目標を下回る結果となった。	（目標達成度） 87.5%							
		（得点） 31点							
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値						
			実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
		（目標達成度）							
		（得点）							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	3,013	3,893	4,122	0
(事業費)	[千円]	2	33	124	0
(職員人件費)	[千円]	3,011	3,860	3,998	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	フードドライブ用消耗品費 地域ポイント手数料	1 2 3 千円 2 千円	総額	124	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	124	
令和 8 年度			総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

フードドライブの実施については、事業者や関係団体と協働して実施する等、食品ロスの周知・啓発を推進した。今後も、事業者や関係団体と協働して周知・啓発を行っていく。

令和8年度からは、2R（リデュース・リユース）推進事業として、引き続き、フードドライブや食品ロスの周知・啓発等の食品ロス対策等を推進する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進課
	施策	循環型社会の形成		電話番号	087-839-2393
	取組方針	ごみの減量・資源化の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	事業系ごみ減量推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	事業の用に供する延べ面積3,000㎡以上の建物を有する事業者（多量排出事業者）に対し、「事業系一般廃棄物減量等計画書」の提出を求める。また、地球にやさしいオフィス・店の登録事業者等の事業系ごみ減量推進に向けた取組状況をホームページ上で公表し、市内事業者への事業系ごみ減量の推進を呼びかける。				
8年度概要	地球にやさしいオフィス・店登録関係消耗品等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

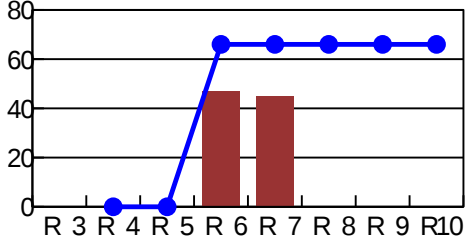
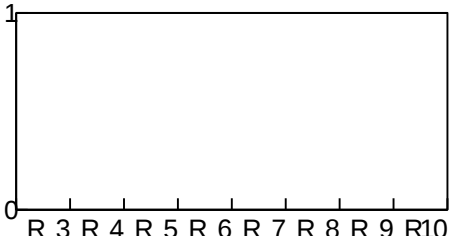
【事業の目的】

対象（何を）	事業の用に供する延べ面積3,000㎡以上の建物を有する事業者及び事業者が排出する事業系一般廃棄物
意図（どのような状態にしたいか）	対象事業者に対し、事業系一般廃棄物減量等計画書の作成及び計画の実行に取り組んでもらい、事業系一般廃棄物の排出量が減少する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
一般廃棄物減量等計画書受付件数	件	0	309	297	352	352

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	多量排出事業者の廃棄物リサイクル率	%	目標値	0	66	66	66	66
			実績値	0	46.9	44.8		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	多量排出事業者の廃棄物リサイクル率の中期目標を66.0パーセントとし、リサイクル率の増加を目指したが、リサイクル率は減少し、目標を下回った。		（目標達成度） 67.9%					
			（得点） 24点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度）					
			（得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	3,011	3,865	4,013	4,003
	(事業費)	0	5	15	5
	(職員人件費)	3,011	3,860	3,998	3,998

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	地球にやさしいオフィス・店登録関係消耗品等	1 5 千円	総額	15	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	15	
令和 8 年度	地球にやさしいオフィス・店登録関係消耗品等	5 千円	総額	5	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	5	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	72 / 100 (72 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
廃棄物減量等計画書の取りまとめ及び公表を行った。リサイクル率は低下しているため、取組内容を見直し、実効性のあるものとする必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
リサイクル率の向上につながるよう対象事業者への働き掛けを継続しつつ、目標達成に向けた具体的な対策を検討する。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策		環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	環境業務課
	施策		循環型社会の形成		電話番号	087-834-0389
	取組方針		ごみの減量・資源化の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		小型家電等リサイクル推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	支所・出張所や家電販売店及び「環境展」などのイベントに回収ボックスを設置して、使用済小型家電3品目を回収する。また、南部・西部クリーンセンターの委託業者の協力を得て、ピックアップ回収を実施する。				
8年度概要	小型家電リサイクル事業の普及・啓発事業のため、チラシの作成及び配布、回収ボックスの設置を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関

【事業の目的】

対象（何を）	・不要になった携帯電話、デジタルカメラ、ゲーム機等の使用済小型家電 3 2 品目。 ・家庭から出る破砕ごみから回収された使用済小型家電 3 2 品目。
意図（どのような状態にしたいか）	・使用済小型家電の回収を実施することにより、レアメタルを含む有用な金属のリサイクルを推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
住民説明会等の実施回数	回	0	8	7	10	10

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	年間回収量	t	目標値	0	12	12	12	12
			実績値	0	17.3	18.4		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	令和3年4月から回収品目にパソコンなど11品目を追加したことやチラシ配布等による啓発活動により、令和7年度の回収量は約18.4トンとなり、前年度を上回る回収量を確保することが出来た。			(目標達成度) 153.3%				
				(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	815	824	858	2,543
	(事業費)	62	52	58	1,743
	(職員人件費)	753	772	800	800

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	小型家電リサイクル事業の普及・啓発事業のため、チラシの作成及び配布を行う。	小型家電等リサイクル推進事業 58千円 チラシ作成・配布	総額	58	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	58	
令和 8 年度	小型家電リサイクル事業の普及・啓発事業のため、チラシの作成及び配布、回収ボックスの設置を行う。	小型家電等リサイクル推進事業 1,743千円 チラシ作成・配布、回収ボックス設置	総額	1,743	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,743	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）	
	回収品目が拡大されて4年目になるが、前年度を上回る回収量を確保することができた。引き続き周知啓発を図り、一層の回収量増加に取り組む。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	環境業務課
	施策	循環型社会の形成		電話番号	087-834-0389
	取組方針	ごみの減量・資源化の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	家庭系ごみ有料化事業			

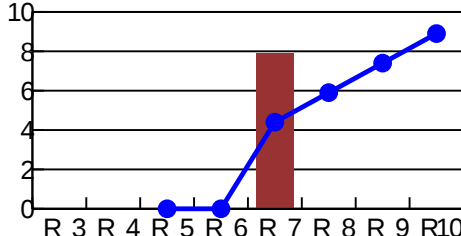
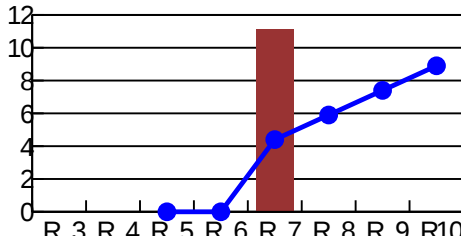
【事業全体概要】					
事業概要	家庭系ごみの減量・資源化、ごみ処理に係る負担の公平化、ごみに責任をもつ社会の実現を目指し、平成16年10月から、定期収集家庭ごみのうち、「燃やせるごみ」「破碎ごみ」について、大(40L相当)・中(30L相当)・小(20L相当)、特小(10L相当)の4種類の有料指定収集袋による回収を開始した。また、平成28年10月から、高齢者等ごみ排出量の少ない世帯の利便性の向上を目指し、従来の4種類に超特小(5L相当)を加えて、5種類での運用を開始した。現在、5種類の有料指定収集袋を活用し、その製造、収納事務(スーパーなどの店舗における一般廃棄物処理手数料収納事務)及び配送・在庫管理に関する事務を行っている。				
	指定収集袋作製に係る費用 指定収集袋配送・在庫管理委託料 指定収集袋販売取扱委託料 その他				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令		

【事業の目的】	
対象(何を)	ごみを排出する市内の全家庭
意図(どのような状態にしたいか)	各家庭において、有料指定収集袋を購入することにより、家庭ごみの排出量が減少する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
有料指定収集袋作製枚数（特小換算）	枚	0	46,600	38,375	43,000	43,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	燃やせるごみ減少率	%	目標値	0	0	4.4	5.9	5.9
			実績値	0	0	7.9		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	収集袋の作製枚数は減少したが、ごみの減量・再資源化等の周知啓発の結果、目標を大きく上回る結果となった。				(目標達成度) 179.5%			
					(得点) 35点			
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	破碎ごみ減少率	%	目標値	0	0	4.4	5.9	5.9
			実績値	0	0	11.1		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
					(目標達成度) 252.3%			
					(得点) 35点			

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	165,840	170,535	143,483	188,615
(事業費)	[千円]	160,195	163,587	136,287	181,419
(職員人件費)	[千円]	5,645	6,948	7,196	7,196

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	指定収集袋作製に係る費用 指定収集袋配送・在庫管理委託料 指定収集袋販売取扱委託料 その他	7 7 , 1 7 6 千円 1 2 , 1 4 4 千円 4 6 , 9 5 5 千円 1 2 千円	総額	136,287	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	352
			一般財源	135,935	
令和 8 年度	指定収集袋作製に係る費用 指定収集袋配送・在庫管理委託料 指定収集袋販売取扱委託料 その他	1 1 5 , 9 6 0 千円 1 7 , 5 3 4 千円 4 7 , 8 2 3 千円 1 0 2 千円	総額	181,419	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	181,419
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

平成28年10月から5リットル相当の「超特小」を加えた5種類での運用により、高齢者等の家庭ごみ排出量の少ない世帯の利便性の向上が図られたため、引き続き事業を実施した。

平成28年度に超特小を導入し、「大」、「中」、「小」、「特小」、「超特小」の5種類とした指定収集袋を活用した、家庭系ごみ有料化事業の円滑かつ適正な運用を継続することにより、利便性の向上も図りながら引き続き、家庭系ごみの減量・資源化を推進する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	環境業務課
	施策	循環型社会の形成		電話番号	087-839-3990
	取組方針	廃棄物処理の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	災害時し尿処理事業			

【事業全体概要】

事業概要	災害発生時に、避難所トイレが復旧するまで、緊急に使用する簡易トイレ及び携帯トイレの備蓄並びに、浸水被災世帯の緊急し尿収集に対し、補助金の交付を行う。また、近年中に納車予定であるトイレトラックの納車後の運用に向けて準備を行う。				
8年度概要	保存期限を過ぎた、携帯トイレの更新を行う。 浸水被災世帯への緊急し尿収集事業補助を行う。 近年中に納車されるトイレトラックの運用に向けて準備を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市地域防災計画、高松市災害時緊急物資

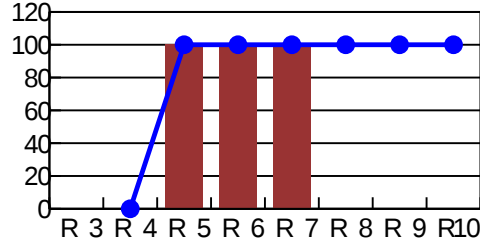
【事業の目的】

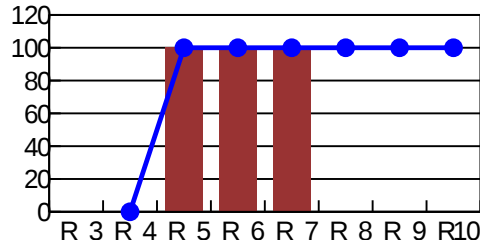
対象（何を）	簡易トイレ及び携帯トイレの備蓄数（避難所・避難者用）
意図（どのような状態にしたいか）	災害発生時に、避難所トイレが復旧するまで、緊急に使用する簡易トイレ及び携帯トイレを備蓄する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
簡易トイレ備蓄数		基	1,815	1,815	1,815	1,815	1,815
携帯トイレ備蓄数		個	176,400	176,400	176,400	176,400	176,400

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	簡易トイレ備蓄率	%	目標値	100	100	100	100	100	
			実績値	100	100	100			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	平成 2 9 年度備蓄予定数量の配備を完了し、「高松市災害時緊急物資備蓄計画」の目標数を達成した。								
			(目標達成度)	100.0%					
			(得点)	35点					

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	携帯トイレ備蓄率	%	目標値	100	100	100	100	100	
			実績値	100	100	100			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	平成 2 9 年度備蓄予定数量の配備を完了し、「高松市災害時緊急物資備蓄計画」の目標数を達成した。								
			(目標達成度)	100.0%					
			(得点)	35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	1,274	4,209	2,852	7,292
(事業費)	[千円]	822	3,205	1,813	5,293
(職員人件費)	[千円]	452	1,004	1,039	1,999

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	保存年限を過ぎた、携帯トイレの更新を行う。 浸水被災世帯への緊急し尿収集事業補助を行う。	1 , 8 1 3 千円 0 千円	総額	1,813	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,813	
令和 8 年度	保存期限を過ぎた、携帯トイレの更新を行う。 浸水被災世帯への緊急し尿収集事業補助を行う。 近年中に納車されるトイレトラックの運用に向けて準備を行う。	2 , 0 5 9 千円 8 0 1 千円 2 , 4 3 3 千円	総額	5,293	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	5,293	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

計画的な緊急物資の更新を行った。

平成 29 年度で避難所への簡易トイレ及び携帯トイレの配備が完了した。平成 30 年度からは使用期限が過ぎた携帯トイレの更新を実施しつつ、香川県の備蓄計画を注視していく方針である。

近年中に納車されるトイレトラックの運用に向けて、準備を行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策		環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	環境施設対策課
	施策		循環型社会の形成		電話番号	087-897-0770
	取組方針		廃棄物処理の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		次期ごみ処理施設整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市の一般廃棄物の中間処理施設である西部クリーンセンターが令和14年度末に稼働を終了するほか、南部クリーンセンターも同時期に稼働後約30年を経過することから、15年度以降も安定したごみ処理運営を行うため、次期ごみ処理施設を整備する。				
8年度概要	焼却・破砕施設整備に係る発注者支援業務委託(R8-R9)を行う。あわせて、造成工事(R8~R10)を実施する。				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	2-	関連根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

【事業の目的】

対象（何を）	次期ごみ処理施設
意図（どのような状態にしたいか）	環境影響評価等を進めるとともに、令和 7 年度までに基本設計を完了させ、8 年度から事業者選定、造成工事に着手し、10 年度に実施設計の完了を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
次期ごみ処理施設整備事業の進捗率	%	0	12	20	23	23

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	次期ごみ処理施設整備事業の進捗率	%	目標値	0	12	20	23	23
			実績値	0	12	20		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	令和14年度までの全工程中、基本設計完了で20%、実施設計完了で30%、その後の工事工程については事業費で進捗率を管理する。 令和6年度は、令和7年度に予定している基本設計完了に向けて、令和6年度分の基本設計や環境影響評価等を行った。	(目標達成度) 100.0%						
(得点) 35点								
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	43,215	153,415	443,582	328,606
(事業費)	[千円]	28,161	122,535	411,598	288,626
(職員人件費)	[千円]	15,054	30,880	31,984	39,980

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	焼却・破碎施設整備に係る環境影響評価等を実施する。	環境影響評価等業務委託料 2 5 4 , 6 1 9 千円、用地取得費・補償費 1 3 2 , 7 7 1 千円、地域振興事業補助金 1 9 , 3 8 2 千円、需用費等 4 , 8 2 6 千円	総額	411,598	
			特定財源	国	74,988
				県	0
				市債	156,000
				他	132,486
			一般財源	48,124	
令和 8 年度	焼却・破碎施設整備に係る発注者支援業務委託 (R8-R9)を行う。あわせて、造成工事 (R8~ R10) を実施する。	環境影響評価業務等委託料 7 0 , 9 5 0 千円、交差点改良設計業務委託料等 8 , 7 2 5 千円、使用料及び賃借料 1 , 7 0 0 千円、工事請負費 1 9 1 , 5 1 0 千円、地域振興事業補助金 1 1 , 7 7 1 千円、需用費 3 , 9 7 0 千円	総額	288,626	
			特定財源	国	43,069
				県	0
				市債	148,800
				他	54,670
			一般財源	42,087	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

令和7年度分の環境影響評価及び施設整備基本設計等を実施した。

引き続き、地域に新たな価値を創出できる施設整備を目指す。
また、事業に多額の費用を要するため、国の交付金制度を最大限活用する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	南部クリーンセンター
	施策	循環型社会の形成		電話番号	087-890-2190
	取組方針	環境意識の醸成		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	南部クリーンセンター環境学習事業			

【事業全体概要】

事業概要	南部クリーンセンターの施設を活用して、ごみ処理の現状と課題を学習する機会を提供する。「エコホテル」の展示ギャラリーでは、環境パネル展や、環境に関する図書の閲覧、またパソコンによる環境クイズなどを利用して環境問題を考える機会を提供し、地球規模での温暖化対策の必要性を啓発するとともに、学習室では紙すきや工作などを実施して、楽しみながら、リサイクルを体験してもらい、参加者の環境意識の向上に寄与する。				
8年度概要	利用者数（見学者・学習室利用者等） 年3,750人 体験学習事業 親子リサイクル工作会・施設見学会等自主企画事業 年25回程度 施設紹介・分別収集啓発用パンフレット印刷・配付				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

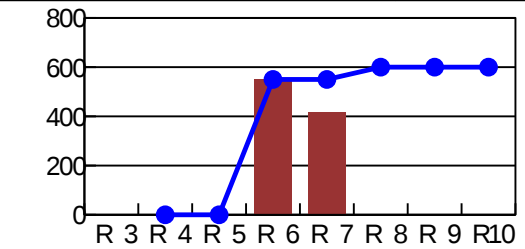
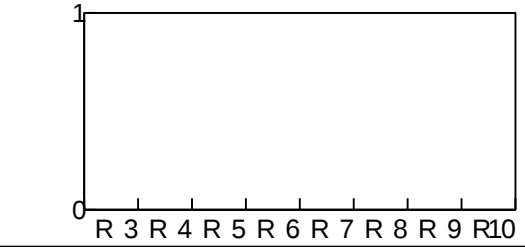
【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	ごみ問題を始めとする環境学習の場を提供して、広く市民の環境意識の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
エコホテル自主企画講座回数（見学会等を含む。）	回	0	23	17	25	25

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	エコホテル自主企画講座参加者数	人	目標値 実績値	0 0	550 549	550 415	600	600
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	小学生の夏休み冬休みに親子工作会や施設見学会を昨年度は17回実施した。エコホテル自主企画講座参加者数については講座の実施回数が確保できなかったことから、目標を達成できなかった。			（目標達成度） 75.5%				
				（得点） 26点				
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				（目標達成度）				
				（得点）				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	15,581	15,657	16,187	16,340
(事業費)	[千円]	527	217	195	348
(職員人件費)	[千円]	15,054	15,440	15,992	15,992

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	利用者数(見学者・学習室利用者等) 年3,727人 体験学習事業 親子リサイクル工作会・施設見学会等自主企画事業 年17回 施設紹介・分別収集啓発用パンフレット印刷・配付 環境啓発DVD視聴	各講座用消耗品関係 施設紹介・分別収集啓発用パンフレット印刷関係 体験学習業務委託関係	総額	195	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	195	
令和 8 年度	利用者数(見学者・学習室利用者等) 年3,750人 体験学習事業 親子リサイクル工作会・施設見学会等自主企画事業 年25回程度 施設紹介・分別収集啓発用パンフレット印刷・配付 環境啓発DVD視聴	各講座用消耗品関係 施設紹介・分別収集啓発用パンフレット印刷関係 体験学習業務委託関係	総額	348	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	348	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

NPO法人、管理運営事業者とも協働する中で、より魅力ある施設見学会や、新たな自主企画事業の開催などを通じて、環境保全意識の啓発を推進する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	産業振興課
	施策	商工業の振興		電話番号	087-839-2411
	取組方針	中小企業等の育成・振興		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	中小企業指導団体等育成事業			

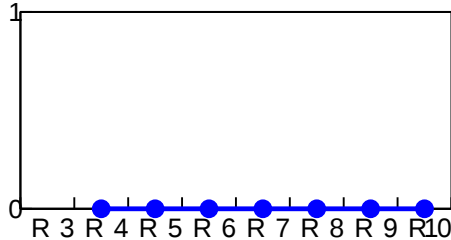
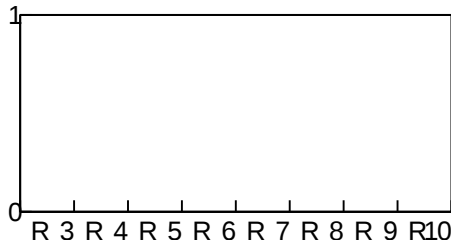
【事業全体概要】					
事業概要	中小企業者等の経営の合理化・近代化の促進及び育成指導に努めるとともに、その構成員の文化的・経済的な改善向上を図るため、高松市中小企業振興助成条例に基づき指定した指導団体等に対し事業費補助を行う。				
	中小企業指導団体等に対する助成				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	高松市中小企業振興助成条例	

【事業の目的】	
対象（何を）	中小企業指導団体等
意図（どのような状態にしたいか）	中小企業指導団体等が行う市内中小企業の振興に係る事業が円滑かつ効果的に推進される。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
指導団体等に関する補助金交付件数	件	0	11	9	11	11

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	成果指標設定なし	件	目標値 実績値	0 0	0 0	0 0	0 0	0
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	指定団体等が実施する事業に対して補助する事業であるため、 成果指標の設定は困難である。		(目標達成度)					
			(得点)					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	33,345	33,996	31,882	35,886
(事業費)	[千円]	31,614	32,220	30,043	32,887
(職員人件費)	[千円]	1,731	1,776	1,839	2,999

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	中小企業指導団体等に対する助成	30,043千円 ジェトロ香川については貿易振興事業で計上	総額	30,043	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	30,043				
令和 8 年度	中小企業指導団体等に対する助成	32,887千円	総額	32,887	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	32,887				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	24 / 30 (80 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
引き続き、中小企業者等の経営の合理化・近代化及び育成指導に努める団体に対し、事業助成を行った。 厳しい経済環境の中で、会員数が減少傾向にある団体もあるほか、中東情勢を始めとする不透明な国際情勢や物価高騰の影響で中小企業者を取り巻く環境は悪化しており、地域経済の活性化のため、引き続き支援が必要である。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
中小企業の育成と振興により、商工業の振興と地域経済の活性化が求められているため、本事業を継続して実施する必要がある。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	産業振興課
	施策		商工業の振興		電話番号	087-839-2411
	取組方針		中小企業等の育成・振興		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		中小企業経営講習会等事業			

【事業全体概要】

事業概要	中小企業経営の近代化・合理化の促進並びに従業員の資質及び技術水準の向上を図るため、関係団体と共催で講習会等を実施する。				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

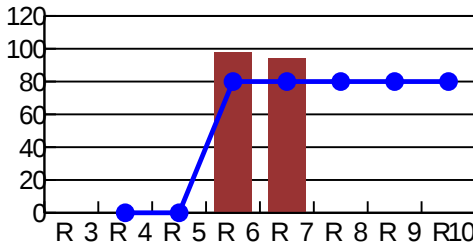
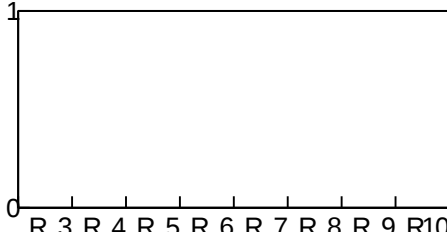
【事業の目的】

対象（何を）	市内中小企業
意図（どのような状態にしたいか）	中小企業経営の近代化・合理化並びに従業員の資質等の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	講習会受講参加率	%	0	55.5	68.6	70	70

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	講習会等の受講者満足度	%	目標値 実績値	0 0	80 98	80 93.9	80	80	
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	各種セミナーを通じて、事業者が抱える課題解決の糸口を発見できたり、同様の悩みを抱える受講者同士で交流する機会が得られるなど、多角的な視点で経営のノウハウや専門知識を習得することから、受講者の満足度は高くなっている。	(目標達成度)		117.4%					
		(得点)		35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値 実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
		(目標達成度)							
		(得点)							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	6,874	7,047	5,633	0
(事業費)	[千円]	1,635	1,643	1,635	0
(職員人件費)	[千円]	5,239	5,404	3,998	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	中小企業経営講習会等の開催（高松商工会議所等と共催） 香川県溶接技術コンクール開催補助金	1,600千円 35千円	総額	1,635	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,635	
令和 8 年度			総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
従業員の資質向上及び技術水準の向上のため、関係団体と共催で講習会及び研修会を実施した。今後、受講者数の一層の増加に向け、講習内容や周知方法の検討などが重要となる。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
地域の経営環境は、今後より一層厳しくなることが懸念され、関係団体と連携して従業員の資質向上及び技術水準の向上に努める必要があるため、継続実施が妥当である。（令和8年度から中小企業等人材戦略支援事業に一元化。）						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	産業振興課
	施策		商工業の振興		電話番号	087-839-2411
	取組方針		中小企業等の育成・振興		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		中小企業人材確保・就業機会拡大事業			

【事業全体概要】

事業概要	新規学卒者及び中途求職者への就業機会の拡大を図り、厳しい雇用環境に対応するため、合同就職面接会を開催し、中小企業の労働力、人材確保を促し、経営の安定に寄与することを目的とする。 合同就職面接会は、高松商工会議所、香川県、香川労働局（ハローワーク）、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構香川支部香川職業能力開発促進センター、学生の香川県内定着プロジェクト推進協議会との共催により開催している。 また、市内建設業の人材育成を目的として、技術人材育成に取り組む団体に対して補助している。				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	内装等職人育成職業訓練事業補助金交付要綱	

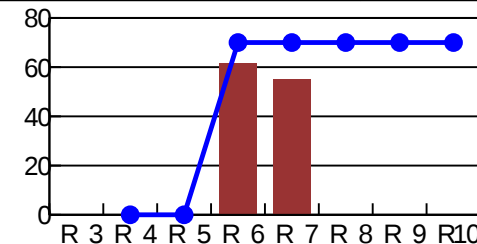
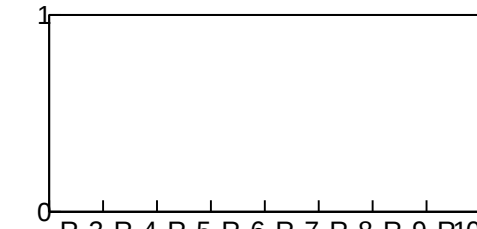
【事業の目的】

対象（何を）	新規学卒者及び中途求職者、市内企業
意図（どのような状態にしたいか）	中小企業の人材確保が困難になる中、企業と求職者のミスマッチを解消するため、関係機関と連携して合同就職面接会等を実施することで、新規学卒者及び中途求職者への就業機会の提供と中小企業の労働力・人材確保を促進し、中小企業の経営の安定化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
参加求職者数（延べ数）	人	0	115	127	150	150

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	就職面接会参加企業の満足度		%	目標値	0	70	70	70	70	
				実績値	0	61.6	55.1			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	採用活動の手法が多様化する中、求職者と接触する好機と捉える企業が多いものの、年々、参加企業及び求職者が減少傾向であることから、満足度も伸び悩んでいる。		(目標達成度)		78.7%					
(得点)			28点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	5,554	6,189	4,783	0
	(事業費)	285	785	785	0
	(職員人件費)	5,269	5,404	3,998	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	中小企業人材確保・就業機会拡大事業負担金 職人育成塾補助金	2 8 5 千円 5 0 0 千円	総額	785	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	785	
令和 8 年度			総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	76 / 100 (76 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

幅広く、企業を知ることができ、企業から直接声がかかる機会もあることから参加者の満足度は高い。
一方、企業側からは、参加企業に対し参加者が少ないとの意見があり、開催時期や周知方法等の見直しを検討し、参加求職者の増加を図る必要がある。

中小企業の労働力、人材確保を促し、経営の安定に寄与する観点からも、引き続き、国や県、関係機関等と連携しながら、事業を継続することは妥当である。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	産業振興課
	施策		商工業の振興		電話番号	087-839-2411
	取組方針		中小企業等の育成・振興		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		貿易振興事業			

【事業全体概要】

事業概要	地場産業を始め、関連中小企業の貿易振興に取り組む独立行政法人日本貿易振興機構香川貿易情報センター（ジェトロ香川）に対し助成を行う。また、高松港コンテナターミナル振興協議会において広報・宣伝、ポートセールスを行い、コンテナターミナルの利用促進に努める。				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市中小企業振興助成条例

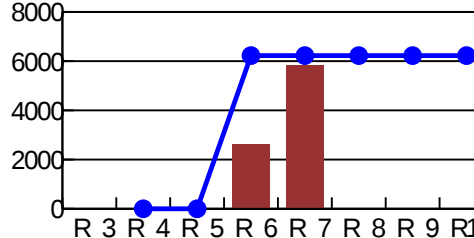
【事業の目的】

対象（何を）	高松港コンテナターミナルを利用してコンテナ貨物の輸出入を行う荷主等
意図（どのような状態にしたいか）	本市における貿易の振興が図られる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助金・負担金支出交付件数	件	0	3	3	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	高松港外貿コンテナ航路等新規利用促進助成金の助成額	千円	目標値	0	6,225	6,225	6,225	6,225
			実績値	0	2,610	5,850		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	目標値には達しなかったものの、外貿航路のコンテナ取扱量の合計は速報値で前年比3.8%増の31,781TEU、国際フィーダー航路を加えた総計では、前年比3.9%増の39,256TEUとなっており、高松港外貿コンテナ航路等新規利用促進助成金の助成額は、前年度比約124%増となった。				(目標達成度)	94.0%		
				(得点)	33点			
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
					(目標達成度)			
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)	
トータルコスト	[千円]	4,189	4,234	4,297	0	
	(事業費)	[千円]	2,458	2,458	2,458	0
	(職員人件費)	[千円]	1,731	1,776	1,839	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	日本貿易振興機構香川貿易情報センターへの助成 高松港コンテナターミナル振興協議会におけるポートセ ールス等 その他	1 , 1 1 6 千円 1 , 3 0 0 千円 4 2 千円	総額	2,458	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,458	
令和 8 年度			総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

流通機能の強化により、商工業の振興と地域経済の活性化に努める必要があり、継続実施が妥当である。

地域の内需は、今後縮小することが懸念され、関係機関と連携して流通機能の強化による内需拡大や外需拡大に努める必要があるため、継続実施が妥当である。（令和８年度から高松市中小企業等成長促進事業に一元化。）

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	産業振興課
	施策	商工業の振興		電話番号	087-839-2411
	取組方針	中小企業等の育成・振興		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	中小企業金融対策事業			

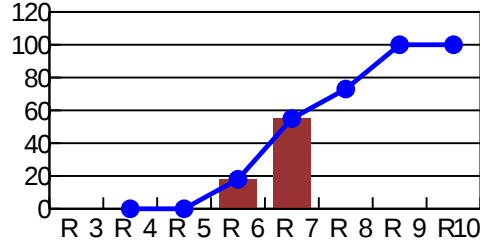
【事業全体概要】					
事業概要	市内の中小企業者等に対し事業資金等を融資し、その育成振興を図る。				
8年度概要	香川県信用保証協会に対する融資対策資金の貸付 貸付者に対する保証料・利子の一部助成及び小規模事業者経営改善資金融資利子補給 新型コロナウイルス感染症対策利子等補給基金積立金 その他				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市中小企業融資規程

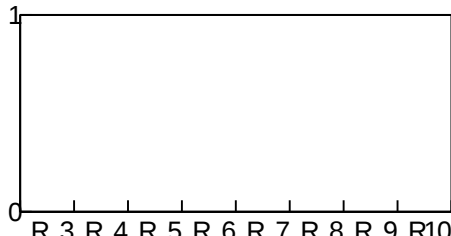
【事業の目的】	
対象（何を）	市内中小企業
意図（どのような状態にしたいか）	市内中小企業の運転資金確保と設備投資等を支援することで、経営基盤の安定・強化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
融資件数	件	0	7	16	18	18

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	融資完済進捗率	%	目標値 実績値	0 0	18 18	55 55	73	73
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	令和 9 年度までの完済予定件数のうち令和 7 年度の完済予定件数である 5 件が予定どおり完済し、完済率の目標達成に至った。	(目標達成度)						
		(得点)						

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	547,763	428,794	401,334	489,152
(事業費)	[千円]	542,524	423,390	397,336	485,154
(職員人件費)	[千円]	5,239	5,404	3,998	3,998

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	香川県信用保証協会に対する融資対策資金の貸付 貸付者に対する保証料・利子の一部助成及び小規模事業者経営改善資金融資利子補給 新型コロナウイルス感染症対策利子等補給基金積立金 その他	3 6 3 , 5 0 0 千円 2 1 , 5 6 6 千円 6 2 千円 1 2 , 2 0 8 千円	総額	397,336	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	383,767
一般財源	13,569				
令和 8 年度	香川県信用保証協会に対する融資対策資金の貸付 貸付者に対する保証料・利子の一部助成及び小規模事業者経営改善資金融資利子補給 新型コロナウイルス感染症対策利子等補給基金積立金 その他	4 6 3 , 5 0 0 千円 1 6 , 6 1 1 千円 1 8 千円 5 , 0 2 5 千円	総額	485,154	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	469,358
一般財源	15,796				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 融資受付及び貸付者に対する保証料、利子の補給を実施した。中小企業を取り巻く環境の変化は激しく、その時々ニーズに合う融資制度を検討していくことが重要である。
--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
本事業については、引き続き中小企業のセーフティネットとなるべく、現在の枠組みで継続する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	産業振興課
	施策		商工業の振興		電話番号	087-839-2411
	取組方針		中小企業等の育成・振興		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		中小企業等成長促進事業			

【事業全体概要】

事業概要	経済団体等と連携し、市内の中小企業等の挑戦意欲を後押しするため、「需要開拓」「労働力不足・課題解決」「社会情勢等の変化への対応」に関する支援を行う。				
8年度概要	高松市新市場販路開拓事業補助金、高松市研究開発事業補助金、高松市中小企業等人材力向上支援補助金、高松市中小企業ITパスポート等取得支援補助金、高松市事業高度化等支援補助金、高松市高度外国人材受入支援補助金、高松市中小企業等成長促進事業審査業務委託費（に係るもの）、中小企業振興審議会委員報酬、高松港コンテナターミナル振興協議会負担金、展示会視察				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市新市場販路開拓事業補助金交付要綱、

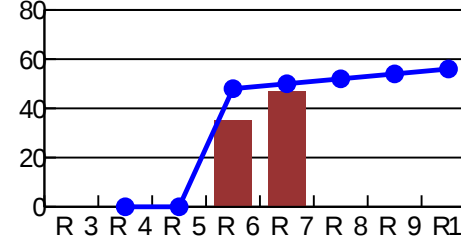
【事業の目的】

対象（何を）	市内中小企業者等
意図（どのような状態にしたいか）	地元中小企業等の潜在的な成長志向を後押しし、意識変化を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助メニューの数	件	0	5	6	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	高松市中小企業等成長促進事業補助金申請件数		件	目標値	0	48	50	52	52
				実績値	0	35	47		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	補助金に係る認知度が低かったこともあり、交付申請数の目標50件に対し、実績は47件であった。		(目標達成度)		94.0%				
		(得点)		33点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
			(目標達成度)						
		(得点)							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	23,966	26,706	49,142
(事業費)	[千円]	0	9,298	14,312	29,592
(職員人件費)	[千円]	0	14,668	12,394	19,550

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	高松市需要開拓促進事業(新市場販路開拓)補助金、 高松市需要開拓促進事業(研究開発)補助金、高松市中 小企業等人材育成事業補助金、高松市中小企業ITパス ポート等取得支援補助金、高松市中小企業等環境変化対 応補助金、高松市事業高度化等支援補助金、高松市中 小企業等成長促進事業審査業務委託費(、に係るもの) 高松市地域経済活性化に向けた経済活動分析等調査業 務委託	補助額又は委託料 4, 4 2 0 千円、 3, 1 4 8 千円 、 1 0 7 千円、 6 7 千円 、 6 2 9 千円、 2, 7 0 0 千円 2 4 2 千円、 3, 0 0 0 千円	総額	14,312	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	14,312	
令和 8 年度	高松市新市場販路開拓事業補助金、高松市研究開発事 業補助金、高松市中小企業等人材力向上支援補助金、 高松市中小企業ITパスポート等取得支援補助金、高松 市事業高度化等支援補助金、高松市高度外国人材受入支 援補助金、高松市中小企業等成長促進事業審査業務委託 費(に係るもの)、中小企業振興審議会委員報酬、 高松港コンテナターミナル振興協議会負担金、展示会視 察	補助額、委託料、報酬又は旅 費 8, 0 0 0 千円、 7 , 5 0 0 千円、 8 0 0 千円 、 1, 0 0 0 千円、 4, 5 0 0 千円、 6, 0 0 0 千 円、 2 2 9 千円、 8 6 千 円、 1, 3 0 0 千円、 1 7 7 千円	総額	29,592	
			特定財源	国	4,600
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	24,992	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

6種類の市内中小企業者向け補助事業を実施した。交付件数が採択予定件数に満たない補助事業があったことから、周知方法等を検討し、活用を促す必要がある。

人口減少、少子・超高齢化を背景とした市場規模の縮小や労働力不足、円安や資材・原材料高騰などの複合的な要因により、中小企業が新たな事業展開などへの挑戦に慎重になっていることから、市内の中小企業の挑戦意欲を後押し、市域・県域のGDP拡大を目指すに当たっては、関係団体と課題や施策の方向性等の認識を共有し連携体制を高めつつ、継続的に市内中小企業等の「成長マインド」への意識変化、自走による企業成長の促進を支援することが重要であり、事業を継続することが適当である。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	産業振興課
	施策	商工業の振興		電話番号	087-839-2411
	取組方針	起業・創業支援の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	創業支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松市創業支援等事業計画に基づき、高松商工会議所及び金融機関等と密接に連携・協力し、相談受入体制と創業後のフォローアップ体制等を強化することで、創業相談件数及び創業者の増加を図る。また、本市における特色ある事業の創出及び地域産業の振興に寄与するため、創業者向けの貸室である高松市創造支援センターを運営する。				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	産業競争力強化法

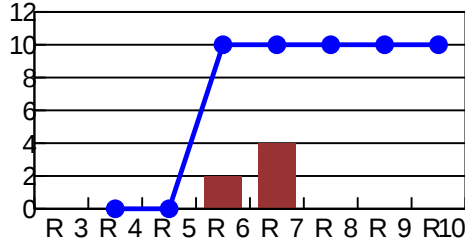
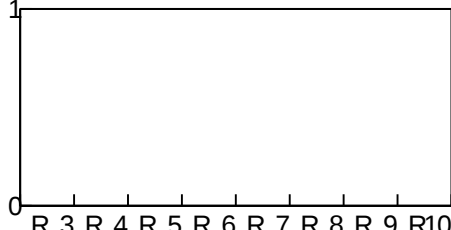
【事業の目的】

対象（何を）	創業予定者等
意図（どのような状態にしたいか）	本市連携窓口における創業支援等事業計画に基づく創業支援対象者数及び創業者数の増加を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
創業支援対象者数	人	0	85	50	50	50

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	創業支援対象者数のうち創業者数			人	目標値 実績値	0 0	10 2	10 4	10	10
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	目標値には達しなかったものの、たかまつ創業サポートセンターを利用した創業者数は、令和6年度に比べ倍増した。			(目標達成度) 40.0%						
				(得点) 14点						
				目標値 実績値						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
					目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
				(目標達成度)						
				(得点)						
				目標値 実績値						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	10,633	10,302	0
(事業費)	[千円]	0	1,060	387	0
(職員人件費)	[千円]	0	9,573	9,915	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・創業相談連携窓口及びたかまつ創業サポートセンターの運営 ・高松市創造支援センターの管理運営 ・同センター使用者の入替えに伴う使用審査委員会開催(2回)	○高松市創造支援センター設置運営費 - 委員報酬 2 6 千円 - 需用費 1 7 9 千円 - 委託料 1 8 2 千円	総額	387	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	361
			一般財源	26	
令和 8 年度			総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	C	総合点 (率)	50 / 100 (50 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

現在、継続的に創業相談があり、創業者が存在することから、引き続き関係機関と連携し、創業相談連携窓口及びたかまつ創業サポートセンターを運営することは妥当である。また、高松市創造支援センターについても、継続して運用する必要がある。

近年、創業機運が高まっていることから、引き続き関係機関と密接に連携しつつ、創業相談の連携窓口及びたかまつ創業サポートセンターを運営することが妥当である。一方、高松市創造支援センターについては、周辺の民間コワーキングスペースやインキュベータールームの増加等に加え、現入居者の使用率にも入居者ごとに差があることから、今後の運営について、改善・検討の余地がある。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	産業振興課
	施策		就業環境の充実		電話番号	087-839-2411
	取組方針		就業支援の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		就業支援推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	就労促進事業として、労働関係情報発信事業（たかまつ労政だよりの発行等）を実施する。 中小企業等表彰事業として、従業員の働き方改革に積極的に取り組み、また、産業の振興や本市施策への貢献度が高い中小企業等を表彰する。 そのほか、勤労者福祉に関する事業を行っている団体に対して補助する。				
8年度概要	労働関係情報の発信のための労政だよりの発行 中小企業等表彰事業費 勤労者福祉対策事業補助金 労働者福祉協議会事業補助金				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

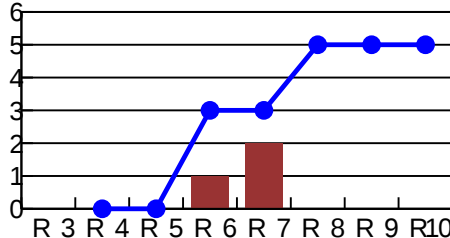
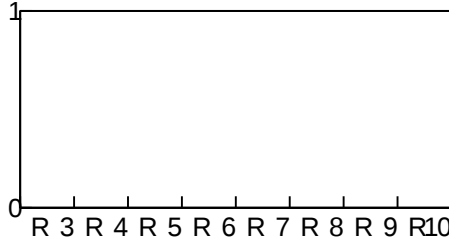
【事業の目的】

対象（何を）	市内中小企業等や、勤労者福祉に関する事業を行っている団体など
意図（どのような状態にしたいか）	労働関係情報の発信、中小企業等の表彰、また勤労者福祉に関する事業を行っている団体への補助を実施することにより、企業における労働環境の改善やワークライフバランスの推進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
中小企業等表彰事業の全部門の表彰数	社	0	5	5	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	中小企業等表彰事業（地域経済貢献企業表彰）の推薦数		社	目標値	0	3	3	5	5
				実績値	0	1	2		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	今年度の中小企業等表彰企業における産業振興部門（地域経済貢献企業表彰）として1社を表彰した。		(目標達成度) 66.7%						
(得点) 23点									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			(目標達成度)						
(得点)									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	8,448	8,258	8,627	8,785
(事業費)	[千円]	2,087	2,082	2,230	2,388
(職員人件費)	[千円]	6,361	6,176	6,397	6,397

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	労働関係情報の発信のための労政だよりの発行 中小企業等表彰事業 勤労者福祉協議会事業補助金 労働者福祉協議会事業補助金	4 1 千円 6 9 千円 1 , 1 5 0 千円 9 7 0 千円	総額	2,230	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,230	
令和 8 年度	労働関係情報の発信のための労政だよりの発行 中小企業等表彰事業費 勤労者福祉対策事業補助金 労働者福祉協議会事業補助金	4 4 千円 7 4 千円 1 , 3 0 0 千円 9 7 0 千円	総額	2,388	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,388	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	66 / 100 (66 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

市内の優れた事業者の表彰の実施や、労政だよりの発行のほか、勤労者福祉等に関する事業を行っている団体に補助を行ったが、補助内容が社会情勢に則した適切なものとなるよう、事業内容や運営状況の確認を行い、補助対象事業を精査していく必要がある。

市内企業における就業環境の向上を後押しすることや、市として市内の優良企業を積極的にＰＲすることが、企業の人材確保にもつながるため、より効果的な表彰となるよう、制度の認知度向上を目指す。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	産業振興課
	施策		就業環境の充実		電話番号	087-839-2411
	取組方針		勤労者福祉の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		中小企業勤労者支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	勤労者の持ち家の促進を図るため、四国労働金庫との協調融資により、住宅資金を貸し付けている。 融資限度額は600万円、優遇措置として、融資額の0.1%（最高6千円）を1回還付する（四国労働金庫が費用負担）。				
8年度概要	勤労者の持ち家の促進を図るため、四国労働金庫との協調融資による住宅資金の貸付け 融資額の0.1%（最高6千円）の還付 貸付金：180,000千円				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	高松市勤労者住宅融資資金貸付規程	

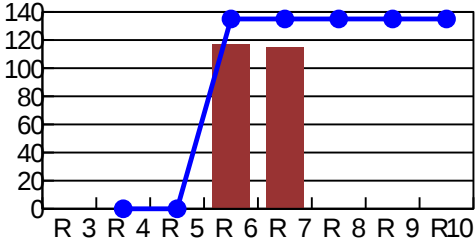
【事業の目的】

対象（何を）	市内に自ら居住するための住宅を新築、増改築又は購入する勤労者
意図（どのような状態にしたいか）	勤労者に住宅資金の貸付け及び利子還付を行い、勤労者の持家の促進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
融資額	千円	0	698,730	689,500	720,000	720,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	住宅資金貸付による持家取得者数		人	目標値	0	135	135	135	135	
				実績値	0	117	115			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	近年、ライフスタイルの変化や経済的要因等により、持ち家率が低下していることから、目標を達成することができなかった。		(目標達成度)		85.2%					
(得点)			30点							

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	182,258	182,316	182,399	182,399
	(事業費)	[千円]	180,000	180,000	180,000
	(職員人件費)	[千円]	2,258	2,316	2,399

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	勤労者の持ち家の促進を図るため、四国労働金庫との協調融資による住宅資金の貸付け 融資額の 0 . 1 % (最高 6 千円) の還付 貸付金： 1 8 0 , 0 0 0 千円	預託先 四国労働金庫	総額	180,000	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	180,000
一般財源		0			
令和 8 年度	勤労者の持ち家の促進を図るため、四国労働金庫との協調融資による住宅資金の貸付け 融資額の 0 . 1 % (最高 6 千円) の還付 貸付金： 1 8 0 , 0 0 0 千円	預託先 四国労働金庫	総額	180,000	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	180,000
一般財源		0			

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	1	低下している
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	82 / 100 (82 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

建築資材の高騰や物価高により、住宅の新築・増改築又は購入する勤労者が減少傾向にある。

今後利用が低調になり、融資残高が減少傾向となった場合には、貸付金額の見直しを行う余地はある。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

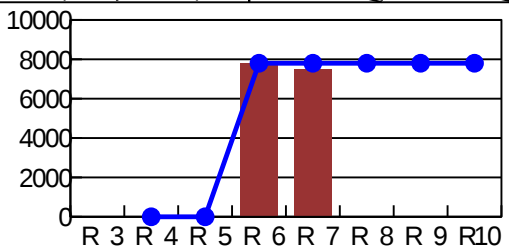
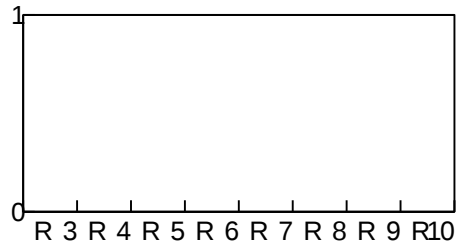
総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	産業振興課
	施策	就業環境の充実		電話番号	087-839-2411
	取組方針	勤労者福祉の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	中小企業勤労者福祉共済事業			

【事業全体概要】					
事業概要	市内の中小企業で働く勤労者の福祉の増進を図り、併せて中小企業の振興に寄与することを目的とする。 事業 主に福利事業、給付事業など ・福利事業 旅行、文化・教養講座、各種講演チケット割引斡旋、スポーツ・レジャー施設、人間ドック、市内の映画館等を割引料金で利用 ・給付事業 結婚、出産、入学、傷病見舞、退職せん別等 10 種類の給付金を支給 ・貸付事業 平成 24 年度末で廃止				
	福利事業、給付事業、会報紙の発行、新規会員事業所の加入確保対策の実施等 福利事業 給付事業 事務費等				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市中小企業勤労者福祉共済条例

【事業の目的】	
対象（何を）	市内の従業者 300 人以下の中小企業に勤める勤労者等
意図（どのような状態にしたいか）	中小企業勤労者の余暇の充実のほか、給付金事業による経済的な支援を通じた、働きやすい環境づくりや勤労意欲の醸成を図る。福利厚生を充実させることで、人材確保を側面から支援し、市内の中小企業の振興を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
加入事業所数	社	0	615	588	620	620

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	加入被共済者数	人	目標値	0	7,800	7,800	7,800	7,800
			実績値	0	7,784	7,488		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	事業所への積極的な訪問勧誘、商工会議所の広報誌への掲載、来庁した金融機関担当者への案内等、多角的に周知活動を実施した結果、例年と同水準の事業所が加入。一方、事業所の統合や廃業を理由とした退会が加入事業所数を上回り、事業所数、被共済者ともに目標を下回った。			(目標達成度) 96.0%				
		(得点) 34点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	112,990	107,327	102,358	96,062
(事業費)	[千円]	110,732	107,327	102,358	96,062
(職員人件費)	[千円]	2,258	0	0	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	福利事業、給付事業、会報紙の発行、新規会員事業所の加入確保対策の実施等 給付事業 福利事業 事務費等	3 9 , 5 0 0 千円 3 6 , 9 4 4 千円 2 5 , 9 1 4 千円	総額	102,358	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	88,601
			一般財源	13,757	
令和 8 年度	福利事業、給付事業、会報紙の発行、新規会員事業所の加入確保対策の実施等 福利事業 給付事業 事務費等	3 6 , 1 6 4 千円 3 3 , 4 6 0 千円 2 6 , 4 3 8 千円	総額	96,062	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	96,062
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	3	一部結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

事業所等への積極的な訪問勧誘、商工会議所の広報誌への掲載、来庁した金融機関担当者への案内等、多角的に周知活動を実施した結果、例年と同水準の事業所が加入している。一方、事業所の統合や高齢化による廃業退会も多く、事業所数、被共済者数はともに減少しているため、今後も、被共済者の増加（掛金収入の確保）を図る必要がある。

地方自治法施行令の規定により事業全てを民間委託することはできないことから、今後も、市と受託業者との連携の下、勤労者福祉の充実、中小企業における就業環境の向上による人材確保支援のため、加入事業所、被共済者の増加にも取り組みながら、条例に基づき、事業を継続する必要がある。なお、事務局は引き続き旧高松テルサ内に設置しているほか、福利事業の受託業者は公募型プロポーザル方式にて選定している。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	産業振興課
	施策		高松ブランドの向上		電話番号	087-839-2411
	取組方針		特産品の育成・振興		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		特産品・伝統的ものづくりブランド化推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	盆栽・漆器・石製品を始めとする、本市伝統的ものづくり産業を振興するため「高松市伝統的ものづくり振興条例」（平成26年度施行）の基本理念に基づき、伝統的ものづくり産業の普及啓発・販路拡大や、次世代への担い手の確保・養成を図り、特産品の育成・振興とブランド化の推進及び地場産業の活性化を推進する。				
8年度概要	審議会 地域一体型オープンファクトリー事業 伝統的工芸品産業振興協会特別会員会費 「空の駅かがわ」運営負担金 高松市特産品・観光振興実行委員会負担金 伝統的ものづくり後継者雇用・育成奨励金 特産品・伝統的ものづくり販売促進事業補助金 産業発展事業補助金 首都圏等の展示会販売出展 ジャパン漆サミット				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市伝統的ものづくり振興条例

【事業の目的】

対象（何を）	特産品・伝統的ものづくりに関する地場産業
意図（どのような状態にしたいか）	地場産業の活性化を図る

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	展示会等開催件数	件	0	13	8	11	11

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	展示会等来場者数	人	目標値	0	21,485	62,179	21,709	21,709
			実績値	0	30,575	120,083		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	昨年度に引き続き、特産品及び伝統的ものづくりのスポット的な展示依頼があったほか、本市主催(3年に1度)の物産展の会場を前回から変更したことなどにより、来場者数が増加した。また、大阪・関西万博の来場者数が予想を超えた来場者数であったことにより大幅に目標値を上回った。	(目標達成度) 193.1%		(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
		(目標達成度)		(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	15,481	23,441	34,074	42,981
(事業費)	[千円]	7,126	8,773	18,122	25,510
(職員人件費)	[千円]	8,355	14,668	15,952	17,471

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	審議会 地域一体型オープンファクトリー事業 伝統的 工芸品産業振興協会特別会員会費 「空の駅かがわ」運営 負担金 高松市特産品・観光振興実行委員会負担金 伝統 的ものづくり後継者雇用・育成奨励金 特産品・伝統的も のづくり展示会等出展補助金 産業発展事業補助金 首都 圏等の展示会販売出展	2 6 千円	総額	18,122	
		1, 9 6 6 千円	特定財源	国	1,905
		5 0 千円		県	4,311
		2 6 0 千円		市債	0
		4, 7 7 7 千円		他	0
		1, 6 5 0 千円		一般財源	11,906
		4 3 1 千円			
4, 9 9 5 千円					
3, 9 6 7 千円					
令和 8 年度	審議会 地域一体型オープンファクトリー事業 伝統的 工芸品産業振興協会特別会員会費 「空の駅かがわ」運営 負担金 高松市特産品・観光振興実行委員会負担金 伝統 的ものづくり後継者雇用・育成奨励金 特産品・伝統的も のづくり販売促進事業補助金 産業発展事業補助金 首都 圏等の展示会販売出展 ジャパン漆サミット	3 3 千円	総額	25,510	
		1, 2 0 0 千円	特定財源	国	5,311
		5 0 千円		県	4,000
		1, 1 4 2 千円		市債	0
		3, 7 4 9 千円		他	0
		7, 8 0 0 千円		一般財源	16,199
		1, 5 0 0 千円			
		6, 0 0 0 千円			
		3, 9 4 9 千円			
8 7 千円					

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

首都圏等の展示会販売出展事業では、販路拡大を目指す市内事業者を公募の上、6 者を選定し、出展を行った結果、効果的な販路拡大の成果が得られた。また、地域一体型オープンファクトリー事業では、本市の伝統的ものづくりの職人に興味がある方が後継者を目指すきっかけとなり、継続して体験会に参加する者が多数現れた。販路拡大及び後継者育成は、積極的かつ継続的に取組を行う必要がある。

地域経済の活性化のため、本市の重要な特産品及び伝統的ものづくり産業の後継者確保と技術・技法の伝承を図る取組が必要であり、本事業を充実させることは妥当である。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	機能性の高い都市空間の形成		課(室)名	産業振興課
	施策	中心市街地の活性化		電話番号	087-839-2411
	取組方針	中央商店街の活性化		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	商店街等にぎわい促進支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	中央商店街のにぎわい向上や商業機能の強化を図るため、空き店舗の改装費を支援する空き店舗活用補助等や商店街共同施設の新設・改修事業等に対する経費を助成する。また、地域のニーズや外部環境の変化に対応するため、人材育成、ノウハウの蓄積及び独自性の創出に取り組みながら、商店街ビジョンの策定及びその実現のために事業を実施する伴走型支援に要する経費を補助し、未来を志向する高松中央商店街を後押しする。				
8年度概要	空き店舗活用支援事業（空き店舗改装費補助） 商店街共同施設等整備事業（商店街共同施設改修事業等助成） 商店街伴走型支援事業（伴走型支援補助及びにぎわいづくり推進員）				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	2-	関連根拠法令	中心市街地の活性化に関する法律等

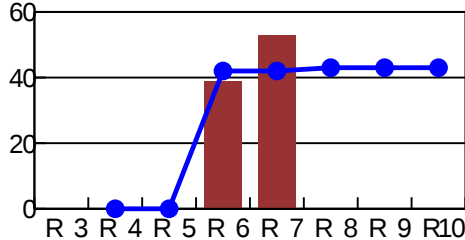
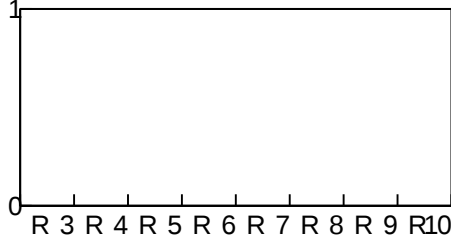
【事業の目的】

対象（何を）	中央商店街の新規出店数
意図（どのような状態にしたいか）	中央商店街の新規出店数の増加

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
新規出店補助金交付件数	件	0	5	7	10	10

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8			
	中央商店街の新規出店数		店舗	目標値	0	42	42	43	43			
				実績値	0	39	53					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）											
	令和 6 年度と比較して、新規出店数が増加し、目標を大きく上回った。		(目標達成度)									
(得点)			35点									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8			
				目標値								
				実績値								
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）											
			(目標達成度)									
(得点)												

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	79,900	84,813	66,954	38,837
(事業費)	[千円]	70,491	75,163	55,360	27,243
(職員人件費)	[千円]	9,409	9,650	11,594	11,594

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	空き店舗活用支援事業（空き店舗改装費補助） 商店街活性化促進事業（商店街共同施設改修事業等助成） 商店街伴走型支援事業（伴走型支援補助及びにぎわいづくり推進員）	7, 0 0 0千円 42, 8 1 8千円 5, 5 4 2千円	総額	55,360	
			特定財源	国	0
				県	12,815
				市債	0
				他	400
			一般財源	42,145	
令和 8 年度	空き店舗活用支援事業（空き店舗改装費補助） 商店街共同施設等整備事業（商店街共同施設改修事業等助成） 商店街伴走型支援事業（伴走型支援補助及びにぎわいづくり推進員）	7, 0 0 0千円 11, 1 0 3千円 9, 1 4 0千円	総額	27,243	
			特定財源	国	0
				県	1,916
				市債	0
				他	0
			一般財源	25,327	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

空き店舗活用支援事業については、制度の更なる周知に努め、活用を促すとともに、商業機能の強化につながる取組である施設整備等の補助については、引き続き、商店街側の要望を精査する。策定した商店街ビジョンに基づき事業実施を行ってもらうため、伴走型支援をする。

市の活力を増進するためには、中央商店街の活性化は必要であり、出店しやすい環境を整えるとともに、より一層商店街の魅力向上を図るため、事業を改善しながら継続することが必要である。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	企業立地推進課
	施策	商工業の振興		電話番号	087-839-2412
	取組方針	企業誘致・立地の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	企業誘致による地域経済活性化促進事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市経済の活性化や雇用の確保を図るため、若い世代が魅力を感じる働く場を創出し、UJ Iターンによる移住の促進にもつながるよう、企業誘致専門員を中心とした立地に向けた手続等のワンストップサービスでの支援や、東京事務所と連携した大都市圏の企業に対する積極的な誘致活動に取り組む。 また、市内企業の成長、定着を図るため継続的な支援を行う。				
8年度概要	企業誘致専門員等雇用経費 企業誘致活動費等 企業誘致助成制度助成金 サテライトオフィス利用支援金 香川県企業誘致推進協議会負担金				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	6-	関連根拠法令	高松市企業誘致条例、高松市サテライトオフ

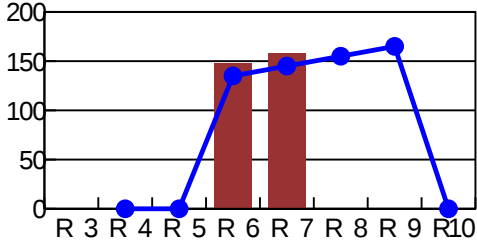
【事業の目的】

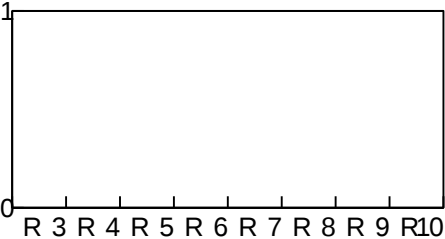
対象（何を）	本市での立地や設備投資を検討する企業、事業所等
意図（どのような状態にしたいか）	市内における立地や設備投資等を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
立地環境・物件紹介の回数	回	0	36	28	25	25

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	企業誘致助成制度指定件数(2 1 年度以降の累計)	件	目標値	0	135	145	155	155
			実績値	0	148	158		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	企業誘致専門員を中心に、香川県や金融機関等と連携を図り、企業動向等の情報収集や立地、設備投資を希望する企業への訪問などを行い、目標を達成した。	(目標達成度) 109.0%						
(得点) 35点								

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
		(目標達成度)						
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	530,300	369,794	511,567	525,499
(事業費)	[千円]	493,290	335,054	463,591	477,523
(職員人件費)	[千円]	37,010	34,740	47,976	47,976

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	企業誘致専門員等雇用経費 企業誘致活動費等 企業誘致助成制度助成金 サテライトオフィス利用支援金 香川県企業誘致推進協議会負担金	4 , 6 6 6 千円 9 7 9 千円 4 5 7 , 5 4 6 千円 3 0 0 千円 1 0 0 千円	総額	463,591	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	463,591	
令和 8 年度	企業誘致専門員等雇用経費 企業誘致活動費等 企業誘致助成制度助成金 サテライトオフィス利用支援金 香川県企業誘致推進協議会負担金	5 , 0 4 6 千円 2 , 8 3 1 千円 4 6 7 , 7 5 8 千円 1 , 7 8 8 千円 1 0 0 千円	総額	477,523	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	477,523	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

企業誘致について、コロナ禍の終息とともに活発化した企業の経済活動は継続しており、積極的な企業誘致活動の結果、活動指標である立地環境・物件紹介の回数は、２８件、成果指標である助成制度の指定企業数についても１０件と、堅調に推移している。

香川県との連携や東京事務所の活用により、大都市圏を中心とした情報通信関連企業等に対する誘致活動を一層強化するとともに、本市出身者や関係機関等から得る企業立地情報へのスピーディーな対応に努める。

企業誘致による市内企業・事業所の増加は、雇用の確保による人口減少対策や将来的な税収増につながるため、引き続き、積極的に取組を推進していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策		高松ブランドの向上		電話番号	087-839-2416
	取組方針		シティプロモーションの強化		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		「気持ち高まる、高松。」情報発信事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市多言語観光サイト「エクスペリエンス高松」やSNSを活用して、話題性と先進性のあるシティプロモーション施策を体系的に実施し、本市に対するポジティブなイメージの浸透を図り、全体的な都市ブランドの向上に取り組むことで、観光・MICE誘致のみならず、移住・定住促進、シビックプライドの醸成につなげる。				
8年度概要	WEB情報発信事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	市民及び国内外からの観光客等
意図（どのような状態にしたいか）	本市に対するポジティブなイメージの浸透を図り、本市のブランドイメージを向上させ、観光誘客を図るとともに、シビックプライドの醸成や移住・定住促進などにつなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	サイト内累積記事件数	件	0	101	107	115	115

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	エクスペリエンス高松ページビュー数	万件	目標値	0	77	100	131	131
			実績値	0	115	140		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	エクスペリエンス高松への新たな記事の掲載等、継続的なサイト改修をしていることに加え、国際線の新規就航・増便や国内外に向けた観光施策等を背景に観光客数が増加した結果、ページビュー数は140万人となった。 (目標達成度) 140.0% (得点) 35点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	(目標達成度) (得点)							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	11,782	11,203	11,534	12,130
(事業費)	[千円]	5,158	4,641	4,146	4,614
(職員人件費)	[千円]	6,624	6,562	7,388	7,516

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	W E B 情報発信事業	委託料 4 , 1 4 6 千円	総額	4,146	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	4,146	
令和 8 年度	W E B 情報発信事業	委託料 4 , 6 1 4 千円	総額	4,614	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	4,614	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
エクスパリエンス高松において本市の魅力を様々な角度から情報発信する記事を蓄積するとともに、旅ナカで役立つ情報の拡充を図ってきた。サイト内の情報が蓄積されてきており、今後サイトの認知度向上や観光客からサイトを訪問してもらう仕組みづくりを構築していく必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
引き続き、観光客等に向けて旅マエや旅ナカでのお役立ち情報の拡充を行う。あわせて、都市のブランドイメージの向上、シビックプライドの醸成や移住・定住促進等にも貢献するとともに、香川県観光協会等の他観光サイトとの差別化を図るため、本市ならではのコンテンツ等をテーマにした記事制作も行い、アクセス数の増加を目指す。また、これまで以上にSNSを活用することで、本市の魅力幅広い世代にも効果的に拡散していく。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策		高松ブランドの向上		電話番号	087-839-2416
	取組方針		シティプロモーションの強化		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		誘客促進事業			

【事業全体概要】

事業概要	・香川県と連携し、高松空港への直行便が就航している台北、台中、上海、ソウル、香港などのアジア5路線、国内線としてはジェットスター（成田線）を対象とし、観光キャンペーンなどを実施するほか、多言語対応可能な観光案内所を運営する。 ・香川県と連携し、大型客船が高松港への寄港した際、歓迎セレモニー及び観光案内を実施するほか、クルーズ船会社への誘致訪問を行う。 ・高松市、岡山市、広島市、松山市の4市で構成する「瀬戸内4県都市長会」で観光客誘致事業を実施する。				
8年度概要	ビジット香川誘客重点促進事業 国内線（成田線）誘客促進事業 外国人観光客受入拠点事業 クルーズ船誘致事業 スーパーヨット誘客推進事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

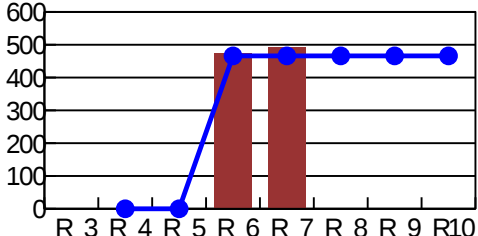
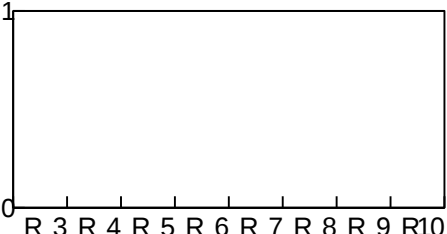
【事業の目的】

対象（何を）	本市を余暇活動で訪れる方
意図（どのような状態にしたいか）	余暇活動として旅行をしようとする人に対して、本市への誘客を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助対象高松空港路線数	路線	5	6	7	7	7

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	香川県の延べ宿泊者数		万人	目標値	0	466	466	466	466	
				実績値	0	474	493			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	国際路線の拡大とともにインバウンドや国内旅行は順調に増えてきており、利用者数も増え、目標値に達した。		(目標達成度)	105.8%						
(得点)			35点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	165,171	205,210	210,031	218,087
(事業費)	[千円]	151,622	200,153	205,897	218,087
(職員人件費)	[千円]	13,549	5,057	4,134	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	ビジット香川誘客重点促進事業 国内線（成田線）誘客促進事業 外国人観光客受入拠点事業 クルーズ船誘致事業 瀬戸内4県都市長会事業 観光客誘致事業（TCVBへの補助）	172,042千円 3,236千円 10,646千円 10,120千円 996千円 8,857千円	総額	205,897	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	205,897	
令和 8 年度	ビジット香川誘客重点促進事業 国内線（成田線）誘客促進事業 外国人観光客受入拠点事業 クルーズ船誘致事業 スーパーヨット誘客推進事業 瀬戸内4県都市長会事業 観光客誘致事業（TCVBへの補助）	169,100千円 2,912千円 11,903千円 18,383千円 1,861千円 1,000千円 12,928千円	総額	218,087	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	218,087	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

事業費の大半を占めるビジット香川誘客促進事業は、既存の海外直行便の利用客数を増加させる方針である。国際線5路線（香港・台湾・ソウル・台北・台中）の通年運航や、増便等が実現したことで空港利用客数は昨年度より増加した。引き続き、香川県と共同して新規国際路線の開拓や誘客に取り組む。

今後更に来高者数を増加させるため、県内だけではなく、四国全域や環瀬戸内広域観光周遊ルートを形成するなど、関係自治体とも連携して取り組んでいくほか、県と連携して、新規国際路線の開拓や誘客に取り組む。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策		高松ブランドの向上		電話番号	087-839-2416
	取組方針		シティプロモーションの強化		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		共同観光宣伝事業			

【事業全体概要】

事業概要	全国の自治体の観光情報を発信する関係機関等に継続加入するための負担金を拠出するとともに、共同で効果的かつ効率的な観光宣伝活動を展開するための旅費を計上し、広域的な観光振興を図る。				
8年度概要	所属団体 (1) 四国四市観光誘致促進協議会 (2) わがかがわ観光推進協議会 (3) その他 8 団体				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

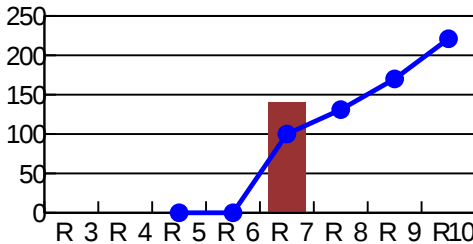
【事業の目的】

対象（何を）	市民及び県外からの観光客等
意図（どのような状態にしたいか）	広域での観光資源をＰＲして、観光誘客に努め、中・四国への観光交流人口の増大及び地域の観光産業の振興並びにエリア内への経済波及効果を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
共同キャンペーン出展件数	件	5	6	7	8	8

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	エクスペリエンス高松ページビュー数	万件	目標値	0	0	100	131	131	
			実績値	0	0	140			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	エクスペリエンス高松への新たな記事の掲載等、継続的なサイト改修をしていることに加え、国際線の新規就航・増便や国内外に向けた観光施策等を背景に観光客数が増加した結果、ページビュー数は140万人となった。		(目標達成度) 140.0%	(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値						
			実績値						
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
			(目標達成度)	(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	19,172	15,596	15,657	11,382
(事業費)	[千円]	8,484	10,539	11,523	11,382
(職員人件費)	[千円]	10,688	5,057	4,134	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費	
令和 7 年度	所属団体 (1) 四国四市観光誘致促進協議会 (2) わがかがわ観光推進協議会 (3) その他 8 団体 主な事業内容 ・観光のネットワーク化 ・広域観光ルートの研究 ・共同パンフレット等の作成 ・共同キャンペーンの出展及び開催	負担金・会費 決算 (1) 4 5 0 千円 (2) 3 , 5 2 2 千円 (3) 4 7 4 千円	総額	11,523
		特定財源	国	0
			県	0
			市債	0
			他	588
		一般財源	10,935	
令和 8 年度	所属団体 (1) 四国四市観光誘致促進協議会 (2) わがかがわ観光推進協議会 (3) その他 8 団体 主な事業内容 ・観光のネットワーク化 ・広域観光ルートの研究 ・共同パンフレット等の作成 ・共同キャンペーンの出展及び開催	負担金・会費 予定 (1) 4 5 0 千円 (2) 3 , 5 2 2 千円 (3) 8 6 7 千円	総額	11,382
		特定財源	国	0
			県	0
			市債	0
			他	0
		一般財源	11,382	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	1	貢献度が小さい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

国内を中心に積極的な観光客誘致に取り組むことができた。引き続き、日本人の国内旅行及び滞在型観光を推進するため、近隣府県をターゲットとした誘客にも力を入れていきたい。

今後は広域観光周遊ルートを形成する中で、より長く本市に滞在してもらえるよう、本市の観光コンテンツの一層の充実を図るなど、更なる取組が必要である。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策		高松ブランドの向上		電話番号	087-839-2416
	取組方針		シティプロモーションの強化		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		観光客誘致宣伝事業			

【事業全体概要】

事業概要	観光パンフレットやビニール袋、紙袋等の作成や観光パンフレットの県内外への発送など、観光客を誘致するため、本市をPRする。				
8年度概要	贈呈品の購入 観光パンフレットリニューアル等 案内看板修繕 屋島山上地区清掃事業等負担金 日額旅費、消耗品費等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	国内外の観光客
意図（どのような状態にしたいか）	本市への入込客数の増加

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
観光パンフレット作成部数	部	15,000	89,000	150,000	100,000	100,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	エクスペリエンス高松ページビュー数	万件	目標値	0	0	100	131	131
			実績値	0	0	140		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	エクスペリエンス高松への新たな記事の掲載等、継続的なサイト改修をしていることに加え、国際線の新規就航・増便や国内外に向けた観光施策等を背景に観光客数が増加した結果、ページビュー数は140万人となった。	(目標達成度) 140.0%		(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
		(目標達成度)		(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	42,320	19,881	18,966	17,728
(事業費)	[千円]	38,858	14,824	14,832	17,728
(職員人件費)	[千円]	3,462	5,057	4,134	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	贈呈品の購入 観光パンフレットリニューアル等 案内看板修繕 Wi - Fi 利用料 屋島山上地区清掃事業等負担金 日額旅費、消耗品費等	報償費 2 0 千円	総額	14,832	
		需用費 2 8 5 千円	特定財源	国	0
		役務費 4 8 千円		県	0
		委託料 6 , 9 5 5 千円		市債	0
		負担金 9 5 2 千円		他	44
		工事費 1 , 0 0 1 千円		一般財源	14,788
		誘致宣伝事業費計 9 , 2 6 1 千円			
誘致宣伝事務費計 5 , 5 7 1 千円					
令和 8 年度	贈呈品の購入 観光パンフレットリニューアル等 案内看板修繕 屋島山上地区清掃事業等負担金 日額旅費、消耗品費等	報償費 2 0 千円	総額	17,728	
		需用費 1 , 4 7 4 千円	特定財源	国	0
		役務費 4 8 千円		県	0
		委託料 8 , 2 0 7 千円		市債	0
		負担金 9 5 2 千円		他	43
		誘致宣伝事業費計 1 0 , 7 0 1 千円		一般財源	17,685
		誘致宣伝事務費計 7 , 0 2 7 千円			

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	1	貢献度が小さい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

旅行需要の回復が見込まれるため、旅の目的地に高松が選ばれるよう誘客型・着地型パンフレットのリニューアルを行った。

真に必要な情報を掲載することで、利用者の満足度を向上させる必要があるが、最新の情報の反映が困難な紙媒体としてのパンフレットについては、高松観光コンベンションビューローでも作成しており、重複する部分もあるため、改めて必要性も含めて検討する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策	観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2416
	取組方針	観光資源の掘り起こしと磨き上げ		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	高松城跡（玉藻公園）をいかした観光振興事業			

【事業全体概要】

事業概要	重要文化財の指定を受けた披雲閣を中心として、高松城跡（玉藻公園）の観光拠点としての知名度アップと観光客の増加を図るため、和船体験事業の実施を行う。民間事業者と連携しながら、ナイト観光コンテンツの提供を図り、市民及び県外からの観光客等を増加させる。				
8年度概要	高松城跡和船体験事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

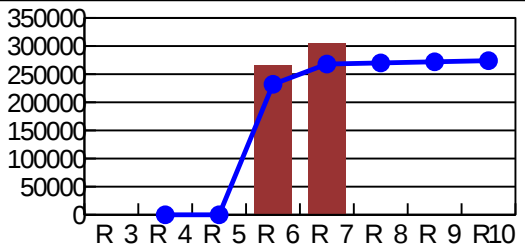
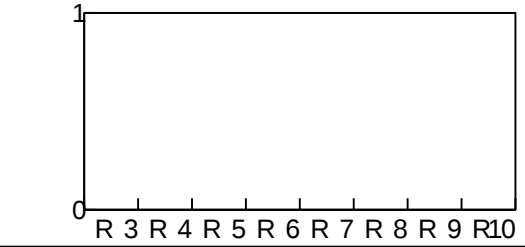
【事業の目的】

対象（何を）	市民及び県外からの観光客等
意図（どのような状態にしたいか）	高松城跡（玉藻公園）を訪れる市民及び県外からの観光客等を増加させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
和船乗船人数		人	0	4,770	5,221	5,247	5,247

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	高松城跡（玉藻公園）入園者数	人	目標値 実績値	0 0	232,000 266,025	268,000 305,372	270,000	270,000
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	令和7年度の高松城跡（玉藻公園）入園者数は、昨年度と比べ実績値は大幅に増加し、目標値を14%上回る結果となった。			（目標達成度） 113.9%				
				（得点） 35点				
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				（目標達成度）				
				（得点）				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	11,431	10,634	11,186	11,713
(事業費)	[千円]	4,657	4,072	3,798	4,197
(職員人件費)	[千円]	6,774	6,562	7,388	7,516

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	高松城和船体験事業	補助金 3 , 7 9 8 千円	総額	3,798	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,798	
令和 8 年度	高松城跡和船体験事業	補助金 4 , 1 9 7 千円	総額	4,197	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	4,197	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

玉藻公園ライトアップ事業は70周年事業として実施し、多くの集客があった。和船体験については乗船客数も伸び、今後は運用面での見直しを求められている。

民間事業者と連携し、国の事業費等も活用しながら、「玉藻公園ならではの」のコンテンツを造成し、誘客につなげる。併せて、SNS等を利用して、既存事業の広報を積極的に行い認知度向上を図る。また、更なる経済波及効果を狙って歴史的建造物を活用したナイトタイムコンテンツを充実させる。商店街への人流を確保し、滞在時間の増加を促すことで消費拡大につながる魅力あるイベントを継続的に開催していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策		観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2416
	取組方針		観光資源の掘り起こしと磨き上げ		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		観光イベント振興事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松まつり、高松秋のまつり大名行列などの本市の代表的なまつり、及び合併町における地域のまつり・イベントに対し、事業補助を行い、魅力のある観光イベントの振興・活性化に努め、観光客の誘致を図る。				
8年度概要	1. イベント開催補助金（8件） 2. さぬき高松まつり負担金 3. 高松秋のまつり・大名行列開催事業負担金 4. 海の月間事業負担金 5. その他				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

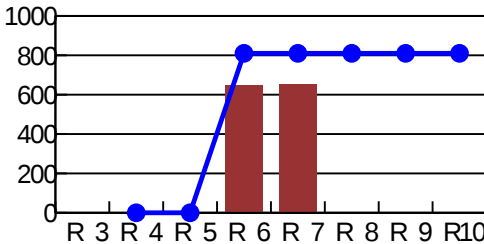
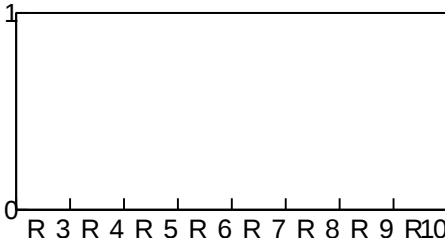
【事業の目的】

対象（何を）	訪れる市民・観光客
意図（どのような状態にしたいか）	高松まつりなどのイベント振興に努め、多くの市民が楽しみ、観光客が訪れるよう、地域性豊かな特色のある観光資源の創造を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助金交付団体数	団体	13	14	14	15	15

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	まつり・イベント入込客数		千人	目標値	0	810	810	810	810	
				実績値	0	648	655			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	多くのイベントが開催され、にぎわい創出・誘客促進が図られた。		(目標達成度)	80.9%						
(得点)			28点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	111,342	88,353	94,979	89,408
(事業費)	[千円]	88,761	83,296	90,741	89,408
(職員人件費)	[千円]	22,581	5,057	4,238	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	1 . イベント開催補助金 (1 1 件) 2 . さぬき高松まつり負担金 3 . 高松秋のまつり・大名行列開催事業負担金 4 . 海の月間事業負担金 5 . その他	1 . 2 1 , 0 2 5 千円	総額	90,741	
		2 . 5 6 , 2 3 7 千円	特定財源	国	0
		3 . 9 , 0 7 1 千円		県	0
		4 . 5 0 千円		市債	0
		5 . 4 , 3 5 8 千円		他	510
		合計		9 0 , 7 4 1 千円	一般財源
令和 8 年度	1 . イベント開催補助金 (8 件) 2 . さぬき高松まつり負担金 3 . 高松秋のまつり・大名行列開催事業負担金 4 . 海の月間事業負担金 5 . その他	1 . 2 1 , 2 2 1 千円	総額	89,408	
		2 . 5 4 , 0 2 5 千円	特定財源	国	0
		3 . 9 , 0 7 1 千円		県	0
		4 . 5 0 千円		市債	0
		5 . 5 , 0 4 1 千円		他	0
		合計		8 9 , 4 0 8 千円	一般財源

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	1	貢献度が小さい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	80 / 100 (80 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

観光客のニーズを取り入れつつ、各イベントのブラッシュアップを行うとともに、持続可能な形式に変更していく必要がある。

今後は地域のにぎわい創出だけではなく、観光イベントとして、より誘客促進につながるものとなるよう取り組んでいく必要があるほか、上記課題の解決に向け、イベント内容そのものの在り方の見直しや新たな財源の確保に取り組む。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策		観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2416
	取組方針		観光資源の掘り起こしと磨き上げ		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		観光プロモーション事業			

【事業全体概要】

事業概要	「持続可能な観光地域づくり」、「インバウンド回復」及び「国内交流拡大」をキーワードに、国内外に対して持続的にプロモーションを実施することにより、本市の認知度向上、観光客・交流人口・関係人口の増加を図り、移住やシビックプライドの形成を促すことを目的とする。また、神戸市、小豆島町及び土庄町との連携並びに、西日本19自治体と連携して、インバウンドの広域周遊に向けた、プロモーションや旅行商品造成を図る。				
8年度概要	国内向けプロモーション事業 観光素材動画作成業務 2市2町連携負担金 西のゴールデンルートアライアンス負担金 西のゴールデンルート関係旅費				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	

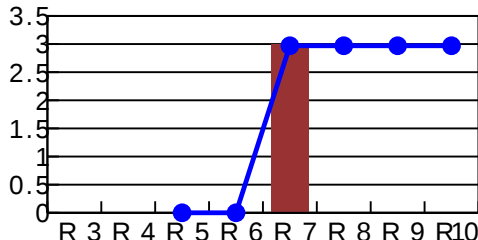
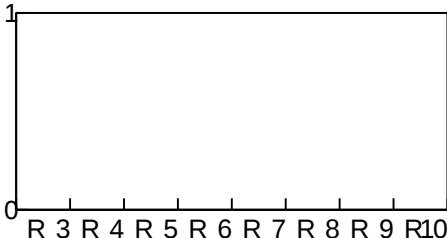
【事業の目的】

対象（何を）	国内外の観光客
意図（どのような状態にしたいか）	本市の認知度向上及び入込客数の増加

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	プロモーション事業実施件数	件	0	3	3	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	広告配信クリック率	%	目標値	0	0	2.97	2.97	2.97
			実績値	0	0	3		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	SNSを活用したターゲティング広告を効果的に行ったことで、広告配信クリック率の目標値を上回ることができた。	(目標達成度)	101.0%					
		(得点)	35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	28,512	17,867	20,440
(事業費)	[千円]	0	21,950	10,479	12,924
(職員人件費)	[千円]	0	6,562	7,388	7,516

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	2市2町連携負担金 西日本・九州ゴールデンルートアライアンス負担金 国内Z世代向け観光プロモーション事業 西のゴールデンルートR7万博共同出展	1,500千円 7,500千円 1,342千円 137千円	総額	10,479	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	10,479	
令和 8 年度	国内向けプロモーション事業 観光素材動画作成業務 2市2町連携負担金 西のゴールデンルートアライアンス負担金 西のゴールデンルート関係旅費	4,818千円 1,716千円 1,500千円 4,700千円 190千円	総額	12,924	
			特定財源	国	3,267
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	9,657	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

国外向けのプロモーションについては単独での事業では効果が得られにくいいため、引き続き、広域連携の枠組みを活用して情報発信を行う。国内向けについてはターゲットや手法について検討を行う必要がある。

引き続き、国内外に対して、本市の認知度向上に向けたプロモーションを実施する。また、プロモーションのターゲット層・手法の再検討や密な周辺自治体との連携等を実施することで、より効果的に観光客・交流人口・関係人口の増加を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策		観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2416
	取組方針		観光資源の掘り起こしと磨き上げ		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		観光コンテンツ造成推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	ゲーム作品を活用した観光コンテンツの整備及び、男木島灯台資料館等（照明設備、トイレ、給湯設備）の改修 令和6年度は、ソフト面である聖地巡礼マップやガイドアプリの観光コンテンツの作成 令和7年度は、ハード面である男木島灯台資料館等の改修工事				
8年度概要	灯台資料館等改修工事 玉藻ライトアップ事業 クリスマスマーケット負担金				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	

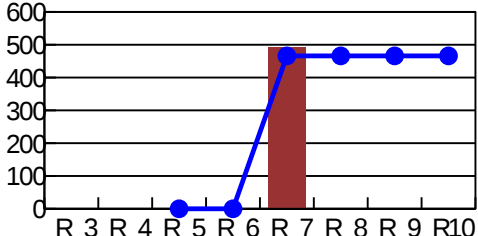
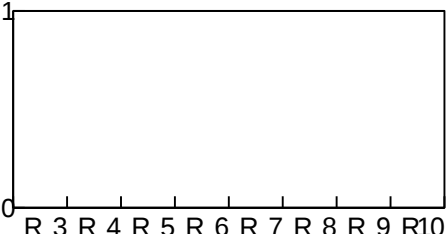
【事業の目的】

対象（何を）	国内外からの観光客等
意図（どのような状態にしたいか）	本市が舞台等になっているコンテンツを積極的に活用し、本市の認知度向上及び観光客・交流人口・関係人口の増加を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	コンテンツを活用した観光振興施策の実施件数	件	0	0	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	香川県の延べ宿泊者数		万人	目標値	0	0	466	466	466	
				実績値	0	0	493			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	国際路線の拡大とともにインバウンドや国内旅行は順調に増えてきており、利用者数も増え、目標値に達した。		(目標達成度)							
(得点)										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	23,034	25,061	61,358
(事業費)	[千円]	0	17,977	20,927	61,358
(職員人件費)	[千円]	0	5,057	4,134	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	灯台資料館等改修工事 玉藻城跡（玉藻公園）観光振興事業	1 2 , 4 3 0 千円 8 , 4 9 7 千円	総額	20,927	
			特定財源	国	0
				県	4,000
				市債	12,400
				他	3,000
			一般財源	1,527	
令和 8 年度	灯台資料館等改修工事 玉藻ライトアップ事業 クリスマスマーケット負担金	1 6 , 0 6 0 千円 7 , 4 9 8 千円 3 7 , 8 0 0 千円	総額	61,358	
			特定財源	国	22,648
				県	0
				市債	16,000
				他	0
			一般財源	22,710	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	1	貢献度が小さい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

年度末に完成した聖地巡礼マップ・音声ガイドアプリ等をアニメツーリズム施策としていかなるよう広報し来島者数を増やす。
--

契約監理課発注分の施設改修を実施する。また、聖地巡礼マップ及びガイドマップアプリの運用を継続し、観光客・交流人口・関係人口の増加を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策	観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2416
	取組方針	おもてなし環境の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	観光客受入環境整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	観光客の受入環境整備事業として、主に観光施設におけるスポットW i -F iを整備する。				
8年度概要	W i -F i通信費 観光人材育成ワークショップ等実施 W i -F i撤去費				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	市民及び県外からの観光客等
意図（どのような状態にしたいか）	本市への観光客の増加（外国人含む）及び滞在中の満足度向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	スポットWi-Fi設置箇所数	箇所	0	0	5	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	エクスペリエンス高松ページビュー数	万件	目標値	0	0	100	131	131
			実績値	0	0	140		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	エクスペリエンス高松への新たな記事の掲載等、継続的なサイト改修をしていることに加え、国際線の新規就航・増便や国内外に向けた観光施策等を背景に観光客数が増加した結果、ページビュー数は140万人となった。	(目標達成度) 140.0%		(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
		(目標達成度)		(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	13,789	16,866	7,748	10,211
(事業費)	[千円]	7,015	10,304	360	2,695
(職員人件費)	[千円]	6,774	6,562	7,388	7,516

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	W i -F i 通信費	3 6 0 千円	総額	360	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	360	
令和 8 年度	W i -F i 通信費 観光人材育成ワークショップ等実施 W i -F i 撤去費	4 7 0 千円 1 0 0 千円 2 , 1 2 5 千円	総額	2,695	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,695	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
W i - F i 機器の入れ替えに伴い、費用対効果の観点から利用者数の少ない玉藻公園、屋島山上時計台については提供を廃止し、おにの館、男木交流館及び塩江インフォメーションにおいて、引き続き、スポットW i - F i の提供を行った。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
スポットW i - F i の継続について検討する。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策		観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2416
	取組方針		おもてなし環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		男木島灯台資料館管理運営事業			

【事業全体概要】

事業概要	男木島灯台資料館の管理運営、入場者数の把握、敷地内の管理を委託し、観光客の利便を図り、リピーターの確保に努める。				
8年度概要	男木島灯台資料館の管理運営、入場者数の把握、敷地内の管理を委託する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

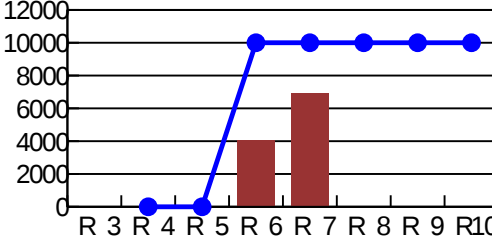
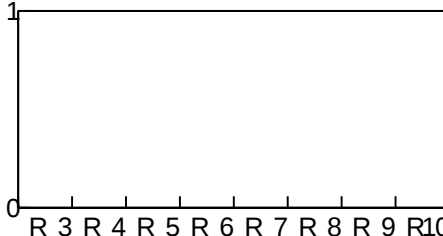
【事業の目的】

対象（何を）	男木島への来島者数
意図（どのような状態にしたいか）	来島客の満足度の向上を図り、リピーターの確保を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	男木島灯台資料館開館日数	日	0	187	142	180	180

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	施設利用者数	人/年	目標値 実績値	0 0	10,000 4,073	10,000 6,909	10,000	10,000
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	令和7年11月からの修繕工事や島内イベントが天候等の影響により中止になったこと等により、目標値を大きく下回った。	(目標達成度)		69.1%				
		(得点)		24点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	3,214	7,203	6,717	6,648
(事業費)	[千円]	2,010	2,146	2,583	3,018
(職員人件費)	[千円]	1,204	5,057	4,134	3,630

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費	
令和 7 年度	男木島灯台資料館の管理運営、入場者数の把握、敷地内の管理を委託する。	需用費 7 2 2 千円	総額	2,583
		役務費 8 千円	特定財源	
		委託料 1 , 8 3 0 千円		
		使用料及び賃借料 2 3 千円		
		—		
		合計 2 , 5 8 3 千円		
令和 8 年度	男木島灯台資料館の管理運営、入場者数の把握、敷地内の管理を委託する。	需用費 9 0 3 千円	総額	3,018
		役務費 8 千円	特定財源	
		委託料 2 , 0 6 3 千円		
		使用料及び賃借料 4 4 千円		
		—		
		合計 3 , 0 1 8 千円		
		国	0	
		県	0	
		市債	0	
		他	47	
		一般財源	2,536	
			国	0
			県	0
			市債	0
			他	1
			一般財源	3,017

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	1	貢献度が小さい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	74 / 100 (74 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

男木島灯台資料館の管理運営を、地元の男木島観光協会に委託し、観光客からの施設観覧の要望に応じて開館し、案内を行った。施設が沿岸部に位置し、塩害による老朽化も著しいことから、適時適切な改修を行うことが求められる。

施設の老朽化が進んでいることから、効果的なファシリティマネジメントに取り組む。また、効果的な誘客方法について検討を進める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策	観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2416
	取組方針	おもてなし環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	観光ボランティアガイド育成事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市を訪れる観光客に、高松の歴史・文化・自然及び物産等の豊かな魅力を紹介する観光ボランティアガイドを育成し、本市の観光振興を図る。				
8年度概要	- 観光客に対する観光ガイド - 新人研修会 - 既会員へのガイドスキル向上のための研修会				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

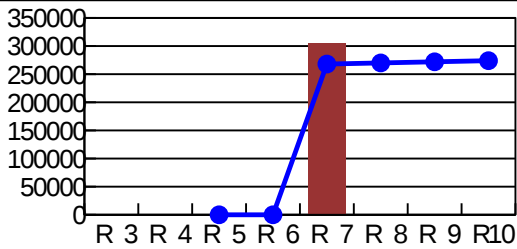
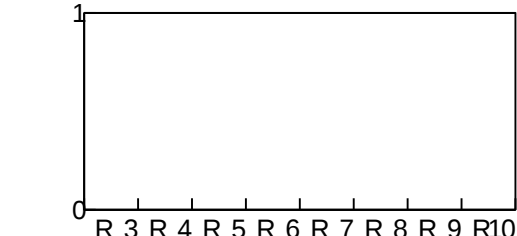
【事業の目的】

対象（何を）	玉藻公園・屋島地域を訪問した観光客・市民等
意図（どのような状態にしたいか）	高松を訪れた観光客に対して観光ガイドができる人材を育成することで、受入態勢の充実を図る。また、来高満足度を高め、リピーター又は来高意識の拡大を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
被ガイド（観光客）数	人	7,517	5,217	7,698	13,800	13,800

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	高松城跡（玉藻公園）入園者数	人	目標値	0	0	268,000	270,000	270,000
			実績値	0	0	305,372		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	令和7年度の高松城跡（玉藻公園）入園者数は、昨年度と比べ実績値は大幅に増加し、目標値を14%上回る結果となった。		（目標達成度） 113.9%					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度）					
			（得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	7,469	7,649	4,580	466
(事業費)	[千円]	469	469	446	466
(職員人件費)	[千円]	7,000	7,180	4,134	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・観光客に対する観光ガイド ・新人研修会 ・既会員へのガイドスキル向上のための研修会	補助金 4 4 6 千円	総額	446	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	446	
令和 8 年度	・観光客に対する観光ガイド ・新人研修会 ・既会員へのガイドスキル向上のための研修会	補助金及び賃借料 4 6 6 千円	総額	466	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	466	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

県外からの観光客が一定数戻ったことにより、前年度と比較して、ガイドの利用者数は増加した。今後も研修等を通して、更なるガイドスキルの向上を図るとともに、若年層ガイドの育成やインバウンドの対応の改善を図る。

通訳案内士制度の改正に伴い、有償ガイドに制約がなくなることから、若年層ガイドの育成として、大学との連携等を引き続き行っていくが、本市における観光ガイドの在り方を検討する必要がある。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

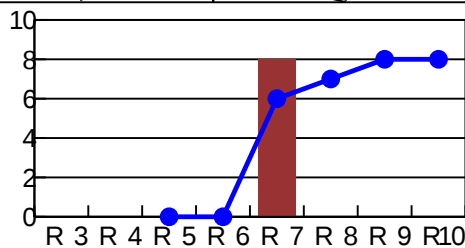
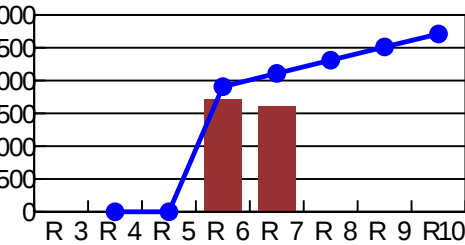
総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策	観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2416
	取組方針	M I C E 誘致・都市間交流の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	M I C E ・観光客誘致推進事業			

【事業全体概要】						
事業概要	観光・M I C E 都市としての知名度を向上させてブランドイメージを確立するために策定された「高松市M I C E 振興戦略」に基づいて、本市ならではのM I C E 振興を行うため、（公財）高松観光コンベンション・ビューローの機能強化や香川県M I C E 誘致推進協議会への負担金支出等を行う。					
8年度概要	M I C E 誘致推進協議会への負担金 M I C E ・観光客誘致に向けたプロモーション 大都市圏旅行会社に対するプロモーション					
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市M I C E 振興戦略	

【事業の目的】	
対象（何を）	国際会議観光都市としての本市
意図（どのような状態にしたいか）	高松市と近隣町（三木町、直島町、綾川町）で開催されるM I C E 開催件数を増加させることで、交流人口や観光客の増加を図るとともに、都市ブランドイメージの向上を図る。

【事業の活動】							
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	誘致訪問件数（県協議会分を含む。）	件	0	316	316	409	409
	全国大会開催補助金支出件数	件	0	71	72	78	78

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	国際会議開催件数	件	目標値	0	0	6	7	7	
			実績値	0	0	8			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	継続的な誘致の結果、国際会議の開催件数は目標値を上回った								
			(目標達成度)						
			133.3%						
			(得点)						
			35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	高松シンボルタワー来場者数	千人	目標値	0	1,907	2,109	2,310	2,310	
			実績値	0	1,714	1,602			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	前年度と比較して減少し、達成度約 76 %と目標値を下回った								
				(目標達成度)					
				76.0%					
				(得点)					
				27点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	28,649	108,347	113,660	126,577
(事業費)	[千円]	23,380	101,785	106,272	119,061
(職員人件費)	[千円]	5,269	6,562	7,388	7,516

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	M I C E 誘致推進協議会への負担金 M I C E ・観光客誘致に向けたプロモーション 大都市圏旅行会社に対するプロモーション 観光振興ビジョン策定調査費	5 , 3 9 1 千円 9 9 , 2 8 9 千円 1 2 9 千円 1 , 4 6 3 千円	総額	106,272	
			特定財源	国	732
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	105,540	
令和 8 年度	M I C E 誘致推進協議会への負担金 M I C E ・観光客誘致に向けたプロモーション 大都市圏旅行会社に対するプロモーション	5 , 9 6 1 千円 1 1 2 , 8 9 2 千円 2 0 8 千円	総額	119,061	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	119,061	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

本市でのＭＩＣＥ開催件数を増加させ、地域全体への波及効果を高めていくために、引き続き、県協議会や高松観光コンベンション・ビューローと連携し、誘致訪問等を行った。また新たな観光振興ビジョンの策定に向けて取り組むことで観光振興とＭＩＣＥの両輪での地域活性化を推進していく。

引き続き、M I C E誘致や受入態勢の改善に、第2期高松市M I C E振興戦略に基づいて県市を挙げて取り組んでいくとともに、サステナブルなM I C E都市を目指し、G D S - I n d e x評価制度を県協議会や高松観光コンベンション・ビューローと連携しながら進めていく。また、戦略的な観光振興を行うために、調査事業等を実施し、新たな観光振興ビジョンの策定に向けて取り組んでいく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策		観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2416
	取組方針		M I C E 誘致・都市間交流の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		姉妹城都市等観光交流事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市と姉妹城都市や親善都市等の都市提携を結んでいる都市との観光と物産展を開催する。				
8年度概要	金沢百万石まつり参加、ひこねの城まつり参加 観光と物産展の参加				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

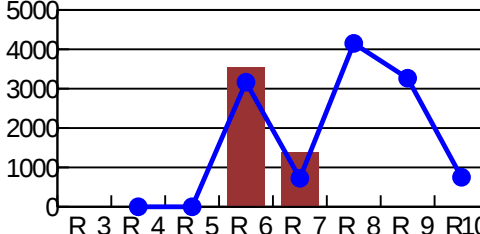
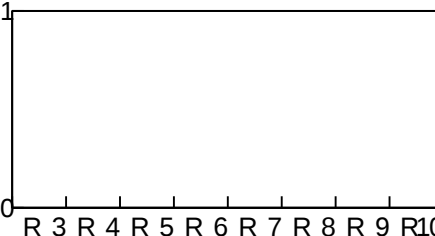
【事業の目的】

対象（何を）	提携都市等の市民
意図（どのような状態にしたいか）	観光と物産展の開催を通して、特産品や観光のＰＲと都市間の友好親善を深める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
観光と物産展参加回数	回	0	4	1	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	観光と物産展における高松市ブース訪問者数	人	目標値	0	3,165	725	4,150	4,150
	実績値		0	3,531	1,381			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	提携都市において開催される物産展に参加し、本市の特産品や観光をPRすることができた。（彦根市）		(目標達成度) 190.5%					
				(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)					
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	8,570	6,096	5,085	5,511
(事業費)	[千円]	1,570	1,039	951	1,377
(職員人件費)	[千円]	7,000	5,057	4,134	4,134

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	金沢百万石まつり参加、ひこねの城まつり参加 観光と物産展の参加・開催	8 9 千円 8 6 2 千円	総額	951	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	951	
令和 8 年度	金沢百万石まつり参加、ひこねの城まつり参加 観光と物産展の参加	1 7 7 千円 1 , 2 0 0 千円	総額	1,377	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,377	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
各提携都市での観光と物産展では、多くの人が本市ブースに来場し、観光パンフレットや特産品をPRできる機会となっていることから事業効果は大きい。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
提携都市との友好交流や特産品等をPRするため、継続的に、観光と物産展の開催やブース出展を実施する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	観光エリア振興室
	施策	観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2417
	取組方針	観光資源の掘り起こしと磨き上げ		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	温泉をいかした塩江地域の観光振興事業			

【事業全体概要】

事業概要	観光客のニーズや嗜好、競争環境の変化等に的確に対応し、地域の持つ魅力を向上させて塩江地域の活性化を図るため、平成29年3月に策定した「塩江温泉郷観光活性化基本構想」に基づき、温泉をいかした塩江地域の観光振興に努める。					
8年度概要	・塩江道の駅エリア整備事業に係る業務					
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	7-	関連根拠法令	塩江温泉郷観光活性化基本構想	

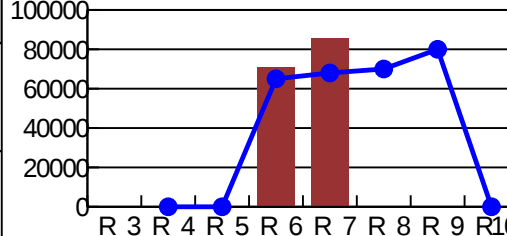
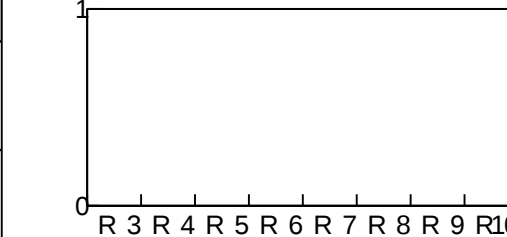
【事業の目的】

対象（何を）	塩江温泉郷への観光客
意図（どのような状態にしたいか）	平成２９年３月に策定した「塩江温泉郷観光活性化基本構想」に基づき、良質な温泉資源や周辺の自然環境をいかして塩江温泉郷の魅力を向上し、観光客の増加を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
関係者会議開催回数	回	0	3	1	2	2
塩江地域イベント開催回数	回	0	4	5	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	塩江温泉郷観光入込客数		人	目標値	0	65,000	68,000	70,000	70,000
				実績値	0	70,655	85,562		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	インバウンド旅行者数は前年度に比べ減少したものの、宿泊施設のリニューアル等により、国内旅行者数が前年度に比べ17,362人増加しており、目標値を大幅に達成している。		(目標達成度) 125.8%						
(得点) 35点									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
			(目標達成度)						
(得点)									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	483,285	227,148	681,087	739,505
(事業費)	[千円]	470,113	217,444	652,301	720,714
(職員人件費)	[千円]	13,172	9,704	28,786	18,791

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・ 塩江道の駅エリア整備事業に係る業務	・ 6 5 2 , 3 0 1 千円	総額	652,301	
			特定財源	国	208,364
				県	0
				市債	374,300
				他	0
			一般財源	69,637	
令和 8 年度	・ 塩江道の駅エリア整備事業に係る業務	・ 7 2 0 , 7 1 4 千円	総額	720,714	
			特定財源	国	177,987
				県	0
				市債	407,800
				他	125,000
			一般財源	9,927	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

塩江道の駅エリア整備事業の実施に当たり、関係機関等との調整が課題となっているが、連携強化や組織の横断的連携を図りながら課題解決に努め、早期の完成を目指す。

「塩江温泉郷観光活性化基本構想」に基づき、道の駅エリア整備等のハード施策と、独自コンテンツの提供等のソフト施策を連動させることで、効果の高い事業を行う。また、道の駅の地域振興施設等については、官民連携手法を活用することで、安定的で自由度の高い、持続可能な管理運営体制の構築を進める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	観光エリア振興室
	施策	観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2417
	取組方針	観光資源の掘り起こしと磨き上げ		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	屋島活性化推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	屋島活性化に向け、屋島の有する特性・価値を将来にわたり継承しつつ、市民を始め、広く屋島を訪れる人々に知ってもらうため、平成25年1月に策定した「屋島活性化基本構想」に基づく、具体的施策・事業を迅速かつ効果的に実施し、世界に誇れる本市のシンボルとなる屋島として再生を目指す。					
8年度概要	屋島地域誘客促進事業 屋島地域施設等管理運営事業					
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	7-	関連根拠法令	屋島活性化基本構想	

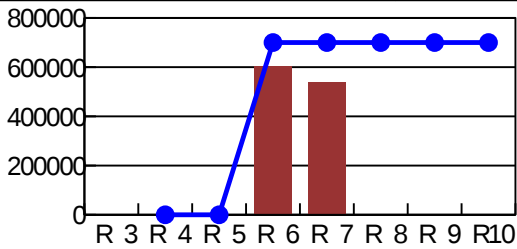
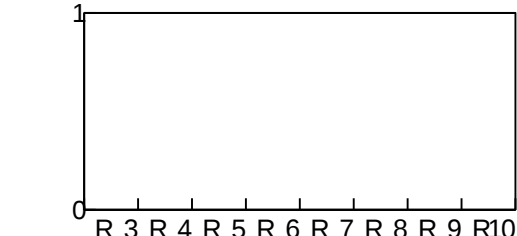
【事業の目的】

対象（何を）	屋島及び周辺地域
意図（どのような状態にしたいか）	「屋島活性化基本構想」に掲げた具体的施策・事業を、計画的かつ効果的に実施し、屋島を世界に誇れる高松市のシンボルとして再生する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
「屋島活性化基本構想」の事業のうち実施した事業数	事業	0	44	44	44	44
事業費ベースの進捗率	%	0	100	100	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	屋島山上入込客数	人	目標値 実績値	0 0	700,000 604,529	700,000 539,740	700,000	700,000
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	屋島山上にぎわい創出事業補助金の活用により、夜のにぎわい創出支援を行ったことなどで、一定の効果があつたものの、新屋島水族館の休館の影響により、目標値には届かなかった。			（目標達成度） 77.1%				
				（得点） 27点				
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				（目標達成度）				
				（得点）				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	77,515	99,676	71,710	131,545
(事業費)	[千円]	47,407	80,291	59,268	116,081
(職員人件費)	[千円]	30,108	19,385	12,442	15,464

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	屋島地域誘客促進事業（明許繰越） 屋島地域誘客促進事業（現年） 屋島地域施設等管理運営事業（現年）	4 , 7 6 3 千円 2 6 , 9 4 6 千円 2 7 , 5 5 9 千円	総額	59,268	
			特定財源	国	5,022
				県	0
				市債	1,600
				他	0
			一般財源	52,646	
令和 8 年度	屋島地域誘客促進事業 屋島地域施設等管理運営事業	9 0 , 0 5 4 千円 2 6 , 0 2 7 千円	総額	116,081	
			特定財源	国	37,352
				県	0
				市債	1,000
				他	0
			一般財源	77,729	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	78 / 100 (78 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

「屋島活性化基本構想」に基づき、屋島を訪れる観光客のニーズ等に応じた、新たな価値や魅力を創成する各種取組を展開するとともに、屋島山上にぎわい創出事業補助金により、既存資源を活用した新たなコンテンツを造成した。

屋島山上交流拠点施設の指定管理者と密に連携を図りながら、ソフト施策の充実を図る。特に、屋島が持続可能な観光地になるためには、屋島の有する特性・価値を将来にわたり継承し、適切な情報提供と環境整備をすることが必要である。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	観光エリア振興室
	施策	観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2417
	取組方針	おもてなし環境の充実		事業期間	令和7年度～令和9年度
	事務事業	香南地域の道の駅に係る官民連携再整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	香南地域の道の駅における施設管理に伴う財政負担の増加や、他事業の影響により不足する駐車場の確保といった課題に対応するとともに、本施設が将来にわたり、地域の拠点として、にぎわいの創出や持続可能なまちづくりにつながるよう、官民連携手法を活用した施設等の再整備等を実施し、地域の観光振興に努める。				
8年度概要	・香南地域の道の駅の官民連携再整備事業に係る業務				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

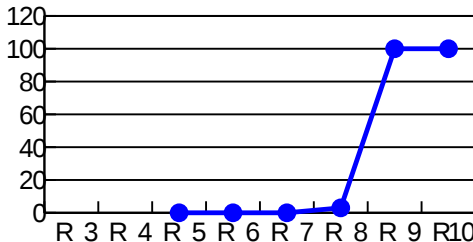
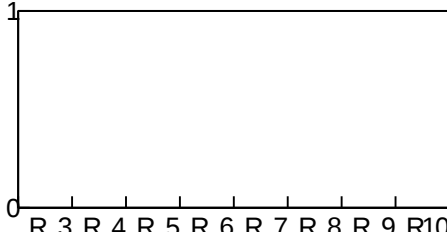
【事業の目的】

対象（何を）	市民及び県外からの観光客等
意図（どのような状態にしたいか）	「道の駅香南楽湯」の地域振興施設について、官民連携手法を活用した施設等の再整備及び維持管理・運営により、安定的で自由度の高い、持続可能な運営を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	地域振興施設運用開始の進捗率	%	0	0	0	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																			
	地域振興施設整備進捗率	%	目標値	0	0	0	3	3																			
			実績値	0	0	0																					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					 <table><caption>達成率データ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 3</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>0</td></tr><tr><td>R 7</td><td>0</td></tr><tr><td>R 8</td><td>100</td></tr><tr><td>R 9</td><td>100</td></tr><tr><td>R 10</td><td>100</td></tr></tbody></table>				年度	達成率 (%)	R 3	0	R 4	0	R 5	0	R 6	0	R 7	0	R 8	100	R 9	100	R 10	100
	年度	達成率 (%)																									
R 3	0																										
R 4	0																										
R 5	0																										
R 6	0																										
R 7	0																										
R 8	100																										
R 9	100																										
R 10	100																										
当該指標は設計及び工事の進行状況を測るものであり、各段階において具体的な成果が発生することを前提にしているが、令和7年度は施設整備の準備段階として、本事業の実施事業者の選定を実施しており、設計や工事そのものには着手していないことから、7年度においては目標値を設定できない。	(目標達成度)																										
	(得点)																										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																			
			目標値																								
			実績値																								
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					 <table><caption>達成率データ (空欄)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 3</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td></td></tr><tr><td>R 5</td><td></td></tr><tr><td>R 6</td><td></td></tr><tr><td>R 7</td><td></td></tr><tr><td>R 8</td><td></td></tr><tr><td>R 9</td><td></td></tr><tr><td>R 10</td><td></td></tr></tbody></table>				年度	達成率 (%)	R 3		R 4		R 5		R 6		R 7		R 8		R 9		R 10	
	年度	達成率 (%)																									
R 3																											
R 4																											
R 5																											
R 6																											
R 7																											
R 8																											
R 9																											
R 10																											
	(目標達成度)																										
	(得点)																										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	0	20,803	37,991
(事業費)	[千円]	0	0	13	19,200
(職員人件費)	[千円]	0	0	20,790	18,791

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・ 香南地域の道の駅の官民連携再整備事業に係る業務	・ 1 3 千円	総額	13	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	13	
令和 8 年度	・ 香南地域の道の駅の官民連携再整備事業に係る業務	・ 1 9 , 2 0 0 千円	総額	19,200	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	19,200
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	28 / 30 (93 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 香南地域の道の駅に係る官民連携再整備事業の実施に当たり、関係機関等との調整が課題となっているが、連携強化や組織の横断的連携を図りながら、課題解決に努め、早期の完成を目指す。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

「道の駅香南楽湯」の地域振興施設について、官民連携手法を活用することで、安定的で自由度の高い、持続可能な管理運営体制の構築を進める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		多様性を尊重する社会の確立		課(室)名	都市交流室
	施策		誰もが活躍できる環境の形成		電話番号	087-839-2197
	取組方針		多文化共生の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		多文化共生推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	国際化の進展に伴い、近年増加する在住外国人等を支援するため、外国語に専門性を有する会計年度任用職員を配置し、案内表示板、チラシ等の翻訳や通訳業務を行うほか、（公財）高松市国際交流協会と協力し、日本語習得支援事業を実施し、在住外国人等が地域社会の一員として社会参画できる、多文化共生のまちづくりを推進する。				
8年度概要	英語・中国語の専門性を有する会計年度任用職員 3 人配置				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	在住外国人
意図（どのような状態にしたいか）	近年増加している在住外国人等が、地域社会の一員として活躍できるよう支援し、社会参画を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	日本語習得支援事業開催回数	回	0	59	59	40	40

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	日本語習得支援事業参加外国人数	人	目標値 実績値	0 0	130 245	138 268	146 146	146 146
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	（公財）高松市国際交流協会と協力して行う日本語習得支援事業に令和6年度より初級クラスが新設され、選択肢が増えたことにより、引き続き参加外国人数が増加し、在住外国人の生活支援や社会参画に寄与することができた。			（目標達成度） 194.2%				
				（得点） 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				（目標達成度）				
				（得点）				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	15,149	22,744	22,804	24,509
(事業費)	[千円]	11,385	14,414	14,280	15,985
(職員人件費)	[千円]	3,764	8,330	8,524	8,524

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	英語・中国語の専門性を有する会計年度任用職員 3 人配置	報酬額等 1 4 , 2 8 0 千円	総額	14,280	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	14,280	
令和 8 年度	英語・中国語の専門性を有する会計年度任用職員 3 人配置	報酬額等 1 5 , 9 8 5 千円	総額	15,985	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	15,985	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

(公財)高松市国際交流協会と協力して行う、日本語習得支援事業に令和6年度から初級クラスが新設されたことで選択肢が増え、事業への参加外国人数が増加したことにより、在住外国人の生活支援や社会参画に寄与することができた。

近年増加傾向にある在住外国人等が、地域社会の一員として活躍できるまちづくりを推進することが必要とされており、今後も継続実施していくことが適当である。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	都市交流室
	施策	観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2197
	取組方針	M I C E 誘致・都市間交流の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	国内交流推進事業			

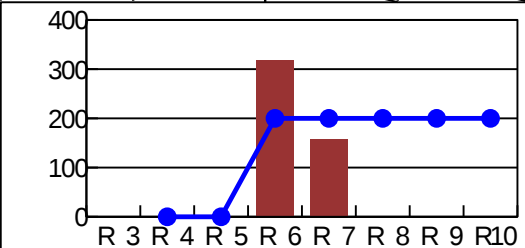
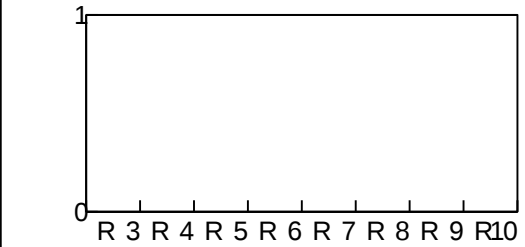
【事業全体概要】					
事業概要	国内の提携都市との交流活動を推進するほか、高松市国分寺地域と「歴史文化交流協定」を締結している下野市との交流事業を行う団体に対し、事業補助金を交付することにより、多彩な地域間交流を促進し、人がにぎわい、活力あるまちづくりを進める。				
8年度概要	交流事業補助金 国内都市訪問等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	国内提携都市との間で、多彩な地域間交流を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
国内の提携都市との交流事業開催数	回	0	3	2	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	国内の提携都市との交流事業参加者数	人	目標値	0	200	200	200	200
			実績値	0	317	157		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	高松市の歴史文化交流都市である下野市との間で小学生児童による相互訪問を行う、高松市国分寺地域の団体に対し事業補助金を交付し、国分寺跡等の貴重な歴史遺産の承継や活用などを通じ、市民レベルでの地域間交流事業を実施することができたが、参加者数が伸びず目標を達成することができなかった。			(目標達成度) 78.5%				
			(得点) 27点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
			(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	4,264	10,104	9,346	9,261
(事業費)	[千円]	500	1,774	830	745
(職員人件費)	[千円]	3,764	8,330	8,516	8,516

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	交流事業補助金 国内都市訪問等	5 0 0千円 3 3 0千円	総額	830	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	830	
令和 8 年度	交流事業補助金 国内都市訪問等	5 0 0千円 2 4 5千円	総額	745	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	745	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	80 / 100 (80 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
貴重な文化資源を相互に有し、長きに渡り交流を行ってきた高松市国分寺地域と下野市との交流事業に対する支援の継続は、今後も必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

国内の提携都市との交流は、互いの地域の活性化や交流人口の拡大につながることから、継続実施することが適当である。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	都市交流室
	施策		観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2197
	取組方針		M I C E 誘致・都市間交流の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		国際交流推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	市民の豊かな国際感覚の涵養を図るため、海外の提携都市等との交流活動を推進するほか、国際交流団体への支援を通じた市民レベルでの国際交流を促進する。				
8年度概要	海外の提携都市等との交流 高松市国際交流推進協議会の開催 （公財）高松市国際交流協会事業補助				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	海外の異なる文化や習慣を理解し、お互いを尊重し合える国際感覚を醸成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	海外の提携都市との交流事業開催数	回	0	6	8	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	海外の提携都市との交流事業参加者数	人	目標値	0	200	200	200	200
			実績値	0	282	537		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	（公財）高松市国際交流協会や民間団体等と協力し、海外の提携都市との交流事業がコロナ禍前の水準で実施することができたほか、南昌市から公式訪問団及び企業訪問団を招待し、友好都市提携35周年記念事業や、両市の企業間の意見交換会を実施するなど、事業参加者数を大幅に増やすことができた。			（目標達成度） 268.9%				
				（得点） 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				（目標達成度）				
				（得点）				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	25,677	14,440	15,783	24,388
(事業費)	[千円]	10,623	6,010	7,235	15,840
(職員人件費)	[千円]	15,054	8,430	8,548	8,548

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	海外の提携都市等との交流 高松市国際交流推進協議会の開催 (公財) 高松市国際交流協会事業補助	4 , 3 6 1千円 1 1 9千円 2 , 7 5 5千円	総額	7,235	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	58
			一般財源	7,177	
令和 8 年度	海外の提携都市等との交流 高松市国際交流推進協議会の開催 (公財) 高松市国際交流協会事業補助	1 1 , 7 8 7千円 1 3 2千円 3 , 9 2 1千円	総額	15,840	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	57
			一般財源	15,783	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

市民の国際感覚の醸成に加え、民間国際交流団体の活動を促進することにより、地域の活性化やにぎわいの創出にもつながることから、継続実施することが適当である。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	有害鳥獣被害対策事業			

【事業全体概要】

事業概要	市内における有害鳥獣（イノシシ等）による農産物等への被害を防止し、営農意欲の確保や農業施設（農道・水路）の保全を図るために、本市鳥獣被害防止計画に基づき、農家への防護柵等設置経費の助成や、環境整備、猟友会等による捕獲活動を奨励する。				
8年度概要	イノシシ・サル対策 被害防止対策補助（捕獲）・防護柵等整備助成・箱わな導入事業 他 アライグマ対策 殺処分機用炭酸ガス代 他 その他の事業 高松市鳥獣被害対策実施隊員報酬・会計年度任用職員給料等 他				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	鳥獣保護管理法 鳥獣被害防止特別措置法

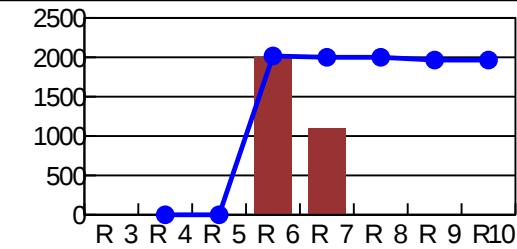
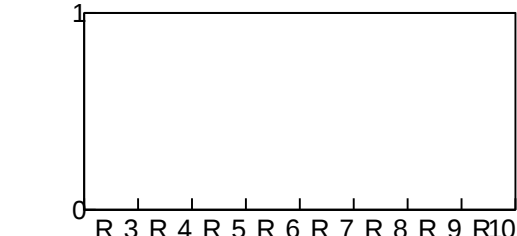
【事業の目的】

対象（何を）	市内の鳥獣による被害農家等
意図（どのような状態にしたいか）	農作物被害地域住民による集落単位での防護柵等の設置、鳥獣を寄せ付けない鳥獣ストップゾーン（緩衝帯）の整備、香川県猟友会等による有害捕獲及び指定管理鳥獣捕獲等推進事業等による捕獲を強化し、イノシシやアライグマ等有害鳥獣による被害の軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
イノシシ等捕獲に係る補助金交付件数	件 / 年	0	1,715	1,429	3,000	3,000
防護柵等設置に係る補助金交付件数	件 / 年	0	39	14	40	40

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	鳥獣による被害金額	万円	目標値	0	2,017	2,000	2,000	2,000
			実績値	0	1,998	1,100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	有害鳥獣による食害で発生した農水産物の被害額を抑制することができた。		（目標達成度） 145.0% （得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度） （得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	42,280	48,562	49,190	53,234
(事業費)	[千円]	20,452	26,174	26,002	30,046
(職員人件費)	[千円]	21,828	22,388	23,188	23,188

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	イノシシ・サル対策 被害防止対策補助(捕獲)・防護柵等整備助成・箱わな導入事業 他 アライグマ対策 殺処分機用炭酸ガス代 他 その他の事業 高松市鳥獣被害対策実施隊員報酬・会計年度任用職員給料等 他	18,712千円 382千円 6,908千円	総額	26,002	
			特定財源	国	0
				県	14,709
				市債	0
				他	0
			一般財源	11,293	
令和 8 年度	イノシシ・サル対策 被害防止対策補助(捕獲)・防護柵等整備助成・箱わな導入事業 他 アライグマ対策 殺処分機用炭酸ガス代 他 その他の事業 高松市鳥獣被害対策実施隊員報酬・会計年度任用職員給料等 他	24,801千円 322千円 4,923千円	総額	30,046	
			特定財源	国	0
				県	16,800
				市債	0
				他	0
			一般財源	13,246	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

有害鳥獣による農林水産業にかかる被害は、高止まり傾向にあるため、引き続き粘り強く対応していく必要がある。

引き続き、防御（集落単位での防護柵の設置等）、環境整備（鳥獣ストップゾーンの整備）、捕獲（県猟友会等による有害捕獲）を効率的、効果的に実施し鳥獣被害防止に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策		農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針		生産体制の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		園芸産地育成推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	多様化する消費者のニーズに対応した品質と安定的な供給力を持った園芸産地の持続的発展を図るため、県オリジナル品種などの園芸作物等の生産拡大に取り組むための農業機械施設等の整備に対する支援を行う。				
8年度概要	園芸産地育成強化推進事業費 多彩な園芸産地育成推進事業費				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	かがわ園芸産地生産力強化対策事業費補助金

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の農業生産者
意図（どのような状態にしたいか）	市内における農業生産力の増大及び付加価値の高い作物の産地化を図り、競争力の強化を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	補助金交付件数	件	0	15	18	15	15

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	野菜・果樹の市内販売金額（ＪＡ取扱分）	億円	目標値	0	21	21	21	21
			実績値	0	22	21		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	生産者の減少・高齢化や夏期の高温による品質低下等、厳しい状況の中、担い手農家等による施設野菜・果樹の生産拡大に努めた結果、相対的な農産物価格の上昇もあり、目標販売額を達成した。				（目標達成度） 100.0%			
（得点） 35点								
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
					（目標達成度）			
（得点）								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	110,135	64,459	250,130	105,907
(事業費)	[千円]	101,855	54,423	239,735	98,711
(職員人件費)	[千円]	8,280	10,036	10,395	7,196

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	園芸産地育成強化推進事業費 多彩な園芸産地育成推進事業費	9 7 5 千円 2 3 8 , 7 6 0 千円	総額	239,735	
			特定財源	国	0
				県	224,202
				市債	0
				他	0
			一般財源	15,533	
令和 8 年度	園芸産地育成強化推進事業費 多彩な園芸産地育成推進事業費	9 7 5 千円 9 7 , 7 3 6 千円	総額	98,711	
			特定財源	国	0
				県	77,964
				市債	0
				他	0
			一般財源	20,747	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
県オリジナル品種等の付加価値の高い農産物の生産拡大に取り組む担い手農業者等を支援することにより、園芸作物等の生産拡大を推進した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
今後も、国、県などの補助事業を積極的に活用し、生産コスト縮減を図りながら園芸産地の育成を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	畜産振興事業			

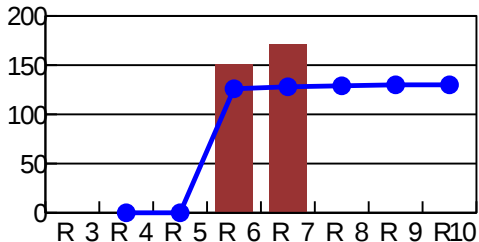
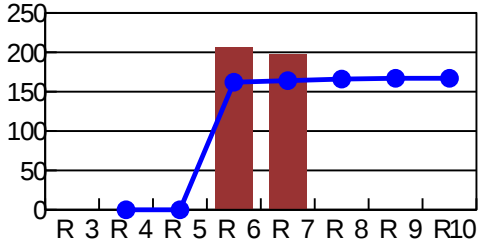
【事業全体概要】					
事業概要	家畜伝染病予防のほか、和牛等の効率的かつ組織的な育種改良により、産肉性等経済能力の向上を図るため、毎年度予算の範囲内において補助金を交付することにより、優良繁殖牛の導入による優良牛の作出等を促進する。				
8年度概要	(1) 家畜法定伝染病予防事業 家畜法定伝染病予防事業 (2) 肉用牛等生産振興事業 優良家畜導入輸送事業、繁殖和牛等増産対策事業、和牛改良基地育成事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市内の畜産農家
意図（どのような状態にしたいか）	家畜伝染病の発生防止、まん延防止に努め、畜産経営の安定に資する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助金交付頭数	頭	0	2,467	2,529	5,000	5,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	1戸当たりの乳用牛飼養頭数	頭	目標値	0	126	128	129	129
			実績値	0	151	171		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	市内の乳用牛の増産が図られたことから、目標値を達成できた。			(目標達成度) 133.6%				
			(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	1戸当たりの肉用牛飼養頭数	頭	目標値	0	162	164	166	166
			実績値	0	207	197		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	市内の肉用牛の増産が図られたことから、目標値を達成できた。			(目標達成度) 120.1%				
			(得点) 35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	4,628	3,755	4,518	11,999
(事業費)	[千円]	2,370	2,983	3,718	3,203
(職員人件費)	[千円]	2,258	772	800	8,796

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	(1) 家畜法定伝染病予防事業 家畜法定伝染病予防事業 (2) 肉用牛等生産振興事業 優良家畜導入輸送事業、繁殖和牛等増産対策事業、和牛改良基地育成事業 (3) 家畜環境衛生対策事業	(1) 1 , 8 6 0 千円 (2) 9 5 8 千円 (3) 9 0 0 千円	総額	3,718	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,718	
令和 8 年度	(1) 家畜法定伝染病予防事業 家畜法定伝染病予防事業 (2) 肉用牛等生産振興事業 優良家畜導入輸送事業、繁殖和牛等増産対策事業、和牛改良基地育成事業	(1) 1 , 4 5 8 千円 (2) 1 , 7 4 5 千円	総額	3,203	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,203	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

家畜伝染病の検査及び予防注射の実施と併せて、優良な繁殖和牛の導入及び優良な子牛の市内保留に対して補助を行った。

家畜伝染病の発生・蔓延を防止するため、家畜法定伝染病対策を重点的に実施するほか、各種助成を継続することで畜産経営の安定に資する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策		農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針		生産体制の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		漁場保全補助事業			

【事業全体概要】

事業概要	海底耕うんの実施及び漁船漁具等の整備、漁協・海岸の環境改善により、漁業生産性向上を図る。				
8年度概要	(1) 水産多面的機能発揮対策事業 水産資源の保護育成を目的とした海底耕うんを実施する。 (2) 海浜清掃事業 漁業者による漁港・海岸の廃棄物回収事業を実施する。 (3) 漁船漁具保全施設設置事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

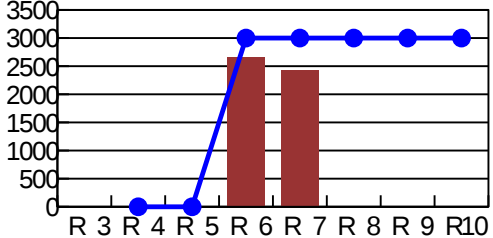
【事業の目的】

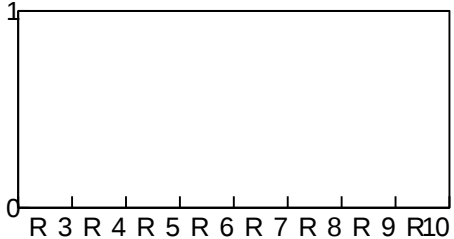
対象（何を）	市内の漁業者が組織する団体
意図（どのような状態にしたいか）	（１）海底耕うんをすることにより、貝類や底性生物の生息環境を改善する。 （２）漁協・海岸の環境改善を通じ、漁業生産性を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助金交付件数	件	0	3	3	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	生鮮水産物出荷量	t	目標値	0	3,000	3,000	3,000	3,000
			実績値	0	2,652	2,422		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	物価高騰の影響により魚介類を買い控えるなど魚介類の消費量の回復は遅く生鮮水産物の出荷量は落ち込み、目標を達成できなかった。		(目標達成度)	80.7%				
(得点)			28点					

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)					
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	3,659	6,386	5,174	8,205
(事業費)	[千円]	2,906	5,614	4,374	5,806
(職員人件費)	[千円]	753	772	800	2,399

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	(1) 水産多面的機能発揮対策事業 水産資源の保護育成を目的とした海底耕うんを実施する。 (2) 海浜清掃事業 漁業者による漁港・海岸の廃棄物回収事業を実施する。 (3) 漁船漁具保全施設設置事業 老朽化した船揚げ施設の改修	(1) 9 9 3 千円 (2) 1 , 9 5 0 千円 (3) 1 , 4 3 1 千円	総額	4,374	
			特定財源	国	0
				県	1,432
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,942	
令和 8 年度	(1) 水産多面的機能発揮対策事業 水産資源の保護育成を目的とした海底耕うんを実施する。 (2) 海浜清掃事業 漁業者による漁港・海岸の廃棄物回収事業を実施する。 (3) 漁船漁具保全施設設置事業 老朽化した船揚げ施設の改修	(1) 1 , 0 0 0 千円 (2) 2 , 0 8 6 千円 (3) 2 , 7 2 0 千円	総額	5,806	
			特定財源	国	0
				県	2,720
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,086	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	80 / 100 (80 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

海底耕うんの実施、漁協・海岸の環境改善により、漁業生産性の向上が図られた。

瀬戸内海のような限られた漁場では、環境保全に取り組むことで、漁業資源の安定化が図られることと、漁業の生産性の向上を図るために継続する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策		農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針		生産体制の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		森林整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	森林環境譲与税を活用し、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進等を行う。				
8年度概要	森林整備、林道維持管理等の委託事業 林道・作業道の維持修繕 かがわ森林整備担い手対策協議会負担金 森林整備、県産木材普及、木材需要拡大の補助事業 事務費等 森林整備基金積立金				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律

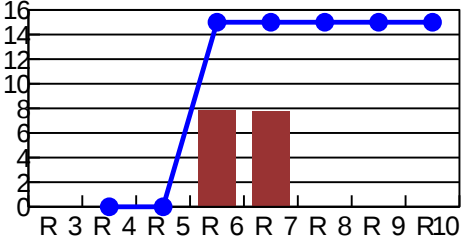
【事業の目的】

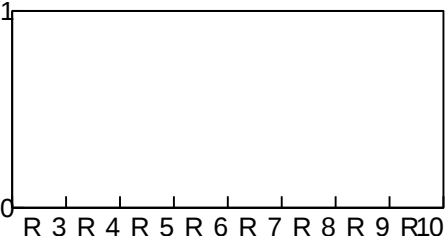
対象（何を）	高松市内の市有林等の山林
意図（どのような状態にしたいか）	森林環境譲与税を活用し、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進等を行うことを通じ、国土の保全や水源の涵養等の公益的機能を有する本市の森林の適切な管理等を進める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
森林整備事業補助金（作業種：間伐）交付件数	件	0	0	0	10	10

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	間伐実施面積		h a	目標値	0	15	15	15	15
				実績値	0	7.83	7.8		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	間伐等による森林管理に努めたものの目標は達成できなかった。		(目標達成度) 52.0%						
		(得点) 18点							

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			(目標達成度)						
		(得点)							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	76,724	87,564	100,737	74,180
(事業費)	[千円]	62,423	67,492	79,947	60,587
(職員人件費)	[千円]	14,301	20,072	20,790	13,593

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	森林整備、林道維持管理等の委託事業 森林整備用備品の購入 森林整備、県産木材普及、木材需要拡大の補助事業 事務費等 森林整備基金積立金 森林団体育成	1 4 , 2 4 4 千円 0 千円 1 2 , 6 6 2 千円 1 4 , 6 5 3 千円 3 1 , 2 9 5 千円 7 , 0 9 3 千円	総額	79,947	
			特定財源	国	0
				県	2,898
				市債	0
				他	829
			一般財源	76,220	
令和 8 年度	森林整備、林道維持管理等の委託事業 林道・作業道の維持修繕 かがわ森林整備担い手対策協議会負担金 森林整備、県産木材普及、木材需要拡大の補助事業 事務費等 森林整備基金積立金	2 0 , 6 6 5 千円 0 千円 7 , 0 9 3 千円 2 0 , 6 5 9 千円 9 , 6 5 8 千円 2 , 5 1 2 千円	総額	60,587	
			特定財源	国	0
				県	7,202
				市債	0
				他	3,766
			一般財源	49,619	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	62 / 100 (62 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）	
森林環境譲与税を活用し、継続的に各種事業を実施した。 特に「地域産木材活用木製玩具等普及事業」については、事業内容を見直したことから、こども園等における地域産木材を使用した玩具等の導入が図られた。	

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

森林環境譲与税を活用し、各種事業を着実に実施する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

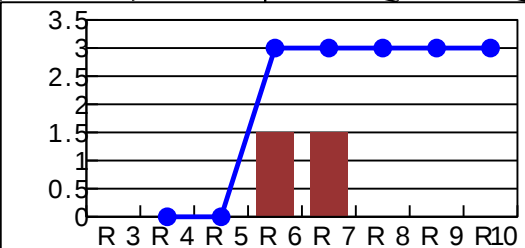
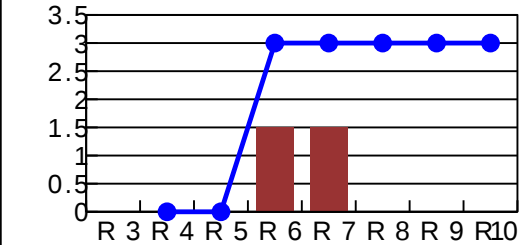
総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	林業振興事業			

【事業全体概要】					
事業概要	森林資源の造成、水源涵養及び国土保全、造林技術の向上、農山村の雇用と所得の確保などを図るため分収造林事業を実施し、豊かな森林を育てる。 健全な森林づくりや里山づくりの支援を行い、水源涵養、国土の有効利用、自然環境の保全を図る。 また、森林所有者による計画的かつ一体的な森林施業の実施に不可欠な活動に要する経費に対し支援する。				
8年度概要	分収造林整備事業 367,400円×一式				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	森林法

【事業の目的】	
対象（何を）	分収造林地 民有林
意図（どのような状態にしたいか）	森林資源の造成、水源涵養及び国土保全、農山村の雇用と所得の確保を図るため分収造林事業を実施し、また、森林所有者による計画的森林施業の実施に不可欠な施業に要する経費に対し支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
造林施業面積	h a	0	0	0	10	10
補助金交付件数	件	0	0	0	1	1

【事業の成果】									
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	分収造林地において造林施業を実施した面積の比率	%	目標値	0	3	3	3	3	3
			実績値	0	1.5	1.5			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	分収造林地における森林施業について、計画どおりの森林管理が行えなかった。		（目標達成度） 50.0% （得点） 18点						
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	人工造林地において造林施業を実施した面積の比率	%	目標値	0	3	3	3	3	3
			実績値	0	1.5	1.5			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	木材価格が低迷し、造林意欲が低下している中、作業員不足も影響し、計画どおりの森林管理が行えなかった。		（目標達成度） 50.0% （得点） 18点						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	10,567	5,449	3,596	6,633
(事業費)	[千円]	6,051	3,133	1,197	4,234
(職員人件費)	[千円]	4,516	2,316	2,399	2,399

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	分収造林整備事業 4 , 3 6 6 , 3 7 0 円 × 一式	分収造林整備事業費等 5 1 7 千円 森林保険料 6 2 2 千円 分収造林審議会 2 0 千円 契約に係る事務費・旅費 3 8 千円	総額	1,197	
			特定財源	国	0
				県	376
				市債	0
				他	0
			一般財源	821	
令和 8 年度	分収造林整備事業 3 6 7 , 4 0 0 円 × 一式	分収造林整備事業費等 3 , 6 0 4 千円 森林保険料 3 5 4 千円 分収造林審議会 2 0 千円 契約に係る事務費・旅費 2 5 6 千円	総額	4,234	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	4,234	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	C	総合点 (率)	56 / 100 (56 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
森林資源を守るとともに、森林所有者の造林事業を支援することにより、林業の振興に寄与した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
木材価格が低迷し、山林所有者の造林意欲が低下している中、計画的に森林造成を進め、健全な山づくりを行う。

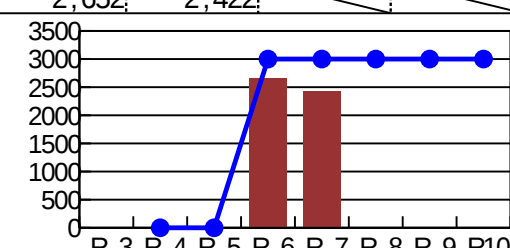
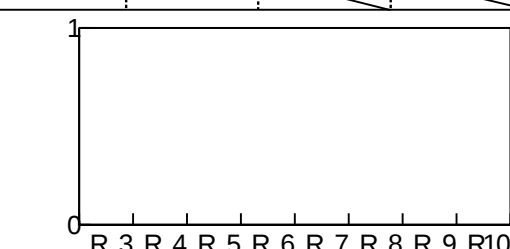
令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	水産振興事業			

【事業全体概要】					
事業概要	水産業を振興する上で重要な施策である稚魚の種苗放流・増養殖の事業を実施する。				
8年度概要	(1) 栽培漁業推進事業：ヒラメ、クルマエビ、マダコ等の放流 (2) 水産増養殖事業：イカ産卵期設置 (3) 淡水魚種苗放流事業 (4) 漁業近代化資金等利子補給事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	市内の漁業者
意図（どのような状態にしたいか）	水産資源の増殖を図る。

【事業の活動】							
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	ヒラメ放流尾数	尾	0	15,000	15,500	12,000	12,000
	補助金交付件数	件	0	2	2	6	6

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	生鮮水産物出荷量	t	目標値	0	3,000	3,000	3,000	3,000
			実績値	0	2,652	2,422		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	物価高騰の影響により魚介類を買い控えるなど魚介類の消費量の回復は遅く生鮮水産物の出荷量は落ち込み、目標を達成できなかった。				(目標達成度) 80.7%			
			(得点) 28点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
					(目標達成度)			
					(得点)			

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	6,590	6,304	6,249	6,735
(事業費)	[千円]	5,085	4,760	4,650	5,136
(職員人件費)	[千円]	1,505	1,544	1,599	1,599

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	(1) 栽培漁業推進事業：ヒラメ、クルマエビ、マダコ等の放流 (2) 水産増養殖事業：イカ産卵期設置 (3) 淡水魚種苗放流事業 (4) 漁業近代化資金等・カキ養殖応援資金利子補給事業	(1) 負担金、補助金 3,317千円 (2) 補助金 320千円 (3) 補助金 920千円 (4) 利子補給 93千円	総額	4,650	
			特定財源	国	0
				県	200
				市債	0
				他	0
一般財源	4,450				
令和 8 年度	(1) 栽培漁業推進事業：ヒラメ、クルマエビ、マダコ等の放流 (2) 水産増養殖事業：イカ産卵期設置 (3) 淡水魚種苗放流事業 (4) 漁業近代化資金等利子補給事業	(1) 負担金、補助金 3,545千円 (3事業) (2) 補助金 320千円 (3) 補助金 920千円 (4) 利子補給 351千円	総額	5,136	
			特定財源	国	0
				県	200
				市債	0
				他	0
一般財源	4,936				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	82 / 100 (82 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）	
令和3年度から取り組んでいるイカの増殖事業（産卵器具の設置）では、良好な産卵状況が確認されている。	瀬戸内海全域で発生したカキの大量へい死により経済的な影響を受けているカキ養殖業者を支援するため、カキ安定生産緊急対策事業（カキ種苗購入支援事業、カキ養殖応援資金利子補給事業）を実施した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

水産資源の維持・増大を図るために必要な事業であることから、継続する必要がある。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	松くい虫防除事業			

【事業全体概要】

事業概要	健全な森林の育成と、公益的機能の維持向上等を図るため、地域の実態や松くい虫被害状況に応じ防除事業を実施する。				
8年度概要	松くい虫防除事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

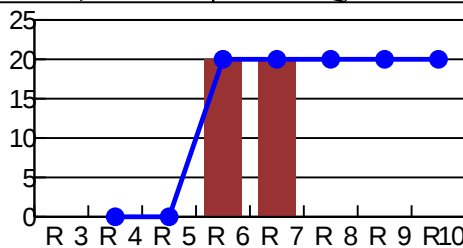
【事業の目的】

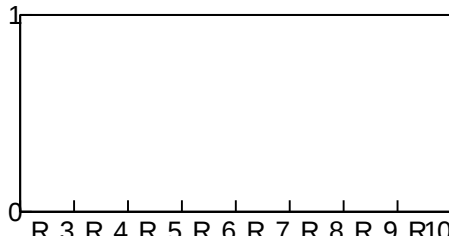
対象（何を）	高松市内の山林
意図（どのような状態にしたいか）	松くい虫防除事業等を実施することにより、健全な森林を育成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
松くい虫被害木材伐倒駆除材積	m 3	0	0	0	20	20

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	年間松くい虫被害材積の伐倒駆除事業実施した面積比率	%	目標値	0	20	20	20	20
			実績値	0	20	20		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	作業予定地内の対象木について全て防除できたことにより、目標を達成することができた。	(目標達成度)	100.0%					
(得点)		35点						

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	5,402	7,671	7,166
(事業費)	[千円]	0	3,858	6,072	4,767
(職員人件費)	[千円]	0	1,544	1,599	2,399

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	松くい虫防除事業	6 , 0 7 2 千円	総額	6,072	
			特定財源	国	0
				県	2,558
				市債	0
				他	0
一般財源		3,514			
令和 8 年度	松くい虫防除事業	4 , 7 6 7 千円	総額	4,767	
			特定財源	国	0
				県	1,953
				市債	0
				他	0
一般財源		2,814			

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
松くい虫被害は小康状態となっているが、今度も防除事業を総合的に実施した。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
地域の実態や松くい虫の被害状況に応じて、また、事前調査をしっかりと行い、適正規模で防除事業を実施する。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

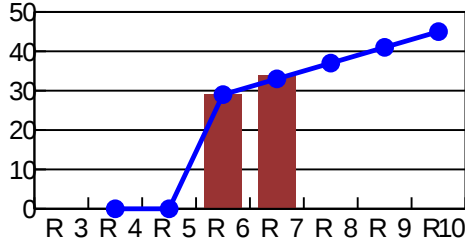
総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産振興と担い手の確保・育成		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	スマート農業推進事業			

【事業全体概要】					
事業概要	県・ＪＡ等の関係機関やＩＣＴベンター等と連携して、ＩＣＴシステム等の先端技術、ＡＩ、ロボット技術等のスマート農業の推進を図るとともに、スマート農業技術の導入・活用を促進することにより、生産性を高め、収益力を強化するためのノウハウと技術を集約し、本市における次世代の農業経営を支援する。				
8年度概要	高松市スマート農業推進事業				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	6-	関連根拠法令	高松市スマート農業推進事業費補助金交付要

【事業の目的】					
対象（何を）	認定農業者、認定新規就農者、農地所有適格法人、集落営農組織、鳥獣被害対策実施隊員で、いずれも市内で農業を営む者のうち、市内に居住し、又は所在する者				
意図（どのような状態にしたいか）	若年就農者にも魅力のある「創造性豊かで持続可能な農業」を実現するため、スマート農業技術の導入・活用を推進することにより、農作業の省力化や農作物の高品質化等を図る。				

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
高松市スマート農業推進事業に取組む件数	件	0	2	4	4	4

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	スマート農業導入経営体件数（延べ）	経営体	目標値 実績値	0 0	29 29	33 34	37	37
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	新規就農者等の担い手農家に対する事業の周知を図り、計画どおりに事業を実施した結果、目標を達成できた。							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	4,589	4,088	4,198	4,998
(事業費)	[千円]	825	1,000	1,000	1,000
(職員人件費)	[千円]	3,764	3,088	3,198	3,998

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	高松市スマート農業推進事業	補助金 1 , 0 0 0 千円	総額	1,000	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	1,000
			一般財源	0	
令和 8 年度	高松市スマート農業推進事業	補助金 1 , 0 0 0 千円 補助率 1 / 2 以内 補助金上限 5 0 0 千円	総額	1,000	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,000	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
本市の農業振興を図る上で重要な取組の一つであるスマート農業技術の導入について、農業の生産性向上や農作物の高品質化の効果が認知され始めたことから、予算規模を大きく上回る応募があったところ。今後、導入コストの低減を図りつつ、引き続き、スマート農業の普及を推進する必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
農業の生産性向上や農作物の高品質化のため、スマート農業技術を導入することは、本市の農業振興を図る上で重要な取組の一つであるため、引き続き、重点取組事業として継続する。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策		農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針		生産振興と担い手の確保・育成		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		環境にやさしい農業の推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	中山間地域などの農業生産条件が不利な指定地域の農用地区域を対象として、耕作放棄地の発生防止と農業の多面的機能の確保を図るため、集落協定を締結し5年以上農業を継続する農業者に対して交付金を交付する。 化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減した上で、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取組む有機農業者等に対して交付金を交付する。				
8年度概要	中山間地域等直接支払推進事業 環境保全型農業直接支援対策事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律

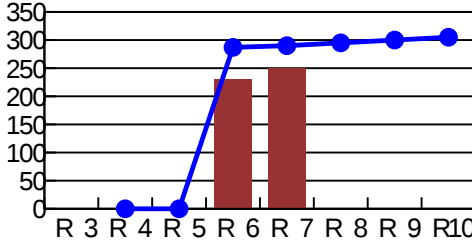
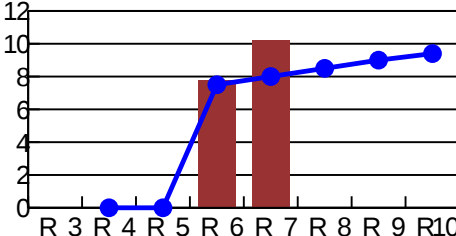
【事業の目的】

対象（何を）	中山間地域等直接支払制度の対象となっている法指定地域及び知事特認地域における一定以上の傾斜を有する農用地区域内の農地並びに環境保全型農業直接支払制度の対象となっている農地
意図（どのような状態にしたいか）	農業の持続的発展等を確保する観点から、有機農業等の環境と調和のとれた環境に優しい農業を推進するとともに、中山間地域における農業生産活動の維持又は農用地の保全管理を通じて、農業の有する多面的機能を確保する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
中山間地域等直接支払交付金交付農家数	件	0	705	588	780	780
環境に優しい農業に取り組む農業者数	経営体	0	10	10	13	13

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	中山間地域等直接支払制度取組面積		h a	目標値	0	287	290	295	295
				実績値	0	229.5	250		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	第6期対策への移行に伴い、協定集落に調査を行ったところ、協定集落数が53から45に減少し、継続した集落でも農家数が減少し、目標には及ばなかった。		(目標達成度)	86.2%					
			(得点)	30点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	環境にやさしい農業の取組面積		h a	目標値	0	7.5	8	8.5	8.5
				実績値	0	7.8	10.2		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	積極的に環境にやさしい農業に取り組む農家の経営面積が増加したことで、目標を達成できた。		(目標達成度)	127.5%					
			(得点)	35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	50,452	53,408	53,843	60,312
(事業費)	[千円]	43,678	44,144	44,248	49,118
(職員人件費)	[千円]	6,774	9,264	9,595	11,194

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	中山間地域等直接支払推進事業 環境保全型農業直接支援対策事業	中山間地域等直接支払制度 交付金 37,284千円 推進事業費 283千円 委託料 5,186千円 負担金 40千円 環境保全型農業直接支払制度 支払交付金 1,456千円	総額	44,248	
			特定財源	国	0
				県	34,105
				市債	0
				他	0
			一般財源	10,143	
令和 8 年度	中山間地域等直接支払推進事業 環境保全型農業直接支援対策事業	中山間地域等直接支払制度 交付金 44,864千円 推進事業費 304千円 委託料 1,870千円 負担金 40千円 環境保全型農業直接支払制度 交付金 2,040千円	総額	49,118	
			特定財源	国	0
				県	36,755
				市債	0
				他	0
			一般財源	12,363	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

中山間地域の耕作条件の不利な環境において、農業者の高齢化など担い手不足は深刻な状況にあるが、交付金を活用し、地域集落において農地の維持管理に取り組んだ。 有機農業者等が、交付金を活用し、化学肥料・化学合成農薬を原則 5 割以上低減した上で、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組んだ。	【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入） 農業の持続的発展と農業の有する多面的機能の確保のため、引き続き中山間地域等直接支払制度及び環境保全型直接支払制度に取り組む。
--	---

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策		農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針		生産振興と担い手の確保・育成		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		農業経営安定対策事業			

【事業全体概要】

事業概要	小麦等の戦略作物の作付け誘導により、水田を有効活用し、農業経営における収益向上を推進する国の経営安定対策の円滑な推進を図るため、高松市地域農業再生協議会に補助金を交付する他、米麦作付けを始めとする土地利用型農業の推進を図る。				
8年度概要	経営所得安定対策事業 水田機能維持・活用推進事業 農業経営収入安定化支援事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	経営所得安定対策等実施要綱、経営所得安定

【事業の目的】

対象（何を）	市内の農業者
意図（どのような状態にしたいか）	国の経営所得安定対策制度の活用による市内農業者の経営安定を図るとともに、主食用米の需要に応じた生産と、麦類や露地野菜等の戦略作物の作付けを推進するなど、土地利用型農業の振興を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
経営所得安定対策等交付金交付申請者数	人	0	533	491	550	550

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
成果指標	交付対象作物の作付面積	h a	目標値	0	900	900	900	900
			実績値	0	1,190	1,077		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	交付対象作物の作付面積については、担い手による麦類の作付けや、耕畜連携の取組による飼料作物の作付けが図られ、目標面積を達成することができた。				（目標達成度） 119.7% （得点） 35点			
成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
成果指標	麦作付け面積	h a	目標値	0	750	760	770	770
			実績値	0	766	754		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	麦類の作付面積については、目標をほぼ達成できた。				（目標達成度） 99.2% （得点） 35点			

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	49,808	56,592	43,870	49,960
(事業費)	[千円]	24,969	30,344	17,483	21,174
(職員人件費)	[千円]	24,839	26,248	26,387	28,786

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	経営所得安定対策事業 水田機能維持・活用推進事業 農業経営収入安定化支援事業	1 7 , 2 9 9 千円 2 4 千円 1 6 0 千円	総額	17,483	
			特定財源	国	0
				県	17,323
				市債	0
				他	0
一般財源		160			
令和 8 年度	経営所得安定対策事業 水田機能維持・活用推進事業 農業経営収入安定化支援事業	2 0 , 6 5 0 千円 3 0 0 千円 2 2 4 千円	総額	21,174	
			特定財源	国	0
				県	20,950
				市債	0
				他	0
一般財源		224			

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

経営所得安定対策については、国の事業を活用し、適切な実施が図られた。なお、この事業には、国の補助金が充当されるが、事務局運営費である推進事務費等が年々減額されており、事業の推進に支障を来しつつある。

当該事業は、輸入に頼っている戦略作物の作付推進による食料自給率の向上と、米作離れ等による離農者増加に伴う遊休農地の増加を防ぐためのものであり、担い手による農地の借受促進にも資するものである。今後も、国の戦略作物の振興、本市の特産物となり得る野菜等の作付拡大を図り、農業者の営農意欲の向上を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価 担当	局名	創造都市推進局
	政策		人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策		農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針		生産振興と担い手の確保・育成		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		農業次世代人材投資事業			

【事業全体概要】

事業概要	次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、経営開始時の早期の経営確立を支援する資金を交付するとともに、優れた農業技術や経営能力を持った若い農業者を育成するため、栽培品目や地域ごとに組織された農業後継者クラブの活動を支援する。				
8年度概要	農業次世代人材投資資金 経営開始資金 農業後継者クラブ育成事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	新規就農者育成総合対策実施要綱等

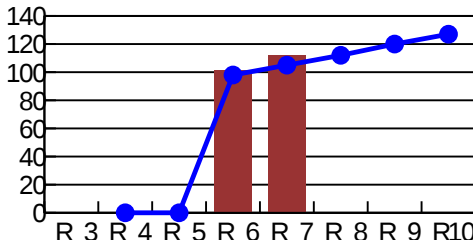
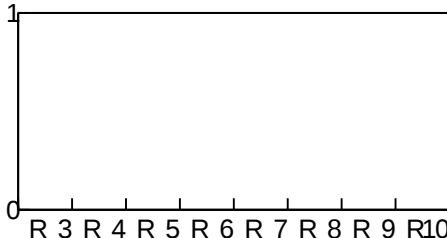
【事業の目的】

対象（何を）	市内の新規就農者等
意図（どのような状態にしたいか）	新規就農直後の経営確立を支援する国の資金を交付するとともに、農業後継者クラブ活動を通じて、優れた農業技術や経営能力を持つ次世代の農業者を育成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
経営開始資金等交付農家数	人	0	32	22	20	20

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	認定新規就農者数（延べ）		経営体	目標値	0	98	105	112	112
				実績値	0	101	112		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	関係機関と連携して、就農相談会の開催や青年等就農計画の作成支援を行うことにより、認定新規就農者を確保した。	(目標達成度)		106.7%					
		(得点)		35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
		(目標達成度)							
		(得点)							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	53,551	53,639	48,560	59,697
(事業費)	[千円]	46,777	46,691	41,364	46,104
(職員人件費)	[千円]	6,774	6,948	7,196	13,593

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	農業次世代人材投資資金 経営開始資金 農業後継者クラブ育成事業	1 3 , 1 5 3 千円 2 7 , 7 5 0 千円 4 6 1 千円	総額	41,364	
			特定財源	国	0
				県	40,903
				市債	0
				他	0
			一般財源	461	
令和 8 年度	農業次世代人材投資資金 経営開始資金 農業後継者クラブ育成事業	5 , 1 0 0 千円 4 0 , 5 0 0 千円 5 0 4 千円	総額	46,104	
			特定財源	国	0
				県	45,600
				市債	0
				他	0
			一般財源	504	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

積極的に就農相談活動を行うとともに、国の経営開始資金等を活用することにより、新規就農者の確保・育成に努め、認定新規就農者を確保した。

国の事業を活用して、引き続き新規就農者の確保・育成を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産振興と担い手の確保・育成		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	担い手への支援・農地集積推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	地域農業の維持・発展のため、令和7年3月24日に高松市内30地区において地域計画を策定した。これらは、地域の農業者の話し合いに基づき、地域農業の維持・発展を図るため、担い手への農地集積を促すものである。随時、当該計画を変更し、地域内農用地が継続的に維持・管理されるよう農業委員会、農地機構等の関係団体と連携し、優良農地の確保、担い手への農地集積・集約を進めていく。				
8年度概要	人・農地将来ビジョン確立・実現支援事業費 担い手への農地集積促進事業費 多様な農業経営体育成推進事業費 農業経営基盤強化促進事業費 農業近代化資金利子補給費 農業振興地域整備計画費				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	農業経営基盤強化促進法 農地中間管理事業

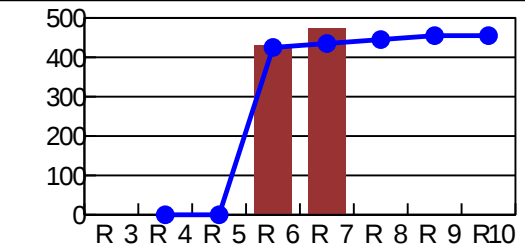
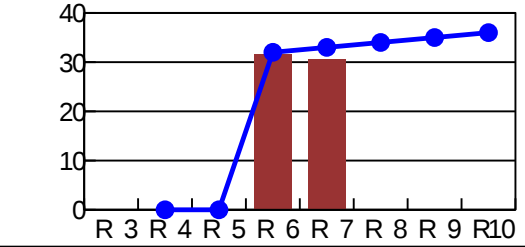
【事業の目的】

対象（何を）	・認定農業者、認定新規就農者、集落営農などの担い手 ・農用地
意図（どのような状態にしたいか）	担い手への農地集積を推進し、担い手の育成を図るとともに、地域農業の維持・発展及び農地の保全等を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
地域計画への参画者数	人	0	314	318	310	310

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	担い手農業者数	人	目標値	0	425	435	445	445
			実績値	0	431	474		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	認定農業者経営拡大事業及び農地中間管理事業等の活用により概ね目標を達成できた。		（目標達成度） 109.0% （得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	担い手への農地集積率	%	目標値	0	32	33	34	34
			実績値	0	31.6	30.6		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	農地中間管理事業等の活用により、農地集積率は目標をほぼ達成できた。		（目標達成度） 92.7% （得点） 32点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	183,053	104,257	79,567	70,258
(事業費)	[千円]	154,450	85,729	61,976	47,070
(職員人件費)	[千円]	28,603	18,528	17,591	23,188

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	人・農地将来ビジョン確立・実現支援事業費 優良農地確保対策事業費 担い手への農地集積促進事業費 農業経営基盤強化促進事業費 農業近代化資金利子補給費 持続可能な地域農業の実現支援事業費(農林水産業継続緊急支援事業) 多様な農業経営体育成推進事業	3 4 5 千円 1 , 8 0 0 千円 4 , 4 0 8 千円 3 , 8 5 5 千円 3 5 千円 3 1 , 7 5 8 千円 1 9 , 7 7 5 千円	総額	61,976	
			特定財源	国	0
				県	20,230
				市債	0
				他	0
			一般財源	41,746	
令和 8 年度	人・農地将来ビジョン確立・実現支援事業費 担い手への農地集積促進事業費 多様な農業経営体育成推進事業費 農業経営基盤強化促進事業費 農業近代化資金利子補給費 農業振興地域整備計画費	8 6 7 千円 6 , 6 4 6 千円 3 3 , 9 8 5 千円 3 , 8 4 1 千円 4 3 千円 1 , 6 8 8 千円	総額	47,070	
			特定財源	国	0
				県	35,159
				市債	0
				他	0
			一般財源	11,911	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	91 / 100 (91 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

担い手への農地集積・集約化により生産体制の整備が図られた。
「地域計画」については、香川県農地機構、農業委員会等関係機関と連携し、地域農業の現状等を適切に把握しながら円滑な更新を行った。

香川県農地機構との連携強化により、引き続き、農地の利用集積・集約を進めるとともに、担い手の育成を図る。
また、令和7年3月24日に策定した地域計画を随時変更していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

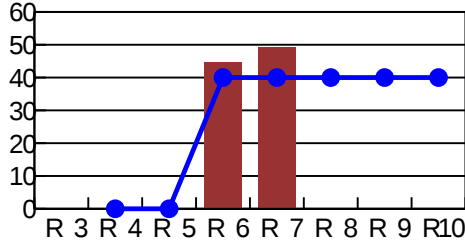
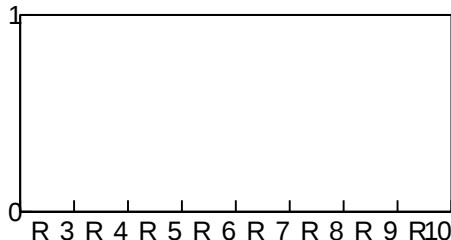
総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産振興と担い手の確保・育成		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	農業団体育成事業			

【事業全体概要】					
事業概要	市内の農業関係機関や農業者団体と連携して、本市農業の総合的振興及び発展を図るため、各種農業団体に対する支援等を行うとともに、農業保険法に基づく農業共済事業等を推進するため、市内を管轄する農業共済組合に対し、補助金を交付する。				
8年度概要	農業団体育成費 園芸団体育成費				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	市内の農業生産者
意図（どのような状態にしたいか）	農業関係機関と連携して、地域農業の総合的振興及び発展を図り、時代に即応した農業生産基盤の確立を目指す。

【事業の活動】							
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	補助金交付件数	件	0	6	6	7	7

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	市内の農畜産物販売額 (J A 取扱分)	億円	目標値 実績値	0 0	40 44.6	40 49.2	40	40
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)							
	農業生産資材の高騰や夏期の高温等による厳しい農業情勢の下、関係機関が連携して農業生産振興に努めた結果、農産物価格が相対的に上昇したこともあり、販売額については目標を達成した。	(目標達成度) 123.0%						
		(得点) 35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)							
		(目標達成度)						
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	9,772	9,587	11,829	12,282
(事業費)	[千円]	6,008	5,727	6,232	5,885
(職員人件費)	[千円]	3,764	3,860	5,597	6,397

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	農業団体育成費 園芸団体育成費	6 , 0 9 5 千円 1 3 7 千円	総額	6,232	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	6,232	
令和 8 年度	農業団体育成費 園芸団体育成費	5 , 7 1 0 千円 1 7 5 千円	総額	5,885	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	5,885	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

各種農業団体に対する支援を行い、本市農業の振興が図られた。 本市に１１年ぶりに設置された献穀田の運営に対する補助を行い、稲作文化の伝承に寄与した。

事業に支障がない範囲で、必要に応じて補助金の見直しを検討する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

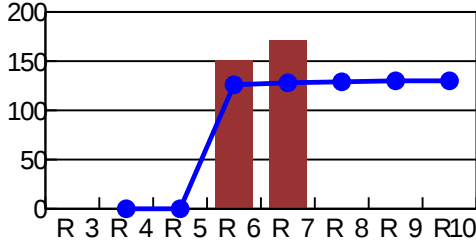
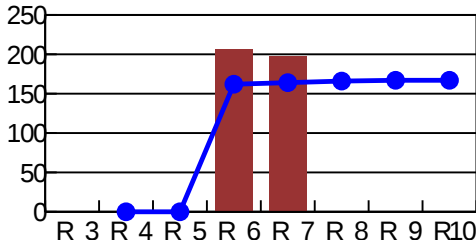
総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産振興と担い手の確保・育成		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	畜産団体育成事業			

【事業全体概要】					
事業概要	畜産団体育成事業は、畜産の振興上必要な諸事項の協議、調査等を行う市畜産振興協議会及び畜産団体の活動経費に対して補助を行う。また、畜産共進会や枝肉共励会を開催し、飼養技術向上を図るなど高松市の畜産振興を図るための事業である。				
8年度概要	(1) 負担金 香川県畜産協会負担金、高松市畜産共進会負担金 (2) 補助金 高松市畜産振興協議会事業、高松市肉牛枝肉共励会事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市内の畜産農家
意図（どのような状態にしたいか）	高松市内の牛豚飼養農家が県と市の共進会に参加し、飼養技術の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
畜産団体の補助金交付件数	件	0	2	2	2	2

【事業の成果】										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	1戸当たりの乳用牛飼養頭数			頭	目標値	0	126	128	129	129
					実績値	0	151	171		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	市内の乳用牛の増産が図られたことから、目標値を達成できた				(目標達成度) 133.6% (得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	1戸当たりの肉用牛飼養頭数			頭	目標値	0	162	164	166	166
					実績値	0	207	197		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	市内の肉用牛の増産が図られたことから、目標値を達成できた				(目標達成度) 120.1% (得点) 35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	1,590	1,552	1,538	2,349
(事業費)	[千円]	837	780	738	750
(職員人件費)	[千円]	753	772	800	1,599

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	(1) 負担金 香川県畜産協会負担金、高松市畜産共進会負担金 (2) 補助金 高松市畜産振興協議会事業、高松市肉牛枝肉共励会事業	(1) 4 2 8 千円 (2) 3 1 0 千円	総額	738	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	738				
令和 8 年度	(1) 負担金 香川県畜産協会負担金、高松市畜産共進会負担金 (2) 補助金 高松市畜産振興協議会事業、高松市肉牛枝肉共励会事業	(1) 4 2 0 千円 (2) 3 3 0 千円	総額	750	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	750				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

国際情勢の変化に伴う飼料価格高騰の影響を受けた畜産農家を支援するため、親子料理教室を開催し、畜産製品の消費拡大キャンペーンを展開した。

畜産団体や共励会・共進会が開催する事業等へ助成をすることで、各団体の育成のほか飼養技術の向上を図る等、畜産振興の発展に寄与していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産振興と担い手の確保・育成		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	農福連携推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	農業・福祉の連携に関する啓発活動や両者のマッチングを促進することにより、農業分野における障がい者の就労や生きがいづくりの場を創出するとともに、多様な農業人材の確保・活用を図るもの。				
8年度概要	高松市農福連携推進協議会 農福連携スタートアップ事業				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	

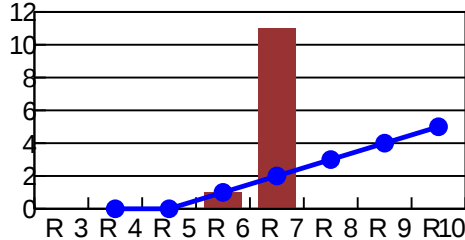
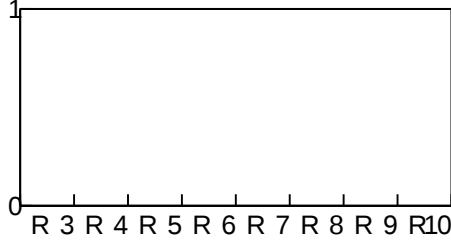
【事業の目的】

対象（何を）	市内の農業生産者及び福祉事業者
意図（どのような状態にしたいか）	農業分野と福祉分野の連携を推進し、障がい者等の農業参入を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
交流会等の開催数	件	0	4	4	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	新たに農福連携に取り組む経営体（延べ）	経営体	目標値 実績値	0 0	1 1	2 11	3	3
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	農福連携農作業体験会等の実施を通じて、新たに農福連携に取り組む経営体は大幅に増加した。		（目標達成度） 550.0%					
			（得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度）					
			（得点）					

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策		農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針		生産振興と担い手の確保・育成		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		水産団体育成事業			

【事業全体概要】

事業概要	(1) 水産業振興の円滑な推進のため、関係漁業団体に対し助成する。 (2) 後継者の育成や水産物の消費拡大を図るために漁業体験等を実施する水産団体に助成する。				
8年度概要	関係水産団体への助成 (1) 負担金 香川県水産振興協会 (2) 補助金 高松市漁業組合連絡協議会 (3) 子どもを対象とした水産教室の開催 漁業団体 (4) 事務費				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

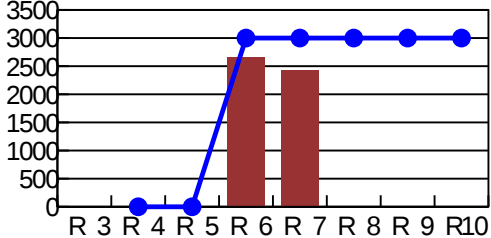
【事業の目的】

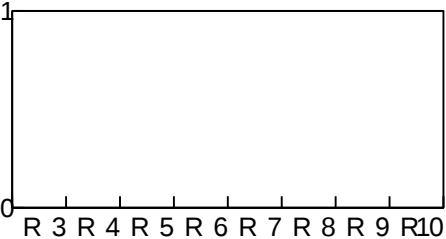
対象（何を）	市内の漁業者
意図（どのような状態にしたいか）	漁業者組織を中心に各種水産振興施策を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	助成団体数	団体	0	2	2	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	生鮮水産物出荷量	t	目標値	0	3,000	3,000	3,000	3,000
			実績値	0	2,652	2,422		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	物価高騰の影響により魚介類を買い控えるなど魚介類の消費量の回復は遅く生鮮水産物の出荷量は落ち込み、目標を達成できなかった。	(目標達成度)		80.7%				
(得点)		28点						

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
(得点)								

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

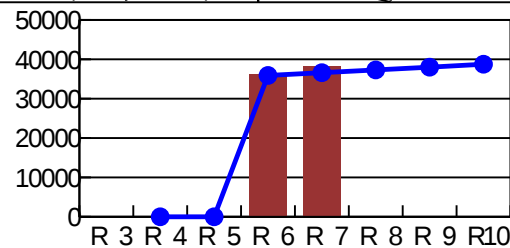
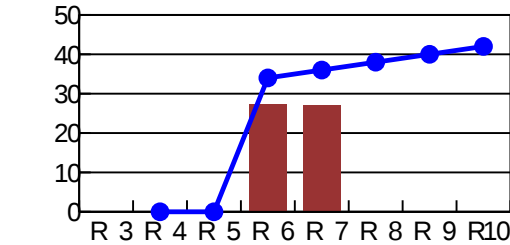
総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	地産地消の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	高松ブランド農産物育成支援事業			

【事業全体概要】						
事業概要	消費者の視点に立ち、地産地消を基本とした一般市民との共生型農業を推進するため、市内で生産された新鮮で良質な農産物や加工品を市民に提供し、食の安全に対する信頼回復を図るとともに、地域ブランドとして「高松産ごじまん品」を推進し、市内農産物の需要拡大と市民の健康で豊かな食生活の実現を図るために必要な事業を実施する。また、六次産業化・農商工連携による農産物のブランド化を図る。					
8年度概要	高松ブランド農産物育成支援 学校給食における高松産ごじまん品等利用拡大					
重点取組事業		市長マニフェスト	6-	関連根拠法令		

【事業の目的】						
対象（何を）	高松産ごじまん品（市内農畜産物）					
意図（どのような状態にしたいか）	地産地消活動や「高松産ごじまん品」のブランド化を促進する。					

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
高松産ごじまん品ホームページ更新回数	回	0	12	10	10	10

【事業の成果】										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	高松産ごじまん品ホームページ閲覧数			件	目標値	0	35,900	36,600	37,300	37,300
					実績値	0	36,119	38,279		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	農業体験教室、たかまつ食と農のフェスタ等のイベントを積極的にPRしたことにより、目標値を上回った。		(目標達成度)	104.6%						
(得点)			35点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	地元の食材を意識して購入している割合			%	目標値	0	34	36	38	38
					実績値	0	27.3	27		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	食材の価格高騰により、産地よりも価格を基準に選ぶ割合が高くなったことから、目標値を下回った。		(目標達成度)	75.0%						
(得点)			26点							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	10,796	23,308	19,037	19,465
(事業費)	[千円]	2,516	12,500	8,642	9,070
(職員人件費)	[千円]	8,280	10,808	10,395	10,395

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	高松ブランド農産物育成支援 学校給食における高松産ごじまん品等利用拡大	2 , 5 0 0 千円 6 , 1 4 2 千円	総額	8,642	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	8,642	
令和 8 年度	高松ブランド農産物育成支援 学校給食における高松産ごじまん品等利用拡大	2 , 5 0 0 千円 6 , 5 7 0 千円	総額	9,070	
			特定財源	国	9,070
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	83 / 100 (83 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

たかまつ食と農のフェスタや農業体験教室を実施し、食育・地産地消を推進した。
また、学校給食へ高松産ごじまん品等の食材を提供することにより地場産農畜水産物のPR及び消費拡大に取り組んだ。

引き続き、食育・地産地消を推進し、農産物のブランド化に取り組む。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	農林水産課
	施策		高松ブランドの向上		電話番号	087-839-2422
	取組方針		関係人口の創出・拡大		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		グリーン・ツーリズム推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	農村地域において、自然や文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動であるグリーン・ツーリズムを推進するため、グリーン・ツーリズム実践団体の活動に対する支援や、市民農園の利用促進を図ることにより、農業や農村に対する理解を促し、農村と都市との交流促進を通じた地域の活性化を目指す。				
8年度概要	グリーン・ツーリズム推進事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	香川県グリーンツーリズム推進事業費補助金

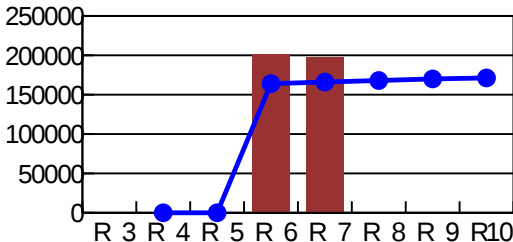
【事業の目的】

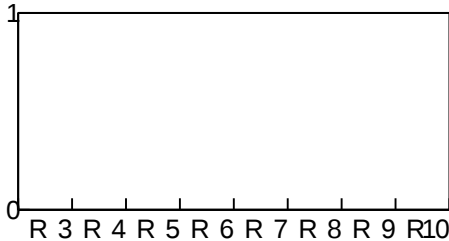
対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	グリーン・ツーリズム活動を推進することにより、都市住民と農村住民の交流の活発化を図り、農村地域の活性化を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助金交付件数	件	0	1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	グリーン・ツーリズム年間入込客数	人	目標値	0	164,000	166,000	168,000	168,000
			実績値	0	201,716	197,329		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	瀬戸内国際芸術祭開催に併せ、実践者が情報発信を強化したことにより、入込客数が増加し、目標を達成することができた。	(目標達成度)		118.9%				
(得点)		35点						

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	1,607	1,771	1,800	3,998
(事業費)	[千円]	854	999	1,000	0
(職員人件費)	[千円]	753	772	800	3,998

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	グリーン・ツーリズム推進事業	補助金 999千円	総額	1,000	
			特定財源	国	0
				県	500
				市債	0
				他	0
			一般財源	500	
令和 8 年度	グリーン・ツーリズム推進事業	補助金 0千円	総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
高松空港エリア観光農業推進協議会が実施する誘客の取組を支援した。グリーン・ツーリズム実践団体における入込み客数はコロナ禍以降、回復傾向にある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
グリーン・ツーリズム実践団体に対する支援を実施し、グリーン・ツーリズム実践団体の増加及び農村の活性化を図る。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	農林水産課
	施策		高松ブランドの向上		電話番号	087-839-2422
	取組方針		特産品の育成・振興		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		高松盆栽産地ブランド確立事業			

【事業全体概要】

事業概要	「高松市伝統的ものづくり振興条例」の基本理念及び「『高松盆栽の郷』基本構想」に基づき、高松盆栽の総合的な振興を図るため、盆栽事業者と連携し、高松盆栽PR、盆栽の生産振興、輸出拡大による販路の拡大等を推進し、人づくりの推進及び高松盆栽の育成・振興並びにブランド化を図る。				
8年度概要	盆栽産地振興事業 高松盆栽PR事業 高松盆栽次世代人材育成事業 2024国際園芸博覧会関連事業				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	6-	関連根拠法令	高松盆栽産地ブランド確立事業補助金交付要

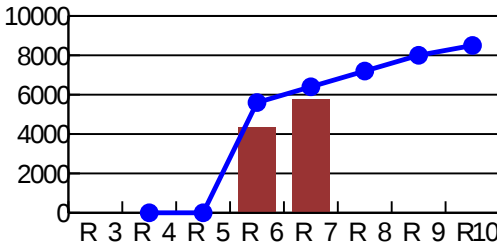
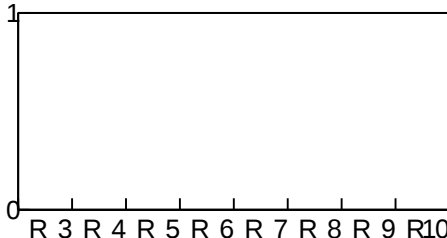
【事業の目的】

対象（何を）	盆栽の振興
意図（どのような状態にしたいか）	高松盆栽の生産振興及び地域の活性化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
イベント等における高松盆栽のPR開催回数	回	0	6	7	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	「高松盆栽の郷」売上金額	万円	目標値	0	5,600	6,400	7,200	7,200
			実績値	0	4,326	5,762		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	施設の認知度が向上し、秋の「高松盆栽の郷フェスタ」等の開催等により、前年度と比較して売り上げは増加し、施設の売上金額は増加傾向にあるものの、物価高騰の影響などにより、大口売り上げが減少傾向にあり、目標を達成できなかった。			(目標達成度) 90.0%				
(得点) 32点								
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	11,402	23,063	15,949	16,245
(事業費)	[千円]	5,380	18,431	11,151	8,249
(職員人件費)	[千円]	6,022	4,632	4,798	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	盆栽産地振興事業 高松盆栽 P R 事業 高松盆栽次世代人材育成事業 盆栽産地の受入体制整備事業 旅費	9 4 4 千円 3 , 8 9 8 千円 6 0 0 千円 5 , 5 2 0 千円 1 9 0 千円	総額	11,151	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	11,151	
令和 8 年度	盆栽産地振興事業 高松盆栽 P R 事業 高松盆栽次世代人材育成事業 202国際園芸博覧会関連事業	9 4 4 千円 2 , 5 0 0 千円 4 , 2 0 0 千円 6 0 5 千円	総額	8,249	
			特定財源	国	1,502
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	6,747	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

高松盆栽学校や高松盆栽の郷フェスタ、高松盆栽WEEKのほか、盆栽産地の受入体制整備、大阪関西万博への出展、瀬戸内国際芸術祭秋開催期間に合わせた高松盆栽スタンプラリー等に取り組み、PRに努めてきたが、拠点施設における販売金額は減少した。

県、ＪＡ及び盆栽生産者と連携して、引き続き「高松盆栽の郷」基本構想に基づく取組を行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	土地改良課
	施策		農林水産業の振興		電話番号	087-839-2433
	取組方針		生産体制の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		土地改良施設管理事業			

【事業全体概要】

事業概要	農業生産基盤の整備促進を図り、農業生産性の向上、農業総生産の増大等に資するため、土地改良事業関係各種団体への負担・補助を行うとともに、土地改良施設の維持管理・環境整備を行う。				
8年度概要	香川用水土地改良区経常賦課金、香川用水事業推進協議会負担金、香川用水事業推進協議会市長会負担金、新川沿岸土地改良区連合補助金、香川用水施設緊急対策事業負担金（令和2年度～6年度）、新川吉田川沿岸排水対策促進期成会補助金、大井東海岸施設管理費、一宮新池農村公園管理費、農道等管理費				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

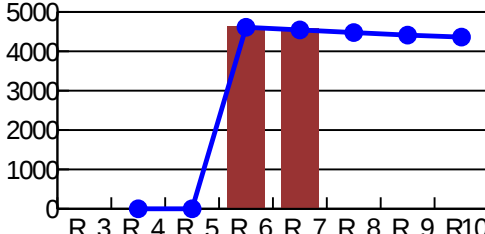
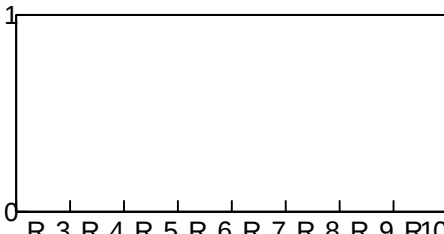
【事業の目的】

対象（何を）	香川用水土地改良区等の各種団体及び一宮新池農村公園等の土地改良施設
意図（どのような状態にしたいか）	各種団体の運営円滑化の支援及び安心して利用できる土地改良施設の維持管理を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
各種団体への負担・補助件数	件	0	7	6	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	香川用水経常賦課面積		h a	目標値	0	4,610	4,543	4,476	4,476	
				実績値	0	4,637	4,593			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	農村地域における混住化の進展等に伴い、土地改良区の受益面積は減少傾向にあるものの、土地改良事業を効果的に推進したことにより目標を達成した。		(目標達成度) 101.1%							
				(得点) 35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
					(目標達成度)					
				(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	68,403	82,061	81,205	84,298
(事業費)	[千円]	31,521	44,233	42,025	45,118
(職員人件費)	[千円]	36,882	37,828	39,180	39,180

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和7年度	香川用水土地改良区経常賦課金、香川用水事業推進協議会負担金、香川用水事業推進協議会市長会負担金、新川沿岸土地改良区連合補助金、香川用水施設緊急対策事業負担金(令和2年度～6年度)、新川吉田川沿岸排水対策促進期成会補助金、大井東海岸施設管理費、一宮新池農村公園管理費、農道等管理費	香川用水事業費 35,635千円 大井東海岸施設管理費 851千円 一宮新池農村公園管理費 3,643千円 農道等管理費 1,896千円	総額	42,025	
			特定財源	国	0
				県	32
				市債	0
				他	0
一般財源	41,993				
令和8年度	香川用水土地改良区経常賦課金、香川用水事業推進協議会負担金、香川用水事業推進協議会市長会負担金、新川沿岸土地改良区連合補助金、香川用水施設緊急対策事業負担金(令和2年度～6年度)、新川吉田川沿岸排水対策促進期成会補助金、大井東海岸施設管理費、一宮新池農村公園管理費、農道等管理費	香川用水事業費 36,441千円 大井東海岸施設管理費 1,092千円 一宮新池農村公園管理費 4,306千円 農道等管理費 3,279千円	総額	45,118	
			特定財源	国	0
				県	42
				市債	700
				他	0
一般財源	44,376				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

厳しい財政事情を踏まえ、緊急性などによる優先度を考慮するとともに、必要に応じて見直しを行いながら、土地改良施設の維持管理の経費削減に努めた。

厳しい財政事情を踏まえ、必要に応じて見直しを行いながら、土地改良施設の維持管理費の経費削減に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	土地改良課
	施策		農林水産業の振興		電話番号	087-839-2433
	取組方針		生産体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		多面的機能支払事業			

【事業全体概要】

事業概要	農地・農業用水等の資源の適切な保全管理が、高齢化や混住化等により困難になってきていることや、国民の価値観の変化への対応、農業生産全体の在り方を環境保全を重視したものに転換していくことが求められていることから、地域ぐるみで取り組む効果の高い共同活動や水路・農道等の長寿化のための向上活動等を実施する活動組織に活動費用の一部を補助する。 (補助率 市 1 / 4 ・ 国 1 / 2 ・ 県 1 / 4)				
8年度概要	多面的機能支払交付金 ・農地維持支払交付金 ・資源向上支払交付金（共同） ・資源向上支払交付金（施設の長寿命化）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	多面的機能支払交付金実施要綱・要領

【事業の目的】

対象（何を）	地域ぐるみで農地・水保全の共同活動・向上活動を行う活動組織
意図（どのような状態にしたいか）	農村が持つ自然や景観を、農業者や農業者以外の住民を含めた地域ぐるみで守ろうとする共同意識が醸成される。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
活動組織数（農地維持）	組織	0	34	38	36	36

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	対象農用地面積		h a	目標値	0	2,520	2,525	2,530	2,530	
				実績値	0	2,567	2,728			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	事業内容の周知及び事業実施を促したことにより、取組団体が増加し、対象農用地面積が目標値を上回った。		(目標達成度)	108.0%						
(得点)			35点							

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	163,616	184,033	204,034	232,610
(事業費)	[千円]	147,057	167,049	186,443	223,015
(職員人件費)	[千円]	16,559	16,984	17,591	9,595

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	多面的機能支払交付金 ・農地維持支払交付金 ・資源向上支払交付金(共同) ・資源向上支払交付金(施設の長寿命化) 日本型直接支払推進交付金 ・多面的機能支払交付金に係る推進事業	・農業の有する多面的機能の 発揮の促進に関する法律 ・多面的機能支払交付金実施 要綱(国) ・多面的機能支払交付金実施 要領(国) ・香川県多面的機能支払交付 金交付要綱	総額	186,443	
			特定財源	国	0
				県	137,304
				市債	0
				他	0
一般財源	49,139				
令和 8 年度	多面的機能支払交付金 ・農地維持支払交付金 ・資源向上支払交付金(共同) ・資源向上支払交付金(施設の長寿命化) 日本型直接支払推進交付金 ・多面的機能支払交付金に係る推進事業	・農業の有する多面的機能の 発揮の促進に関する法律 ・多面的機能支払交付金実施 要綱(国) ・多面的機能支払交付金実施 要領(国) ・香川県多面的機能支払交付 金交付要綱	総額	223,015	
			特定財源	国	0
				県	164,896
				市債	0
				他	0
一般財源	58,119				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

農業・農業用施設の適切な保安全管理について、農業者や地域住民が共同して活動、交流する機会を通じて、連帯意識を醸成しつつ事業を実施した。

農業・農業用施設の適切な保安全管理について、農業者や地域住民が共同して活動、交流する機会を通じて、連帯意識の醸成が図られており、今後も継続して事業を実施する必要がある。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

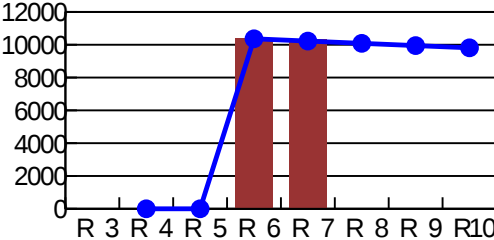
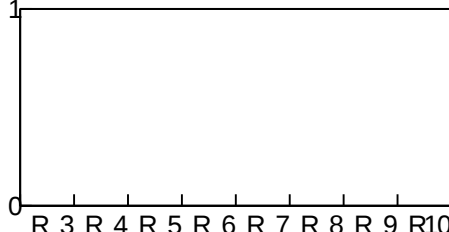
総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	土地改良課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2433
	取組方針	生産体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	土地改良事業			

【事業全体概要】					
事業概要	農業生産基盤の整備を実施することにより、農業生産性の向上と農業の健全な発展を図り、更には農村地域の環境整備を通じ市民生活の向上を図るため、各種土地改良事業を実施する土地改良区等に事業費用の一部を補助する。				
8年度概要	団体営土地改良事業補助金、単独県費補助土地改良事業補助金、単独市費土地改良事業補助金等、土地改良事業事務費、ため池防災対策事業費（小規模ため池防災対策特別事業費）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市土地改良事業補助規程・実施要領

【事業の目的】	
対象（何を）	土地改良事業を実施する土地改良区等
意図（どのような状態にしたいか）	農業生産の基盤整備を図り、農業の生産性向上、農業総生産の増大、農業生産の選択的拡大及び農業構造の改善を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助金等交付団体数（土地改良区等）	団体	0	37	37	37	37

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	土地改良区受益面積	h a	目標値	0	10,363	10,223	10,085	10,085
			実績値	0	10,394	10,323		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	目標はおおむね達成されており、土地改良施設の補修改修等 が適切に実施された。	（目標達成度） 101.0%	（得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		（目標達成度）	（得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	941,117	1,002,019	1,074,555	704,100
(事業費)	[千円]	870,363	929,451	999,393	628,938
(職員人件費)	[千円]	70,754	72,568	75,162	75,162

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	団体営土地改良事業補助金、単独県費補助土地改良事業補助金、単独市費土地改良事業補助金等、土地改良事業事務費、小規模ため池防災対策特別事業費、単独市費土地改良施設災害復旧事業補助金	高松市土地改良事業補助規程 高松市土地改良事業実施要領	総額	999,393	
			特定財源	国	0
				県	38,086
				市債	811,000
				他	0
			一般財源	150,307	
令和 8 年度	団体営土地改良事業補助金、単独県費補助土地改良事業補助金、単独市費土地改良事業補助金等、土地改良事業事務費、ため池防災対策事業費（小規模ため池防災対策特別事業費）	高松市土地改良事業補助規程 高松市土地改良事業実施要領	総額	628,938	
			特定財源	国	0
				県	52,309
				市債	457,400
				他	17
			一般財源	119,212	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

土地改良事業を実施することで、農業基盤整備が進み、農業生産性の向上が図られるほか、地域の防災関連の強化にも資することから、今後とも国・県など関係機関と連携し、必要な事業費を確保するなど、事業の着実な実施が求められる。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

土地改良事業を実施することで、農業基盤整備が進み、農業生産性の向上が図れているほか、地域の防災関連の強化にも資することから、今後とも必要な事業を推進するものである。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	土地改良課
	施策		循環型社会の形成		電話番号	087-839-2433
	取組方針		環境意識の醸成		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		「ため池守り隊」市民活動支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	用途地域内に点在するため池は、農業用水の水源だけでなく、ため池が創り出す水辺空間が地域住民の憩いの場にもなっている。 近年、農地の減少や農家の高齢化等により、適正な管理が困難になっているため、ため池管理者のみならず、地域住民も参加した草刈や清掃活動等、本市のため池の自然環境を守り育むために、ため池の保全活動を支援する。				
8年度概要	ため池管理者だけでなく、地域住民も参加した草刈や清掃活動等の、ため池保全活動を支援する。 15ため池				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	「ため池守り隊」市民活動支援事業補助金交

【事業の目的】

対象（何を）	ため池の保全活動を行う市民活動団体
意図（どのような状態にしたいか）	ため池管理者だけでなく、地域住民等も参加した保全活動に支援することにより、ため池の自然環境を守る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	活動団体数	団体	0	11	12	14	14

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	活動参加人数		人	目標値	0	550	555	560	560	
				実績値	0	520	537			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	事業着手の翌年度以降は交付額が漸減される制度になっており、参加団体数当たりの費用対効果が向上し、参加団体の自立が促進された。		(目標達成度)		96.8%					
(得点)			34点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	3,844	3,856	4,257	4,899
(事業費)	[千円]	1,586	1,540	1,858	2,500
(職員人件費)	[千円]	2,258	2,316	2,399	2,399

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	ため池管理者だけでなく、地域住民も参加した草刈や清掃活動等の、ため池保全活動を支援する。 13ため池	補助金額 1,858千円	総額	1,858	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,858	
令和 8 年度	ため池管理者だけでなく、地域住民も参加した草刈や清掃活動等の、ため池保全活動を支援する。 15ため池	補助金額 2,500千円	総額	2,500	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,500	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
実施ため池箇所数については、昨年と比べて減少したが、同事業に対する市民の関心が高まっており、今後、参加団体は増加するものと推測している。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

重要な地域資源であるため池の自然環境を保全するため、市民活動団体が行う活動に対して、活動費の一部を助成することは必要である。

また、２年目以降の制度運用として自主自立的に活動が実施できるような制度を構築している。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	自立的で推進力のある行財政運営の確立		課(室)名	競輪場事業課
	施策	行財政運営の基盤強化		電話番号	087-851-5036
	取組方針	健全な財政運営の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	競輪事業			

【事業全体概要】

事業概要	本事業は、自転車競技法に基づく公営競技であり、開催者は地方自治体である。 運営統括を（公財）ＪＫＡが行い、車券発売収入の７５％が配当金に充てられ、残りの２５％から（公財）ＪＫＡへの納付金・運営委託費及び選手賞金等の開催運営費を差し引いた残りが収益金となる。 本市の財政を健全化し、公共施設の建設等に貢献するため、その収益金から本市の一般会計へ繰出しを行っている。 また、（公財）ＪＫＡは、自転車競技法に基づく競輪振興法人として、競輪の収益を広く社会に還元し、社会貢献を果たすため、本市を始めとする自治体からの納付金を機械工業振興の補助、公益事業振興の補助に充てている。				
8年度概要	【本場開催（借上開催）】記念：１節・４日、ＦＩ：６節・１８日、Ｆ モーニング７：８節・２４日、Ｆ ＭＩＤ：４節・１２日、Ｆ ＭＩＤ７：３節・９日 【場外】３５０日				
重点取組事業		市長マニフェスト	6-	関連根拠法令	自転車競技法

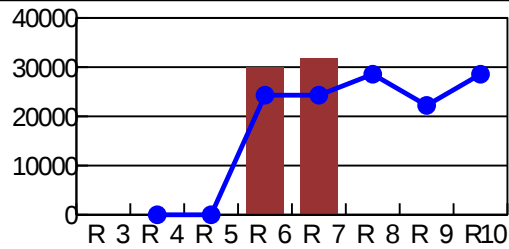
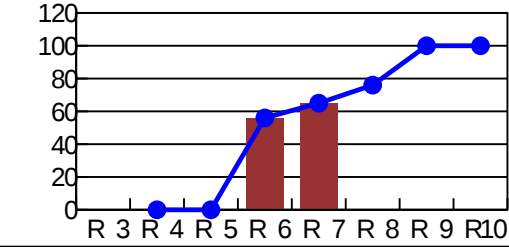
【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	（公財）ＪＫＡを通じて競輪収益による自転車その他機械の改良や輸出の振興など機械工業振興及び体育事業など公益事業振興を図るとともに、本市財政の健全化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
本場・場外開催日数	日	0	346	319	350	350

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	車券発売収入	百万円	目標値	0	24,300	24,300	28,560	28,560
			実績値	0	29,914	31,803		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	記念競輪（Ｇ）をはじめとするほぼ全ての開催で車券発売収入がほぼ目標額を上回り、目標を達成することができた。		（目標達成度） 130.9% （得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	競輪場再整備進捗率	%	目標値	0	56	65	76	76
			実績値	0	56	65		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	競輪場再整備事業の進捗状況は、計画通りに進捗しており、競輪場本体の解体工事がおおむね完了したところである。令和 8年度の予定としては、競輪場本体の新築工事が始まる予定である。		（目標達成度） 100.0% （得点） 35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	26,699,855	29,931,141	33,056,823	30,639,208
(事業費)	[千円]	26,632,112	29,931,141	33,056,823	30,639,208
(職員人件費)	[千円]	67,743	0	0	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	【本場開催】 【F I : 3 節・9 日、F モーニング7 : 3 節・9 日、F M I D 7 : 1 節・3 日 【本場開催(借上開催)】 記念: 1 節・4 日、F I : 3 節・9 日、F モーニング7 : 4 節・1 2 日、F M I D : 3 節・9 日、F M I D 7 : 2 節・6 日 【場外】 3 1 3 日 【合計】 3 1 9 日	自転車競技法 自転車競技法施行規則 高松市自転車競走実施条例 高松市自転車競走実施規則	総額	33,056,823	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	795,600
				他	32,261,223
一般財源	0				
令和 8 年度	【本場開催(借上開催)】 記念: 1 節・4 日、F I : 6 節・1 8 日、F モーニング7 : 8 節・2 4 日、F M I D : 4 節・1 2 日、F M I D 7 : 3 節・9 日 【場外】 3 5 0 日	同上	総額	30,639,208	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	1,336,000
				他	29,303,208
一般財源	0				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	1	貢献度が小さい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

ほぼ全ての開催において好調であったことから、売上げは増加した。

売上げの増加につながる効果的な競輪開催に努めながら、新規競輪ファンの獲得を図り、売上増を目指す。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	市場管理課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-862-3411
	取組方針	生鮮食料品等の流通強化		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	卸売市場活性化推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	生鮮食料品等の流通拠点施設としての卸売市場の機能や役割を広く市民に周知して、市民の期待に応えられる活力ある開かれた市場づくりと市場の活性化を図る。				
8年度概要	たかまつ市場フェスタ2026事業 市場特別開放事業 夏休み市場DE自由研究 市場活性化推進業務				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	卸売市場法、高松市中央卸売市場業務条例等

【事業の目的】

対象（何を）	高松市中央卸売市場及び高松市公設花き地方卸売市場の開設区域
意図（どのような状態にしたいか）	本市場が今後も、「安全・安心」で「効率的」な生鮮食料品等の流通拠点として、その機能を十分に発揮できるよう、ソフト面などで活性化に取り組み、一層活気と魅力ある市場づくりを図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
中央卸売市場内で実施するイベント数	回	0	15	15	15	15

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	市場への一般市民の来場者数	人	目標値	0	24,000	24,000	24,000	24,000
			実績値	0	37,139	26,156		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	夏休み市場 D E 自由研究や市場特別開放、たかまつ市場フェスタを実施し、来場者数 24,000 人を達成した。また、市場運営協議会との協力の下、EC 活性化推進事業を行うことで、市場の活性化を推進した。	(目標達成度)		109.0%				
	(得点)		35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	当該年次取扱高の対前年比	%	目標値	0	95	95	95	95
			実績値	0	100	96		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	生鮮食料品等の流通の拠点であることをいかし、食文化、食材等の食に関する知識や、花などの生命や自然に関する知識など、食育・花育を実施している団体と連携することによって農林水産物の消費拡大に努め、対前年比 95 % 以上の取扱高を達成した。	(目標達成度)		101.1%				
	(得点)		35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	18,288	3,968	6,685	6,688
(事業費)	[千円]	3,234	3,968	6,685	6,688
(職員人件費)	[千円]	15,054	0	0	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	たかまつ市場フェスタ2025事業 市場特別開放事業 夏休み市場DE自由研究 市場活性化推進業務	2,000千円 1,265千円 120千円 3,300千円	総額	6,685	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	6,685
			一般財源	0	
令和 8 年度	たかまつ市場フェスタ2026事業 市場特別開放事業 夏休み市場DE自由研究 市場活性化推進業務	2,000千円 1,268千円 120千円 3,300千円	総額	6,688	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	6,688
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

高松漁港内からの女木島・男木島の周遊や、高松港を結ぶ航路を組み入れたクルージングのほか、遊漁船を活用した船釣り体験ツアーなどの実証実験を実施した。

また、市場水族館等と連携した「たかまつ市場フェスタ」の開催や、市場開放、市場D5自由研究を実施したことにより、市民の市場への関心度が高まった。

卸売市場の機能や役割を広く市民に周知するとともに、引き続き関連商品売場棟の活性化にも取り組み、市民の期待に応えられる魅力のある市場づくりを目指す。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	施設整備室
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-862-3422
	取組方針	生鮮食料品等の流通強化		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	卸売市場整備事業（水産物棟等）			

【事業全体概要】

事業概要	本市場の水産物棟（昭和55年竣工）は、建築後40年以上経過しており、旧耐震基準の建築物である。平成23・24年度に実施した耐震診断の結果、水産物棟は可及的速やかに改修等の措置を講ずる必要がある「B判定」であったことから、この結果を踏まえ、コールドチェーン化や物流の効率化等にも対応した市場施設を整備する。					
8年度概要	【市場整備】 下水道切替工事 事業計画申請支援等業務 その他経費					
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	6-	関連根拠法令	卸売市場法、高松市中央卸売市場業務条例等	

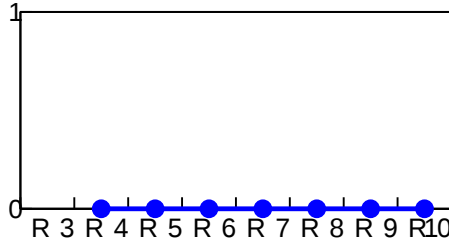
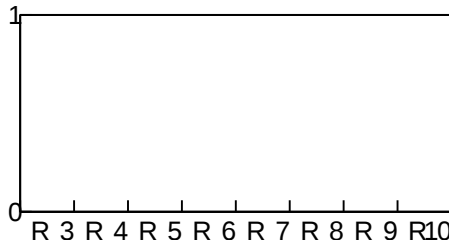
【事業の目的】

対象（何を）	水産物棟等
意図（どのような状態にしたいか）	安全・安心な生鮮食料品等の安定供給を行う物流拠点施設としての卸売市場の機能向上や消費者（市民）から親しまれ、継続的な支持を得られる施設整備を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
関係者との協議回数	回	0	12	15	12	12

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	成果指標設定なし		件	目標値 実績値	0 0	0 0	0 0	0 0	0
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	施設の整備方針、スケジュール等が未定のため、成果指標を設定できない。方針等が定まり、政策決定を受けた後、成果指標を設定する予定。			（目標達成度）					
				（得点）					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
				（目標達成度）					
				（得点）					

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化芸術振興課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-839-2636
	取組方針	「アート・シティ高松」の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	アート・シティ高松推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	文化芸術を通して、市民がいきいきと心豊かに暮らせるまち、高松を実現するため、「高松市文化芸術振興条例」や「第3期高松市文化芸術振興計画」に基づき、アーティスト・イン・レジデンス事業、0才からのコンサート事業、まちなかパフォーマンス事業を実施する。				
8年度概要	アーティスト・イン・レジデンス事業 0才からのコンサート事業 まちなかパフォーマンス事業 （まちなかコンサート事業）（たかまつ大道芸事業） 第3期文化芸術振興計画進行管理他				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	文化芸術に容易に親しむことができる環境を整えることにより、市民の活動の場及びあらゆる世代に芸術に触れる機会の拡充が図られる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
まちなかパフォーマンス事業イベント開催日数	日	0	12	11	17	17

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	まちなかパフォーマンス事業観覧者数	人	目標値	0	70,000	70,000	70,000	70,000
			実績値	0	70,129	77,330		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	イベントの実施を通して、文化芸術に触れる機会を創出したことにより、目標を達成できた。	(目標達成度)	110.9%					
(得点)		35点						

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	24,920	26,256	22,119	26,301
(事業費)	[千円]	16,866	15,448	13,723	16,706
(職員人件費)	[千円]	8,054	10,808	8,396	9,595

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	アーティスト・イン・レジデンス事業 0才からのコンサート事業 まちなかパフォーマンス事業 (まちなかコンサート事業) (たかまつ大道芸事業) 第3期文化芸術振興計画進行管理他	2 , 1 1 0 千円 1 , 3 2 0 千円 1 0 , 0 0 0 千円 (6 , 0 0 0 千円) (4 , 0 0 0 千円) 2 9 3 千円	総額	13,723	
			特定財源	国	1,000
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	12,723	
令和 8 年度	アーティスト・イン・レジデンス事業 0才からのコンサート事業 まちなかパフォーマンス事業 (まちなかコンサート事業) (たかまつ大道芸事業) 第3期文化芸術振興計画進行管理他	5 , 3 5 3 千円 1 , 3 7 3 千円 9 , 7 0 0 千円 (5 , 7 0 0 千円) (4 , 0 0 0 千円) 2 8 0 千円	総額	16,706	
			特定財源	国	1,000
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	15,706	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
目標の70,000人を達成することができた。今後も、ポスターやチラシの配布、SNSによる発信などの、PR活動を工夫することで、多くの市民等に興味を持ってもらい、鑑賞してもらえるように取組を継続する。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

「第3期高松市文化芸術振興計画」に基づき、アーティスト・イン・レジデンス事業やまちなかパフォーマンス事業等の各事業の実施に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化芸術振興課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	839-2636
	取組方針	「アート・シティ高松」の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	高松国際ピアノコンクール事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松国際ピアノコンクールは、地域の活性化、音楽芸術の振興、国際的な文化交流の推進などを目的として、浜松国際ピアノコンクール、仙台国際音楽コンクールに次ぎ、日本で3番目に創設された国際的なピアノコンクールで、4年に一度開催している。また、平成27年度には国際音楽コンクール世界連盟に加盟するなど国内外からより一層注目を集めるコンクールとなっている。コンクールが開催されない年度においても、当コンクールの審査員・入賞者のリサイタル事業や公開レッスン、地域での無料演奏会などの事業を展開し、次回開催への機運を高めるとともに、より市民に親しまれ、地域に育まれていくコンクールとなるよう推進する。				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

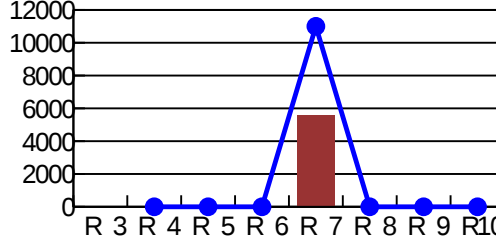
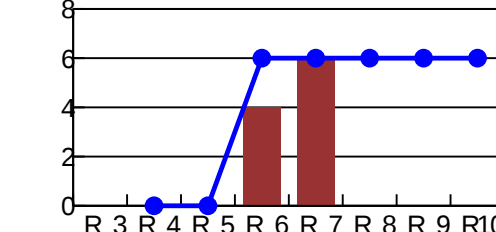
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	音楽芸術の振興と国際的な文化交流に取り組むことにより、交流人口を増加させるとともに、文化芸術都市高松の魅力を世界に向けて発信し、音楽を愛する心と都市ブランドの向上によるシビックプライドを醸成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
高松国際ピアノコンクール開催日数	日	0	0	10	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	ピアノコンクール入場者数		人	目標値	0	0	11,000	0	0
				実績値	0	0	5,558		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	第6回コンクールの入場者数は5,558人で、第5回コンクールの入場者数は上回ったものの、目標値11,000人の約50%にとどまった。一方で、コンクール期間中のYouTube視聴回数は37,000回で、直近3回の視聴回数のうち最高値となった。				(目標達成度) 50.5%				
					(得点) 18点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	学校訪問リサイクル実施校数		校	目標値	0	6	6	6	6
				実績値	0	4	6		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	各学校向けに効果的な広報に努めた結果、6校で開催でき、目標を達成した。				(目標達成度) 100.0%				
					(得点) 35点				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	6,112	7,200	30,868	0
(事業費)	[千円]	2,800	2,800	26,070	0
(職員人件費)	[千円]	3,312	4,400	4,798	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	第 6 回コンクール組織委員会負担金 高松国際ピアノコンクール推進事業負担金 その他	2 5 , 0 0 0 千円 1 , 0 0 0 千円 7 0 千円	総額	26,070	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	2,140
			一般財源	23,930	
令和 8 年度			総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	77 / 100 (77 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

第6回コンクールの入場者数は5,558人で、目標値の約50%にとどまったが、コンクール期間中のYouTube視聴回数は直近3回の視聴回数のうち最高値となった。YouTube配信は会場に来られない方にも鑑賞の機会を与えられるという利点があるが、無料で視聴できるコンテンツがある中で、会場へ足を運んでも鑑賞したいと思ってもらえるコンクールにしていく必要がある。学校訪問リサイクルについては、引き続き開催校を担保し、次回コンクール開催に向けて機運を醸成していく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
次回コンクール開催に向けて機運を醸成するため、学校訪問リサイタル等のコンクール推進事業を引き続き実施するとともに、コンサートとは違った臨場感や緊張感を味わえるコンクールならではの魅力を発信することで、会場へ足を運んで鑑賞する価値の浸透を図る。

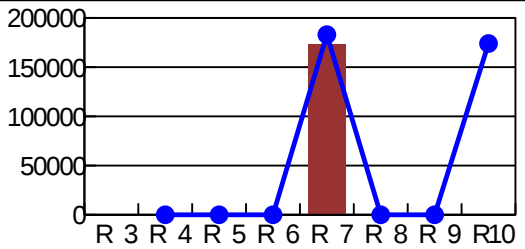
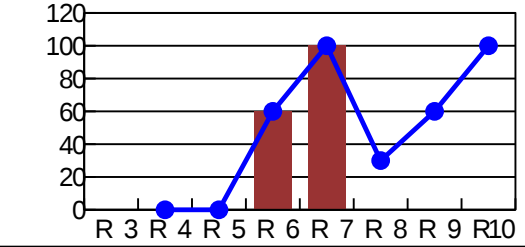
令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化芸術振興課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-839-2636
	取組方針	「アート・シティ高松」の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	瀬戸内国際芸術祭推進事業			

【事業全体概要】					
事業概要	「海の復権」を当初より掲げ、芸術祭を通して瀬戸内海の島々に活力を取り戻し、瀬戸内海が地球上のすべての地域の「希望の海」となることを目指す瀬戸内国際芸術祭を、瀬戸内国際芸術祭実行委員会（県、関係市町及び福武財団等）を中心に3年毎に開催するとともに、作品の維持管理を行う。				
8年度概要	瀬戸内国際芸術祭開催準備負担金 女木小学校光熱水費 旅費				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市民及び来場者
意図（どのような状態にしたいか）	文化芸術の振興により、本市の魅力を国内外に向けて発信するとともに、交流人口を増加させ地域の活性化につなげる。

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
瀬戸内国際芸術祭開催日数	日	0	0	107	0	0

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	本市会場への年間来場者数	人	目標値	0	0	183,000	0	0
			実績値	0	0	173,595		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	人通りの多い高松中央商店街に懸垂幕を掲示するなど、広報に努めたことにより、おおむね目標を達成することができた。		（目標達成度） 94.9% （得点） 33点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	次回瀬戸内国際芸術祭の開催準備進捗率	%	目標値	0	60	100	30	30
			実績値	0	60	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	瀬戸内国際芸術祭 2025 に向けて準備を行い、無事開催することができた。		（目標達成度） 100.0% （得点） 35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)	
トータルコスト	[千円]	10,569	82,718	122,959	15,075	
	(事業費)	[千円]	5,752	51,066	89,616	5,880
	(職員人件費)	[千円]	4,817	31,652	33,343	9,195

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	瀬戸内国際芸術祭負担金 作品マップ作製費 案内所運営業務委託 情報発信サイト作成 商店街等広告費 その他開催関連業務等 女木小学校光熱水費 旅費	4 9 , 8 8 0 千円 9 1 2 千円 3 3 , 5 5 2 千円 3 , 0 9 3 千円 1 , 0 4 5 千円 5 0 7 千円 5 7 4 千円 5 3 千円	総額	89,616	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	496
			一般財源	89,120	
			令和 8 年度	瀬戸内国際芸術祭開催準備負担金 女木小学校光熱水費 旅費	5 , 2 5 0 千円 6 0 0 千円 3 0 千円
特定財源	国	0			
	県	0			
	市債	0			
	他	472			
一般財源	5,408				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
瀬戸内国際芸術祭 2025 の開催に向けて、実行委員会、市内各島の関係者等と連携しながら、協議等を行い、体制を整えたことにより、無事に開催することができた。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
瀬戸内国際芸術祭 2028 の開催に向けて、実行委員会、市内各島の関係者等と連携しながら、協議等を行っていく。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化芸術振興課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-839-2636
	取組方針	「アート・シティ高松」の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	高松版文化芸術プラットフォーム構築事業			

【事業全体概要】

事業概要	「第3期高松市文化芸術振興計画」に基づき、（公財）高松市文化芸術財団内に地域アーツカウンシル事務局を設置し、専門人材を活用した中間支援を行うことで、文化芸術活動を行う個人や団体等の交流促進、各文化施設のネットワークの強化を図ることができる高松版文化芸術プラットフォームの構築を行う。				
8年度概要	高松版文化芸術プラットフォーム構築事業業務				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	

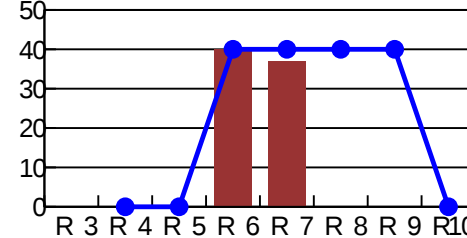
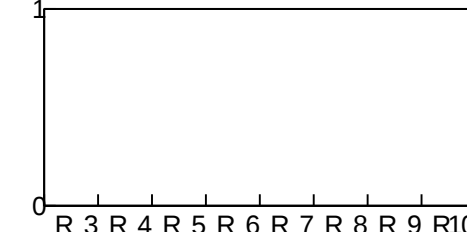
【事業の目的】

対象（何を）	高松市文化芸術財団、市内の各種文化芸術団体・文化施設、大学、行政 等
意図（どのような状態にしたいか）	文化芸術に関わる人たちによる緩やかなネットワークを、本市の文化芸術における協働・連携のプラットフォームへと育て、文化芸術に対する的確な支援へとつなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
交流事業等実施回数	回	0	3	9	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	プラットフォーム関係団体数		団体	目標値	0	40	40	40	40	
				実績値	0	40	37			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	文化芸術プラットフォームの活動として、交流事業や研修事業等を定期的に実施したことにより、関係団体数については概ね目標を達成することができた。		(目標達成度) 92.5%							
(得点) 32点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	6,374	4,712	18,637	36,098
(事業費)	[千円]	51	80	10,641	27,302
(職員人件費)	[千円]	6,323	4,632	7,996	8,796

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	高松版文化芸術プラットフォーム構築事業業務	1 0 , 6 4 1 千円	総額	10,641	
			特定財源	国	4,209
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	6,432	
令和 8 年度	高松版文化芸術プラットフォーム構築事業業務	2 7 , 3 0 2 千円	総額	27,302	
			特定財源	国	9,911
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	17,391	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
（公財）高松市文化芸術財団内に地域アーツカウンシル事務局を設置したことに加え、アーティスト同士の交流の場であるプレイヤーズプラットフォーム会議を令和6年度よりも多く開催することにより、自身の活動を社会や他分野と結びつけて考えるきっかけを提供し、プラットフォームの構築に努めた。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
文化庁の補助金を活用し、（公財）高松市文化芸術財団に設置した地域アーツカウンシル事務局を中心に高松版文化芸術プラットフォームの構築を行う。また、アートマネジメント人材育成、アーティスト登録制度の基盤構築を行う。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化芸術振興課
	施策		文化芸術の創造と継承		電話番号	087-839-2636
	取組方針		「アート・シティ高松」の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		デリバリーアーツ事業			

【事業全体概要】

事業概要	市民が身近なところで生の優良な文化芸術に触れる機会を提供するため、コミュニティセンターや病院、老人福祉施設など市民の希望するところに音楽や伝統芸能等の文化芸術を出前公演する。企画・運営は本市が委託している（公財）高松市文化芸術財団、会場準備や観客動員は協力団体である市民が行い、協働運営の形態をとっている。また、平成２３年度から、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏域市町においても実施している。				
8年度概要	高松市内で公演（瀬戸フィル音楽会、讃岐国分寺太鼓、落語、邦楽等）実施 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏域の各市、町で合計６公演実施				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民（広域連携中枢都市圏域内市町を含む）
意図（どのような状態にしたいか）	生の優良な文化芸術を出前公演することで、身近に鑑賞できる機会を提供する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
開催回数	回	0	20	20	21	21

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	デリバリーアーツ事業鑑賞者数		人	目標値	0	2,300	2,300	2,300	2,300	
				実績値	0	2,385	1,989			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	開催回数については、昨年度と同様であったが、鑑賞人数は減少し、目標を達成できなかった。		(目標達成度)							
(得点)										

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	6,754	7,516	10,142	11,123
(事業費)	[千円]	3,668	3,888	6,384	7,365
(職員人件費)	[千円]	3,086	3,628	3,758	3,758

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	高松市内で公演（瀬戸フィル音楽会、讃岐国分寺太鼓、落語、邦楽等）を実施 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏域の各市、町で5公演を実施	6 , 3 8 4 千円	総額	6,384	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	4,491
			一般財源	1,893	
令和 8 年度	高松市内で公演（瀬戸フィル音楽会、讃岐国分寺太鼓、落語、邦楽等）実施 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏域の各市、町で合計6公演実施	7 , 3 6 5 千円	総額	7,365	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	2,162
			一般財源	5,203	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	82 / 100 (82 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
効果的な広報活動を行うことにより、多くの団体からの応募を募り、場所が固定化されることなく、より多くの市民に鑑賞してもらうことが課題である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
今後においても、協力施設、活動団体、連携市町との協働をより一層推進したい。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化芸術振興課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-839-2636
	取組方針	「アート・シティ高松」の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	市民文化祭開催事業			

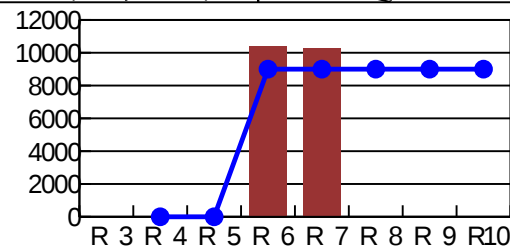
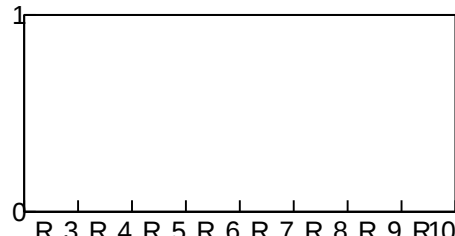
【事業全体概要】					
事業概要	文化芸術団体の発表の場と相互交流の機会を提供するため、市民自らが主体的に文化芸術事業を企画・実施する市民企画提案型事業「アーツフェスタたかまつ」を開催する。				
	文化芸術団体等の発表の場と相互交流の機会を提供するため、市民企画提案型事業「アーツフェスタたかまつ」を開催				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令		

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	市内の文化芸術団体の発表の場と相互交流の機会を提供するとともに、公演等の観覧者である市民に、生の文化芸術に触れる機会を提供し、その理解を深めてもらうことにより、本市の文化芸術振興に寄与するものとする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
市民文化祭開催日数	日	0	16	15	12	12

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	市民文化祭(アーツフェスタ)観覧者数	人	目標値	0	9,000	9,000	9,000	9,000
			実績値	0	10,363	10,297		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	開催日数及び観覧者数とも目標値を達成することができた。			(目標達成度) 114.4%				
			(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
			(得点)					

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化芸術振興課
	施策		文化芸術の創造と継承		電話番号	087-839-2636
	取組方針		「アート・シティ高松」の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		文化芸術活動推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	市民が文化芸術の楽しさと豊かさを共有できるまちづくりのため、優れた文化芸術鑑賞の機会づくりや発表の場づくりなどの文化振興事業を推進する。 ・学校巡回芸術教室事業・学校巡回能楽教室事業 ・音の祭り開催事業 ・文化団体活動補助事業 ・文化芸術活動補助事業 ・ものづくりふれあい教室事業 ・劇団四季「こころの劇場」開催事業 など				
8年度概要	学校巡回芸術教室・学校巡回能楽教室 文化芸術活動補助事業 音の祭り開催事業 ものづくりふれあい教室 文化団体活動補助ほか 劇団四季「こころの劇場」共催事業 フルタイム会計年度任用職員給与等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

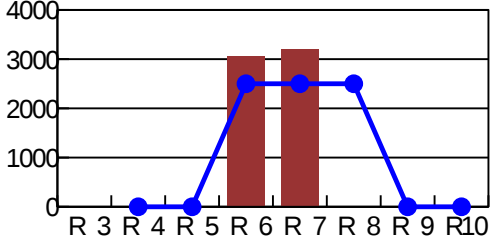
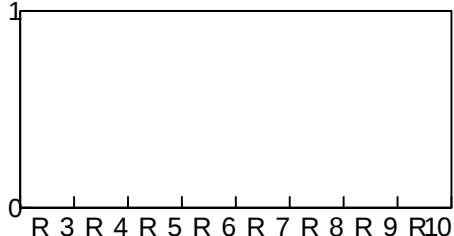
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	自主的な文化芸術活動の促進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
年間補助交付件数（文化芸術活動補助事業）	件	0	48	43	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	文化芸術活動補助事業における参加人数		人	目標値	0	2,500	2,500	2,500	2,500	
				実績値	0	3,049	3,200			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	効果的な周知や広報に努めたことにより、目標を達成することができた。		(目標達成度)	128.0%						
(得点)			35点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-861-4502
	取組方針	「アート・シティ高松」の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	菊池寛顕彰事業			

【事業全体概要】

事業概要	郷土が生んだ文豪「菊池寛」を顕彰するとともに、文学展及び文芸講座等の文化活動事業を実施し、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与する。また、香川菊池寛賞等の選奨を行うことにより、郷土において創作活動を続けている優れた新人の発掘及び育成並びに地元の文化の振興を図る。				
8年度概要	・文芸講座の開催 ・特別講演会の開催 ・香川菊池寛賞募集選奨事業 ・文藝もずの発行				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	博物館法

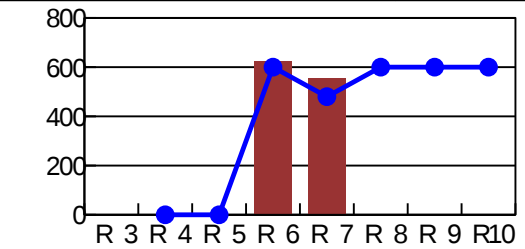
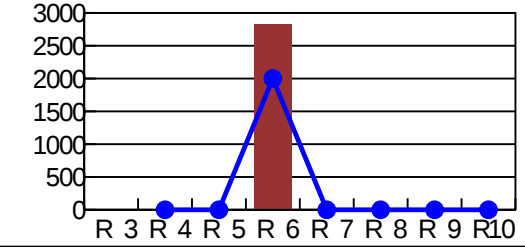
【事業の目的】

対象（何を）	市民（小学生から高齢者）
意図（どのような状態にしたいか）	郷土が生んだ文豪「菊池寛」を顕彰し、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与する。また、郷土において創作活動を続けている優れた新人の発掘及び育成並びに地元の文化の振興を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
開催講座数（文芸講座）	講座	0	10	8	10	10
文学展開催日数（文学展）	日	0	33	0	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	受講延べ人数	人	目標値	0	600	480	600	600
			実績値	0	622	555		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	文芸講座は施設のリニューアル工事に伴う休館のため、まなびCANでの開催となったが、駅からのアクセスや近隣商業施設の利便性が良いことから新たな層の受講者が見られた。講座内容については日本文学から翻訳の分野まで幅広く展開し、受講者を飽きさせず、年間の受講延べ人数が目標値を上回った。		(目標達成度) 115.6% (得点) 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	文学展観覧者数（文学展、特別講演会等）	人	目標値	0	2,000	0	0	0
			実績値	0	2,828	0		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	サンクリスタル高松改修工事に伴う休館のため従来の数値目標は設定できない。方向性が決まり次第、成果指標を設定する。		(目標達成度) (得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	12,531	12,926	10,439	11,397
(事業費)	[千円]	5,004	5,206	2,443	3,401
(職員人件費)	[千円]	7,527	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・文芸講座の開催 ・特別講演会の開催 ・香川菊池寛賞募集選奨事業 ・文藝もずの発行	菊池寛顕彰事業実行委員会負担金（香川菊池寛賞、特別講演会等）1,598千円 文藝もず作成305千円 菊池寛顕彰会事業補助金277千円 その他運営事務費263千円	総額	2,443	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	137
			一般財源	2,306	
令和 8 年度	・文芸講座の開催 ・特別講演会の開催 ・香川菊池寛賞募集選奨事業 ・文藝もずの発行	菊池寛顕彰事業実行委員会負担金（香川菊池寛賞、特別講演会等）2,491千円 文藝もず作成324千円 菊池寛顕彰会事業補助金277千円 その他運営事務費309千円	総額	3,401	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	221
			一般財源	3,180	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

令和7年5月から、施設のリニューアル工事に伴い休館中であるが、文芸講座は会場を変えて開催したほか、秋には、作家の北方謙三氏による特別講演会を開催するとともに、香川菊池寛賞募集選考事業は継続して実施した。文芸講座参加者数については講師・テーマの選定が好評であり、実績値は目標値を超えている。SNS等の活用を積極的に行うなど、より多くの市民や幅広い年齢の方に、菊池寛や文学への関心を持ってもらえるよう努めているが、更なる周知について引き続き注力していく。

施設のリニューアル工事に伴い休館中であるが、特別講演会や文芸講座などの事業は継続して実施する。また、休館中においても、SNS等を活用し、より多くの市民、県民等に菊池寛や文学への興味や親しみを持ってもらえるよう積極的に情報発信する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-861-4502
	取組方針	「アート・シティ高松」の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	菊池寛記念館管理運営事業			

【事業全体概要】

事業概要	郷土が生んだ文豪「菊池寛」を顕彰し、菊池寛や寛が創設した芥川賞・直木賞等に関する資料の収集、保管及び展示を行い、後世に伝えとともに、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与する。				
8年度概要	・菊池寛や芥川賞・直木賞等に関する資料の収集・保管及び展示 ・「出張！菊池寛記念館」 ・菊池寛記念館リニューアル後の企画等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	博物館法

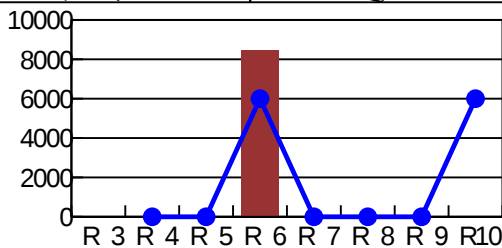
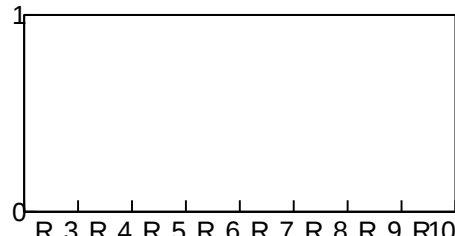
【事業の目的】

対象（何を）	市民（小学生から高齢者）
意図（どのような状態にしたいか）	郷土が生んだ文豪「菊池寛」を顕彰し、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
菊池寛記念館開館日数	日	0	307	32	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	菊池寛記念館利用者数（常設展、コレクション展）			人	目標値	0	6,000	0	0	0
					実績値	0	8,477	0		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	サンクリスタル高松のリニューアルに伴い、5月7日から休館したため、令和7年度の目標値は設定できない。			（目標達成度）						
（得点）										
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
					目標値					
					実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
				（目標達成度）						
（得点）										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	23,203	26,457	25,333	25,162
(事業費)	[千円]	15,676	18,737	17,337	17,166
(職員人件費)	[千円]	7,527	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・菊池寛記念館常設展示 ・菊池寛や芥川賞・直木賞等に関する資料の収集・保管及び展示 ・「出張！菊池寛記念館」	会計年度任用職員報酬等 16,348千円 記念館資料購入費148千円 収蔵品情報システム及び展示 業務等PC賃借料171千円 その他運営事務費670千円	総額	17,337	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	29
一般財源	17,308				
令和 8 年度	・菊池寛や芥川賞・直木賞等に関する資料の収集・保管及び展示 ・「出張！菊池寛記念館」 ・菊池寛記念館リニューアル後の企画等	会計年度任用職員報酬等 16,148千円 記念館資料購入費130千円 収蔵品情報システム及び展示 業務等PC賃借料171千円 その他運営事務費717千円	総額	17,166	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	17,166				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	26 / 30 (87 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

令和7年5月からリニューアル工事に伴い休館中であるが、休館中の新たな取組として県内の図書館や学校等計25か所で「出張！菊池寛記念館」を開催し、多くの方に菊池寛の魅力を伝えることができた。引き続き、令和8年度についても出張展示や出前トークなどで認知度を上げていきたい。

施設のリニューアル工事に伴い休館中であるが、引き続き、関連資料の収集及び整理並びに菊池寛の魅力発見に努めるとともに、「出張！菊池寛記念館」として、小・中学校や県内の図書館等でパネル展を実施するなど、休館中においても、菊池寛及び菊池寛記念館を市民、県民等に広く周知する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策		文化芸術の創造と継承		電話番号	087-823-2714
	取組方針		文化財の保存と活用		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		史跡石清尾山古墳群保存・整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	史跡指定古墳について、適切な保存・活用を行うための基本方針を定める保存活用計画に基づき、保存と活用の両面から適切な史跡整備を行う。また、史跡に指定されていない古墳の調査研究を進め、史跡に追加指定し歴史的価値を顕在化させ、古墳群の適切な保存・活用を図る。				
8年度概要	調査整備会議の運営 確認調査				
重点取組事業		市長マニフェスト	7-	関連根拠法令	文化財保護法

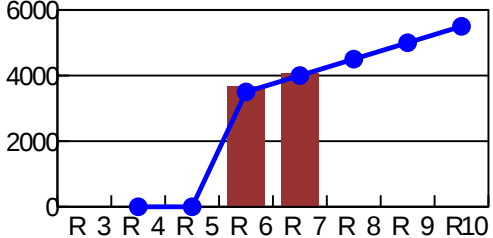
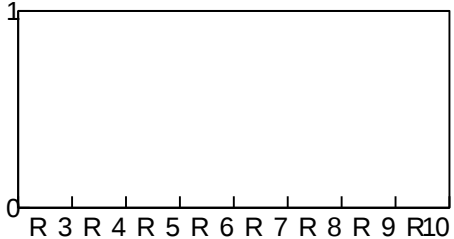
【事業の目的】

対象（何を）	石清尾山古墳群
意図（どのような状態にしたいか）	国史跡に指定されている積石塚を適切に保存するため、範囲や構造を把握し、より適切に古墳を保存・活用する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	調査古墳数（累計）	箇所	0	0	0	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	見学者数（累計）		人	目標値	0	3,500	4,000	4,500	4,500
				実績値	0	3,674	4,060		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	パンフレットの配布等を通じて多くの市民に古墳群に興味を持ってもらうとともに、市政出前ふれあいトークや学校教育活動の一環として古墳群の解説を行うことで、目標値に達する見学者を得た。		(目標達成度) 101.9%						
(得点) 35点									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			(目標達成度)						
(得点)									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	82,749	56,875	41,002	15,000
(事業費)	[千円]	75,222	49,155	33,006	3,006
(職員人件費)	[千円]	7,527	7,720	7,996	11,994

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	調査整備会議の運営 鶴尾神社 4 号墳崖面補強工事 R 6 → 8 事故繰越	0 千円 3 3 , 0 0 6 千円 2 4 , 2 9 3 千円 (R 7 → 8 繰越、国補正に伴う前倒し 3 月補正) 5 9 , 4 0 0 千円 (R 6 → 8 事故繰越)	総額	33,006	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	16,500
				他	0
			一般財源	16,506	
令和 8 年度	調査整備会議の運営 確認調査	1 1 9 千円 2 , 8 8 7 千円	総額	3,006	
			特定財源	国	1,076
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,930	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

「史跡石清尾山古墳群保存活用計画」を令和6年3月に策定しており、今後、同計画に基づき保存と活用を図っていく。
見学者数については目標値を上回ったことから、今後とも効果的な情報発信を行っていく。
なお、鶴尾神社4号墳崖面補強工事については、工事に不測の日時を要したことから8年度に繰越して実施する。

「史跡石清尾山古墳群保存活用計画」を基に史跡を確実に保存するとともに、古墳群の見学会や観光部門と連携した古墳群見学ツアーを実施するなどして、市内はもとより県内外に情報発信を行い、古墳群の文化財的価値を周知する。

鶴神神社４号墳保存対策事業については、これまでと同様に専門家の意見を踏まえ、地元の理解を得ながら実施する。

既指定古墳群の整備事業を実施する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策		文化芸術の創造と継承		電話番号	087-823-2714
	取組方針		文化財の保存と活用		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		埋蔵文化財公開活用事業			

【事業全体概要】

事業概要	埋蔵文化財調査等によって明らかになった本市の歴史を広く知っていただくため、市内の埋蔵文化財等を題材とした講演会や発掘調査の現地説明会の実施、パンフレット等の充実、情報発信を行う。令和7年度は、市内の文化財を題材とした講演会や展示会を複数回開催するとともにその成果を冊子として刊行した。				
8年度概要	Webコンテンツ 解説看板設置 パンフレット				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	文化財保護法

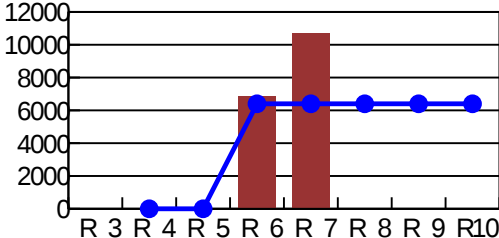
【事業の目的】

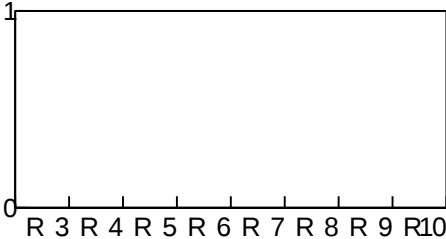
対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	市内の埋蔵文化財調査等によって得られた本市の歴史に関する市民の知識及び教養の向上につなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
埋蔵文化財公開活用事業関連行事開催回数	回	0	40	56	50	50

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	埋蔵文化財公開活用事業関連行事参加者数		人	目標値	0	6,400	6,400	6,400	6,400
				実績値	0	6,872	10,678		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	積極的な巡回展示への出張等で目標値の166%を達成した。		(目標達成度)	166.8%					
(得点)			35点						

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			(目標達成度)						
(得点)									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	12,328	9,986	10,115	10,230
(事業費)	[千円]	4,801	2,266	2,119	2,234
(職員人件費)	[千円]	7,527	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	We bコンテンツ・活用紀要 解説看板設置 パンフレット	We bコンテンツ・活用紀要 作成 1,578千円 解説看板設置 435千円 パンフレット 106千円	総額	2,119	
			特定財源	国	995
				県	0
				市債	0
				他	4
			一般財源	1,120	
令和 8 年度	We bコンテンツ 解説看板設置 パンフレット	We bコンテンツ・活用紀要 作成 803千円 解説看板設置 1,331千円 パンフレット 100千円	総額	2,234	
			特定財源	国	1,085
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,149	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

講演会等の参加者が高齢者層に偏っており、若年層から中年層に参加を促す取組が必要である。

今後も、香川県や関係市町と連携しながら、効果的なPRを実施し、イベント等への新たな参加者の誘引に努めるとともに、ICT等の活用により公開活用を拡大するための体制整備を検討していく。

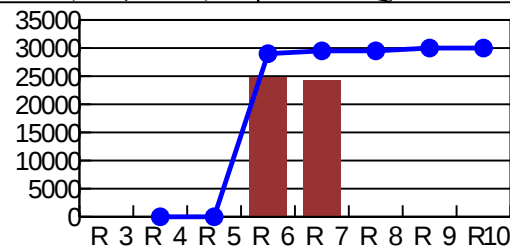
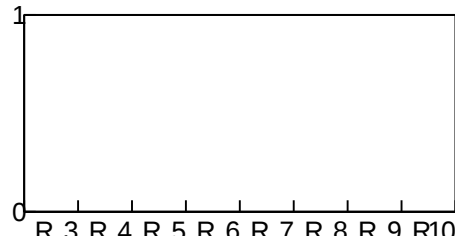
令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-861-4520
	取組方針	文化財の保存と活用		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	香南歴史民俗郷土館管理運営事業			

【事業全体概要】					
事業概要	香南地区の有力豪族由佐氏の居城跡という館の立地をいかして、高松平野南部地域の歴史民俗資料の収集・保管・調査を行うとともに、展示及び講座等の教育活動を実施する。				
8年度概要	企画展等	10展程度			
	教育普及事業等	32回程度			
	その他事業	32回程度			
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	博物館法

【事業の目的】	
対象（何を）	小学生以上の一般市民
意図（どのような状態にしたいか）	多くの市民が施設を利用することにより、郷土の歴史、民俗等に関する市民の知識の向上と市民文化の発展に寄与する。

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
資料館主催（共催）事業数	件	0	75	90	74	74

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	香南歴史民俗郷土館の利用者数	人	目標値	0	29,000	29,500	29,500	29,500
			実績値	0	24,775	24,353		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	展示内容の充実、積極的な広報活動に努めたが、夏場の猛暑の影響と、空調機器が故障したことから積極的な誘客広報イベントの募集規模を控えたことにより、目標値を下回った。			（目標達成度） 82.6%				
				（得点） 29点				
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				（目標達成度）				
				（得点）				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	23,282	25,200	24,939	29,149
(事業費)	[千円]	15,755	17,480	16,943	21,153
(職員人件費)	[千円]	7,527	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容		積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	企画展等 教育普及事業等 その他事業	1 1 展 3 8 回 3 4 回	任用職員給料等 1 0 , 6 4 3 千円 施設管理費 5 , 3 6 7 千円 事業運営費 8 1 8 千円 城山顕彰会補助金 1 1 5 千円	総額	16,943	
				特定財源	国	0
					県	0
					市債	0
					他	248
				一般財源	16,695	
令和 8 年度	企画展等 教育普及事業等 その他事業	1 0 展程度 3 2 回程度 3 2 回程度	任用職員給料等 1 0 , 6 5 8 千円 施設管理費 7 , 1 9 7 千円 事業運営費 9 6 8 千円 城山顕彰会補助金 1 1 5 千円 空調機改修工事 2 , 2 1 5 千円	総額	21,153	
				特定財源	国	0
					県	0
					市債	1,900
					他	495
				一般財源	18,758	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	82 / 100 (82 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
展示室や研修室の空調機が故障したこと等により、前年度と比べて利用者数は400人程度少なく、目標を下回った。今後、目標数を伸ばすためには展示内容及び資料の充実、積極的な広報を行う。また、老朽化した設備の整備・更新等が課題である。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
高松市南部の文化施設である地の利を生かした内容の企画展や講座を開催するとともに、地元文化団体との連携を図り、地域に根差した館運営を行うことで、利用者数の増加に努める。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策		文化芸術の創造と継承		電話番号	087-861-4520
	取組方針		文化財の保存と活用		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		讃岐国分寺跡資料館管理運営事業			

【事業全体概要】

事業概要	特別史跡讃岐国分寺跡の歴史的意義等を周知するため、展示及び教育普及活動を実施する。				
8年度概要	企画展等 5 回程度 教育普及事業等 5 5 回程度				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	博物館法

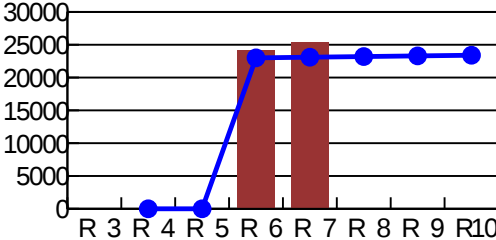
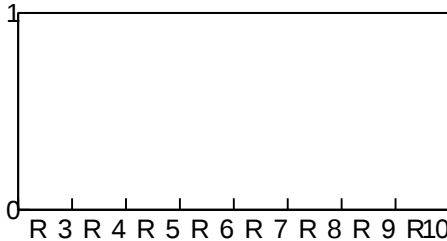
【事業の目的】

対象（何を）	小学生以上の一般市民
意図（どのような状態にしたいか）	多くの市民が施設を利用することにより、特別史跡讃岐国分寺跡の歴史的重要性が広く認識され、文化財の保存及び活用の促進につながるとともに、歴史に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	資料館主催（共催）事業数	件	0	54	55	61	61

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	讃岐国分寺跡資料館の利用者数	人	目標値	0	23,000	23,100	23,200	23,200
			実績値	0	24,081	25,442		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	展示内容の充実、積極的な広報活動に努めた結果、目標値を上回る成果をあげた。	(目標達成度) 110.1%	(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)	(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	19,759	28,838	29,707	30,413
(事業費)	[千円]	12,232	13,398	13,715	14,421
(職員人件費)	[千円]	7,527	15,440	15,992	15,992

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	企画展等 4 回 教育普及事業等 5 1 回	任用職員報酬等 5 , 5 6 8 千円	総額	13,715	
		任用職員報酬等 (時間額) 4 2 2 千円	特定財源	国	0
		施設管理費 3 , 7 2 5 千円		県	0
		史跡地管理費 1 , 5 7 7 千円		市債	0
		事業運営費 3 4 6 千円		他	358
		史跡まつり補助金 2 , 0 7 7 千円		一般財源	13,357
		令和 8 年度	企画展等 5 回程度 教育普及事業等 5 5 回程度	任用職員報酬等 5 , 5 7 3 千円	総額
任用職員報酬等 (時間額) 4 5 9 千円	特定財源			国	0
施設管理費 4 , 1 3 3 千円				県	0
史跡地管理費 1 , 6 1 0 千円				市債	0
事業運営費 5 6 9 千円				他	393
史跡まつり補助金 2 , 0 7 7 千円				一般財源	14,028

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
前年度と比べて利用者が増加し、目標を達成できた。 今後は、更なる利用者数の増加（展示等の実施、展示内容及び資料の充実、運営、積極的な広報等）及び老朽化した設備の整備・更新が課題である。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
特別史跡讃岐国分寺跡の歴史的意義等を広く情報発信するとともに、地域と連携し、地域に根差した講演会・講座や、讃岐国分寺史跡まつり等の開催を通して、利用者数の増加に努める。 老朽化した設備の整備については、経過観察を行いながら、優先度の高い物から適宜修繕を実施していく。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

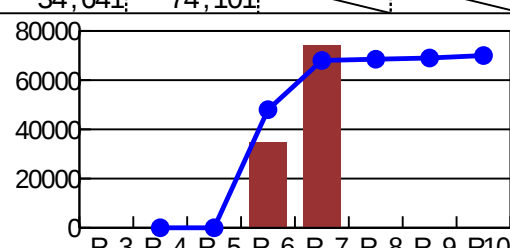
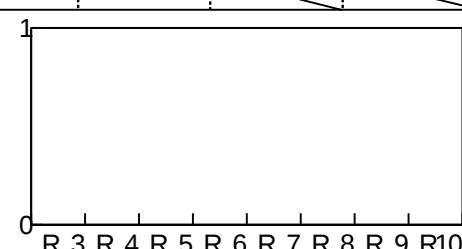
総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-845-8484
	取組方針	文化財の保存と活用		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	石の民俗資料館管理運営事業			

【事業全体概要】					
事業概要	石と人間の関わりの文化を観点に資料の収集・保管・調査を行うとともに、展示・体験学習などの教育活動を実施する。				
8年度概要	企画展	5 展程度			
	ホール展等	6 展程度			
	教育普及事業等	3 7 回程度			
	コンサート等	2 回程度			
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	博物館法	

【事業の目的】	
対象（何を）	小学生以上の一般市民
意図（どのような状態にしたいか）	多くの市民が施設を利用することにより、石と人間との関わりの文化史を通して歴史、民俗等に関する市民の知識の向上と市民文化の発展に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
資料館主催（共催）事業数	件	0	28	53	52	52

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	石の民俗資料館の利用者数	人	目標値	0	48,000	68,000	68,500	68,500
			実績値	0	34,641	74,101		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	展示内容や教育普及事業等の充実、積極的な広報活動に努めた結果、目標となる数値を超える成果を上げることができた。	(目標達成度) 109.0%						
(得点) 35点								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	58,977	110,532	38,686	50,451
(事業費)	[千円]	43,923	95,092	30,690	34,459
(職員人件費)	[千円]	15,054	15,440	7,996	15,992

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	企画展 1 展 ホール展等 5 展 教育普及事業等 2 0 回 コンサート等 2 回 1 0 月 1 6 日 ~ 3 月 3 0 日まで臨時休館	任用職員報酬等 1 8 , 9 4 5 千円 施設管理費 1 0 , 2 8 2 千円 事業運営費 1 , 4 6 3 千円	総額	30,690	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	1,362
			一般財源	29,328	
令和 8 年度	企画展 5 展程度 ホール展等 6 展程度 教育普及事業等 3 7 回程度 コンサート等 2 回程度	任用職員報酬等 2 0 , 3 1 4 千円 施設管理費 1 2 , 3 0 7 千円 事業運営費 1 , 8 3 8 千円	総額	34,459	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	1,241
			一般財源	33,218	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
利用者数の増加により、ほぼ目標どおり事業を実施できた。今後は、より一層の展示内容の充実、積極的な広報等を行い、利用者数の増加に向けた取組を積極的に行う必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

館の主旨である石と人間との関わりとの文化に関する企画展を通して、広く情報発信するとともに、地元文化団体との連携を図り企画展を開催するなど、地域に根差した館運営を行いつつ、利用者数の増加に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-861-4520
	取組方針	文化財の保存と活用		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	歴史資料館教育普及活動事業			

【事業全体概要】

事業概要	郷土の歴史や文化についての興味を喚起し、知識を深められるような教育普及事業を実施する。				
8年度概要	サンクリスタル学習代替プログラム 夏休み子ども歴史講座 古文書講座				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	博物館法

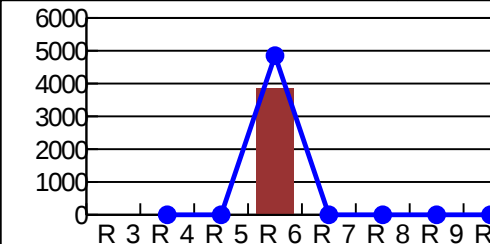
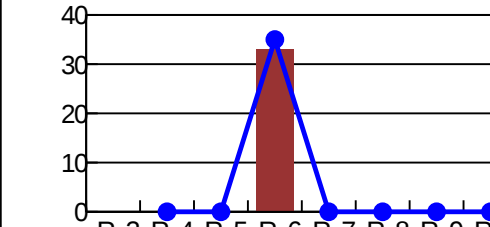
【事業の目的】

対象（何を）	小学生以上の一般市民
意図（どのような状態にしたいか）	参加者の郷土史及び文化並びに歴史資料への興味関心を深める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
教育普及事業の開催回数	回	0	111	40	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	教育普及活動の受講者数		人	目標値	0	4,850	0	0	0
				実績値	0	3,863	0		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	サンクリスタル高松改修工事に伴う休館のため、従来の目標設定はできないが、代替講座等により受講者の獲得に努めた。目標設定の妥当な根拠が得られ次第、成果指標を設定する。		(目標達成度)						
(得点)									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	サンクリスタル学習参加校数		校	目標値	0	35	0	0	0
				実績値	0	33	0		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	サンクリスタル高松改修工事に伴う休館のため、従来の数値目標は設定できないが、代替の屋島・美術館学習により参加校の獲得に努めた。事業が再開可能となった段階で、改めて成果指標を設定する。		(目標達成度)						
(得点)									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	9,347	10,405	8,055	11,357
(事業費)	[千円]	1,820	2,685	59	3,361
(職員人件費)	[千円]	7,527	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	サンクリスタル学習代替プログラム 古文書講座	講座関連費 5 9 千円	総額	59	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	59
			一般財源	0	
令和 8 年度	サンクリスタル学習代替プログラム 夏休み子ども歴史講座 古文書講座	サンクリスタル学習代替プログラム 3 , 3 0 1 千円 講座関連費 6 0 千円	総額	3,361	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	60
			一般財源	3,301	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	26 / 30 (87 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
サンクリスタル高松改修工事による休館に伴い、本来の事業ができないため、代替事業を実施することや、場所の変更等を行い対応した。 令和7年度以降の数年間、休館となるが、引き続き郷土の歴史に関する興味を喚起し、知識を深められる機会を提供していくことが必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

今後、更に参加しやすい校外学習や講座となるよう学校側や参加者の意見を丁寧に聞きながら工夫を加えていく。サンクリスタル高松改修工事に伴い、休館となる期間については、サンクリスタル学習や講座の代替プログラムを実施する。

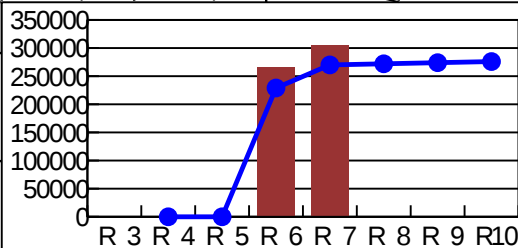
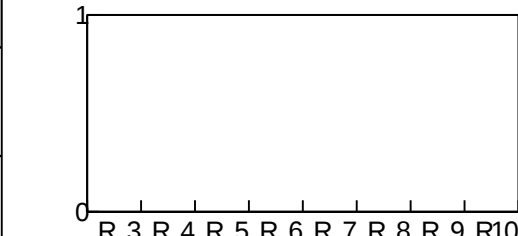
令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-839-2660
	取組方針	文化財の保存と活用		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	玉藻公園整備事業			

【事業全体概要】					
事業概要	「高松市都市公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に修繕等を行うことにより、持続的に安全で安心して利用できる都市公園づくりを図る。				
8年度概要	玉藻公園二の丸三の丸照明灯改修実施設計業務委託				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	都市公園法

【事業の目的】	
対象（何を）	玉藻公園
意図（どのような状態にしたいか）	公園施設の安全性を確保し、長寿命化を図る。

【事業の活動】							
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	施設修繕等件数	件	0	12	12	14	14

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	玉藻公園の年間入園者数	人	目標値	0	229,000	270,000	272,000	272,000
			実績値	0	266,025	305,372		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	令和7年度の玉藻公園入園者数は、目標値を上回る結果となった。		（目標達成度） 113.1% （得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度） （得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	8,054	18,235	15,786	9,296
	(事業費)	0	10,515	7,790	1,300
	(職員人件費)	8,054	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	玉藻公園照明灯改修工事	7 , 7 9 0 千円 1 3 , 0 1 1 千円 (R 7 → 8 繰越)	総額	7,790	
			特定財源	国	3,895
				県	0
				市債	3,500
				他	0
			一般財源	395	
令和 8 年度	玉藻公園二の丸三の丸照明灯改修実施設計業務委託	1 , 3 0 0 千円	総額	1,300	
			特定財源	国	640
				県	0
				市債	500
				他	0
			一般財源	160	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
高松市都市公園施設長寿化計画の見直しを行い、引き続き、市民や観光客がより安全安心に利用できるとともに、魅力あふれる公園施設となるよう計画的に維持管理を行う。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

令和8年度は玉藻公園二の丸三の丸照明灯改修施設設計業務委託を実施し、玉藻公園の長寿命化に努め、市民の憩いの場として、また本市の代表的な観光地の一つとして活用していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

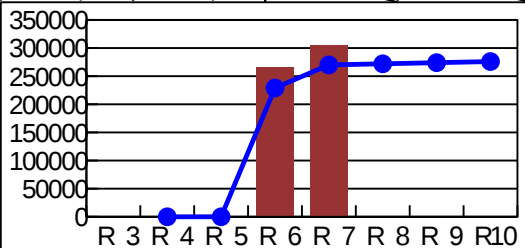
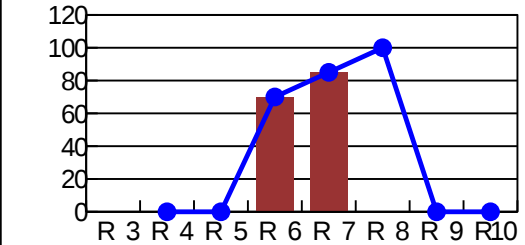
総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-823-2714
	取組方針	文化財の保存と活用		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	高松城跡整備事業			

【事業全体概要】					
事業概要	史跡高松城跡保存活用計画に基づき、石垣や披雲閣など各施設の保存修理に努める。天守の復元に向けて資料調査を行い、復元整備に向けた取組を行う。				
8年度概要	披雲閣耐震補強工事 天守基礎調査 樹木剪定等整備事業 文化財施設の修繕事業 史跡高松城跡整備会議の開催				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	7-	関連根拠法令	文化財保護法

【事業の目的】	
対象（何を）	市民・観光客、整備対象文化財
意図（どのような状態にしたいか）	貴重な文化財である高松城跡において、石垣や櫓の保存修理や建造物の復元整備を行い、史跡高松城跡の価値を顕在化するとともに、来場者数の増加を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
史跡高松城跡の保存修理・復元箇所数	箇所	0	3	3	3	3

【事業の成果】									
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	玉藻公園の年間入園者数	人	目標値	0	229,000	270,000	272,000	272,000	
			実績値	0	266,025	305,372			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	令和7年度の高松城跡（玉藻公園）入園者数は、目標値より13%増となり、計画を上回る結果となった。				（目標達成度） 113.1%				
				（得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	披雲閣（大書院）耐震補強工事の進捗率	%	目標値	0	70	85	100	100	
			実績値	0	70	85			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	施工中の披雲閣（大書院）耐震補強工事について、一部繰越したが、ほぼ計画どおり工事を進めた。				（目標達成度） 100.0%				
				（得点） 35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	118,609	107,704	177,320	175,387
(事業費)	[千円]	96,028	84,544	153,332	151,399
(職員人件費)	[千円]	22,581	23,160	23,988	23,988

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	披雲閣耐震補強工事 仮設ヤード撤去工事 松平家近代資料調査 天守基礎調査 活用事業 四阿改修工事 本丸南面石垣等き損対応 その他	7 2 , 3 0 3 千円 3 0 , 1 5 9 千円 3 , 9 7 5 千円 0 千円 1 2 , 6 2 8 千円 2 3 , 1 7 2 千円 2 , 4 2 1 千円 8 , 6 7 4 千円 6 3 , 4 5 5 千円 (R 6 → 7 繰越)	総額	153,332	
			特定財源	国	53,313
				県	0
				市債	68,800
				他	15,520
			一般財源	15,699	
			令和 8 年度	披雲閣耐震補強工事 天守基礎調査 樹木剪定等整備事業 文化財施設の修繕事業 史跡高松城跡整備会議の開催	7 3 , 6 4 4 千円 1 8 , 9 6 1 千円 1 1 , 0 4 1 千円 3 9 , 9 5 1 千円 7 , 8 0 2 千円 3 6 , 5 7 3 千円 (R 7 → 8 繰越)
特定財源	国	42,944			
	県	0			
	市債	66,700			
	他	0			
一般財源	41,755				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
令和7年度に予定していた、披雲閣大書院耐震補強工事及び天守基礎調査業務は一部翌年度に繰り越したが、それ以外の事業は計画どおり進めた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

「史跡高松城跡保存活用計画」の中で位置付けた各事業を推進していく。
特に、重要文化財披雲閣の耐震補強は、利用者の安全確保の上で最重要課題であり、早急かつ着実に実施する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策		文化芸術の創造と継承		電話番号	087-861-4520
	取組方針		文化財の保存と活用		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		歴史資料館常設展事業			

【事業全体概要】

事業概要	企画展・収蔵品展・ロビー展の開催 高松の歴史や文化に関わる資料の収集・保存 収蔵資料の整理調査と収蔵品システムへの登録・公開 ボランティア団体との連携によるサービスの充実				
8年度概要	出張パネル展示等 3展程度 資料整備等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	博物館法

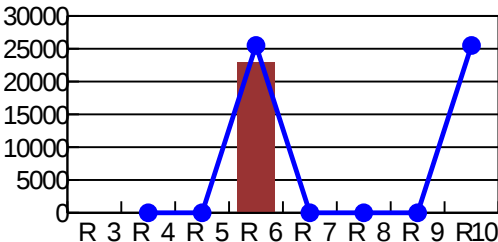
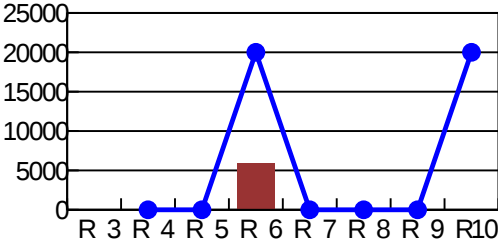
【事業の目的】

対象（何を）	小学生以上の一般市民
意図（どのような状態にしたいか）	本市の歴史や文化を学ぶ施設として郷土の文化遺産を継承し、調査の成果や情報を発信することにより、本市の歴史、考古、民俗等に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	展覧会開催本数	本	0	10	7	0	0
	収蔵品システム登録資料数	点	0	57,509	2,603	500	500

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)				単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	展覧会観覧者数				人	目標値	0	25,500	0	0	0	
						実績値	0	22,862	0			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）											
	サンクリスタル高松改修工事に伴う休館のため、従来の数値目標は設定できないが、代替として出張展示を行い、観覧者の獲得に努めている。リニューアルオープンにより本来の事業が再開可能となった段階で、改めて成果指標を設定する。				(目標達成度)							
(得点)												
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)				単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	収蔵品システムHPアクセス数				回	目標値	0	20,000	0	0	0	
						実績値	0	5,928	0			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）											
	サンクリスタル高松改修工事に伴い、資料の撮影や調査が制限されており、新規コンテンツの拡充が困難であるとともに、検索後の実物の閲覧ができないことから目標は設定できない。資料撮影・調査環境が確保できた段階で、改めて成果指標を設定する。				(目標達成度)							
(得点)												

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)	
トータルコスト	[千円]	11,712	11,535	10,110	10,623	
	(事業費)	[千円]	4,185	3,815	2,114	2,627
	(職員人件費)	[千円]	7,527	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	企画展等 6 展 ロビー展等 1 展 資料整備等	企画展等関連費 2 6 2 千円 資料整備費 1 , 8 5 2 千円	総額	2,114	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	92
			一般財源	2,022	
令和 8 年度	出張パネル展示等 3 展程度 資料整備等	出張パネル展等関連費 4 3 0 千円 展示物品等管理経費 4 0 千円 収蔵品システム運営費 1 , 3 3 8 千円 資料整備関連費 8 1 9 千円	総額	2,627	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	50
			一般財源	2,577	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	24 / 30 (80 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

展覧会については、出張パネル展示を実施することで継続している。常設展のリニューアルに向けた展示構成の検討にも着手している。収蔵品システムについては、資料撮影等の制限により新規コンテンツの拡充が難しい状況にあるものの、検索や閲覧の利便性を高めるため公開・非公開の基準の再検討などを進めている。より一層、内容の充実とともに、システムの利便性について周知を行う必要がある。

今後、計画しているサンクリスタル高松の改修工事において、利便性の高い施設で、より効果的な事業ができるようリニューアルの実施に取り組むものとする。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	スポーツ振興課
	施策		スポーツの振興		電話番号	087-839-2626
	取組方針		スポーツに親しむ環境の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		パラスポーツ推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	障がい者のスポーツ推進を図るため、身近な場所で気軽にスポーツを実施することができる環境づくりやパラスポーツ大会の誘致等を通じて、障がい者のスポーツ人口の増大と競技力の向上に取り組む。				
8年度概要	・日本デフバドミントン協会強化合宿 ・ボッチャ交流大会開催委託料（障がい福祉課分）				
重点取組事業		市長マニフェスト	7-	関連根拠法令	スポーツ基本法

【事業の目的】

対象（何を）	市内の障がい者
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者のスポーツ人口の増加及び競技力の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
パラスポーツ用品の貸出件数	件	0	78	107	120	120
パラスポーツ大会及び合宿誘致件数	件	0	2	2	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	パラスポーツの振興に関するイベント件数	件	目標値	0	18	19	20	20
			実績値	0	31	22		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	イベント件数は目標に達しなかったが、各地域等で体験イベントを実施、啓発することにより、障がいのある方が様々なスポーツを知り、スポーツを気軽に楽しむ機会を提供することができ、競技力向上、競技人口増につながった。	(目標達成度) 115.8%						
			(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	38,109	38,599	31,056	815
(事業費)	[千円]	1,979	9,263	671	815
(職員人件費)	[千円]	36,130	29,336	30,385	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・テニス用ラインテープ (カラーリングコート用) ・タンDEM自転車点検整備費 ・デフバドミントン強化合宿体育館使用料 ・パラセーリング全日本選手権大会開催費負担金 ・ボッチャ交流大会開催委託料 (障がい福祉課分)	3 1 千円 2 5 千円 1 1 0 千円 2 0 0 千円 3 0 5 千円	総額	671	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	671	
令和 8 年度	・日本デフバドミントン協会強化合宿 ・ボッチャ交流大会開催委託料 (障がい福祉課分)	4 9 0 千円 3 2 5 千円	総額	815	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	815	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

競技大会や合宿誘致を契機とした交流事業や各地域等でのパラスポーツ体験会の開催を今後も継続的に進めていく。
また、身近な場所で気軽にスポーツを実施することができる環境づくりに取り組む。

定期的なパラスポーツ大会や合宿誘致に努め、これらを契機としたパラスポーツ体験や交流事業を実施するとともに、パラスポーツの裾野拡大に向け、地域でのパラスポーツの普及・啓発に注力する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	スポーツ振興課
	施策		スポーツの振興		電話番号	087-839-2626
	取組方針		スポーツに親しむ環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		市民スポーツ活動推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	生涯スポーツの振興を図るため、（公財）高松市スポーツ協会 コミュニティスポーツ専門部及び健康・体力づくり専門部等と連携、支援する中で、各種事業を展開するとともに、（公財）高松市スポーツ協会 競技スポーツ専門部等への支援を通じて、競技力の向上に取り組んでいる。また、青少年のスポーツ振興を図るため、（公財）高松市スポーツ協会 高松市スポーツ少年団と事業を実施するなど連携・支援を行っている。 また、本市が委嘱しているスポーツ推進委員は、スポーツに関する指導・助言やスポーツの行事の企画運営、行政との連絡調整などの活動を行っている。				
8年度概要	スポーツ推進審議会委員の報酬（11人×2回） スポーツ推進委員の報酬・研修会負担金等（86人×26回） 生涯スポーツ推進費 スポーツイベント開催負担金・補助金 スポーツ協会補助金				
重点取組事業		市長マニフェスト	7-	関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	小学生以上の市民
意図（どのような状態にしたいか）	地域住民に対しては、各小学校区に2人ずついるスポーツ推進委員を中心として、スポーツの振興を図る。 主催6大会の参加チーム数を増やす。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	主催 6 大会の大会開催日数	日	0	6	6	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	主催 6 大会参加者チーム数	チーム	目標値 実績値	0 0	120 71	120 91	120	120
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	高松市スポーツ推進委員を通じて各地区住民への参加を促したことから、参加者チーム数は前年度から増加したが、目標値比 75.8%にとどまった。	(目標達成度)		75.8%				
		(得点)		27点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	64,404	67,025	67,112	52,281
(事業費)	[千円]	51,909	49,655	49,121	34,290
(職員人件費)	[千円]	12,495	17,370	17,991	17,991

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	スポーツ推進審議会委員の報酬 (1 1 人 × 1 回) スポーツ推進委員の報酬・研修会負担金等 (9 1 人 × 2 6 回) 生涯スポーツ推進費 スポーツイベント開催負担金・補助金 スポーツ協会補助金 サポート高松トライアスロン大会負担金	6 6 千円 1 3 , 6 6 8 千円 7 , 6 0 6 千円 5 , 8 9 7 千円 6 , 8 8 4 千円 1 5 , 0 0 0 千円	総額	49,121	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	3,823
			一般財源	45,298	
令和 8 年度	スポーツ推進審議会委員の報酬 (1 1 人 × 2 回) スポーツ推進委員の報酬・研修会負担金等 (8 6 人 × 2 6 回) 生涯スポーツ推進費 スポーツイベント開催負担金・補助金 スポーツ協会補助金	1 4 6 千円 1 5 , 2 7 2 千円 7 , 7 3 0 千円 4 , 2 5 8 千円 6 , 8 8 4 千円	総額	34,290	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	1,634
			一般財源	32,656	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～ 100%)	B	総合点 (率)	76 / 100 (76 %)	今後の方向性	改善
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

参加資格要件を緩和する等により、参加チーム数の増加に努めている。

新規参加チーム数の増加に努め、更に既存事業内容についての見直しを行い、事業の改善・継続を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	スポーツ振興課
	施策	スポーツの振興		電話番号	087-839-2626
	取組方針	スポーツに親しむ環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	学校体育施設開放事業			

【事業全体概要】

事業概要	本事業は、昭和40年に子ども達に安全な遊び場を提供しようとの配慮から、休業中の校庭開放事業として始まり、昭和47年から一般市民を対象とするスポーツ・レクリエーションの振興を狙いとする学校開放事業として開始し、昭和50年には「高松市学校体育施設開放規則」を制定し、市内全小学校の体育施設を自主管理方式で無料開放している。一方、中学校については、昭和48年から夜間開放事業を開始し、地域性、施設面積等を勘案して、現在、体育館10校、運動場5校の指定校方式で開放を行っている。平成14年度からは、受益者負担の原則に基づき、電気料の実費相当分を使用料として徴収している。				
8年度概要	・管理謝金 ・開放施設電気料 ・屋外夜間照明等施設修繕工事費 ・屋外夜間照明設備LED化調査業務 ・その他				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市立学校の管理運営に関する規則、高松

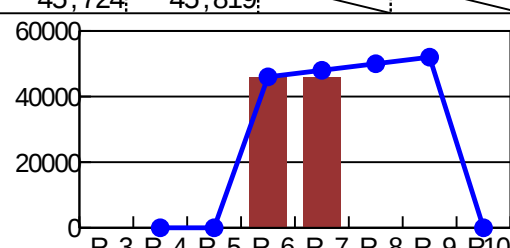
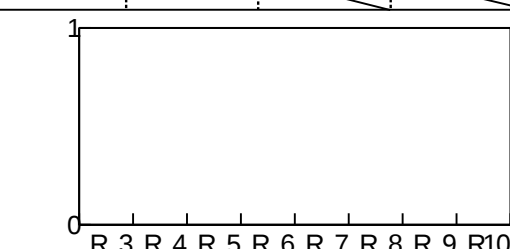
【事業の目的】

対象（何を）	小学校体育施設開放の利用者...校区内住民で構成される10名以上の団体 中学校体育施設開放の利用者...市内在住又は勤務する18歳以上(高校生以下除く)10名以上で構成される団体
意図（どのような状態にしたいか）	学校体育施設をスポーツ・レクリエーションの場として開放することで、市民のスポーツ実施率の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R5	R6	R7	R8	中期目標 R8
中学校体育館等の開放校数	校	0	15	15	15	15

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	中学校体育施設開放利用者数(延べ人数)	人	目標値 実績値	0 0	46,000 45,724	48,000 45,819	50,000	50,000	
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	成人の方を対象にスポーツ・レクリエーション活動のために開放(夜間)しており、利用者の数は増加傾向にある。	(目標達成度)		95.5%					
		(得点)		33点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値 実績値						
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
		(目標達成度)							
		(得点)							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	22,702	32,442	21,851	34,566
(事業費)	[千円]	15,175	24,722	13,855	26,570
(職員人件費)	[千円]	7,527	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・管理謝金 ・開放施設電気料 ・屋外夜間照明等施設修繕工事費 ・その他	・ 6 , 9 7 7 千円 ・ 5 , 2 1 8 千円 ・ 8 7 2 千円 ・ 7 8 8 千円	総額	13,855	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	4,135
一般財源		9,720			
令和 8 年度	・管理謝金 ・開放施設電気料 ・屋外夜間照明等施設修繕工事費 ・屋外夜間照明設備 L E D 化調査業務 ・その他	・ 7 , 3 0 0 千円 ・ 5 , 2 1 0 千円 ・ 2 , 5 0 0 千円 ・ 1 1 , 0 0 0 千円 ・ 5 6 0 千円	総額	26,570	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	9,900
				他	4,647
一般財源		12,023			

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	3	一部結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
市民が気軽に利用できる体力づくりや生涯スポーツの場を提供し、市民スポーツの振興に寄与した。前年度と比較して、利用者数は増加しており、継続して利用者数の拡大を目指す。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

学校体育施設開放事業の利便性を高めることで、施設利用者数の増加を図るとともに、受益者負担の観点からの検討を継続する。また、中学校部活動の地域展開に併せて運用方法の見直しを検討する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	スポーツ振興課
	施策	スポーツの振興		電話番号	087-839-2626
	取組方針	スポーツを通じた地域の活性化		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	地域密着型トップスポーツチーム支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市から全国への情報発信を始め、市民のふるさと意識の高揚や、スポーツ振興を通じた市民の健康増進等を図るため、地域密着型トップスポーツチーム（複数の都道府県にまたがって活動するリーグに所属し、地域に拠点を置くプロ若しくはこれに類したスポーツチーム）を支援する。				
8年度概要	・練習、教室の施設使用料の補助 ・児童生徒等観戦誘致委託 ・地域密着型スポーツ活用協議会負担金 ・高松市ホームタウンデー開催事業委託 ・その他（ユニフォームへの市ロゴマーク掲載料支援・優秀選手表彰負担金等）				
重点取組事業		市長マニフェスト	7-	関連根拠法令	

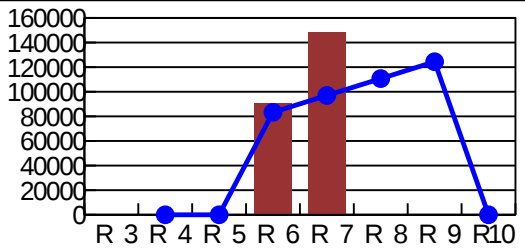
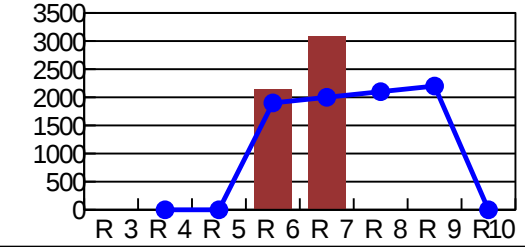
【事業の目的】

対象（何を）	地域密着型トップスポーツチーム （香川オリーブガイナース、カマタマーレ讃岐、香川ファイブアローズ、香川アイスフェローズ）
意図（どのような状態にしたいか）	地域密着型トップスポーツチームの認知度を高め、観客動員数の増加を図る。 地域におけるスポーツ教室の実施により、地域の活性化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
施設優先利用回数	回	0	943	837	600	600

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	地域密着型トップスポーツチームのホームゲーム観客数	人	目標値	0	83,300	97,000	110,700	110,700
			実績値	0	90,459	148,626		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	地域密着型トップスポーツチームの全ての観戦者数が増加した。		（目標達成度） 153.2% （得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	地域密着型トップスポーツチームの市内教室参加者数	人	目標値	0	1,900	2,000	2,100	2,100
			実績値	0	2,145	3,078		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	各チームによる教室等が開催され、目標値を上回った。		（目標達成度） 153.9% （得点） 35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	22,891	22,377	22,488	11,118
(事業費)	[千円]	11,224	10,411	10,094	11,118
(職員人件費)	[千円]	11,667	11,966	12,394	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・練習、教室の施設使用料の補助 ・児童生徒等観戦誘致委託 ・地域密着型スポーツ活用協議会負担金 ・高松市ホームタウンデー開催事業委託 ・その他(ユニフォームへの市ロゴマーク掲載料支援・優秀選手表彰負担金等)	1,900千円 38千円 6,153千円 1,224千円 779千円	総額	10,094	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	144
			一般財源	9,950	
令和 8 年度	・練習、教室の施設使用料の補助 ・児童生徒等観戦誘致委託 ・地域密着型スポーツ活用協議会負担金 ・高松市ホームタウンデー開催事業委託 ・その他(ユニフォームへの市ロゴマーク掲載料支援・優秀選手表彰負担金等)	1,900千円 700千円 6,140千円 1,200千円 1,178千円	総額	11,118	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	700
			一般財源	10,418	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

より効率的かつ効果的な支援を行えるよう、香川県を中心に、県内各市町と連携を図りながら事業に取り組んでいる。
試合の観客数、スポーツ教室の参加者数に関しては大幅に増加した。

市民のスポーツ振興や地域の連帯感の醸成、全国への情報発信など、幅広い効果が期待できるとともに、本市のシンボリック的存在になる可能性がある団体を育成する事業であるため、効果的な支援を行う必要がある。

令和 8年度（ 7年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

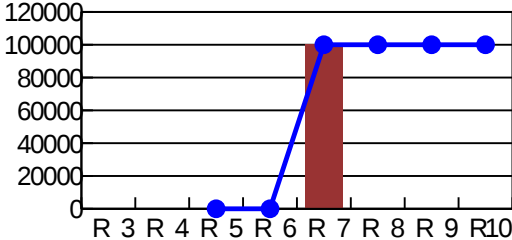
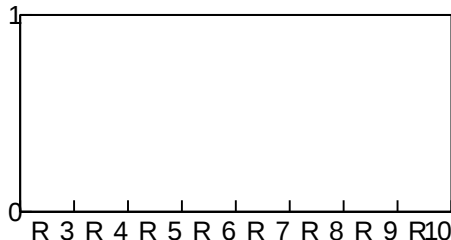
総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	スポーツ振興課
	施策	スポーツの振興		電話番号	
	取組方針	スポーツを通じた地域の活性化		事業期間	～
	事務事業	かがわマラソン開催事業			

【事業全体概要】					
事業概要	「かがわマラソン」のスポーツイベント開催を通じて、スポーツ文化の振興や本市の交流推進を図る。				
8年度概要					
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	7-	関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	大会参加者や観客
意図（どのような状態にしたいか）	交流人口拡大、スポーツ文化の醸成などを目的として、海外・市外から多くの来場者が見込まれる、スポーツイベントを開催する。 イベント開催にあわせて、参加者のおもてなし行事等を行い、県内の地域資源の魅力を発信する。

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
事業の P R 回数	回	0	0	5	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	かがわマラソン沿道応援者数	人	目標値	0	0	100,000	100,000	100,000
			実績値	0	0	100,000		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	初のフルマラソン大会で市民の関心を得ることができ目標を達成することができた。		(目標達成度) 100.0%					
			(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	0	89,403	0
(事業費)	[千円]	0	0	89,403	0
(職員人件費)	[千円]	0	0	0	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	かがわマラソン実行委員会負担金	8 9 , 4 0 3 千円	総額	89,403	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	89,403	
令和 8 年度			総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
初のフルマラソン大会で市民の関心を得ることができ目標を達成することができた。より一層の観客数の増加と大会認知度の向上に取り組む。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
市内外からの観客数の増加に努め、交流人口の拡大や、スポーツへの関心度を高めることに取り組む。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

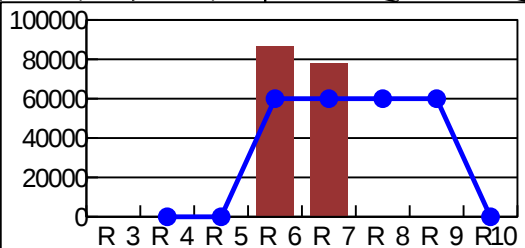
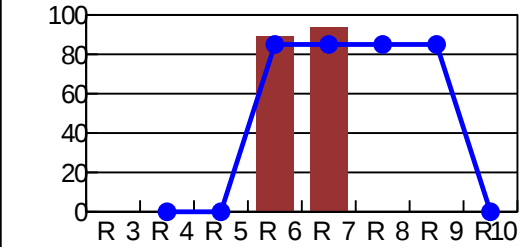
総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	美術館美術課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-823-1711
	取組方針	「アート・シティ高松」の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	美術館運営事業			

【事業全体概要】					
事業概要	市民に優れた芸術を鑑賞できる機会を提供するため、美術館主催展として常設展及び特別展を開催するとともに、エントランスミニコンサートなどの催し物を開催する。				
8年度概要	市民に優れた芸術を鑑賞できる機会を提供するため、魅力的な特別展や収蔵品を活用した常設展を開催するとともに、エントランスミニコンサートなどの催しを開催する。				
	また、塩江美術館では、主に地元ゆかりの美術作家の作品を鑑賞する企画展や常設展を開催するとともに、様々な催し物を開催する。				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	博物館法	

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	魅力ある展覧会の開催により、より多くの来館者に芸術に親しんでもらう。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
高松市美術館主催展覧会会期日数	回	0	481	485	449	449

【事業の成果】									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	高松市美術館主催展入場者数	人	目標値	0	60,000	60,000	60,000	60,000	
			実績値	0	86,376	78,154			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	様々なジャンルの特別展を開催したことにより、世代性別を問わず集客があり目標を大幅に上回った。コレクション展については、瀬戸内国際芸術祭に関連した展示や出品作家らによるイベントの開催に加え、国内外からの観光客により、入館者数が目標を大きく上回った。		(目標達成度) 130.3%	(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	展覧会鑑賞に満足した人の割合	%	目標値	0	85	85	85	85	
			実績値	0	88.9	93.8			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	魅力的な展覧会ラインナップにより、様々な世代の鑑賞者に満足してもらい、高い評価をいただくことができた。		(目標達成度) 110.4%	(得点) 35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	75,637	98,632	107,355	104,555
(事業費)	[千円]	56,819	66,517	75,371	72,571
(職員人件費)	[千円]	18,818	32,115	31,984	31,984

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	市民に優れた芸術を鑑賞できる機会を提供するため、魅力的な特別展や収蔵品を活用した常設展を開催したとともに、エントランスミニコンサートなどの催しを開催した。 また、塩江美術館では、主に地元ゆかりの美術作家の作品を鑑賞する企画展や常設展を開催したとともに、様々な催し物を開催した。	特別展 61,889千円 塩江展示費 1,690千円 常設展 10,031千円 情報提供費 1,761千円	総額	75,371	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	47,938
			一般財源	27,433	
令和 8 年度	市民に優れた芸術を鑑賞できる機会を提供するため、魅力的な特別展や収蔵品を活用した常設展を開催するとともに、エントランスミニコンサートなどの催しを開催する。 また、塩江美術館では、主に地元ゆかりの美術作家の作品を鑑賞する企画展や常設展を開催するとともに、様々な催し物を開催する。	特別展 58,199千円 塩江展示費 1,655千円 常設展 10,775千円 情報提供費 1,942千円	総額	72,571	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	45,985
			一般財源	26,586	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

市民に優れた芸術を鑑賞できる機会を提供するため、美術館主催展として常設展及び特別展を開催するとともに、エントランスミニコンサートなどの催し物を開催した。様々なジャンルの特別展を開催したことにより、世代性別を問わず集客があり目標を大幅に上回った。コレクション展については、瀬戸内国際芸術祭に関連した展示や出品作家らによるイベントを開催したことや、国内外からの観光客が増加したことにより、入館者数が目標を大きく上回った。

事業経費のスリム化に努めるとともに、市民ニーズに即した展覧会事業を開催する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

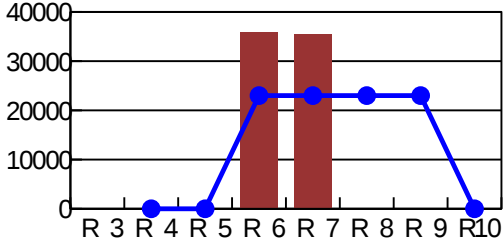
総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	美術館美術課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-823-1711
	取組方針	「アート・シティ高松」の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	美術館資料収集事業			

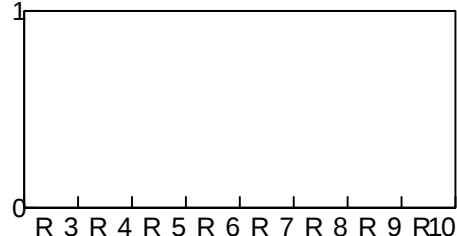
【事業全体概要】					
事業概要	美術品の取得方針に基づき、美術館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入するとともに、リニューアルオープン以降、更に本市の文化芸術の発信拠点の一つとなるべく、より優れた美術品等購入によりコレクションの拡充を図る。また、美術図書及び映像資料を継続的に収集する。				
	本市の文化芸術の発信拠点となるべく、美術館の収集方針に基づき、より優れた美術品を計画的・系統的に購入することによりコレクションを拡充する。また、美術図書も継続的に収集する。				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	博物館法	

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	文化芸術の拠点として、優れた美術作品を購入、展示公開することによって、来館者の満足度が増加する。

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
コレクション展所蔵作品出品点数	点	0	211	248	208	208

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	高松市美術館コレクション展入場者数	人	目標値 実績値	0 0	23,000 35,945	23,000 35,472	23,000	23,000
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	収集した美術品を常設展等で公開している。本年度は、瀬戸内国際芸術祭に関連した展示や関連イベントの開催、インバウンドの増加が要因となり、目標を上回って達成できた。			(目標達成度) 154.2%				
				(得点) 35点				
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
				(得点)				
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	20,217	23,728	21,871	24,015
(事業費)	[千円]	11,937	12,148	11,876	12,021
(職員人件費)	[千円]	8,280	11,580	9,995	11,994

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	本市の文化芸術の発信拠点となるべく、美術館の収集方針に基づき、より優れた美術品を計画的・系統的に購入することによりコレクションを拡充した。 また、美術図書も継続的に収集した。	資料収集費 11,876 千円	総額	11,876	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	11,876	
令和 8 年度	本市の文化芸術の発信拠点となるべく、美術館の収集方針に基づき、より優れた美術品を計画的・系統的に購入することによりコレクションを拡充する。 また、美術図書も継続的に収集する。	資料収集費 12,021 千円	総額	12,021	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	12,021	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

質の高い作品を収蔵できたことに加え、これまでに購入・収蔵してきたコレクションに関わりの深い作品が寄贈され、一層コレクションが充実した。

収集した美術品を常設展等で公開している。本年度は、瀬戸内国際芸術祭に関連した展示や関連イベントの開催、インバウンドの増加が要因となり、目標を上回って達成できた。

効率の良い事業経費を目指すとともに、魅力的な収蔵品の拡充を行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	美術館美術課
	施策		文化芸術の創造と継承		電話番号	087-823-1711
	取組方針		「アート・シティ高松」の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		美術教育普及事業			

【事業全体概要】

事業概要	短期実技講座などを開講し、幅広い美術の表現領域の体験や、鑑賞プログラムを開催する。美術館展覧会の鑑賞教育等学校活動分野への積極的な活用を図るために、サンクリスタル学習参加校を美術館でも受け入れる美術館学習を実施する。				
8年度概要	短期実技講座などを開講し、幅広い美術の表現領域の体験や、鑑賞プログラムを開催する。また、「こどもアトスペース」で未就学児を始め世代を超えた普及プログラムも展開する。美術展鑑賞を学校行事等で活用してもらうために、美術館学習等の実施も積極的に行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	博物館法

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	様々なワークショップ等の開催により、制作を通して、美術の楽しみ方の幅や関心を高めるとともに技術も修得してもらう。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	教育普及プログラム実施回数	回	0	120	111	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	教育普及プログラム参加者数		人	目標値	0	7,700	7,700	7,700	7,700
				実績値	0	11,632	12,511		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	特別展の講演会の参加者数の増加や、こどもアートスペースでのワークショップに多くの参加者があったほか、各イベントの参加者数が好調であったため、目標値を大幅に上回っての達成となった。				(目標達成度) 162.5%				
					(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
					(目標達成度)				
					(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	11,966	16,877	17,086	17,540
(事業費)	[千円]	1,428	1,437	1,094	1,548
(職員人件費)	[千円]	10,538	15,440	15,992	15,992

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	短期実技講座などを開講し、幅広い美術の表現領域の体験や、鑑賞プログラムを開催した。また、「こどもアールスペース」で未就学児を始め世代を超えた普及プログラムも展開した。 美術展鑑賞を学校行事等で活用してもらうために、美術館学習等の実施も積極的に行った。	教育普及費 1,094千円	総額	1,094	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	133
			一般財源	961	
令和 8 年度	短期実技講座などを開講し、幅広い美術の表現領域の体験や、鑑賞プログラムを開催する。また、「こどもアールスペース」で未就学児を始め世代を超えた普及プログラムも展開する。 美術展鑑賞を学校行事等で活用してもらうために、美術館学習等の実施も積極的に行う。	教育普及費 1,548千円	総額	1,548	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	95
			一般財源	1,453	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

特別展の講演会の参加者数の増加や、こどもアートスペースでのワークショップに多くの参加者があったほか、各イベントの参加者数が好調であったため、目標値を大幅に上回った。

経費の見直しを図り事業をスリム化するとともに、参加者の増加を図るため、講座内容の充実を行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策		災害・パンデミックに強い社会の形成		課(室)名	都市計画課
	施策		防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2455
	取組方針		災害に強い社会基盤の整備		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		鉄道施設安全対策事業			

【事業全体概要】

事業概要	今後発生が予想される地震や経年劣化による鉄道施設の被害を未然に防止し、災害発生時における緊急応急活動の機能確保や鉄道利用者の安全確保を図るため、緊急輸送路との交差箇所での耐震対策及び老朽化が認められる施設の長寿命化対策の実施に対し、事業主体である鉄道事業者へ事業費の一部を支援する。				
8年度概要	鉄道施設総合安全対策事業費補助金（鉄道施設緊急耐震対策事業） 鋼板巻き N= 8 本				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	特定鉄道等施設に係る耐震補強に関する省令

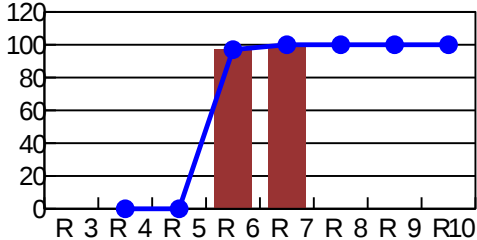
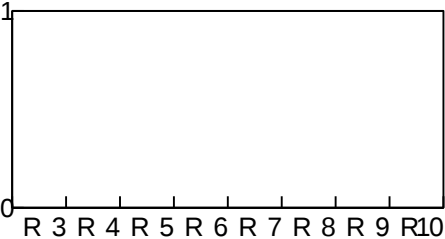
【事業の目的】

対象（何を）	補助対象事業者：鉄道事業者（ＪＲ四国、ことでん） 耐震対策事業：緊急輸送道路と交差する高架橋
意図（どのような状態にしたいか）	緊急輸送道路と交差する鉄道施設の耐震補強及び老朽化施設の長寿命化対策を実施し、災害発生時における緊急応急活動の機能を確保するとともに、鉄道の安全運行及び鉄道利用者の安全確保を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	改良済延長（ＪＲ栗林高架）	m	0	3,673	3,719	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	長寿命化率（事業費ベース）（累計）	%	目標値	0	97	100	100	100
			実績値	0	97	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	栗林架道橋（JR）の高欄改良L = 46 mの施工が完了し、 目標どおり長寿命化が進捗し、7年度をもって栗林架道橋の高 欄改良事業が完了した。	（目標達成度） 100.0%						
（得点） 35点								
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		（目標達成度）						
（得点）								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	34,642	33,425	10,790	12,172
(事業費)	[千円]	32,309	32,113	7,752	8,334
(職員人件費)	[千円]	2,333	1,312	3,038	3,838

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	鉄道施設総合安全対策事業費補助金（老朽化対策事業） 高欄改良 L = 7 1 m	7 , 7 5 2 千円	総額	7,752	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	3,300
				他	0
			一般財源	4,452	
令和 8 年度	鉄道施設総合安全対策事業費補助金（鉄道施設緊急耐震対策事業） 鋼板巻き N= 8 本	8 , 3 3 4 千円	総額	8,334	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	8,334	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

長寿命化対策事業は、高欄 L = 4.6 m の改良実施によって予定どおり事業が進捗し、7 年度をもって栗林架道橋の高欄改良事業が完了した。引き続き、国、県と連携を図り、事務費の一部を事業者に補助することで、鉄道施設の被害の軽減を図る。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

鉄道事業者が取り組む長寿命化対策に、引き続き国・県と連携して支援し、早期の事業完了を促す。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

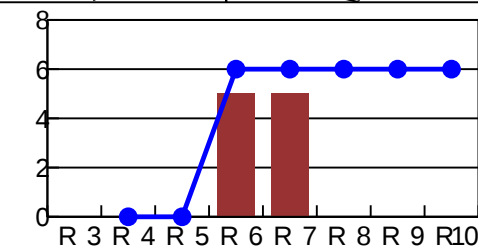
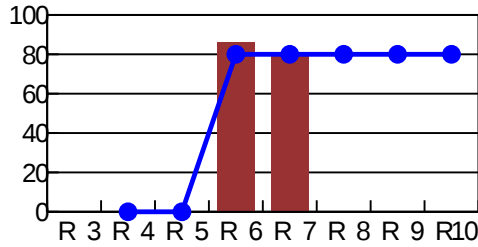
総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	都市計画課
	施策	景観形成の推進		電話番号	087-839-2455
	取組方針	景観の保全と創出		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	美しいまちづくり推進事業			

事業概要	「美しいまちづくり基本計画」に掲げる目標や方針の実現のため、平成24年3月に策定した景観法に基づく「景観計画」を踏まえ、景観形成に大きな影響を及ぼす建築物等に対する規制・誘導に取り組むほか、屋外広告物の規制・誘導内容を見直し、良好な景観の保全・形成・創出や清楚で緑豊かなまちの環境美化など、地域に即した都市空間を創出する。					
8年度概要	美しいまちづくり・景観審議会（2回） まちづくりアドバイザー派遣費等 景観形成助成金 ライトアップ事業委託料等 その他					
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	7-	関連根拠法令	景観法、屋外広告物法、都市計画法など	

事業の目的						
対象（何を）	高松市全域					
意図（どのような状態にしたいか）	高松市全域において、地域に即した美しいまちづくりを推進し、誰もが暮らしたい訪れたいと感じる美しいまちを創出する。					

事業の活動						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
美しいまちづくりアドバイザー制度活用回数	回	0	12	12	14	14

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	景観形成重点地区数(累計)	地区	目標値	0	6	6	6	6
			実績値	0	5	5		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	平成28年4月1日の計画改定により、景観形成重点地区数が5地区となり、現在、地区数増に向けて、検討を進めている。							
			(目標達成度)					
			83.3%					
			(得点)					
			29点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	景観条例に基づく事前協議申出件数	件	目標値	0	80	80	80	80
			実績値	0	86	80		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	事前協議申出件数が80件あり、目標とする件数を達成することができた。							
			(目標達成度)					
			100.0%					
			(得点)					
			35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	53,095	30,735	32,766	89,092
(事業費)	[千円]	34,127	9,119	8,778	65,104
(職員人件費)	[千円]	18,968	21,616	23,988	23,988

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	美しいまちづくり・景観審議会（３回） まちづくりアドバイザー派遣費等 景観形成助成金 景観計画改定業務委託料 その他	1 9 8 千円 2 3 5 千円 0 千円 8 , 0 4 0 千円 3 0 5 千円	総額	8,778	
			特定財源	国	4,020
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	4,758	
令和 8 年度	美しいまちづくり・景観審議会（２回） まちづくりアドバイザー派遣費等 景観形成助成金 ライトアップ事業委託料等 その他	1 3 2 千円 2 2 9 千円 3 , 0 0 0 千円 6 0 , 9 1 4 千円 8 2 9 千円	総額	65,104	
			特定財源	国	31,450
				県	0
				市債	27,400
				他	0
			一般財源	6,254	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

現在、高松市景観計画改定に伴い景観形成重点地区の追加を検討しており、地区数増に向けて、検討を進めている。
また、景観条例に基づく事前協議申出件数は目標を達成しており、引き続き、一定規模以上の建築物等に対して指導・助言を行うことなどにより、良好な景観形成を誘導する。加えて、魅力的な夜間景観形成を進めるため、令和7年11月に夜間景観ガイドラインを策定した。

美しいまちづくりの実現に向けて、市と市民・事業者が適正な役割分担の下に、これら三者が一体となって、地域の魅力や特性を生かしたまちづくりを進めていく必要があることから、美しいまちづくりアドバイザーを活用しながら、良好な都市景観の形成を推進する。さらに、令和7年11月に策定した夜間景観ガイドラインに基づき、官民共創による良好な夜間景観の形成も併せて推進する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	都市計画課
	施策	景観形成の推進		電話番号	087-839-2455
	取組方針	景観の保全と創出		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	屋外広告物対策事業			

【事業全体概要】

事業概要	屋外広告物の適正化については、平成26年度の「屋外広告物条例」改正に伴い、「既存不適格」広告物が発生しており、その改修について、補助金を交付する等、是正に取り組んだ。 「違反広告物」となった令和6年度以降においても、広告主への周知や管理者からの相談対応等により、一定の件数が是正されており、引き続き、その是正に取り組んで行く。				
8年度概要	屋外広告物管理システム その他				
重点取組事業		市長マニフェスト	7-	関連根拠法令	屋外広告物法、屋外広告物条例

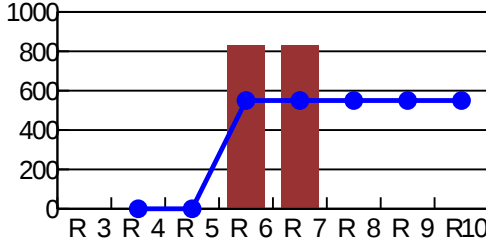
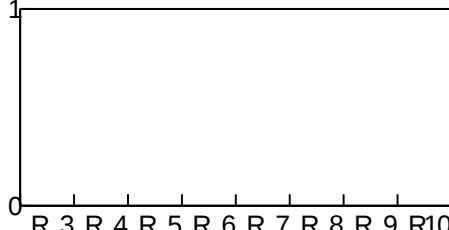
【事業の目的】

対象（何を）	高松市全域
意図（どのような状態にしたいか）	市全域における屋外広告物を適正に管理し、良好な都市景観を形成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
是正指導区域数	区域	0	0	0	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	屋外広告物許可申請受理件数	件	目標値 実績値	0 0	550 830	550 833	550	550
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	屋外広告物許可申請受理件数が833件となり、目標を上回った。	(目標達成度) 151.5%						
		(得点) 35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	32,111	19,243	21,312	21,349
(事業費)	[千円]	4,186	715	922	959
(職員人件費)	[千円]	27,925	18,528	20,390	20,390

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	屋外広告物講習会開催 (1 回) 屋外広告物管理システム その他	3 0 千円 4 5 2 千円 4 4 0 千円	総額	922	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	922
			一般財源	0	
令和 8 年度	屋外広告物管理システム その他	5 2 3 千円 4 3 6 千円	総額	959	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	959
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

「違反広告物」となった令和6年度以降においても、広告主への周知や管理者からの相談対応等により、一定の件数が是正されているが、依然として140件程度の違反広告物が掲出されている。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

市・広告主・管理会社の三者が一体となって違反広告物を減少させ、屋外広告物を適正に掲示することにより、良好な都市景観の形成を推進する。引き続き、違反広告物の是正に取り組んでいく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	機能性の高い都市空間の形成		課(室)名	都市計画課
	施策	コンパクトシティの推進		電話番号	087-839-2455
	取組方針	計画的な土地利用の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	都市構造再構築事業			

【事業全体概要】

事業概要	令和7年6月に改定した多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画に基づき、集約拠点への都市機能の集積と市街地の拡大抑制による、コンパクトで持続可能な都市構造「多核連携型コンパクト・エコシティ」の実現を目指す。				
8年度概要	コンパクト・エコシティ推進懇談会等委員報酬 コンパクト・エコシティ推進懇談会等関連旅費 コンパクトなまちづくり推進協議会総年会費 次期都市計画マスタープラン及び立地適正化計画改定検討等業務委託				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	6-	関連根拠法令	都市計画法、都市再生特別措置法など

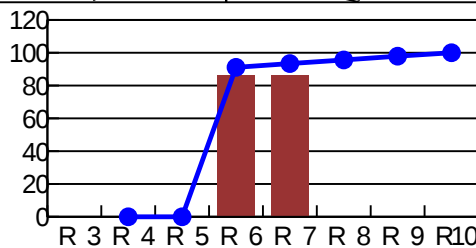
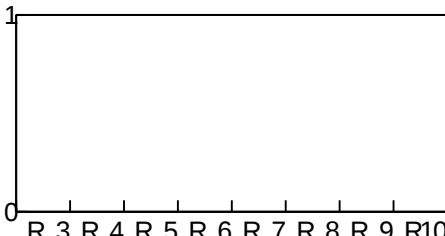
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	人口減少・超高齢社会を見据え、30年、50年後においても、活力を失わず、市民がいきいきと暮らせるよう、集約拠点への都市機能の集積と市街地拡大を抑制し、コンパクトで持続可能なまちづくりを進める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
コンパクト・エコシティ推進計画に掲げる実施済施策数	事業		0	65	65	66	66

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	都市機能誘導区域内の誘導施設の立地率	%	目標値	0	91.1	93.4	95.6	95.6
			実績値	0	86.5	86.5		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	都市機能誘導区域内の誘導施設の立地率について目標に到達していないため、計画の浸透に努める。		（目標達成度） 92.6%					
			（得点） 32点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度）					
			（得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	25,307	12,277	19,156	39,225
(事業費)	[千円]	11,909	3,476	7,242	11,719
(職員人件費)	[千円]	13,398	8,801	11,914	27,506

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	コンパクト・エコシティ推進懇談会等委員報酬 コンパクト・エコシティ推進懇談会等関連旅費 コンパクトなまちづくり推進協議会総会年会費 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画改定検討等業務委託	1 8 0 千円 1 7 1 千円 3 0 千円 6 , 8 6 1 千円	総額	7,242	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	7,242	
令和 8 年度	コンパクト・エコシティ推進懇談会等委員報酬 コンパクト・エコシティ推進懇談会等関連旅費 コンパクトなまちづくり推進協議会総会年会費 次期都市計画マスタープラン及び立地適正化計画改定検討等業務委託	4 7 8 千円 5 6 3 千円 3 0 千円 1 0 , 6 4 8 千円	総額	11,719	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	11,719	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

人口減少・超高齢社会を見据え、30年、50年後においても、活力を失わず、市民がいきいきと暮らせるよう、集約拠点への都市機能の集積と市街地拡大を抑制し、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めるため、令和6年3月に策定された、第7期高松市総合計画等を踏まえ、都市計画マスタープラン及び関連計画の見直しを行った。

今後とも、立地適正化計画やコンパクト・エコシティ推進計画に基づき、人口減少・超高齢社会を見据え、30年後、50年後においても活力を失わず市民がいきいきと暮らせるコンパクトで持続可能なまちづくりを実現するために継続して事業を推進していく。

また、令和10年度までを計画期間とする現行の都市計画マスタープランについては、個別に策定している立地適正化計画、コンパクト・エコシティ推進計画及び総合都市交通計画等と統合し、令和10年を始期年次とする次期マスタープランを策定する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

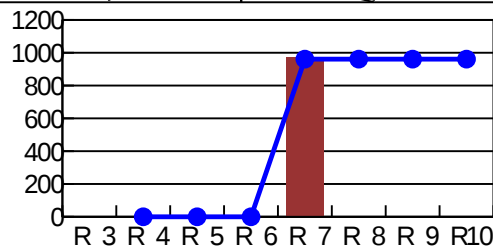
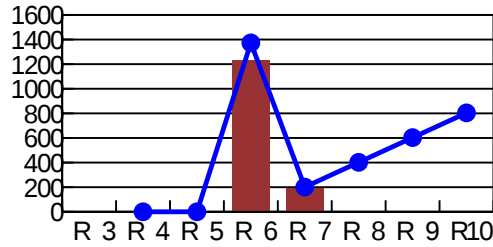
総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	機能性の高い都市空間の形成		課(室)名	都市計画課
	施策	中心市街地の活性化		電話番号	087-839-2455
	取組方針	誘客力と回遊性の向上		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	ウォーカブルシティ推進事業			

【事業全体概要】					
事業概要	当該事業は、中心市街地を取り巻く環境の変化に対応し、「にぎわいと活力ある」まちづくりや、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを目指し、高松市中心市街地活性化基本計画や、サポート高松地区都市再生整備計画に基づき、ハード・ソフト両面から各種施策・事業に取り組んでいる。				
8年度概要	サポート高松地区におけるプロムナード化等の整備 市街地再開発事業（D E 街区）に対する補助金交付 第 4 期中心市街地活性化基本計画推進				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	2-	関連根拠法令	中心市街地の活性化に関する法律など

【事業の目的】	
対象（何を）	中心市街地活性化基本計画の対象となる地区
意図（どのような状態にしたいか）	サポートエリアや中央商店街等を含む中心市街地において、多様な機能が集積し、居心地が良く、歩きたくなるようなまちを目指して、県立アリーナ周辺の環境整備や丸亀町 D E 街区の市街地再開発等に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
第 3、 4 基本計画掲載事業のうち完了又は実施中の事業	事業	0	43	49	56	56

【事業の成果】									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	中心市街地内の宿泊者数	千人	目標値	0	0	961	961	961	
			実績値	0	0	969.5			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	令和7年度の中心市街地の宿泊者数については、瀬戸内国際芸術祭の開催や香川県立アリーナの開館の影響もあり、区域内に立地する宿泊施設の年間宿泊者数は目標961千人に対し約970千人となり目標を達成することができた。								
			(目標達成度)	100.9%					
			(得点)	35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	中心市街地の社会動態	人	目標値	0	1,373	201	402	402	
			実績値	0	1,231	193			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	令和7年度の中心市街地の社会動態については、市全体の人口が減少傾向にあるなかでも193人増加し、中心市街地の社会動態は増加傾向だが、目標値に対し達成度19.2%と目標達成はできなかった。								
			(目標達成度)	96.0%					
			(得点)	34点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	361,217	212,353	223,981
(事業費)	[千円]	0	306,868	160,699	167,129
(職員人件費)	[千円]	0	54,349	51,654	56,852

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	サンポート高松地区におけるプロムナード化等の整備 市街地再開発事業（ＤＥ街区）に対する補助金交付 第４期中心市街地活性化基本計画策定等	１３７，６２１千円 １６，３３１千円 ６，７４７千円	総額 160,699		
			特定財源	国	18,876
				県	8,340
				市債	73,300
				他	360
			一般財源 59,823		
令和 8 年度	サンポート高松地区におけるプロムナード化等の整備 市街地再開発事業（ＤＥ街区）に対する補助金交付 第４期中心市街地活性化基本計画推進	１２５，０００千円 ３４，７２２千円 ７，４０７千円	総額 167,129		
			特定財源	国	24,010
				県	17,760
				市債	66,300
				他	360
			一般財源 58,699		

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	3	一部結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	95 / 100 (95 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

令和7年4月に策定した第4期中心市街地活性化計画に基づく各種施策・事業の進行管理を行い中心市街地の魅力を向上させることにより回遊・滞在に里まちのにぎわいを向上させる必要がある。また、香川県立アリーナや大学、外資系ホテル等、様々な施設整備が進むサンポートエリアにおいて、にぎわいを創出しつつ一帯的なエリアマネジメントを効率よく行う必要がある。

居心地が良く、歩きたくなるような魅力的な街づくりを推進するためには、サンポートエリアにおいてウォークブルな空間形成を一層進めていく必要がある。そのためには、歩行者中心の快適な回遊環境を実現するための歩道整備や滞留空間の創出、景観や賑わいを高めるインフラ整備を計画的に進めることが重要である。あわせて、こうした取り組みを持続的かつ効果的に推進していくためには、行政だけでなく民間事業者や地域住民など多様な主体が連携する体制の構築が不可欠である。このため、官民連携によるエリアマネジメント団体の組成を進め、地域の価値向上や賑わい創出に向けた取組を一体的に推進していく必要がある。

令和 8年度（ 7年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	都市計画課
	施策	地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2455
	取組方針	公共交通ネットワークの再構築		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	公共交通維持改善事業（都市計画課分）			

【事業全体概要】

事業概要	公共交通を維持し、良好な交通環境を確保するため、鉄道事業者が実施するバリアフリー化事業費の一部を支援する。				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	鉄道施設総合安全対策事業費補助金交付要綱

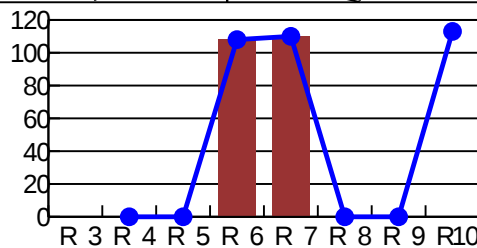
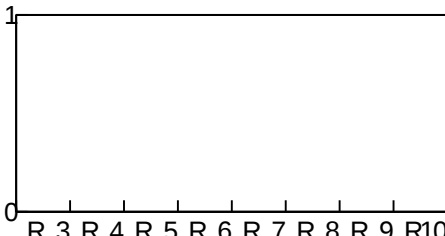
【事業の目的】

対象（何を）	鉄道事業者（琴電・ＪＲ）が管理する施設
意図（どのような状態にしたいか）	鉄道事業者（琴電・ＪＲ）が実施する駅施設のバリアフリー化（スロープ・点字ブロック・手摺・多目的トイレ等の設置）の推進を目的とし、補助金を交付する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助金の交付件数	件	0	2	2	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	バリアフリー施設数（累計）	施設	目標値	0	108	110	0	0	
			実績値	0	108	110			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
令和7年度は、ことでん太田駅・仏生山駅に運行案内発車標を設置し、目標どおりバリアフリー化が完了した。 なお、前年度からの繰越事業である仏生山駅については、バリアフリー化が完了した。 （令和7年度繰越明許事業費：4,891,666円）				（目標達成度） 100.0%					
				（得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値						
			実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
					（目標達成度）				
（得点）									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	9,533	7,965	11,068	0
(事業費)	[千円]	7,200	6,653	9,709	0
(職員人件費)	[千円]	2,333	1,312	1,359	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	公共交通旅客施設バリアフリー化整備事業費補助金 ことでん仏生山駅 ことでん太田駅	4 , 8 9 2 千円 4 , 8 1 7 千円	総額	9,709	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	9,709	
令和 8 年度			総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

新型コロナウイルス感染症が長期化した影響を受け、事業主体となる鉄道事業者の経営状況が悪化し、バリアフリー化に要する経費の捻出が課題となっており、事業者とともに、乗降客数等から整備の必要性、優先順位を見定め、法に基づき、国、県、市が適切に財政的な支援を行うことで、遅滞なく事業の推進を図る。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

駅施設等のバリアフリー化を引き続き推進し、公共交通利用者の利便性向上を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	機能性の高い都市空間の形成		課(室)名	デジタル社会基盤整備室
	施策	コンパクトシティの推進		電話番号	087-839-2455
	取組方針	計画的な土地利用の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	地理空間データ基盤整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	当該事業は、スマートシティを推進する上で課題となっている、行政の管理する紙の台帳類（ベース・レジストリ）について、「業務のBPR」と「データ連携による新たなサービスの創出」を両輪とした持続性のある段階的なデジタル化を展開し、都市経営視点でのDXの推進及び都市政策の施策感度の向上を目指す。				
8年度概要	GIS等保守管理費 WebAPI保守管理費 地理空間データ基盤機能拡充・アプリケーション開発費				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	6-	関連根拠法令	都市計画法、測量法

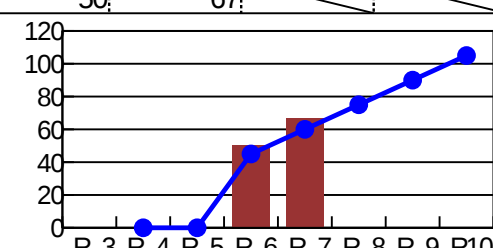
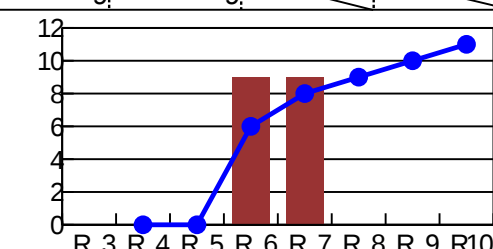
【事業の目的】

対象（何を）	行政が管理しなければならないインフラ関連の台帳類（ベース・レジストリ）
意図（どのような状態にしたいか）	「業務のBPR」と「データ連携による新たなサービスの創出」を両輪とした持続性のある段階的なデジタル化を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
地理空間データ基盤に登載する目的で協議した団体数	団体	0	30	39	30	30

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	地理空間データ基盤に登載した地図情報等の数(累計)			件	目標値	0	45	60	75	75
					実績値	0	50	67		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	庁内各課や民間事業者との連携による地理空間データ基盤を活用した新たなサービスの提供に伴い、地理空間データ基盤に登載した地図情報等が67件となり、目標を上回った。			(目標達成度) 111.7%						
(得点) 35点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	地理空間データ基盤上で提供されるサービス数(累計)			件	目標値	0	6	8	9	9
					実績値	0	9	9		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	地理空間データ基盤を活用したアプリケーション数は、令和6年度に目標を上回る9件となっており、令和7年度においては、基盤を活用した業務改善、地域課題の解決に向けて更なる協議を進めた。			(目標達成度) 112.5%						
(得点) 35点										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	156,207	52,305	56,574	123,290
(事業費)	[千円]	123,088	12,161	17,793	84,509
(職員人件費)	[千円]	33,119	40,144	38,781	38,781

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	G I S等保守管理費 W e b A P I保守管理費	4 , 9 7 2千円 1 2 , 8 2 1千円	総額	17,793	
			特定財源	国	0
				県	380
				市債	0
				他	100
一般財源		17,313			
令和 8 年度	G I S等保守管理費 W e b A P I保守管理費 地理空間データ基盤機能拡充・アプリケーション開発費	4 , 8 6 2千円 1 4 , 9 2 8千円 6 4 , 7 1 9千円	総額	84,509	
			特定財源	国	41,714
				県	766
				市債	16,800
				他	0
一般財源		25,229			

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
地理空間データ基盤を活用した災害対策アプリケーションの令和８年度からの本格運用に向け、災害対策業務の運用について見直しを行い、災害対応の迅速化、業務効率化を図った。基盤に集約されるデータの増加により、基盤機能の強化やアプリケーションの高度化を図るとともに、基盤の活用促進に取り組む必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
今後、既に実装済みの基盤の機能拡充を図るとともに、アプリケーションの高度化に取り組み、業務改善及び利便性向上を図る。また、県内自治体における基盤やサービスの共同利用を促進することで、分野横断的・広域的サービスを提供し、県域での業務のＢＰＲと持続性の高い地域課題の解決に取り組む。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策		安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	交通政策課
	施策		安全・安心な暮らしの確保		電話番号	087-839-2138
	取組方針		交通安全対策の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		違法駐車防止対策事業			

【事業全体概要】

事業概要	違法駐車を防止することにより、道路交通の円滑化を図り、交通事故防止をもって市民の安全で快適な生活環境を確保する。				
8年度概要	違法駐車防止啓発街頭キャンペーン 2 回実施 違法駐車防止重点地域における違法駐車調査 4 8 回実施				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市違法駐車防止に関する条例、同施行

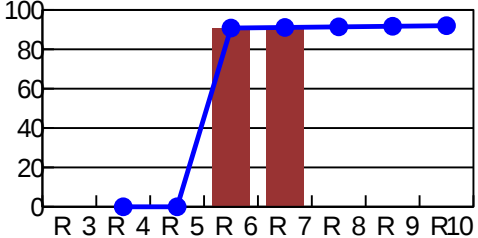
【事業の目的】

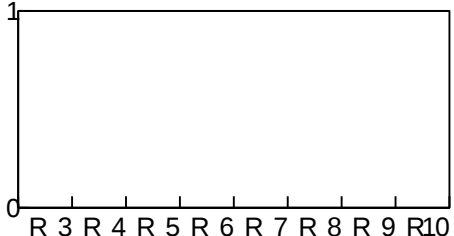
対象（何を）	違法駐車防止重点区域における違法駐車車両
意図（どのような状態にしたいか）	違法駐車防止重点地域の違法駐車を減少させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
違法駐車防止啓発キャンペーン開催回数	件	0	2	2	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	重点地域街頭活動実施前後の違法駐車減少率	%	目標値	0	90.8	91.1	91.4	91.4
			実績値	0	90.7	90.1		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	違法駐車防止キャンペーンを始め、周知・啓発活動を行ったが、目標値を達成することはできなかった。令和7年度の重点地域街頭活動実施後の1日当りの平均違法駐車台数は17台で、実施前の平成5年度の173台と比べて、90.1%減少している。	(目標達成度)		98.9%				
(得点)		35点						

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	527	618	800	720
	(事業費)	0	0	0	0
	(職員人件費)	527	618	800	720

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	違法駐車防止啓発街頭キャンペーン2回実施 違法駐車防止重点地域における違法駐車調査48回実施	0千円 0千円	総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	
令和 8 年度	違法駐車防止啓発街頭キャンペーン2回実施 違法駐車防止重点地域における違法駐車調査48回実施	0千円 0千円	総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

違法駐車防止のための啓発街頭キャンペーンや、違法駐車防止重点地域に指定する５路線及び周辺８路線を含めた市街地中心部において、定期的に違法駐車状況を調査するとともに、荷捌き駐車スペースやタクシーベイの利用促進に向けた周知を行った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入） 継続して、啓発街頭キャンペーンや違法駐車防止重点地域における調査を行い、違法駐車防止に努める。 また、令和7年3月に改定した「高松市駐車対策基本計画」に基づき、低利用率の駐車場の集約化を行い、機能拡充について検討する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	交通政策課
	施策	地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2138
	取組方針	公共交通ネットワークの再構築		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	公共交通維持改善事業（交通政策課分）			

【事業全体概要】

事業概要	生活バス路線への運行補助や離島航路運航維持費補助などを行うことで、公共交通の維持や利便性の向上を図り、良好な交通環境を確保する。 ・生活バス路線補助（路線バス及びコミバス等に対する運行補助等） ・I r u C aシステム運用支援（機器補助、割引差額補助） ・離島航路運航維持費補助 ・UDタクシー導入促進事業補助				
8年度概要	生活バス路線への助成、 コミュニティバス施設等管理費、 離島航路への助成、 パークアンドライド駐車場管理費、 都市交通問題対策事業費、 U Dタクシー導入促進、 公共交通旅客施設改修事業費				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市生活交通路線維持費等補助金交付要綱

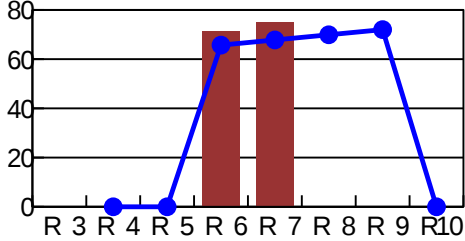
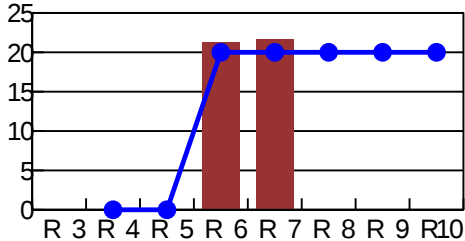
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	「公共交通の利便性の向上」及び「地域主導型の持続可能な公共交通の構築」を図ることで、移動しやすく利用しやすい交通環境を確保し、公共交通に対する満足度を高める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
コミュニティバス等利用促進協議会開催回数	回	0	7	5	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	パークアンドライド駐車場利用率	%	目標値	0	65.7	67.8	69.9	69.9
			実績値	0	71.4	74.9		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	当該指標は、過去の実績を基に、毎年度一定の利用者増を目標に掲げている。令和7年度の駐車場利用率は、74.9%と目標を達成できた。			（目標達成度） 110.5%		（得点） 35点		
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	コミュニティバス等の収支率（平均値）	%	目標値	0	20	20	20	20
			実績値	0	21.3	21.7		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	各地区のコミュニティバス等の利用促進協議会等において、利便性の向上や効率的な運営について協議し、取組を行ったことなどにより目標を達成できた。			（目標達成度） 108.5%		（得点） 35点		

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	158,602	151,460	137,949	167,443
(事業費)	[千円]	138,354	136,715	121,877	148,413
(職員人件費)	[千円]	20,248	14,745	16,072	19,030

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	生活バス路線への助成、 コミュニティバス施設等管理費、 離島航路への助成、 パークアンドライド駐車場管理費、 都市交通問題対策事業費、 ＵＤタクシー導入促進	6 4 , 1 1 2 千円 7 2 3 千円 4 5 , 3 5 5 千円 5 , 6 3 9 千円 3 , 9 1 8 千円 2 , 1 3 0 千円	総額	121,877	
			特定財源	国	0
				県	7,787
				市債	0
				他	2,970
			一般財源	111,120	
令和 8 年度	生活バス路線への助成、 コミュニティバス施設等管理費、 離島航路への助成、 パークアンドライド駐車場管理費、 都市交通問題対策事業費、 ＵＤタクシー導入促進、 公共交通旅客施設改修事業費	9 4 , 3 5 7 千円 8 9 5 千円 3 5 , 9 0 7 千円 4 , 5 0 0 千円 3 , 9 6 4 千円 2 , 7 9 0 千円 6 , 0 0 0 千円	総額	148,413	
			特定財源	国	0
				県	17,329
				市債	2,200
				他	9,404
			一般財源	119,480	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

公共交通空白地域における移動手段を確保していく上で、現行の補助制度だけではカバーすることは難しくなっており、支援の在り方の見直しが必要である。令和7年度は、地域主体によるコミュニティバスの運行を支えるための補助制度を見直し、補助上限額の引上げや補助継続要件の緩和を行った（令和8年度から適用）。

公共交通の確保に向けて、各地域の需要や状況に応じた交通モードが適用できる仕組みになるよう、関係事業者等と合意形成を図り、支援の在り方を見直す。

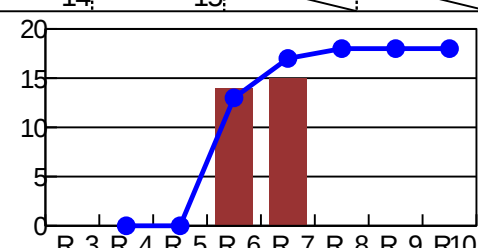
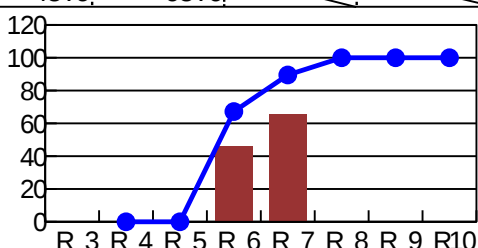
令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	交通政策課
	施策	地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2138
	取組方針	公共交通ネットワークの再構築		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	地域公共交通再編事業			

【事業全体概要】						
事業概要	持続可能な公共交通のネットワークの再構築を目指すため、令和 6 年 6 月に改定した「高松市総合都市交通計画」の基本方針に沿って、「高松市地域公共交通計画」及び「高松市地域公共交通利便増進実施計画」に基づき、既存ストックを有効に活用し、新駅整備事業、複線化事業及びバス路線網の再編等を推進する。					
8年度概要	新駅（太田～仏生山駅間）駅前広場整備事業、総合都市交通計画等改定事業、ネットワークバス維持費補助金（4 路線）、バタクス利用者支援事業、タクシー配車アプリ導入支援、広告宣伝費用補助金					
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	2-	関連根拠法令	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律	

【事業の目的】	
対象（何を）	鉄道・バス等の地域公共交通
意図（どのような状態にしたいか）	鉄道や幹線道路など既存ストックを有効活用し、新たな交通結節拠点を整備する。 鉄道を基軸、バスをフィーダーとすることを基本とし、市全域を対象とした現行バス路線を再編することにより、持続可能な公共交通ネットワークを再構築する。

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
総合都市交通計画推進協議会開催回数		回	0	3	3	3

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	交通結節拠点におけるバス結節数（都心部を除く）	路線	目標値	0	13	17	18	18
			実績値	0	14	15		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	2024 年問題による労働時間の上限規制や運転手不足への対応が求められる中、高松市地域公共交通利便増進実施計画に基づくバス路線再編を行い、交通結節拠点に接続するバス路線を新設したが 2 増 1 減となり、目標の達成に至らなかった。		（目標達成度） 88.2% （得点） 31点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	ことடன்新駅（太田～仏生山駅間）整備進捗率	%	目標値	0	67.2	89.5	100	100
			実績値	0	45.9	65.6		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	当該指標は、ことடன்新駅（太田～仏生山駅間）駅前広場の全体事業費に対する累計整備事業費の割合を整備進捗率として目標に掲げている。前年に引き続き、駅前広場造成工事实施したが、工事間の調整に時間を要し、工事を翌年度に繰り越したことにより、目標の達成に至らなかった。		（目標達成度） 73.3% （得点） 26点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	199,206	114,007	1,002,844	274,025
(事業費)	[千円]	176,625	100,111	984,453	262,831
(職員人件費)	[千円]	22,581	13,896	18,391	11,194

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	新駅(太田～仏生山駅間)駅前広場整備事業、ことであ ん琴平線(栗林公園～仏生山駅間)複線化事業(補助金) 、新駅(太田～仏生山駅間)駅舎整備事業(補助金)【 緑】、新駅(太田～仏生山駅間)駅前広場整備事業【 緑】、ことであん琴平線(栗林公園～仏生山駅間)複線化事 業(補助金)【緑】、ネットワークバス維持費補助金(4 路線)、バタクス利用者支援事業、タクシー配車ア プリ導入支援	43,907千円	総額	984,453	
		60,712千円	特定財源	国	329,798
		352,050千円		県	684
		159,913千円		市債	88,500
		342,421千円		他	1,000
		21,942千円		一般財源	564,471
		2,140千円			
1,368千円					
令和 8 年度	新駅(太田～仏生山駅間)駅前広場整備事業、総合都 市交通計画等改定事業、ネットワークバス維持費補助金 (4路線)、バタクス利用者支援事業、タクシー配車 アプリ導入支援、広告宣伝費用補助金	215,823千円	総額	262,831	
		10,154千円	特定財源	国	119,173
		27,968千円		県	0
		1,504千円		市債	96,000
		7,382千円		他	0
				一般財源	47,658

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	85 / 100 (85 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向け、ことでん新駅の早期完成に取り組むとともに、需要の少ない地域における公共交通の確保に向け、地域住民と協議・調整を図りながら、コミュニティバスの見直しやバタクスの水平展開など地域の状況に応じた運行形態を実現する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	交通政策課
	施策	地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2138
	取組方針	公共交通ネットワークの再構築		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	J R 端岡駅周辺整備事業			

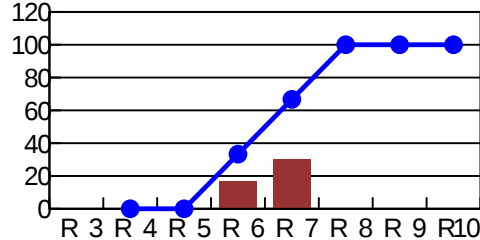
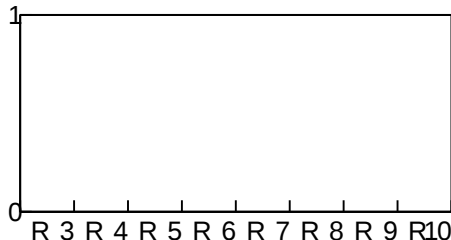
【事業全体概要】					
事業概要	本市が目指す「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりの考えの下、持続可能な公共交通ネットワークの再構築を目指し、本市西部南地域の核となる駅として利便性の向上と交通結節拠点機能を強化するため、J R 端岡駅の駅舎や駅前広場・国道からのアクセス道路等一体的な整備を推進する。				
8年度概要	関係機関との協議・調整 J R 端岡駅南口駅前広場基本計画策定等業務委託 J R 端岡駅駅舎整備事業化検討業務補助金				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	都市計画法

【事業の目的】	
対象（何を）	鉄道・バス等の地域公共交通
意図（どのような状態にしたいか）	鉄道や幹線道路など既存ストックを有効活用し、新たな交通結節拠点を整備する。 鉄道を基軸として、市全域を対象とした現行バス路線を再編することにより、持続可能な公共交通ネットワークを再構築する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
総合都市交通計画推進協議会開催回数	回	0	3	3	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	事業着手までの進捗率	%	目標値	0	33.3	66.7	100	100
			実績値	0	16.7	30		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	当該指標は、令和6年度を基準年度とし、8年度における事業着手(設計業務を開始)を目標に掲げている。7年度は、駅周辺整備基本構想(案)の策定及びパブリックコメントを実施したが、策定には至らず、進捗率は30.0%となり、目標の達成には至らなかった。			(目標達成度) 45.0%				
				(得点) 16点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	10,538	9,264	31,364	41,754
(事業費)	[千円]	0	0	21,769	32,798
(職員人件費)	[千円]	10,538	9,264	9,595	8,956

項目	事業内容	積算根拠等 （予算の増減理由）	事業費		
令和7年度	JR東岡駅周辺整備事業化検討業務	21,769千円	総額	21,769	
			特定財源	国	6,600
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	15,169	
令和8年度	関係機関との協議・調整 JR東岡駅南口駅前広場基本計画策定等業務委託 JR東岡駅駅舎整備事業化検討業務補助金	80千円 29,568千円 3,150千円	総額	32,798	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	32,000
			一般財源	798	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	C	総合点 (率)	54 / 100 (54 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
ＪＲ端岡駅周辺整備基本構想（案）を作成し、パブリックコメントを実施した。ＪＲ端岡駅の駅施設及び駅前広場、アクセス道路をパッケージとする整備内容について、今後、鉄道事業者と共に詳細な検討を進める必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
ＪＲ端岡駅周辺整備基本構想を策定し、鉄道事業者による駅施設の再整備の検討を支援しつつ、アクセス道路及び駅前広場の都市計画決定に向けた詳細検討を行う。また、国の補助メニュー - などを活用した事業スキームを確立するなど財源の確保に努める。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	交通政策課
	施策	地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2138
	取組方針	公共交通ネットワークの再構築		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	公共交通利用促進事業			

【事業全体概要】

事業概要	多様な交通手段が有機的に連携した、いつまでも快適で人にやさしい都市交通の形成を図るため、過度に自動車に依存しない本市の目指すべき都市交通の将来ビジョンを明らかにした「高松市総合都市交通計画」や、平成25年9月に公布・施行した「高松市公共交通利用促進条例」に基づき、各種施策・事業の推進や市民啓発活動等を行う。				
8年度概要	高松市総合都市交通計画推進協議会 公共交通利用促進事業（鉄道・バス／バス・バス乗継割引、高齢者割引） バス補助金等（バス待ち環境、バスマップ） 安全輸送設備等整備補助金（ことでん） I r u C a電子マネー利用手数料				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市公共交通利用促進条例

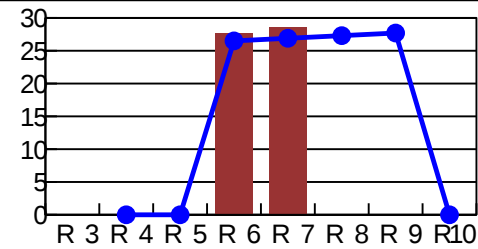
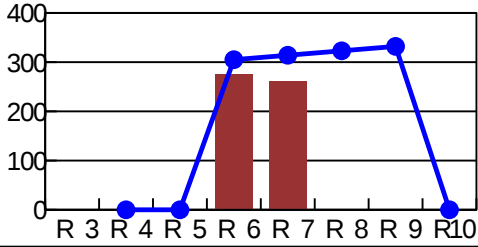
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	高松市総合都市交通計画や高松市公共交通利用促進条例の理念に基づき各種施策を展開することにより、公共交通の利便性向上と利用促進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
総合都市交通計画推進協議会開催回数	回	0	3	3	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	有効ゴールドI r u C a保有率	%	目標値	0	26.5	26.9	27.3	27.3
			実績値	0	27.6	28.5		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	当該指標は、市内在住の高齢者に対する公共交通利用促進支援制度として、有効ゴールドI r u C a保有率について、毎年度一定の利用率の向上を目標に掲げている。I r u C a保有率は28.5%と向上し目標を達成した。			（目標達成度） 105.9%		（得点） 35点		
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	電車・バス乗継件数	千件	目標値	0	305	314	323	323
			実績値	0	275	262		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	当該指標は、電車とバスの乗継件数について、毎年度一定の利用者増を目標に掲げている。2024年問題に伴う労働時間等の規制や運転手不足を背景とした市内バス路線の大幅な減便に伴い、電車・バスの乗継件数は、約262千件と目標の達成には至らなかった。			（目標達成度） 83.4%		（得点） 29点		

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	133,111	270,347	481,845	586,616
(事業費)	[千円]	123,326	264,943	476,248	581,978
(職員人件費)	[千円]	9,785	5,404	5,597	4,638

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	高松市総合都市交通計画推進協議会 公共交通利用促進事業(鉄道・バス/バス・バス乗継割引、高齢者割引) バス補助金等(バス待ち環境、バスマップ) 安全輸送設備等整備補助金(ことでん) I r u C a電子マネー利用手数料 その他 事務的経費等(旅費、負担金)	2 9 7千円 1 2 0 , 5 3 8千円 3 5 4 , 2 4 7千円 1 5 9千円 6 5 7千円	総額	476,248	
			特定財源	国	145,008
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	331,240	
令和 8 年度	高松市総合都市交通計画推進協議会 公共交通利用促進事業(鉄道・バス/バス・バス乗継割引、高齢者割引) バス補助金等(バス待ち環境、バスマップ) 安全輸送設備等整備補助金(ことでん) I r u C a電子マネー利用手数料 その他 事務的経費等(旅費、負担金)	4 4 3千円 1 2 9 , 9 7 1千円 7 9 8千円 4 4 9 , 6 1 0千円 1 9 6千円 9 6 0千円	総額	581,978	
			特定財源	国	192,690
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	389,288	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

高松市が取り組んでいる公共交通ネットワークの再構築について、コミフェス等のイベントを活用し、利用者に周知啓発を行った。また、利用促進に資する施策として、電車・バス及びバス・バス乗継割引や高齢者運賃割引施策を継続した。

なお、コロナウイルス感染症により減少した公共交通利用者は徐々に回復傾向にあるものの、公共交通の維持に向けては、交通事業者における運転手確保が課題となっている。

公共交通の維持・確保に向け、交通事業者と連携した新たな利便性向上の施策等を検討し、利用者の回復に努める。また、地域住民に対しては、継続して市政出前ふれあいトークやイベント等を活用し、割引施策等の説明を行うとともに公共交通の利用に関する周知・啓発を行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	交通政策課
	施策	地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2138
	取組方針	自転車の利用環境の向上		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	放置自転車等対策事業			

【事業全体概要】

事業概要	快適で安全なまちづくりを目指すため、放置自転車等の警告、移送、保管、返却、処分等を行う。				
8年度概要	放置自転車の警告、撤去、移送業務を14回/月行う。 放置自転車の返還業務を年間248日行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市自転車等の適正な利用に関する条例、

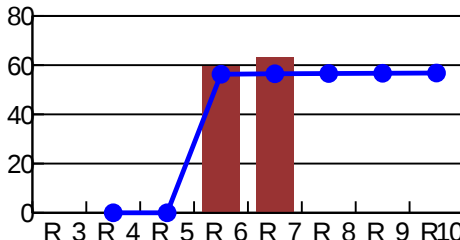
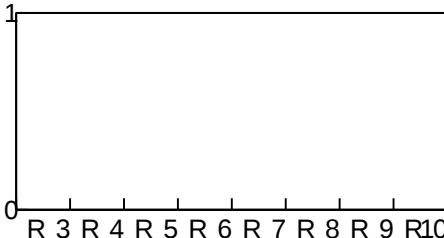
【事業の目的】

対象（何を）	放置自転車
意図（どのような状態にしたいか）	放置自転車を減少させ、交通を円滑化する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
放置自転車警告撤去回数	回	0	168	168	168	168

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	放置自転車警告件数減少率		%	目標値	0	56.3	56.5	56.6	56.6	
				実績値	0	59.6	63.2			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	放置自転車対策に関する周知・啓発の取組として、商店街クリーン作戦の実施及び学校への周知啓発文の送付を行った。 令和7年度の放置自転車警告件数は、29,512件で、平成16年度のピーク時80,279台と比べて63.2%減少し、目標を達成することができた。		(目標達成度) 111.9%							
(得点) 35点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	44,178	42,418	38,984	39,541
(事業費)	[千円]	37,027	36,242	30,988	30,585
(職員人件費)	[千円]	7,151	6,176	7,996	8,956

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	放置自転車の警告、撤去、移送業務を14回/月行う。 放置自転車の返還業務を年間248日行う。	自転車駐車対策促進事業(民間駐輪場補助を除く) 36,241千円	総額	30,988	
			特定財源	国	0
				県	1,706
				市債	0
				他	2,121
			一般財源	27,161	
令和 8 年度	放置自転車の警告、撤去、移送業務を14回/月行う。 放置自転車の返還業務を年間248日行う。	自転車駐車対策促進事業 30,585千円	総額	30,585	
			特定財源	国	0
				県	1,437
				市債	0
				他	1,423
			一般財源	27,725	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

放置自転車対策に関する周知・啓発の取組として、商店街クリーン作戦の実施及び学校への周知啓発文の送付を行った効果により、放置自転車の減少に寄与した。

警 告	32,394台
移 送	2,314台

制度の周知・啓発に努めるとともに、放置自転車のない快適なまちづくりを進めるための対象区域の拡大や、事業コスト削減のため、放置自転車の撤回数の見直しを検討する。また、中心市街地（中央商店街等）の放置自転車対策として、放置自転車禁止区域の見直し等を検討する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	交通政策課
	施策	地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2138
	取組方針	自転車の利用環境の向上		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	駐輪場整備事業			

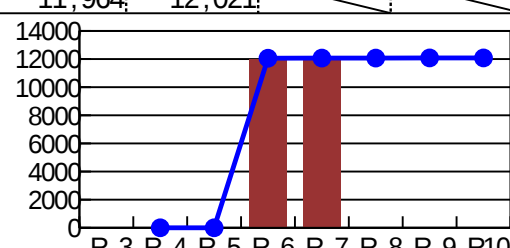
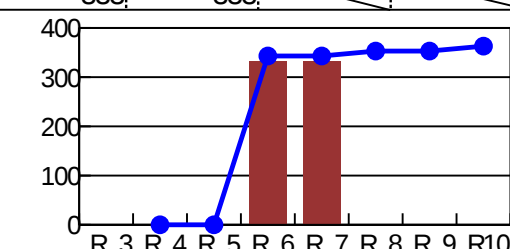
【事業全体概要】					
事業概要	自転車等の利用者の利便を図るとともに、放置自転車を減少させるため、自転車等駐車を整備する。				
8年度概要	民間駐車場補助事業（継続7件333台）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市自転車等の適正な利用に関する条例、

【事業の目的】	
対象（何を）	整備が必要な駅及び商店街
意図（どのような状態にしたいか）	市内の放置自転車を減少させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
新規駐輪場整備台数	台	0	-96	57	10	10
民間駐輪場への補助金交付件数	件	0	7	7	9	9

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	鉄道駅周辺公共駐輪場の収容台数			台	目標値	0	12,060	12,070	12,070	12,070
					実績値	0	11,964	12,021		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	当該指標は、令和6年度末の収容台数を基に、毎年度一定の収容台数増を目標に掲げている。令和7年度は、水田駅の自転車等駐車場整備により、年度毎の増加台数は達成できたが、収容台数としては、目標を達成できなかった。					(目標達成度) 99.6%		(得点) 35点		
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	補助駐輪場の収容台数			台	目標値	0	343	343	353	353
					実績値	0	333	333		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	当該指標は、令和6年度末の収容台数を基に、毎年度一定の収容台数増を目標に掲げている。令和7年度は、補助駐輪場を増やすことができなかったことから、目標収容台数を達成できなかった。目標台数を達成するため、商店街振興組合と連携し、引き続き商店街における駐輪場の確保に努めたい。					(目標達成度) 97.1%		(得点) 34点		

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	9,787	10,072	10,687	10,646
(事業費)	[千円]	7,529	8,374	8,688	9,207
(職員人件費)	[千円]	2,258	1,698	1,999	1,439

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	民間駐車場補助事業（継続 7 件 3 3 3 台）	民間補助金 7 , 5 3 0 千円 駐輪場整備費 1 , 1 4 4 千円	総額	8,688	
			特定財源	国	0
				県	579
				市債	0
				他	0
			一般財源	8,109	
令和 8 年度	民間駐車場補助事業（継続 7 件 3 3 3 台）	民間補助金 8 , 6 0 6 千円 駐輪場整備費 6 0 2 千円	総額	9,207	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	597
			一般財源	8,610	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	3	一部結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	1	貢献度が小さい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	1	貢献度が小さい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	83 / 100 (83 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

昨年度は、鉄道駅周辺の公共駐輪場を新たに整備することができた。引き続き、鉄道事業者等の協力を得ながら駐輪場整備に努める必要がある。

令和4年4月に策定した、「第3期高松市自転車等駐車対策総合計画」に基づき、鉄道事業者等の協力を得ながら、必要な自転車等駐車場整備とともに、放置自転車対策や駐輪場利用者のマナー向上の啓発などにも取り組む。また、中心市街地（中央商店街等）における自転車等駐車場の在り方を検討し、整備方針を定める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	交通政策課
	施策	地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2138
	取組方針	自転車の利用環境の向上		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	レンタサイクル事業			

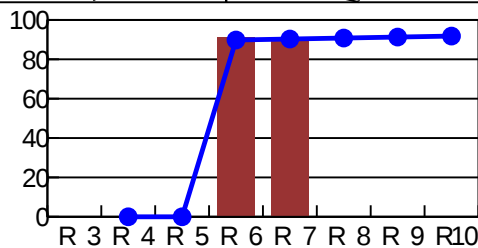
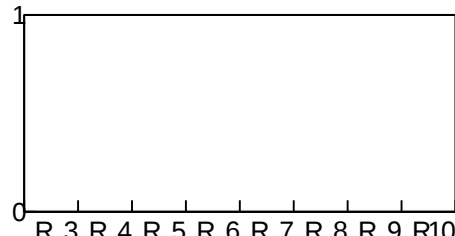
【事業全体概要】					
事業概要	環境にやさしく、機動性に優れた都市内交通手段である自転車を、市民の利用に供することで、近距離移動の利便性を向上し、合わせて放置自転車の防止を図る。				
	8年度概要 レンタサイクルポート：7箇所 レンタサイクル台数：850台				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	高松市レンタサイクル条例、自転車の安全利	

【事業の目的】	
対象（何を）	市街地中心部における主要鉄道駅利用者 （JR高松駅、JR栗林駅、琴電高松築港駅、琴電片原町駅、琴電瓦町駅、琴電栗林公園駅）
意図（どのような状態にしたいか）	自転車を近距離交通機関の一つとして市民の利用に供することで、地域交通の利便性の向上及び自転車の放置防止を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
レンタサイクルの利用可能日数	日	0	365	365	365	365

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	放置自転車撤去台数（禁止・整理区域）減少率	%	目標値	0	89.8	90.3	90.8	90.8
			実績値	0	91.3	90.7		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	レンタサイクル事業を実施するとともに、商店街クリーン作戦や、放置自転車の撤去を継続的に実施したことで、令和7年度の放置自転車撤去台数（禁止・整理区域）は、955台で、平成14年のピーク時10,245台と比べて90.7%減少し目標を達成することができた。			（目標達成度） 100.4% （得点） 35点				
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				（目標達成度） （得点）				

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	交通政策課
	施策	広域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2138
	取組方針	空港・港の拠点機能の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	航空路線網拡大促進事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松空港振興期成会の一員として、高松空港における国内路線網及び国際路線網の整備拡充並びに他空港との交流推進を行う。 ・高松空港振興期成会への負担金の措置 ・高松空港整備事業への負担金の措置				
8年度概要	高松空港振興期成会負担金等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	空港法、高松空港振興期成会規約等

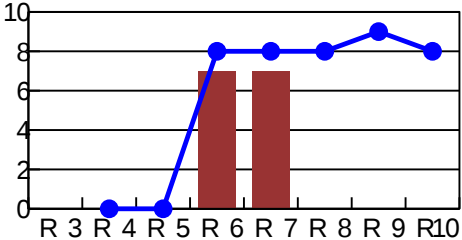
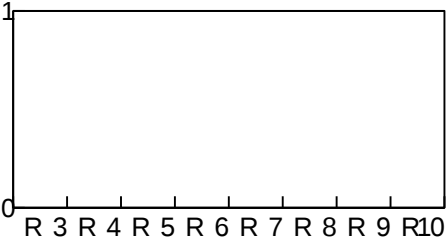
【事業の目的】

対象（何を）	高松空港乗降客
意図（どのような状態にしたいか）	航空路線の拡大により利用者を増加させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
高松空港エアライン誘致等協議会参加回数	回	0	1	1	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																		
	定期路線数	路線	目標値	0	8	8	8	8																		
			実績値	0	7	7																				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）				 <table><caption>達成率推移表</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 3</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>87.5</td></tr><tr><td>R 7</td><td>87.5</td></tr><tr><td>R 8</td><td>87.5</td></tr><tr><td>R 9</td><td>87.5</td></tr><tr><td>R 10</td><td>87.5</td></tr></tbody></table>				年度	達成率 (%)	R 3	0	R 4	0	R 5	0	R 6	87.5	R 7	87.5	R 8	87.5	R 9	87.5	R 10	87.5
	年度	達成率 (%)																								
R 3	0																									
R 4	0																									
R 5	0																									
R 6	87.5																									
R 7	87.5																									
R 8	87.5																									
R 9	87.5																									
R 10	87.5																									
新規定期路線は無く、平成 2 8 年度からの定期路線は維持しているものの、目標を達成できなかった。		(目標達成度)	87.5%																							
国内定期路線 3 路線：東京【羽田】、東京【成田】、沖縄 国際定期路線 4 路線：ソウル、上海、台北、香港		(得点)	31点																							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																		
			目標値																							
			実績値																							
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）																									
			(目標達成度)																							
		(得点)																								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	120,273	152,009	213,877	139,195
(事業費)	[千円]	115,682	145,833	207,480	134,237
(職員人件費)	[千円]	4,591	6,176	6,397	4,958

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	高松空港振興期成会負担金等 高松空港関連整備事業地元負担金	1 4 1 , 6 8 1 千円 6 5 , 7 9 9 千円	総額	207,480	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	59,100
				他	0
			一般財源	148,380	
令和 8 年度	高松空港振興期成会負担金等	1 3 4 , 2 3 7 千円	総額	134,237	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	134,237	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

【昨年度の実施状況と課題】 （評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
上海線が令和8年1月から運休となる一方、新たに釜山線が同年3月から期間運航を開始した。
【今後の事業方針】 （評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
既存路線の活性化や新規路線の開設に向けて高松空港振興期成会及び高松空港エアライン誘致等協議会の構成員として取り組む。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	交通政策課
	施策	広域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2138
	取組方針	広域鉄道ネットワークの整備促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	四国新幹線整備促進事業			

【事業全体概要】

事業概要	平成29年7月に設置された「四国新幹線整備促進期成会」や県内全市町で組織する「香川県JR四国線複線電化・新幹線導入期成同盟会」、県内市町で組織する「香川県市町長四国新幹線整備促進期成会」を通じ、国やJRに対し要望活動を行う。 また、基礎自治体が主体性を発揮しながら、県都高松における新幹線駅の候補地エリアの選定を行うとともに、四国の新幹線導入後のまちの将来像を示すことにより、地域住民はもとより、香川県やJR四国、経済界などの関係者を巻き込みながら、まちづくりの議論を活性化させ、四国の新幹線の早期実現に向けた、更なる機運の醸成を図る。				
8年度概要	新幹線など鉄道的高速化の導入要望 パンフレット・プロモーション事業 香川県JR四国線複線化・新幹線既成同盟会負担金				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	2-	関連根拠法令	

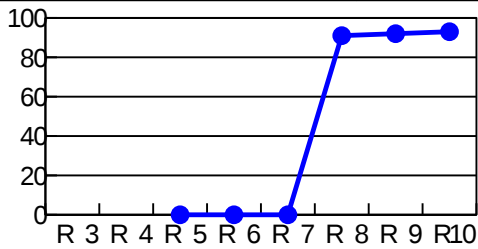
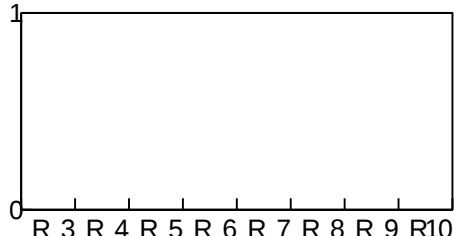
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民及び香川県民
意図（どのような状態にしたいか）	四国の新幹線については、1973年に基本計画路線に位置付けられてから約50年以上が経過し、四国は、全国で唯一、新幹線の空白地域となっている。このような中、四国の新幹線の整備計画の格上げ及び早期実現に向けては、自治体が主体性を発揮しながら、地域住民の機運の醸成を図ることが必要である。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
市主催のイベント等に合わせた関係資料配布機会	回	0	0	0	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	アンケートにおける整備に肯定的な意見の割合	%	目標値 実績値	0 0	0 0	0 0	91	91
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	7年度に発注した「高松市四国の新幹線整備に関するまちづくり調査検討業務委託」の成果を踏まえ、市民に向けたパンフレットの作成を予定しており、8年度にイベント時等にパンフレット配布及びアンケート調査を予定している。		（目標達成度） （得点）					
	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
成果指標			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度） （得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	6,546	14,443	15,505	8,745
(事業費)	[千円]	524	4,407	1,112	3,148
(職員人件費)	[千円]	6,022	10,036	14,393	5,597

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	新幹線など鉄道的高速化の導入要望 香川県 JR四国線複線化・新幹線既成同盟会負担金 四国新幹線整備に関するまちづくり調査検討業務委託	7 1 2 千円 4 0 0 千円 0 千円	総額	1,112	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	1,112				
令和 8 年度	新幹線など鉄道的高速化の導入要望 パンフレット・プロモーション事業 香川県 JR四国線複線化・新幹線既成同盟会負担金	6 6 6 千円 2 , 0 6 8 千円 4 1 4 千円	総額	3,148	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	150
一般財源	2,998				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%- 100%)	A	総合点 (率)	26 / 30 (87 %)	今後の方向性	継続
	B (60%- 79%)					
	C (0%- 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
7年度に発注した「高松市四国の新幹線整備に関するまちづくり調査検討業務委託」の成果を踏まえ、分かりやすい資料として取りまとめ、市民向けパンフレットを作成するほか、プロモーション事業を実施し、機運醸成を図る必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
四国新幹線の導入が早期に図られるよう、「香川県」R四国線複線電化・新幹線導入期成同盟会」や県内8市9町の首長で構成する「香川縣市町長四国新幹線整備促進期成会」等を中心として、国への要望や勉強会の開催により、機運醸成を図る。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	地域社会を支える連携・協働の推進		課(室)名	交通政策課
	施策	離島の振興		電話番号	087-839-2138
	取組方針	航路の確保と利便性の向上		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	離島航路振興事業			

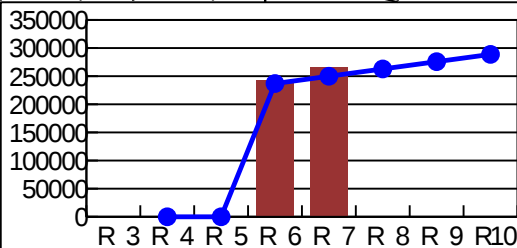
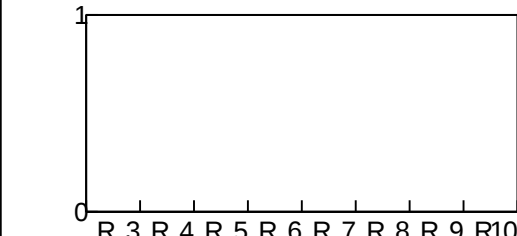
【事業全体概要】					
事業概要	女木島及び男木島に観光客を呼び込み定着させ、ひいては、航路の活性化を図るため、世界に向けた瀬戸内の魅力の発信、交流人口の増加、地域振興・活性化に向けた取組などを行う。 ・航路事業者、自治体及び地域等の共同により、地域総力戦による「島おこし」に取り組む。				
8年度概要	女木・男木島航路に係る利用促進策 離島航路確保維持改善協議会の開催				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	「男木～高松航路」における運賃割引事業補

【事業の目的】	
対象（何を）	女木・男木島航路利用者
意図（どのような状態にしたいか）	航路の活性化により利用促進に努める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
離島航路確保維持改善協議会開催回数	回	0	3	3	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	女木・男木島航路利用者(直近3か年平均)	人	目標値	0	236,937	249,888	262,840	262,840
			実績値	0	241,882	266,603		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	令和7年度の女木・男木島航路利用者(直近3か年平均)は266,603人となり、目標値を上回った。			(目標達成度) 106.7%				
			(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	12,984	14,324	14,538	13,635
(事業費)	[千円]	8,091	8,148	8,141	8,677
(職員人件費)	[千円]	4,893	6,176	6,397	4,958

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	女木・男木島航路に係る利用促進策 離島航路確保維持改善協議会の開催	8 , 1 3 5 千円 6 千円	総額	8,141	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	8,141	
令和 8 年度	女木・男木島航路に係る利用促進策 離島航路確保維持改善協議会の開催	8 , 6 7 3 千円 4 千円	総額	8,677	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	8,677	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

「めおん2」の代替船建造を盛り込んだ航路改善計画を策定した。住民の移動手段の確保にとどまらず、交流・定住人口の拡大に向けて、事業を継続することが必要である。

離島航路の利用促進は、「離島振興」及び「地域間交流の推進」に資するため、離島航路の利用促進施策における事業を継続する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	道路管理課
	施策	循環型社会の形成		電話番号	087-839-2515
	取組方針	環境意識の醸成		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	たかまつマイロード事業			

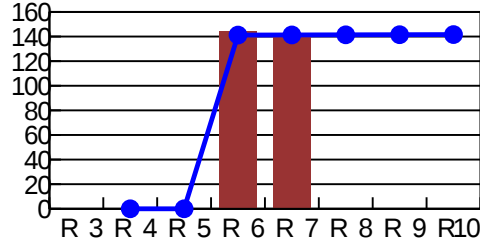
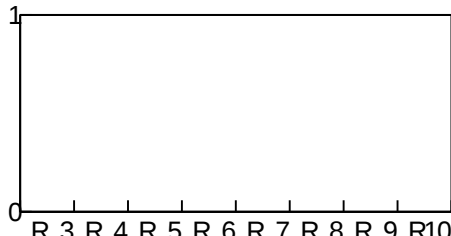
【事業全体概要】					
事業概要	市道において、自発的意思のもとに、清掃等の維持管理を行う自治会などの市が認定した道路愛護団体（認定団体）に対し、用具の支給、ごみの収集、傷害保険の加入などの支援を行うことにより、環境保全活動を推進するとともに、道路への愛護意識の高揚を図る。				
	市が管理する道路の一定区間について、各種団体や市民ボランティアなどの市が認定した道路愛護団体が自発的意思のもとに行う、清掃・緑化等の維持管理に対し、清掃用具の支給・ごみの収集などを支援する。				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	たかまつマイロード実施要領	

【事業の目的】	
対象（何を）	市道
意図（どのような状態にしたいか）	道路の環境美化、道路利用者のマナー向上が図れる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
用具の支給等支援回数	回	0	133	133	132	132

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	清掃延長	k m	目標値	0	141.2	141.3	141.4	141.4
			実績値	0	144.547	142.2		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	令和7年度は団体数は3増3減で133となり、清掃延長は142.2kmで2.3km減ったが目標は達成した。			(目標達成度) 100.6%				
			(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
			(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	3,157	3,433	3,395	3,795
(事業費)	[千円]	1,953	2,198	2,116	2,516
(職員人件費)	[千円]	1,204	1,235	1,279	1,279

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	市が管理する道路の一定区間について、各種団体や市民ボランティアなどの市が認定した道路愛護団体が自発的意思のもとに行う、清掃・緑化等の維持管理に対し、清掃用具の支給・ごみの収集・傷害保険の加入などを支援する。	消耗品費 1,509千円	総額	2,116	
		工事費 607千円	特定財源	国	0
		計 2,116千円		県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,116	
令和 8 年度	市が管理する道路の一定区間について、各種団体や市民ボランティアなどの市が認定した道路愛護団体が自発的意思のもとに行う、清掃・緑化等の維持管理に対し、清掃用具の支給・ごみの収集などを支援する。	消耗品費 1,526千円	総額	2,516	
		工事費 990千円	特定財源	国	0
		計 2,516千円		県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,516	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）	
令和7年度は団体数は3増3減で133となり、清掃延長は142.230kmで、2.317km減ったが、目標を達成しており評価ランクはAとなった。	

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
高齢化に伴う認定団体の減少が懸念されるが、引き続き、たかまつマイロードの活動を支援する事業を継続していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	道路整備課
	施策	道路・橋りょうの整備		電話番号	087-839-2516
	取組方針	老朽化対策の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	橋りょう改築修繕事業			

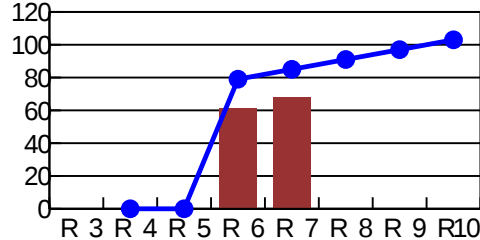
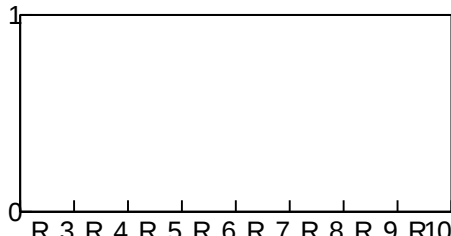
【事業全体概要】					
事業概要	本市では、1,490橋を管理している。その多くは、高度経済成長期以降に建設したもので、現在、建設後50年を経過する橋は多く存在しないが、今後、急速に老朽化橋りょうが増大することが想定され、一斉に更新時期を迎えた場合、大きな財政負担が生じることになる。 このようなことから、橋利用者の安全性を確保しつつ、コスト縮減を図るため、これまでの対症療法的な対応から、予防保全的かつ計画的な対応により、橋を長寿命化させる方針に転換し、長寿命化修繕計画に基づき、計画的に橋の修繕等を行うこととしている。				
8年度概要	長寿命化修繕計画に基づく修繕等 （設計） 橋りょう 7橋 （工事） 橋りょう10橋 橋りょう点検 長寿命化修繕工事				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	道路法、高松市橋りょう長寿命化修繕計画

【事業の目的】	
対象（何を）	事業対象施設：本市が管理する橋 事業対象者：橋通行者
意図（どのような状態にしたいか）	高松市橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、計画的に修繕を行うことにより、橋通行者の安全性を確保するとともに長寿命化による維持管理コストの縮減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
単年度修繕橋数	橋	0	4	7	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	橋修繕数(累計)	橋	目標値	0	79	85	91	91
			実績値	0	61	68		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	関係機関との協議・調整により農繁期、出水期を避けて実施する必要があり、事業スケジュールが予定よりも遅れたため、目標値を達成することができなかった。		(目標達成度) 80.0%					
		(得点) 28点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度)					
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	209,180	246,943	314,575	413,644
(事業費)	[千円]	170,792	195,991	250,607	345,678
(職員人件費)	[千円]	38,388	50,952	63,968	67,966

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	長寿命化修繕計画に基づく修繕等 (設計) 橋りょう8橋 (工事) 橋りょう14橋 橋りょう点検 長寿命化修繕設計 長寿命化修繕工事	197,591千円 53,016千円 0千円 0千円	総額	250,607	
			特定財源	国	129,577
				県	0
				市債	75,400
				他	0
			一般財源	45,630	
令和 8 年度	長寿命化修繕計画に基づく修繕等 (設計) 橋りょう7橋 (工事) 橋りょう10橋 橋りょう点検 長寿命化修繕工事	290,152千円 55,526千円 0千円	総額	345,678	
			特定財源	国	134,400
				県	0
				市債	97,100
				他	61,000
			一般財源	53,178	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	80 / 100 (80 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

工事施工に際し、関係機関との協議・調整により農繁期、出水期を避けて実施することとなり、修繕スケジュールが遅延したため、目標値を達成できなかった。

今後も引き続き、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、対象橋りょうについて計画的に修繕していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策		暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	道路整備課
	施策		道路・橋りょうの整備		電話番号	087-839-2516
	取組方針		道路整備の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		道路新設改良事業			

【事業全体概要】

事業概要	市内に存する800kmを超える幅員4m未満の市道について、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境を創出するため、地域バランスに配慮しながら、4m以上の拡幅整備等を行う。				
8年度概要	市単独新設改良事業（県費補助事業を含む）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	対象施設：市が管理する道路で主に幅員４．０ｍ未満であり一定の要件を満たした整備要望のある路線 対象者：道路利用者
意図（どのような状態にしたいか）	道路利用者の利便性の向上が図れる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
工事施工路線数	路線	0	17	15	15	15

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																		
	幅員 4 m 以上の市道整備率		%	目標値	0	66	66.2	66.3	66.3																		
				実績値	0	66	66.2																				
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)					<table><caption>達成率データ (R3-R10)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R3</td><td>0</td></tr><tr><td>R4</td><td>0</td></tr><tr><td>R5</td><td>0</td></tr><tr><td>R6</td><td>66</td></tr><tr><td>R7</td><td>66</td></tr><tr><td>R8</td><td>66.2</td></tr><tr><td>R9</td><td>66.3</td></tr><tr><td>R10</td><td>66.3</td></tr></tbody></table>				年度	達成率 (%)	R3	0	R4	0	R5	0	R6	66	R7	66	R8	66.2	R9	66.3	R10	66.3
	年度	達成率 (%)																									
R3	0																										
R4	0																										
R5	0																										
R6	66																										
R7	66																										
R8	66.2																										
R9	66.3																										
R10	66.3																										
地権者や関係機関との協議等を円滑に実施することで 15 路線の道路整備を実施し、目標を達成することができた。		(目標達成度)	100.0%																								
		(得点)	35点																								

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																		
				目標値																							
				実績値																							
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)					<table><caption>達成率データ (R3-R10)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R3</td><td>0</td></tr><tr><td>R4</td><td>0</td></tr><tr><td>R5</td><td>0</td></tr><tr><td>R6</td><td>66</td></tr><tr><td>R7</td><td>66</td></tr><tr><td>R8</td><td>66.2</td></tr><tr><td>R9</td><td>66.3</td></tr><tr><td>R10</td><td>66.3</td></tr></tbody></table>				年度	達成率 (%)	R3	0	R4	0	R5	0	R6	66	R7	66	R8	66.2	R9	66.3	R10	66.3
	年度	達成率 (%)																									
R3	0																										
R4	0																										
R5	0																										
R6	66																										
R7	66																										
R8	66.2																										
R9	66.3																										
R10	66.3																										
		(目標達成度)																									
		(得点)																									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	569,668	433,725	396,385	407,972
(事業費)	[千円]	503,430	365,789	344,411	352,000
(職員人件費)	[千円]	66,238	67,936	51,974	55,972

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	市単独新設改良事業（県費補助事業を含む）	3 4 4 , 4 1 1 千円	総額	344,411	
			特定財源	国	0
				県	32,235
				市債	261,200
				他	0
			一般財源	50,976	
令和 8 年度	市単独新設改良事業（県費補助事業を含む）	3 5 2 , 0 0 0 千円	総額	352,000	
			特定財源	国	0
				県	25,200
				市債	269,400
				他	0
			一般財源	57,400	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

生活道路整備事業において、短期採択路線・旧要望路線について整備を進めたほか、地元協議を進め、中・長期採択路線を含む複数路線について、当該路線毎の整備方針が決まったことから、継続的に事業の更なる推進を図る必要がある。

市民ニーズに応えながら、地域バランスも考慮し投資効果の向上、コンパクトエコシティの推進等を目的として、この趣旨の下、改正を行った「高松市生活道路整備審議会運営要領」に基づき整備の必要度を評価し、生活道路整備審議会の答申を踏まえ、円滑な事業の推進を図っていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	道路整備課
	施策	地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2516
	取組方針	道路ネットワークの充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	道路ネットワーク構築事業			

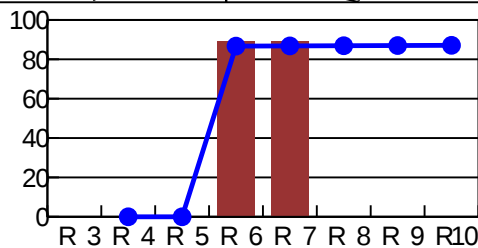
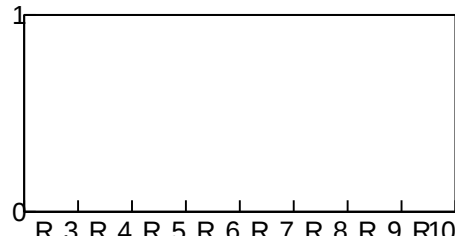
【事業全体概要】					
事業概要	都市交通における最も基幹的施設である都市計画道路の整備を推進し、利便性・安全性・快適性に優れた交通ネットワークの構築、円滑な道路交通の確保、及び豊かな公共空間を備えた良好な市街地の形成を図ることにより、安全で快適な都市生活と機能的な都市活動、集約型都市構造の構築に寄与するものである。				
8年度概要	道路新設改良国庫補助事業 街路事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	都市計画法 5 9 条第 1 項

【事業の目的】	
対象（何を）	対象施設：都市計画道路及び整備が計画されている県道 対象者：道路利用者（歩行者・自転車利用者、自動車利用者）及び道路周辺住民
意図（どのような状態にしたいか）	道路利用者の利便性を図るとともに、安全性・快適性に優れた道路ネットワークの整備を促進し、集約型都市構造の構築に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
単年度都市計画道路整備延長	m	0	327	822	220	220

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	都市計画道路整備率	%	目標値	0	86.7	86.8	86.9	86.9
			実績値	0	89	89.4		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	木太鬼無線の事業促進など、都市計画道路の整備を進め、目標を達成できた。		(目標達成度) 103.0% (得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度) (得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	413,129	508,316	791,619	615,837
(事業費)	[千円]	328,827	410,272	687,671	511,889
(職員人件費)	[千円]	84,302	98,044	103,948	103,948

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	道路新設改良国庫補助事業 街路事業 県施行道路整備事業地元負担金事業 県施行街路事業地元負担金事業	2 0 4 , 6 3 8 千円 3 6 9 , 2 3 8 千円 7 8 , 8 9 9 千円 3 4 , 8 9 6 千円	総額	687,671	
			特定財源	国	222,741
				県	9,485
				市債	365,600
				他	0
			一般財源	89,845	
令和 8 年度	道路新設改良国庫補助事業 街路事業	6 1 , 5 0 2 千円 4 5 0 , 3 8 7 千円	総額	511,889	
			特定財源	国	211,065
				県	0
				市債	240,200
				他	0
			一般財源	60,624	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
朝日町仏生山線及びその他の路線については継続して整備を進めており、計画的に事業進捗を図る必要がある。 また、木太鬼無線（三条工区）等については用地買収を行っており、引き続き財源を確保し、計画的に事業を進めていく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
今後は、木太鬼無線（三条工区）及びその他路線について計画的に整備を進め、繰越額を縮減する。 一方、国費等の財源を確保するため、国への要望を強化していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策		交流・連携を支える都市交通の充実		課(室)名	道路整備課
	施策		地域交通ネットワークの充実		電話番号	087-839-2516
	取組方針		自転車の利用環境の向上		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		自転車利用環境整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	平成20年11月に、自転車を利用した香川の新しい都市づくりを進める協議会 高松地区委員会 安全空間確保部会（国・県・県警・市で構成、以下「安全空間確保部会」）において策定した、高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針に基づき、国・県・県警等と連携し、自転車道などを整備することにより、自転車を本市の重要な都市交通手段として有効に活用し、歩行者と自転車の安全で快適な空間の確保や、人と環境にやさしい交通まちづくりを目指す。				
8年度概要	自転車通行空間の整備 東浜港多賀線				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	自転車ネットワーク整備方針、高松市自転車

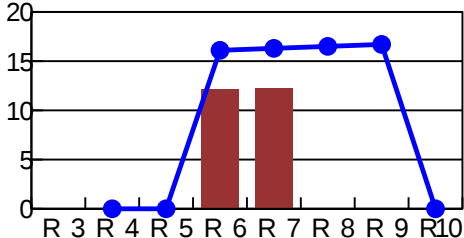
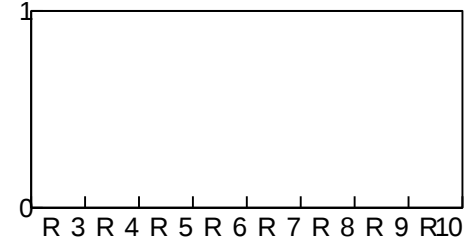
【事業の目的】

対象（何を）	対象施設：「高松市自転車ネットワーク計画」に位置付けられている市道 対象者：自転車利用者
意図（どのような状態にしたいか）	自転車通行空間を整備することにより、歩行者と自転車を分離し、それぞれの安全性・快適性の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
単年度自転車道等整備延長	k m	0	0.1	0.1	0.2	0.2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	自転車道等整備済延長	k m	目標値	0	16.1	16.3	16.5	16.5
	実績値		0	12.1	12.2			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	令和7年度においては国費内示に併せて施工規模を見直し、市道東浜港多賀線で車道混在型(矢羽根型路面標示)を0.1k m整備したが、目標値は達成できなかった。	(目標達成度)	74.8%					
(得点)		26点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
		(目標達成度)						
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	33,673	35,229	45,675	44,737
(事業費)	[千円]	18,619	19,789	29,683	28,745
(職員人件費)	[千円]	15,054	15,440	15,992	15,992

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	自転車通行空間の整備 東浜港多賀線	2 9 , 6 8 3 千円	総額	29,683	
			特定財源	国	14,125
				県	0
				市債	14,600
				他	0
			一般財源	958	
令和 8 年度	自転車通行空間の整備 東浜港多賀線	2 8 , 7 4 5 千円	総額	28,745	
			特定財源	国	13,750
				県	0
				市債	13,400
				他	0
			一般財源	1,595	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	80 / 100 (80 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
東浜港多賀線において、部分的に路面標示（矢羽根）の設置を実施した。なお、今後の事業実施については、「高松市自転車ネットワーク計画（路線網図）」に基づき、計画的に整備予定路線の事業に着手していく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
今後とも国・県と連携しながら効率的な整備を進めるために、「高松市自転車ネットワーク計画推進協議会」において改定した「高松市自転車ネットワーク計画（路線網図）」に基づき計画的に整備を進めるとともに、同協議会等において整備効果等を共有しながら、より効果的で効率的な整備手法の検討などについて協議を行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策		災害・パンデミックに強い社会の形成		課(室)名	河港課
	施策		防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2522
	取組方針		災害に強い社会基盤の整備		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		地震・津波海岸堤防等対策事業			

【事業全体概要】

事業概要	今後発生が予測されている南海トラフ地震等の大規模地震を想定し、総合的かつ計画的に浸水被害の解消を図るため、香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画に基づき、市管理の漁港・港湾においては、津波に対して人命と財産を守る防災を目指した施設整備を推進するとともに、最大クラスの津波に対しては、粘り強い構造により減災を目指した施設を整備する。				
8年度概要	(漁港津波対策事業) 津波対策事業 一式 (港湾津波対策事業) 津波対策事業 一式				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	海岸法等

【事業の目的】

対象（何を）	「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」で整備必要箇所に選定された施設の、背後地における人命及び建物等の財産。
意図（どのような状態にしたいか）	津波・高潮からの人命の保護及び建物等の被害軽減

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
津波・高潮対策施設数	施設	0	2	3	3	3

【事業の成果】

	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	津波・高潮関連整備事業の進捗率	%	目標値 実績値	0 0	28 24	36 28.5	43 43	43 43
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	財政が厳しい中、地震・津波対策を行っており、目標値に達していないが、事業コストを考慮し、進捗率向上に努める。			（目標達成度） 79.2%				
				（得点） 28点				
	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				（目標達成度）				
				（得点）				

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策		災害・パンデミックに強い社会の形成		課(室)名	建築指導課
	施策		防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2488
	取組方針		災害に強い社会基盤の整備		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		住宅建築物耐震改修等事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松市耐震改修促進計画に基づき、地震発生時に市民生活の生命線となる緊急輸送道路を確保するため、民間建築物に対し、耐震診断及び耐震改修又は建替えに要する費用の一部を補助することにより、沿道の民間建築物の耐震化を促進する。 また、地震時の建物の倒壊等によって発生する、人的及び経済的被害を軽減するため、住宅の耐震診断及び耐震改修に要する費用の一部を補助し、民間住宅の耐震化を促進する。				
8年度概要	民間住宅の耐震診断棟数 150棟 民間住宅の耐震改修棟数 60棟、簡易改修等 7棟 緊急輸送道路沿道の耐震診断棟数 0棟 義務化建築物の耐震診断棟数 1棟、補強設計 0棟、耐震改修等棟数 1棟 危険ブロック塀等の撤去工事 55件、 かけ地近接等危険住宅移転工事件数 0棟				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	建築物の耐震改修の促進に関する法律

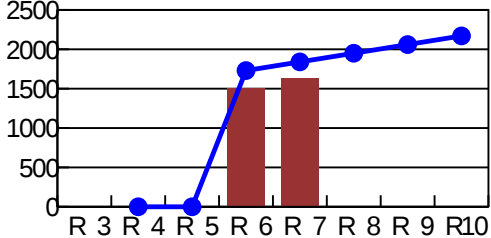
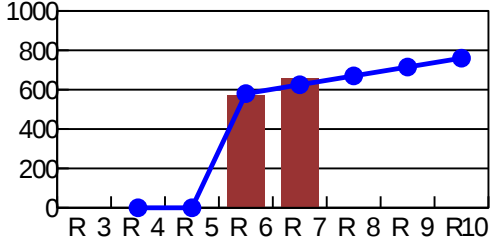
【事業の目的】

対象（何を）	高松市耐震改修促進計画に基づき、耐震改修工事予定の緊急輸送道路沿いの一定の条件を満たす民間建築物、耐震診断が義務化となった民間建築物及び民間住宅とする。
意図（どのような状態にしたいか）	耐震診断や耐震改修にかかる費用負担を軽くするための補助制度を設けることにより、住宅・建築物の耐震化を促進し、地震時の建物の倒壊等によって発生する人的及び経済的被害を軽減する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
民間住宅の耐震診断実施済棟数	棟	0	188	128	110	110
民間住宅の耐震改修実施済棟数	棟	0	38	86	45	45

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	民間住宅の耐震診断実施済棟数（累計）		棟	目標値	0	1,730	1,840	1,950	1,950
				実績値	0	1,509	1,637		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	能登半島地震の影響により急増した令和6年度に比べ、申請件数は減少したものの、7年度の目標値を上回ることができたが、累計の目標値を達成することはできなかった。		(目標達成度)	89.0%					
(得点)			31点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	民間住宅の耐震改修実施済棟数（累計）		棟	目標値	0	580	625	670	670
				実績値	0	570	656		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	令和6年度受付分について、年度内の完了が見込めず、7年度に繰越となったものが完了したこと、また、7年度新規の申請も多くあったことから、目標値を達成することができた。		(目標達成度)	105.0%					
(得点)			35点						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	64,392	92,729	137,806	192,107
(事業費)	[千円]	38,424	61,463	105,422	164,521
(職員人件費)	[千円]	25,968	31,266	32,384	27,586

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	民間住宅の耐震診断棟数 1 2 8 棟 民間住宅の耐震改修棟数 8 6 棟、簡易改修等 7 棟 緊急輸送道路沿道の耐震診断棟数 0 棟 義務化建築物の耐震診断棟数 0 棟、補強設計 0 棟 義務化建築物の耐震改修等棟数 0 棟 危険ブロック塀等の撤去工事 4 8 件 がけ地近接等危険住宅移転工事件数 0 棟	1 1 , 5 1 9 千円 8 8 , 5 7 8 千円 0 千円 0 千円 0 千円 5 , 3 2 5 千円 0 千円	総額	105,422	
			特定財源	国	49,741
				県	26,508
				市債	0
				他	0
			一般財源	29,173	
令和 8 年度	民間住宅の耐震診断棟数 1 5 0 棟 民間住宅の耐震改修棟数 6 0 棟、簡易改修等 7 棟 緊急輸送道路沿道の耐震診断棟数 0 棟 義務化建築物の耐震診断棟数 1 棟、補強設計 0 棟 、耐震改修等棟数 1 棟 危険ブロック塀等の撤去工事 5 5 件、 がけ地近接等 危険住宅移転工事件数 0 棟	1 6 , 9 5 0 千円 7 2 , 3 3 5 千円 0 千円 2 , 6 9 6 千円 6 5 , 9 4 0 千円 6 , 6 0 0 千円 0 千円	総額	164,521	
			特定財源	国	82,487
				県	39,367
				市債	0
				他	0
			一般財源	42,667	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

民間住宅の耐震改修等事業については、出張相談会をコミュニティセンター等で開催したところ、多くの参加者が集まり、補助申請につながった。

耐震診断義務化の建築物については、所有者に対し、耐震化に取り組むよう戸別訪問等を行うなど啓発活動に取組んだが、実績には繋がらなかった。今後、耐震化に繋がる有効な手法について、県と連携しながら検討していく必要がある。

民間住宅の耐震改修等事業については、出張相談会の開催にあわせて、コミュニティセンター等と連携した周知活動等を効果的にを行い、さらなる事業の促進を図る。

耐震診断義務化の建築物については、所有者へのアプローチを強化するとともに、県と連携しながらすすめていく。

危険ブロック塀等の撤去促進については、継続して周知・啓発活動を重ねていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	公園緑地課
	施策	景観形成の推進		電話番号	087-839-2494
	取組方針	公園・緑地の充実		事業期間	令和 6年度～令和 8年度
	事務事業	身近な公園整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松市緑の基本計画に基づき、一人当たりの住区基幹公園が少ない小学校区において、標準規模の住区基幹公園を整備する。 令和3～5年度 まゆみ公園（檀紙校区） 令和4～6年度 鬼無ぼんさい公園（鬼無校区） 令和5～8年度 香川町川東公園（川東校区）				
8年度概要	川東公園（仮称）整備工事 備品購入				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	都市公園法、都市公園条例、身近な公園整備

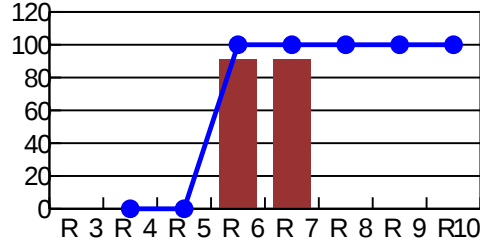
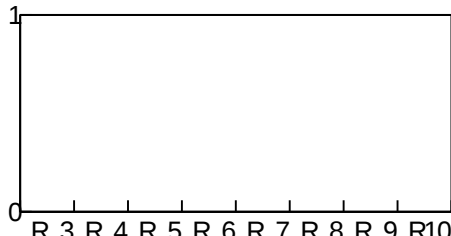
【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	身近な公園の適正な配置を進める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
公園整備面積（累計）		m ²	19,800	22,200	22,200	23,500	23,500

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	全体進捗率	%	目標値 実績値	0 0	100 90.9	100 90.9	100	100
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	国庫補助内示率が低く、事業進捗に遅れが生じている。	（目標達成度） 90.9%						
		（得点） 32点						
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		（目標達成度）						
		（得点）						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	113,575	62,965	55,276	64,396
(事業費)	[千円]	104,016	53,161	46,800	55,920
(職員人件費)	[千円]	9,559	9,804	8,476	8,476

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	川東公園（仮称）基盤整備工事	4 6 , 8 0 0	総額	46,800	
			特定財源	国	23,334
				県	0
				市債	20,700
				他	0
			一般財源	2,766	
令和 8 年度	川東公園（仮称）整備工事 備品購入	5 5 , 7 0 0 千円 2 2 0 千円	総額	55,920	
			特定財源	国	27,850
				県	0
				市債	25,000
				他	0
			一般財源	3,070	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	3	一部結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）	
川東公園（仮称）の基盤整備事業を実施した。今年度は、川東公園（仮称）の便益施設を整備するとともに、予算確保に努め、令和9年度の供用開始を目指す。	

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
今後も地元コミュニティ協議会等と連携を図りながら、「各小学校区の公園面積の拡充」の実現に向けて、整備の進捗を図っていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	公園緑地課
	施策	景観形成の推進		電話番号	087-839-2494
	取組方針	公園・緑地の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	花いっぱい推進事業			

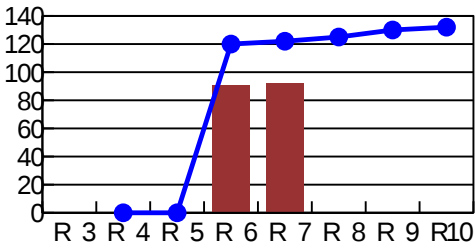
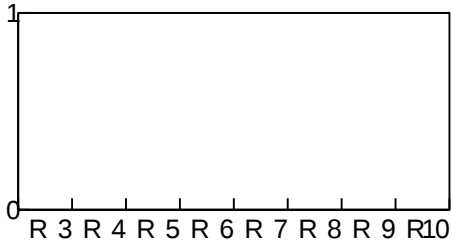
【事業全体概要】					
事業概要	高松市緑の基本計画の基本理念である「みどりあふれる人と環境にやさしい安全で住みよいまち高松」の実現に向け、快適な生活環境や潤いと安らぎのあるまちづくりを推進するため、花壇づくりやフラワーフェスティバルの開催を行う。				
	地区花壇 花壇管理業務委託 フラワーフェスティバル 生垣等助成等				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令		

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	快適な生活環境と潤いと安らぎのあるまちづくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
花壇草花植付面積	m ²	0	2,011	1,820	2,240	2,240

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	ボランティア管理花壇箇所数	箇所	目標値	0	120	122	125	125
			実績値	0	91	92		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	コミュニティセンター等による地域花壇設置を推進している。		(目標達成度) 75.4% (得点) 26点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度) (得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	29,308	31,292	29,868	31,935
(事業費)	[千円]	19,297	21,024	21,072	23,139
(職員人件費)	[千円]	10,011	10,268	8,796	8,796

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	花壇肥料等 花壇管理 フラワーフェスティバル	3 , 8 7 5 6 , 3 7 7 1 0 , 8 2 0	総額	21,072	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	21,072	
令和 8 年度	地区花壇 花壇管理業務委託 フラワーフェスティバル 生垣等助成等	4 , 5 5 3 6 , 6 1 0 1 1 , 1 2 0 8 5 6	総額	23,139	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	23,139	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	76 / 100 (76 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

ボランティア管理の花壇箇所数及び草花植え付け面積は、昨年度から減少傾向であることから、ボランティア活動を活性化するため、公園愛護会等に働きかけしていく必要がある。

今後も、地域と協議・調整を行い、花いっぱいのもちづくりへの賛同を頂きながら、公園や道路、商店街等の街角におけるボランティア管理花壇の増設を図っていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	公園緑地課
	施策	景観形成の推進		電話番号	087-839-2494
	取組方針	公園・緑地の充実		事業期間	令和 6年度～令和 9年度
	事務事業	民間活力の導入による中央公園再整備事業			

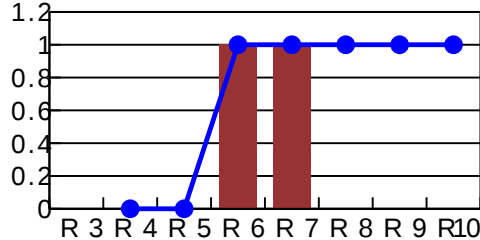
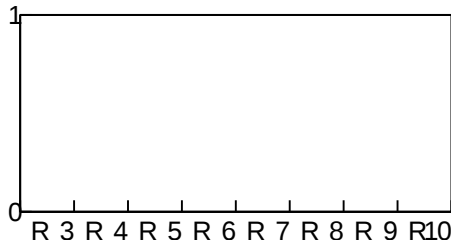
【事業全体概要】					
事業概要	施設の老朽化等により、本来の魅力が低下しつつある都市公園の質の向上や公園利用者の利便性の向上を図るため、官民連携による収益施設の設置や公園施設の一体的な整備改修に取り組む。				
	中央公園再整備事業				
8年度概要					
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	6-	関連根拠法令	都市公園法、高松市都市公園条例

【事業の目的】					
対象（何を）	公園施設				
意図（どのような状態にしたいか）	公募設置管理制度を活用し、民間活力を導入することにより公園の魅力向上や維持管理コストの縮減を図る。				

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	P a r k - P F I 事業者の募集件数	件	0	0	1	1	1
	中央公園再整備の進捗率	%	0	6	42.2	90	90

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	Park - PFI 導入公園数	件	目標値 実績値	0 0	1 1	1 1	1	1
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	民間事業者からの提案を受け、中央公園内に公募対象施設(カフェ)と特定公園施設(トイレ・休養施設)を導入することとした。			(目標達成度) 100.0%				
				(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	14,043	97,115	525,357	750,887
(事業費)	[千円]	494	83,219	510,484	736,014
(職員人件費)	[千円]	13,549	13,896	14,873	14,873

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	中央公園再整備事業	5 1 0 , 4 8 4	総額	510,484	
			特定財源	国	727
				県	0
				市債	227,700
				他	0
			一般財源	282,057	
令和 8 年度	中央公園再整備事業	7 3 6 , 0 1 4	総額	736,014	
			特定財源	国	323,224
				県	0
				市債	372,400
				他	3,600
			一般財源	36,790	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
中央公園再整備工事については、令和7年8月から本格的に着手し、現在、基盤整備に合わせて、カフェやトイレ等の施設整備も進めているが、一部工事進捗の遅れが生じているほか、物価高騰や追加工事等への対応が必要となっている。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
中央公園のオープンに向け、遅滞なく諸手続きを行うとともに、令和9年度（最終年度）の予算を確保するため、本省への要望活用を積極的に行うなど、効率的かつ効果的に進めていく。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	公園緑地課
	施策	景観形成の推進		電話番号	087-839-2494
	取組方針	公園・緑地の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	街路樹等再整備事業			

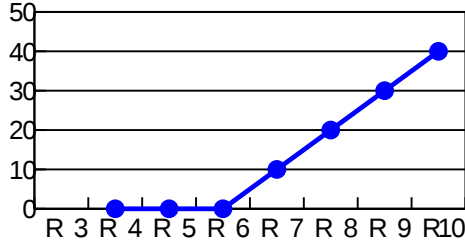
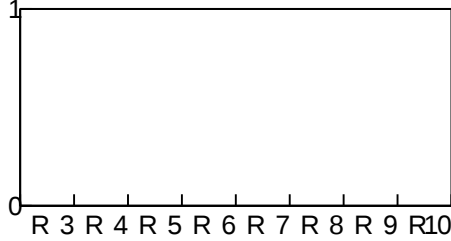
【事業全体概要】					
事業概要	市内街路樹について、現状と課題を整理した上で、「街路樹再生による安全な道路空間の確保」や「都市の魅力・景観の向上」、「適正かつ持続可能な維持管理」などに計画的に取り組むものである。 また、緑の基本計画の改定（R10予定）に向け、本市のグリーンインフラ全体のあり方について、調査・検討を行うものである。				
8年度概要	街路樹再整備工事設計業務委託 街路樹再整備工事 緑の基本計画策定				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	市内84路線の街路樹（高木約5,764本、低木約30831m2）のうち問題が生じている路線
意図（どのような状態にしたいか）	街路樹の適正かつ持続可能な維持管理を計画的に実施することにより、安全な道路空間を確保するとともに、街路樹をいかした都市の魅力・景観を向上すること

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
街路樹整備による景観・魅力向上路線数（２路線）	m 2	0	0	0	1	1
街路樹再整備路線数（３６路線）	路線	0	0	0	22	22

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	街路樹管理に関する通報件数の減少率	%	目標値	0	0	10	20	20	
			実績値	0	0	0			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	令和 7 年度に街路樹管理計画を策定した。		(目標達成度) 0.0%						
				(得点) 0点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値						
			実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
				(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	13,997	34,319	64,383
(事業費)	[千円]	0	101	25,204	55,268
(職員人件費)	[千円]	0	13,896	9,115	9,115

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	街路樹再整備計画策定	2 5 , 2 0 4	総額	25,204	
			特定財源	国	12,602
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	12,602	
令和 8 年度	街路樹再整備工事設計業務委託 街路樹再整備工事 緑の基本計画策定	3 , 9 0 5 4 4 , 0 0 0 7 , 3 6 3	総額	55,268	
			特定財源	国	13,869
				県	0
				市債	28,900
				他	0
			一般財源	12,499	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	3	一部結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	C	総合点 (率)	22 / 100 (22 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

街路樹管理計画を策定した。今後は当計画に基づき整備を実施する。

本市の街路樹等の現状と課題を明確にした上で、適切な配置や在り方を取りまとめるとともに、都市景観の向上や計画的かつ効率的な維持管理に努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	住宅政策課
	施策	居住環境の充実		電話番号	087-839-2136
	取組方針	住まい・住環境づくりの推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	豊かな住まいづくり事業			

【事業全体概要】

事業概要	今後、少子高齢化や世帯数の減少により、空き家はさらに増加する見込みであり、これまでの住宅の「量の確保」から「質の向上」を図るとともに、多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画及び立地適正化計画における居住誘導区域内の既存ストックの活用に対し支援することで、居住誘導区域内への定住を促進する。線引きの廃止や居住志向など本市の地域特性に対応した施策・事業の展開を後押しするため、令和2年3月に「豊かな住まいづくり条例」を制定、また、国の住生活基本計画及び香川県住生活基本計画を踏まえ、地域の特性に応じた住宅課題に対応するため、令和4年3月に「住生活基本計画」を策定し、きめ細かな住宅政策に取り組んでいる。				
8年度概要	住生活基本計画等計画見直し関連事業費 住宅取得支援事業 安心あんぜん住宅事業 マンション管理士派遣業務 マンション管理助言指導 高齢者住替え等促進事業 その他事務費等				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	2-	関連根拠法令	住生活基本法、住生活基本計画

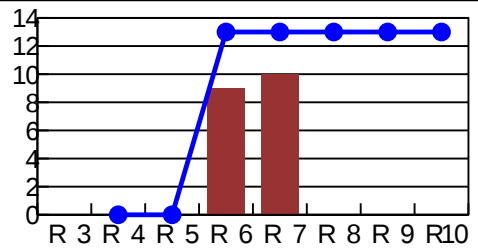
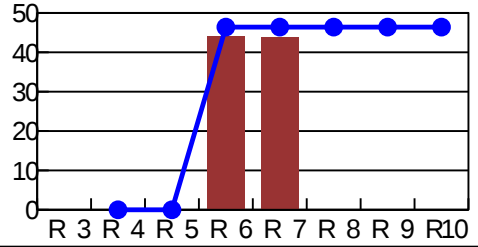
【事業の目的】

対象（何を）	市民及び住宅
意図（どのような状態にしたいか）	・良質な住宅ストックの形成と将来世代への承継 ・良好な住宅環境の形成 ・多様な居住ニーズが適切に実現される住宅市場の環境整備

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
住宅施策総合パンフレット配布部数	部	0	350	302	253	253

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	高松市安心あんぜん住宅事業補助金件数	件	目標値	0	13	13	13	13
			実績値	0	9	10		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	住宅施策総合パンフレットの配布と関係機関と連携するなど、事業の周知・広報に努めたものの、補助申請数が伸びず、目標は達成することができなかったが、前年度を上回ることはできた。		（目標達成度） 76.9% （得点） 27点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	居住誘導区域内の人口密度（1ha当たりの人口）	人	目標値	0	46.4	46.4	46.4	46.4
			実績値	0	44.1	43.9		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	居住誘導区域内への転入数が転出数を上回っており、社会動態は増加したものの、本市における人口の年齢構成上、自然動態における減少数が著しいため、目標は達成することができなかった。		（目標達成度） 94.6% （得点） 33点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	20,257	29,993	37,791	54,053
(事業費)	[千円]	1,966	2,973	1,809	18,071
(職員人件費)	[千円]	18,291	27,020	35,982	35,982

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	住宅取得支援事業 安心あんぜん住宅事業 マンション管理士派遣業務 マンション管理助言指導 高齢者住替え等促進事業 その他事務費等	6 0 0 千円 3 9 0 千円 9 9 千円 9 9 千円 3 0 0 千円 3 2 1 千円	総額	1,809	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,809	
令和 8 年度	住生活基本計画等計画見直し関連事業費 住宅取得支援事業 安心あんぜん住宅事業 マンション管理士派遣業務 マンション管理助言指導 高齢者住替え等促進事業 その他事務費等	1 4 , 0 0 4 千円 1 , 2 0 0 千円 5 1 7 千円 6 6 0 千円 4 9 5 千円 6 0 0 千円 5 9 5 千円	総額	18,071	
			特定財源	国	7,578
				県	0
				市債	0
				他	0
				一般財源	10,493

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

本市の住宅関係施策の統一した指針となる「高松市住生活基本計画」や、既存マンションの適正な管理や流通促進、管理の適正化意識の醸成を促すため、「高松市マンション管理適正化推進計画」に基づき、良質な居住環境の確保に向け取り組んでいる。令和8年度以降も、引き続き、本計画に基づいた施策を進めていくため、補助事業の周知・広報に取り組む必要がある。

本市の地域特性に対応した施策・事業の展開を後押しするため制定した「高松市豊かな住まいづくり条例」や、「高松市住生活基本計画」に基づき、空き家の発生抑制や流通促進に資する支援施策を講じる。その際、豊かな住まいづくり推進懇談会において幅広い意見を聴取した上で、きめ細かな住宅政策に取り組む。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	住宅政策課
	施策	居住環境の充実		電話番号	087-839-2136
	取組方針	空き家の管理と利活用の促進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	空き家等対策事業			

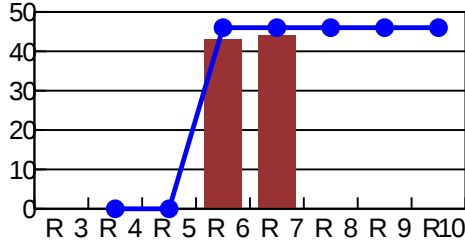
【事業全体概要】						
事業概要	市民が安全で安心して暮らせる良好な住環境の整備を図るため、空き家等の除却に対する支援や空き家の利活用を促進するなど、総合的かつ計画的な空き家対策を実施する。					
8年度概要	老朽危険空家対策事業（除却支援、緊急安全措置） 空き家等実態調査業務 空き家活用補助事業（空き家バンク改修、家財処分） 空家等対策協議会、旅費その他事務費 空き家等マッチング事業					
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	2-	関連根拠法令	空家等対策の推進に関する特別措置法	

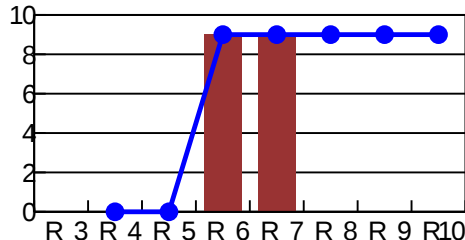
【事業の目的】	
対象（何を）	市内に存在する空き家等及びその所有者等
意図（どのような状態にしたいか）	空き家の適切な管理を図ることにより、市民が安全で安心に暮らせるまちづくりの推進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
空家に関する相談件数	件	0	413	430	300	300

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	老朽危険空家除却支援件数	件	目標値	0	46	46	46	46
			実績値	0	43	44		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	申請期間中に 6 5 件の申込みがあり、目標値を上回ったものの、その後の審査や、自己都合による辞退などにより実施件数が減少したことで、目標を達成できなかった。							
			(目標達成度)	95.7%				
			(得点)	33点				

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	空家改修支援件数	件	目標値	0	9	9	9	9
			実績値	0	9	9		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	補助制度を活用した 9 件の改修支援を行い、目標を達成した。							
			(目標達成度)	100.0%				
			(得点)	35点				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	52,430	57,950	74,447	105,487
(事業費)	[千円]	29,849	34,790	38,465	69,505
(職員人件費)	[千円]	22,581	23,160	35,982	35,982

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	老朽危険空家対策事業（除却支援、緊急安全措置） 空き家活用補助事業（空き家バンク改修、家財処分） 空家等対策協議会、旅費その他事務費 空き家等マッチング事業	2 8 , 1 3 6 千円 5 , 3 0 0 千円 3 , 1 9 1 千円 1 , 8 3 8 千円	総額	38,465	
			特定財源	国	13,171
				県	9,235
				市債	0
				他	0
			一般財源	16,059	
令和 8 年度	老朽危険空家対策事業（除却支援、緊急安全措置） 空き家等実態調査業務 空き家活用補助事業（空き家バンク改修、家財処分） 空家等対策協議会、旅費その他事務費 空き家等マッチング事業	3 6 , 4 0 0 千円 2 2 , 0 5 5 千円 5 , 8 0 0 千円 4 , 1 4 3 千円 1 , 1 0 7 千円	総額	69,505	
			特定財源	国	28,015
				県	11,625
				市債	0
				他	1,500
			一般財源	28,365	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

空き家の除却に対する支援や利活用に特化した空き家等マッチング事業を推進するなど、総合的な空き家対策を実施しているが、管理不全空き家等を含め放置された空き家については、所有者の死後、相続が適切に行われず、関係人等の調査が複雑化しているほか、相続人等の当事者意識の希薄化も管理不全の原因となっている。今後においては、こうした課題の解消に向けた取組が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

空き家対策は、市民が安全で安心して暮らせる住環境を整えていく上で、喫緊の課題であるため、引き続き、老朽危険空き家対策や空き家の利活用に取り組むとともに、空家法の改正を踏まえた管理不全空家等や特定空家等に対する取組を実施する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

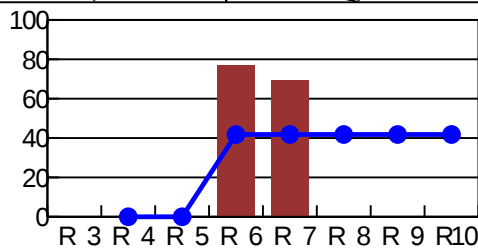
総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	下水道業務課
	施策	安全・安心な暮らしの確保		電話番号	087-839-2720
	取組方針	水の安定供給		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	【企業会計】雨水利用施設整備事業			

【事業全体概要】						
事業概要	雨水貯留施設や浸透ます・浸透管などの浸透施設の整備に対して補助金を交付し、雨水貯留施設等を普及促進することにより、水の循環利用の推進と雨水の流出抑制を図る。					
8年度概要	小規模タンク 50基 中大規模タンク 1基 浄化槽転用 16基 浸透施設 1件 需用費等					
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	水環境基本法・高松市持続する水環境の形成	

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市民等
意図（どのような状態にしたいか）	高松市全域における、水の循環利用の促進と雨水の流出抑制を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
補助金交付件数	件	0	30	22	29	29

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	雨水流出抑制量	m 3	目標値	0	41.78	41.8	41.8	41.8
			実績値	0	76.784	69.4		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	小規模貯留施設 20 基、不要浄化槽転用 2 基の整備により年間の流出抑制量が 69.4 m3 となり、目標 41.780 m3 に対して 166.0% の実績となった。		（目標達成度） 166.0%					
		（得点） 35点						
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度）					
		（得点）						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	4,627	5,013	4,848	8,904
(事業費)	[千円]	801	1,145	895	4,951
(職員人件費)	[千円]	3,826	3,868	3,953	3,953

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	小規模タンク 2 0 基 中大規模タンク 0 基 浄化槽転用 2 基 浸透施設 0 件 需用費等	5 8 2 千円 0 千円 3 0 0 千円 0 千円 1 3 千円	総額	895	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	895	
令和 8 年度	小規模タンク 5 0 基 中大規模タンク 1 基 浄化槽転用 1 6 基 浸透施設 1 件 需用費等	1 , 5 0 0 千円 1 , 0 0 0 千円 2 , 4 0 0 千円 3 0 千円 2 1 千円	総額	4,951	
			特定財源	国	2,165
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,786	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	1	貢献度が小さい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

雨水利用助成制度について広報・ホームページ等への掲載や、建築審査機関等へのパンフレットの配布により周知した。令和６年度と比較して補助件数は３０件から２２件に減少し、雨水流出抑制量は７６．７８ｍ３から６９．４ｍ３に減少したが目標値を上回っている。雨水利用は水資源の有効利用、渇水対策、浸水対策など広く市民生活に寄与する取り組みであることから、引き続き、普及促進を継続する必要がある。

雨水利用助成制度をより多くの市民に周知するため、広報高松やホームページのほか、「げすいどうフェスタ」等の機会を捉え啓発を行うほか、平成29年度の外部評価で、市民に対して、幼少期より節水意識を高めることが必要との意見が出されたことを受け、市内の小学校で実施している環境学習において、雨水の再利用の重要性について周知・啓発を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策		暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道業務課
	施策		汚水対策の推進		電話番号	087-839-2720
	取組方針		汚水処理の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		合併処理浄化槽設置整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	合併処理浄化槽の設置者に対し補助金を交付することで、合併処理浄化槽の普及促進を図り、生活排水処理対策を推進する。令和元年度から、国の単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に重点を置く方針に伴い、本市においても新設に対する補助を廃止した上で、転換に重点を置く取組として、引き続き、配管費等への上乗せ補助を行うことにより、さらなる転換促進に努める。				
8年度概要	浄化槽設置費補助	3	2	5	基
	単独浄化槽撤去・配管費補助	3	2	4	基
	施工状況検査委託料	3	2	5	基
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	水質汚濁防止法 高松市生活排水対策推進計

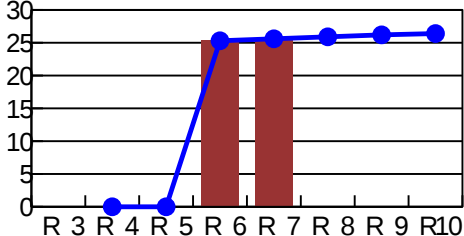
【事業の目的】

対象（何を）	浄化槽整備区域に居住する市民
意図（どのような状態にしたいか）	浄化槽整備区域における生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
浄化槽設置助成基数	基	0	289	286	325	325

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	合併処理浄化槽による汚水処理人口普及率		%	目標値	0	25.3	25.6	25.9	25.9	
				実績値	0	25.3	25.6			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	令和7年度末の合併処理浄化槽等による汚水処理人口普及率は、平成25年度からの転換上乗せ補助制度により、合併処理浄化槽の設置整備が順調に進み、25.6%となり、目標値(25.6%)を達成した。		(目標達成度) 100.0%							
(得点) 35点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	213,814	236,805	237,909	269,126
(事業費)	[千円]	189,184	211,906	212,463	243,680
(職員人件費)	[千円]	24,630	24,899	25,446	25,446

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費	
令和 7 年度	浄化槽設置費補助 2 8 6 基 単独浄化槽撤去・配管費補助 2 7 6 基 委託料 2 8 6 基	補助額 2 1 1 , 3 4 8 千円 委託料 1 , 1 1 5 千円	総額 212,463	
			特定財源	国 105,126
				県 52,836
				市債 0
				他 0
一般財源 54,501				
令和 8 年度	浄化槽設置費補助 3 2 5 基 単独浄化槽撤去・配管費補助 3 2 4 基 施工状況検査委託料 3 2 5 基	補助額 2 4 2 , 4 1 2 千円 委託料 1 , 2 6 8 千円	総額 243,680	
			特定財源	国 121,206
				県 60,603
				市債 0
				他 0
一般財源 61,871				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 単独浄化槽及び汲み取り便所からの転換に重点を置く国の方針に沿い、令和元年度より単独浄化槽等からの転換にのみ補助金を交付するとともに、設置補助に合わせて要件を満たす場合には配管工事等に対する上乗せ補助も実施し、令和７年度は、２８６件の合併浄化槽設置者に対して補助金を交付した。令和５年度より抽選による申請受付を実施しているが、予算額を上回る申込があり、令和８年度は事業費を増額している。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

公共下水道の整備と合併処理浄化槽の設置促進により、汚水処理人口普及率の向上に取り組むとともに、生活排水対策の推進を図る。

また、令和元年度から、国の方針に併せて新設に対する補助を廃止し、転換に重点を置く取組として、配管費等の上乗せ補助を実施しており、引き続き、継続的な転換促進を図っていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

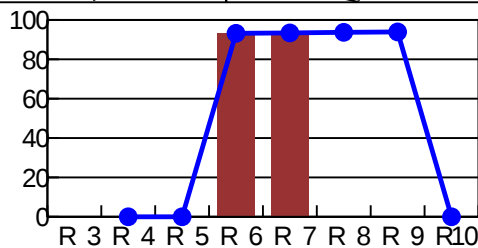
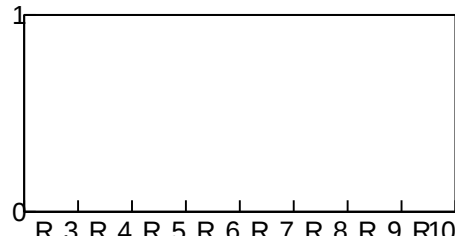
総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道業務課
	施策	汚水対策の推進		電話番号	087-839-2717
	取組方針	汚水処理の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	【企業会計】下水道普及促進事業			

【事業全体概要】					
事業概要	公共下水道処理区域内における下水道への接続を促進するため、接続依頼文書の郵送等による接続指導を実施している。また、水洗便所改造資金貸付制度などについて周知するなど、公共下水道への接続を推進し、下水道事業の経営基盤の安定、公共用水域の水質保全及び生活環境の向上を図る。				
8年度概要	水洗便所改造資金貸付金・事務生活扶助世帯排水設備設置助成金 下水道普及促進費 排水指導係その他事務費				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	下水道法、下水道条例施行規則

【事業の目的】	
対象（何を）	公共下水道処理区域内の下水道未接続世帯・事業所
意図（どのような状態にしたいか）	公共下水道への接続促進

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
接続依頼文配布および戸別訪問戸数	戸	0	2,165	1,375	2,000	2,000
水洗便所改造資金貸付件数	件	0	0	0	16	16

【事業の成果】									
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	下水道接続率（戸）	%	目標値	0	93.2	93.4	93.7	93.7	
			実績値	0	93.4	93.5			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	接続依頼文書等の配布や戸別訪問による接続指導等を継続して実施し、公共下水道への接続を促進した結果、目標 93.4 %に対して 93.5 %であった。			（目標達成度） 100.1%					
				（得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値						
			実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
				（目標達成度）					
				（得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	81,248	82,025	80,703	90,065
(事業費)	[千円]	3,132	3,057	0	9,362
(職員人件費)	[千円]	78,116	78,968	80,703	80,703

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	水洗便所改造資金貸付金・事務 生活扶助世帯排水設備設置助成金 下水道普及促進費 排水指導係その他事務費	2 千円 0 千円 3 4 0 千円 2 , 7 1 5 千円	総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	
令和 8 年度	水洗便所改造資金貸付金・事務 生活扶助世帯排水設備設置助成金 下水道普及促進費 排水指導係その他事務費	4 , 8 0 9 千円 5 0 0 千円 2 8 7 千円 3 , 1 3 4 千円	総額	9,362	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	9,362	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
コロナ禍への対応と普及促進の強化を図るため、主に依頼文書の配布による接続促進を継続している。令和6年度の2,165件から1,375件と減少しており、目標の2,000件も下回っているが、下水道接続率（戸）は目標値を超えて、93.5%に達している。また依頼文書の配布のほか、広報高松や高松商工会議所会報への啓発文の掲載等も実施した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

未接続世帯への戸別訪問、広報紙による周知・啓発などの活動を維持しながら、令和2年度から本課用務に加わった浄化槽管理・指導業務と連携することで、効率的な普及促進を行う。また、未接続世帯への技術的なサポートを加えた助言などにより、更なる下水道の普及促進を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策		災害・パンデミックに強い社会の形成		課(室)名	下水道整備課
	施策		防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2771
	取組方針		災害に強い社会基盤の整備		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		【企業会計】浸水対策施設整備事業（整備課分）			

【事業全体概要】

事業概要	安全で安心して暮らし続けられるまちを実現するため、下水道事業計画区域内の浸水被害を受けている地域において、雨水を速やかに排除するポンプ施設や雨水管きよの計画的な整備を行う。 中心市街地において西部バイパス幹線、日新ポンプ場等の整備を進めるとともに、周辺市街地においても宮川幹線を始めとする雨水幹線の整備を行うなど、計画的に施設整備を行う。					
8年度概要	雨水管きよ整備 西部バイパス幹線接続工事 φ400～700mm L=37.7m 勅使第1雨水幹線工事 両発進立坑、シールド工、防音ハウス工					
重点取組事業		市長マニフェスト	4-	関連根拠法令	都市計画法	下水道法

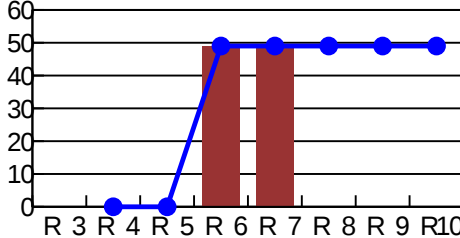
【事業の目的】

対象（何を）	下水道事業計画区域内に居住する市民
意図（どのような状態にしたいか）	下水道事業計画区域内において、雨水を速やかに排除する下水道施設を整備することにより浸水被害の軽減・解消を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	単年度雨水管きょ整備延長	m	0	191.2	15	1,337	1,337

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	雨水対策整備率		%	目標値	0	49	49	49	49	
				実績値	0	48.8	48.8			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	宮川雨水幹線工事において、雨水管きょを整備したが、供用開始には至っておらず、目標値を下回った。		(目標達成度)	99.6%						
(得点)			35点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)	
トータルコスト	[千円]	814,857	616,861	292,769	1,940,167	
	(事業費)	[千円]	774,205	575,765	250,771	1,894,874
	(職員人件費)	[千円]	40,652	41,096	41,998	45,293

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	雨水管きょ整備 宮川雨水幹線接続工事 □ 9 0 0 × 9 0 0 L = 8 . 5 m φ 4 0 0 mm L = 6 . 5 m 勅使第一雨水幹線工事 仮設工等	2 5 0 , 7 7 1 千円 【内訳】 (R 6 繰) 1 1 3 , 2 3 0 千 円 (R 7 現) 1 3 7 , 5 4 1 千 円	総額	250,771	
			特定 財源	国	40,477
				県	0
				市債	171,662
				他	0
			一般財源	38,632	
令和 8 年度	雨水管きょ整備 西部バイパス幹線接続工事 φ 4 0 0 ~ 7 0 0 mm L = 3 7 . 7 m 勅使第1雨水幹線工事 両発進立坑、シールド工、防音ハ ウス工	1 , 8 9 4 , 8 7 4 千円	総額	1,894,874	
			特定 財源	国	831,850
				県	0
				市債	1,035,200
				他	0
			一般財源	27,824	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
宮川雨水幹線工事において、雨水管きょ 1 5 . 0 mを整備したが、供用開始には至っておらず、目標値を下回った。引き続き、雨水幹線や幹線への接続工事などにより、早期に効果を発現させる必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
浸水被害の著しい箇所について、費用対効果などを考慮し、緊急性の高いものから計画的に整備を行う。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策		安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	下水道整備課
	施策		安全・安心な暮らしの確保		電話番号	087-839-2771
	取組方針		水の安定供給		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		【企業会計】再生水利用下水道整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	貴重な水資源の有効利用を図り、水の循環利用を推進するため、再生水利用下水道の整備を行う。昭和62年度から「下水処理水循環利用モデル事業」として事業を行い、平成6年4月から周辺公共施設等へ雑用水の供給を開始した。平成6年の大渇水を契機に、8年度に「再生水下水道事業」として国の事業採択を受け、13年4月にサンポート高松への再生水の供給を開始した。また、13年3月には、サンポート高松に南接する中心市街地（北側）145ha、17年3月には新たに瓦町地区4.4haについて計画区域拡大の事業認可を受け、令和8年3月現在、64施設（旧牟礼町6施設含む）に供給している。				
8年度概要	再生水送水管整備 L = 20.0m				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	下水道法

【事業の目的】

対象（何を）	再生水利用下水道事業計画区域内における大規模建築物等の管理者及び利用者
意図（どのような状態にしたいか）	水資源の有効活用及び水の安定供給を行うため、再生水が利用できる施設の増加を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
単年度送水管布設延長	m	0	4.6	0	20	20

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	再生水利用施設数		施設数	目標値	0	65	65	65	65	
				実績値	0	64	64			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	「高松市節水・循環型水利用の推進に関する要綱」に基づき、計画区域内において、大規模建築物（延べ面積2,000㎡以上）を新築・改築する場合に、再生水利用など水利用計画の策定を義務付け、再生水の利用促進に取り組んでいるが、目標値を下回った。		(目標達成度)		98.5%					
(得点)			34点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	13,431	5,729	5,764	8,364
(事業費)	[千円]	7,851	88	0	2,600
(職員人件費)	[千円]	5,580	5,641	5,764	5,764

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	再生水送水管整備 L = 0 m	0 千円	総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	
令和 8 年度	再生水送水管整備 L = 2 0 . 0 m	2 , 6 0 0 千円	総額	2,600	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	2,600
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

再生水の利用促進に努めたが、新たな利用施設は生じなかった。

引き続き、再生水供給区域内における、新たな供給希望施設との調整を行いながら、利用施設の増加を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策		暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道整備課
	施策		汚水対策の推進		電話番号	087-839-2771
	取組方針		汚水処理の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		【企業会計】汚水施設整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	公共用水域の水質保全と、人々が健康で快適に暮らせる生活環境を創出するため、汚水施設の計画的な整備を行う。下水道事業は、高松市では昭和8年から整備に着手し、昭和40年に福岡下水処理場で汚水処理を開始、昭和57年に東部下水処理場の供用を開始、平成13年に香東川浄化センターの供用が開始された。現在、令和8年3月に策定した、第5次高松市生活排水対策推進計画に基づき、整備を進めている。 令和7年度末現在、事業計画面積 6,569.7ha 整備済面積 5,516.9ha 行政人口 414,188人 処理人口 267,844人				
8年度概要	汚水管きょ整備（高松、香川地区） φ200mm L=1,821m				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	都市計画法 下水道法	

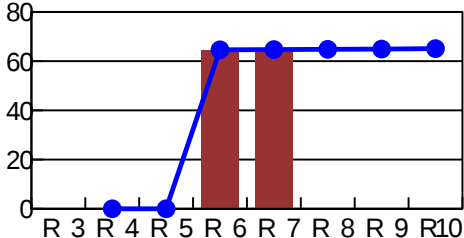
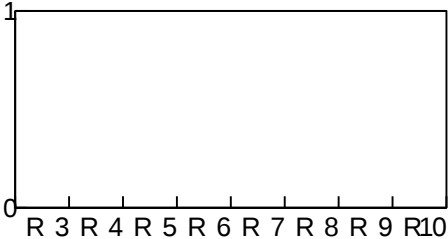
【事業の目的】

対象（何を）	下水道事業計画区域内に居住する市民
意図（どのような状態にしたいか）	下水道事業計画区域内において、公共用水域の水質保全と、人々が健康で快適に暮らせる生活環境を創出するため、汚水管きよの整備を進める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
単年度整備面積	h a	0	3.2	5.1	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	下水道人口普及率		%	目標値	0	64.6	64.7	64.8	64.8	
				実績値	0	64.5	64.7			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	高松、香川地区において、污水管きよの整備を行い、新たに5 ．1 h a の供用を開始し、目標値に達した。		(目標達成度) 100.0%							
(得点) 35点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	336,166	352,401	292,451	429,169
(事業費)	[千円]	301,891	317,752	257,041	391,288
(職員人件費)	[千円]	34,275	34,649	35,410	37,881

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	汚水管きょ整備 (高松、香川地区) φ 2 0 0 m m L = 9 3 5 . 2 m	2 5 7 , 0 4 1 千円 【内訳】 (R 6 繰) 1 6 4 , 1 0 0 千円 (R 7 現) 9 2 , 9 4 1 千円	総額	257,041	
			特定財源	国	17,722
				県	21,871
				市債	190,483
				他	20,445
			一般財源	6,520	
令和 8 年度	汚水管きょ整備 (高松、香川地区) φ 2 0 0 m m L = 1 , 8 2 1 m	3 9 1 , 2 8 8 千円	総額	391,288	
			特定財源	国	0
				県	28,450
				市債	321,600
				他	29,755
			一般財源	11,483	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

未整備区域において、費用対効果や優先度を踏まえ、污水管きよの整備に努めた。

第5次高松市生活排水対策推進計画に基づき、現下水道事業計画区域内の未整備箇所において、私道に係る污水管きよの布設同意を関係者に呼びかけることなどにより、効率的な污水管きよ整備の推進を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策		暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道整備課
	施策		汚水対策の推進		電話番号	087-839-2771
	取組方針		下水道施設の維持・更新		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		【企業会計】下水道管きょ維持管理等事業			

【事業全体概要】

事業概要	公共用水域の水質を保全し、快適で安心な生活環境を維持するため、下水道管きょについて点検・調査、改築・更新を行うなどにより適正な維持管理を行う。				
8年度概要	下水道管きょ内調査、下水道管路施設点検調査等 耐震化工事 L = 4 8 4 m、耐震診断等 管きょ改築工事 L = 4 , 4 8 0 m、蓋交換 N = 5 0 箇所等				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	下水道法

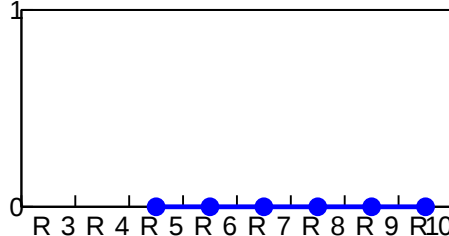
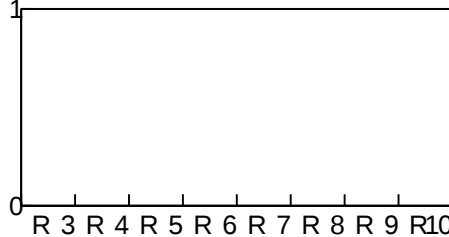
【事業の目的】

対象（何を）	下水道処理区域内に居住する市民
意図（どのような状態にしたいか）	快適な下水道利用環境を提供する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
ストックマネジメント計画に基づく点検・調査実施率	%	0	0	35	69.6	69.6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	点検・調査エリアにおける汚水溢水事故発生 件数	件	目標値	0	0	0	0	0	
			実績値	0	0	0			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	ストックマネジメント計画に基づく点検・調査を計画的に実施し、汚水溢水事故発生件数の防止を達成した。		(目標達成度)						
(得点)									
				35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値						
			実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			(目標達成度)						
(得点)									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	984,235	883,865	1,171,853	1,511,036
(事業費)	[千円]	873,438	771,859	1,046,352	1,383,064
(職員人件費)	[千円]	110,797	112,006	125,501	127,972

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	下水道管きょ内調査 下水道管路施設点検調査 耐震化工事 L = 1 , 6 9 7 . 5 m 管きょ改築工事 L = 1 , 8 1 8 . 2 m	1 , 0 4 6 , 3 5 2 千円 【内訳】 (R 6 繰) 4 4 5 , 3 3 5 千円 (R 7 現) 6 0 1 , 0 1 7 千円	総額	1,046,352	
			特定財源	国	262,560
				県	17,740
				市債	490,618
				他	0
			一般財源	275,434	
令和 8 年度	下水道管きょ内調査、下水道管路施設点検調査等 耐震化工事 L = 4 8 4 m、耐震診断等 管きょ改築工事 L = 4 , 4 8 0 m、蓋交換 N = 5 0 箇所等	1 , 3 8 3 , 0 6 4 千円	総額	1,383,064	
			特定財源	国	190,000
				県	24,600
				市債	736,100
				他	0
			一般財源	432,364	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

ストックマネジメント計画に基づき、施設の劣化状況等を踏まえながら、点検・調査を実施できている。

ストックマネジメント計画に基づく点検・調査を計画的に実施し、施設の劣化状況を踏まえながら、緊急度の高いものから計画的な長寿命化を含め適正な維持管理を行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策		災害・パンデミックに強い社会の形成		課(室)名	下水道施設課
	施策		防災・減災対策の充実		電話番号	087-842-5421
	取組方針		災害に強い社会基盤の整備		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		【企業会計】浸水対策施設整備事業（施設課分）			

【事業全体概要】

事業概要	安全で安心して暮らし続けられるまちを実現するため、下水道事業計画区域内の浸水被害を受けている地域において、雨水を速やかに排除するポンプ施設や雨水管きよの計画的な整備を行う。 中心市街地において、西部バイパス幹線、日新ポンプ場等の整備を進めるとともに、周辺市街地においても宮川幹線を始めとする雨水幹線や雨水ポンプ場の整備を行うなど、計画的に施設整備を行う。					
8年度概要	日新ポンプ場建設工事					
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	都市計画法	下水道法

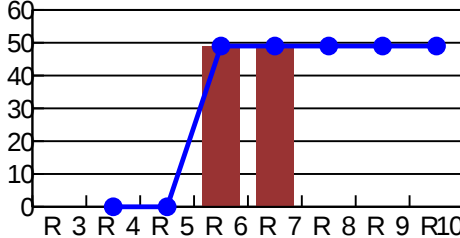
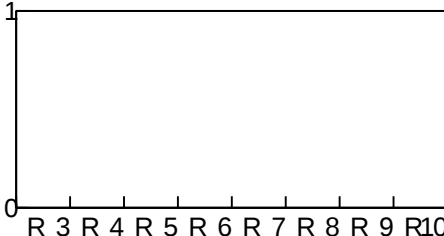
【事業の目的】

対象（何を）	雨水対策整備対象区域
意図（どのような状態にしたいか）	雨水対策整備対象区域内において、浸水被害の軽減・解消を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
単年度雨水管きょ整備延長	m	0	191.2	15	1,337	1,337

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	雨水対策整備率		%	目標値	0	49	49	49	49	
				実績値	0	48.8	48.8			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	雨水排水施設等の整備により、浸水被害の軽減・解消を図る。		(目標達成度)	99.6%						
(得点)			35点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	中心市街地の浸水対策として、雨水ポンプ場の整備を推進した。		(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	256,850	534,058	947,121	507,996
(事業費)	[千円]	248,879	526,000	938,886	500,000
(職員人件費)	[千円]	7,971	8,058	8,235	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	日新ポンプ場整備	施設整備事業費 9 3 8 , 8 8 6 千円	総額	938,886	
			特定財源	国	325,000
				県	0
				市債	399,580
				他	0
			一般財源	214,306	
令和 8 年度	日新ポンプ場建設工事	施設整備事業費 5 0 0 , 0 0 0 千円	総額	500,000	
			特定財源	国	250,000
				県	0
				市債	250,000
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

--

市内の浸水対策に資するため、日新ポンプ場の供用開始に向けて、建設工事を進めていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

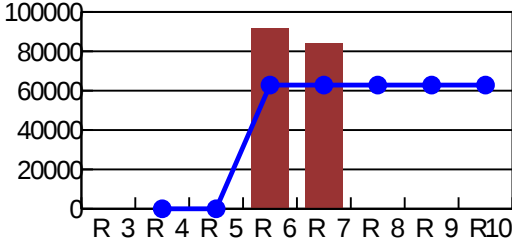
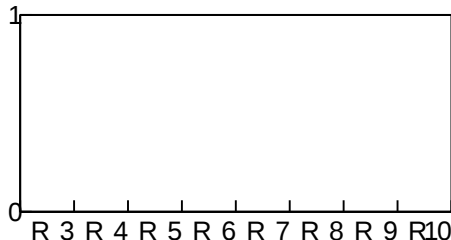
総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	下水道施設課
	施策	ゼロカーボンシティの実現		電話番号	087-842-5421
	取組方針	再生可能エネルギーの導入拡大		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	【企業会計】東部下水処理場バイオマス発電事業			

【事業全体概要】					
事業概要	東部下水処理場において、下水汚泥の処理過程で発生するバイオマスを燃料として発電を行い、民間電力事業者に売却することで、資源・エネルギーの有効利用及び健全で持続可能な事業経営に寄与する。				
8年度概要	バイオマスの運転維持管理				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	バイオマス発電設備
意図（どのような状態にしたいか）	売電収入を得る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
売電量	MW h	0	2,352	2,150	1,611	1,611

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	売電収入（税抜）	千円	目標値	0	62,844	62,844	62,844	62,844
			実績値	0	91,711	83,834		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	適切な運転管理及び効率化により、目標値を上回る売電収入を得ることができた。							
				(目標達成度) 133.4%				
				(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
				(得点)				

【コストの推移】

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	14,341	26,832	70,441	18,162
	(事業費)	10,355	22,803	66,324	14,133
	(職員人件費)	3,986	4,029	4,117	4,029

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	バイオマスの運転維持管理	バイオマス発電管理費 6 6 , 3 2 4 千円	総額	66,324	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	66,324	
令和 8 年度	バイオマスの運転維持管理	バイオマス発電管理費 1 4 , 1 3 3 千円	総額	14,133	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	14,133	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	0	ほとんどない
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	0	貢献していない
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
安定的な発電を行うため、定期的な修繕を実施する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校施設整備室
	施策		学びを支援する教育環境の充実		電話番号	087-839-2612
	取組方針		学校教育施設の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		小・中学校施設老朽化対策事業			

【事業全体概要】

事業概要	小・中学校施設について、維持管理コストを抑えながら長寿命化を図り、良好な教育環境を維持するとともに、ファシリティマネジメントの視点に立った施設の有効利用を図るため、中・長期的視点に立った学校施設長寿命化計画を策定し、計画的かつ効果的な老朽化対策に取り組みます。				
8年度概要	改築事業（実施設計・工事） 長寿命化改修（実施設計・工事） 外壁等改修（実施設計・工事） 屋根・屋上改修（実施設計・工事）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	学校教育法

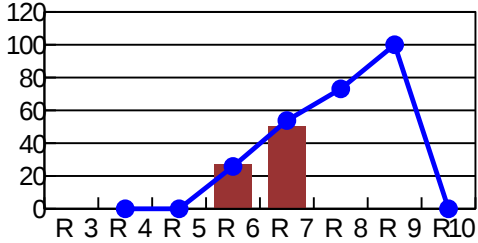
【事業の目的】

対象（何を）	小学校、中学校
意図（どのような状態にしたいか）	計画的かつ効果的な老朽化対策を実施することで、学校施設の整備コストを抑えながら、長寿命化を図り、良好な教育環境を維持するとともに、ファシリティマネジメントの視点に立った、施設の有効活用を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
老朽化対策に着手した施設件数	件	0	25	22	18	18

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	老朽化対策進捗率	%	目標値	0	25.8	53.8	73.1	73.1
			実績値	0	26.9	50.5		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	長寿命化計画による計画的かつ効率的な老朽化対策を行うため、協和中学校東棟校舎等改築実施設計に着手したほか、外壁改修（小学校6校、中学校3校）及び防水改修（小学校4校、中学校3校）を実施したが、外壁改修（小学校2校）、防水改修（小学校2校）の着手が令和8年度となった。				(目標達成度) 93.9%			
				(得点) 33点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
					(目標達成度)			
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	2,622,918	1,681,951	1,273,179	670,930
(事業費)	[千円]	2,615,391	1,627,293	1,216,647	614,318
(職員人件費)	[千円]	7,527	54,658	56,532	56,612

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	改築事業（基本設計・実施設計・工事） 長寿命化改修（実施設計） 外壁等改修（実施設計・工事） 屋根・屋上改修（実施設計・工事）	委託料 1 9 3 , 0 1 6 千円 工事請負費 1 , 0 2 3 , 6 3 1 千円	総額	1,216,647	
			特定財源	国	188,386
				県	0
				市債	864,900
				他	39,000
			一般財源	124,361	
令和 8 年度	改築事業（実施設計・工事） 長寿命化改修（実施設計・工事） 外壁等改修（実施設計・工事） 屋根・屋上改修（実施設計・工事）	委託料 2 1 4 , 1 2 1 千円 使用料及び賃借料 1 7 5 , 9 5 6 千円 工事請負費 2 2 4 , 2 4 1 千円	総額	614,318	
			特定財源	国	71,146
				県	0
				市債	219,900
				他	117,000
			一般財源	206,272	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

学校施設長寿命化計画に基づき、事業費の平準化及び抑制に努めるとともに、計画的かつ効果的な老朽化対策に取り組む必要がある。

学校施設長寿命化計画における直近５年間の整備計画に基づき、各工事を計画的かつ効果的に国の補助金等を活用し、老朽化対策に取り組む。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校施設整備室
	施策		学びを支援する教育環境の充実		電話番号	087-839-2612
	取組方針		学校教育施設の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		小・中学校バリアフリー整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	障がいの有無にかかわらず、子どもが安全かつ円滑に学校生活を送るため、学校にエレベーターを設置するなど、学校教育施設の計画的なバリアフリー化に取り組みます。					
8年度概要	実施設計 工事					
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	学校教育法	

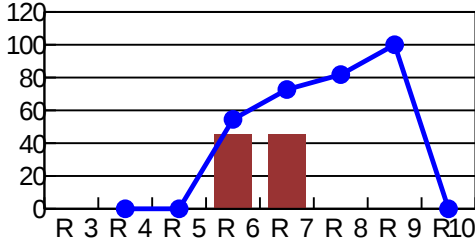
【事業の目的】

対象（何を）	小学校、中学校
意図（どのような状態にしたいか）	新たに要配慮児童・生徒が在籍する場合には、優先的な整備を検討し、今後、長寿命化計画に基づく増改築や、大規模な改修に合わせて整備することにより、教育環境の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	エレベーター設置に着手した校数	校	0	5	0	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	バリアフリー整備進捗率	%	目標値	0	54.5	72.7	81.8	81.8
			実績値	0	45.5	45.5		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	予定校のエレベーター棟増築設計及び工事を実施し、小学校1校については整備が完了した。令和7年度着手予定の2校については令和8年度着手予定。	(目標達成度)		62.6%				
(得点)		22点						

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
(得点)								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	12,397	71,025	340,167	44,743
(事業費)	[千円]	4,870	34,741	302,506	7,082
(職員人件費)	[千円]	7,527	36,284	37,661	37,661

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	実施設計	委託料 5 , 0 0 5 千円 工事請負費 2 9 7 , 5 0 1 千円	総額	302,506	
			特定財源	国	55,153
				県	0
				市債	235,300
				他	0
			一般財源	12,053	
令和 8 年度	実施設計 工事	委託料 3 , 0 0 5 千円 工事請負費 4 , 0 7 7 千円	総額	7,082	
			特定財源	国	1,359
				県	0
				市債	5,000
				他	0
			一般財源	723	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	68 / 100 (68 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

財源確保に努め、予定校のエレベーター設置を進めていく。

新たに要配慮児童・生徒が在籍する場合には、優先的な整備を検討することとするが、今後、長寿命化計画に基づく増改築や、大規模な改修に合わせて整備を行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校施設整備室
	施策	学びを支援する教育環境の充実		電話番号	087-839-2612
	取組方針	学校教育施設の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	小・中学校体育館空調設備設置事業			

【事業全体概要】

事業概要	近年の夏場の猛暑下における児童生徒の体調管理や熱中症予防への対策、良好な学習環境づくり及び災害発生時の避難施設として市立の全小・中学校（休校を除く）の主要な体育館に空調設備を新たに設置する。事業の実施方式として、従来方式の工事及びP F I方式で行う。 なお、P F I方式では、空調設備等の設置効果を十分に発揮させるため、断熱性能の向上及び老朽化等への対応を目的に、対象施設の屋根改修を併せて実施する。				
8年度概要	（P F I方式） ・アドバイザー業務委託 （従来方式） ・監理業務委託				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	4-	関連根拠法令	学校教育法

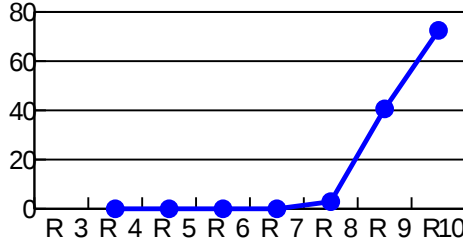
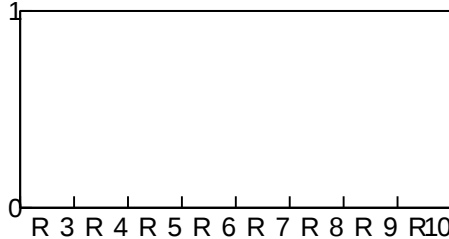
【事業の目的】

対象（何を）	小学校、中学校
意図（どのような状態にしたいか）	授業における子どもの熱中症の発症などを防止するため、計画的かつ迅速に小・中学校の体育館に空調設備の設置を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
体育館空調設備設置に着手した校数	校	0	0	0	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	体育館空調設備設置進捗率	%	目標値	0	0	0	2.9	2.9
			実績値	0	0	0		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	令和 7 年度は実施設計及びアドバイザー業務の準備期間となるため、令和 7 年度の実績値なし。 また、空調設備の設置は令和 8 年度以降に順次、計画的に実施する。	(目標達成度)						
		(得点)						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	48,576	38,517	213,676
(事業費)	[千円]	0	18,700	7,493	182,652
(職員人件費)	[千円]	0	29,876	31,024	31,024

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	(P F I方式) ・アドバイザー業務委託 (従来方式) ・実施設計	(P F I方式) 報酬 1 3 千円 (従来方式) 委託料 7 , 4 8 0 千円	総額	7,493	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	7,400
				他	0
			一般財源	93	
令和 8 年度	(P F I方式) ・アドバイザー業務委託 (従来方式) ・監理業務委託 ・空調設備設置工事	(P F I方式) 委託料 3 1 , 4 9 1 千円 (従来方式) 委託料 4 , 6 7 4 千円 工事請負費 1 4 6 , 4 8 7 千円	総額	182,652	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	151,100
				他	31,000
			一般財源	552	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	24 / 30 (80 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

令和7年度は空調設置事業の設置工事の実施設計及びPFI事業の達成に向けた、支援業務委託契約を締結し、事業費の予算化及び契約準備を進めた。

空調設備設置事業の実施のため、公募型プロポーザルにより民間事業者を募集及び選定し、R 8 年度 1 2 月の本契約を目指す。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策		学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	取組方針		確かな学力と個性を伸ばす教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		外国人児童生徒等支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	市立小・中学校に在籍する児童生徒で、日本語指導を必要としている帰国・外国人児童生徒に、学習や生活についての指導助言を行う指導者を派遣する等により、外国人児童生徒等が日本語で学習に参加できるよう日本語指導を行い、学校生活を支援する。				
8年度概要	帰国児童等指導援助 （月2回程度） 日本語教育支援員				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	

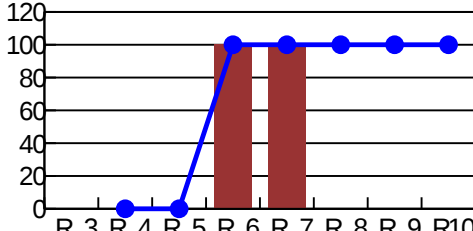
【事業の目的】

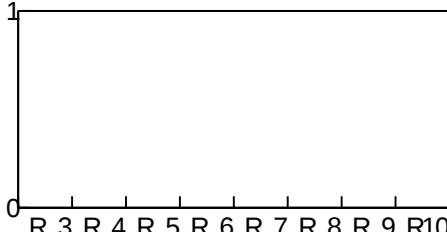
対象（何を）	市立小・中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	日本語指導の必要な児童生徒に日本語指導や生活指導を行うことにより、学校生活への円滑な適応を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	派遣延べ回数	回	0	1,108	1,115	1,170	1,170

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																		
	帰国児童等の学校生活への適応率		%	目標値	0	100	100	100	100																		
				実績値	0	100	100																				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					 <table border="1"><caption>達成率推移表</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 3</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>100</td></tr><tr><td>R 7</td><td>100</td></tr><tr><td>R 8</td><td>100</td></tr><tr><td>R 9</td><td>100</td></tr><tr><td>R 10</td><td>100</td></tr></tbody></table>				年度	達成率 (%)	R 3	0	R 4	0	R 5	0	R 6	100	R 7	100	R 8	100	R 9	100	R 10	100
	年度	達成率 (%)																									
R 3	0																										
R 4	0																										
R 5	0																										
R 6	100																										
R 7	100																										
R 8	100																										
R 9	100																										
R 10	100																										
市が設置する小中学校で教育上必要であり、本事業の実施により教育の充実が図られ、概ね目標どおり達成できた。		(目標達成度)																									
		100.0%																									
		(得点)																									
		35点																									

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																		
				目標値																							
				実績値																							
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					 <table border="1"><caption>達成率推移表 (テンプレート)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 3</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td></td></tr><tr><td>R 5</td><td></td></tr><tr><td>R 6</td><td></td></tr><tr><td>R 7</td><td></td></tr><tr><td>R 8</td><td></td></tr><tr><td>R 9</td><td></td></tr><tr><td>R 10</td><td></td></tr></tbody></table>				年度	達成率 (%)	R 3		R 4		R 5		R 6		R 7		R 8		R 9		R 10	
	年度	達成率 (%)																									
R 3																											
R 4																											
R 5																											
R 6																											
R 7																											
R 8																											
R 9																											
R 10																											
		(目標達成度)																									
		(得点)																									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	9,449	14,367	16,942	18,368
(事業費)	[千円]	5,685	7,419	9,746	11,172
(職員人件費)	[千円]	3,764	6,948	7,196	7,196

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	帰国児童等指導援助 (月2 回程度) 日本語教育支援員	6 , 6 8 4 千円 3 , 0 6 2 千円	総額	9,746	
			特定財源	国	2,457
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	7,289	
令和 8 年度	帰国児童等指導援助 (月2 回程度) 日本語教育支援員	7 , 7 8 1 千円 3 , 3 9 1 千円	総額	11,172	
			特定財源	国	3,697
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	7,475	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができています。

社会の国際化による外国人児童生徒の増加に伴い、指導者の確保と派遣回数の充実を図る必要がある。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策		学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	取組方針		確かな学力と個性を伸ばす教育の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		学校教育推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	総合的な学習の時間の充実や地域等の教育力の有効活用のため、市立小・中学校に経費補助を行う。				
8年度概要	○全ての市立小・中学校に経費補助を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	学校教育法，学校教育法施行規則，小・中学

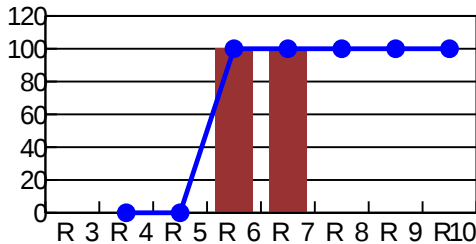
【事業の目的】

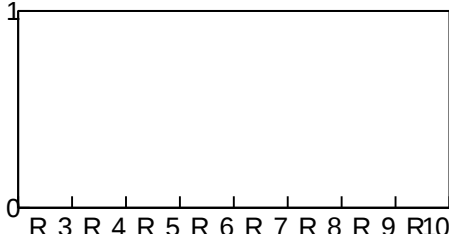
対象（何を）	市立小・中学校
意図（どのような状態にしたいか）	地域人材等を活用し、児童生徒の体験活動の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	事業実施校数	校	0	73	73	73	73

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	総合的な学習の時間における地域人材活用率	%	目標値 実績値	0 0	100 100	100 100	100	100
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	地域人材等の積極的活用や、多様な人材確保のための情報収集等により、目標は十分に達成できている。	(目標達成度)						
		(得点)						
		100.0% 35点						

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	10,878	10,932	11,879	10,742
(事業費)	[千円]	7,867	7,844	8,681	7,544
(職員人件費)	[千円]	3,011	3,088	3,198	3,198

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	○全ての市立小・中学校に経費補助を行う。	8 , 6 8 1 千円	総額	8,681	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	8,681	
令和 8 年度	○全ての市立小・中学校に経費補助を行う。	7 , 5 4 4 千円	総額	7,544	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	7,544	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができている。

学校ごとに特色ある教育を充実させるための経費として、強い要望がある補助事業である。今後においても、学校からの意見も取り入れつつ充実させていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策		学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	取組方針		確かな学力と個性を伸ばす教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		教材研究等事業			

【事業全体概要】

事業概要	教職員が使用する教科書及び指導書等の整備を行い、義務教育の充実を図る。 学習指導要領に対応した教師用指導書を支給し、学力の育成を図る。				
8年度概要	教師用教科書等の購入 教師用副読本の購入				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

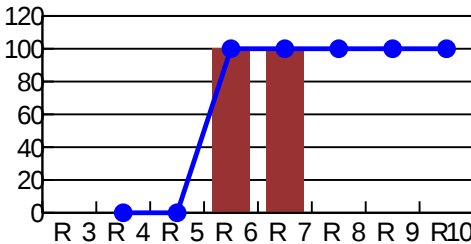
【事業の目的】

対象（何を）	市立小・中学校の教員
意図（どのような状態にしたいか）	授業内容を確実に理解し、確かな学力を育むことができるよう、一人一人の理解や習熟の程度などに応じたきめ細かな指導を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
教師用教科書購入冊数	冊	0	22,677	1,106	1,500	1,500

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	高松市立小中学校教職員への配布率	%	目標値	0	100	100	100	100
			実績値	0	100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	市が設置する小・中学校で教育上必要であり、本事業の実施により教育の充実が図られ、目標どおり達成できた。	(目標達成度) 100.0%	(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)	(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	9,840	200,780	78,225	20,543
(事業費)	[千円]	6,076	193,060	70,229	12,547
(職員人件費)	[千円]	3,764	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	教師用教科書等の購入 教師用副読本の購入	7 0 , 0 8 3 千円 1 4 6 千円	総額	70,229	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	70,229	
令和 8 年度	教師用教科書等の購入 教師用副読本の購入	1 2 , 2 6 5 千円 2 8 2 千円	総額	12,547	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	12,547	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができています。

少人数学級や加配教員の配置などに伴う指導書等の必要数増の要望の精査を行い、適宜、配付基準を見直す必要がある。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策		学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	取組方針		確かな学力と個性を伸ばす教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		英語教育推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	「語学指導等を行う外国青年招致事業」(JETプログラム)による外国語指導助手(ALT)を市内小中学校に派遣することにより、中学校英語教育や小学校英語活動、国際理解教育の充実を図る。 また、市内小学校に、学級担任を補助する「英語指導補助員」を配置する。 英語・外国語活動の授業だけでなく、ALTとの様々な活動(休み時間の活動や学校行事等)を通して、児童生徒のコミュニケーション能力の育成と、国際理解教育の推進を図る。				
8年度概要	○小・中学校に外国語指導助手(ALT)、小学校に英語指導補助員を派遣 報酬等 旅費 負担金等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	市立小・中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	外国語指導助手（ALT）等の指導を受けることにより、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力向上と英語指導補助員が小学校教員（３～６年生）をサポートすることで、より楽しく効果的な授業づくりを補助する。また、教職員の資質の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
外国語指導助手（ALT）延べ授業日数	日	0	3,960	3,960	3,960	3,960
英語指導補助員延べ派遣時間数	時間	0	4,670	3,970	3,176	3,176

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
成果指標	外国語指導助手（ALT）配置率	%	目標値	0	100	100	100	100
			実績値	0	100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	A L T 及び人材派遣の委託を活用することにより、1 0 0 % の配置率を維持することができた。		(目標達成度) 100.0%					
			(得点) 35点					
成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
成果指標	英検 3 級相当の英語力を有する中学 3 年生の割合	%	目標値	0	35	40	45	45
			実績値	0	55.8	45.5		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	英語教育の充実に向けたより効果的な施策の実施により上昇しており、概ね目標を達成することが出来ている。		(目標達成度) 113.8%					
			(得点) 35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	112,812	109,467	115,286	120,717
(事業費)	[千円]	97,758	93,255	98,494	103,925
(職員人件費)	[千円]	15,054	16,212	16,792	16,792

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	○小・中学校に外国語指導助手（ＡＬＴ）、小学校に英語指導補助員を派遣 報酬等 旅費 負担金等	9 3 , 8 1 4 千円 1 , 4 5 1 千円 3 , 2 2 9 千円	総額	98,494	
			特定財源	国	0
				県	130
				市債	0
				他	0
			一般財源	98,364	
令和 8 年度	○小・中学校に外国語指導助手（ＡＬＴ）、小学校に英語指導補助員を派遣 報酬等 旅費 負担金等	9 6 , 1 1 0 千円 2 , 3 0 7 千円 5 , 5 0 8 千円	総額	103,925	
			特定財源	国	0
				県	2,669
				市債	0
				他	0
			一般財源	101,256	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができている。小規模校へのALT派遣に委託を導入することにより、事業効果が向上した。

現在の成果を維持しつつ、令和2年以降の5・6年教科化、3・4年外国語活動必修化を受け、今後も引き続きより良い方法について検討し、小学校英語活動の充実を図る必要がある。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	取組方針	確かな学力と個性を伸ばす教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	児童生徒副読本支給事業			

【事業全体概要】

事業概要	学校教育における補助教材として、道徳用、社会科用の副読本を支給することにより、教育の充実を図る。				
8年度概要	○児童副読本の購入 ・道徳（わたしたちのふるさとかがわ） ・社会（高松の今と昔、3・4年生）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

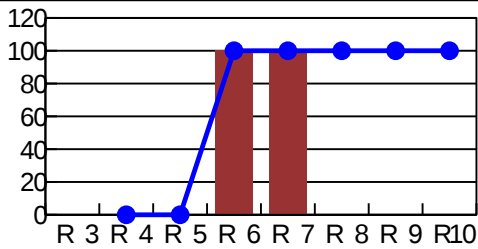
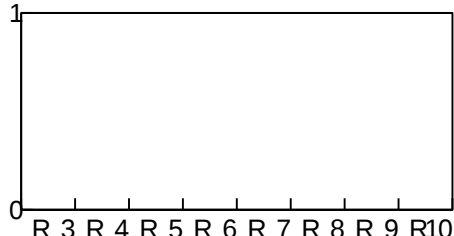
【事業の目的】

対象（何を）	市立小学校の児童
意図（どのような状態にしたいか）	学校での社会科の指導や道徳の時間などに活用し、教育の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
児童生徒副読本購入冊数	冊	0	14,125	13,773	13,000	13,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	児童生徒副読本配布率	%	目標値 実績値	0 0	100 100	100 100	100	100
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	市が設置する小学校で教育上必要であり、本事業の実施により教育の充実が図られ、目標どおり達成することができた。		（目標達成度） 100.0%					
			（得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度）					
			（得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	9,954	10,029	10,048	10,154
(事業費)	[千円]	6,190	6,169	6,050	6,156
(職員人件費)	[千円]	3,764	3,860	3,998	3,998

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	○児童副読本の購入 ・道徳（わたしたちのふるさとかがわ） ・社会（高松の今と昔、3・4年生）	6,050千円	総額	6,050	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	6,050	
令和 8 年度	○児童副読本の購入 ・道徳（わたしたちのふるさとかがわ） ・社会（高松の今と昔、3・4年生）	6,156千円	総額	6,156	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	6,156	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができています。

各小学校に対して、より一層の活用を促していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	取組方針	確かな学力と個性を伸ばす教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	特別支援教育推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	特別支援学級及び通常学級に在籍する児童生徒のうち、配慮や支援が必要な児童生徒に対する日常生活上の介助を中心に、学習の補助、児童生徒の安全確保等を行う。 また、総合教育センターと教育支援センター「みなみ」に高松第一中学校通級指導教室のサテライト教室を設置し、中学生を対象とした通級による指導を、総合教育センターと教育支援センター「みなみ」に発達障がい等をサポートするアシスト教室を設置し、短期個別指導を実施する。				
8年度概要	小・中学校に学校生活支援員（１８５人、５時間／日）を配置 サテライト教室、アシスト教室の設置				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	学校教育法等

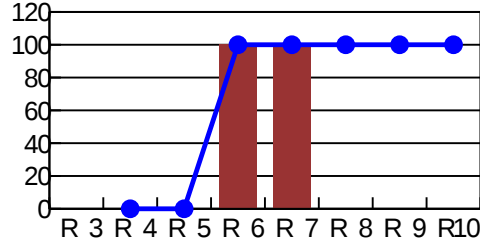
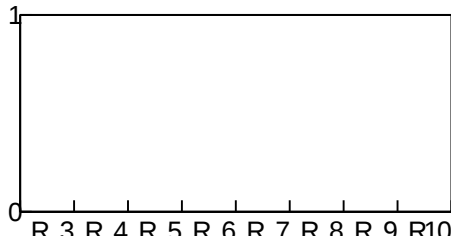
【事業の目的】

対象（何を）	特別支援学級を設置している市立小・中学校
意図（どのような状態にしたいか）	特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する教育の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
支援員延べ活動時間数	時間	0	162,343	168,679	185,000	185,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	特別支援教育支援員配置率	%	目標値 実績値	0 0	100 100	100 100	100	100
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	特別支援教育推進事業は、市立小・中学校における特別支援教育を推進する上で大きな役割を果たしている。学校側からの評価も高く、学校教育の充実に大いに寄与している。		(目標達成度) 100.0%					
			(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	183,588	207,321	235,664	264,456
(事業費)	[千円]	168,534	194,197	222,071	250,863
(職員人件費)	[千円]	15,054	13,124	13,593	13,593

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	小・中学校に学校生活支援員（１７５人、５時間／日）を配置 サテライト教室、アシスト教室の設置	２１５，５７９千円 ６，４９２千円	総額	222,071	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	222,071	
令和 8 年度	小・中学校に学校生活支援員（１８５人、５時間／日）を配置 サテライト教室、アシスト教室の設置	２４４，７６０千円 ６，１０３千円	総額	250,863	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	250,863	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができています。

各校のニーズに応じた配慮や支援を求められており、配置等について適宜対応を行う必要がある。対象児童生徒の増加や、保護者からの個別のニーズの高まりもあり、今後一層の充実を図るため、学校生活支援員を増員しており、今後の事業効果の向上が見込まれている。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	取組方針	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	教育文化振興事業			

【事業全体概要】

事業概要	児童生徒の豊かな創造力と表現力を育て、情操を高めるとともに、日常の学校教育活動の成果等を広く市民に紹介する。				
8年度概要	児童生徒の文化的・科学的活動を支える事業への支援等 香川県小・中学校文化連盟負担金				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

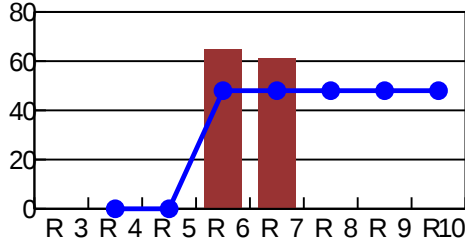
【事業の目的】

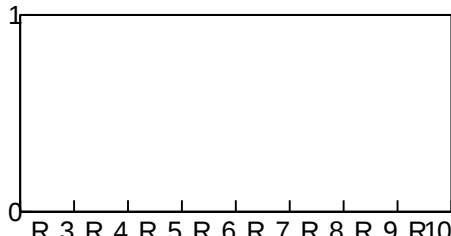
対象（何を）	市立小・中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	児童生徒の豊かな創造力と表現力を育む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
支援を行った発表会、作品展、コンクール等の件数	件	0	6	5	4	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	発表会、作品展、コンクール等に出品・参加した学校数		校	目標値 実績値	0 0	48 65	48 61	48	48
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	児童生徒の文化的・科学的活動の成果を発表する機会を設けることができ、目標を概ね達成することができた。			(目標達成度) 127.1%					
				(得点) 35点					

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
				(目標達成度)					
				(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	8,311	9,377	7,648	7,016
(事業費)	[千円]	4,547	6,289	4,450	3,818
(職員人件費)	[千円]	3,764	3,088	3,198	3,198

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	児童生徒の文化的・科学的活動を支える事業への支援等 香川県小・中学校文化連盟負担金	3 , 9 7 3 千円 4 7 7 千円	総額	4,450	
			特定財源	国	0
				県	574
				市債	0
				他	53
			一般財源	3,823	
令和 8 年度	児童生徒の文化的・科学的活動を支える事業への支援等 香川県小・中学校文化連盟負担金	3 , 3 5 2 千円 4 6 6 千円	総額	3,818	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	61
			一般財源	3,757	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施ができた。

文化芸術活動の活性化を図るため、今後も引き続きより良い方法について検討を行う必要がある。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策		学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	取組方針		豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		いじめ等対策事業			

【事業全体概要】

事業概要	小学校におけるいじめ等の問題行動等に対応するため、児童の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、いじめ等の問題行動等の早期発見・早期対応や未然防止を図る。				
8年度概要	○市内小学校にスクールカウンセラーを派遣し、いじめ等の問題行動等の早期発見・早期対応や未然防止に資する。 (1日4時間、年間10回配置) ・事業に要する経費の1/2を市が負担する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

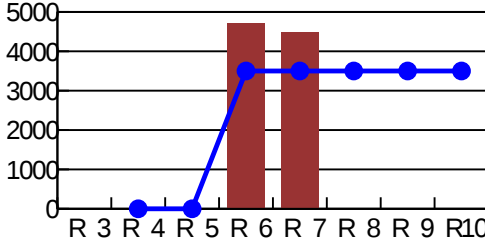
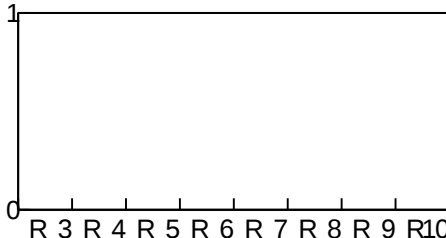
【事業の目的】

対象（何を）	市立小学校の児童、保護者、教員
意図（どのような状態にしたいか）	いじめや不登校等の重大性を認識し、正確かつ迅速な状況把握と早期解決に向けて、小学校の教育相談体制の充実を図るとともに、いじめ等の問題行動等の早期発見・早期対応や未然防止を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	スクールカウンセラー延べ活動時間数	時間	0	1,520	1,520	1,520	1,520

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	小学校におけるスクールカウンセラーへの相談件数	件	目標値 実績値	0 0	3,500 4,717	3,500 4,492	3,500	3,500
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	より細やかな児童へのカウンセリングや、教職員、保護者への専門的助言・援助、教職員等への事例研修等、スクールカウンセラーの活用により、問題行動等の減少に繋がっており、目標を概ね達成できている。	(目標達成度) 128.3%						
		(得点) 35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
		(得点)						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	取組方針	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	児童生徒指導推進事業			

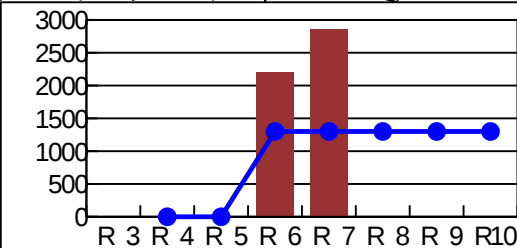
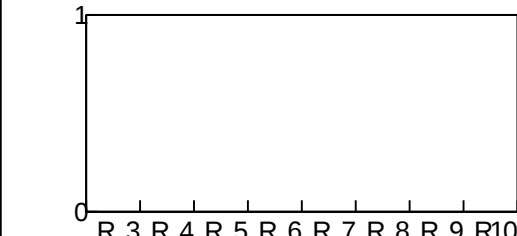
【事業全体概要】						
事業概要	福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーの計画的・効果的な活用により、児童・生徒を取り巻く環境整備を行い、暴力行為などの問題行動や不登校等の未然防止、早期発見・早期対応を促すシステム作りを行う。					
8年度概要	スクールソーシャルワーカーの配置等 いじめ相談専門員の配置					
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	いじめ防止対策推進法	

【事業の目的】						
対象（何を）	市立小・中学校の児童生徒					
意図（どのような状態にしたいか）	社会福祉等の専門的な知識と技術を用い、児童・生徒を取り巻く環境を整備することにより、問題解決を図る。					

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
スクールソーシャルワーカー（SSW）延べ派遣回数	回	0	3,629	3,556	3,800	3,800

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	スクールソーシャルワーカーによる支援件数	件	目標値	0	1,300	1,300	1,300	1,300
			実績値	0	2,198	2,855		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	スクールソーシャルワーカーの配置が、暴力行為などの問題行動や不登校等に対する早期発見・早期対応につながっており、解決の一助となっている。			(目標達成度) 219.6%				
			(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
			(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	117,846	140,498	144,737	148,896
(事業費)	[千円]	102,792	125,058	128,745	132,904
(職員人件費)	[千円]	15,054	15,440	15,992	15,992

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	スクールソーシャルワーカーの配置等 いじめ相談専門員の配置	1 2 1 , 8 6 8 千円 6 , 8 7 7 千円	総額	128,745	
			特定財源	国	29,341
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	99,404	
令和 8 年度	スクールソーシャルワーカーの配置等 いじめ相談専門員の配置	1 2 5 , 5 9 0 千円 7 , 3 1 4 千円	総額	132,904	
			特定財源	国	41,249
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	91,655	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

学校現場に制度が浸透するにつれて、事業の目的に合った人材活用を行うことができるようになってきている。

スクールソーシャルワーカーについては、今後、全ての小・中学校への配置を目指し、拡充する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	取組方針	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	小中一貫・連携教育推進事業			

事業概要	高松第一学園において実施している義務教育9年間の連続性、発展性に留意した小中一貫教育を充実させるとともに、その成果を踏まえた小中連携教育を全市立小・中学校で推進する。				
8年度概要	- 小中一貫教育の成果を踏まえた全市における小中連携の推進 ・高松みらい科（環境教育・キャリア教育）、小学校英語教育の成果 ・9年間を見通した系統的・継続的な学習指導、生徒指導 ・各中学校区における小中交流会等の事業開催				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	なし

対象（何を）	- 高松第一学園の児童生徒 - 各中学校区の児童生徒				
意図（どのような状態にしたいか）	義務教育9年間の連続性、継続性・発展性に留意した学校運営を行うことにより、教育内容、指導方法等の改善を図り、子どもたちの確かな学力や豊かな人間性、健やかな体を育む。				

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
「高松みらい科」授業時間数	時間	0	470	470	470	470
小中連携教育の実践中学校区数	校	0	22	22	22	22

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	「英語」・「高松みらい」の授業のアンケート支持率	%	目標値 実績値	0 0	80 80	80 80	80	80
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	小中連携教育の実践校数	校	目標値 実績値	0 0	69 69	69 69	69	69
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	全ての小・中学校で各学校区の実情に応じた取組を行い、目標は達成できている。		目標達成度 実績値	0 0	100.0% 100.0%	100.0% 100.0%	100.0%	100.0%
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	3,764	3,860	3,998	3,998
(事業費)	[千円]	0	0	0	0
(職員人件費)	[千円]	3,764	3,860	3,998	3,998

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	○小中一貫教育の成果を踏まえた全市における小中連携の推進 ・高松みらい科(環境教育・キャリア教育)、小学校英語教育の成果 ・9年間を見通した系統的・継続的な学習指導、生徒指導 ○各中学校区における小中交流会等の事業開催	予算なし	総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	
令和 8 年度	○小中一貫教育の成果を踏まえた全市における小中連携の推進 ・高松みらい科(環境教育・キャリア教育)、小学校英語教育の成果 ・9年間を見通した系統的・継続的な学習指導、生徒指導 ○各中学校区における小中交流会等の事業開催	予算なし	総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができています。

全体的には小中学校間の円滑な教育の接続、中１ギャップの解消を図ることを引き続き目指す。個別には学習面でのサポートの必要な子どもたちへのサポートを充実させる。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

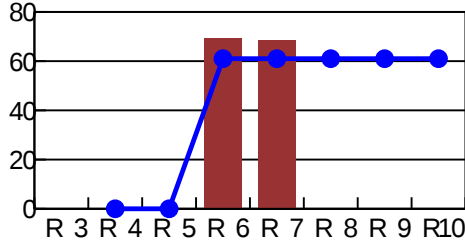
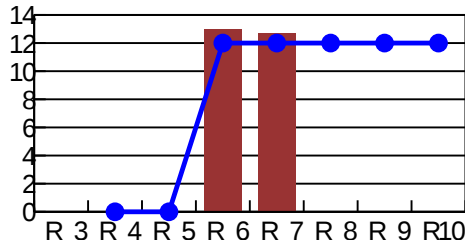
総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	取組方針	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	学校図書館活性化推進事業			

【事業全体概要】					
事業概要	学校図書館用図書の一層の効果的活用を図るとともに、児童・生徒の個性を伸ばす教育に資するため、学校図書館指導員を学校に配置し、情報提供等の支援を行う。 ・読書センターとしての機能を発揮できる学校図書館の効果的な運営を行い、本の読み聞かせなどを通して、感動する本と出会う機会を作ることによって豊かな心を育み、知的好奇心を高める。 ・学習・情報センターとしての機能の充実を図り、情報の収集、選択、整理、発信等の力を高める。				
8年度概要	小学校47校、中学校22校に学校図書館指導員（60人、6時間/日）を配置し、情報提供等の支援を行う。 親子読書活動の推進				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	子どもの読書活動の推進に関する法律、学校

【事業の目的】	
対象（何を）	市内小・中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	児童生徒の読書への関心を高める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
指導員延べ年間活動日数	日	0	14,580	14,520	12,060	12,060

【事業の成果】									
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	児童 1 人当たりの学校図書館図書の貸出冊数	冊	目標値	0	61	61	61	61	61
			実績値	0	69.1	68.3			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	学校図書館指導員を配置したことで、児童が図書室を利用する機会が増え、読書意欲もさらに高まっており、目標を達成することができている。		（目標達成度） 112.0% （得点） 35点						
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	生徒 1 人当たりの学校図書館図書の貸出冊数	冊	目標値	0	12	12	12	12	12
			実績値	0	13	12.7			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	学校図書館指導員を配置したことで、生徒が図書室を利用する機会が増え、読書意欲もさらに高まっていると考えられる。		（目標達成度） 105.8% （得点） 35点						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	184,838	225,788	236,845	241,233
(事業費)	[千円]	181,074	221,928	232,847	237,235
(職員人件費)	[千円]	3,764	3,860	3,998	3,998

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	小学校47校、中学校22校に学校図書館指導員(60人、6時間/日)を配置し、情報提供等の支援を行う。 親子読書活動の推進	232,847千円 0千円	総額	232,847	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	232,847				
令和 8 年度	小学校47校、中学校22校に学校図書館指導員(60人、6時間/日)を配置し、情報提供等の支援を行う。 親子読書活動の推進	237,235千円 0千円	総額	237,235	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	237,235				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができています。

配置の見直しや学校現場における活用を推進するなど、事業の費用対効果を高める方策を検討し、学校図書館の一層の充実、利用促進を図っていく必要がある。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価 担当	局名	教育局
	政策		個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策		学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	取組方針		豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		子どものシビックプライド醸成事業			

【事業全体概要】

事業概要	第3期高松市教育振興基本計画の基本的な考え方の一つである「高松で育ち、高松で学び、高松で暮らして良かったと思える教育」の実現に向け、高松プライドプロジェクトを実施し、子どもたちのシビックプライド（地域の持続的な発展に当事者として貢献しようとする心）を育てる。				
8年度概要	○動画・マップの編集等委託等 ○参加者集合型の職業体験学習の実施				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	

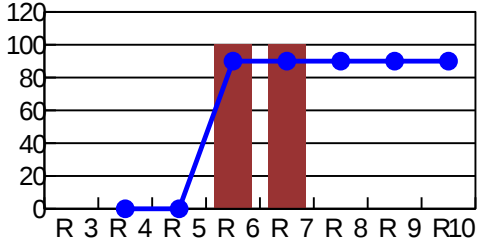
【事業の目的】

対象（何を）	高松市立小・中学校の児童生徒及び高松第一高等学校の生徒
意図（どのような状態にしたいか）	高松市立小・中学校の代表児童生徒が学校や地域をよりよくするための取組について、意見交換や情報交換を行う高松プライドプロジェクトを実施し、自分の住む地域や高松市に誇りを持ち、地域社会への参画意欲につなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	高松プライドプロジェクト参加校数	校	0	24	23	22	22

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	参加者のうち、市民参画意識が高まった児童生徒の割合		%	目標値	0	90	90	90	90	
				実績値	0	100	100			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	高松プライドプロジェクトを予定通り実施し、参加した児童全員に、市民意識の高まりが見られ、目標を達成できた。		(目標達成度)							
(得点)										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	7,548	8,329	8,281
(事業費)	[千円]	0	2,144	2,732	2,684
(職員人件費)	[千円]	0	5,404	5,597	5,597

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	○動画・マップの編集等委託等	2 , 7 3 2 千円	総額	2,732	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	2,732				
令和 8 年度	○動画・マップの編集等委託等 ○参加者集合型の職業体験学習の実施	2 , 6 8 4 千円	総額	2,684	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	2,684				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができている。

シビックプライドの醸成に向けて、令和８年度は高松プライドプロジェクトの一環として、小学校高学年児童と中学生を対象に、参加者集合型の職業体験学習を実施する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学びを支援する教育環境の充実		電話番号	087-839-2616
	取組方針	安全対策と教育機能の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	遠距離児童・生徒等通学費助成事業			

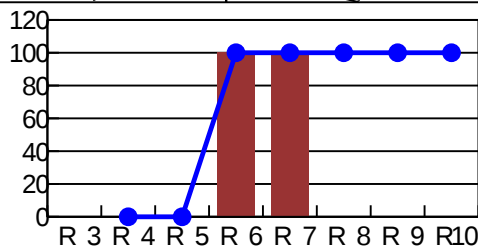
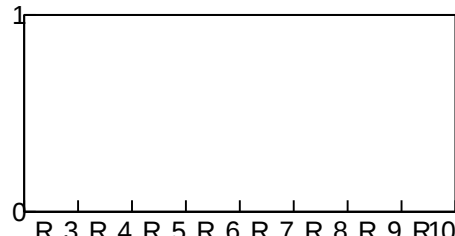
【事業全体概要】					
事業概要	離島及び合併前の塩江町・香川町区域内の通学が困難な地域から通学する児童生徒の保護者、また、小学校の統合によって従前より通学距離が延長となる児童の保護者に対し、予算の範囲内で補助金を交付することにより、児童生徒の安全及び保護者負担の軽減を図る。				
8年度概要	【小学校】遠距離児童通学費補助金の交付及びスクールバス運行業務委託（塩江・庵治） 【中学校】遠距離生徒通学費補助金の交付及びスクールバス運行業務委託（塩江）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	離島及び合併前の塩江町・香川町区域内からの遠距離通学児童生徒の保護者を対象に実施。
意図（どのような状態にしたいか）	遠距離児童等の保護者負担を軽減するとともに、児童生徒の登下校の安全確保を図る。 通学費補助率 = 通学費補助児童生徒数 / 通学費補助対象児童生徒数

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
通学費補助件数	件	0	14	11	10	10

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	通学費補助率	%	目標値	0	100	100	100	100
			実績値	0	100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	教育環境の均等化が図られる本事業の実施により、義務教育の円滑な実施が図られ目標どおり達成できた。		(目標達成度) 100.0% (得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度) (得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	24,761	36,594	38,494	42,958
(事業費)	[千円]	21,750	30,418	32,097	36,561
(職員人件費)	[千円]	3,011	6,176	6,397	6,397

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	【小学校】遠距離児童通学費補助金の交付及びスクールバス運行業務委託（塩江・庵治） 【中学校】遠距離生徒通学費補助金の交付及びスクールバス運行業務委託（塩江）	2 0 , 0 6 7 千円 1 2 , 0 3 0 千円	総額	32,097	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	157
一般財源		31,940			
令和 8 年度	【小学校】遠距離児童通学費補助金の交付及びスクールバス運行業務委託（塩江・庵治） 【中学校】遠距離生徒通学費補助金の交付及びスクールバス運行業務委託（塩江）	2 2 , 6 3 8 千円 1 3 , 9 2 3 千円	総額	36,561	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	211
一般財源		36,350			

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができています。

申請窓口となっている学校の事務負担の軽減を図るために、対象者の把握等について、学校との連携を密に行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策		学びを支援する教育環境の充実		電話番号	087-839-2616
	取組方針		安全対策と教育機能の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		教育資金支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	成績優秀かつ向学心おう盛な生徒であって、経済的理由のため進学困難な者に対し、奨学金を支給するとともに、高等学校等に入学を希望する生徒の保護者で、入学準備金の調達が困難な者に対し、入学準備金を貸し付け、教育の機会均等に努める。				
8年度概要	奨学金の支給 入学準備金の貸付 高等学校等入学準備助成金等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

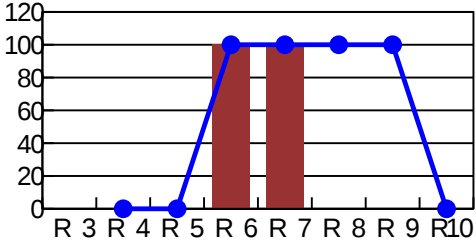
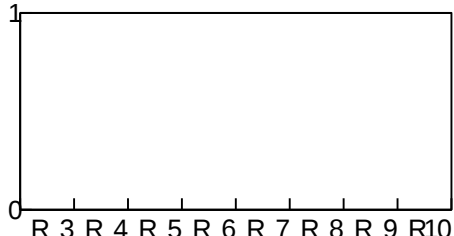
【事業の目的】

対象（何を）	経済的理由のため就学困難な者
意図（どのような状態にしたいか）	就学を希望する者が経済的理由で、その機会を失うことがないように就学の機会を与える。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	奨学金支給人数	人	0	194	236	190	190

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	奨学金受給希望者の高等学校等の進学率	%	目標値		0	100	100	100	100
			実績値		0	100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	就学者の経済的負担が軽減され、教育環境の充実に結びつき、 目標どおり達成できた。	(目標達成度)	100.0%						
(得点)		35点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値						
			実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
		(目標達成度)							
(得点)									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	28,681	41,021	41,297	49,327
(事業費)	[千円]	24,917	30,985	30,902	38,932
(職員人件費)	[千円]	3,764	10,036	10,395	10,395

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	奨学金の支給 入学準備金の貸付 高等学校等入学準備助成金等	2 4 , 1 4 5 千円 6 0 4 千円 6 , 1 5 3 千円	総額	30,902	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	6,694
			一般財源	24,208	
令和 8 年度	奨学金の支給 入学準備金の貸付 高等学校等入学準備助成金等	2 5 , 9 2 7 千円 2 , 3 1 1 千円 1 0 , 6 9 4 千円	総額	38,932	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	12,778
			一般財源	26,154	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができています。

例年広報誌やＨＰ、学校を通じて制度の周知に努めているが、支給人数は横ばいである。国、県等が実施する支援制度を勘案しつつ、今後も各制度の在り方について引き続き検討する必要がある。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

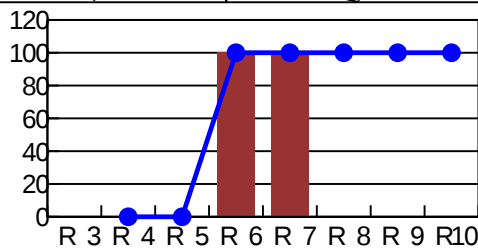
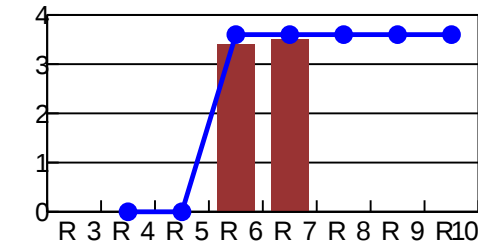
総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学びを支援する教育環境の充実		電話番号	087-839-2616
	取組方針	教員の資質向上と教育指導体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	学校・地域連携システム推進事業			

【事業全体概要】						
事業概要	学校運営協議会を各小・中学校に設置する。地域連携システムにおける学校運営協議会は、学校が、保護者や地域の住民に対し、学校運営に関して、活動内容を報告したり、意見や支援活動を求めることで、当該学校のよりよい教育の実現に取り組む。					
8年度概要	○学校運営協議会委員報酬等					
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	学校教育法施行規則	高松市立の管理運営に

【事業の目的】	
対象（何を）	学校、地域
意図（どのような状態にしたいか）	学校が保護者や地域の住民に対し、学校運営に関して、活動内容を報告したり、意見や支援活動を求めたりすることで、当該学校のよりよい教育の実現に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
学校・地域連携システム組織結成校数	校	0	69	69	69	69

【事業の成果】									
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	学校・地域連携システム組織結成割合	%	目標値	0	100	100	100	100	
			実績値	0	100	100			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	すべての学校で組織を結成することができており、目標は達成できた。								
			(目標達成度)						
			100.0%						
			(得点)						
			35点						
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	学校評価（家庭や地域との連携・協働）の評価平均得点	点	目標値	0	3.6	3.6	3.6	3.6	
			実績値	0	3.4	3.5			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	家庭や地域との連携・協働に関して、保護者や地域が効果を実感することができる事業実施方法を検討する必要がある。								
			(目標達成度)						
			97.2%						
			(得点)						
			34点						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	8,349	10,886	11,771	12,537
(事業費)	[千円]	4,585	5,482	6,174	6,940
(職員人件費)	[千円]	3,764	5,404	5,597	5,597

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	○学校運営協議会委員報酬等	6 , 1 7 4 千円	総額	6,174	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	6,174	
令和 8 年度	○学校運営協議会委員報酬等	6 , 9 4 0 千円	総額	6,940	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	6,940	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	95 / 100 (95 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができています。

各校の具体的な活動内容の情報共有を図るなどにより、一層充実した活動となるよう努める。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学びを支援する教育環境の充実		電話番号	087-839-2616
	取組方針	教員の資質向上と教育指導体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	研究指定校研究推進事業			

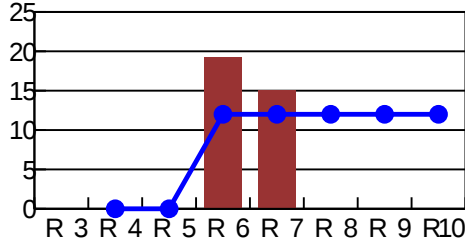
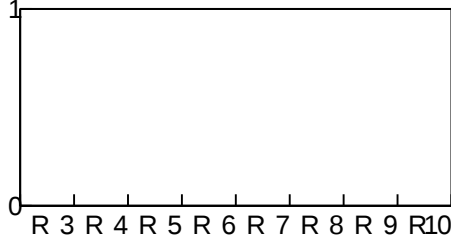
【事業全体概要】					
事業概要	国・県から研究指定校等事業を受けることで、学校課題の解決及び学校教育活動の改善・充実を図るとともに、教職員の資質・能力の向上を図る。				
8年度概要	○国・県から事業を受託し、研究指定校が必要とする経費を支出する。 ○研究推進についての指導・助言を行う。 小学校費 中学校費				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	市立小・中学校
意図（どのような状態にしたいか）	研究指定校等事業の実施により、学校課題の解決等を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
研究推進についての指導・助言を行った学校数	校	0	14	11	9	9

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	研究指定校等事業の成果をいかしている学校の割合	%	目標値 実績値	0 0	12 19.2	12 15.1	12	12
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	研究指定等事業の受託を希望する学校への支援により、学校課題の解決等を図りながら、目標を概ね達成できた。	(目標達成度) 125.8%						
		(得点) 35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
		(目標達成度)						
		(得点)						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策		学校教育の充実		電話番号	087-811-6300
	取組方針		豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		学校教育における食育推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるため、学校教育における食育の推進を図る。				
8年度概要	朝日新町学校給食センターでの各種食育関連行事の開催等 市内各調理場の状況に応じたアレルギー対応 私立幼稚園の園児・保護者への指導を通じた、幼児期からの食育の推進 地域の特色ある献立の実施				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	食育基本法、学校給食法

【事業の目的】

対象（何を）	小・中学校、幼稚園の児童生徒及び園児
意図（どのような状態にしたいか）	様々な経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する知識を習得し、健全な食生活を実践することができる人を育てる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
食に関する年間指導計画を作成している学校数	校	0	69	69	69	69
食に関する年間指導計画を作成している学校の割合	%	0	100	100	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																		
	学校給食における県産食材使用率		%	目標値	0	46.4	46.4	46.4	46.4																		
				実績値	0	46.5	49.8																				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					<table><caption>県産食材の使用率の達成度</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 3</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>46.4</td></tr><tr><td>R 7</td><td>46.4</td></tr><tr><td>R 8</td><td>46.4</td></tr><tr><td>R 9</td><td>46.4</td></tr><tr><td>R 10</td><td>46.4</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (%)	R 3	0	R 4	0	R 5	0	R 6	46.4	R 7	46.4	R 8	46.4	R 9	46.4	R 10	46.4
	年度	実績値 (%)																									
R 3	0																										
R 4	0																										
R 5	0																										
R 6	46.4																										
R 7	46.4																										
R 8	46.4																										
R 9	46.4																										
R 10	46.4																										
県産食材の使用については、県の補助事業を活用し、積極的に県産食材を取り入れた結果、目標を達成できた。		(目標達成度)	107.3%																								
		(得点)	35点																								
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																		
	食育セミナー開催回数		回	目標値	0	4	4	4	4																		
				実績値	0	3	2																				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					<table><caption>食育セミナー開催回数の達成度</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (回)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 3</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>3</td></tr><tr><td>R 7</td><td>2</td></tr><tr><td>R 8</td><td>4</td></tr><tr><td>R 9</td><td>4</td></tr><tr><td>R 10</td><td>4</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (回)	R 3	0	R 4	0	R 5	0	R 6	3	R 7	2	R 8	4	R 9	4	R 10	4
	年度	実績値 (回)																									
R 3	0																										
R 4	0																										
R 5	0																										
R 6	3																										
R 7	2																										
R 8	4																										
R 9	4																										
R 10	4																										
食育セミナーについては、「かんきつ収穫体験」が雨天のため、朝日新町学校給食センター見学会が大規模修繕のため中止となったが、その他は予定どおり実施できた。		(目標達成度)	50.0%																								
		(得点)	18点																								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	14,654	15,886	16,857	16,855
(事業費)	[千円]	5,847	6,854	7,502	7,500
(職員人件費)	[千円]	8,807	9,032	9,355	9,355

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	朝日新町学校給食センターでの各種食育関連行事の開催等 市内各調理場の状況に応じたアレルギー対応 私立幼稚園の園児・保護者への指導を通じた、幼児期からの食育の推進 地域の特色ある献立の実施	～ 会計年度任用職員栄養士報酬等 7,502千円	総額	7,502	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	7,502				
令和 8 年度	朝日新町学校給食センターでの各種食育関連行事の開催等 市内各調理場の状況に応じたアレルギー対応 私立幼稚園の園児・保護者への指導を通じた、幼児期からの食育の推進 地域の特色ある献立の実施	～ 会計年度任用職員栄養士報酬等 7,500千円	総額	7,500	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	7,500				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	75 / 100 (75 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

県産食材については、県の補助事業を活用し、積極的に県産食材を取り入れた結果、目標を達成できた。食育セミナーについては、「かんきつ収穫体験」が雨天のため、朝日新町学校給食センター見学会が大規模修繕のため中止となったが、その他のセミナーは予定どおり実施できた。

朝日新町学校給食センターを食育の拠点として活用し、食育セミナーの開催等引き続き食育の推進に努めるとともに、県産食材使用率の目標を達成することができるよう、関係機関と協議する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策		学校教育の充実		電話番号	087-811-6300
	取組方針		豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		学校給食推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	児童生徒が学校給食を通して、正しい食習慣や健康管理能力を身に付けることができるよう、給食関係職員への研修等を実施し、学校における食に関する指導の充実を図るとともに、各衛生検査の実施により、衛生管理の徹底を図る。				
8年度概要	栄養教諭・栄養職員・教職員・調理従事者に対する研修会の実施 学校給食研究会への補助 各衛生検査の実施				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	学校給食法等

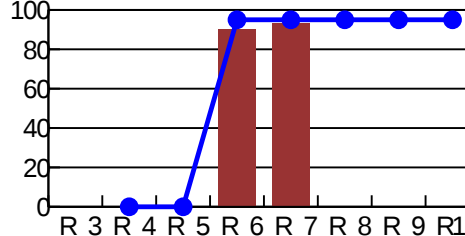
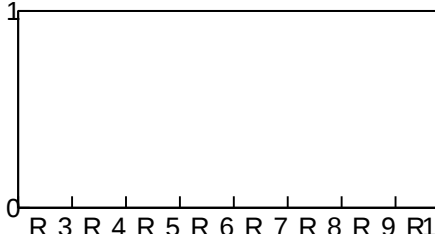
【事業の目的】

対象（何を）	栄養教諭・栄養職員・教職員・調理従事者
意図（どのような状態にしたいか）	学校給食に関する知識の習得等により、資質等の向上及び学校給食の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
研修開催回数	回	0	16	16	12	12

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	研修参加率	%	目標値	0	95	95	95	95
			実績値	0	90	93		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	学校行事や他研修会等との重複などによる欠席者があったが、 おおむね目標を達成することができた。	(目標達成度) 97.9%						
			(得点) 34点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	14,204	14,889	15,510	16,523
(事業費)	[千円]	5,924	6,397	6,714	7,727
(職員人件費)	[千円]	8,280	8,492	8,796	8,796

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	栄養教諭・栄養職員・教職員・調理従事者に対する研修会の実施 学校給食研究会への補助 各衛生検査の実施	委託料 2,559千円 負担金及び補助金 143千円 検便等手数料 3,718千円 その他 294千円	総額	6,714	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	28
			一般財源	6,686	
令和 8 年度	栄養教諭・栄養職員・教職員・調理従事者に対する研修会の実施 学校給食研究会への補助 各衛生検査の実施	委託料 2,763千円 検便等手数料 4,286千円 負担金及び補助金 190千円 その他 488千円	総額	7,727	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	109
			一般財源	7,618	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

学校における食に関する指導、危機管理、学校給食における衛生管理、新しい献立の開発等をテーマに研修を実施した。
学校行事や他研修会等との重複などによる欠席者があったが、おおむね目標を達成することができた。研修内容については、今後も現場の状況や要望に応じたテーマを、随時検討する必要がある。

研修内容について、現場の状況や要望に対応できるよう、毎年見直しを行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策		学校教育の充実		電話番号	087-839-2657
	取組方針		豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		生徒等健康診断事業			

【事業全体概要】

事業概要	児童生徒等の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とし、学校保健安全法に基づき、毎学年6月末までに児童生徒等の健康診断を実施するとともに、小児生活習慣病予防検診を実施する。 また、翌年度に小学校に就学する児童の健康状態等を把握するため、学校保健安全法に基づき健康診断を実施する。				
8年度概要	小学校児童の健康診断、小児生活習慣病予防検診 中学校生徒の健康診断、小児生活習慣病予防検診 高等学校生徒の健康診断 就学時健康診断				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	学校保健安全法第11条、第13条	

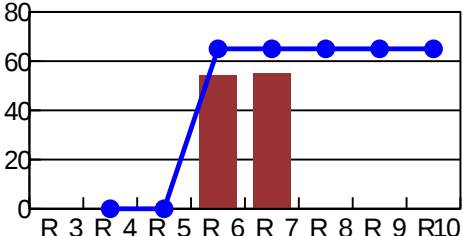
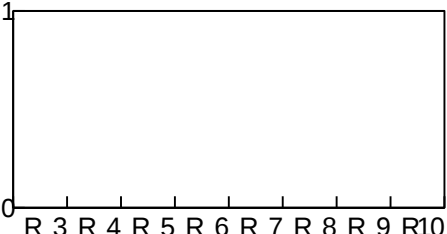
【事業の目的】

対象（何を）	高松市立の小中学校及び一高の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	疾病の早期発見、治療指導等保健管理の充実を図る。 子どもの頃から自分の健康状態を知り、よい生活習慣を身につけるとともに、生涯にわたって健康な生活を送ることができるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
学校医出校指導のべ回数	回	0	1,712	1,682	1,600	1,600

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	二次検診の受診率	%	目標値 実績値	0 0	65 54.4	65 55.2	65	65
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	昨年度から若干の増とはなったものの、感染症拡大防止対策の観点からの受診機会の減少に伴い、受診率は横ばい傾向が続いている。引き続き、小児生活習慣病予防検診に対する意識啓発に取り組む。	(目標達成度) 84.9%						
		(得点) 30点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
		(得点)						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	155,492	155,399	153,863	169,052
(事業費)	[千円]	144,201	143,819	143,628	158,817
(職員人件費)	[千円]	11,291	11,580	10,235	10,235

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	小学校児童の健康診断、小児生活習慣病予防検診 中学校生徒の健康診断、小児生活習慣病予防検診 高等学校生徒の健康診断 就学時健康診断	9 5 , 4 9 6 千円 4 4 , 1 5 5 千円 2 , 9 0 6 千円 1 , 0 7 1 千円	総額	143,628	
			特定財源	国	111
				県	3,183
				市債	0
				他	0
			一般財源	140,334	
令和 8 年度	小学校児童の健康診断、小児生活習慣病予防検診 中学校生徒の健康診断、小児生活習慣病予防検診 高等学校生徒の健康診断 就学時健康診断	9 7 , 9 3 1 千円 5 6 , 6 0 8 千円 3 , 0 2 8 千円 1 , 2 5 0 千円	総額	158,817	
			特定財源	国	111
				県	8,450
				市債	0
				他	0
			一般財源	150,256	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

児童生徒が、早い時期から自身の健康状態を把握することにより、良い生活習慣を身につけるきっかけとなっている。今後も、家庭等と密に連携し、児童生徒の健康の保持増進を図っていく。

児童生徒にとって、定期的に自身の健康状態を把握する機会は重要である。学校において、その結果や傾向をもとに健康教育を推進することは、児童生徒の健康生活を実践する意欲を高め、生涯にわたって健康的な生活を送るための基盤づくりとなることから、今後も家庭等との連携を密にし、児童生徒の健康の保持増進を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2657
	取組方針	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	学校体育推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	児童生徒の交流の場として体育大会等を開催し、体力・運動能力の向上や相互の友情を深めるとともに、教職員の体育指導の資質を高めるなど、体育の充実発展と心身ともに健全な児童生徒の育成を図る。				
8年度概要	小学校：陸上記録会の開催、課外活動等外部講師の派遣、仏生山プールの利用等 中学校：高松地区中学校体育大会の開催及び参加生徒輸送補助、全国中学校体育大会・四国中学校総合体育大会への参加生徒輸送補助、運動部活動外部講師の派遣等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

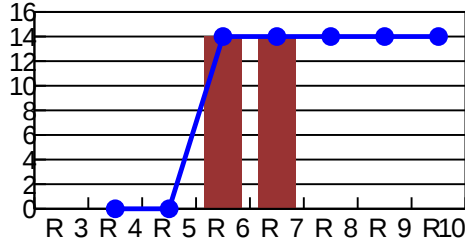
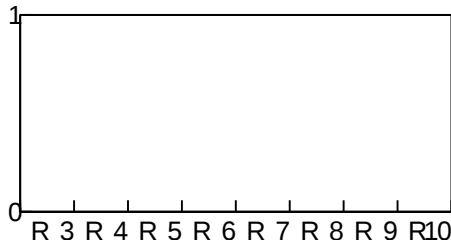
【事業の目的】

対象（何を）	高松市立小中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	各種体育大会等を開催することで、児童生徒の体力・運動能力向上を図り、交流の場を提供する。 また、学校体育の中で、各学校の特色ある「体力向上プラン」を実践し、児童生徒の体力づくりの推進と改善に努め、運動習慣の確立を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
特色ある「体力向上プラン」を実践している小中学校	学校数	0	71	73	70	70

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	全国調査にて本市平均が全国平均を上回るか 同等の項目	項目	目標値	0	14	14	14	14	
			実績値	0	14	14			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	中学校男女においては、合計点で前回調査（令和 6 年度）より 下回ったものの、個別項目では、前回調査から上昇したものが 見られ、小学校男女においては、過半数の項目が前回調査から 上昇した結果、目標を達成できた。		(目標達成度)	100.0%					
(得点)			35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値						
			実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			(目標達成度)						
(得点)									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	44,623	33,093	32,257	35,187
(事業費)	[千円]	33,332	26,145	24,421	27,351
(職員人件費)	[千円]	11,291	6,948	7,836	7,836

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	小学校：陸上記録会の開催、課外活動等外部講師の派遣 中学校：高松地区中学校体育大会の開催及び参加生徒輸 送補助、全国中学校体育大会・四国中学校総合体育大会へ の参加生徒輸送補助、運動部活動外部講師の派遣等	2,634千円 21,787千円	総額	24,421	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	24,421	
令和 8 年度	小学校：陸上記録会の開催、課外活動等外部講師の派遣 、仏生山プールの利用等 中学校：高松地区中学校体育大会の開催及び参加生徒輸 送補助、全国中学校体育大会・四国中学校総合体育大会へ の参加生徒輸送補助、運動部活動外部講師の派遣等	5,456千円 21,895千円	総額	27,351	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	27,351	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果において、体力合計点は、前回調査（令和6年度）から小学校男女は上回り、中学校男女は下回った。授業内容の工夫や様々な取組の好事例を紹介することで、体力・運動能力の向上を目指す。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

運動習慣に関して二極化が進んでおり、運動好きな児童生徒を育成するため、授業内容の工夫や様々な取組への参加啓発や好事例を紹介していく。また、健康三原則の重要性を家庭や地域に啓発し、連携の推進を行っていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2657
	取組方針	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	部活動の地域移行推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	運動部活動指導従事に伴う教職員負担軽減のため、学校における部活動指導方針に沿い、運動部活動指導員を積極的に配置する。 また、運動部活動の地域展開をスムーズに行うため、合同活動や拠点活動における学校間の調整や、受け皿となる団体の掘り起こしを行うコーディネーターを設置するとともに、検討委員会の設置とモデル事業を行う。				
8年度概要	モデル事業 コーディネーター配置支援等体制整備 部活動指導員配置 地域部活動検討委員会 地域展開関係委託				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	7-	関連根拠法令	高松市地域部活動検討委員会設置要綱等

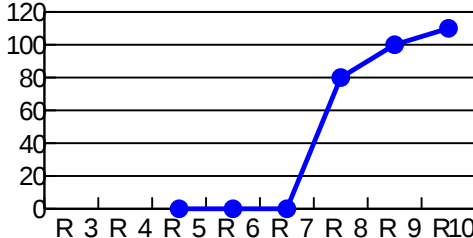
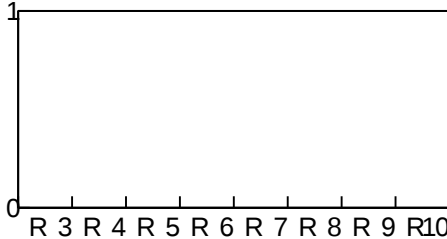
【事業の目的】

対象（何を）	高松市立中学校の生徒
意図（どのような状態にしたいか）	将来にわたり生徒がスポーツ活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、中学校部活動の地域移行に向けて、モデル事業やコーディネーターの配置等の実証事業に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
地域移行に向けたモデル事業等に取り組む市立中学校数	校	0	3	2	10	10

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																			
	認定地域クラブ数		クラブ	目標値	0	0	0	80	80																			
				実績値	0	0	0																					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					 <table><caption>達成率の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>R 3</th><th>R 4</th><th>R 5</th><th>R 6</th><th>R 7</th><th>R 8</th><th>R 9</th><th>R 10</th></tr></thead><tbody><tr><td>達成率 (%)</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>80</td><td>100</td><td>110</td></tr></tbody></table>					年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	達成率 (%)	0	0	0	0	0	80	100	110
	年度	R 3	R 4	R 5	R 6						R 7	R 8	R 9	R 10														
達成率 (%)	0	0	0	0	0						80	100	110															
Rは指標なし（地域クラブの認定が令和8年度から開始のため。）		(目標達成度)																										
		(得点)																										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																			
				目標値																								
				実績値																								
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					 <table><caption>達成率の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>R 3</th><th>R 4</th><th>R 5</th><th>R 6</th><th>R 7</th><th>R 8</th><th>R 9</th><th>R 10</th></tr></thead><tbody><tr><td>達成率 (%)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>					年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	達成率 (%)								
	年度	R 3	R 4	R 5	R 6						R 7	R 8	R 9	R 10														
達成率 (%)																												
		(目標達成度)																										
		(得点)																										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	19,620	21,585	73,083
(事業費)	[千円]	0	14,988	13,749	61,249
(職員人件費)	[千円]	0	4,632	7,836	11,834

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	モデル事業 コーディネーター配置支援等体制整備 部活動指導員配置 地域部活動検討委員会	1 9 0 千円 2 , 8 4 0 千円 1 0 , 6 2 2 千円 9 7 千円	総額	13,749	
			特定財源	国	0
				県	8,944
				市債	0
				他	0
			一般財源	4,805	
令和 8 年度	モデル事業 コーディネーター配置支援等体制整備 部活動指導員配置 地域部活動検討委員会 地域展開関係委託	1 1 , 2 4 1 千円 8 , 8 0 9 千円 2 8 , 8 5 8 千円 9 9 千円 1 2 , 2 4 2 千円	総額	61,249	
			特定財源	国	0
				県	21,874
				市債	0
				他	5,950
			一般財源	33,425	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	20 / 30 (67%)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
部活動地域移行支援コーディネーターからの提案や検討委員会での意見を基に地域クラブ活動の基本方針を策定し、令和9年9月からの実施を決定した。 また、顧問の負担軽減のため、引き続き、運動部活動指導員の積極的な配置を行った。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
令和8年度中に地域クラブの募集及び認定を行い、令和9年度から地域クラブへの参加者の募集を開始、9月の移行を目指す。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策		学びを支援する教育環境の充実		電話番号	087-811-6300
	取組方針		学校教育施設の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		学校給食調理場整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	安全で安心な学校給食の提供を行うため、施設の老朽化が著しい学校給食調理場について、衛生管理を強化した施設とするなど、令和２年度に策定した「高松市学校給食調理場整備計画」等に基づき、計画的かつ効果的に整備を行う。				
8年度概要	朝日新町学校給食センター厨房機器オーバーホール 朝日新町学校給食センター昇降式消毒保管庫シーケンサー交換 朝日新町学校給食センター空調設備更新 朝日新町学校給食センター外壁改修工事 学校給食調理場空調整備実施設計 学校給食調理場空調整備に伴う空調リース費 香川学校給食共同調理場貯水槽更新 香西学校給食共同調理場厨房機器更新（真空冷却器） 香川学校給食共同調理場厨房機器更新（真空冷却器） 花園小学校長寿命化改修に伴う備品購入等 高松市学校給食共同調理場整備検討委員会委員謝礼等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	学校給食法、高松市学校給食調理場整備指針

【事業の目的】

対象（何を）	学校給食調理場
意図（どのような状態にしたいか）	児童生徒に安全で安心な学校給食を提供するため、衛生管理を強化した施設を整備する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
学校給食調理場の増改築・改修・修繕等実施件数	件	0	4	9	4	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	ドライ仕様の調理場から給食が提供される学校の比率		%	目標値	0	26	26	26	26	
				実績値	0	26	26			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	衛生管理を強化したドライ施設として計画的に整備することで、ドライ施設から給食が提供される学校が増加し、児童生徒が、健康的で快適に学習・生活できる学校教育環境を整えることができる。		(目標達成度)		100.0%					
(得点)			35点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	65,515	113,995	168,173	294,278
(事業費)	[千円]	54,977	103,187	149,782	274,288
(職員人件費)	[千円]	10,538	10,808	18,391	19,990

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7年度	朝日新町学校給食センター真空冷却機オーバーホール	31,900千円	総額	149,782	
	朝日新町学校給食センター炊飯ラインオーバーホール	26,653千円	特定財源	国	0
	朝日新町学校給食センター天吊消毒装置オーバーホール	22,330千円		県	0
	牟礼学校給食共同調理場炊飯ラインオーバーホール	21,538千円		市債	20,200
	牟礼学校給食共同調理場厨房機器更新(真空冷却機)	13,585千円		他	2,000
	朝日新町学校給食センターボイラー4号機等改修工事	11,130千円		一般財源	127,582
	朝日新町学校給食センター東面屋上階等外壁改修工事	7,810千円			
	朝日新町学校給食センター昇降式コンテナイン消毒保管機ワイヤ交換	5,280千円			
朝日新町学校給食センター空調改修実施設計業務委託	2,990千円				
その他	6,566千円				
令和 8年度	朝日新町学校給食センター厨房機器オーバーホール	107,877千円	総額	274,288	
	朝日新町学校給食センター昇降式消毒保管庫シーケンサー交換	2,030千円	特定財源	国	0
	朝日新町学校給食センター空調設備更新	41,859千円		県	0
	朝日新町学校給食センター外壁改修工事	13,988千円		市債	81,000
	学校給食調理場空調整備実施設計	27,198千円		他	20,000
	学校給食調理場空調整備に伴う空調リース費	31,227千円		一般財源	173,288
	香川学校給食共同調理場貯水槽更新	18,575千円			
	香西学校給食共同調理場厨房機器更新(真空冷却器)	15,619千円			
香川学校給食共同調理場厨房機器更新(真空冷却器)	15,828千円				
花園小学校長寿命化改修に伴う備品購入等	87千円				
高松市学校給食共同調理場整備検討委員会委員謝礼等					

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

学校給食調理場の老朽化に対応するため、調理機器の更新やオーバーホールのほか、施設の修繕等について計画的に行った。
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
学校給食調理場の老朽化が進行しており、学校給食に要求される衛生管理に対応し、今後も安定した学校給食を供給するためには、将来を見据えて計画的かつ効果的に施設整備を行う必要がある。 また、運営方式の検討も必要である。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	生涯学習課
	施策	家庭・地域の教育力の向上		電話番号	087-839-2633
	取組方針	学校・家庭・地域の連携・協働の推進		事業期間	令和 6年度～令和 年度
	事務事業	子どもを中心にした地域交流事業			

【事業全体概要】

事業概要	各地域のコミュニティ協議会や子ども会、PTA等の複数の各種団体が構成された実行委員会が、年間7日以上実施する、子ども、保護者及び地域の大人が交流する事業に対して助成する。				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

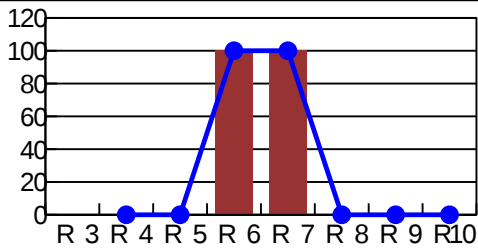
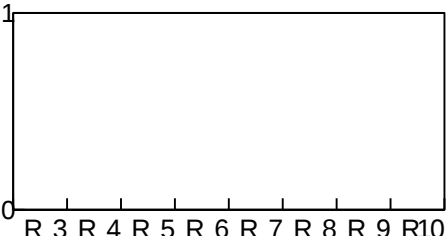
【事業の目的】

対象（何を）	各地域の児童生徒とその保護者並びに地域の大人
意図（どのような状態にしたいか）	事業を通して、地域の子どもと保護者並びに大人が接する機会を増やし、交流を深めることで、人と人とのネットワークが広がり、地域の教育力が向上する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
事業に関するホームページ更新回数	回	0	1	1	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	当該事業が「効果があった」と実感した地域の割合	%	目標値 実績値	0 0	100 100	100 100	0	0
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	事業の活用に関する、アンケート調査結果では、「効果があった」と回答があり、今後も何らかの形で事業を継続する意向であるなど、地域の教育力向上を図ることができた。			（目標達成度） 100.0%				
				（得点） 35点				
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				（目標達成度）				
				（得点）				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	2,598	2,476	2,479	0
(事業費)	[千円]	340	160	80	0
(職員人件費)	[千円]	2,258	2,316	2,399	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	継続 1 団体への補助	継続 1 団体 × 8 0 千円	総額	80	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	80	
令和 8 年度			総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	0	十分可能で、検討すべきである

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	85 / 100 (85 %)	今後の方向性	完了
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

実施した地域では、子ども・保護者・大人との交流拡大に繋がり、一定の効果をあげることができた。助成期間終了後も、地域学校協働活動の中で同様の取組が行われるよう、積極的な推進を図る必要がある。

令和7年度継続団体である1団体への補助を最後に、事業としては所期の目的を達成したため、終了するが、当事業を行った地域においては、実施効果が持続的なものとなるよう、地域学校協働活動を推進するなど、地域の教育力の向上につなげていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

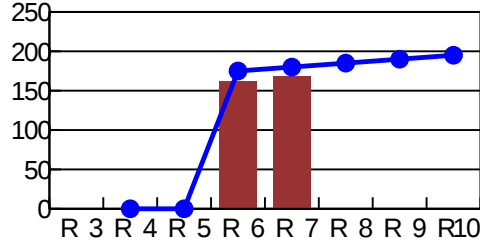
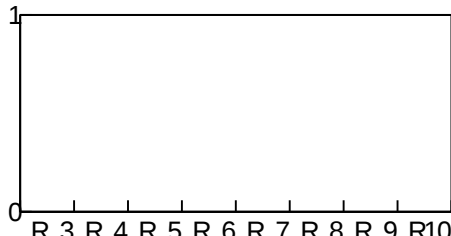
総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	生涯学習課
	施策	家庭・地域の教育力の向上		電話番号	087-839-2633
	取組方針	学校・家庭・地域の連携・協働の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	家庭教育推進事業			

【事業全体概要】					
事業概要	家庭教育力の更なる向上を図るため、保護者を対象に、小学校における就学時健康診断・入学説明会や、幼稚園の授業参観等の機会に専門の講師による「家庭教育応援講座」を実施し、多種多様な学習機会・関連情報を提供する。また、保護者が空き時間等を利用し、家庭教育について学べる機会を提供するため、「家庭教育コラム」の掲載や家庭教育に関する動画の配信などを実施する。さらに、子どもたちが生活リズムを向上させ、様々な活動に積極的に取り組み、健やかに成長できるよう、文部科学省が展開している「早寝早起き朝ごはん運動」の更なる普及・啓発活動を推進する。				
	8年度概要 家庭教育応援講座開催 家庭教育についての情報発信 早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発事業の実施				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令		

【事業の目的】	
対象（何を）	市内の幼児・児童・生徒の保護者
意図（どのような状態にしたいか）	身近な人から子育てを学んだり、助け合う機会が減少する中、安心して子育てや家庭教育ができる環境をつくる。 家庭において、親子で規則正しい生活習慣の必要性について考え、取り組むことができる。

【事業の活動】							
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	家庭教育コラム掲載回数	回	0	5	5	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	家庭教育応援講座の開催回数	回	目標値	0	175	180	185	185
			実績値	0	162	168		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	事業の活用について積極的に周知を行った結果、目標値には届かなかったが、90%を超える講座を開設し、家庭の教育力向上に資することで、概ね目標を達成することができた。			(目標達成度) 93.3%		(得点) 33点		
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)		(得点)		

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	5,903	6,256	6,652	7,397
(事業費)	[千円]	634	852	1,055	1,800
(職員人件費)	[千円]	5,269	5,404	5,597	5,597

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	家庭教育応援講座開催 家庭教育についての情報発信 早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発事業の実施	講座謝金 6 5 5 千円 情報発信謝金 3 0 千円 早寝早起き朝ごはん運動 3 7 0 千円	総額	1,055	
			特定財源	国	301
				県	150
				市債	0
				他	0
			一般財源	604	
令和 8 年度	家庭教育応援講座開催 家庭教育についての情報発信 早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発事業の実施	講座謝金 1 , 2 0 4 千円 情報発信謝金 3 5 千円 早寝早起き朝ごはん運動 5 6 1 千円	総額	1,800	
			特定財源	国	499
				県	300
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,001	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

家庭学習の学習機会が少ない保護者のために、時間や場所を問わず家庭教育について学習できるよう、「家庭教育コラム」の掲載や動画配信を実施している。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

引き続き、制度の周知等に努めるとともに、家庭教育コラムの掲載や動画配信を始め、様々な媒体を活用した効率的な家庭教育に関する啓発活動を実施していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	生涯学習課
	施策	家庭・地域の教育力の向上		電話番号	087-839-2633
	取組方針	学校・家庭・地域の連携・協働の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	地域学校協働活動推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	「学校を核とした地域づくり」を目指し、地域で活動する様々な住民等の参画を得て、地域と学校が連携して、社会全体で子どもの学びや成長を支える「地域学校協働活動」を推進するため、地域と学校の実情を理解し、双方をつなぐことができるコーディネーターを配置したモデル事業を令和6年度から8年度まで実施し、その効果検証も踏まえて、9年度から本格実施する。				
8年度概要	モデル校及びモデル事業協力校の8校における実践支援 地域・学校関係者等への周知啓発及び研修会等の開催 各校独自の課題解決支援のための小・中学校への個別訪問・学校運営協議会等への参加 本格実施に向けた要領・手引き等の作成				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	

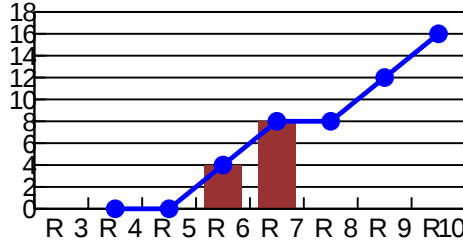
【事業の目的】

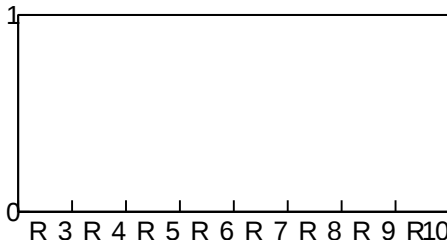
対象（何を）	小学校区単位で配置するコーディネーターと地域住民、学校職員
意図（どのような状態にしたいか）	コーディネーターの仲立ちの下、地域、学校それぞれ共通して抱える課題について共に議論し、連携・協働して解決を図ることができる地域社会が構築される。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
地域学校協働活動に関する研修会等の実施回数	回	0	2	2	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	地域学校協働活動推進員を委嘱している小学校数	校	目標値 実績値	0 0	4 4	8 8	8 8	8 8
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	小学校全校に対して聞き取りし把握した状況に基づき、令和6年度にコーディネーターを委嘱した4校に加え、新たに4校のコーディネーターを委嘱し、事業を推進することができた。							
	(目標達成度) 100.0%							
				(得点) 35点				

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	(目標達成度)							
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	0	4,285	6,467	11,229
(事業費)	[千円]	0	425	470	834
(職員人件費)	[千円]	0	3,860	5,997	10,395

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	モデル校 4 校における実践支援 地域・学校関係者等への周知啓発及び研修会等の開催 各校独自の課題解決支援のための小・中学校への個別訪問 ・相談対応	4 3 2 千円 3 2 千円 6 千円	総額	470	
			特定財源	国	152
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	318	
令和 8 年度	モデル校及びモデル事業協力校の 8 校における実践支援 地域・学校関係者等への周知啓発及び研修会等の開催 各校独自の課題解決支援のための小・中学校への個別訪問 ・学校運営協議会等への参加 本格実施に向けた要領・手引き等の作成	7 3 5 千円 9 4 千円 5 千円	総額	834	
			特定財源	国	264
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	570	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96%)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
モデル校においては、学校と地域がそれぞれ抱える課題について協議し、解決に向けて連携・協働して取り組む土壌が整いつつあるほか、地域住民・学校関係者等を対象にした研修会の開催やコーディネーターの意見交換会を実施することにより事業の普及促進につながった。 これらの取組の課題や効果の分析を行い、令和9年度からの本格実施に向けて、事業の普及啓発や制度設計を進めていく。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
モデル事業実施期間の成果の分析や支援の効果を検証するなどして、令和9年度以降の本格実施に向け、要領・手引き等の作成や、実践校の選定作業など、制度構築を図る。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	生涯学習課
	施策		家庭・地域の教育力の向上		電話番号	087-839-2633
	取組方針		青少年の健全育成の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		少年教育推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	新春子どもフェスティバルや子ども会リーダー研修会等の共催事業を、高松市子ども会育成連絡協議会と連携して実施するなど、子どもの健全育成を図る。				
8年度概要	新春子どもフェスティバル開催 子ども会フットベースボール大会開催 子ども会育成指導者講習会開催 地域活動促進事業（少年教育指導者派遣）の実施				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

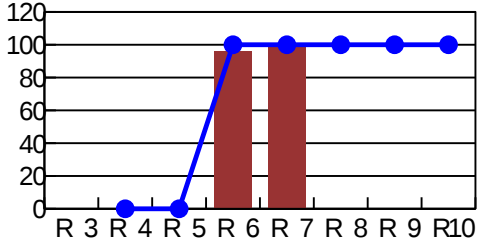
【事業の目的】

対象（何を）	高松市子ども会育成連絡協議会、各校区子ども会加入児童
意図（どのような状態にしたいか）	社会的活動やスポーツ・レクリエーション活動等への参加を通じ、自主性や協調性、リーダーシップを身に付けるなどして、子どもたちの人間的成長が育まれる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
共催事業の実施回数	回	0	6	6	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																																					
	リーダーとしての自覚が高まった小学生の割合		%	目標値	0	100	100	100	100																																					
				実績値	0	96.22	100																																							
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)					 <table><caption>達成率データ (第1指標)</caption><thead><tr><th>期間</th><th>目標値</th><th>実績値</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 3</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>100</td><td>96.22</td><td>96.22</td></tr><tr><td>R 7</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R 8</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R 9</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R 10</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr></tbody></table>					期間	目標値	実績値	達成率 (%)	R 3	0	0	0	R 4	0	0	0	R 5	0	0	0	R 6	100	96.22	96.22	R 7	100	100	100	R 8	100	100	100	R 9	100	100	100	R 10	100	100	100
	期間	目標値	実績値	達成率 (%)																																										
R 3	0	0	0																																											
R 4	0	0	0																																											
R 5	0	0	0																																											
R 6	100	96.22	96.22																																											
R 7	100	100	100																																											
R 8	100	100	100																																											
R 9	100	100	100																																											
R 10	100	100	100																																											
子どもたちの意識が高まり、その健全育成に資することで目標を達成することができた。		(目標達成度)	100.0%																																											
		(得点)	35点																																											
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																																					
				目標値																																										
				実績値																																										
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)																																													
			(目標達成度)																																											
(得点)																																														

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	9,491	9,288	9,556	10,062
(事業費)	[千円]	1,964	1,568	1,560	2,066
(職員人件費)	[千円]	7,527	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	新春子どもフェスティバル開催 子ども会フットベースボール大会開催 子ども会育成指導者講習会開催 地域活動促進事業（少年教育指導者派遣）の実施	フェスティバル 9 3 2 千円 フットベースボール 1 6 4 千円 講習会 4 4 0 千円 地域活動促進事業 2 4 千円	総額	1,560	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,560	
令和 8 年度	新春子どもフェスティバル開催 子ども会フットベースボール大会開催 子ども会育成指導者講習会開催 地域活動促進事業（少年教育指導者派遣）の実施	フェスティバル 1 , 1 6 1 千円 フットベースボール 2 7 2 千円 講習会 5 8 5 千円 地域活動促進事業 4 8 千円	総額	2,066	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,066	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
少子化や保護者の社会観の変化等に伴う加入率の低下により、参加者数は縮小傾向にあるが、活動の意義は大きいと考えられることから、引き続き、魅力的な事業を協力して行い、子どもたちが参加したいと思えるよう実施する必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
団体活動の意義について周知啓発を図るほか、社会情勢の変化に応じた自立的な運営や活動を促すなどしながら、子どもの体験活動の充実に努めていく。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

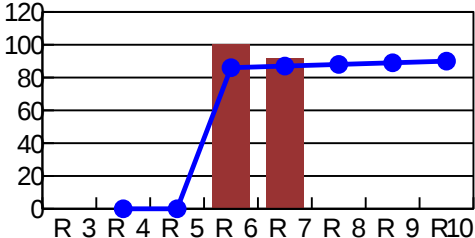
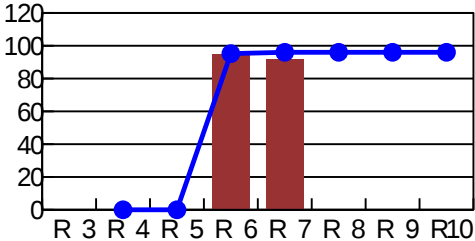
総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	生涯学習課
	施策	家庭・地域の教育力の向上		電話番号	087-839-2633
	取組方針	青少年の健全育成の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	青年教育推進事業			

【事業全体概要】					
事業概要	青年教育の振興を図るため、関係団体を支援するほか、「知的障がい者青年教室」を開催し、知的障がいのある青年が、様々な学習・体験活動を通じて知識・技能を習得するとともに、市民ボランティアが、知的障がい者に対する理解を深める機会を提供する。				
8年度概要	知的障がい者青年教室の開催 香川県青年教育振興協議会負担金支出 高松市青年連絡協議会運営事業補助				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	知的障がい者青年教室の受講生及び市民ボランティア
意図（どのような状態にしたいか）	知的障がい者の交流の機会や居場所を提供することで、社会生活への不安解消や生きがいづくりにつながる とともに、広く市民の社会貢献への意欲、知的障がい者に対する理解及び対応力の向上が図られる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
知的障がい者青年教室開催回数	回	0	8	8	8	8

【事業の成果】									
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	知的障がい者への理解が深まったボランティアの割合	%	目標値	0	86	87	88	88	88
			実績値	0	100	92			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	知的障がい者支援の実践やアドバイザーからの助言、ボランティア間の情報交換等を通じ、知的障がい者に対する理解を深めることができた。		（目標達成度） 105.7% （得点） 35点						
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	「教室に参加して良かった」と回答した受講生の割合	%	目標値	0	95.2	96	96	96	96
			実績値	0	94.5	91.5			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	目標値には届かなかったが、90%を超える受講生が満足しており、知的障がい者の生きがいづくりなどに資することで、概ね目標を達成することができた。		（目標達成度） 95.3% （得点） 33点						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	4,851	4,993	5,187	5,225
(事業費)	[千円]	335	361	389	427
(職員人件費)	[千円]	4,516	4,632	4,798	4,798

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	知的障がい者青年教室の開催 香川県青年教育振興協議会負担金支出 高松市青年連絡協議会運営事業補助	2 6 8 千円 5 2 千円 6 9 千円	総額	389	
			特定財源	国	73
				県	36
				市債	0
				他	0
			一般財源	280	
令和 8 年度	知的障がい者青年教室の開催 香川県青年教育振興協議会負担金支出 高松市青年連絡協議会運営事業補助	3 0 2 千円 5 6 千円 6 9 千円	総額	427	
			特定財源	国	150
				県	75
				市債	0
				他	0
			一般財源	202	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 知的障がい者青年教室については、教室内容の充実を図り、知的障がい者の余暇活動の充実に寄与したが、支援するボランティアが減少していることから、人材確保について検討するとともに、今後とも関係団体と連携しながら、青年活動の充実に取り組む必要がある。
--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

関係団体との協議を重ねながら、活動内容の充実を促す。また、知的障がい者青年教室については、参加者の生涯学習の場として、様々な学びや体験ができる場づくりに努めるとともに、ボランティア確保について、様々な関係団体等への周知も図っていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	生涯学習課
	施策		家庭・地域の教育力の向上		電話番号	087-839-2633
	取組方針		青少年の健全育成の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		社会教育団体育成支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松市PTA連絡協議会や高松市子ども会育成連絡協議会等の社会教育関係団体を支援し、団体の自立を促進するとともに、団体の自主的な活動を通じて児童等の健全育成を図る。				
8年度概要	高松市PTA連絡協議会運営補助ほか2件 高松市子ども会育成連絡協議会運営補助				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市 P T A 連絡協議会等社会教育関係団体
意図（どのような状態にしたいか）	社会教育関係団体の自主的な活動を支援することで、学校運営や地域における教育環境の充実が図られるほか、体験活動等を通して子ども的人間的成長が育まれる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	補助金交付件数	件	0	4	4	4	4

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
成果指標	社会教育団体 1 団体当たりの平均年間主催事業数	回	目標値	0	26	27	28	28
			実績値	0	26.33	24.7		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	各団体とも効率的な運営のための事業の見直しを行った結果、事業が前年度よりも減少し、目標を達成することができなかった。		(目標達成度)	91.5%				
			(得点)	32点				
成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
成果指標			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	6,858	6,916	6,999	6,999
	(事業費)	[千円]	4,600	4,600	4,600
	(職員人件費)	[千円]	2,258	2,316	2,399

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	高松市PTA連絡協議会運営補助ほか2件 高松市子ども会育成連絡協議会運営補助	2,800千円 1,800千円	総額	4,600	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	4,600	
令和 8 年度	高松市PTA連絡協議会運営補助ほか2件 高松市子ども会育成連絡協議会運営補助	2,800千円 1,800千円	総額	4,600	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	4,600	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

各団体とも、少子化や保護者の社会観の変化等に伴う加入率の低下により、活動規模は縮小傾向にあるため、実施事業数は減少しているが、活動の意義は大きいと考えられることから、引き続きその活動を支援していく必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

団体活動の意義について周知啓発を図るほか、社会情勢の変化に応じた自立的な運営や活動を促すなどしながら、支援を継続していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	生涯学習課
	施策	家庭・地域の教育力の向上		電話番号	087-839-2633
	取組方針	青少年の健全育成の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	二十歳のつどい開催事業			

【事業全体概要】					
事業概要	二十歳となる青年が、大人になったことを自覚するとともに、自立していく決意を新たにしてもらうため、祝い、励ますための式典を開催する。				
	二十歳のつどい式典の開催				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令		

【事業の目的】	
対象（何を）	二十歳となる青年
意図（どのような状態にしたいか）	式典への参加を契機として、大人になったことを自覚し将来への決意を新たにします。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
運営スタッフとの協議回数	回	0	7	8	11	11

【事業の成果】									
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	式典に参加して将来への決意を新たにできた 青年の割合	%	目標値 実績値	0 0	84 84.08	85 84.4	86	86	
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	目標値にはわずかに届かなかったが、式典の企画や運営に若者 自身に携わってもらい、内容を充実させるなどした結果、参加 者の意識を高めることができた。			（目標達成度） 99.3%					
				（得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値 実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
				（目標達成度）					
				（得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	14,222	14,715	15,127	16,042
(事業費)	[千円]	5,190	5,451	5,532	6,447
(職員人件費)	[千円]	9,032	9,264	9,595	9,595

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	二十歳のつどい式典の開催	5 , 5 3 2 千円	総額	5,532	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	759
			一般財源	4,773	
令和 8 年度	二十歳のつどい式典の開催	6 , 4 4 7 千円	総額	6,447	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	240
			一般財源	6,207	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

当日参加できない対象者のためにオンライン配信を実施するほか、隣接する玉藻公園の無料開放や市長部局と連携して地元企業の協賛による、本市のPRにつながる取組を試行的に実施するなど創意工夫しながら式典を開催した。

令和8年度から式典会場が変更となるため、式典内容や運営方法の見直しをする必要がある。

引き続き、アンケート結果や運営スタッフ等当事者の意向も踏まえながら、式典内容の充実を図るとともに、人材の定着や地域活性化の機会と捉え、市長部局との連携を始め、地元企業や会場周辺施設の協力も得ながら、地域全体で新たな門出を祝えるような事業展開に取り組んでいく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	少年育成センター
	施策	家庭・地域の教育力の向上		電話番号	087-839-2635
	取組方針	青少年の健全育成の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	子どもの安全確保活動事業			

【事業全体概要】

事業概要	青少年の非行の防止や地域の見守り力の向上のため、学校・地域・市民活動団体と連携し、効果的な情報提供や青色パトロールカーをはじめとした職員による補導活動の充実、健全育成活動の担い手の育成などに取り組んでいる。特にインターネット利用開始の低年齢化が進んでいることから、未就学児の保護者に対して、ネット利用に係る講座の受講を促進する必要がある。また、学生防犯パトロール隊と地域の見守り活動や巡視活動をしている各地区の健全育成団体等をつなぎ、防犯アプリを活用した危険個所の登録方法の習得や地域の危険個所の点検による防犯マップの作成などの防犯活動をさらに充実させ、市民総ぐるみで取り組む「ながら見守り」を展開していく必要がある。				
8年度概要	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費 非行防止活動費 少年育成センター運営事務費				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	未就学児の保護者、市民活動団体及び健全育成団体
意図（どのような状態にしたいか）	未就学児の保護者へ早期に情報モラルの啓発をし、家庭の教育力向上と、将来的にネットを利用した犯罪被害や非行の防止につなげたい。また、学生防犯ボランティアと地域の健全育成団体が協働し、地域住民が「ながら見守り」について理解を深め、市民による主体的な健全育成活動が展開されるよう支援したい。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
「安全・安心なネット利用」講座の受講募集圏・校数	校	0	101	101	101	101
団体との連携依頼のため地区青健連総会等への出席数	地域	0	18	10	10	10

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	「安全・安心なネット利用」講座を受講した保護者の数	人	目標値		0	400	600	800	800	
			実績値	0	538	1,313				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	講座の受講を小学校、幼稚園及びこども園に対して積極的に周知した結果、小学校での就学時健康診断や入学周知会での開催依頼が複数あり、計画を大幅に上回る受講者の実績を得られた。	(目標達成度)		218.8%						
(得点)		35点								

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値							
			実績値							
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
		(目標達成度)								
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	11,824	41,189	66,953	67,002
(事業費)	[千円]	4,297	33,469	34,969	35,018
(職員人件費)	[千円]	7,527	7,720	31,984	31,984

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費 非行防止活動費 少年育成センター運営事務費	5 , 9 4 9 千円 2 9 , 5 8 5 千円 2 2 3 千円	総額	34,969	
			特定財源	国	1,957
				県	61
				市債	0
				他	0
			一般財源	32,951	
令和 8 年度	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費 非行防止活動費 少年育成センター運営事務費	5 , 9 5 0 千円 2 8 , 8 2 9 千円 2 3 9 千円	総額	35,018	
			特定財源	国	1,983
				県	61
				市債	0
				他	0
			一般財源	32,974	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

市民の主体的な健全育成活動への取組支援と、子どもたちがネット・ゲーム依存に陥ることなく、また将来的にネットを利用した犯罪被害や非行を防止する対策に係る取組により、子どもの安全確保に寄与した。引き続き、講座の受講や防犯パトロール隊と地域の見守り活動や巡視活動をしている各地区の健全育成団体等をつなぐ防犯活動の更なる充実に向けて取り組む必要がある。

子どもたちがネット・ゲーム依存に陥ることなく、また将来的にネットを利用した犯罪被害や非行を防止する対策の取組はこれからも継続して行っていく必要がある。特に健全育成活動への取組支援については、防犯アプリを活用した地域の危険個所の点検による防犯マップの作成など、更なる連携に向けて取り組む必要がある。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	生涯学習センター
	施策	生涯学習の推進		電話番号	087-811-6222
	取組方針	学習機会の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	生涯学習推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	市民の多様な学習ニーズに対応するため、少子高齢化や情報化など現代的課題に関する講座や大学等と連携した専門講座、他団体と連携した講座などを開催することにより、市民の生涯学習の振興を図る。				
8年度概要	(1) 生涯学習カレッジ：少子高齢化、情報化などの現代的課題を取り上げる講座や大学等と連携した専門的な講座 (2) 生涯学習推進事業：まなびCAN・CSR教室や市民の関心の高い教養・趣味の講座、オンライン講座、イベントなど				
重点取組事業		市長マニフェスト	1-	関連根拠法令	高松市生涯学習センター条例、施行規則

【事業の目的】

対象（何を）	生涯学習に関心のある市民等
意図（どのような状態にしたいか）	生涯学習センターのより効果的な活用と学習機会の提供を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	講座開催回数	回	0	198	217	300	300

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	受講者の満足度		%	目標値	0	90	90	90	90	
				実績値	0	91	91.2			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	利用者アンケートでは受講者の満足度は目標値を達成しているが、講座の内容の工夫や改善を求める声もあることから、今後とも更なる充実を図っていく必要がある。				(目標達成度)	101.3%				
(得点)					35点					

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
					(目標達成度)					
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	12,450	16,952	15,934	16,197
(事業費)	[千円]	1,912	2,516	2,501	2,764
(職員人件費)	[千円]	10,538	14,436	13,433	13,433

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	(1)生涯学習カレッジ：少子高齢化、情報化などの現代的課題を取り上げる講座や大学等と連携した専門的な講座 (2)生涯学習推進事業：まなびCAN・CSR教室や市民の関心の高い教養・趣味の講座、イベントなど	生涯学習推進事業講師謝金 788千円 OA実習室パソコン賃借料等 1,642千円 消耗品費等 71千円	総額	2,501	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	616
一般財源		1,885			
令和 8 年度	(1)生涯学習カレッジ：少子高齢化、情報化などの現代的課題を取り上げる講座や大学等と連携した専門的な講座 (2)生涯学習推進事業：まなびCAN・CSR教室や市民の関心の高い教養・趣味の講座、オンライン講座、イベントなど	生涯学習推進事業講師謝金 917千円 OA実習室パソコン賃借料等 1,651千円 消耗品費等 196千円	総額	2,764	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	1,261
一般財源		1,503			

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

講座開催回数は目標に届かなかった。今後も市民の生涯学習の推進につながる事業となるよう検討していく必要がある。

市民の多様な生涯学習への要望に応える学習ニーズを的確に把握するとともに、既存講座の見直しや新しい講座の企画・開発に努め、講座内容の工夫や改善を進めることにより、講座の充実を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	生涯学習センター
	施策	生涯学習の推進		電話番号	087-811-6222
	取組方針	学習機会の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	市民参画促進事業			

【事業全体概要】

事業概要	市民との協働のまちづくりの視点から、市内で活動する団体等に生涯学習の成果を発表する機会を提供するため、学習成果発表の場事業等を実施し、市民参画の充実を図る。				
8年度概要	(1) 生涯学習コーディネーター養成講座 (2) 学習成果発表の場事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市生涯学習センター条例、施行規則

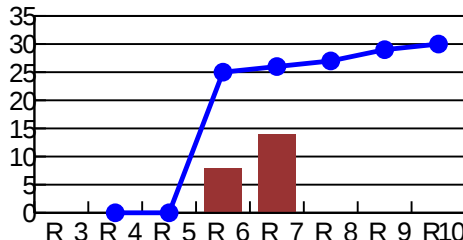
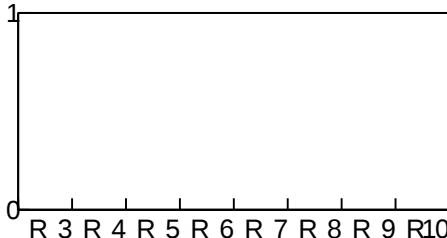
【事業の目的】

対象（何を）	生涯学習に関心のある市民等
意図（どのような状態にしたいか）	市民の行政への参画意識の醸成を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
講座開催回数	回	0	22	26	38	38

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	学習成果発表の場事業における講座開催回数		回	目標値	0	25	26	27	27
				実績値	0	8	14		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	学習成果発表の場事業における講座開催回数については、前年度より増加したものの、目標値には届かなかった。		(目標達成度)	53.8%					
(得点)			19点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			(目標達成度)						
(得点)									

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	生涯学習センター
	施策	生涯学習の推進		電話番号	087-811-6222
	取組方針	学習機会の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	コミュニティセンター講座事業			

【事業全体概要】

事業概要	地域住民の多様化した学習要求に応えるため、地域コミュニティセンターにおいて各種講座を開催することにより、学習の機会や場を提供し、生涯学習の充実を図る。				
8年度概要	(1) 趣味・実技講座 (2) 教養講座 (3) 子どもの居場所づくりに対応した講座 (4) まなびの場づくりに対応した講座 (5) ブロック別現代的課題講座				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

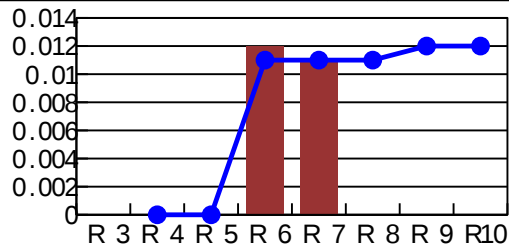
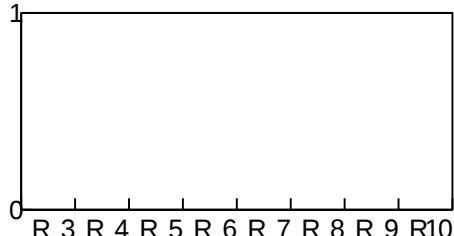
【事業の目的】

対象（何を）	生涯学習に関心のある市民等
意図（どのような状態にしたいか）	地域のニーズに応じた学習機会を提供することにより、地域住民の生涯学習の推進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
講座開催回数	回	0	4,829	4,447	5,067	5,067

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	人口1人当たり受講回数	回	目標値	0	0.011	0.011	0.011	0.011
			実績値	0	0.012	0.011		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	人口1人当たりの受講回数については達成することができた。		(目標達成度) 100.0%					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	23,589	26,247	24,497	24,987
(事業費)	[千円]	16,815	16,983	15,861	16,351
(職員人件費)	[千円]	6,774	9,264	8,636	8,636

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	(1) 趣味・実技講座 (2) 教養講座 (3) 子どもの居場所づくりに対応した講座 (4) まなびの場づくりに対応した講座 (5) ブロック別現代的課題講座	講師謝金コミュニティセンター@5,100円 65回×49館 31回×2館 39回×1館 4回×45館	総額	15,861	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	15,861	
令和 8 年度	(1) 趣味・実技講座 (2) 教養講座 (3) 子どもの居場所づくりに対応した講座 (4) まなびの場づくりに対応した講座 (5) ブロック別現代的課題講座	講師謝金コミュニティセンター@5,100円 60回×49館 26回×2館 34回×1館 4回×45館	総額	16,351	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	16,351	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

今後もコミュニティセンターと連携して、地域における生涯学習の推進を図る。

生涯学習センターで実施する研修会の開催回数や内容を精査することにより、地域で生涯学習活動を実践する生涯学習推進員の人材育成を図るとともに、コミュニティセンターで実施する講座がより実践的・効果的なものとなるよう努める。また、平成27年度から取り組んでいる地域の小中学生向けの「まなびの場」づくりに引き続き取り組む。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		多様性を尊重する社会の確立		課(室)名	人権教育課
	施策		人権尊重・平和意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2640
	取組方針		人権教育の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		人権啓発活動事業			

【事業全体概要】

事業概要	人権をテーマとした公演やパネル展、幼児児童生徒、保護者等によるステージ発表などを内容とする人権啓発イベントを開催することにより、広く市民の人権意識の高揚を図る。				
8年度概要	広く市民の人権意識の高揚を図るため、人権をテーマとした講演や人権啓発イベント「スマイルフェスティバル in たかまつ」を開催する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

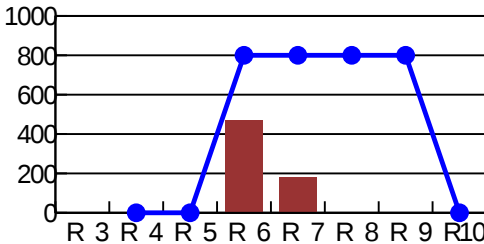
【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	幼児・児童生徒及びその保護者を始め、広く市民の人権意識の高揚を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
プログラム等配布数	枚	0	2,000	2,000	3,000	3,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	人権啓発イベント参加者数		人	目標値	0	800	800	800	800
				実績値	0	472	181		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	人権啓発イベント「スマイルフェスティバル n たかまつ」について、多様な人権課題の当事者による講演会などのプログラムにすることにより、例年より来場者数が大幅に減少となった。目標は達成できなかった。		(目標達成度) 22.6%	(得点) 8点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
			(目標達成度)	(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	4,017	3,993	72	227
	(事業費)	253	133	72	227
	(職員人件費)	3,764	3,860	0	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	広く市民の人権意識の高揚を図るため、人権に関する発表、作文朗読及び講演などを内容とする「スマイルフェスティバル in たかまつ」を開催した。	スマイルフェスティバル in たかまつ開催 227	総額	72	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	72	
令和 8 年度	広く市民の人権意識の高揚を図るため、人権をテーマとした講演や人権啓発イベント「スマイルフェスティバル in たかまつ」を開催する。	スマイルフェスティバル in たかまつ開催 227	総額	227	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	227	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	C	総合点 (率)	40 / 100 (40 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

令和7年度は、現在の社会情勢に合わせた人権課題を取り上げ開催をしたが、参加者数は前年度より減少した。

イベントの開催時間全体を通して一定の参加者数を維持できるよう、プログラムの見直しなど内容の改善を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	多様性を尊重する社会の確立		課(室)名	人権教育課
	施策	人権尊重・平和意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2640
	取組方針	人権教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	文化交流推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	地域住民を対象に文化センター等主催で教養を高める各種講座（社会教育学級）や、ボランティア活動、三世交代流、地域交流行事など様々な体験・交流の機会を提供する教室（ふれあい教室）を開催することにより、地域住民の教育水準を向上し、家庭及び地域社会における人間関係の円滑化を図るとともに自立意識の高揚などを図る。				
8年度概要	地域住民を対象に文化センター等主催で教養を高める各種講座（社会教育学級）や、ボランティア活動、三世交代流、地域交流行事など様々な体験・交流の機会を提供する教室（ふれあい教室）を開催することにより、地域住民の教育水準を向上し、家庭及び地域社会における人間関係の円滑化を図るとともに自立意識の高揚などを図る。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

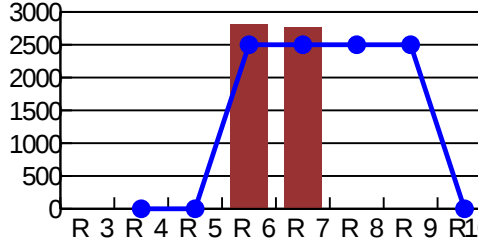
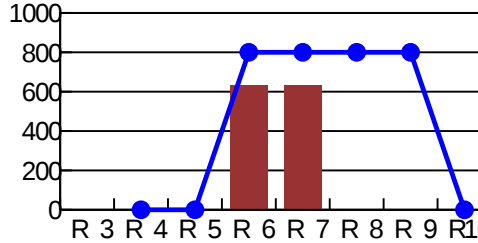
【事業の目的】

対象（何を）	地域住民
意図（どのような状態にしたいか）	地域住民が、各種講座に積極的に参加することにより、教養を高め、技能の取得等を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
社会教育学級実施回数	回	0	515	485	400	400
ふれあい教室実施回数	回	0	70	69	90	90

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	社会教育学級受講者数	人	目標値	0	2,500	2,500	2,500	2,500
			実績値	0	2,806	2,766		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	昨年度よりも実施回数を増減して実施したが、参加者は前年度と比べ減少したことから、目標は達成できなかった。		(目標達成度) 110.6%					
			(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	ふれあい教室受講者数	人	目標値	0	800	800	800	800
			実績値	0	631	632		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	受講者数は増加傾向にあるが、成果指標の目標を上回ることができなかった。		(目標達成度) 79.0%					
			(得点) 28点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)	
トータルコスト	[千円]	6,937	7,107	3,101	3,624	
	(事業費)	[千円]	3,173	3,247	3,101	3,624
	(職員人件費)	[千円]	3,764	3,860	0	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7年度	地域住民を対象に文化センター等主催で教養を高める各種講座(社会教育学級)や、ボランティア活動、三世代交流、地域交流行事など様々な体験・交流の機会を提供する教室(ふれあい教室)を開催したことにより、地域住民の教育水準の向上、家庭及び地域社会における人間関係の円滑化、自立意識の高揚などを図った。	社会教育学級 3,062 ふれあい教室 640	総額	3,101	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,101	
令和 8年度	地域住民を対象に文化センター等主催で教養を高める各種講座(社会教育学級)や、ボランティア活動、三世代交流、地域交流行事など様々な体験・交流の機会を提供する教室(ふれあい教室)を開催することにより、地域住民の教育水準を向上し、家庭及び地域社会における人間関係の円滑化を図るとともに自立意識の高揚などを図る。	社会教育学級 2,962 ふれあい教室 655	総額	3,624	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,624	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	83 / 100 (83 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

昨年度よりは、実施回数を増減しての開催を行ったが、参加人数が減少傾向であるため、開催内容等の見直しが必要である。

文化センターを中心とした、各種講座、ボランティア活動、三世代交流、地域交流は、人権意識の普及・高揚には欠かせない場となっているため、事業は継続しつつ、新たな講座の模索や地域を超えての連携など、交流の輪を広げていくことを検討する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	多様性を尊重する社会の確立		課(室)名	人権教育課
	施策	人権尊重・平和意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2640
	取組方針	人権教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	子ども教育推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	地区小・中学生を対象とした補充学習等の実施、地区小・中学生及びその保護者を対象の進路・進学等相談、大学生のボランティアによる学習支援の実施を行うことにより、地区小・中学生の基礎学力の定着・進学意欲の向上を図る。				
8年度概要	地区小・中学生を対象とした補充学習等の実施、地区小・中学生及びその保護者を対象の進路・進学等相談、大学生のボランティアによる学習支援の実施を行うことにより、地区小・中学生の基礎学力の定着・進学意欲の向上を図る。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	地区小・中学生
意図（どのような状態にしたいか）	地区小・中学生及び保護者が、子ども学級・教育相談・学習支援ボランティア事業に出席する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
子ども学級実施回数	回	0	486	432	500	500
教育相談実施回数	回	0	31	32	40	40

【事業の成果】

	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	子ども学級出席者数	人	目標値 実績値	0 0	4,000 2,701	4,000 2,378	4,000	4,000
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	昨年度よりも実施回数を増やし、目標値を達成することはできたが、前年度と比べ微増している。			（目標達成度） 59.5%				
				（得点） 21点				
	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	教育相談出席者数	人	目標値 実績値	0 0	350 177	350 117	350	350
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	地区小・中学生を対象とした補充学習や保護者も対象とした進路・進学等についての教育相談、大学生ボランティアによる学習支援等を行った。			（目標達成度） 33.4%				
				（得点） 12点				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	8,786	7,992	3,182	5,254
(事業費)	[千円]	5,022	4,132	3,182	5,254
(職員人件費)	[千円]	3,764	3,860	0	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	地区小・中学生を対象とした補充学習等の実施、地区小・中学生及びその保護者を対象の進路・進学等相談、大学生のボランティアによる学習支援の実施を行うことにより、地区小・中学生の基礎学力の定着・進学意欲の向上を図った。	子ども学級 3,618 教育相談 248 教育活動指導費補助金 1,516 学習支援ボランティア 33	総額	3,182	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,182	
令和 8 年度	地区小・中学生を対象とした補充学習等の実施、地区小・中学生及びその保護者を対象の進路・進学等相談、大学生のボランティアによる学習支援の実施を行うことにより、地区小・中学生の基礎学力の定着・進学意欲の向上を図る。	子ども学級 3,449 教育相談 256 教育活動指導費補助金 1,516 学習支援ボランティア 33	総額	5,254	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	5,254	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	C	総合点 (率)	57 / 100 (57 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
開催回数及び出席者実績は、子ども学級について、出席者数は目標値を昨年度より下回ったが、地区の小中学校の補充学習の場として一定の成果は上がっている。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
今後においては、子どもたちやその保護者のニーズを見極める中で、一人ひとりを大切に対応する事業としていきたい。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		多様性を尊重する社会の確立		課(室)名	人権教育課
	施策		人権尊重・平和意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2640
	取組方針		人権教育の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		学校人権教育推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松市立の幼稚園、こども園、小学校、中学校、高等学校に対し、人権教育指導資料の作成・発行、人権教育教職員研修会の開催、人権教育研修・研究会への参加費補助、人権教育資料の購入等を行い、人権教育・啓発の推進を図る。				
8年度概要	高松市立のこのども園、幼稚園、小学校、中学校、高松第一高校に対し、人権教育学習資料の作成・発行、人権教育教職員研修会の開催、人権教育研修・研究会への参加費補助、人権教育資料の購入等を行い、人権教育・啓発の推進を図る。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

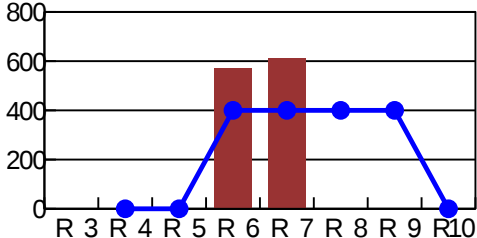
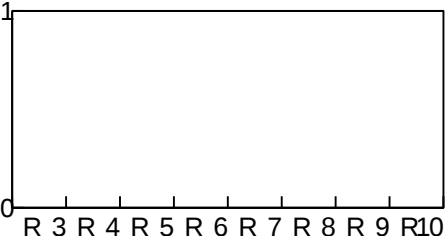
【事業の目的】

対象（何を）	高松市立のこども園、幼稚園、小学校、中学校、高松第一高校の教職員
意図（どのような状態にしたいか）	高松市立のこども園、幼稚園、小学校、中学校、高松第一高校において、人権教育に携わる教職員の意識・理解の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	研修会実施回数	回	0	16	16	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	研修会等参加者人数		人	目標値	0	400	400	400	400	
				実績値	0	570	612			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	オンライン研修会や現地研修会を実施したことから、参加者数は目標値を大幅に上回った。		(目標達成度) 153.0%							
(得点) 35点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)	
トータルコスト	[千円]	18,766	18,511	5,165	6,761	
	(事業費)	[千円]	5,594	5,001	5,165	6,761
	(職員人件費)	[千円]	13,172	13,510	0	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	高松市立のこども園、幼稚園、小学校、中学校、高松第一高校に対し、人権教育学習資料の作成・発行、人権教育教職員研修会の開催、人権教育研修・研究会への参加費補助、人権教育資料の購入等を行い、人権教育・啓発の推進を図った。	小・中学校教員研究研修費	総額	5,165	
		1,210	特定財源	国	0
		教職員研究費等		県	0
		5		市債	0
		その他		他	0
		9	一般財源	5,165	
令和 8 年度	高松市立のこども園、幼稚園、小学校、中学校、高松第一高校に対し、人権教育学習資料の作成・発行、人権教育教職員研修会の開催、人権教育研修・研究会への参加費補助、人権教育資料の購入等を行い、人権教育・啓発の推進を図る。	小・中学校教員研究研修費	総額	6,761	
		1,626	特定財源	国	0
		教職員研究費等		県	950
		6		市債	0
		その他		他	0
		9	一般財源	5,811	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

研修会等については、オンライン研修会や現地研修会を開催したことにより、目標としていた参加者数を増加して確保することができた。

人権教育・啓発の学びの場として、研修会等への参加者数は十分にあり、一定の成果があがっている。今後は新たな差別（ＬＧＢＴ・ＳＮＳ上での差別発言等）に関しての研修内容も充実させていく必要がある。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		多様性を尊重する社会の確立		課(室)名	人権教育課
	施策		人権尊重・平和意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2640
	取組方針		人権教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		社会教育指導員設置事業			

【事業全体概要】

事業概要	地域における子どもの学習・生活指導の充実を図り、進路保障を実現するため、社会教育指導員を配置する。 また、社会教育指導員の派遣により人権教育市民講座等、人権課題解決のための各種研修の充実を図る。				
8年度概要	地域における子どもの学習・生活指導の充実を図り、進路保障を実現するため、社会教育指導員を配置する。 また、社会教育指導員の派遣により人権教育市民講座等、人権課題解決のための各種研修の充実を図る。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

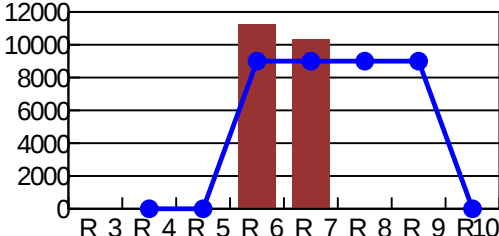
【事業の目的】

対象（何を）	地域小・中学生及び市民
意図（どのような状態にしたいか）	社会教育指導員による指導を受けることにより、地域小・中学生の基礎学力の定着・進学意欲の向上を図る。 また、人権課題解決のための各種研修の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	学習指導等実施時間	時間	0	3,140	2,801	2,500	2,500

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	学習指導等出席者数	人	目標値	0	9,000	9,000	9,000	9,000
			実績値	0	11,241	10,314		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	目標値を大幅に上回り目標を達成できた。	(目標達成度) 114.6%	(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)	(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)	
トータルコスト	[千円]	19,113	25,693	22,624	28,505	
	(事業費)	[千円]	16,102	22,605	22,624	28,505
	(職員人件費)	[千円]	3,011	3,088	0	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	地域における子どもの学習・生活指導の充実を図り、進路保障を実現するため、社会教育指導員を配置する。 また、社会教育指導員の派遣により人権教育市民講座等、人権課題解決のための各種研修の充実を図った。	社会教育指導員設置 24,308	総額	22,624	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	22,624				
令和 8 年度	地域における子どもの学習・生活指導の充実を図り、進路保障を実現するため、社会教育指導員を配置する。 また、社会教育指導員の派遣により人権教育市民講座等、人権課題解決のための各種研修の充実を図る。	社会教育指導員設置 28,420	総額	28,505	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	28,505				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

児童生徒数の減少に伴い、前年度の数値を下回った。

学習指導等については、現状を維持しつつ、子どもたちの実情に応じたきめ細かな指導等を行っていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		多様性を尊重する社会の確立		課(室)名	人権教育課
	施策		人権尊重・平和意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2640
	取組方針		人権教育の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		社会人権教育推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	市民に対し、人権教育市民講座の開催、人権教育研修会の開催、人権教育指導資料の作成と視聴覚教材の購入、人権尊重都市たかまつ市民会議への助成等を行うことにより、人権教育・啓発の推進を図る。				
8年度概要	市民に対し、人権教育市民講座の開催、人権教育研修会の開催、人権教育学習資料の作成と視聴覚教材の購入、人権尊重都市たかまつ市民会議への助成等を行うことにより、人権教育・啓発の推進を図る。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民の人権教育・啓発の推進

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
人権教育市民講座実施回数	回	0	33	32	52	52

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																			
	人権教育市民講座受講者数		人	目標値	0	1,000	1,000	1,000	1,000																			
				実績値	0	769	695																					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)					<table border="1"><caption>達成率データ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R3</td><td>0</td></tr><tr><td>R4</td><td>0</td></tr><tr><td>R5</td><td>0</td></tr><tr><td>R6</td><td>100</td></tr><tr><td>R7</td><td>100</td></tr><tr><td>R8</td><td>100</td></tr><tr><td>R9</td><td>100</td></tr><tr><td>R10</td><td>0</td></tr></tbody></table>					年度	達成率 (%)	R3	0	R4	0	R5	0	R6	100	R7	100	R8	100	R9	100	R10	0
	年度	達成率 (%)																										
R3	0																											
R4	0																											
R5	0																											
R6	100																											
R7	100																											
R8	100																											
R9	100																											
R10	0																											
開催できなかった事業もあることから、成果指標の達成度は、目標を下回る結果となった。		(目標達成度)	69.5%																									
		(得点)	24点																									

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																			
				目標値																								
				実績値																								
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)					<table border="1"><caption>達成率データ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R3</td><td>0</td></tr><tr><td>R4</td><td>0</td></tr><tr><td>R5</td><td>0</td></tr><tr><td>R6</td><td>0</td></tr><tr><td>R7</td><td>0</td></tr><tr><td>R8</td><td>0</td></tr><tr><td>R9</td><td>0</td></tr><tr><td>R10</td><td>0</td></tr></tbody></table>					年度	達成率 (%)	R3	0	R4	0	R5	0	R6	0	R7	0	R8	0	R9	0	R10	0
	年度	達成率 (%)																										
R3	0																											
R4	0																											
R5	0																											
R6	0																											
R7	0																											
R8	0																											
R9	0																											
R10	0																											
		(目標達成度)																										
		(得点)																										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	16,466	17,652	7,382	8,888
(事業費)	[千円]	7,057	8,002	7,382	8,888
(職員人件費)	[千円]	9,409	9,650	0	0

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	市民に対し、人権教育市民講座の開催、人権教育研修会の開催、人権教育学習資料の作成と視聴覚教材の購入、人権尊重都市たかまつ市民会議への助成等を行うことにより、人権教育・啓発の推進を図った。	人権教育研修事業 5 6 0 各種教材製作・購入費 5 1 6 人権教育研修補助金 2 , 7 1 4 市民会議負担金 1 , 1 4 0 社会教育団体補助金 1 , 1 2 5 地域学力向上・キャリア教育総合推進事業 8 0 0 その他 1 , 2 1 1	総額	7,382	
			特定財源	国	0
				県	775
				市債	0
				他	0
			一般財源	6,607	
令和 8 年度	市民に対し、人権教育市民講座の開催、人権教育研修会の開催、人権教育学習資料の作成と視聴覚教材の購入、人権尊重都市たかまつ市民会議への助成等を行うことにより、人権教育・啓発の推進を図る。	人権教育研修事業 5 6 0 各種教材製作・購入費 6 5 1 人権教育研修補助金 3 , 1 3 4 市民会議負担金 1 , 1 4 0 社会教育団体補助金 1 , 1 2 5 地域学力向上・キャリア教育総合推進事業 8 0 0 その他 1 , 4 7 5	総額	8,888	
			特定財源	国	0
				県	800
				市債	0
				他	0
			一般財源	8,088	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～ 100%)	B	総合点 (率)	72 / 100 (72 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

開催回数は、昨年度と同様の回数を実施したが、参加者数については、減少している。

人権教育市民講座が各団体において毎年開催されるよう、引き続きホームページや他の情報媒体等を利用して、人権教育市民講座に関する情報提供を行っていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	中央図書館
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-861-4501
	取組方針	心身の成長への支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	ブックスタート事業			

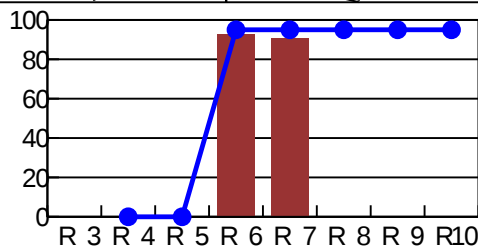
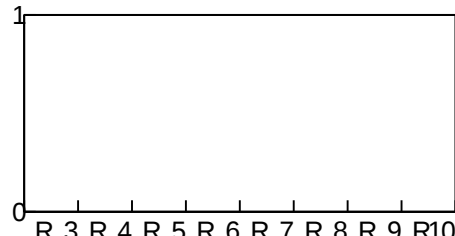
【事業全体概要】					
事業概要	4 か月児相談時に絵本等を贈呈し、ボランティアによる読み聞かせを行うことで、子どもの読書活動及び子育て支援を推進する。				
8年度概要	ブックスタートパック配布 ボランティアによる読み聞かせ等 ブックスタートボランティア養成				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	高松市図書館条例、高松市図書館条例施行規	

【事業の目的】	
対象（何を）	市内の 4 か月児相談の対象者とその保護者
意図（どのような状態にしたいか）	絵本を介して保護者と赤ちゃんがゆっくり心触れ合うひと時を持つきっかけをつくるとともに、子どもの読書活動の推進につなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
ブックスタートを実施した回数	回	0	153	155	144	144

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	ブックスタートパック配布率	%	目標値	0	95	95	95	95
			実績値	0	92.8	90.9		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	4 か月児相談受診時にブックスタートパックを配布したほか、相談受診に來れなかった親子には保健師が個別訪問した際に配布するなど、延べ2, 597人に配布することができた。			(目標達成度) 95.7%				
			(得点) 33点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
			(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	9,447	9,731	9,811	9,862
(事業費)	[千円]	1,920	2,011	1,815	1,866
(職員人件費)	[千円]	7,527	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	ブックスタートパック配布 ボランティアによる読み聞かせ等 ブックスタートボランティア養成	1 , 8 1 5 千円	総額	1,815	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	1,300
			一般財源	515	
令和 8 年度	ブックスタートパック配布 ボランティアによる読み聞かせ等 ブックスタートボランティア養成	1 , 8 6 6 千円	総額	1,866	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,866	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

成果指標における前年度との比較では、ほぼ同レベルを維持している。

第6次高松市子ども読書活動推進計画に基づき、いつでも家庭で読み聞かせができる環境づくりを支援し、生涯に渡る読書活動のきっかけになるよう取り組んでいく。

4か月児相談時にブックスタートパック（絵本・ブックリスト・図書館案内）の配布を行うとともに、ボランティアによる読み聞かせを実施するなど、子育て支援と子どもの読書活動の推進に努める。また、ボランティアを育成するため、ブックスタートボランティア養成講座を開催する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

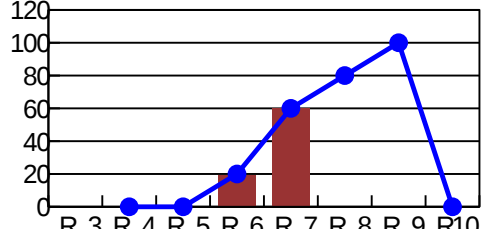
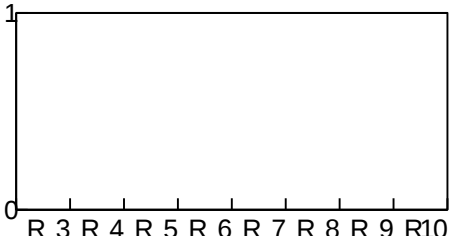
総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	中央図書館
	施策	生涯学習の推進		電話番号	087-861-4501
	取組方針	学習施設・機能の充実		事業期間	令和 6年度～令和 1年度
	事務事業	サンクリスタル高松リニューアル事業			

【事業全体概要】					
事業概要	平成4年11月に開館したサンクリスタル高松は、開館から30年が経過し、少子高齢化の進展、働き方の変化、デジタル化の推進など環境は変化し、また、経年劣化による施設の老朽化、特に空調機器等の不調等、設備面の不具合が深刻となっており、今後も安心して利用してもらえる施設とするために早期に改修を行う必要がある。このことから、市民の意見等も取り入れながら、誰もが快適に利用しやすい、若い世代が利用したくなる、地域と密接なつながりを持つ「市民に役立ち愛され地域に貢献するサンクリスタル高松」を目指すほか、ゼロカーボン等の環境負荷の低減も考慮した費用対効果の高い施設整備事業を実施する。				
8年度概要	・新図書館情報システム保守管理、I Cタグ整備等 ・中央図書館 図書館機能等維持経費 ・サンクリスタル高松大規模改修工事 ・菊池寛記念館・歴史資料館展示リニューアル事業				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	教育基本法、社会教育法、第2期高松市教育

【事業の目的】	
対象（何を）	サンクリスタル高松を利用する利用者
意図（どのような状態にしたいか）	高松市中央図書館の在り方を中心として、菊池寛記念館及び歴史資料館との3館連携・融合を含め、施設の機能・魅力・集客力を高めるため、管理運営の手法も含めた検討を行い、その結果に基づき費用対効果の高い施設整備を実施する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
リニューアルに係る進捗率	%	0	18.9	60	80	80

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	サンクリスタル高松リニューアル進捗率	%	目標値 実績値	0 0	20 18.9	60 60	80	80
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	事務所の移転や臨時窓口の開設、図書館情報システムの運用は順調に進められた。サンクリスタル高松大規模改修工事に関しても遅延なく工事が進行した。令和 年度に繰越していた菊池寛記念館、歴史資料館のリニューアル事業の実施設計は完了した。			（目標達成度） 100.0%				
				（得点） 35点				
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				（目標達成度）				
				（得点）				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	130,126	215,272	185,464	1,873,161
(事業費)	[千円]	100,018	184,392	153,480	1,841,177
(職員人件費)	[千円]	30,108	30,880	31,984	31,984

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・サンクリスタル高松リニューアル事業大規模改修工事 ・新図書館情報システム更新事業 ・菊池寛記念館リニューアル事業 実施設計 ・歴史資料館リニューアル事業 実施設計	153,480千円 (うちR8年度へ繰越 49,640千円)	総額	153,480	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	65,500
				他	16,515
			一般財源	71,465	
令和 8 年度	・新図書館情報システム保守管理、ＩＣタグ整備等 ・中央図書館 図書館機能等維持経費 ・サンクリスタル高松大規模改修工事 ・菊池寛記念館・歴史資料館展示リニューアル事業	1,841,177千円	総額	1,841,177	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	1,603,600
				他	178,394
			一般財源	59,183	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

令和7年度は、図書館情報システムの更新を行うとともに、中央図書館の機能を高松市中央卸売市場管理棟等に移転させた上で、施設整備の実施設計に基づき、改修工事に着手した。今後は、改修工事を計画どおりに進めることができるよう進捗管理を行う。

「サンクリスタル高松リニューアル基本構想」に基づき、令和7年度に着手した改修工事を進め、令和9年秋頃のリニューアルオープンに向けて、進捗管理を行う。併せて図書館情報システムのデジタル化をさらに推進するため、ＩＣタグ整備、セキュリティゲートや自動貸出機等の設置準備をすすめ、リニューアルオープン時における利用者の利便性の向上を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	中央図書館
	施策	生涯学習の推進		電話番号	087-861-4501
	取組方針	学習施設・機能の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	図書館運営事業			

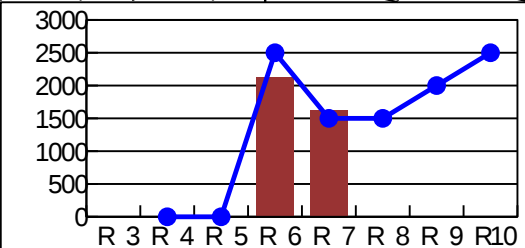
【事業全体概要】						
事業概要	地域や市民に役立つ図書館をめざし、中央館と地域館等市内全域を網羅する図書館ネットワークの整備等、図書館機能の拡充を図り、また蔵書の確保と情報提供の充実に努め、便利で身近に利用できる図書館環境の整備に取り組む。					
8年度概要	・会計年度任用職員報酬等 ・図書館資料整備費 ・図書館運営事務費（図書館協議会費 1 1 9 千円含む）					
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市図書館条例、高松市図書館条例施行規	

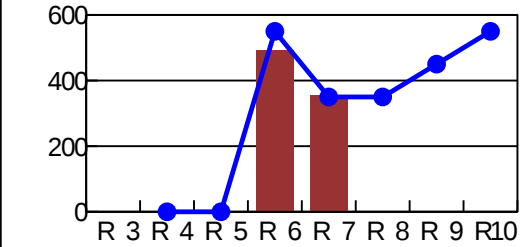
【事業の目的】	
対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	高松市全域に図書館サービスを提供し、親しみやすく利用しやすい図書館となるよう、市民サービスの向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
蔵書購入冊数		冊・点	0	25,752	19,992	23,000	23,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	貸出冊数	千冊	目標値	0	2,500	1,500	1,500	1,500
			実績値	0	2,124	1,624		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	図書館機能の充実を始め、読書活動推進につながる行事の実施や情報発信に努め、貸出冊数は目標を達成することができた。							
			(目標達成度)					
			(得点)					
			108.3%					
			35点					

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	図書館利用者数	千人	目標値	0	550	350	350	350
			実績値	0	491	354		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	中央図書館休館の影響がある図書館の利用者数は目標を達成することができた。							
			(目標達成度)					
			(得点)					
			101.1%					
			35点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	445,657	489,506	451,452	440,582
(事業費)	[千円]	249,955	288,786	243,556	240,682
(職員人件費)	[千円]	195,702	200,720	207,896	199,900

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費	
令和 7 年度	・会計年度任用職員報酬等 ・図書館資料整備費 ・図書館運営事務費（図書館協議会費 1 3 2 千円含む）	1 8 1 , 6 8 9 千円 5 2 , 9 1 9 千円 8 , 9 4 8 千円	総額 243,556	
			特定財源	国 2,696
				県 1,348
				市債 0
				他 23,610
			一般財源 215,902	
令和 8 年度	・会計年度任用職員報酬等 ・図書館資料整備費 ・図書館運営事務費（図書館協議会費 1 1 9 千円含む）	1 7 6 , 9 8 4 千円 5 2 , 9 7 3 千円 1 0 , 7 2 5 千円	総額 240,682	
			特定財源	国 2,965
				県 1,482
				市債 0
				他 516
			一般財源 235,719	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

中央図書館の休館の影響を加味した目標は貸出冊数、利用者数ともに達成できた。また、読書バリアフリー計画に基づく視覚障がい者への読書環境の整備や電子書籍の充実に取り組み、新たな利用者の獲得に努めた。

サンクリスタル高松のリニューアル事業により、中央図書館は5月7日から休館しているが、リニューアルオープンを見据え、地域館の貸出冊数を前年度比20%増を目指すとともに、各館での居心地の良い空間づくりを行う。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	中央図書館
	施策	生涯学習の推進		電話番号	087-861-4501
	取組方針	学習施設・機能の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	図書館文化活動事業			

【事業全体概要】

事業概要	子どもの読書活動を推進するため、子ども読書まつりや子ども向け講座を開催するほか、子どもを対象としたおはなし会を行うボランティアの技能向上等を図るため、講座・研修会を実施する。				
8年度概要	「図書館を使った調べる学習コンクール」体験講座、相談会、ボランティア養成講座、季節ごとのイベントの開催 第21回子ども読書まつりの開催				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市図書館条例、高松市図書館条例施行規

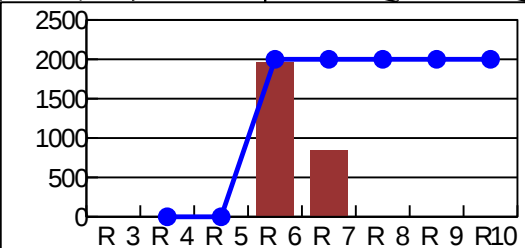
【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	子ども向け行事に参加することで、読書に対する関心を高めてもらう。また、ボランティアについては、図書館に対する関心を高めるとともに技能を修得してもらう。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
講座実施回数	回	0	17	15	19	19

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	子ども読書まつりの参加者数	人	目標値 実績値	0 0	2,000 1,959	2,000 839	2,000	2,000
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	中央図書館が休館になったことから、子ども読書まつりを国分寺図書館と国分寺ホールで開催したが、来場者が大幅に減少した。							

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	15,548	15,902	16,495	16,487
(事業費)	[千円]	494	462	503	495
(職員人件費)	[千円]	15,054	15,440	15,992	15,992

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	「図書館を使った調べる学習コンクール」体験講座、相談会、読書感想画ワークショップ、ボランティア養成講座、学生ボランティアの養成、季節ごとのイベントの開催 第20回子ども読書まつりの開催	503千円	総額	503	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	35
			一般財源	468	
令和 8 年度	「図書館を使った調べる学習コンクール」体験講座、相談会、ボランティア養成講座、季節ごとのイベントの開催 第21回子ども読書まつりの開催	495千円	総額	495	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	50
			一般財源	445	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～ 100%)	C	総合点 (率)	54 / 100 (54 %)	今後の方向性	改善
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

中央図書館が休館となり、開催場所を国分寺図書館に変更し「第20回子ども読書まつり」を開催した。リニューアルオープンを見据え、より幅広い世代に向けた事業を展開していくことで、図書館利用者数の増加につながる取り組みが必要である。

サンクリスタル高松のリニューアル工事により、令和9年秋頃まで中央図書館が休館となるが、イベント内容はもとより、会場の設定やイベントの内容、周知方法などを見直すことで、引き続き子どもの読書活動の推進につながる事業を実施していく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	総合教育センター
	施策		子どもの成長への支援		電話番号	087-811-2163
	取組方針		配慮を要する子どもへの支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		医療的ケア児支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	保育所、こども園、幼稚園、小・中学校、高松一高、放課後児童クラブにおいて集団保育・教育が可能な医療的ケア児を安全に受け入れるため、同施設等における受入体制を整備し、医療的ケア児への医療的支援を実施する。				
8年度概要	・ 医療的ケア児支援事業 ・ 医療的ケア運営協議会の開催				
重点取組事業		市長マニフェスト	5-	関連根拠法令	医療的ケア児及びその家族に対する支援に関

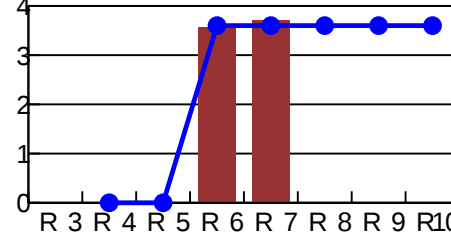
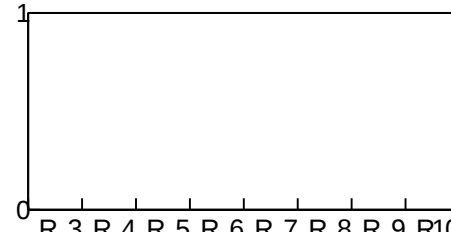
【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の保育園（所）、こども園、小規模保育事業所及び事業所内保育事業所、高松市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、放課後児童クラブに通う導尿やインスリン注射等医療的ケアを必要とする児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	保護者が各施設・学校に赴いて実施していた医療的ケアを、訪問看護師が実施することで、医療的ケア児が安心できる保育・教育環境づくりを推進し、保護者の負担軽減や医療的ケア児の自立促進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
希望者に対して医療的ケアを実施した割合	%	0	100	100	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	医療的ケアを実施した児童生徒の保護者からの満足度	点	目標値	0	3.6	3.6	3.6	3.6
			実績値	0	3.57	3.7		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	医療的ケアを受けることを希望したすべての対象者に対して、各施設・学校で看護師の巡回による医療的ケアを実施し、教育・保育の充実を図ることに努め、保護者満足度4点満点の9割「3.6」の数値目標に届いた。		(目標達成度) 102.8%	(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)	(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	41,529	43,097	31,815	30,547
(事業費)	[千円]	18,948	19,937	23,819	22,551
(職員人件費)	[千円]	22,581	23,160	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	・ 医療的ケア児支援事業 ・ 医療的ケア運営協議会の開催	業務委託料 2 3 , 7 7 0 千円 委員等謝金 4 9 千円	総額	23,819	
			特定財源	国	8,364
				県	614
				市債	0
				他	0
			一般財源	14,841	
令和 8 年度	・ 医療的ケア児支援事業 ・ 医療的ケア運営協議会の開催	業務委託料 2 2 , 5 0 1 千円 委員等謝金 5 0 千円	総額	22,551	
			特定財源	国	10,801
				県	1,051
				市債	0
				他	0
			一般財源	10,699	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

高松第一高等学校生徒も対象に加え、就学前からの切れ目のない支援体制を構築できている。
急に医療的ケアが必要となる対象者が現れることも考えられるので費用的な部分が不安定である。

校医との連携強化により、該当者へのより良い支援体制を構築していくことで、本事業の充実に繋げる。令和7年度から市内の宿泊学習にも看護師を派遣できるように事業を拡大している。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

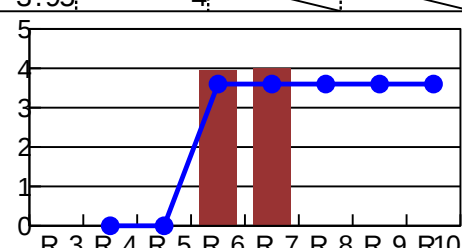
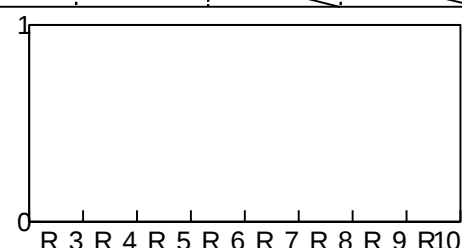
総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	総合教育センター
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-811-2163
	取組方針	確かな学力と個性を伸ばす教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	教育相談・教育支援委員会開催事業			

【事業全体概要】					
事業概要	心身に障がいのある児童生徒の自立と社会参加を目指した教育の実現に向け、教育相談を行うことで特別な教育的支援を必要とする可能性がある就学児の現状を把握し、特別支援教育に専門的な知識と深い経験を持つ医師や、大学教員、特別支援教育関係者等で構成する教育支援委員会で、児童の障がいの種類、程度の的確な判断をし、適正な就学指導を行い、個に応じた学びの場を選択でき、適切な教育を受けることができるようにする。				
8年度概要	○教育相談（年14回）○教育支援委員会（年6回） ○特別支援教育の推進に係る補助金の交付（・高松市中学校特別支援学級ふれあい交流会事業補助 ・香川県特別支援教育研究会補助 ・香川県特別支援学級・通級指導教育設置学校長協会補助）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	市内の幼児・児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	未来を担う子どもたちの「生きる力を育む教育の充実」には、多様なニーズに対応し、個に応じた教育の充実を図ることが重要であり、そのために子どもの実態を的確に判断して、指導や相談を行うことを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
小学校入学該当者向けの教育相談に参加した人数	人	0	387	405	350	350

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	教育相談に参加した保護者からの満足度	点	目標値	0	3.6	3.6	3.6	3.6
			実績値	0	3.95	4		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	教育上必要な判定であり、本事業の実施により個に応じた教育の充実が図られ、目標どおり達成できた。		（目標達成度） 111.1% （得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度） （得点）					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	8,262	8,533	8,764	8,944
(事業費)	[千円]	735	813	768	948
(職員人件費)	[千円]	7,527	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	○教育相談(年35回)○就学指導委員会(年6回) ○特別支援教育の推進に係る補助金の交付(・高松市中学 校特別支援学級ふれあい交流会事業補助・全日本特別支援 教育研究連盟負担金補助・全国特別支援学級設置学校長協 会負担金補助)	指導員・委員謝金 2 8 6 千円 補助金等 3 6 0 千円 その他 1 2 2 千円	総額	768	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	768	
令和 8 年度	○教育相談(年14回)○教育支援委員会(年6回) ○特別支援教育の推進に係る補助金の交付(・高松市中学 校特別支援学級ふれあい交流会事業補助・香川県特別支 援教育研究会補助・香川県特別支援学級・通級指導教育 設置学校長協会補助)	教育支援委員会委員報酬 3 8 2 千円 補助金等 4 0 0 千円 その他 1 6 6 千円	総額	948	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	948	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

教育相談と教育支援委員会を適切に開催することで障がいのある児童生徒が個に応じた学びの場を選択でき、適切な教育を受けるよう支援できた。

今後も教育相談や教育支援委員会を適宜開催し、その上で、教育相談会や教育支援委員会の回数増や常設の相談窓口を設けることも考え、子どもたちが個に応じた教育を受けることができるように取り組んでいく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

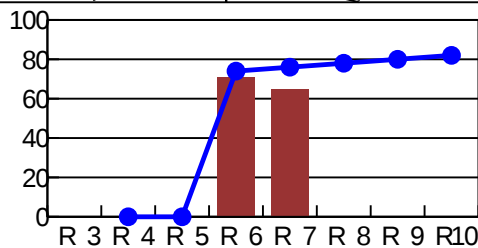
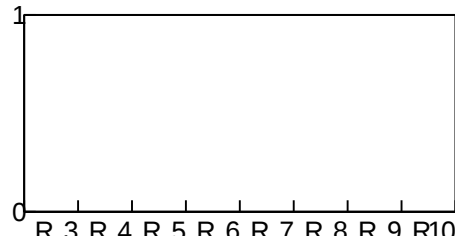
総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	総合教育センター
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-811-2163
	取組方針	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	不登校対策事業			

【事業全体概要】					
事業概要	・不登校に関する援助推進委員会への意見具申に基づき、不登校対策事業・教育支援センター（適応指導教室）事業にあたる。 ・不登校を考える会や親の会等を開催するなど、学校と関係機関の連携強化を図る。 ・ICTを活用した在宅学習支援を進め、不登校児童生徒の学業不振解消や学習習慣定着の支援に努める。 ・不登校児童生徒への自立支援事業を推進する。				
8年度概要	教育支援センターの運営に加え、校内サポートルーム支援員配置事業や民間施設との連携を行うことで、児童生徒の社会的自立に向け学びの場の環境整備を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	不登校児童生徒への支援の在り方について

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市立小中学校児童生徒、保護者、学校、関係機関
意図（どのような状態にしたいか）	不登校傾向にある児童生徒の状況を把握し、状態の悪化を防ぐとともに、不登校児童生徒の居場所づくりや社会的自立を促す支援に努める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
教職員研修で不登校支援関連の講話・協議実施回数	回	0	5	5	5	5

【事業の成果】									
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	90日以上欠席児童生徒が専門機関に関わる割合	%	目標値	0	74	76	78	78	
			実績値	0	71	64.8			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	体験活動を工夫したり、個に応じたきめ細かな支援を実施したが、小学校では数値があがっているものの、長期化している中学校では支援につなぐことが難しく、全体としては目標には達しなかった。		(目標達成度) 85.3%	(得点) 30点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値						
			実績値						
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
			(目標達成度)	(得点)					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	44,726	53,241	70,552	128,687
(事業費)	[千円]	37,199	45,521	62,556	112,695
(職員人件費)	[千円]	7,527	7,720	7,996	15,992

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	教育支援センター(適応指導教室)に低・中学年支援教室及び少人数支援教室を新たに開設するとともに、「不登校に関する援助推進委員会」や「不登校を考える会」を実施することで、不登校対応の環境整備を行った。	会計年度任用職員人件費 55,663千円	総額	62,556	
		指導者等報酬等 1,112千円	特定財源	国	294
		システム賃借料等 607千円		県	1,034
		負担金 321千円		市債	0
		電話代 75千円		他	110
		工事請負費・備品等 4,579千円		一般財源	61,118
		委託金(ゴミ収集) 199千円			
令和 8 年度	教育支援センターの運営に加え、校内サポートルーム支援員配置事業や民間施設との連携を行うことで、児童生徒の社会的自立に向け学びの場の環境整備を行う。	会計年度任用職員人件費 105,868千円	総額	112,695	
		指導者等報酬等 1,543千円	特定財源	国	0
		システム賃借料等 621千円		県	0
		負担金・補助金 921千円		市債	0
		電話代 90千円		他	75
		消耗品費等 3,546千円		一般財源	112,620
		委託金(ゴミ収集) 106千円			

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

「高松市不登校Ｑ＆Ａ」を大幅に改訂したり、保護者向けガイド「子どもが学校に行かないと言ったら」を発行し、高松市の取組みを広めるとともに、電話での不登校相談やカウンセラーの面談による相談に応じられるようにし、支援の充実を図った。

いじめや不登校に関する相談電話 相談件数 ７５件

カウンセラー相談件数 １９８件

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入） 事業は計画的に実施できているが、不登校児童生徒が年々増加しており市民のニーズが高まっているため、事業を拡充する予定である。
--

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	総合教育センター
	施策	学びを支援する教育環境の充実		電話番号	087-811-2163
	取組方針	教員の資質向上と教育指導体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	特別支援教育体制整備推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	就学前から高等学校までの発達段階に応じた、発達障害を含む様々な障害を持つ幼児児童生徒に対する適切な教育的支援のための体制整備を推進するために、巡回相談員、専門家チームによる巡回相談、県立特別支援学校教員による連携訪問等を行い、指導内容・方法についての指導・助言を行い充実を図る。 特別支援学級担任の資質向上のための研修会の開催、特別支援教育コーディネーター養成専門研修、特別支援教育研修会を香川県と共催し、受講者の専門性の向上を図る。				
8年度概要	○巡回相談等報償費 ○連携訪問等旅費 ○高松地域特別支援連携協議会傷害保険料 ○共催研修負担金				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

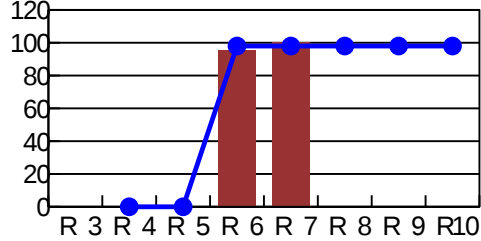
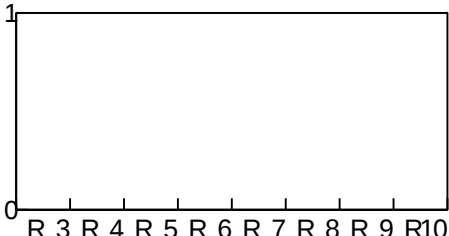
【事業の目的】

対象（何を）	発達障害を含む様々な障害がある幼児・児童生徒の指導・支援等を行っている教員等
意図（どのような状態にしたいか）	研修や指導助言を通して、特別な支援を必要とする幼児児童生徒への指導・支援の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
教職員研修での特別支援教育の講話・協議の回数	回	0	6	7	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	要配慮児童生徒の特性に応じた指導を行う学校の割合	%	目標値 実績値	0 0	98 95.7	98 100	98	98
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	特別な教育的支援が必要な児童生徒に対して、すべての学校が特性に応じた指導ができていた。引き続き指導助言を行っている。	（目標達成度） 102.0%						
		（得点） 35点						
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		（目標達成度）						
		（得点）						

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	7,643	7,852	8,123	8,169
(事業費)	[千円]	116	132	127	173
(職員人件費)	[千円]	7,527	7,720	7,996	7,996

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	○巡回相談等報償費 ○連携訪問等旅費 ○高松地域特別支援連携協議会傷害保険料 ○共催研修負担金	報償費 8 0 千円 旅費 3 1 千円 傷害保険料 4 千円 負担金 1 2 千円	総額	127	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	127	
令和 8 年度	○巡回相談等報償費 ○連携訪問等旅費 ○高松地域特別支援連携協議会傷害保険料 ○共催研修負担金	報償費 8 0 千円 旅費 5 8 千円 傷害保険料 5 千円 負担金 3 0 千円	総額	173	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	173	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

特別な教育的支援が必要な児童生徒への支援について、専門的な知識を有する大学教員や医師等から、よりよい支援方法等について適切なアドバイスを得ることができた。

特別な支援が必要な児童生徒の増加に伴い、巡回相談など相談業務に関わる人員と財源の確保に努めるとともに複数回にわたる訪問や短期個別指導アシスト教室を活用して、本人、保護者、学校のニーズに応えていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	総合教育センター
	施策	学びを支援する教育環境の充実		電話番号	087-811-2161
	取組方針	教員の資質向上と教育指導体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	教育に関する調査研究推進事業			

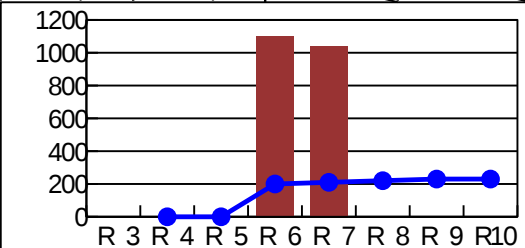
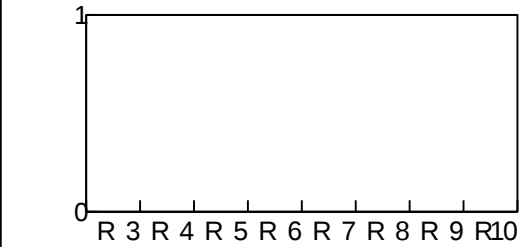
【事業全体概要】					
事業概要	研究実績を踏まえつつ、本市の学校教育における教育課題に照らし合わせてテーマを設定し、実証的な調査研究を推進する。また、調査研究を推進するにあたり、大学教員をコーディネートし、伴走型の支援を行う。				
	喫緊の教育課題への対応を踏まえ、研究協力校及び研究推進委員並びに関係機関等に協力を要請し、実証的な調査研究を推進する。また本市の教育課題に対しての共通認識を持って教育委員会と学校が一丸となって取り組んでいく。				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	教育基本法、学校教育法、教育公務員特例法	

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市内の小中学校教育職員及び教育関係者
意図（どのような状態にしたいか）	学校教育に係る教職員の資質向上や本市の教育の充実・振興を図る上で共通認識を持つことができる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
調査研究委員会開催数	回	0	12	16	15	15

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	調査研究の発表の場である教育フォーラムへの参加人数	人	目標値 実績値	0 0	200 1,100	210 1,040	220	220
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	令和5年度からオンライン開催も取り入れ、市内小・中学校に対しては研修の一環であることを周知した。また、中堅教諭等資質向上研修の選択研修としても位置付けた。その結果、多くの参加者があり、本市の教育の在り方について考える機会となった。		(目標達成度) 495.2% (得点) 35点					
	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
成果指標			目標値 実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度)					
			(得点)					

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	IC教育推進室
	施策	学びを支援する教育環境の充実		電話番号	087-811-2167
	取組方針	安全対策と教育機能の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	教育 I C T 整備・活用推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	小・中学校の特別教室及び特別支援学級教室に電子黒板を設置する等、教育 I C T の環境を整備するとともに、「令和の日本型学校教育創造事業」におけるモデル校での調査研究をもとに、各校での授業における I C T 活用を促し、情報活用能力の育成やアクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善を推進する。				
8年度概要	電子黒板の運用管理 G I G A スクール構想に伴う校内ネットワーク及び一人一台端末の運用管理 I C T 支援員の配置 G I G A 端末持ち帰り本格運用				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	1-	関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	市立小・中学校の児童生徒及び教員
意図（どのような状態にしたいか）	電子黒板や G I G A スクール構想によって整備した 1 人 1 台端末などを活用し、教員の I C T 活用に係る指導力の向上を図るとともに、より多彩な指導により、児童生徒の学習意欲の向上や情報活用能力、思考力、判断力等の育成につなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
児童生徒に I C T 活用を指導できる教員の割合	%	0	77.4	79	86.6	86.6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	週 3 回以上 I C T 機器を使用した小学校児童の割合	%	目標値 実績値	0 0	58 45.9	72 61.1	86	86
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	研修や I C T 支援員の配置、各学校での実践紹介等により、教員の I C T 活用能力の向上に努めたことにより、電子黒板等の大型提示装置の活用率が 1 0 0 % となるとともに、一人一台端末等を活用した授業も年々増加しているが、現状では実績値が目標値を下回る結果となっている。		(目標達成度) 84.9% (得点) 30点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	週 3 回以上 I C T 機器を使用した中学校生徒の割合	%	目標値 実績値	0 0	43 32.9	62 49	81	81
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	研修や I C T 支援員の配置、各学校での実践紹介等により、教員の I C T 活用能力の向上に努めたことにより、電子黒板等の大型提示装置が活用率が 1 0 0 % となるとともに、一人一台端末等を活用した授業も年々増加しているが、現状では実績値が目標値を下回る結果となっている。		(目標達成度) 79.0% (得点) 28点					

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	255,041	291,692	255,843	436,756
(事業費)	[千円]	239,987	276,252	239,851	420,764
(職員人件費)	[千円]	15,054	15,440	15,992	15,992

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	電子黒板の運用管理 G I G Aスクール構想に伴う校内ネットワーク及び一人一 台端末の運用管理 I C T支援員の配置 G I G A端末持ち帰り本格運用	電子黒板及び一人一台端末運 用保守：1 3 6 , 7 3 5 千円 ネットワーク整備業務委託等 ： 4 7 , 7 4 0 千円 I C T支援員等配置業務委託 ： 5 5 , 3 7 6 千円	総額	239,851	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	25,700
				他	2,000
			一般財源	212,151	
令和 8 年度	電子黒板の運用管理 G I G Aスクール構想に伴う校内ネットワーク及び一人一 台端末の運用管理 I C T支援員の配置 G I G A端末持ち帰り本格運用	電子黒板及び一人一台端末運 用保守等：2 5 6 , 9 8 1 千 円 ネットワーク整備業務委託等 ： 1 0 4 , 3 8 3 千円 I C T支援員配置業務委託： 5 9 , 4 0 0 千円	総額	420,764	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	71,000
				他	0
			一般財源	349,764	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	84 / 100 (84 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
研修の実施や、ＩＣＴ支援員の配置による支援等を実施することで、教員のＩＣＴ活用頻度が昨年度に比べ向上したが、依然、教員のＩＣＴ活用指導力の差が見られ課題となっている。 今後も、端末持帰り本格運用やＩＣＴ支援員の配置により、一人一台端末の活用の日常化を図り、児童生徒の情報活用能力の育成を進めていきたい。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
令和7年度末（3月）に小・中学校において、一人一台端末の全台更新を行い、使用する端末の機種やアプリケーションが変更となった。そのため、これまで以上に研修等を充実させるとともに、端末持帰り本格運用の日常化を図ることで、更に高い頻度での授業における電子黒板や一人一台端末等のＩＣＴ機器の活用を促し、児童生徒の情報活用能力を育成する。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	高松第一高等学校事務局
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-861-0244
	取組方針	確かな学力と個性を伸ばす教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	高等学校教材研究等事業			

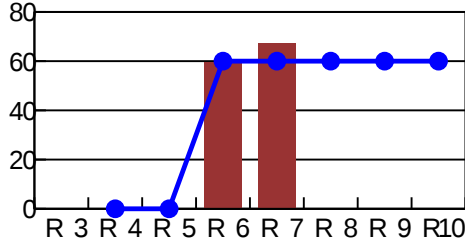
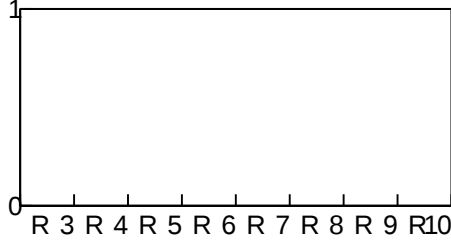
【事業全体概要】					
事業概要	教師用教科書・指導用図書の購入を始め、ピアノの調律、パソコン等の賃貸借、教育備品の購入等、直接的に教育に関わる教材の管理・整備に要する事業である。				
8年度概要	教師用教科書・指導用図書の購入等 ピアノの調律 パソコン等の賃貸借料 教育備品の購入				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	生徒
意図（どのような状態にしたいか）	生徒の学力を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
備品の整備（生徒用机・椅子）	台	0	0	0	15	15

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	国公立大学の合格率 (過年度生含む)	%	目標値 実績値	0 0	60 59.5	60 67.1	60	60
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)							
	教育関係の備品等を整備することにより、生徒の学力の向上を図り、国公立大学への合格率は上昇傾向である。			(目標達成度) 111.8%				
				(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
				(得点)				

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	149,460	165,186	170,978	177,978
(事業費)	[千円]	29,028	33,946	35,046	42,046
(職員人件費)	[千円]	120,432	131,240	135,932	135,932

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度			総額	35,046	
			特定財源	国	47
				県	634
				市債	0
				他	34,365
			一般財源	0	
令和 8 年度	教師用教科書・指導用図書の購入等 ピアノの調律 パソコン等の賃貸借料 教育備品の購入	4,763千円 1,169千円 35,482千円 423千円	総額	42,046	
			特定財源	国	283
				県	0
				市債	0
				他	41,763
			一般財源	0	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
教師用教科書・指導用図書及び理科・数学などの教材の購入のほか、ピアノの調律、パソコンの賃借など、教材等の管理・整備を行ったことにより、教育環境の充実に効果があった。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
教育備品の購入等、直接教育に関わる教材等の管理・整備を引き続き実施し、教育環境の充実を図る。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	高松第一高等学校事務局
	施策		学校教育の充実		電話番号	087-861-0244
	取組方針		確かな学力と個性を伸ばす教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		高等学校英語教育推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	選択コースとして国際文科コースを創設し、外国からの招聘講師による授業や、外部講師による英語による授業、海外語学研修を実施するなど、多様な手法により国際化に対応できる人材の育成を図る。				
8年度概要	姉妹都市招聘講師報酬等 国際文科コース海外研修引率旅費				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

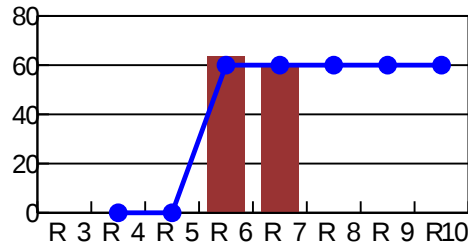
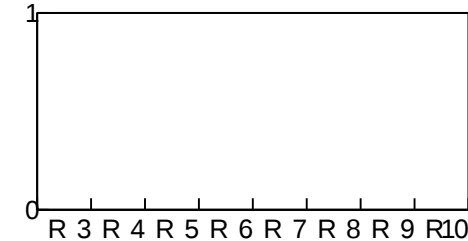
【事業の目的】

対象（何を）	全校生徒
意図（どのような状態にしたいか）	外国人招聘教師と生徒との交流、海外語学研修でのホームステイを行い異文化を体験し、生きた英語を学ぶ。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
招聘講師の授業回数	回	0	20	20	25	25

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	国際文科コース卒業生国公立大合格率（過年度生含む）		%	目標値	0	60	60	60	60	
				実績値	0	63.6	60			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	外国からの招聘講師による授業等を実施し、英語教育の推進を図っている。国際文科コースからの国公立大学の合格率は、目標を達成した。		(目標達成度)		100.0%					
(得点)			35点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	43,651	42,337	44,996	45,489
(事業費)	[千円]	6,016	3,737	5,016	5,509
(職員人件費)	[千円]	37,635	38,600	39,980	39,980

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度			総額	5,016	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	5,016	
令和 8 年度	姉妹都市招聘講師報酬等 国際文科コース海外研修引率旅費	3 , 4 4 6 千円 1 , 3 0 0 千円	総額	5,509	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	5,509	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

国際文科コースにおいて、外国からの招へい講師による授業や外部講師による英語での授業を実施した。

今後とも、実用的な英語教育を実施することにより、国際化に対応できる人材の育成を図る。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策		個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	高松第一高等学校事務局
	施策		学校教育の充実		電話番号	087-861-0244
	取組方針		豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		高等学校カウンセラー配置事業			

【事業全体概要】

事業概要	専門的知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、スクールカウンセラーが生徒の不登校や問題行動等に対応するため生徒や保護者等へのカウンセリングを行い、生徒がよりよい学校生活をおくることができるよう助言・援助を行う。 事業主体である県に対し、配置に要する経費の 2 / 3 を負担する。				
8年度概要	スクールカウンセラー配置（1人年間37回、1回5～6時間）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	スクールカウンセラー等活用事業費補助金及

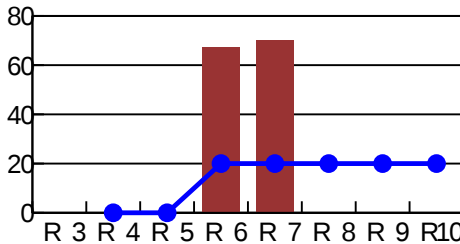
【事業の目的】

対象（何を）	生徒等
意図（どのような状態にしたいか）	生徒が長期欠席から不登校・中途退学へ至るのを防ぎ、学校に通学できるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
各種相談件数	件	0	524	546	150	150

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	全校生徒に対する相談件数の率		%	目標値	0	20	20	20	20	
				実績値	0	67.2	69.9			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	相談件数は増加傾向にある。		(目標達成度)	349.5%						
(得点)			35点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	23,121	23,782	24,622	24,676
(事業費)	[千円]	540	622	634	688
(職員人件費)	[千円]	22,581	23,160	23,988	23,988

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度			総額	634	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	634	
令和 8 年度	スクールカウンセラー配置 (1 人年間 3 7 回、1 回 5 ~ 6 時間)	6 8 8 千円	総額	688	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	688	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
専門的知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、生徒の不登校や問題行動等に対応するため、生徒や保護者等へのカウンセリングを実施し、助言・指導を行った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
生徒がよりよい学校生活を送ることができるよう、不登校や問題行動に対応するため、専門家によるカウンセリングを引き続き実施する。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	高松第一高等学校事務局
	施策	学びを支援する教育環境の充実		電話番号	
	取組方針	安全対策と教育機能の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	高等学校 I C T 環境整備事業			

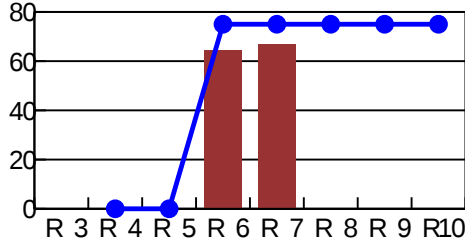
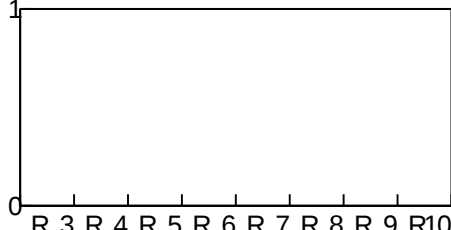
【事業全体概要】					
事業概要	高松第一高等学校における I C T 環境の整備を進め、教育環境の充実を図る。				
	生徒 1 人 1 台端末の整備				
8年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	生徒
意図（どのような状態にしたいか）	生徒 1 人 1 台端末（タブレット端末）を整備することにより、学校及び家庭での学習が効率的で効果的なものとなる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
生徒 1 人 1 台端末導入台数	台	0	785	777	791	791

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	授業で端末を頻繁に活用している割合		%	目標値 実績値	0 0	75 64.5	75 66.7	75	75
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	全校生徒に一人一台端末の導入が完了した。			(目標達成度) 88.9%					
				(得点) 31点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
				目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
				(目標達成度)					
				(得点)					

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

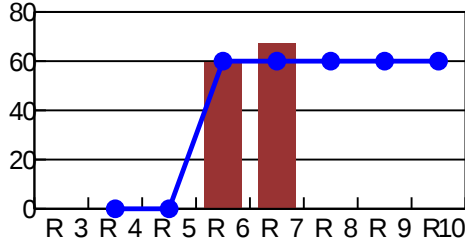
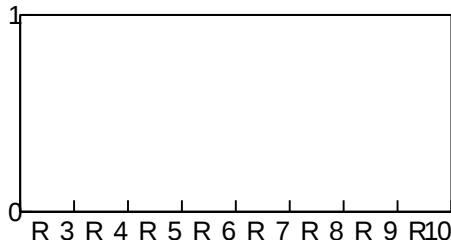
総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	高松第一高等学校事務局
	施策	学びを支援する教育環境の充実		電話番号	087-861-0244
	取組方針	教員の資質向上と教育指導体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	高等学校教育研究研修事業			

【事業全体概要】					
事業概要	各種の研究会等への参加や、研究用の雑誌を講読することで、教員の資質の向上とともに授業の質を高め、生徒の学力向上に寄与する。				
8年度概要	各種研究大会参加旅費等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	学校教員
意図（どのような状態にしたいか）	教師の教育力の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
各種研究会・大会等の参加回数	回	0	7	11	25	25

【事業の成果】									
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	国公立大学の合格率（過年度生含む）	%	目標値 実績値	0 0	60 59.5	60 67.1	60	60	
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	県外の研究会・大会等に参加することにより、教師の資質の向上及び授業への反映を図っており、生徒の学力の向上、さらには、国公立大学の合格者の増加に繋がっている。								
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
			目標値 実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	233,925	247,550	256,507	256,657
(事業費)	[千円]	588	510	635	785
(職員人件費)	[千円]	233,337	247,040	255,872	255,872

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度			総額	635	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	635	
令和 8 年度	各種研究大会参加旅費等	6 5 7 千円	総額	785	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	785	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
研究用の雑誌の購読などを行い、教員の資質の向上を図った。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
各種研究会への参加等を通じて教員の資質を高めることで、生徒の学力向上への寄与が見込まれることから、本事業を継続する。						

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	消防局
	政策		安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	消防局総務課
	施策		消防・救急体制の充実		電話番号	087-861-2502
	取組方針		消防力の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		北消防署再整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松市北消防署は、敷地面積 2,038.81 平方メートルの中に、庁舎のほか、水防倉庫、自転車置き場、車庫等がある。庁舎は、鉄筋コンクリート造、地下 1 階、地上 4 階建て、延べ面積 4,937.86 平方メートルの建物で、昭和 49 年 7 月に竣工し、建築後 51 年が経過している。老朽化に伴い、排水・汚水管の詰りなど、年々、修繕費が増加しているほか、近年の消防車両の大型化による車庫スペースの不足など、狭あい化の問題も生じているため、再整備を行うもの。				
8年度概要	南部駐車場解体実施設計業務委託 北消防署建設基本設計業務委託 アスベスト調査業務委託 北消防署検討部会の実施				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	消防組織法

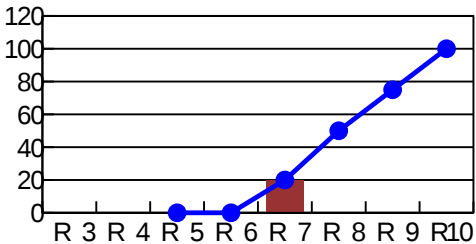
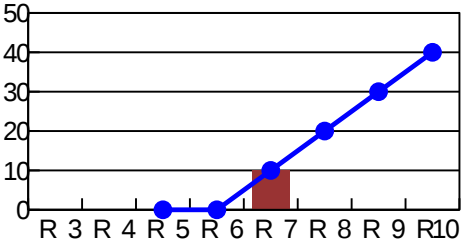
【事業の目的】

対象（何を）	高松市北消防署
意図（どのような状態にしたいか）	施設の老朽化に伴い、排水・污水管の詰りなど、年々、修繕費が増加しているほか、近年の消防車両の大型化による車庫スペースの不足など、狭あい化の問題も生じているため、再整備を行うもの。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	北消防署整備検討部会の開催回数	回	0	0	3	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	南部駐車場解体進捗率		%	目標値	0	0	20	50	50	
				実績値	0	0	20			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	意思決定や予算取り等の計画を全て達成できたもの。		(目標達成度) 100.0%							
(得点) 35点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8	
	北消防署建設進捗率		%	目標値	0	0	10	20	20	
				実績値	0	0	10			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	意思決定、住民説明会の実施、基本構想の策定等の計画を全て達成できたもの。		(目標達成度) 100.0%							
(得点) 35点										

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	15,773	15,440	15,992	97,055
(事業費)	[千円]	719	0	0	81,063
(職員人件費)	[千円]	15,054	15,440	15,992	15,992

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	地域住民への説明会実施 高松市北消防署整備検討部会の実施 高松市北消防署基本構想の策定	0 千円 0 千円 0 千円	総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	
令和 8 年度	南部駐車場解体実施設計業務委託 北消防署建設基本設計業務委託 アスベスト調査業務委託 北消防署検討部会の実施	3 , 9 1 0 千円 7 5 , 7 4 5 千円 1 , 4 0 8 千円 0 千円	総額	81,063	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	16,000
				他	65,000
			一般財源	63	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）	
	南部駐車場の廃止決定に伴い、その跡地に北消防署を移転する意思決定をし、建設消防常任委員会調査会や住民説明会を実施して、関係者の理解を得た。 また、北消防署整備検討部会を実施し、基本構想を策定した。 現庁舎が老朽化しているため、計画に遅延が発生しない進捗管理が課題となる。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
関係課の協力を得ながら、進捗に遅延が生じないように確実に計画を進めていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	病院局
	政策		心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	みんなの病院事務局経営企
	施策		医療体制の充実		電話番号	087-813-7171
	取組方針		市立病院の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		【企業会計】高松市立病院運営事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松市医療全体の最適化を目指し、「生きる力を応援します」の基本理念の下、「医療の質」、「医療の透明性」、「医療の効率性」の三つの視点から、良質な医療の提供と経営の健全化に取り組む。				
8年度概要	みんなの病院及びしおのえ診療所において、それぞれの医療機能を踏まえた良質な医療を効果的に提供する。 令和8年度から、塩江分院はしおのえ診療所へ名称変更				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	医療を必要とする、またはその可能性がある市民
意図（どのような状態にしたいか）	みんなの病院は、「がん医療」、「救急医療」などの急性期医療に加え、「災害時や感染症に対する医療」、「地域包括ケア等の後方支援機能の強化」に、また塩江分院は、みんなの病院との機能分化・連携強化の下、多くの市民から信頼され、安心して受診できる病院となる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	市立病院の医業収益	百万円	0	7,915	7,881	8,380	8,380

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																			
	みんなの病院の経常収支比率		%	目標値	0	94	91.5	96.3	96.3																			
				実績値	0	92.3	89.6																					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					<table><thead><tr><th>期間</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 3</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>92.3</td></tr><tr><td>R 7</td><td>89.6</td></tr><tr><td>R 8</td><td>96.3</td></tr><tr><td>R 9</td><td>96.3</td></tr><tr><td>R 10</td><td>96.3</td></tr></tbody></table>					期間	達成率 (%)	R 3	0	R 4	0	R 5	0	R 6	92.3	R 7	89.6	R 8	96.3	R 9	96.3	R 10	96.3
	期間	達成率 (%)																										
R 3	0																											
R 4	0																											
R 5	0																											
R 6	92.3																											
R 7	89.6																											
R 8	96.3																											
R 9	96.3																											
R 10	96.3																											
患者数が減少したことや、人件費及び物価高騰に伴う経費の増加などにより、目標値を下回った。		(目標達成度)	97.9%																									
		(得点)	34点																									

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8																			
	みんなの病院の修正医業収支比率		%	目標値	0	79.2	77.3	81.6	81.6																			
				実績値	0	77	74.3																					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）					<table><thead><tr><th>期間</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R 3</td><td>0</td></tr><tr><td>R 4</td><td>0</td></tr><tr><td>R 5</td><td>0</td></tr><tr><td>R 6</td><td>77</td></tr><tr><td>R 7</td><td>74.3</td></tr><tr><td>R 8</td><td>81.6</td></tr><tr><td>R 9</td><td>81.6</td></tr><tr><td>R 10</td><td>81.6</td></tr></tbody></table>					期間	達成率 (%)	R 3	0	R 4	0	R 5	0	R 6	77	R 7	74.3	R 8	81.6	R 9	81.6	R 10	81.6
	期間	達成率 (%)																										
R 3	0																											
R 4	0																											
R 5	0																											
R 6	77																											
R 7	74.3																											
R 8	81.6																											
R 9	81.6																											
R 10	81.6																											
患者数が減少したことや、人件費及び物価高騰に伴う経費の増加などにより、目標値を下回った。		(目標達成度)	96.1%																									
		(得点)	34点																									

	単位	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(決算)	R 8(予算)
トータルコスト	[千円]	9,927,307	10,281,439	10,328,293	10,865,498
(事業費)	[千円]	5,533,557	5,926,229	5,825,017	6,008,558
(職員人件費)	[千円]	4,393,750	4,355,210	4,503,276	4,856,940

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 7 年度	みんなの病院及び塩江分院において、それぞれの医療機能を踏まえた良質な医療を効果的に提供する。	各経常費用 みんなの病院 5,660,447千円 塩江分院 164,570千円 いずれも正職員人件費を除く	総額	5,825,017	
			特定財源	国	172,405
				県	142,473
				市債	0
				他	1,404,693
			一般財源	4,105,446	
令和 8 年度	みんなの病院及びしおのえ診療所において、それぞれの医療機能を踏まえた良質な医療を効果的に提供する。 令和8年度から、塩江分院はしおのえ診療所へ名称変更	各経常費用 みんなの病院 5,783,913千円 しおのえ診療所 224,645千円 いずれも正職員人件費を除く	総額	6,008,558	
			特定財源	国	0
				県	17,786
				市債	0
				他	1,334,662
			一般財源	4,656,110	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

みんなの病院は、人件費及び物価高騰に伴う経費の増加などにより6年度より経常収支比率が下がった。今後も地域医療連携の強化や効率的な病床管理の徹底を継続することや、紹介患者の積極的な受入れ、断らない救急など新入院患者の増加に力を注ぎ、収支の改善に努める。

今後も、公・民の適切な役割分担の下、地域において、必要な医療提供体制の確保や最適化を図るため、良質な医療の提供と経営強化の取組を進めていく。

令和 8年度（ 年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	病院局
	政策		心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	附属医療施設整備室
	施策		医療体制の充実		電話番号	087-893-0031
	取組方針		市立病院の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		【企業会計】附属医療施設(塩江分院)整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	「高松市民病院と香川診療所を移転統合した新病院を整備し、塩江分院をその附属医療施設とする。」という基本方針に基づき、市立３病院を統合・再編する。 新病院は、本市医療全体の最適化を目指すリーディングホスピタルとして、急性期医療及び地域包括ケアの後方支援機能を担う「高松市立みんなの病院」として整備を行った。 附属医療施設は、みんなの病院との機能分化・連携強化の下、塩江地区の地域包括ケアシステムの構築に貢献できる無床の診療所に整備する。				
8年度概要	実施設計 改修工事 医療システム構築				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	5-	関連根拠法令	第7次高松市総合計画（令和6～13年度）

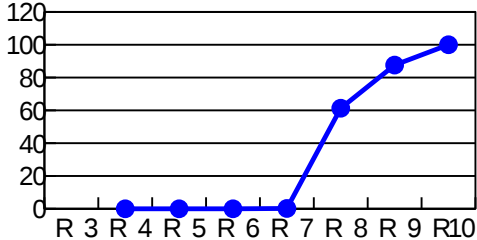
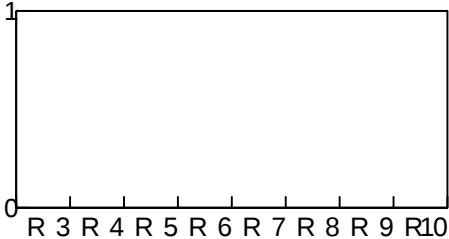
【事業の目的】

対象（何を）	附属医療施設
意図（どのような状態にしたいか）	附属医療施設をできる限り早期に整備する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	附属医療施設単年度整備率	%	0	0	0.2	61.1	61.1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
	附属医療施設整備進捗率	%	目標値	0	0	0.2	61.3	61.3
			実績値	0	0	0.2		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	改修に係る実施設計に着手し、対象施設のアスベスト含有調査を実施した。なお、当初予定していた不動産鑑定評価については、関係機関と調整した結果、不要となった。		(目標達成度) 100.0%					
		(得点) 35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 5	R 6	R 7	R 8	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度)					
		(得点)						

